

保医発 0327 第 5 号  
令和 6 年 3 月 27 日

地方厚生（支）局医療課長  
都道府県民生主管部（局）  
国民健康保険主管課（部）長 殿  
都道府県後期高齢者医療主管部（局）  
後期高齢者医療主管課（部）長

厚生労働省保険局医療課長  
（ 公 印 省 略 ）

厚生労働省保険局歯科医療管理官  
（ 公 印 省 略 ）

「診療報酬請求書等の記載要領等について」等の一部改正について

標記について、「診療報酬の算定方法の一部を改正する告示」（令和 6 年厚生労働省告示第 57 号）等が告示され、令和 6 年 6 月 1 日より適用されることに伴い、下記の通知の一部を別添のとおり改正するので、その取扱いに遺漏のないよう、貴管下の保険医療機関等及び審査支払機関に対し、周知徹底を図らねたい。

記

別添 1 「診療報酬請求書等の記載要領等について」（昭和 51 年 8 月 7 日保険発第 82 号）の一部改正について

別添 2 「厚生労働大臣が定める病院の診療報酬請求書等の記載要領について」（平成 18 年 3 月 30 日保医発第 0330007 号）

別添 3 「訪問看護療養費請求書等の記載要領について」（平成 18 年 3 月 30 日保医発第 0330008 号）

## 「診療報酬請求書等の記載要領等について」（昭和 51 年 8 月 7 日保険発第 82 号）

## 別紙 1

## 診療報酬請求書等の記載要領

## I 一般的事項

- 1 診療報酬請求書、診療報酬明細書、調剤報酬請求書及び調剤報酬明細書（以下「診療報酬請求書等」という。）については、「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する命令附則第四条の二第二項の規定に基づき子ども家庭庁長官及び厚生労働大臣が定める様式」（平成 20 年厚生労働省告示第 126 号）に定める様式により扱うものとするが、「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する命令附則第四条の二第二項の規定に基づき子ども家庭庁長官及び厚生労働大臣が定める様式の一部を改正する件」（令和 6 年子ども家庭庁・厚生労働省告示第 4 号）により改正のあった様式については、令和 6 年 7 月 1 日（6 月診療分）から新様式により扱うものとし、令和 6 年 5 月診療分までは旧様式によっても差し支えないこと。
- 2 診療報酬請求書等の用紙の大きさは A 列 4 番とすること。  
ただし、電子計算機により作成する場合は、A 列 4 番と±6 mm（縦方向）、+6 mm、-4 mm（横方向）の差は差し支えないものであること。
- 3 診療報酬請求書等は、別添 1「診療報酬請求書等一覧表」の区分によるものであること。
- 4 診療報酬請求書等においては、単に保険医療機関又は保険薬局とのみ表示しているが、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号。以下「高齢者医療確保法」という。）の規定による療養の給付（以下「後期高齢者医療」という。）又は公費負担医療に係るもの（後期高齢者医療のうち保険医療機関におけるものを除く。）については「保険医療機関」とあるのは「後期高齢者医療又はそれぞれの公費負担医療の担当医療機関」と、「保険薬局」とあるのは「後期高齢者医療又はそれぞれの公費負担医療の担当薬局」と読み替え、また、「保険医氏名」とあるのは「後期高齢者医療又はそれぞれの公費負担医療の担当医氏名」と読み替えるものであること。
- 5 診療報酬請求書及び診療報酬明細書に記載した数字等の訂正を行うときは、修正液を使用することなく、誤って記載した数字等を＝線で抹消の上、正しい数字等を記載すること。  
なお、診療報酬請求書等の記載に当たっては、黒若しくは青色のインク又はボールペン等を使用すること。
- 6 「※」が付されている欄には、記載する必要がないこと。

## Ⅱ 診療報酬請求書及び診療報酬明細書の記載要領

### 第1 診療報酬請求書（医科・歯科、入院・入院外併用）に関する事項（様式第1（1））

#### 1 「令和 年 月分」欄について

診療年月を記載すること。したがって、診療年月の異なる診療報酬明細書（以下「明細書」という。）がある場合には、それぞれの診療年月分について診療報酬請求書を作成すること。

なお、診療年月の異なる明細書であっても、返戻分の再請求等やむを得ぬ事由による請求遅れ分については、この限りではないこと。

#### 2 「医療機関コード」欄について

それぞれの医療機関について定められた医療機関コード7桁を記載すること（別添2「保険者番号 公費負担者番号、公費負担医療の受給者番号並びに医療機関コード及び薬局コード設定要領」（以下「設定要領」という。）の第4を参照）。

#### 3 「別記 殿」欄について

保険者名、市町村名及び公費負担者名を下記例のとおり備考欄に記載することを原則とするが、省略しても差し支えないこと。

（例） 別記 全国健康保険協会理事長  
千代田区長  
東京都知事

#### 4 「令和 年 月 日」欄について

診療報酬請求書を提出する年月日を記載すること。

#### 5 「保険医療機関の所在地及び名称、開設者氏名」欄について

（1） 保険医療機関の所在地及び名称、開設者氏名については、保険医療機関指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地、名称及び開設者氏名を記載すること。なお、開設者氏名については、開設者から診療報酬請求等につき委任を受けている場合は、保険医療機関の管理者の氏名であっても差し支えないこと。

（2） 保険医療機関自体で診療報酬請求書用紙の調製をしない場合において、記名の労を省くため、保険医療機関の所在地、名称及び開設者氏名のゴム印を製作の上、これを押捺することは差し支えないこと。

#### 6 「入・外」欄について

入院・外来については、入院・外来別にそれぞれ請求することとしたことに伴い入院に係る分は「入」の文字を、入院外に係る分は「外」の文字を○で囲むこと。なお、「入」又は「外」のみを印刷した様式を用いても差し支えないこと。

なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床（救急医療管理加算又は救命救急入院料を算定する病床に限る。）に入院したものとみなす場合は、入院に係るものとして取り扱うこと。

#### 7 「医療保険」欄について

（1） 医療保険と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち医療保険に係る分及び医療保険単独の者に係る明細書について記載することとし、医療保険単独の者に係る分については医療保険制度ごとに記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」

に示すとおりであること。

- (2) 入院分の「療養の給付」欄については、「件数」欄には明細書の医療保険に係る件数の合計を、「診療実日数」欄には明細書の診療実日数の合計を、「点数」欄には明細書の「療養の給付」欄の「保険」の項に係る「請求」の項の合計を、「一部負担金」欄には明細書の「療養の給付」欄の「保険」の項に係る「負担金額」の項の合計を記載すること。

「食事療養・生活療養」欄については、「件数」欄には明細書の医療保険の食事療養及び生活療養に係る件数の合計を、「回数」欄には明細書の「食事・生活療養」欄の「保険」の項に記載されている回数の合計を、「金額」欄には明細書の「食事・生活療養」欄の「保険」の項に係る「請求」の項に記載されている金額の合計を、「標準負担額」欄には明細書の「食事・生活療養」欄の「保険」の項に係る「標準負担額」の項に記載されている金額の合計を記載すること。

- (3) 入院外分の「療養の給付」欄については、「件数」欄には明細書の医療保険に係る件数の合計を、「診療実日数」欄には明細書の診療実日数の合計を、「点数」欄には明細書の「療養の給付」欄の「保険」の項に係る「請求」の項の点数の合計を、「一部負担金」欄には明細書の「療養の給付」欄の「保険」の項に係る「一部負担金額」の項の一部負担金額の合計を記載すること。

- (4) 「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄の「小計」欄、「医保単独（七〇以上七割）」欄の「小計」欄、「医保単独（本人）」欄の「小計」欄、「医保単独（家族）」欄の「小計」欄、「医保単独（六歳）」欄の「小計」欄にはそれぞれの合計を記載すること。

- (5) 「①合計」欄には、「医保（七〇以上一般・低所得）と公費の併用」欄と「医保単独七〇以上一般・低所得」欄の「小計」欄と、「医保（七〇以上七割）と公費の併用」欄と「医保単独（七〇以上七割）」欄の「小計」欄と、「医保本人と公費の併用」欄と「医保単独（本人）」欄の「小計」欄と、「医保家族と公費の併用」欄と「医保単独（家族）」欄の「小計」欄と、「医保（六歳）と公費の併用」欄と「医保単独（六歳）」欄の「小計」欄とを合計して記載すること。

- (6) 医事会計システムの電算化が行われていない保険医療機関等にあつては、「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄と、「医保単独（七〇以上七割）」欄とに記載すべき各項の数字を合算し、その合計を「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄に記載することをもって請求することができること。この場合には、当該合算を実施した上で各項を記載していることがわかるように「備考」欄に合算している旨を記載すること。

## 8 「公費負担」欄の「公費と医保の併用」欄について

- (1) 医療保険と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、医療保険と2種の公費負担医療（例えば、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「感染症法」という。）による結核患者の適正医療と障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（平成17年法律第123号。以下「障害者総合支援法」という。）による精神通院医療、更生医療、育成医療、療養介護医療及び基準該当療養介護医療（以下「精神通院医療等」という。）の併用の場合は、1枚の明細書であっても公費負担医療に係る件数は2件となること。

- (3) 「点数」欄には、明細書の「療養の給付」欄の「公費」の項に係る「請求」の項に記載した点

数を、公費負担医療制度ごとに合計してそれぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費」の項に係る「請求」の項の記載を省略した明細書については、「保険」又は「公費①」の項に係る「請求」の項に記載した点数が当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計すること。

- (4) 「一部負担金（控除額）」欄には、入院分については、明細書の「療養の給付」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「負担金額」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。また、入院外分については、明細書の「療養の給付」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「一部負担金額」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
- (5) 「食事療養・生活療養」欄については、「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の食事療養及び生活療養に係る件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。また、「金額」欄には明細書の「食事・生活療養」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「請求」の項に記載されている金額を、「標準負担額」欄には、明細書の「食事・生活療養」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「標準負担額」の項に記載されている金額を、それぞれ公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費」の項に係る記載を省略した明細書については、「保険」又は「公費①」の項に記載した金額が当該公費負担医療の金額と同じであるので、これを加えて合計すること。

9 「公費負担」欄の「公費と公費の併用」欄について

- (1) 公費負担医療のみで2種以上の公費負担医療の併用が行われた場合には、当該併用の者に係る明細書分を記載すること。公費負担医療が2種の場合、例えば生活保護法（昭和25年法律第144号）による医療扶助に係る分と感染症法による結核患者の適正医療に係る分とを併せて請

「

|           |
|-----------|
| 12(生保)    |
| 10(感37の2) |

求する場合には、

」欄に記載することとし、これ以外の公費負担医療の組合せについて請求する場合には、空欄にそれぞれの公費負担医療の法別番号を記載し、当該公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、特例的に、生活保護法による医療扶助、感染症法による結核患者の適正医療及び障害者総合支援法による精神通院医療等の3種の公費負担医療の併用の場合があるが、この場合は、空欄を取り繕ってそれぞれの公費負担医療の法別番号を記載し、当該公費負担医療に係る分を記載すること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書並びに食事療養及び生活療養に係る明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、1枚の明細書であっても、公費負担医療に係る件数は、2件ないし3件となること。
- (3) 「点数」欄には、明細書の「療養の給付」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「請求」の項に記載した点数を、公費負担医療制度ごとに合計してそれぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費②」の項に係る「請求」の項の記載を省略した明細書については、「公費①」の項に係る「請求」の項に記載した点数が当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計すること。また、特例的に3種の公費負担医療の併用を行った場合は、生活保護法による医療扶助に係る点数は「療養の給付」欄の「保険」の項に係る「請求」の項の点数をも合計して記載すること。
- (4) 「一部負担金（控除額）」欄の記載方法は、8の(4)と同様であること。

(5) 「金額」欄には、明細書の「食事・生活療養」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「請求」の項に記載されている金額を、それぞれ公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費②」の項に係る記載を省略した明細書については、「公費①」の項に記載した金額が当該公費負担医療の金額と同じであるので、これを加えて合計すること。また、特例的に3種の公費負担医療の併用を行った場合は、生活保護法による医療扶助に係る金額は明細書の「食事・生活療養」欄の「保険」の項に係る「請求」の項の金額を合計して記載すること。

10 「公費負担」欄の「公費単独」欄について

(1) 公費負担医療単独の者に係る明細書分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、公費負担医療に係る法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

(2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書並びに食事療養及び生活療養に係る明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。

(3) 「点数」欄には、明細書の「療養の給付」欄の「公費①」の項に係る「請求」の項に記載した点数を、公費負担医療制度ごとに合計してそれぞれの制度の該当欄に記載すること。

(4) 「一部負担金(控除額)」欄には、入院分については、明細書の「療養の給付」欄の「公費①」の項に係る「負担金額」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。また、入院外分については、公費負担医療制度ごとに明細書の「療養の給付」欄の「公費①」の項に係る「一部負担金額」の項の金額を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。

(5) 「金額」欄には、明細書の「食事・生活療養」欄の「公費①」の項に係る「請求」の項に記載されている金額をそれぞれ公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。

11 「②合計」欄について

「公費と医保の併用」、「公費と公費の併用」及び「公費単独」欄の「件数」欄の請求件数を合計して記載すること。

12 「総件数①+②」欄について

「①合計」欄及び「②合計」欄の請求件数を合計して記載すること。

13 「備考」欄について

(1) 定数超過入院に該当する保険医療機関にあっては、**超過**（略称の口囲みについては、○囲みでもよいこと。以下同じ。）と記載すること。

(2) 医療法（昭和23年法律第205号）の人員標準を満たさない保険医療機関にあっては、**標欠**と記載すること。

第2 診療報酬請求書（医科・入院外）に関する事項（様式第1(2)）

診療報酬請求書（医科・入院外）の記載要領については、第1の例によること。この場合において、入院分と入院外分に係る記載がなされている事項の場合にあっては、入院外分の記載に係る例によること。

## 第2の2 診療報酬請求書（医科・歯科）に関する事項（様式第8）

診療報酬請求書（医科・歯科）の記載要領については、次に掲げる事項を除き、第1の例によること。  
なお、「3 「別記 殿」欄について」は、各広域連合殿と読み替えるものであること。

### 1 「後期高齢者医療」欄について

- (1) 後期高齢者医療と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち後期高齢者医療に係る分及び後期高齢者医療単独の者に係る明細書について記載すること。
- (2) 療養の給付の「件数」欄、「診療実日数」欄、「点数」欄及び「一部負担金」欄、食事療養・生活療養の「件数」欄、「回数」欄、「金額」欄及び「標準負担額」欄については、第1の7の(2)及び(3)と同様であること。この場合、「医療保険」とあるのは「後期高齢者医療」と、「船員保険の被保険者に係る通勤災害時の初診料（災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。）」とあるのは「高齢者医療確保法第69条第1項の規定に基づき減額された一部負担金」と読み替えるものであること。
- (3) 医事会計システムの電算化が行われていない保険医療機関等にあつては、「後期高齢一般・低所得」欄と、「後期高齢七割」欄とに記載すべき各項の数字を合算し、その合計を「後期高齢一般・低所得」欄に記載することをもって請求することができること。この場合には、合計を記載していることがわかるように「備考」欄に合算している旨を記載すること。

### 2 「公費負担」欄の「公費と後期高齢者医療の併用」欄について

- (1) 後期高齢者医療と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、医療保険と2種の公費負担医療（例えば、感染症法による結核患者の適正医療と障害者総合支援法による精神通院医療等）の併用の場合は、1枚の明細書であっても公費負担医療に係る件数は2件となること。
- (3) 「点数」欄には、明細書の「療養の給付」欄の「公費」の項に係る「請求」の項に記載した点数を、公費負担医療制度ごとに合計してそれぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費」の項に係る「請求」の項の記載を省略した明細書については、「保険」又は「公費①」の項に係る「請求」の項に記載した点数が当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計すること。
- (4) 「一部負担金」欄には、入院分については、明細書の「療養の給付」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「負担金額」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。また、入院外分については、明細書の「療養の給付」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「一部負担金額」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
- (5) 「食事療養・生活療養」欄については、「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の食事療養及び生活療養に係る件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。また、「金額」欄には明細書の「食事・生活療養」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「請求」の項

に記載されている金額を、「標準負担額」欄には、明細書の「食事・生活療養」欄の「公費①」及び「公費②」の項に係る「標準負担額」の項に記載されている金額を、それぞれ公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費」の項に係る記載を省略した明細書については、「保険」又は「公費①」の項に記載した金額が当該公費負担医療の金額と同じであるので、これを加えて合計すること。

### 第3 診療報酬明細書の記載要領（様式第2）

#### 1 診療報酬明細書の記載要領に関する一般的事項

- (1) 明細書は、白色紙黒色刷りとすること。
- (2) 左上の隅より右へ 12mm、下へ 12mmの位置を中心に半径 2 mmの穴をあけて、綴じ穴とすること。
- (3) 同一の被保険者等が 2 以上の傷病について診療を受けた場合においても、1 枚の明細書に併せて記載すること。
- (4) 同一月に同一患者につき、入院診療と入院外診療とが継続してある場合には、入院、入院外についてそれぞれ別個の明細書に記載すること。

なお、初診から直ちに入院した場合は、入院分のみの明細書に記載すること。

また、再診から直ちに入院した場合であって、入院の明細書において、再診料又は外来診療料の時間外加算、休日加算若しくは深夜加算を算定する場合は「特定入院料・その他」の項に点数及び回数を記載し、「摘要」欄に当該加算の名称を記載すること。ただし、入院基本料を算定する入院の場合は「入院基本料・加算」の項に点数及び回数を記載し、「摘要」欄に当該加算の名称を記載すること。

- (5) 入院中の患者（DPC算定病棟に入院している患者を除く。）が、やむを得ず他の保険医療機関の外来を受診した場合は、入院医療機関の明細書の「摘要」欄に「他医療機関を受診した理由」、「診療科」及び「他（受診日数：○日）」を記載すること。ただし、特定入院料、一般病棟入院基本料（療養病棟入院料 1 の例により算定する場合に限る。）、特定機能病院入院基本料（療養病棟入院料 1 の例により算定する場合に限る。）、専門病院入院基本料（療養病棟入院料 1 の例により算定する場合に限る。）、療養病棟入院基本料、有床診療所療養病床入院基本料又は特定入院基本料を 10%減算する場合（他の保険医療機関において、シングルホトンエミッションコンピュータ断層撮影、ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピュータ断層複合撮影、乳房用ポジトロン断層撮影、体外照射の強度変調放射線治療（IMRT）、ガンマナイフによる定位放射線治療、直線加速器による放射線治療の定位放射線治療の場合又は粒子線治療に係る費用を算定し、5%減算する場合を含む。）には、受診した他の保険医療機関のレセプトの写しを下端を 50mm程度切りとって添付すること。レセプトの写しの添付が困難である場合には、受診した他の保険医療機関の名称、所在都道府県名（都道府県番号でも可）及び医療機関コードを記載すること。外来診療を行った保険医療機関は、レセプトの「摘要」欄に、「入院医療機関名」、「当該患者の算定する入院料」、「受診した理由」、「診療科」及び「他（受診日数：○日）」を記載すること。

また、入院中の患者（DPC算定病棟に入院している患者であって「診療報酬の算定方法」により入院料を算定する患者に限る。）が、やむを得ず他の保険医療機関の外来を受診した場合は、入院医療機関のレセプトの「摘要」欄に「他医療機関を受診した理由」、「診療科」、受診した他の保険医療機関の名称、所在都道府県名（都道府県番号でも可）及び医療機関コードを記載す



ること。また、他の保険医療機関で行われた診療行為の近傍に「他」とそれぞれ記載すること。他の保険医療機関を受診した際の費用の一切を入院医療機関において算定する場合は、入院医療機関のレセプトの「摘要」欄に「他医療機関を受診した理由」、「診療科」、受診した他の保険医療機関の名称、所在都道府県名（都道府県番号でも可）及び医療機関コードを記載すること。また、他の保険医療機関で行われた診療行為の近傍に「他」とそれぞれ記載すること。

- (6) 月の途中において保険者番号又は本人・家族等の種別の変更があった場合は、保険者番号ごとに、それぞれ別の明細書を作成すること。高齢受給者証又は後期高齢者の被保険者証が月の途中に発行されること等により給付額を調整する必要がある場合又は公費負担医療単独の場合において公費負担者番号若しくは公費負担医療の受給者番号の変更があった場合も、同様とすること。

なお、それぞれ別の明細書を作成する場合は、変更後の明細書の「摘要」欄にその旨を記載すること。

- (7) 同一月に同一患者につき、介護老人保健施設又は介護医療院に入所中の診療と介護老人保健施設又は介護医療院に入所中以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ別個の明細書に記載すること。
- (8) 短期滞在手術等基本料1を算定する場合は、入院外の明細書（様式第2(2)）を使用すること。
- (9) 電子計算機の場合は、以下によること。

ア 欄の名称を簡略化して記載しても差し支えないこと。また、複数の選択肢から○を用いて選択する欄については、特段の定めのある場合を除き、選択した項目のみ記載し、それ以外の項目は省略しても差し支えないこと。

イ 枠をその都度印刷することとしても差し支えないこと。

ウ 用紙下端の空白部分は、OCR処理等審査支払機関の事務処理に供するため、その他の目的には使用しないこと。

エ 電子計算機用のOCR関連事項は、「レセプト基本フォーマット集（平成9年8月版）」（社会保険庁運営部編）によることが望ましいこと。

オ 記載する文字は、JIS X 0 2 0 8において文字コードが設定された範囲とすることが望ましいこと。

## 2 診療報酬明細書の記載要領に関する事項

- (1) 「令和 年 月分」欄について

診療年月を記載すること。

- (2) 「都道府県番号」欄について

別添2「設定要領」の別表2に掲げる都道府県番号表に従い、保険医療機関の所在する都道府県の番号を記載すること。

- (3) 「医療機関コード」欄について

それぞれの医療機関について定められた医療機関コード7桁を記載すること（別添2「設定要領」の第4を参照）。

- (4) 「保険種別1」、「保険種別2」及び「本人・家族」欄について

ア 「保険種別1」欄については、以下の左に掲げる保険の種別に応じ、右の番号のうち1つを○で囲むこと。

健康保険（船員保険を含む。以下同じ。）又は国民健康保険 1 社・国  
公費負担医療（健康保険、国民健康保険又は後期高齢者医療との併用の場合を除く。）

2 公費

後期高齢者医療

3 後期

イ 「保険種別 2」欄については、「保険種別 1」欄のそれぞれについて、以下の左の別に応じ、右の番号を○で囲むこと。

単独

1 単独

1種の公費負担医療との併用

2 2併

2種以上の公費負担医療との併用

3 3併

(注) 公費負担医療には、地方公共団体が独自に行う医療費助成事業(審査支払機関へ医療費を請求するものに限る。)を含むこと。

ウ ア及びイについては、○で囲むことを省略しても差し支えないこと。

エ 「本人・家族」欄については、以下の左に掲げる種別に応じて、右の番号のうち1つを○で囲むこと。なお、未就学者である患者(6歳に達する日以後最初の3月31日以前の患者をいう。以下同じ。)は「3」又は「4」、高齢受給者又は後期高齢者医療受給対象者は「7」、「8」、「9」又は「0」を○で囲むこととし、また、公費負担医療については本人に該当するものとする。

ただし、国民健康保険の場合は、市町村国民健康保険であって被保険者(世帯主)と被保険者(その他)の給付割合が異なるもの及び国民健康保険組合については被保険者(世帯主(高齢受給者を除く。))は「1」又は「2」、被保険者(その他(未就学者である患者及び高齢受給者を除く。))は「5」又は「6」を○で囲むこととし、それ以外(未就学者である患者及び高齢受給者を除く。)はいずれか一方を○で囲むこと。

なお、入院の場合は、「1 本入」(若しくは「1 本」)、「3 六入」(若しくは「3 六」)、「5 家入」(若しくは「5 家」)、「7 高入一」(若しくは「7 高一」)又は「9 高入7」(若しくは「9 高7」)、外来の場合は、「2 本外」(若しくは「2 本」)、「4 六外」(若しくは「4 六」)、「6 家外」(若しくは「6 家」)、「8 高外一」(若しくは「8 高一」)又は「0 高外7」(若しくは「0 高7」)の項のみを印刷したものをを使用することとしても差し支えないこと。

1 本人入院

1 本入

2 本人外来

2 本外

3 未就学者入院

3 六入

4 未就学者外来

4 六外

5 家族入院

5 家入

6 家族外来

6 家外

7 高齢受給者・後期高齢者医療一般・低所得者入院

7 高入一

8 高齢受給者・後期高齢者医療一般・低所得者外来

8 高外一

9 高齢受給者・後期高齢者医療7割給付入院

9 高入7

0 高齢受給者・後期高齢者医療7割給付外来

0 高外7

(注1) 後期高齢者医療一般のうち、1割負担の者と、2割負担の者の判別については、「特記事項」欄に記載される所得区分により行うため、特段の記載は必要ない。

オ 電子計算機の場合は、以下のいずれかの方法によること。

(ア) 当該欄の上に選択する番号及び保険種別等のみを記載する。

(イ) 選択肢をすべて記載した上で、選択しないものをすべて=線で抹消する。

(5) 「保険者番号」欄について

ア 設定された保険者番号8桁（国民健康保険については6桁）を記載すること（別添2「設定要領」の第1を参照）。なお、国民健康保険の場合は右詰めで記載すること。

イ 公費負担医療単独の場合及び公費負担医療と公費負担医療の併用の場合（以下「公費負担医療のみの場合」という。）は、別段の定めのある場合を除き、記載しないこと。

(6) 「給付割合」欄について

国民健康保険の場合、該当する給付割合を○で囲むか、（ ）の中に給付割合を記載すること。ただし、自県分の場合は、記載を省略しても差し支えないこと。

(7) 「被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号」欄について

ア 健康保険被保険者証、国民健康保険被保険者証、船員保険被保険者証、受給資格者票及び特別療養費受給票等（以下「被保険者証等」という。）の「記号及び番号」欄の記号及び番号を記載すること。また、後期高齢者医療被保険者証の「被保険者番号」欄の「被保険者番号」を記載すること。被保険者証等の「記号及び番号」欄に枝番の記載がある場合は、併せて枝番を記載すること。なお、電子資格確認の場合は、オンラインにより提供された資格情報から、これらの記載を行うこと。

イ 記号と番号の間にスペース、「・」若しくは「-」を挿入するか、又は上段に記号、下段に番号を記載すること。また、枝番は「（枝番）」の後ろに記載すること。

ウ 当該記号及び番号のうち○で囲んだ文字に代えて当該文字を（ ）で囲んだものを使用して記載することも差し支えなく、記載枠に書ききれない等の場合は、（ ）を省略しても差し支えないこと。なお、被保険者が、月の途中において、記号若しくは番号を変更した場合又は任意継続に変更した場合（給付割合に変更がない場合に限る。）は、変更後の記号又は番号を記載すること。

(8) 「公費負担者番号①」欄及び「公費負担者番号②」欄について

ア 医療券等に記入されている公費負担者番号8桁を記載すること（別添2「設定要領」の第2を参照）。

イ 別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示す順番により、先順位の公費負担者番号を「公費負担者番号①」欄に（以下「公費負担者番号①」欄に記載される公費負担医療を「第1公費」という。）、後順位の公費負担者番号を「公費負担者番号②」欄に（以下「公費負担者番号②」欄に記載される公費負担医療を「第2公費」という。）記載すること。

ウ 保険者番号の変更はないが、同種の公費負担医療で住所変更により月の途中において公費負担者番号の変更があった場合は、変更前の公費負担医療に係る分を第1公費とし、変更後の公費負担医療に係る分を第2公費として取り扱うものとする。

(9) 「公費負担医療の受給者番号①」欄及び「公費負担医療の受給者番号②」欄について

医療券等に記入されている受給者番号7桁を、第1公費については「公費負担医療の受給者番号①」欄に、第2公費については「公費負担医療の受給者番号②」欄に記載すること（別添2「設定要領」の第3を参照）。

(10) 「区分」欄について

当該患者が入院している病院又は病棟の種類に応じ、該当する文字を○で囲むこと。また、月の途中において病棟を移った場合は、そのすべてに○を付すこと。

なお、電子計算機の場合は、コードと名称又は次の略称を記載することとしても差し支えないこと。

01精神（精神病棟）、02結核（結核病棟）、07療養（療養病棟）

(11) 「氏名」欄について

ア 姓名を記載すること。ただし、健康保険の被保険者については、姓のみの記載で差し支えないこと。

なお、電子計算機の場合は、例外的に漢字を読み替えたカタカナを使用すること又はひらがなをカタカナに読み替えて記載することも差し支えないこととするが、この場合には被保険者であっても姓名を記載することとし、姓と名の間にスペースをとること。

イ 性別は該当するものを○で囲むこと。なお、電子計算機の場合は、「1 男」、「2 女」と記載しても差し支えないこと。

ウ 生年月日は以下によること。

(ア) 該当する元号を○で囲み、生まれた年月日を記載すること。

(イ) 電子計算機の場合は、元号については「1 明」、「2 大」、「3 昭」、「4 平」、「5 令」と記載すること。

エ 電子レセプトによる請求を行う場合は、アによる姓名と別にカタカナによる姓名を記録することが望ましい。

(12) 「職務上の事由」欄について

船員保険の被保険者については、「1 職務上」、「2 下船後3月以内」又は「3 通勤災害」のうち該当するものを○で囲むこと。ただし、「1 職務上」及び「3 通勤災害」については、災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。共済組合の船員組合員については、下船後3月以内の傷病で職務上の取扱いとなる場合に「2 下船後3月以内」の番号を○で囲むこと。

なお、同一月に職務上の取扱いとなる傷病及び職務外の取扱いとなる傷病が生じた場合は、入院外分についてはそれぞれ1枚、入院分については、それぞれに係る診療が区分できない場合に限り職務上として1枚の診療報酬明細書の取扱いとすること。

電子計算機の場合は、番号と名称又は次の略号を記載することとしても差し支えないこと。

1 職上（職務上）、 2 下3（下船後3月以内）、 3 通災（通勤災害）

(13) 「特記事項」欄について

記載する略号をまとめると、以下のとおりであること。なお、電子計算機の場合はコードと略号を記載すること。

| コード | 略号 | 内 容  |
|-----|----|--|
| 01  | 公  | 医療保険単独の者及び後期高齢者医療単独の者に係る明細書で、「公費負担医療が行われる療養に係る高額療養費の支給について」（昭和48年10月30日付保発第42号、庁保発第26号）による公費負担医療が行われる療養に要する費用の額が、健康保険法施行令（大正15年勅令第243号）第42条及び高齢者の医療の確保に関する法律施行令（平成19年政令第318号。以下「高齢者医療確保法施行令」という。）第15条に規定する金額を超える場合 |
| 02  | 長  | 以下のいずれかに該当する場合<br>① 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出又は特定疾病療養受療証情報を提供した患者の負担額が、健康保険法施行令第42条第9項第1号に   |

|    |    |  |
|----|----|--|
|    |    | <p>規定する金額を超えた場合（ただし、患者が特定疾病療養受療証の提出又は特定疾病療養受療証情報の提供を行った際に、既に同号に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。）</p> <p>② 後期高齢者医療特定疾病療養受療証を提示又は後期高齢者医療特定疾病療養受療証情報を提供した患者の負担額が、高齢者医療確保法施行令第 15 条第 6 項に規定する金額を超えた場合（ただし、患者が後期高齢者医療特定疾病療養受療証の提示又は後期高齢者医療特定疾病療養受療証情報の提供を行った際に、既に同項に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。）</p> |
| 03 | 長処 | 慢性腎不全に係る自己連続携行式腹膜灌流（CAPD）を行っている患者に対して、同一月内の投薬を院外処方箋のみにより行い、保険医療機関では当該患者の負担額を受領しない場合  |
| 04 | 後保 | 公費負担医療のみの場合であって、請求点数を高齢者医療確保法の規定による医療の提供をする場合  |
| 07 | 老併 | 介護老人保健施設に入所中の患者の診療料を、併設保険医療機関において算定した場合（なお、同一月に同一患者につき、介護老人保健施設に入所中の診療と介護老人保健施設に入所中以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ別個の明細書に記載すること。）   |
| 08 | 老健 | 介護老人保健施設に入所中の患者の診療料を、併設保険医療機関以外の保険医療機関において算定した場合（なお、同一月に同一患者につき、介護老人保健施設に入所中の診療と介護老人保健施設に入所中以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ別個の明細書に記載すること。）  |
| 09 | 施  | 平成 18 年 3 月 31 日保医発第 0331002 号に規定する特別養護老人ホーム等に入所中の患者について診療報酬を算定した場合（なお、同一月に同一患者につき、特別養護老人ホーム等に赴き行った診療と、それ以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ明確に区分できるよう「摘要」欄に記載すること。）  |
| 10 | 第三 | 患者の疾病又は負傷が、第三者の不法行為（交通事故等）によって生じたと認められる場合  |
| 11 | 薬治 | 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養（平成 18 年厚生労働省告示第 495 号）第 1 条第 2 号の規定に基づく医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和 35 年法律第 145 号）（以下「医薬品医療機器等法」という。）に規定する治験（人体に直接使用される薬物に係るものに限る。）に係る診療報酬の請求である場合   |
| 12 | 器治 | 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第 1 条第 3 号の規定に基づく医薬品医療機器等法に規定する治験（機械器具等に係るものに限る。）に係る診療報酬の請求である場合  |
| 13 | 先進 | 地方厚生（支）局長に届け出て別に厚生労働大臣が定める先進医療を実施した場合（この場合にあつては、当該先進医療の名称及び当該先進医療について徴収した特別の料金の額を「摘要」欄の最上部に記載すること。）  |
| 14 | 制超 | 「診療報酬の算定方法」に規定する回数を超えて行った診療であって「保険外  |

|    |    |   |
|----|----|---|
|    |    | 併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」(平成18年厚生労働省告示第498号)の第7号の5に規定する診療(以下「制限回数を超えて行う診療」という。)に係る診療報酬の請求である場合(この場合にあつては、当該「制限回数を超えて行う診療」の名称、徴収した特別の料金及び回数を「摘要」欄へ記載すること。)   |
| 16 | 長2 | 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出又は特定疾病療養受療証情報を提供した患者の負担額が、健康保険法施行令第42条第9項第2号に規定する金額を超えた場合(ただし、患者が特定疾病療養受療証の提出又は特定疾病療養受療証情報の提供を行った際に、既に同号に規定する金額を超えて受領している場合であつて、現物給付化することが困難な場合を除く。)   |
| 21 | 高半 | 月の初日以外の日に75歳に到達し後期高齢者医療の被保険者となったことにより被用者保険の被保険者でなくなった者の被扶養者であった者又は月の初日以外の日に75歳に到達し後期高齢者医療の被保険者となったことにより国民健康保険組合の組合員でなくなった者の世帯に属する組合員以外の被保険者であった者(いずれも市町村国保に加入することになる。)であつて、当該後期高齢者医療の被保険者が75歳に到達した月に療養を受けた者(以下「自己負担限度額特例対象被扶養者等」という。)の場合  |
| 25 | 出産 | 平成23年1月31日保発0131第2号から4号までにより定める「「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」実施要綱」に基づき、直接支払制度を利用する者の出産に係る診療報酬請求である場合   |
| 26 | 区ア | 70歳未満で以下のいずれかに該当する場合<br>① 「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得901万円超)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(ア))が提示又は限度額適用認定証情報が提供された場合<br>② 「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得901万円超)の世帯」の適用区分(ア)の記載のある難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号。以下「難病法」という。)に基づく医療受給者証(以下「特定医療費受給者証」という。)、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合(特記事項「31」に該当する場合を除く。)<br>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合<br>① 「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得690万円以上)の世帯」の高齢受給者証若しくは後期高齢者医療被保険者証(一部負担金の割合(3割))の提示のみ又は高齢受給者証情報若しくは後期高齢者医療被保険者証情報の提供のみの場合<br>② 「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得690万円以上)の世帯」の適用区分(VI)の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合(特記事項「31」に該当する場合を除く。) |
| 27 | 区イ | 70歳未満で以下のいずれかに該当する場合  |

|    |    |   |
|----|----|---|
|    |    | <p>① 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（イ））が提示又は限度額適用認定証情報が提供された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下）の世帯」の適用区分（イ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合（特記事項「32」に該当する場合を除く。）</p> <p>70 歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅡ又は現役Ⅱ））が提示又は限度額適用認定証情報が提供された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅴ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合（特記事項「32」に該当する場合を除く。）</p>                              |
| 28 | 区ウ | <p>70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（ウ））が提示又は限度額適用認定証情報が提供された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の適用区分（ウ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合（特記事項「33」に該当する場合を除く。）</p> <p>70 歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 145 万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅠ又は現役Ⅰ））が提示又は限度額適用認定証情報が提供された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 145 万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅳ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合（特記事項「33」に該当する場合を除く。）</p> |
| 29 | 区エ | <p>70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（エ））が提示又は限度額適用認定証情報が提供された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円以下）の世帯」の適用区分（エ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特記事項「34」に該当する場合を除く。）</p>   |

|    |    |   |
|----|----|---|
|    |    | <p>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、課税所得 145 万円未満）の世帯」の高齢受給者証（一部負担金の割合（2割））の提示のみ又は高齢受給者証情報の提供のみの場合</p> <p>② 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、課税所得 145 万円未満）の世帯」の適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特記事項「34」に該当する場合を除く。）</p>   |
| 30 | 区オ | <p>70歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「低所得者の世帯」の限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（オ））が提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合</p> <p>② 「低所得者の世帯」の適用区分（オ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特記事項「35」に該当する場合を除く。）</p> <p>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「低所得者の世帯」の限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（Ⅰ又はⅡ））が提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合</p> <p>② 「低所得者の世帯」の適用区分（Ⅰ又はⅡ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合</p>                         |
| 31 | 多ア | <p>以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 70歳未満で「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 901 万円超）の世帯」の適用区分（ア）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であって、難病法による特定医療、特定疾患治療研究事業、小児慢性特定疾病医療支援又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に係る公費負担医療（入院に限る。）の自院における高額療養費の支給が直近12か月間において4月目以上である場合（以下「特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合」という。ただし、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業については、特記事項「34」及び同「35」に限る。）</p> <p>② 70歳以上で「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 690 万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅵ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）</p> |
| 32 | 多イ | <p>以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 70歳未満で「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険にあっては、旧</p>   |



|     |    |   |
|-----|----|---|
|     |    | <p>ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下) の世帯」の適用区分 (イ) の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合</p> <p>② 70 歳以上で「標準報酬月額 53 万～79 万円 (国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 380 万円以上) の世帯」の適用区分 (V) の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合 (小児慢性特定疾病医療支援を除く。)</p>  |
| 3 3 | 多ウ | <p>以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 70 歳未満で「標準報酬月額 28 万～50 万円 (国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下) の世帯」の適用区分 (ウ) の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合</p> <p>② 70 歳以上で「標準報酬月額 28 万～50 万円 (国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 145 万円以上) の世帯」の適用区分 (IV) の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合 (小児慢性特定疾病医療支援を除く。)</p>                       |
| 3 4 | 多エ | <p>以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 70 歳未満で「標準報酬月額 26 万円以下 (国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円以下) の世帯」の適用区分 (エ) の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合</p> <p>② 70 歳以上で「標準報酬月額 26 万円以下 (国民健康保険にあつては、課税所得 145 万円未満) の世帯」の適用区分 (III) の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合 (小児慢性特定疾病医療支援を除く。)</p> |
| 3 5 | 多才 | <p>70 歳未満で「低所得者の世帯」の適用区分 (オ) の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合</p>   |
| 3 6 | 加治 | <p>厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第 1 条第 3 号の 2 の規定に基づく医薬品医療機器等法に規定する治験 (加工細胞等 (医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則 (昭和 36 年厚生省令第 1 号) 第 275 条の 2 に規定する加工細胞等をいう。以下同じ。)) に係るものに限る。) に係る診療報酬の請求である場合</p>  |

|    |    |   |
|----|----|---|
| 37 | 申出 | 別に厚生労働大臣が定める患者申出療養（当該療養を適切に実施できるものとして厚生労働大臣に個別に認められた病院又は診療所において行われるものに限る。）を実施した場合（この場合にあつては、当該療養の名称及び当該療養について徴収した特別の料金の額を「摘要」欄の最上部に記載すること。）   |
| 38 | 医併 | 介護医療院に入所中の患者の診療料を、併設保険医療機関において算定した場合（なお、同一月に同一患者につき、介護医療院に入所中の診療と介護医療院に入所中以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ別個の明細書に記載すること。）   |
| 39 | 医療 | 介護医療院に入所中の患者の診療料を、併設保険医療機関以外の保険医療機関において算定した場合（なお、同一月に同一患者につき、介護医療院に入所中の診療と介護医療院に入所中以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ別個の明細書に記載すること。）  |
| 41 | 区力 | <p>後期高齢者医療で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））の提示のみ又は後期高齢者医療被保険者証情報の提供のみの場合</p> <p>② 課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特記事項「43」に該当する場合を除く。）</p>   |
| 42 | 区キ | <p>後期高齢者医療で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））の提示のみ又は後期高齢者医療被保険者証情報の提供のみの場合</p> <p>② 課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特記事項「44」に該当する場合を除く。）</p> |

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 4 3 | 多力 | 後期高齢者医療で課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）                                |
| 4 4 | 多キ | 後期高齢者医療で課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。） |

※ 「区力」、「区キ」、「多力」及び「多キ」については、令和 4 年 10 月 1 日から適用する。令和 4 年 9 月 30 日までの間は、後期高齢者医療にあっては従前どおり「区エ」及び「多エ」を使用されたい。

(14) 「保険医療機関の所在地及び名称」欄について

保険医療機関指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地及び名称を記載すること。この場合、所在地とともに、連絡先電話番号を記載することが望ましいものであること。

なお、外来診療料を算定する場合は、「（床）」の欄に、医療法の規定に基づき許可を受け、若しくは届出をし、又は承認を受けた病床（以下「許可病床」という。）のうち一般病床に係るものの数を記載すること。また、特定疾患療養管理料を算定する場合、病院である保険医療機関にあっては、「（床）」の欄に、許可病床の数を記載すること。また、月の途中において当該病床数を変更した場合は、当該欄には変更後の病床数（以下「病床数」という。）を記載し、「摘要」欄に変更日と変更前の病床数を記載すること。

(15) 「傷病名」欄について

ア 傷病名については、原則として、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」（令和 4 年 4 月 22 日付保発 0422 第 1 号）（本通知が改正された場合は改正後の通知によること。）別添 3 に規定する傷病名を用いること。別添 3 に規定する傷病名と同一の傷病でありながら名称が異なる傷病名については、「傷病名コードの統一の推進について」（令和 6 年 3 月 27 日医療課事務連絡）に取りまとめたので、これを参照し、原則として、傷病名コードに記載されたものを用いること。

イ 主傷病、副傷病の順に記載すること。主傷病については原則として1つ、副傷病については主なものについて記載することとし、主傷病が複数ある場合は、主傷病と副傷病の間を線で区切るなど、主傷病と副傷病とが区別できるようにすること。

ウ 薬剤料に係る所定単位当たりの薬価が175円以下の薬剤の投与又は使用の原因となった傷病のうち、健胃消化剤、鎮咳剤などの投与又は使用の原因となった傷病など、イに基づき記載した傷病名から判断して、その発症が類推できる傷病については、傷病名を記載する必要はないものとする。ただし、強心剤、糖尿病薬などの投与又は使用の原因となった傷病名についてはこの限りでないこと。

エ 傷病名が4以上ある場合には、「傷病名」欄の余白に順次番号を付し、傷病名を記載し、又は当該欄に記載しきれない場合は、「摘要」欄に順次番号を付して記載し、最終行の下に実線を引いてその他の記載事項と区別し、記載した傷病名に対応する診療開始日を、傷病名の右側（傷病名の右側に余白がない場合は、当該傷病名の次の行の行末）に記載すること。

オ 心身医学療法を算定する場合にあっては、例えば「胃潰瘍（心身症）」のように、心身症による当該身体的傷病の次に「（心身症）」と記載すること。

(16) 「診療開始日」欄について

ア 当該保険医療機関において、保険診療を開始した年月日を和暦により記載すること。ただし、「傷病名」欄が単一病名の場合であって請求に係る診療月において診療を開始し、かつ、同月中に治癒又は死亡したものについては、記載を省略しても差し支えないこと。

イ 同月中に保険種別等の変更があった場合には、その変更があった日を診療開始日として記載し、「摘要」欄にその旨を記載すること。

ウ 同一の患者に対する診療継続中に、当該保険医療機関において、開設者、名称、所在地等の変更があった場合については、当該保険医療機関の診療内容の継続性が認められて継続して保険医療機関の指定を受けた場合を除き、新たに保険医療機関の指定を受けた日を診療開始日として記載し、「摘要」欄にその旨を記載すること。

(17) 「転帰」欄について

治癒した場合には「治ゆ」の字句を、死亡した場合には「死亡」の字句を、中止又は転医の場合には「中止」の字句をそれぞれ○で囲むこと。

なお、2以上の傷病にわたる場合は「傷病名」欄の番号を付して「転帰」欄に区分して記載すること。

電子計算機の場合は、それぞれの傷病名と同じ行に「治ゆ」、「死亡」又は「中止」の字句を記載することとしても差し支えないこと。

(18) 「診療実日数」欄について

ア 「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険（健康保険、国民健康保険及び後期高齢者医療をいう。以下同じ。）、第1公費及び第2公費に係る診療実日数を記載すること。なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の診療実日数は、「公費①」の項に記載すること。

ただし、第1公費に係る診療実日数が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る診療実日数を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る診療実日数が第1公費に係る診療実日数と同じ場合は、第2公費に係る診療実日数の記載を省略しても差し支えないこと。

イ 入院外分については、診療を行った日数（小児科外来診療料、地域包括診療料、認知症地域

包括診療料、小児かかりつけ診療料、開放型病院共同指導料（Ⅰ）、退院時共同指導料 1 及びハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）を算定した日数並びに外来リハビリテーション診療料又は外来放射線照射診療料を算定した患者に対する、疾患別リハビリテーション又は放射線照射に係る初診料、再診料又は外来診療料が算定できない期間に行われた疾患別リハビリテーション、放射線照射、の日数を含む。）を記載すること。

ウ 患者又はその看護に当たっている者から電話等によって治療上の意見を求められて指示した場合（以下「電話等再診」という。）の実日数は 1 日として数えること。この場合、その回数を「摘要」欄に再掲すること。

なお、平成 30 年 3 月 31 日以前から継続的に情報通信機器を用いて行った診療について電話等再診を算定していた患者であって、平成 30 年度改定後も引き続き一連の診療として情報通信機器を用いて行った診療について電話等再診を算定する場合は、その旨を「摘要」欄に記載し、その回数と、それ以外で電話等再診を算定する場合の回数を、それぞれ「摘要」欄に記載すること。

エ 同一日に初診、再診（電話等再診を含む。）が 2 回以上行われた場合の実日数は、1 日として数えること。

なお、この場合、その回数を「摘要」欄に再掲すること。

オ 入院分については、入院日数を記載すること。

なお、入退院日は、それぞれ 1 日として数えること。

カ (16) のアのただし書きの場合、診療開始日の記載を省略しても差し支えないが、この場合においても、診療実日数は記載するものであること。

キ 同一日に複数科を受診した場合の初診料・再診料・外来診療料を算定しない科に係る診療実日数については、初診料・再診料・外来診療料を算定しない日を含め実際に診療を行った日数を記載するものとする。

ク 小児特定疾患カウンセリング料のロ、外来栄養食事指導料、集団栄養食事指導料、在宅療養指導料、がん患者指導管理料のロ若しくはハ、乳腺炎重症化予防ケア・指導料、退院時共同指導料 1、外来排尿自立指導料、傷病手当金意見書交付料、療養費同意書交付料、精神科退院時共同指導料 1、在宅がん医療総合診療料、在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料、在宅患者訪問点滴注射管理指導料、在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料、訪問看護指示料、介護職員等喀痰吸引等指示料、在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者訪問栄養食事指導料、精神科訪問看護・指導料又は精神科訪問看護指示料を算定した同一日に医師の診療が行われない場合は、実日数として数えないこと。

ケ 初診又は再診に附随する一連の行為とみなされる次に掲げるような場合は、当該行為を行った日は実日数として数えないこと。

(ア) 初診又は再診時に行った検査、画像診断の結果のみを後日聞きに来た場合

(イ) 往診等の後に薬剤のみを後日取りに来た場合

(ウ) 初診又は再診の際検査、画像診断等の必要を認めたが、一旦帰宅し、後日検査、画像診断等を受けに来た場合

コ 初診、再診又は在宅医療において、患者の診療を担う保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日に訪問看護ステーション等の看護師等が、当該患者に対し点滴又は処置等を実施した場合について、これに用いた薬剤又は特定保険医療材料が使用された日は実日数として数えないこと。また、当該患者に対し検査のための検体採取等を実施した場合について、当該

検体採取が実施された日は実日数として数えないこと。

(19) 「点数」欄について

ア 診療行為等の名称又は略称、所定点数、回数及び合計点数を記載すること。「×」がない場合及び「×」があっても算定した所定点数が複数の場合は、所定点数及び回数の記載は省略して差し支えないこと。なお、「回」、「単位」又は「日間」がない場合は合計点数のみとすること。

イ 「点数」欄に記載すべき診療行為等の名称又は略称、回数、所定点数その他の事項を欄内に書ききれない等の場合は、それらの事項を「摘要」欄に記載すること。なお、それ以外の場合も、それらの事項を「摘要」欄に記載することは差し支えないこと。

ウ 公費負担医療のみの場合であっても、当月診療に係るすべての回数及び点数を記載すること。感染症法による結核患者の適正医療と生活保護法による医療扶助との併用の場合は、生活保護法による医療扶助に係る診療内容が該当するものであること。

(20) 「初診」、「再診」、「医学管理」、「在宅」、「投薬」、「注射」、「処置」、「手術・麻酔」、「検査・病理」、「画像診断」、「その他」及び「入院」欄について

ア 通則

各欄又は「摘要」欄への診療行為等の名称（以下この項において単に「名称」という。）、回数及び点数の記載方法は、次のイからシまでのとおりであること。また、名称、回数及び点数以外の「摘要」欄に記載する事項等は次のとおりであること。ただし、（ウ）に掲げる別表Ⅲについては、診療報酬の算定方法第一号ただし書に規定する厚生労働大臣が指定する病院からの電子レセプト請求による場合に限るものとする。

（ア）別表Ⅰ「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（医科）」

（イ）別表Ⅱ「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（薬価基準）」

（ウ）別表Ⅲ「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（検査値）」

なお、電子レセプトによる請求の場合、別表Ⅰから別表Ⅲまでの「レセプト電算処理システム用コード」欄にコードが記載された項目については、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格」に基づき、該当するコードを選択すること。ただし、別表Ⅰから別表Ⅲにおいて、令和6年6月1日適用の旨が表示されたコードについては、令和6年10月診療分以降に選択するものとして差し支えないこと。

書面による請求を行う場合においては、名称について、別表Ⅳ「診療行為名称等の略号一覧（医科）」に示す略号を使用して差し支えないこと。

イ 「初診」欄について

（ア）診療時間内の初診の場合には回数及び点数を記載し、時間外、休日又は深夜に該当する場合は、該当する文字を○で囲み、その回数及び点数を記載すること。

また、時間外加算の特例を算定した場合は、通常的时间外加算と同様に記載するとともに「摘要」欄に名称を、小児科を標榜する保険医療機関における夜間、休日又は深夜加算の特例を算定した場合は、通常的时间外、休日又は深夜加算と同様に記載するとともに「摘要」欄に名称を、夜間・早朝等加算を算定した場合は、通常的时间外加算と同様に記載するとともに「摘要」欄に名称をそれぞれ記載すること。

（イ）6歳未満の乳幼児に対し初診を行った場合は、当該加算を加算した点数を記載し、乳幼児加算等の表示は必要がないこと。

- (ウ) 機能強化加算、外来感染対策向上加算、発熱患者等対応加算、連携強化加算、サーベイランス強化加算、抗菌薬適正使用体制加算、医療情報取得加算、医療DX推進体制整備加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

#### ウ 「再診」欄について

- (ア) 外来診療料については、本欄に所要の事項を記載すること。
- (イ) 再診及び外来管理加算の項には、回数及び合計点数を記載すること。
- (ウ) 時間外、休日、深夜の項には、それぞれの回数及び加算点数を別掲すること。また、時間外加算の特例を算定した場合は通常的时间外加算と同様に記載するとともに「摘要」欄に名称を、小児科を標榜する保険医療機関における夜間、休日又は深夜加算の特例を算定した場合は、通常的时间外、休日又は深夜加算と同様に記載するとともに「摘要」欄に名称を、夜間・早朝等加算を算定した場合は通常的时间外と同様に記載するとともに「摘要」欄に名称をそれぞれ記載すること。
- (エ) 乳幼児加算を算定した場合は、再診の項に再診料に当該加算を加算した点数を記載し、乳幼児加算の表示は必要がないこと。
- (オ) 時間外対応加算、明細書発行体制等加算、地域包括診療加算、認知症地域包括診療加算、薬剤適正使用連携加算、外来感染対策向上加算、発熱患者等対応加算、連携強化加算、サーベイランス強化加算、抗菌薬適正使用体制加算、医療情報取得加算、看護師等遠隔診療補助加算を算定した場合には、再診の項に当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

#### エ 「医学管理」欄について

- (ア) 名称、回数及び点数を記載すること。
- (イ) 小児科外来診療料、地域包括診療料、認知症地域包括診療料、小児かかりつけ診療料又は外来腫瘍化学療法診療料を算定した場合において、初診料、再診料若しくは外来診療料の時間外加算、休日加算、深夜加算、時間外加算の特例、小児科を標榜する保険医療機関における夜間、休日若しくは深夜加算の特例、機能強化加算、医療情報取得加算又は医療DX推進体制整備加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数及び回数を記載すること。

#### オ 「在宅」欄について

- (ア) 往診の項、夜間の項又は深夜・緊急の項については、それぞれ、通常の往診、夜間若しくは休日の往診又は深夜若しくは緊急の往診の回数と点数を記載すること。  
往診の在宅ターミナルケア加算を算定した場合は、当該加算点数を記載し、「往診」の字句の次に名称を記載すること。また、看取り加算を算定した場合は、当該加算点数を記載すること。
- (イ) 特別往診料を算定する場合には、往診の字句の左に「特」、その内訳の最後尾に「波浪」、「滞在」又は「波浪・滞在」と記載し、所定点数（往診料の項に定める基本点数に「注1」、「注2」及び「注3」の点数を加算した点数）と特別加算点数（波浪及び滞在に対する加算点数）とを併記すること。
- (ウ) 在宅患者訪問診療の項については、回数及び総点数を記載するほか、次によること。
- ① 同一の患者について、同一月内に、在宅患者訪問診療料(I)の「1」のイ、ロ、「2」

のイ、ロ又は在宅患者訪問診療料(Ⅱ)のうち複数算定する場合には、在宅患者訪問診療の項には総点数を記載し、「摘要」欄にその内訳(それぞれの名称、回数及び総点数)を記載すること。また、乳幼児加算又は幼児加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載すること。

② 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)の在宅ターミナルケア加算のイ若しくはロを算定した場合は、在宅患者訪問診療料(Ⅱ)の在宅ターミナルケア加算を算定した場合は、当該加算点数を記載し、「在宅患者訪問診療」の字句の次にそれぞれ名称を記載すること。また、看取り加算を算定した場合は、当該加算点数を記載すること。

③ 患者との直線距離が16kmを超えた場合又は海路の場合であって、特殊の事情があったときの在宅患者訪問診療料(Ⅰ)を算定する場合には、在宅患者訪問診療の字句の左に「特」、その内訳の最後尾に「波浪」、「滞在」又は「波浪・滞在」と記載し、所定点数に在宅患者訪問診療料(Ⅰ)の「注4」から「注8」までの点数を加算した点数と特別加算点数(波浪及び滞在に対する加算点数)とを併記すること。

(エ) 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料を算定した場合は、その他の項に名称を記載すること。なお、頻回訪問加算、在宅移行早期加算、在宅療養移行加算、包括的支援加算、在宅データ提出加算又は在宅医療情報連携加算を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。

また、在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の100分の80に相当する点数を算定する場合は、名称及び点数を記載すること。

(オ) 在宅がん医療総合診療料を算定した場合は、その他の項に名称、日数及び点数を記載すること。なお、小児加算、在宅データ提出加算、在宅医療DX情報活用加算又は在宅医療情報連携加算を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。

(カ) 救急搬送診療料、救急患者連携搬送料、在宅患者訪問点滴注射管理指導料、在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料、訪問看護指示料、特別訪問看護指示加算、手順書加算、衛生材料等提供加算、介護職員等喀痰吸引等指示料、在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者訪問栄養食事指導料、在宅患者連携指導料、在宅患者緊急時等カンファレンス料、在宅患者共同診療料、在宅患者訪問褥瘡管理指導料、外来在宅共同指導料又は在宅がん患者緊急時医療情報連携指導料を算定した場合は、その他の項に名称、回数(単位数)及び総点数を記載すること。

在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料(注の加算を含む。)を算定した場合は、名称、回数及び総点数を記載すること。

難病等複数回訪問加算、在宅ターミナルケア加算のイ若しくはロ又は同一建物居住者ターミナルケア加算のイ若しくはロを算定した場合は、当該加算点数を記載し、「訪問看護」の字句の次にそれぞれ名称を記載すること。

在宅移行管理加算又は在宅移行管理重症者加算を算定した場合は、所定点数に当該加算を加算した点数を記載し、「訪問看護」の字句の次に名称を記載すること。

夜間・早朝訪問看護加算又は深夜訪問看護加算を算定した場合は、所定点数に当該加算を加算した点数を記載し、「訪問看護」の字句の次に名称を記載すること。

遠隔死亡診断補助加算又は訪問看護医療DX情報活用加算を算定した場合は、所定点数に当該加算を加算した点数を記載し、「訪問看護」の字句の次に名称を記載すること。

(キ) 在宅自己注射指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び所定点数を記載する



こと。血糖自己測定器加算、注入器加算、間歇注入シリンジポンプ加算、持続血糖測定器加算の「1」、持続血糖測定器加算の「2」又は注入器用注射針加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅自己注射に用いる薬剤を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。

- (ク) 在宅小児低血糖症患者指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び所定点数を記載すること。また、血糖自己測定器加算を算定した場合は名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ケ) 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び所定点数を記載すること。また、血糖自己測定器加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (コ) 在宅自己腹膜灌流指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、紫外線殺菌器加算又は自動腹膜灌流装置加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅自己連続携帯式腹膜灌流に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (サ) 在宅血液透析指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、透析液供給装置加算を算定した場合は、併せて名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅血液透析指導管理料に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (シ) 在宅酸素療法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。

なお、酸素ポンベ加算、酸素濃縮装置加算、液化酸素装置加算、呼吸同調式デマンドバルブ加算、在宅酸素療法材料加算又は遠隔モニタリング加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。また、酸素ポンベ加算及び液化酸素装置加算について携帯用又は携帯型を用いた場合は、併せて名称を記載すること。

- (ス) 在宅中心静脈栄養法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅中心静脈栄養法用輸液セット加算又は注入ポンプ加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅中心静脈栄養法に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (セ) 在宅成分栄養経管栄養法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅経管栄養法用栄養管セット加算又は注入ポンプ加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅経管栄養法に用いる薬剤を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (ソ) 在宅小児経管栄養法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅経管栄養法用栄養管セット加算又は注入ポンプ加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅小児経管栄養法に用いる薬剤を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (タ) 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅経管栄養法用栄養管セット加算を算定した場合は、併せて名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅半固形栄養経管栄養法に用いる薬剤を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (チ) 在宅自己導尿指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。

- と。特殊カテーテル加算の「1」、特殊カテーテル加算の「2」、特殊カテーテル加算の「3」又は携帯型精密ネブライザ加算を算定した場合は、併せて名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅自己導尿に用いる薬剤を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (ツ) 在宅人工呼吸指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。人工呼吸器加算のうち、陽圧式人工呼吸器、鼻マスク・顔マスクを介した人工呼吸器又は陰圧式人工呼吸器を使用した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。また、排痰補助装置加算又は横隔神経電気刺激装置加算を算定した場合は併せて名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (テ) 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算の「1」、「2」、在宅持続陽圧呼吸療法材料加算又は遠隔モニタリング加算を算定した場合は、併せて名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ト) 在宅ハイフローセラピー指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅ハイフローセラピー材料加算又は在宅ハイフローセラピー装置加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。在宅ハイフローセラピー指導管理に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (ナ) 在宅麻薬等注射指導管理料、在宅腫瘍化学療法注射指導管理料、在宅強心剤持続投与指導管理料又は在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。携帯型ディスプレイ注入ポンプ加算又は注入ポンプ加算を算定した場合は、併せてそれぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。当該指導管理に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (ニ) 在宅寝たきり患者処置指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅寝たきり患者処置に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (ヌ) 在宅自己疼痛管理指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、疼痛等管理用送信器加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ネ) 在宅振戦等刺激装置治療指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、疼痛等管理用送信器加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。導入期加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ノ) 在宅迷走神経電気刺激治療指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、疼痛等管理用送信器加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。導入期加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ハ) 在宅仙骨神経刺激療法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。
- (ヒ) 在宅舌下神経電気刺激療法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を

記載すること。

- (フ) 在宅肺高血圧症患者指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、携帯型精密輸液ポンプ加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ヘ) 在宅気管切開患者指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、気管切開患者用人工鼻加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ホ) 在宅喉頭摘出患者指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。
- (マ) 在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅難治性皮膚疾患処置に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (ミ) 在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料に用いる特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (ム) 在宅経腸投薬指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、経腸投薬用ポンプ加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (メ) 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。在宅腫瘍治療電場療法に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、薬剤の項に総点数を記載すること。
- (モ) 在宅経肛門的自己洗腸指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。また、在宅経肛門的自己洗腸用材料加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。導入初期加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ヤ) 在宅中耳加圧療法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。
- (ユ) 在宅抗菌薬吸入療法指導管理料を算定した場合は、その他の項に名称及び点数を記載すること。導入初期加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。また、在宅抗菌薬吸入療法用ネブライザ加算を算定した場合は、名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ヨ) 在宅療養指導管理料のいずれかの所定点数に併せて他の在宅療養指導管理材料加算のみを算定した場合は、その他の項に(キ)から(ユ)まで((二)、(ハ)、(ヘ)、(ホ)から(ミ)まで、(メ)及び(ヤ)を除く。)に掲げる当該加算の名称を記載し、当該加算点数を記載すること。
- (ラ) 退院前在宅療養指導管理料を算定した場合は、名称及び点数を記載すること。また、乳幼児加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載すること。なお、退院前在宅療養指導管理に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、その点数を記載すること。
- (リ) 入院中の患者に対して、救急搬送診療料を算定した場合は、(カ)の例により記載すること。また、入院中の患者に対して退院の日に在宅療養指導管理料を算定した場合は、「退

院時在宅指導」と記載した上で(キ)から(ユ)までの例により記載すること。

(ル) 施設入所者自己腹膜灌流薬剤料を算定した場合は、「在宅」欄に名称及び総点数を記載すること。

(レ) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第2条第15号に基づき、選定療養として長期収載品を処方等した場合の記載については、カの(エ)の例によること。

#### カ 「投薬」欄について

##### (ア) 入院分について

① 内服薬及び浸煎薬を投与した場合は内服の項に、屯服薬を投与した場合は屯服の項に、外用薬を投与した場合は外用の項にそれぞれの調剤単位数及び薬剤料の総点数を記載し、その内訳については、「摘要」欄に所定単位当たりの薬剤名、投与量及び投与日数等を記載すること。

また、調剤料を算定する場合は、調剤の項に日数及び点数を記載すること。

② 薬剤名、規格単位(%又はmg等)及び投与量を「摘要」欄に記載すること。

ただし、医事会計システムの電算化が行われていないものとして地方厚生(支)局長に届け出た保険医療機関(以下「届出保険医療機関」という。)については、薬剤料に掲げる所定単位当たりの薬価が175円以下の場合は、薬剤名、投与量等を記載する必要はないものとする。

なお、複数の規格単位のある薬剤について最も小さい規格単位を使用する場合は、規格単位は省略して差し支えない。

③ 麻薬、向精神薬、覚醒剤原料又は毒薬を処方調剤した場合は、麻毒の項に日数及び点数を記載すること。

④ 調剤技術基本料を算定した場合は、調基の項に所定点数を記載すること。なお、院内製剤加算を算定した場合は、調基の項に名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。

##### (イ) 入院外分について

① 内服薬及び浸煎薬を投与した場合は内服の「薬剤」の項に、屯服薬を投与した場合は屯服の項に、外用薬を投与した場合は外用の「薬剤」の項にそれぞれの薬剤料の所定単位による総投与単位数と総点数を記載し、その内訳については、「摘要」欄に所定単位当たりの薬剤名、投与量及び投与日数等を記載すること。

② 内服の「調剤」の項には内服薬、浸煎薬及び屯服薬の投与回数及び点数を、外用の「調剤」の項には、外用薬の投与回数及び点数を記載すること。

③ 処方の項は、処方箋を交付しない場合において処方回数及び点数を記載すること。

④ 薬剤名、規格単位(%又はmg等)及び投与量を「摘要」欄に記載すること。

ただし、届出保険医療機関については、薬剤料に掲げる所定単位当たりの薬価が175円以下の場合は、薬剤名、投与量等を記載する必要はないものとする。

なお、複数の規格単位のある薬剤について最も小さい規格単位を使用する場合は、規格単位は省略して差し支えない。

⑤ 1回の処方において、抗不安薬を3種類以上、睡眠薬を3種類以上、抗うつ薬を3種類以上、抗精神病薬を3種類以上又は抗不安薬及び睡眠薬を4種類以上投与した場合であって、薬剤料(抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬及び抗精神病薬に係るものに限る。)を

所定点数の100分の80に相当する点数で算定した場合は、「摘要」欄に、薬剤名の下に算定点数を記載（合計点数のみを記載）し又は算定点数から所定点数の合計を控除して得た点数を△書きにより記載し、その区分の前に「精減」と表示すること。

- ⑥ 常態として、内服薬7種類以上を処方し、薬剤料を所定点数の合計の100分の90に相当する点数で算定した場合は、「摘要」欄の当該処方に係る薬剤名を区分して記載するとともに、薬剤名の下に算定点数を記載（合計点数のみを記載）し又は算定点数から所定点数の合計を控除して得た点数を△書きにより記載し、その区分の前に「減」と表示すること。
- ⑦ また、初診料の注2、注3又は外来診療料の注2、注3を算定する保険医療機関において投与期間が30日以上を処方し、薬剤料を所定点数の合計の100分の40に相当する点数で算定した場合は、「摘要」欄の当該処方に係る薬剤名を区分して記載するとともに、薬剤名の下に算定点数を記載（合計点数のみを記載）し又は算定点数から所定点数の合計を控除して得た点数を△書きにより記載し、その区分の前に「減」と表示すること。
- ⑧ 麻薬、向精神薬、覚醒剤原料又は毒薬を処方調剤した場合は、麻毒の項に処方回数及び点数を記載すること。
- ⑨ 調剤技術基本料を算定した場合は、調基の項に所定点数を記載すること。
- ⑩ 乳幼児加算を算定した場合は、処方の項に当該加算を加算した点数を記載すること。この場合、乳幼児加算の表示は必要がないこと。
- ⑪ 特定疾患処方管理加算を算定した場合は、処方の項に当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称、回数及び点数を記載すること。
- ⑫ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算を算定した場合は、処方の項に当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。
- ⑬ 外来後発医薬品使用体制加算1、2又は3を算定した場合は、処方の項に当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。
- ⑭ 向精神薬調整連携加算を算定した場合は、処方の項に当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。
- (ウ) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第4号又は第6号に係る医薬品を投与した場合は、次の例により「摘要」欄に「薬評」と記載し、当該医薬品名を他の医薬品と区別して記載すること。

〔記載例〕

|                |     |       |
|----------------|-----|-------|
| ラシックス錠 20 mg   | 1 錠 |       |
| アルダクトンA錠 25 mg | 1 錠 | 2 × 5 |
| リピトール錠 10 mg   | 1 錠 | 3 × 5 |

(薬評)

エフピーOD錠 2.5

- (エ) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第2条第15号に基づき、長期収載品を選定療養として処方した場合（処方箋を交付する場合を除く。）は、当該医薬品名の後に「(選)」を記載し、所定単位につき、選定療養に係る額を除いた薬価を用いて算出した点数を記載すること。

〔記載例〕

|         |    |      |
|---------|----|------|
| ●●●錠（選） | 1錠 |      |
| △△△錠    | 1錠 | 17×5 |

また、長期収載品について、医療上の必要性があるため「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載して処方箋を交付する場合は、理由について、今後、別表Ⅰに示す項目を参照して記載すること。

#### キ 「注射」欄について

(ア) 外来化学療法加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称及び算定回数を記載すること。

(イ) 皮内、皮下及び筋肉内注射、及び静脈内注射を行った場合は、皮下筋肉内及び静脈内の項に、その他の注射を行った場合は、その他の項に、注射の種類を記して、それぞれ回数及び点数を記載し、その内訳については、「摘要」欄に所要単位当たりの使用薬剤の薬名、使用量及び回数等を記載すること。

なお、注射の手技料を包括する点数を算定するに当たって、併せて当該注射に係る薬剤料を算定する場合は、「注射」欄及び「摘要」欄に同様に記載すること。

(ウ) 点滴注射及び中心静脈注射に係る血漿成分製剤加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

(エ) 皮内、皮下及び筋肉内注射、及び静脈内注射等については、入院外分はそれぞれ1回分ごとに、入院分はそれぞれ1日分ごとに、点滴注射及び中心静脈注射等については1日分ごとに、使用した薬名、規格単位（%、mL又はmg等）及び使用量を「摘要」欄に記載すること。

ただし、届出保険医療機関については、注射の各手技料の算定単位（1回又は1日）当たりの薬価が175円以下の場合は、使用薬剤の薬名、使用量等を記載する必要はないものとする。

なお、複数の規格単位のある薬剤について最も小さい規格単位を使用する場合は、規格単位は省略して差し支えない。

(オ) 特別入院基本料を算定している病棟を有する病院に入院している患者であって入院期間が1年を超えるものに対する同一月の投薬に係る薬剤料と注射に係る薬剤料とを合算して得た点数が上限点数を超える場合は、当該上限点数から合算点数を控除して得た点数を「注射」欄のその他の項の「摘要」欄に「その他薬剤」と表示して△書きにより記載し、その合計点数をその他の項に記載すること。

(カ) 特定保険医療材料を使用した場合は、クの(イ)の例により「摘要」欄に記載すること。

(キ) 乳幼児加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載すること。この場合、乳幼児加算の表示は必要がないこと。

(ク) 無菌製剤処理料の「1」又は「2」を算定した場合は、「摘要」欄にそれぞれ名称及び算定回数を記載すること。

(ケ) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第4号又は第6号に係る医薬品を投与した場合は、カの(ウ)の例により「摘要」欄に「薬評」と記載し、当該医薬品名を他の医薬品と区別して記載すること。

(コ) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第2条第15号に基づき、選定療養として長期収載品を処方等した場合の記載については、カの(エ)の例によること。

ク 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄について

- (ア) 処置又は手術については、名称（処置名又は手術名）、回数及び点数を、麻酔については、麻酔の種類、回数及び点数を記載すること。麻酔を処置又は検査・画像診断に伴って行った場合は、当該処置又は検査・画像診断の種類を「摘要」欄に記載すること。対称器官の両側に対し、処置又は手術（ともに片側の点数が告示されているものに限る。）を行った場合は、左右別にそれぞれ処置名又は手術名、回数及び点数を記載すること。
- (イ) 麻酔等（麻酔に伴う前処置を含む。）に伴って薬剤を使用した場合は、それぞれ使用した薬剤総量の薬価が15円を超えるものについては、個々の処置、手術又は麻酔ごとに、当該薬価から15円を控除して算定した点数を薬剤の項に記載し、使用した薬剤の薬名、規格単位（%、mL又はmg等）及び使用量を個々の処置、手術及び麻酔別に「摘要」欄に記載すること。ただし、神経破壊剤については、薬価にかかわらず使用した薬剤の薬名及び規格単位を「摘要」欄に記載すること。麻酔中のショック等に対する治療等に伴う薬剤については、注射等当該治療等の該当欄に記載すること。また、処置等に伴って使用した酸素又は窒素の費用を請求する場合は、地方厚生（支）局長に届け出た単価（単位 円・銭）（酸素のみ）及び当該請求に係る使用量（単位 リットル）を「摘要」欄に、手術等において特定保険医療材料等を使用した場合は、「摘要」欄にそれぞれ以下のように記載すること（酸素について、複数の単価で請求する場合は、単価ごとに、単価及び使用量を記載すること。）。
- a 手術、処置、検査等の名称は告示名又は通知名を使用する。
  - b 手術、処置、検査等の手技料については、必ず点数を明記する。
  - c 材料は商品名及び告示の名称又は通知の名称、規格又はサイズ、材料価格及び使用本数又は個数の順に記載する。  
なお、告示の名称又は通知の名称については（ ）書きとすること。
  - d 保険医療機関における購入価格によるものとなっているものは、定価ではなく保険医療機関が実際に購入した価格で請求すること。
  - e 処置、手術等の名称、手技の加算、処置（手術）医療機器等加算、薬剤、特定保険医療材料等の順に処置、手術等ごとに記載すること。

〔記載例〕

例1 手術以外に使用された特定保険医療材料等

- ①処置名 人工腎臓 4 その他の場合  
手技の加算 導入期加算 1 1, 580×1
- ②薬剤料 使用薬剤 点数×1
- ③特定保険医療材料〔商品名〕○○○○ 1. 4㎡  
(ダイアライザー (Ia型)) 1, 440円 1個  
144×1

例2 手術に使用された特定保険医療材料

- (1) ③特定保険医療材料〔商品名〕○○○○  
(ペースメーカー (デュアルチャンバ (IV型)) 561, 000円) 1個  
56, 100×1
- (2) ③特定保険医療材料〔商品名〕△△△△  
(輸血用血液フィルター (微小凝集塊除去用) 2, 500円) 1個

- f 酸素の費用に係る請求については、地方厚生（支）局長に届け出た液化酸素（CE、LGC）、酸素ボンベ（大型、小型）の酸素区分、当該請求に係る単価及び使用量並びに補正率を以下の例により記載すること。

〔記載例（単価0.19円の場合の酸素購入価格）〕

|               |       |        |
|---------------|-------|--------|
| 処置名           | 酸素吸入  | 65 × 1 |
| 酸素の加算（液化酸素CE） |       | 7 × 1  |
| （請求単価）        | （使用量） | （補正率）  |

$$(0.19円 \times 300 \text{リットル} \times 1.3) \div 10 = 7 \text{点}$$

（注）（ ）において端数整理を行った後、10円で除して再度端数整理を行うこと。

- (ウ) 処置の手技料を包括する点数を算定するに当たって併せて当該処置に係る材料、薬剤等の費用を算定する場合は、「処置」欄及び「摘要」欄に(イ)の例により記載すること。
- (エ) 輸血を行った場合は、回数、点数、その他必要な事項を記載すること。なお、輸血に当たって使用した生血、自己血、保存血の別に1日の使用量及び原材料として使用した血液の総量並びに薬剤について、その薬名、使用量の内訳及び加算点数を「摘要」欄に記載すること。輸血に当たって、血液交叉試験等の加算を行った場合は、「摘要」欄にその旨を記載すること。輸血管理料を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。
- (オ) 時間外加算、休日加算、深夜加算又は時間外加算の特例を算定した場合は、加算して得た点数を「点数」欄に記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。
- (カ) 処置の新生児・乳児・乳幼児（6歳未満）加算、麻酔の未熟児・新生児・乳児・幼児（1歳以上3歳未満）加算を算定した場合は、加算して得た点数を「点数」欄に記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。
- (キ) 手術の1,500グラム未満の児・新生児（1,500グラム未満の児を除く。以下この項において同じ。）・乳幼児（3歳未満）・幼児（3歳以上6歳未満）加算を算定した場合は、加算して得た点数を「点数」欄に記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。
- (ク) HIV抗体陽性の患者に対して観血的手術を行った場合は、観血的加算を算定した旨の表示は省略すること。
- (ケ) 人工腎臓について導入期加算を算定した場合は、加算して得た点数を「点数」欄に記載すること。

障害者等加算又は透析液水質確保加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載の上、当該加算を加算した点数を「点数」欄に記載すること。

- (コ) 生体腎移植術を行った場合は、「手術・麻酔」欄の余白に「腎」と、生体部分肺移植術を行った場合は「肺」と表示して腎提供者又は肺提供者の療養上の費用に係る点数及び食事に要した費用の額を10円で除して得た点数につき1点未満の端数を四捨五入して得た点数を合算した点数を記載すること。

この場合、食事に要した費用の額については、「入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準」（平成18年厚生労働省告示第99号）の別表「食事療養及び生活療養の費用額算定表」による額とすること。

また、腎提供者又は肺提供者の療養上の費用に係る点数を記載した明細書（氏名、保険者番号及び被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号を除いたもの）を「摘要」欄に添付すること。



造血幹細胞移植のうち同種移植を行った場合、皮膚移植術（生体・培養）を行った場合、生体部分肝移植を行った場合又は生体部分小腸移植術を行った場合においては、「手術・麻酔」欄の余白にそれぞれ「造」、膚、「肝」又は小と表示するほか、生体腎の移植と同様に記載し、明細書の添付を行うこと。

- (サ) 連続携帯式腹膜灌流について導入期加算を算定した場合は、加算して得た点数を「点数」欄に記載すること。
- (シ) 180日を超える期間通算対象入院料を算定している患者であって厚生労働大臣が定める状態にあるもの（「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」（平成18年厚生労働省告示第498号）第九のトに該当する患者）について胸腔穿刺又は腹腔穿刺を算定した場合は、「処置」欄に洗浄と表示して回数及び合計点数を記載すること。
- (ス) 「複数手術に係る費用の特例を定める件」（平成30年厚生労働省告示第72号）に規定する複数手術を同時に行った場合は、「摘要」欄に従たる手術の名称を「（併施）」を付して記載し、所定点数の100分の50に相当する点数を記載すること。
- (セ) マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を算定した場合には、各区分ごとの麻酔時間を「摘要」欄に記載すること。
- (ソ) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第2条第11号に規定する「白内障に罹患している患者に対する水晶体再建に使用する眼鏡装用率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズの支給」に係る診療報酬の請求を行う場合については、その旨を「摘要」欄へ記載すること。

#### ケ 「検査・病理」欄について

- (ア) 名称（検査・病理診断名）、回数及び点数を記載すること。所定点数の100分の90に相当する点数により算定する場合は、検査名の右に減と表示し、他と分けて記載すること。検査に当たって薬剤を使用した場合は、薬剤の項に点数を記載し、薬名及び使用量については「摘要」欄に記載すること。  
また、特定保険医療材料を使用した場合は、クの(イ)の例により「摘要」欄に記載すること。
- (イ) 時間外緊急院内検査加算を算定した場合には、加算点数として得た点数を「点数」欄に記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。また、特殊染色加算、嫌気性培養加算、血管内超音波加算、血管内光断層撮影加算、冠動脈血流予備能測定検査加算、血管内視鏡検査加算、心腔内超音波検査加算、超音波内視鏡検査加算、大腿骨同時撮影加算、広角眼底撮影加算、小児矯正視力検査加算、狭帯域光強調加算、バルーン内視鏡加算、内視鏡的留置術加算、粘膜点墨法加算、ガイドシース加算、CT透視下気管支鏡検査加算又は顕微内視鏡加算を算定した場合は、それぞれ名称及び当該加算を加算した点数を記載すること。
- (ウ) 外来迅速検体検査加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を「点数」欄に記載するとともに、「摘要」欄に名称を記載すること。また、外来診療料を算定した場合であって、当該診療料に包括される検査のみに対して当該加算を算定した場合は、加算点数のみを「点数」欄に記載するとともに、「摘要」欄に名称を記載すること。
- (エ) 検体検査判断料、病理診断料又は病理判断料を算定した場合には、判断料等の区分名、名称及び所定点数を「点数」欄に記載すること。また、生体検査料の各判断料を算定した場合は、検体検査判断料と同様に記載すること。
- (オ) 出血・凝固検査、血液化学検査、内分泌学的検査、腫瘍マーカーに掲げる検査（「制限

回数を超えて行う診療」に係るものを除く。) 、肝炎ウイルス関連検査又は自己抗体検査 (これらの所定点数を準用する場合を含む。) をそれぞれ多項目の包括の規定を適用して算定した場合であっても、回数と点数を「点数」欄に記載し、「摘要」欄にそれらの検査名又は略称を他の検査と区別して記載すること。これらの所定点数を準用する場合は、準用した旨を記載し、当該項目数を内訳として示すこと。例えば尿と血液を用いてそれぞれ生化学的検査(I)に掲げる項目について検査を行った場合は、判断料については「判生I」と表示し、「摘要」欄に項目名、項目数を尿を用いて行った検査、血液を用いて行った検査に分けて記載し、合計項目数も記載すること。

- (力) 基本的検体検査実施料を算定した場合は、名称を記載し、入院日数(外泊期間を除く。)及び点数を次の例により「点数」欄に記載すること。

〔記載例〕

|   |        |
|---|--------|
| <span style="border: 1px solid black;">基</span> 検 (15日) | 2, 100 |
| <span style="border: 1px solid black;">判</span> 基       | 604    |

- (キ) 検体検査管理加算(I)、(II)、(III)又は(IV)を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。また、遺伝カウンセリング加算、遺伝性腫瘍カウンセリング加算、骨髄像診断加算、免疫電気泳動法診断加算又は国際標準検査管理加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

- (ク) 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製について、確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、標本作製を実施した場合に、「摘要」欄に名称を記載すること。

- (ケ) 病理診断管理加算1又は2を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

#### コ 「画像診断」欄について

- (ア) 画像診断の種類(撮影部位を含む。)、回数及び点数を記載すること。

- (イ) 時間外緊急院内画像診断加算を算定した場合は、加算点数として得た点数を「点数」欄に記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

- (ウ) 写真診断に係る場合は、写真の部位、種類、回数及び点数を記載すること。

- (エ) 電子画像管理加算(エックス線診断料、核医学診断料又はコンピューター断層撮影診断料)を算定した場合には、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

- (オ) 画像診断に当たって、特定保険医療材料を使用した場合は、クの(イ)の例により「摘要」欄に記載すること。

- (カ) フィルムを使用した場合にあっては、フィルムの種類、枚数及び大きさを記載すること。

- (キ) 画像診断に当たって薬剤を使用した場合は、薬剤の項に点数を記載し、薬剤名及び使用量については「摘要」欄に記載すること。

- (ク) 基本的エックス線診断料を算定した場合は名称を記載し、入院日数(外泊期間を除く。)及び点数を次の例により「点数」欄に記載すること。

〔記載例〕

|   |     |
|---|-----|
| <span style="border: 1px solid black;">基</span> エ (15日) | 825 |
|---|-----|

- (ケ) 写真診断、基本的エックス線診断、核医学診断又はコンピューター断層診断について、

画像診断管理加算1を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。また、核医学診断又はコンピューター断層診断について、画像診断管理加算2又は3を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

サ 「その他」欄について

(ア) 外来患者に対し処方箋を交付した場合は、処方箋の項に回数及び点数を記載し、その内訳を「摘要」欄に記載すること。

乳幼児加算を算定した場合は、処方箋の項に当該加算を加算した点数を記載すること。この場合、乳幼児加算の表示は必要がないこと。また、特定疾患処方管理加算を算定した場合は、処方箋の項に当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称、回数及び点数を記載すること。また、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、一般名処方加算1又は2、向精神薬調整連携加算を算定した場合は、処方箋の項に当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に名称を記載すること。

(イ) リハビリテーションを算定した場合は、名称（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士又は医師のいずれによるものかを含む。）、回数・算定単位数及び合計点数を記載すること。

脳血管疾患等リハビリテーション料、廃用症候群リハビリテーション料又は運動器リハビリテーション料について、100分の90に相当する点数により算定する場合は、「摘要」欄に「**り減**」と表示して、合計点数を記載すること。

(ウ) 早期リハビリテーション加算、初期加算、急性期リハビリテーション加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称及び点数を記載すること。

(エ) リハビリテーション総合計画評価料の「1」・「2」、目標設定等支援・管理料の「1」・「2」、リンパ浮腫複合的治療料の「1」・「2」を算定した場合は、「摘要」欄に名称及び点数を記載すること。

(オ) 難病患者リハビリテーション料の短期集中リハビリテーション実施加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称及び点数を記載すること。

(カ) 精神科専門療法を算定した場合は、名称、回数及び合計点数を記載すること。抗精神病特定薬剤治療指導管理料の持続性抗精神病注射薬剤治療指導管理料を算定した場合、治療抵抗性統合失調症治療指導管理料を算定した場合は、名称を記載すること。精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアの早期加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。精神科デイ・ナイト・ケアの疾患別等診療計画加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。

精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアの100分の90に相当する点数を算定する場合は、「**精長減**」と表示して、点数を記載すること。

精神科継続外来支援・指導料の療養生活環境を整備するための加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。

通院・在宅精神療法又は精神科継続外来支援・指導料の特定薬剤副作用評価加算を算定する場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。

入院中の患者に精神科ショート・ケア又は精神科デイ・ケアを算定した場合は、「摘要」欄に「**他精シ**」又は「**他精デ**」と記載すること。

精神科地域移行支援加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。

精神科退院前訪問指導料について、必要があって複数の職種が共同して指導を行った場

合は「**複職**」と表示して当該加算を加算した点数を記載すること。

精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）又は精神科訪問看護・指導料（Ⅲ）（加算を含む。）を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載し、当該加算を加算した点数を記載すること。

精神科訪問看護指示料、衛生材料等提供加算、精神科特別訪問看護指示加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。

家族等に対する入院精神療法、通院・在宅精神療法又は精神科退院指導料を算定した場合は、「摘要」欄に「**家族**」と表示すること。

重度認知症患者デイ・ケア料を算定した場合は、名称、回数及び合計点数を記載すること。また、重度認知症患者デイ・ケア料の早期加算、夜間ケア加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。

精神科在宅患者支援管理料を算定した場合は、名称を記載すること。

- (キ) リハビリテーション及び精神科専門療法に当たって薬剤を使用した場合は、薬剤の項に点数を記載し、薬剤名及び使用量については「摘要」欄に記載すること。
- (ク) 放射線治療管理料を算定した場合は、名称及び所定点数を記載すること。
- (ケ) 放射性同位元素内用療法管理料を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。
- (コ) 画像誘導放射線治療加算又は体外照射呼吸性移動対策加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称及び点数を記載すること。
- (サ) 放射線治療料を算定した場合は、名称、照射部位、回数及び点数を記載すること。
- (シ) 小児放射線治療加算を算定した場合は、新生児、3歳未満の乳幼児（新生児を除く。）、3歳以上6歳未満の幼児又は6歳以上15歳未満の小児の区分について、「摘要」欄に名称及び点数を記載すること。
- (ス) 定位放射線治療呼吸性移動対策加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称及び点数を記載すること。
- (セ) 看護職員処遇改善評価料、外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）、外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）及び入院ベースアップ評価料を算定した場合は、「摘要」欄に名称及び点数を記載すること。
- (ソ) 施設入所者共同指導料を算定した場合は、名称及び点数を記載すること。(タ) 都道府県知事が厚生労働大臣の承認を得て別に療養担当手当を定めた場合における療養担当手当を算定した場合は、「その他」欄に合算して記載すること。なお、医療法の一部を改正する法律（平成9年法律第125号）による改正前の医療法第4条の規定による承認を受けている病院である保険医療機関（以下「旧総合病院」という。）の入院外診療分については、当分の間、従前どおり、次表に掲げる各診療科（平成20年4月以降において医療法施行令（昭和23年政令第326号）及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）の規定に基づき、次表に定める診療科以外の診療科名がある場合には、最も近似する次表に定める診療科）ごとに療養担当手当を算定できるものであるため、次表に掲げる診療科のうち複数診療科を受診した患者の場合には、「摘要」欄に受診した診療科名を記載すること。

| 診 療 科 |         |         |
|-------|---------|---------|
| 内 科   | 心臓血管外科  | 心 療 内 科 |
| 精 神 科 | 小 児 外 科 | アレルギー科  |

|         |         |            |
|---------|---------|------------|
| 神 経 科   | 皮膚泌尿器科  | リウマチ科      |
| 神 経 内 科 | 皮 膚 科   | リハビリテーション科 |
| 呼 吸 器 科 | 泌 尿 器 科 | /          |
| 消 化 器 科 | 性 病 科   |            |
| 胃 腸 科   | こ う 門 科 |            |
| 循 環 器 科 | 産 婦 人 科 |            |
| 小 児 科   | 産 科     |            |
| 外 科     | 婦 人 科   |            |
| 整 形 外 科 | 眼 科     |            |
| 形 成 外 科 | 耳鼻いんこう科 |            |
| 美 容 外 科 | 気管食道科   |            |
| 脳神経外科   | 放 射 線 科 |            |
| 呼吸器外科   | 麻 酔 科   |            |

#### シ 「入院」欄について

- (ア) 病院・診療所別の該当する文字を○で囲み、入院基本料について、該当する入院基本料の種類別を病院・診療所別欄の下の空欄（以下「入院基本料種別欄」という。）に別表Ⅳの略号を用いて記載すること。なお、入院基本料種別欄に書ききれない場合は「摘要」欄に記載し、また、電子計算機で該当する文字のみを印字する場合は、様式の区分、配字等を変更することとして差し支えないこと。
- (イ) 管理栄養士の配置について基準を満たせない場合の経過措置に該当する場合は、入院基本料種別欄に記載する略号の後に経措と記載すること。
- (ウ) 医科点数表第1章第2部通則第8号により、栄養管理体制に関する基準を満たすことができない場合又は同通則第9号により、身体的拘束最小化に関する基準を満たすことができない場合は、入院基本料種別欄に記載する略号の後に 栄40減 拘40減と記載すること。
- (エ) 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料の一般病棟又は専門病院入院基本料を算定している患者について、退院が特定の時間帯に集中している又は入院日及び退院日が特定の日に集中していることにより、減算された入院基本料を算定した場合は、入院基本料種別欄に記載する略号の後に午前減又は土日減と記載すること。
- (オ) 「入院年月日」の項は、当該医療機関における入院基本料の起算日としての入院年月日を記載すること。
- (カ) 「入院基本料・加算」の項について
- ① 入院基本料・加算の項には、入院基本料に係る1日当たりの所定点数（入院基本料及び入院基本料等加算の合計）、日数及び合計点数を記載し、「摘要」欄に当該所定点数の内訳を記載すること。ただし、入院基本料が月の途中で変更した場合は、同項において行を改めて、それぞれの入院基本料について同様に記載し、「摘要」欄に、変更の前後に分けて、当該所定点数の内訳を記載すること。
- なお、入院基本料と入院基本料等加算を区分して、同項において行を改めて、同様に

記載することも差し支えない。また、名称については、別表Ⅳの略号を参照すること。

- ② 有床診療所入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している患者について、看取り加算を算定した場合は、「摘要」欄に名称を記載すること。また、在宅療養支援診療所の場合には、「摘要」欄に **看取在支** と表示すること。
- ③ 一般病棟入院基本料、結核病棟入院基本料、精神病棟入院基本料、障害者施設等入院基本料について月平均夜勤時間 72 時間の要件を満たさない場合は、入院基本料種別欄に記載する略号の後に **夜減** と記載すること。
- (キ) 外泊した場合は、行を改めて入院基本料又は特定入院料を算定する日ごとに 1 日当たりの所定点数、日数並びに合計点数を記載し「摘要」欄に外泊した日数を記載すること。  
なお、外泊した日の記載については、連続して 3 日を超える場合にあっては、外泊の開始日と終了日を「～」等で結ぶことにより記載して差し支えないこと。
- (ク) 入院患者について、専門的な診療が必要となり、他医療機関において外来を受診した場合の記載は、第 3 の 1 の (5) によること。
- (ケ) 180 日を超える期間通算対象入院料を算定している患者について、月の途中で通算対象入院料を算定する期間が 180 日を超えた場合は、行を改めて減額された通算対象入院料の所定点数、算定日数及び合計点数を記載すること。
- (コ) 特別の関係にある保険医療機関等に入院又は入所していたことのある患者であって、入院期間を当該保険医療機関等の初回入院日を起算日として計算する場合は、「摘要」欄に **特別** と表示すること。
- (サ) 「厚生労働大臣の定める入院患者数の基準及び医師等の員数の基準並びに入院基本料の算定方法（平成 18 年厚生労働省告示第 104 号）」に規定する入院患者数の基準に該当する保険医療機関にあっては、当該入院基本料の 1 日当たり点数（特定入院基本料、療養病棟入院基本料、有床診療所療養病床入院基本料及び一般病棟入院基本料の療養病棟入院料 1 の例により算定する入院基本料の場合は所定点数に 100 分の 90 を乗じて得た点数、それ以外の入院基本料の場合は所定点数に 100 分の 80 を乗じて得た点数）、日数及び合計点数を記載し、「摘要」欄に **超過** と表示すること。
- (シ) 「厚生労働大臣の定める入院患者数の基準及び医師等の員数の基準並びに入院基本料の算定方法」に規定する医師等の員数の基準に該当する保険医療機関にあっては、当該入院基本料の 1 日当たりの所定点数（離島等所在保険医療機関以外の場合は所定点数に 100 分の 90 又は 100 分の 85 を乗じて得た点数を、離島等所在保険医療機関の場合は所定点数から所定点数に 100 分の 98 又は 100 分の 97 を乗じて得た点数）、日数及び合計点数を記載し、「摘要」欄に **標欠 7**、**標欠 5** と表示すること。
- (ス) 「診療報酬の算定方法」第一号ただし書に規定する厚生労働大臣が指定する病院の病棟に入院する患者であって、「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」第 2 の 1 の (1) に規定する、診断群分類区分に該当しないと判断された患者等、診断群分類点数表により診療報酬を算定しない患者については、「厚生労働大臣が定める病院の診療報酬請求書等の記載要領について」（平成 18 年 3 月 30 日保医発第 0330007 号）に従い、「摘要」欄に医科点数表に基づき算定することとなった理由等を記載すること。
- (セ) 「特定入院料・その他」の項について

- ① 特定入院料については、算定した特定入院料の種別を別表Ⅳの略号を用いて記載し、それぞれの日数及び合計点数（①地域加算該当施設である場合、②離島加算該当施設である場合、③救命救急入院料を算定している患者について加算がある場合、④特定集中治療室管理料を算定している患者について加算がある場合又は⑤地域包括医療病棟入院料、特殊疾患入院医療管理料、小児入院医療管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料、地域包括ケア病棟入院料、特殊疾患病棟入院料、精神科救急急性期医療入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料、精神療養病棟入院料、認知症治療病棟入院料、精神科地域包括ケア病棟入院料、特定一般病棟入院料、地域移行機能強化病棟入院料若しくは特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を算定している患者について加算がある場合にあつては、それぞれの加算を加えた点数）を記載すること。
- ② 特定一般病棟入院料を算定している患者について、地域包括ケア入院医療管理が行われた場合には、特定入院料の種別の略号の後に包1又は包2と記載し、所定点数を記載すること。

(21) 「療養の給付」欄について

ア 「請求」の項には、「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険、第1公費及び第2公費の療養の給付（医療の給付を含む。以下同じ。）に係る合計点数を記載すること。なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の合計点数は、「公費①」の項に記載すること。

ただし、第1公費に係る合計点数が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る合計点数の記載を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る合計点数が第1公費に係る合計点数と同じ場合は、第2公費に係る記載を省略しても差し支えないこと。

イ 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であつて限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証又は特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証及び小児慢性特定疾病医療受給者証にあつては、適用区分に所得区分の記載があるものに限る。）の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があつた者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。）に係る入院における「負担金額」の項、入院外における「一部負担金額」の項については、以下によること。

（ア） 船員保険の被保険者について、「職務上の事由」欄中「通勤災害」に該当する場合には、初診時における一部負担金の金額を記載すること。ただし、災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。

（イ） 健康保険及び国民健康保険の場合は、患者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して「割」の字句を○で囲み、「円」単位で減額される場合には、減額される金額を記載して「円」の字句を○で囲むこと。

また、負担額が免除される場合は「免除」の字句を○で囲み、支払いが猶予される場合は「支払猶予」の字句を○で囲むこと。

ウ 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であつて限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証又は特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証（特定医療費受給者証、特

定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証及び肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証にあつては、適用区分に所得区分の記載があるものに限る。)の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があつた者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。)及び後期高齢者医療に係る入院における「負担金額」の項、入院外における「一部負担金額」の項については、以下によること。

(ア) 「負担金額」の項は、一部負担金の支払いを受けた場合にはその金額を記載すること。

なお、一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を「負担金額」の項の「保険」の項の上段に( )で再掲するものとし、「負担金額」の項には、支払いを受けた一部負担金と公費負担医療が給付する額とを合算した金額を記載すること。

(イ) 「一部負担金額」の項は、高額療養費が現物給付された者に限り記載することとし、支払いを受けた一部負担金の額を記載すること。なお、この場合において、一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を「一部負担金額」の項の「保険」の項の上段に( )で再掲するものとし、「一部負担金額」の項には、支払いを受けた一部負担金と公費負担医療が給付する額とを合算した金額を記載すること。

(ウ) 健康保険法施行令第43条第1項並びに同条第5項、国民健康保険法施行令(昭和33年政令第362号)第29条の4第1項並びに同条第3項又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項並びに同条第3項の規定が適用される者の場合は、「負担金額」及び「一部負担金額」の項には、これらの規定により算定した額(この額に1円未満の端数がある場合において、その端数金額が50銭未満であるときは、これを切り捨て、その端数金額が50銭以上であるときは、これを切り上げた額)を記載すること。

(エ) 健康保険法施行令第43条第1項第2号へ、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号へに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号へに掲げる者の場合は、入院分にあつては、「I」の字句を○で囲むこととし、入院外分にあつては、高額療養費が現物給付された者に限り、「摘要」欄に、「低所得I」と記載すること。

(オ) 健康保険法施行令第43条第1項第2号ホに掲げる者、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号ホに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号ホに掲げる者の場合は、入院分にあつては、「II」の字句を○で囲むこととし、入院外分にあつては、高額療養費が現物給付された者に限り、「摘要」欄に、「低所得II」と記載すること。

(カ) 健康保険及び国民健康保険の場合は、患者の負担額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して「割」の字句を○で囲み、「円」単位で減額される場合には、減額後の一部負担金の金額を記載して「円」の字句を○で囲むこと。

また、負担額が免除される場合は「免除」の字句を○で囲み、支払いが猶予される場合は「支払猶予」の字句を○で囲むこと。

(キ) 後期高齢者医療の場合で、高齢者医療確保法第69条第1項の規定に基づき広域連合長から一部負担金の減額を受けた者の場合は、「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して「割」の字句を○で囲み、「円」の単位で減額される場合には、減額後の一部負担金の金額を記載して「円」の字句を○で囲むこと。また、負担額が免除される場合は「免除」の字句を○で囲み、支払いが猶予される場合は「支払猶予」の字句を○で囲むこと。



エ 「公費①」及び「公費②」の項には、それぞれ第1公費及び第2公費に係る医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額（一部負担金（食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を含む。）の額が医療券等に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を下回る場合で、「負担金額」の項又は「一部負担金額」の項に金額を記載するもの場合はウの（ア）又は（イ）により記載した額（食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を含む。）を、金額の記載を要しないもの場合は10円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額（食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を含む。））を記載すること。ただし、障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法（昭和22年法律第164号）による小児慢性特定疾病医療支援、肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療（以下「小児慢性特定疾病医療支援等」という。）並びに難病法による特定医療に係る患者の負担額（一部負担金）については、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を含まない額とすること。なお、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（入院の場合及び入院外分であって、高額療養費が現物給付された場合に限る。）には、一部負担金から同負担金のうち当該公費負担医療が給付する額を控除した額（即ち、窓口で徴収した額）を記載すること。また、障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法による小児慢性特定疾病医療支援等並びに難病法による特定医療に係る患者の負担額については、10円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額を記載し、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法による肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療並びに難病法による特定医療との併用の場合（入院の場合及び入院外分であって、高額療養費が現物給付された場合に限る。）には、10円未満の端数を四捨五入した後の一部負担金の額を記載すること。

ただし、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（入院の場合及び入院外分であって、高額療養費が現物給付された場合を除く。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合には、当該公費に係る患者負担額は「公費①」及び「公費②」の項には記載することを要しないこと。

高齢受給者の一般所得者及び低所得者であって、難病法による特定医療、特定疾患治療研究事業又は肝炎治療特別促進事業に係る公費負担医療受給者については、医療券に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を記載すること。ただし、当該公費負担医療の給付対象額の2割相当（食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を含む。ただし、難病法による特定医療の給付対象額については含まない。）の額が、当該医療券に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を下回る場合は、当該2割相当（「負担金額」の項又は「一部負担金額」の項に金額を記載するもの場合は、10円未満の端数を四捨五入した後の額を、金額の記載を要しないもの場合は、10円未満の端数を四捨五入する前の額。特定疾患治療研究事業については食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を含む。）の額を記載すること。

(22) 「食事・生活」欄について

ア 「基準」の項には、入院時食事療養費に係る食事療養について算定した項目について次の略号を用いて記載すること。ただし、複数の食事療養を算定し、「基準」の項に複数の略号を記載することが困難な場合は、「摘要」欄への記載でも差し支えないこと。

I (入院時食事療養 I (1))、II (入院時食事療養 II (1))、III (入院時食事療養 I (2))、IV (入院時食事療養 II (2))

イ 「基準」の項の右の項には、入院時食事療養費に係る食事療養について1食当たりの所定金額及び回数を記載すること。ただし、算定した所定金額が複数の場合は、「摘要」欄への記載でも差し支えないこと。

なお、特別食加算を算定した場合には、「特別」の項の右の項に1食当たりの所定金額及び回数を記載すること。

ウ 「食堂」の項の右の項には、入院時食事療養費に係る食事療養又は入院時生活療養費に係る生活療養の食事の提供たる療養に係る食堂加算を算定した場合に、1日当たりの所定金額及び日数を記載すること。

エ 「環境」の項の右の項には、入院時生活療養費に係る生活療養の温度、照明及び給水に関する適切な療養環境の形成たる療養に係る1日当たりの所定金額及び日数を記載すること。

オ 「基準(生)」の項には、入院時生活療養費に係る生活療養について算定した項目を次の略号を用いて記載すること。ただし、複数の生活療養を算定し、「基準(生)」の項に複数の略号を記載することが困難な場合は、「摘要」欄への記載でも差し支えないこと。

I (入院時生活療養 I (1)イ)、II (入院時生活療養 II)、III (入院時生活療養 I (1)ロ)

カ 「基準(生)」の項の右の項には、入院時生活療養費に係る生活療養の食事の提供たる療養に係る1食当たりの所定金額及び回数を記載すること。ただし、算定した所定金額が複数の場合は、「摘要」欄への記載でも差し支えないこと。

なお、特別食加算を算定した場合には、「特別(生)」の項の右の項に1食当たりの所定金額及び回数を記載すること。

キ 後期高齢者医療に係る食事療養又は生活療養の内容が公費負担医療に係る食事療養又は生活療養の内容と異なる場合には、「摘要」欄に公費負担医療に係る事項を記載すること。

ク 月の途中で公費負担医療の受給資格の変更があった場合又は公費負担医療に係る食事療養の給付若しくは生活療養の給付の内容が医療保険(後期高齢者医療を除く。)と異なる場合は、「摘要」欄に公費負担医療に係る事項を記載すること。

(23) 「食事・生活療養」欄について

ア 「請求」の項には、「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険、第1公費及び第2公費に係る食事療養又は生活療養の食事の提供たる療養を行った回数及び当該食事療養又は生活療養に係る金額合計を記載すること。なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の金額合計は、「公費①」の項に記載すること。

ただし、第1公費に係る食事療養又は生活療養が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る「請求」の項の記載を省略して差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る請求金額が第1公費に係る請求金額と同じ場合は、第2公費に係る「請求」の項の記載を省略しても差し支えないこと。なお、当該食事療養又は生活療養が公費の給付対象とならない場合は、当該公費の項には「0」と記載すること。

イ 「標準負担額」の項には、「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険、

第1公費及び第2公費の食事療養標準負担額又は生活療養標準負担額（生活療養標準負担額を記載した場合には、生活療養の食事の提供たる療養に係る負担額と生活療養の温度、照明及び給水に関する適切な療養環境の形成たる療養に係る負担額の内訳を「摘要」欄に記載すること。）を記載すること。なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の負担額は、「公費①」の項に記載すること。

ただし、第1公費に係る負担額が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る負担額の記載を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る負担額が第1公費に係る負担額と同じ場合は、第2公費に係る負担額の記載を省略しても差し支えないこと。なお、当該食事療養又は生活療養が公費の給付対象とならない場合は、当該公費の項には「0」と記載すること。

ウ 健康保険法施行令第42条第3項第4号、国民健康保険法施行令第29条の3第4項第4号に掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第15条第1項第4号に掲げる者の場合は、(21)のウの(エ)と同様とする。ただし、高齢者医療確保法施行令第15条第1項第4号に掲げる者のうち、同令第14条第6項に規定する老齢福祉年金の受給者であって、かつ、生活療養を受ける者の場合は、「摘要」欄に、「老福」と記載すること。

エ 健康保険法施行令第42条第3項第3号、国民健康保険法施行令第29条の3第4項第3号又は高齢者医療確保法施行令第15条第1項第3号に掲げる者の場合は、(21)のウの(オ)と同様とする。なお、入院日数が90日を超えた場合の特例の対象となる場合は、併せて「3月超」の字句を○で囲むこと。

オ 平成28年3月31日において、1年以上継続して精神病床に入院していた者であって、平成28年4月1日以後引き続き医療機関に入院している者（当該者が一の医療機関を退院した日において他の医療機関に入院する場合を含む。）として、平成28年厚生労働省告示第23号附則第3項に規定する同告示による改正前の食事療養標準負担額又は生活療養標準負担額を適用した場合は、「摘要」欄に、「標準負担額経過措置（精神）入院年月日： 年 月 日」と記載し、入院年月日については、同項に規定する者に該当することとなった起算日となる精神病床への入院年月日を記載すること。

カ 健康保険法施行規則第62条の3第6号に掲げる者に該当し、適用区分欄に「オ」若しくは「I」に加え「(境)」又は「オ(境)」若しくは「I(境)」の記載のある限度額適用・標準負担額減額認定証、限度額適用認定証が提示又は限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合又は高齢者医療確保法施行規則第40条第6号に掲げる者に該当し、適用区分欄に「区分I」に加え「(境)」の記載のある限度額適用・標準負担額減額認定証が提示又は限度額適用・標準負担額減額認定証情報、限度額適用認定証情報が提供された場合は、「摘要」欄に「境界層該当」又は「(境)」と記載すること。

(24) 「摘要」欄について

ア 介護保険に相当するサービスのある診療を行った場合に、当該患者が要介護者又は要支援者である場合には、「摘要」欄に「介」と記載すること。また、介護保険の適用病床において、患者の急性増悪等により、緊急に診療を行った場合についても、同様とし、この場合においては、介護保険適用の病床において、医療保険からの給付が必要となった理由（急性肺炎の治療のためなど）を簡潔に記載すること。

イ 特別養護老人ホームの入所者（末期の悪性腫瘍の患者に限る。）について、在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院又は当該特別養護老人ホームの協力医療機関の医師が看取り、死亡日

から遡って 30 日間に行われた診療行為に限り医療保険からの給付する場合には、「摘要」欄に死亡日を記載すること。

ウ 内訳を記載するに当たっては、項目との対応関係が明らかになるような形で記載すること。

なお、診療項目名に代えて項目の番号を用いて差し支えないこと。この場合、「摘要」欄の左側点線内に当該番号を記載すること。

エ 内訳を記載するに当たって、「摘要」欄に書ききれない場合は、明細書又は明細書と同じ大きさの用紙に、診療年月、医療機関コード、患者氏名、保険種別（例；1社・国 1単独 1本入）、保険者番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担者番号）、被保険者証・保険者手帳等の記号・番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担医療の受給者番号）を記載した上、所定の内容を記載し、続紙として、当該明細書の次に重ね、左上端を貼り付けること。

オ 同一明細書において医療保険と公費負担医療の給付の内容が異なる場合又は医療保険と公費負担医療の診療実日数が異なる場合は、「摘要」欄に記載された内訳のうち、公費負担医療に係る分にアンダーラインを付すこと。また、公費負担医療と公費負担医療の併用の場合も同様であること。

なお、医療保険と公費負担医療の診療実日数が異なる場合において、「公費分点数」欄との対応が明らかである場合はアンダーラインを省略しても差し支えないこと。

カ レセプト作成作業を電算化していない保険医療機関が、高齢受給者の一般所得者及び低所得者に係る難病法による特定医療、特定疾患治療研究事業又は肝炎治療特別促進事業の公費負担医療の請求を行う場合には、医療券等に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を記載すること。

キ 特別養護老人ホーム等に入所中の患者の診療を担う保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日に当該施設の看護師等が、当該患者に対し、点滴若しくは処置等を実施又は検査のための検体採取等を実施した場合においては、これに用いた薬剤若しくは特定保険医療材料が使用された日又は当該検体採取が実施された日を「摘要」欄に記載すること。また、当該保険医の診療日を「摘要」欄に記載すること。

ク 介護医療院の入所者に対し、保険医療機関が、介護医療院サービス費に含まれない診療行為を行った場合には、入所介護医療院名、受診した理由及び診療科を「摘要」欄に記載すること。

ケ 介護医療院の入所者については、他科受診時費用の算定の有無を「摘要」欄に記載すること。

#### (25) 「公費分点数」欄について

「公費分点数」欄には、併用する公費負担医療に係る請求点数を記載することとするが、併用する公費負担医療に係る請求点数が「初診」欄から「入院」欄のすべてに係る請求点数と同じ場合は省略しても差し支えないこと。

なお、月の途中で公費負担医療の受給資格に変更があった場合又は公費負担医療に係る給付の内容が「点数」欄に係る給付と異なる場合は、併用する公費負担医療に係る請求点数が「点数」欄に係る請求点数と異なることとなるので、この場合には「公費分点数」欄に当該公費負担医療に係る請求点数を必ず記載すること。この場合において、「点数」欄に係る請求点数と異なる公費負担医療が2種以上あるときは、「公費分点数」欄を縦に区分し、左から順次「第1公費」、「第2公費」の順で当該公費に係る請求点数を記載すること。

ただし、「点数」欄に係る請求点数と第1公費又は第2公費の請求点数が同じ場合は、縦に区分すること及び当該第1公費又は第2公費の請求点数を記載することを省略しても差し支えない

いこと。

(26) その他

ア 3種の公費負担医療の併用の者に係る明細書の記載要領の特例について

特例的に、生活保護法による医療扶助、感染症法による結核患者の適正医療及び障害者総合支援法による精神通院医療等の3種の公費負担医療の併用の場合があるが、この場合にあつては、法別番号順等によらず、次の記載要領によること。

(ア) 生活保護法による医療扶助に係る公費負担者番号は「保険者番号」欄に、公費負担医療の受給者番号は「被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号」欄に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「公費負担者番号①」欄に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「公費負担者番号②」欄に記載すること。

(イ) 「職務上の事由」欄は記載しないこと。

(ウ) 生活保護法による医療扶助に係る診療実日数は「診療実日数」欄の「保険」の項に、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「公費②」の項にそれぞれ記載すること。

なお、感染症法による結核患者の適正医療又は障害者総合支援法による精神通院医療等に係る診療実日数が、生活保護法による医療扶助に係る診療実日数と同じ場合は、当該診療実日数の記載を省略しても差し支えないこと。

(エ) 「初診」欄から「入院」欄には生活保護法による医療扶助に係る回数及び点数を記載すること。

(オ) 「公費分点数」欄は縦に2区分し、左欄に感染症法による結核患者の適正医療、右欄に障害者総合支援法による精神通院医療等に係る請求点数を記載することとするが、生活保護法による医療扶助に係る請求点数と同じ請求点数の公費負担医療がある場合は、縦に2区分すること及び当該請求点数を記載することを省略しても差し支えないこと。

(カ) 生活保護法による医療扶助に係る合計点数及び合計金額は、それぞれ「療養の給付」欄及び「食事・生活療養」欄の「保険」の項に、感染症法による結核患者の適正医療に係る合計点数及び合計金額は、それぞれ「療養の給付」欄及び「食事・生活療養」欄の「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る合計点数及び合計金額は、それぞれ「療養の給付」欄及び「食事・生活療養」欄の「公費②」の項にそれぞれ記載すること。

イ 医療保険と3種の公費負担医療の併用の者に係る記載要領の特例について

別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示す順番により、先順位の公費負担医療を「第1公費」とし、後順位の公費負担医療を順次「第2公費」、「第3公費」として、第3公費に係る公費負担者番号、受給者番号及び診療実日数を、「摘要」欄に「第3公費」と表示して、次の略称を用いて記載すること。また、第3公費に係る療養の給付の合計点数、負担金額、食事療養及び生活療養を行った日数及び当該療養に係る金額の合計額並びに標準負担額は、「療養の給付」欄及び「食事・生活療養」欄の「公費②」の項をそれぞれ上下に区分し、上欄には第2公費に係る事項を、下欄には第3公費に係る事項を記載すること。

なお、4種以上の公費負担医療の併用の場合においても、これに準じて記載すること。

公3（公費負担者番号）、受（受給者番号）、実（診療実日数）

ウ 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出又は特定疾病療養受療証情報を提供した患者の負担額が、健康保険法施行令第42条第9項第1号又は同項第2号に規定する金額を超え

た場合にあつては、「特記事項」欄に、それぞれ「長」又は「長2」と記載すること。

ただし、患者が特定疾病療養受療証の提出又は特定疾病療養受療証情報の提供を行った際に、既に健康保険法施行令第42条第6項第1号又は同項第2号に規定する金額を超えて受領している場合であつて、現物給付化することが困難な場合を除くこと。

エ 当該患者のうち慢性腎不全に係る自己連続携行式腹膜灌流（CAPD）を行っている患者に対して、同一月内の投薬を院外処方箋のみにより行い、保険医療機関では当該患者の負担額を受領しない場合にあつては、「特記事項」欄に「長処」と記載すること。

オ 平成18年3月31日保医発第0331002号通知に規定する特別養護老人ホーム等に入所中の患者について診療報酬を算定した場合は、「特記事項」欄に「施」と記載すること。

なお、当該診療が同通知に規定する配置医師による場合は、「摘要」欄に「配」と表示して回数を記載すること。

また、同一月内に同一患者につき、特別養護老人ホーム等に赴き行った診療と、それ以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ明確に区分できるよう「摘要」欄に記載すること。

カ 患者の疾病又は負傷が、交通事故等第三者の不法行為によって生じたと認められる場合は、「特記事項」欄に「第三」と記載すること。なお、「交」等従来行われていた記載によることも差し支えないこと。

キ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第2号の規定に基づく医薬品医療機器等法に規定する治験（人体に直接使用される薬物に係るものに限る。）に係る診療報酬の請求については、次に掲げる方法によること。

（ア） 1月中に治験期間とそれ以外の期間が併存する場合であっても、明細書は1枚として請求すること。

（イ） 「特記事項」欄に「薬治」と記載すること。

（ウ） 治験依頼者の依頼による治験の場合は、明細書に以下の事項を記載した治験の概要を添付すること。

なお、この場合、治験の概要には「企業依頼」と記載すること。

a 治験の依頼者の氏名及び連絡先

b 治験薬等の名称及び予定される効能効果

c 当該患者に対する治験実施期間（開始日及び終了日）

（エ） 自ら治験を実施する者による治験の場合は、明細書に以下の事項を記載した治験の概要を添付すること。

なお、この場合、治験の概要には「医師主導」と記載すること。

a 治験責任医師の氏名及び連絡先

b 治験薬等の名称及び予定される効能効果

c 当該患者に対する治験実施期間（開始日及び終了日）

（オ） 上記（ア）の場合であつて、治験依頼者の依頼による治験においては、治験期間外に実施し請求の対象となる検査、画像診断、投薬及び注射（投薬及び注射については、当該治験の対象とされる薬物の予定されている効能又は効果と同様の効能又は効果を有する医薬品に係るものに限る。）について、その実施日を「摘要」欄に記載すること。

（カ） 特定入院料等いわゆる包括化されていた項目を算定している保険医療機関の場合の当該項目に係る記載については、当該項目の点数から当該項目に包括されるもののうち診療報酬の請求ができない項目の所定点数の合計を差し引いた点数を記載するとともに、「摘

要」欄に診療報酬の請求ができない項目及び所定点数を記載すること（別葉にしても差し支えない。）。

ク 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第3号の規定に基づく医薬品医療機器等法に規定する治験（機械器具等に係るものに限る。）に係る診療報酬請求については、次に掲げる方法によること。

（ア） 1月中に治験期間とそれ以外の期間が併存する場合であっても、明細書は1枚として請求すること。

（イ） 「特記事項」欄に「器治」と記載すること。

（ウ） 治験依頼者の依頼による治験の場合は、明細書に以下の事項を記載した治験の概要を添付すること。

なお、この場合、治験の概要には「企業依頼」と記載すること。

a 治験の依頼者の氏名及び連絡先

b 治験機器の名称

c 当該患者に対する治験実施期間（開始日及び終了日）及び治験機器を用いた手術又は処置が行われた日

（エ） 自ら治験を実施する者による治験の場合は、明細書に以下の事項を記載した治験の概要を添付すること。

なお、この場合、治験の概要には「医師主導」と記載すること。

a 治験責任医師の氏名及び連絡先

b 治験機器の名称

c 当該患者に対する治験実施期間（開始日及び終了日）及び治験機器を用いた手術又は処置が行われた日

（オ） 上記（ア）の場合であって、治験依頼者の依頼による治験の場合においては、請求の対象となる検査、画像診断、処置及び手術について、その実施日を「摘要」欄に記載すること。

（カ） 治験依頼者の依頼による治験の場合であって、特定入院料等いわゆる包括化されていた項目を算定している保険医療機関の場合の当該項目に係る記載については、当該項目の点数から当該項目に包括されるもののうち診療報酬の請求ができない項目の所定点数の合計を差し引いた点数を記載するとともに、「摘要」欄に診療報酬の請求ができない項目及び所定点数を記載すること（別葉にしても差し支えない。）。

ケ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号、第7号又は第8号に規定する医療機器を使用又は支給した場合は、「摘要」欄に「器評」と記載し、当該医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号に規定する体外診断用医薬品を使用又は支給した場合は、「摘要」欄に「体評」と記載し、当該体外診断用医薬品名を他の診療報酬請求項目と区別して記載すること。厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第2条第12号に規定する医療機器を使用又は支給した場合は、「摘要」欄に「器選」と記載し、当該医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。

コ 地方厚生（支）局長に届け出て別に厚生労働大臣が定める先進医療を実施した場合には、「特記事項」欄に「先進」と記載するとともに、当該先進医療の名称及び当該先進医療について徴収した特別の料金の額を「摘要」欄の最上部に記載すること。

サ 「制限回数を超えて行う診療」に係る診療報酬の請求については、「特記事項」欄に「制超」

と記載すること。また、実施した検査、リハビリテーション又は精神科専門療法ごとに、「摘要」欄に「検選」、「リハ選」又は「精選」と記載し、併せて当該「制限回数を超えて行う診療」の名称、徴収した特別の料金及び回数を記載すること。

シ 自己負担限度額特例対象被扶養者等の場合には、「特記事項」欄に「高半」と記載すること。

ス 平成 21 年 5 月 29 日保発第 0529005 号から第 0529010 号までにより定める「「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」実施要綱」（以下単に「実施要領」という。）に基づき直接支払制度を利用する者に関する診療報酬請求であって、かつ、実施要領に定める専用請求書中「一部負担金等」の欄に記入する金額の一部又は全部に相当する診療報酬請求である場合には、「特記事項」欄に「出産」と記載すること。

セ 救急用の自動車（消防法（昭和 23 年法律第 186 号）及び消防法施行令（昭和 36 年政令第 37 号）に規定する市町村又は都道府県の救急業務を行うための救急隊の救急自動車、並びに道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号）及び道路交通法施行令（昭和 35 年政令第 270 号）に規定する緊急自動車（傷病者の緊急搬送に用いるものに限る。）をいう。）及び救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法（平成 19 年号外法律第 103 号）第 2 条に規定する救急医療用ヘリコプターにより搬送された患者であって、医師の診察等の結果、緊急に入院した場合には、「摘要」欄に「緊入」と記載すること。

ソ 電子情報処理組織の使用による請求又は光ディスク等を用いた請求により療養の給付等の請求を行う場合については、請求する各点数の算定日ごとに回数を記録して請求するものとし、各規定により「摘要」欄に算定日（初回算定日及び前回算定日等の当該請求月以外の算定日を除く。）を記載することとされている点数については、その記録を省略することができる。

タ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第 1 条第 3 号の 2 の規定に基づく医薬品医療機器等法に規定する治験（加工細胞等に係るものに限る。）に係る診療報酬請求については、次に掲げる方法によること。

（ア） 1 月中に治験期間とそれ以外の期間が併存する場合であっても、明細書は 1 枚として請求すること。

（イ） 「特記事項」欄に「加治」と記載すること。

（ウ） 治験依頼者の依頼による治験の場合は、明細書に以下の事項を記載した治験の概要を添付すること。

なお、この場合、治験の概要には「企業依頼」と記載すること。

a 治験の依頼者の氏名及び連絡先

b 治験製品の名称

c 当該患者に対する治験実施期間（開始日及び終了日）及び治験製品を用いた手術又は処置が行われた日

（エ） 自ら治験を実施する者による治験の場合は、明細書に以下の事項を記載した治験の概要を添付すること。

なお、この場合、治験の概要には「医師主導」と記載すること。

a 治験責任医師の氏名及び連絡先

b 治験製品の名称

c 当該患者に対する治験実施期間（開始日及び終了日）及び治験製品を用いた手術又は処置が行われた日

（オ） 上記（ア）の場合であって、治験依頼者の依頼による治験の場合においては、請求の対象



となる検査、画像診断、処置及び手術について、その実施日を「摘要」欄に記載すること。

(カ) 治験依頼者の依頼による治験の場合であって、特定入院料等いわゆる包括化されていた項目を算定している保険医療機関の場合の当該項目に係る記載については、当該項目の点数から当該項目に包括されるもののうち診療報酬の請求ができない項目の所定点数の合計を差し引いた点数を記載するとともに、「摘要」欄に診療報酬の請求ができない項目及び所定点数を記載すること（別葉にしても差し支えない。）。

チ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号の2又は第7号の2に規定する再生医療等製品を使用又は支給した場合は、「摘要」欄に「加評」と記載し、当該再生医療等製品名を他の再生医療等製品と区別して記載すること。

ツ 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得901万円超）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（ア）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得901万円超）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（適用区分が（ア）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得690万円以上）の世帯」の高齢受給者証若しくは後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（3割））の提示のみ若しくは高齢受給者証情報若しくは後期高齢者医療被保険者証情報の提供のみの場合又は「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得690万円以上）の世帯」の適用区分（VI）の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区ア」と記載すること。

テ 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額53万～79万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得600万円超～901万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（イ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額53万～79万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得600万円超～901万円以下）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（適用区分が（イ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額53万～79万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得380万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅡ又は現役Ⅱ））が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額53万～79万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得380万円以上）の世帯」の適用区分（V）の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区イ」と記載すること。

ト 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額28万～50万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得210万円超～600万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（ウ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額28万～50万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得210万円超～600万円以下）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（適用

区分が（ウ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額28万～50万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得145万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅠ又は現役Ⅰ））が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額28万～50万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得145万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅳ）の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区ウ」と記載すること。

ナ 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得210万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（エ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得210万円以下）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証（適用区分が（エ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては課税所得145万円未満）の世帯」の高齢受給者証（一部負担金の割合（2割））の提示のみ若しくは高齢受給者証情報の提供のみの場合又は「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては課税所得145万円未満）の世帯」の適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区エ」と記載すること。

ニ 70歳未満の場合であって、「低所得者の世帯」の限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（オ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合又は「低所得者の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証（適用区分が（オ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「低所得者の世帯」の限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（Ⅰ又はⅡ））が提示若しくは限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合又は「低所得者の世帯」の適用区分（Ⅰ又はⅡ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区オ」と記載すること。

ヌ 70歳未満において「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得901万円超）の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は70歳以上において「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得690万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅵ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多ア」と記載すること。

ネ 70歳未満において「標準報酬月額53万～79万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き

所得 600 万円超～901 万円以下) の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は 70 歳以上において「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅴ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多イ」と記載すること。

ノ 70 歳未満において「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は 70 歳以上において「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 145 万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅳ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多ウ」と記載すること。

ハ 70 歳未満において「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円以下）の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は 70 歳以上において「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあつては課税所得 145 万円未満）の世帯」の適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多エ」と記載すること。

ヒ 70 歳未満において「低所得者の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合には、「特記事項」欄に「多才」と記載すること。

フ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区カ」と記載すること。

ヘ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課

税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区キ」と記載すること。

ホ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多力」と記載すること。

マ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多キ」と記載すること。

※ フからマまでについては、令和 4 年 10 月 1 日から適用する。令和 4 年 9 月 30 日までの間は、後期高齢者医療にあってはナ及びハに従い、従前どおり「区エ」及び「多エ」を使用されたい。

ミ 別に厚生労働大臣が定める患者申出療養（当該療養を適切に実施できるものとして厚生労働大臣に個別に認められた病院又は診療所において行われるものに限る。）を実施した場合には、「特記事項」欄に「申出」と記載するとともに、当該療養の名称及び当該療養について徴収した特別の料金の額を「摘要」欄の最上部に記載すること。

ム 医療法第 30 条の 13 に規定する病床機能報告制度において、医療法施行規則第 30 条の 33 の 6 第 1 項に規定するレセプト情報による方法の場合であって、病棟情報を電子レセプトに記録する場合は、「病床機能報告制度に関する電子レセプトへの病棟情報の記録の通年化について」（令和 2 年 3 月 16 日医政地発 0316 第 1 号）によること。

(27) 後期高齢者医療におけるその他

- ア 後期高齢者医療特定疾病療養受療証を提示又は後期高齢者医療特定疾病療養受療証情報を提供した患者の負担額が、高齢者医療確保法施行令第15条第6項に規定する金額を超えた場合にあつては、「特記事項」欄に「長」と表示すること。ただし、患者が後期高齢者医療特定疾病療養受療証の提示又は後期高齢者医療特定疾病療養受療証情報の提供を行った際に、既に同項に規定する金額を超えて受領している場合であつて、現物給付化することが困難な場合を除くこと。
- イ 介護老人保健施設に入所中の患者の診療料を、併設保険医療機関において算定した場合は「老併」と、併設保険医療機関以外の保険医療機関において算定した場合は「老健」と「特記事項」欄に記載すること。
- なお、同一月に同一患者につき、介護老人保健施設又は介護医療院に入所中の診療と、介護老人保健施設又は介護医療院に入所中以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ別個の明細書に記載すること。
- ウ 後期高齢者医療の対象者において、公費負担医療のみの場合は、「特記事項」欄に「後保」と表示すること。
- エ 高齢者医療確保法第50条第2号に該当する者（65歳から75歳未満の者であつて、後期高齢者医療広域連合の障害認定を受けた者）が75歳に到達した月に療養を受けた場合（自己負担限度額が2分の1とならない場合）には、「摘要」欄に「障害」と表示すること。
- オ その他は、(26)のア、イ、オからサまで及びセ、ソと同様であること。

### Ⅲ 歯科診療に係る診療報酬請求書及び診療報酬明細書の記載要領

#### 第1 診療報酬請求書（医科・歯科 入院・入院外併用）の記載要領（様式第1(1)）

Ⅱの第1の例による。

#### 第2 診療報酬請求書（歯科・入院外）の記載要領（様式第1(3)）

##### 1 「令和 年 月分」欄について

診療年月を記載する。

また、診療年月の異なる診療報酬明細書（以下「明細書」という。）がある場合は、それぞれの診療年月分について診療報酬請求書を作成する。なお、診療年月の異なる明細書であっても、返戻分の再請求等やむを得ぬ事由による請求遅れ分はこの限りでない。

##### 2 「医療機関コード」欄について

それぞれの医療機関について定められた医療機関コード7桁を記載する（別添2「設定要領」の第4を参照）。

##### 3 「別記 殿」欄について

保険者名、市町村名及び公費負担者名を下記例のとおり備考欄に記載することを原則とするが、省略しても差し支えない。

(例) 別記 全国健康保険協会理事長  
千代田区長  
東京都知事

##### 4 「令和 年 月 日」欄について

診療報酬請求書を提出する年月日を記載する。

## 5 「保険医療機関の所在地及び名称、開設者氏名」欄について

- (1) 保険医療機関の所在地及び名称、開設者氏名は、保険医療機関指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地、名称及び開設者氏名を記載する。なお、開設者氏名は、開設者から診療報酬請求等につき委任を受けている場合は、保険医療機関の管理者の氏名であっても差し支えない。
- (2) 保険医療機関自体で診療報酬請求書用紙の調製をしない場合において、記名の労を省くため、保険医療機関の所在地、名称及び開設者氏名のゴム印を製作の上、これを押捺することは差し支えないこと。

## 6 「医療保険」欄について

- (1) 医療保険と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち医療保険に係る分及び医療保険単独の者に係る明細書について記載し、医療保険単独の者に係る分は医療保険制度ごとに記載する。なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」とおりとする。
- (2) 「件数」欄は明細書の医療保険に係る件数の合計を、「診療実日数」欄は明細書の診療実日数の合計を、「点数」欄は明細書の「合計」欄の点数の合計を記載する。  
また、「一部負担金」欄は明細書の「療養の給付」欄の「保険」の項に係る「一部負担金額」の項の一部負担金額の合計を記載する。  
なお、「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄、「医保単独（七〇以上七割）」欄、「医保単独（本人）」欄、「医保単独（家族）」欄及び「医保単独（六歳）」欄の「小計」欄はそれぞれの合計を記載する。
- (3) 「①合計」欄は、「医保（七〇以上一般・低所得）と公費の併用」欄と「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄の「小計」欄と、「医保（七〇以上七割）と公費の併用」欄と「医保単独（七〇以上七割）」欄の「小計」欄と、「医保本人と公費の併用」欄と「医保単独（本人）」欄の「小計」欄と、「医保家族と公費の併用」欄と「医保単独（家族）」欄の「小計」欄と、「医保（六歳）と公費の併用」欄と「医保単独（六歳）」欄の「小計」欄とを合計して記載する。
- (4) 医事会計システムの電算化が行われていない保険医療機関は、「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄と、「医保単独（七〇以上七割）」欄に記載すべき各項の数字を合算し、その合計を「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄への記載をもって請求できる。この場合において、当該合算を実施した上で各項の記載がわかるよう「備考」欄に合算している旨を記載する。

## 7 「公費負担」欄の「公費と医保の併用」欄について

- (1) 医療保険と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度ごとに記載し、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合は区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載する。なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」とおりとする。
- (2) 「件数」欄は、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。したがって、医療保険と2種の公費負担医療（例えば、感染症法による結核患者の適正医療と児童福祉法）の併用の場合は、1枚の明細書であっても公費負担医療に係る件数は2件となる。
- (3) 「点数」欄は、明細書の「公費分点数」欄に記載した点数（2種の公費負担医療がある場合は、同欄に括弧書きで記載した点数を含む。）を、公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。ただし、公費分点数の記載を省略した明細書は、「合計」欄の点数が当

該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計する。

(4) 「一部負担金（控除額）」欄は、公費負担医療制度ごとに明細書の「患者負担額（公費分）」欄の金額（医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額）を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。

(5) 「区分」欄の「②計」欄は、「公費と医保の併用」欄の件数を合計して記載する。

#### 8 「公費負担」欄の「公費単独」欄について

(1) 公費負担医療単独の者に係る明細書分を公費負担医療制度ごとに記載し、生活保護法による医療扶助以外の公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載する。なお、公費負担医療に係る法別番号及び制度の略称は別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」のとおりとする。

(2) 「件数」欄は、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。

(3) 「点数」欄は、明細書の「公費分点数」欄に記載した点数を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。

(4) 「一部負担金（控除額）」欄は、公費負担医療制度ごとに明細書の「患者負担額（公費分）」欄の金額（医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額）を合計して、それぞれ制度の該当欄に記載する。

(5) 「区分」欄の「③計」欄は、「公費単独」欄の件数を合計して記載する。

9 公費負担医療のみで2種の公費負担医療の併用が行われた場合は、当該併用の者に係る分は「備考」欄に公費負担医療制度ごとに制度の法別番号を記載し、それぞれ件数、点数及び控除額を合計して記載する。

#### 10 「総件数①+②+③」欄について

「①合計」、「②計」及び「③計」欄の請求件数を合計して記載する。なお、公費負担医療と公費負担医療の併用の者がある場合は「備考」欄に記載した件数を合計する。

#### 11 「明細書枚数①+③」欄について

「①合計」及び「③計」欄の請求件数を合計した明細書の枚数を記載する。なお、公費負担医療と公費負担医療の併用の者がある場合には当該明細書の枚数を合計する。

### 第2の2 診療報酬請求書(医科・歯科)の記載要領(様式第8)

診療報酬請求書(医科・歯科)の記載要領は、次に掲げる事項を除き、第1の例による。なお、「3「別記 殿」欄について」は、各広域連合殿と読み替える。

#### 1 「後期高齢者医療」欄について

(1) 後期高齢者医療と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち後期高齢者医療に係る分及び後期高齢者医療単独の者に係る明細書について記載する。

(2) 「件数」欄、「診療実日数」欄、「点数」欄及び「一部負担金」欄は、6の(2)と同様である。この場合、6の(2)中「医療保険」とあるのは「後期高齢者医療」と、「船員保険の被保険者に係る通勤災害時の初診料(災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。)」とあるのは「高齢者医療確保法第69条第1項の規定に基づく一部負担金の減額」と読み替える。

(3) 医事会計システムの電算化が行われていない保険医療機関等にあつては、「後期高齢一般・低所得」欄と、「後期高齢七割」欄とに記載すべき各項の数字を合算し、その合計を「後期高齢一般・低所得」欄に記載をもって請求する。この場合は、合計の記載がわかるように「備考」欄に

合算している旨を記載する。

## 2 「公費負担」欄の「公費と後期高齢者医療の併用」欄について

- (1) 後期高齢者医療と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度ごとに記載し、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載する。なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」のとおりとする。
- (2) 「件数」欄は、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。したがって、医療保険と2種の公費負担医療（例えば、感染症法による結核患者の適正医療と児童福祉法）の併用の場合は、1枚の明細書であっても公費負担医療に係る件数は2件となる。
- (3) 「点数」欄は、明細書の「公費分点数」欄に記載した点数（2種の公費負担医療がある場合は、同欄に括弧書きで記載した点数を含む。）を、公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。ただし、公費分点数の記載を省略した明細書は、「合計」欄の点数が当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計する。
- (4) 「一部負担金」欄は、公費負担医療制度ごとに明細書の「患者負担額（公費分）」欄の金額（医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額）を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載する。

## 第3 診療報酬明細書の記載要領（様式第3）

### 1 診療報酬明細書の記載要領に関する一般的事項

- (1) 明細書は、白色紙黒色刷りとする。
- (2) 左上の隅より右へ12mm、下へ12mmの位置を中心に半径2mmの穴をあけて、綴じ穴とする。
- (3) 月の途中において保険者番号又は本人・家族等の種別の変更があった場合は、保険者番号ごとに、それぞれ別の明細書を作成する。高齢受給者証又は後期高齢者の被保険者証が月の途中に発行される等により給付額を調整する必要がある場合又は公費負担医療単独の場合において公費負担者番号若しくは公費負担医療の受給者番号の変更があった場合も同様とする。  
なお、それぞれ別の明細書を作成する場合は、変更後の明細書の「摘要」欄にその旨を記載する。
- (4) 点数をあらかじめ印刷しておき、算定回数が月に1回と限られた項目は当該項目の略称を○で囲み、複数回算定できる項目は算定回数を記載しても差し支えない。  
また、あらかじめ印刷する点数を乳幼児加算、歯科診療特別対応加算又は歯科訪問診療時の加算の加算後の点数としても差し支えないが、この場合は、「特記事項」欄に「加算」と記載するか予め印刷する。
- (5) 電子計算機の場合は次による。
  - ア 欄の名称を簡略化して記載しても差し支えない。  
また、複数の選択肢から○を用いて選択する欄は、特段の定めのある場合を除き、選択した項目のみ記載し、それ以外の項目は省略しても差し支えなく、記載しない欄は「×」を省略して差し支えない。
  - イ 枠をその都度印刷しても差し支えない。



ウ 用紙下端の空白部分は、OCR処理等審査支払機関の事務処理に供するため、その他の目的に使用してはならない。

エ 電子計算機用のOCR関連事項は、「レセプト基本フォーマット集（平成9年8月版）」（社会保険庁運営部編）によることが望ましい。

オ 記載する文字は、JIS X 0208において文字コードが設定された範囲とすることが望ましい。

## 2 診療報酬明細書の記載要領に関する事項

### (1) 「令和 年 月分」欄について

診療年月を記載する。

### (2) 「都道府県番号」欄について

別添2の別表2「都道府県番号表」に従い、保険医療機関の所在する都道府県の番号を記載する。

### (3) 「医療機関コード」欄について

それぞれの医療機関について定められた医療機関コード7桁を記載する（別添2「設定要領」の第4を参照）。

### (4) 「保険種別1」、「保険種別2」及び「本人・家族」欄について

ア 「保険種別1」欄は、次の左に掲げる保険の種別に応じ、右の番号のうち1つを○で囲む。

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 健康保険（船員保険を含む。以下同じ。）又は国民健康保険 | 1 社・国 |
| 公費負担医療（健康保険、国民健康保険又は後期高齢者医療 | 2 公費  |
| 後期高齢者医療                     | 3 後期  |

イ 「保険種別2」欄は、「保険種別1」欄のそれぞれについて、次の左の別に応じ、右の番号のうち1つを○で囲む。

|                 |      |
|-----------------|------|
| 単独              | 1 単独 |
| 1種の公費負担医療との併用   | 2 2併 |
| 2種以上の公費負担医療との併用 | 3 3併 |

(注) 公費負担医療は、地方公共団体が独自に行う医療費助成事業（審査支払機関へ医療費を請求するものに限る。）を含む。

ウ 「本人・家族」欄は、次の左に掲げる種別に応じて、右の番号のうち1つを○で囲む。未就学者である患者は「4」、高齢受給者又は後期高齢者医療受給対象者は「8」又は「0」を○で囲む。なお、公費負担医療は本人に該当する。

ただし、国民健康保険の場合は、市町村国民健康保険であって被保険者（世帯主）と被保険者（その他）の給付割合が異なるもの及び国民健康保険組合は被保険者（世帯主（高齢受給者を除く。））は「2」、被保険者（その他（未就学者である患者及び高齢受給者を除く。））は「6」を○で囲み、それ以外（未就学者である患者及び高齢受給者を除く。）はいずれか一方を○で囲む。

なお、「2 本外」（若しくは「2 本」）、「4 六外」（若しくは「4 六」）、「6 家外」（若しくは「6 家」）、「8 高外一」（若しくは「8 高一」）又は「0 高外7」（若しくは「0 高7」）の項のみを印刷したものを使用しても差し支えない。

|          |      |
|----------|------|
| 2 本人外来   | 2 本外 |
| 4 未就学者外来 | 4 六外 |
| 6 家族外来   | 6 家外 |

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 8 高齢受給者・後期高齢者医療一般・低所得外来 | 8 高外一 |
| 0 高齢受給者・後期高齢者医療7割給付外来   | 0 高外7 |

(注) 後期高齢者医療一般のうち、1割負担の者と、2割負担の者の判別については、「特記事項」欄に記載される所得区分により行うため、特段の記載は必要ない。

エ 電子計算機の場合は、次のいずれかの方法による。

- (ア) 当該欄の上に選択する番号及び保険種別等のみを記載する。
- (イ) 選択肢をすべて記載した上で、選択しないものをすべて＝線で抹消する。

(5) 「保険者番号」欄について

- ア 設定された保険者番号8桁（国民健康保険は6桁）を記載する（別添2「設定要領」の第1を参照）。なお、国民健康保険の場合は右詰めで記載する。
- イ 公費負担医療単独の場合及び公費負担医療のみの場合は、別段の定めのある場合を除き、記載しない。

(6) 「給付割合」欄について

国民健康保険の場合は、該当する給付割合を○で囲むか、( )の中に給付割合を記載する。ただし、国民健康保険は、自県分の場合は、記載を省略しても差し支えない。

(7) 「被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号」欄について

- ア 被保険者証等の「記号及び番号」欄の記号及び番号を記載する。また、後期高齢者医療被保険者証の「被保険者番号」欄の「被保険者番号」を記載する。被保険者証等の「記号及び番号」欄に枝番の記載がある場合は、併せて枝番を記載すること。なお、電子資格確認の場合は、オンラインにより提供された資格情報から、これらの記載を行うこと。
- イ 記号と番号の間にスペース、「・」若しくは「-」を挿入するか、又は上段に記号、下段に番号を記載すること。また、枝番は「(枝番)」の後ろに記載すること。
- ウ 当該記号及び番号のうち○で囲んだ文字に代えて当該文字を( )で囲んだものを使用して記載しても差し支えなく、記載枠に書ききれない等の場合は、( )を省略しても差し支えない。なお、被保険者が、月の途中において、記号・番号を変更した場合又は任意継続に変更した場合（給付割合に変更がない場合に限る。）は、変更後の記号・番号を記載する。

(8) 「公費負担者番号」欄について

- ア 医療券等に記入されている公費負担者番号8桁を記載する（別添2「設定要領」の第2を参照）。
- イ 別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」の順により、先順位の公費負担者番号を「公費負担者番号」の項に（以下「公費負担者番号」の項に記載される公費負担医療を「第1公費」という。）、後順位の公費負担者番号を「摘要」欄に（以下「摘要」欄に記載される公費負担医療を「第2公費」という。）記載する。
- ウ 保険者番号の変更はないが、同種の公費負担医療で住所変更により月の途中において公費負担者番号の変更があった場合は、変更前の公費負担医療に係る分を第1公費とし、変更後の公費負担医療に係る分を第2公費として取り扱う。

(9) 「公費負担医療の受給者番号」欄について

医療券等に記入されている受給者番号7桁は、第1公費は「公費負担医療の受給者番号」の項に、第2公費は「摘要」欄に記載する（別添2「設定要領」の第3を参照）。

(10) 「氏名」欄について

ア 姓名を記載する。ただし、健康保険の被保険者は、姓のみの記載で差し支えない。なお、電子計算機の場合は、例外的に漢字をカタカナに読み替えた使用又はひらがなをカタカナに読み替えた記載も差し支えないが、この場合は被保険者であっても姓名を記載し、姓と名の間スペースをとる。

イ 性別は該当するものを○で囲む。なお、電子計算機の場合は、「1 男」、「2 女」と記載しても差し支えない。

ウ 生年月日は次による。

(ア) 該当する元号を○で囲み、生まれた年月日を記載する。

(イ) 電子計算機の場合は、元号は「1 明」、「2 大」、「3 昭」、「4 平」、「5 令」と記載する。

エ 電子レセプトによる請求を行う場合は、アによる姓名と別にカタカナによる姓名を記録することが望ましい。

(11) 「職務上の事由」欄について

船員保険の被保険者は、「1 職務上」、「2 下船後3月以内」又は「3 通勤災害」のうち該当するものを○で囲む。ただし、「1 職務上」及び「3 通勤災害」は、災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。共済組合の船員組合員は、下船後3月以内の傷病で職務上の取扱いとなる場合に「2 下船後3月以内」の番号を○で囲む。なお、同月に職務上の取扱いとなる傷病及び職務外の取扱いとなる傷病が生じた場合は、入院外分はそれぞれ1枚、入院分は、それぞれに係る診療が区分できない場合に限り職務上として1枚の明細書の取扱いとする。

電子計算機の場合は、番号と名称又は次の略称を記載も差し支えない。

1 職上(職務上)、 2 下3(下船後3月以内)、 3 通災(通勤災害)

(12) 「特記事項」欄について

次に掲げるもののほかは、Ⅱの第3の2の(13)と同様とする。

|    |    |  |
|----|----|--|
| 40 | 加算 | 乳幼児加算(6歳未満)、歯科診療特別対応加算又は歯科訪問診療時の加算のいずれかを算定している明細書の場合 |
|----|----|--|

(13) 「届出」欄について

クラウン・ブリッジ維持管理料の算定を選択している保険医療機関は「補管」を、初診料の注1に係る施設基準を届け出ている保険医療機関は「歯初診」をそれぞれ○で囲む。なお、電子計算機の場合は、○に代えて( )等を使用しても差し支えない。以下、文字を○で囲む場合及び○付きの略号を使用する場合も同様とする。

(14) 「保険医療機関の所在地及び名称」欄について

保険医療機関指定申請の際等に地方厚生(支)局長に届け出た所在地及び名称を記載する。この場合は、所在地とともに、連絡先電話番号の記載が望ましい。

(15) 「傷病名部位」欄について

ア 病名を同じくする歯又は部位を単位として記載する。ただし、ブリッジの病名は、ブリッジの装置ごとに記載する。

イ ブリッジの病名は、部位は支台歯も含めた部位を、病名は欠損と記載し、支台歯を○で囲む。したがって、支台歯がう蝕症等に罹患している場合は、部位は重複して傷病名を記載する。

また、健全歯を支台としてブリッジを製作するに当たり、なんらかの理由により健全歯に対

し抜髄処置を必要とした場合は、当該歯を◎で囲む。

ウ 歯冠修復による隙の補綴は、当該歯冠修復歯に△を付記する。

また、欠損でない1歯相当分の間隙のある補綴は、間隙を欠損とみなした傷病名とし、当該部位に△を記載する。

エ 歯科矯正の病名は、主要な咬合異常の状態を記載する。また、咬合異常の起因となった疾患名（別に厚生労働大臣が定める疾患、3歯以上の永久歯萌出不全又は顎変形症）を「摘要」欄に記載する。なお、6歯以上の先天性部分無歯症又は3歯以上の永久歯萌出不全による咬合異常により歯科矯正を行う場合は、先天性欠如部位又は埋伏歯の部位を「摘要」欄に記載すること。

オ う蝕多発傾向者の病名は、「C管理中」と記載し、歯冠修復治療を行った部位を記載する。

なお、歯式は、乳歯及び永久歯についてそれぞれ記載する。

カ 初期の根面う蝕に罹患している患者の病名は「初期の根面う蝕」又は「根C」と記載し、当該部位を記載する。

キ エナメル質初期う蝕に罹患している患者の病名は「エナメル質初期う蝕」又は「Ce」と記載し、当該部位を記載する。

ク 口腔細菌定量検査1は、「口腔バイオフィルム感染症」と記載する。

ケ う蝕に罹患している患者の指導管理に係る保険外併用療養費を支給する患者の病名は、「C選療」と記載する。

コ 心身医学療法は、「傷病名部位」欄に心身症による当該身体的傷病の傷病名の次に「（心身症）」と記載する。

サ クラウン・ブリッジ維持管理料を算定している保険医療機関において、クラウン・ブリッジ維持管理料を算定した補綴物の再製作等（再装着、充填を含む。）は、傷病名を「傷病名部位」欄に記載し、当該部位に対してクラウン・ブリッジ維持管理料を算定した年月日及び補綴物の種類等を「摘要」欄に記載する。なお、当該管理料に規定する期間中に補綴物の維持管理を行っている歯冠補綴物又はブリッジが離脱し再度の装着を行った場合は、再度の装着を行った歯の部位及び再度の装着日を「摘要」欄に記載する。

シ 頬、口唇、舌小帯形成術の算定に当たり、複数の頬小帯に対して形成術を行った場合は、部位が分かるように記載する（例：上顎左側）。なお、「傷病名部位」欄に記載できない場合は、「摘要」欄に記載しても差し支えない。

ス 抜歯手術の「注3」の算定に当たり、病名は「完全埋伏歯」、「水平埋伏智歯」、「CRT」又は「HIT」と記載する。

セ 傷病名が当該欄に書ききれない場合は、「摘要」欄に記載する。

ソ 傷病名については、原則として、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」別添3に規定する傷病名を用いる。別添3に規定する傷病名と同一の傷病でありながら名称が異なる傷病名は、「傷病名コードの統一の推進について」に取りまとめたので、これを参照し、原則として、傷病名コードに記載されたものを用いること。

(16) 「診療開始日」欄について

ア 当該保険医療機関において、保険診療を開始した年月日を和暦により記載する。ただし、「傷病名部位」欄が単一部分の場合であって請求に係る診療月において診療を開始し、かつ、同月

中に治癒又は死亡したものは、記載を省略しても差し支えない。

イ 同月中に保険種別等の変更があった場合は、その変更があった日を診療開始日とし、「摘要」欄にその旨を記載する。

ウ 同一の患者に対する診療継続中に、当該保険医療機関において、開設者、名称、所在地等の変更があった場合は、当該保険医療機関の診療内容の継続性が認められて継続して保険医療機関の指定を受けた場合を除き、新たに保険医療機関の指定を受けた日を診療開始日とし、「摘要」欄にその旨を記載する。

(17) 「診療実日数」欄について

ア 括弧外、括弧内及び「摘要」欄に、それぞれ医療保険（健康保険、国民健康保険及び後期高齢者医療をいう。以下同じ。）、第1公費及び第2公費に係る診療実日数を記載する。なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の診療実日数は、括弧内に記載する。

ただし、第1公費に係る診療実日数が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る診療実日数を省略しても差し支えない。

また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る診療実日数が第1公費に係る診療実日数と同じ場合は、第2公費に係る診療実日数の記載を省略しても差し支えない。

イ 入院外分は、診療を行った日数（開放型病院共同指導（I）を行った日数を含む。）を記載する。

ウ 電話等再診の実日数は1日として数え、その回数を「摘要」欄に再掲する。

エ 同日に初診及び再診（電話等再診を含む。）が2回以上行われた場合の実日数は1日として数え、その回数を「摘要」欄に再掲する。

オ (16)のアのただし書の場合は、診療開始日の記載を省略しても差し支えないが、診療実日数を記載する。

カ 同日に複数科を受診した場合の初診料・再診料を算定しない科に係る診療実日数は、初診料・再診料を算定しない日を含め実際に診療を行った日数を記載する。

キ 傷病手当金意見書交付料、訪問歯科衛生指導料等同日に歯科医師の診療が行われない場合は、実日数として数えない。

(18) 「転帰」欄について

治癒した場合は「治癒」の文字を、死亡した場合は「死亡」の文字を、中止又は転医の場合には「中止」の文字をそれぞれ○で囲む。

(19) 「初診」、「再診」、「管理・リハ」、「投薬・注射」、「X線・検査」、「処置・手術」、「麻酔」、「歯冠修復及び欠損補綴」、全体の「その他」及び「摘要」欄について

「初診」、「再診」、「管理・リハ」、「投薬・注射」、「X線・検査」、「処置・手術」、「麻酔」、「歯冠修復及び欠損補綴」、全体の「その他」及び「摘要」欄の記載事項等は、(20)から(31)まで、別表Ⅰ「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（歯科）」及び別表Ⅱ「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（薬価基準）」のとおりであること。各項目の末尾に（項番○）と付したものについては別表Ⅰの当該項目を参照すること。

なお、電子レセプトによる請求の場合、別表Ⅰの「レセプト電算処理システム用コード」欄にコードが記載された項目については、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格」に基づき、該当するコードを選択すること。ただし、別表Ⅰ及び別表Ⅱにおいて、令和6年6月1日適用の旨が表示されたコードについては、令和6年10月診

療分以降に選択するものとして差し支えないこと。書面による請求の場合の診療行為名称等の略号については、別表Ⅳ「診療行為名称等の略号一覧（歯科）」を参照し記載すること。

(20) 「初診」欄について

ア 診療時間内の初診の場合は点数のみを記載し、時間外、休日又は深夜の場合は、「時間外」、「休日」又は「深夜」の項に当該加算点数を記載すること。なお、時間外加算の特例を算定した場合は、通常的时间外加算と同様に記載する。（項番 3）

また、電子計算機の場合は、全体の「その他」欄に点数を記載して差し支えない。

イ 初診時において乳幼児加算、乳幼児時間外加算、乳幼児休日加算、乳幼児深夜加算、歯科診療特別対応連携加算、歯科診療特別対応地域支援加算、歯科外来診療医療安全対策加算 1、歯科外来診療医療安全対策加算 2、歯科外来診療感染対策加算 1、歯科外来診療感染対策加算 2、歯科外来診療感染対策加算 3、歯科外来診療感染対策加算 4 は、「乳」、「乳・時間外」、「乳・休日」、「乳・深夜」、「特連」、「特地」、「外安全」又は「外感染」の項に当該加算点数を記載する。（項番 4、5）

ウ 歯科診療特別対応加算 1、歯科診療特別対応加算 2、歯科診療特別対応加算 3 は、全体の「その他」欄に点数（加算を含む。）を記載する。（項番 6、7）

エ 情報通信機器を用いて初診を行った場合は、全体の「その他」欄に点数を記載する。

(21) 「再診」欄について

ア 再診は、「再診」の項に点数及び回数を記載する。（項番 8、9）

イ 時間外、休日又は深夜の場合は、「時間外」、「休日」又は「深夜」の項に当該加算点数及び回数を記載する。

また、時間外加算の特例は、通常的时间外加算と同様に記載する。

ウ 乳幼児加算、乳幼児時間外加算、乳幼児休日加算、乳幼児深夜加算、歯科外来診療医療安全対策加算 1、歯科外来診療医療安全対策加算 2、歯科外来診療感染対策加算 1、歯科外来診療感染対策加算 2、歯科外来診療感染対策加算 3 又は歯科外来診療感染対策加算 4 は、「乳」、「乳・時間外」、「乳・休日」、「乳・深夜」、「外安全」又は「外感染」の項に当該加算点数及び回数を記載する。

エ 明細書発行体制等加算は、再診料と当該加算を加算した合計点数を記載する。

オ 以下の（ア）及び（イ）については、全体の「その他」欄に記載する。

（ア） 歯科診療特別対応加算 1、歯科診療特別対応加算 2、歯科診療特別対応加算 3 は点数（加算を含む。）及び回数を記載する。（項番 10、11）

（イ） 情報通信機器を用いて再診を行った場合は、全体の「その他」の欄に点数及び回数を記載する。（項番 12）

(22) 「管理・リハ」欄について

ア 歯科疾患管理料は、「歯管」の項に点数を記載する。

なお、フッ化物洗口指導加算、文書提供加算、総合医療管理加算及び長期管理加算は、項中の「+」欄にそれぞれ左から文書提供加算、フッ化物洗口指導加算、総合医療管理加算、長期管理加算の順に当該加算点数を記載する。（項番 14）

イ 新製有床義歯管理料は、「義管」の項に点数を記載する。（項番 38）

ウ 歯科衛生実地指導料 1 又は 2 は、「実地指」の項に点数を記載する。

なお、口腔機能指導加算は、項中の「+」欄に当該加算点数を記載する。

エ 歯周病患者画像活用指導料は、「P画像」の項の左欄に点数（加算を含む。）及び回数を記

載する。2回行った場合は、右欄に点数（加算を含む。）及び回数を記載する。

オ 歯科口腔リハビリテーション料1（1 有床義歯の場合）又は歯科口腔リハビリテーション料2は、「歯リ」の項にそれぞれ点数を記載する。

カ 周術期等口腔機能管理計画策定料、周術期等口腔機能管理料（Ⅰ）の「1 手術前」、周術期等口腔機能管理料（Ⅱ）の「1 手術前」、周術期等口腔機能管理料（Ⅲ）又は周術期等口腔機能管理料（Ⅳ）を算定した場合は、「その他」欄に点数（加算を含む。）を記載する。なお、周術期等口腔機能管理料（Ⅰ）、（Ⅱ）の「2 手術後」又は（Ⅳ）（3月以降の場合）を算定した場合はそれぞれ点数（加算を含む。）及び回数を記載する。（項番 15、16、17、18）

キ 回復期等口腔機能管理計画策定料又は回復期等口腔機能管理料を算定した場合は、「その他」欄にそれぞれ点数を記載する。（項番 19）

ク 根面う蝕管理料は、「根管」の項に点数（加算を含む。）を記載する。

ケ エナメル質初期う蝕管理料は、「エ管」の項に点数（加算を含む。）を記載する。

コ 歯科治療時医療管理料は、「その他」欄に点数及び回数を記載する。（項番 23）

サ 小児口腔機能管理料又は口腔機能管理料は「その他」欄に点数（加算を含む。）を記載する。また、情報通信機器を用いて行った場合は、点数（加算を含む。）及び回数を記載する。

シ 以下の（ア）から（ネ）までについて又は「その他」欄に書ききれない等の場合は、全体の「その他」欄に記載する。

（ア） がん性疼痛緩和指導管理料（加算を含む。）、がん患者指導管理料、入院栄養食事指導料、外来緩和ケア管理料（加算を含む。）、外来リハビリテーション診療料、外来放射線照射診療料、介護支援等連携指導料、がん治療連携計画策定料、がん治療連携指導料、がん治療連携管理料、こころの連携指導料（Ⅰ）、退院時共同指導料1、退院時共同指導料2、退院時薬剤情報管理指導料、がんゲノムプロファイリング評価提供料及び医療機器安全管理料は、全体の「その他」欄に点数及び回数を記載する。（項番 13、36、39、40）

（イ） 歯科特定疾患療養管理料は、点数及び回数を記載する。また、共同療養指導計画加算は、点数を記載する。なお、情報通信機器を用いて行った場合は、点数（加算を含む。）及び回数を記載する。（項番 20）

（ウ） 退院前訪問指導料は、点数を記載する。（項番 26）

（エ） 特定薬剤治療管理料は、点数（加算を含む。）を記載する。（項番 19）

（オ） 悪性腫瘍特異物質治療管理料は、点数を記載する。（項番 22）

（カ） 外来腫瘍化学療法診療料は点数（加算を含む。）を記載する。

（キ） 手術前医学管理料及び手術後医学管理料は、それぞれ点数を記載する。

（ク） 開放型病院共同指導料（Ⅰ）又は（Ⅱ）は、合計点数及び回数を記載する。（項番 24）

（ケ） 療養・就労両立支援指導料は、点数を記載する。なお、療養・就労両立支援指導料の加算は当該加算を合算した点数を記載する。

（コ） 歯科遠隔連携診療料は、点数を記載する。（項番 25）

（サ） 薬剤管理指導料の「1」又は「2」は、それぞれ点数及び回数を記載する。また、麻薬管理指導加算は、加算した点数を記載する。（項番 27、28、29）

（シ） 薬剤総合評価調整管理料は、点数（加算を含む。）を記載する。（項番 30）

（ス） 診療情報提供料（Ⅰ）若しくは（Ⅱ）又は連携強化診療情報提供料は、点数を記載する。診療情報提供料（Ⅰ）の加算は当該加算を合算した点数を記載する。（項番 31、32、33、3

5）

- (セ) 診療情報等連携共有料 1 及び 2 は、点数を記載する。(項番 34)
  - (ソ) 電子的診療情報評価料は、点数及び回数を記載する。
  - (タ) 栄養情報連携料は、点数を記載する。
  - (チ) 傷病手当金意見書交付料は、点数を記載する。(項番 37)
  - (ツ) 顎関節疾患の治療にマイオモニターを使用した場合は、点数及び回数を記載する。
  - (テ) 開口障害の治療に際して整形手術後に開口器等を使用して開口訓練を行った場合は、点数及び回数を記載する。
  - (ト) 摂食機能療法は、点数(加算を含む。)及び回数を記載する。(項番 81、82)
  - (ナ) 歯科口腔リハビリテーション料 1 (2 舌接触補助床の場合)は、点数及び回数を記載する。
  - (ニ) 歯科口腔リハビリテーション料 1 (3 その他の場合)は、点数及び回数を記載する。
  - (ヌ) 歯科口腔リハビリテーション料 3 は点数及び回数を記載する。
  - (ネ) リハビリテーションを算定した場合は、(ト)、(ナ)、(ニ)及び(ヌ)を除き、全体の「その他」欄に、当該項目、回数・算定単位数及び合計点数を記載するとともに、実施日数を記載すること。(項番 80)
- (23) 在宅医療について
- ア 全体の「その他」欄に記載する。
- (ア) 歯科訪問診療料は、歯科訪問診療 1、歯科訪問診療 2、歯科訪問診療 3、歯科訪問診療 4 及び歯科訪問診療 5 の点数及び回数を記載する。緊急歯科訪問診療加算、夜間歯科訪問診療加算若しくは深夜歯科訪問診療加算、患者診療時間加算、歯科診療特別対応加算 1、歯科診療特別対応加算 2、歯科診療特別対応加算 3 又は地域医療連携体制加算がある場合は、当該加算を加算した点数及び回数を記載する。訪問診療時の歯科訪問診療補助加算は、点数及び回数を記載する。(項番 41、42、43)
  - また、特別歯科訪問診療料を算定した場合は、点数及び回数を記載する。(項番 44)
  - (イ) 区分番号 C O O O の注 15 に規定する歯科訪問診療料を算定する場合は、点数又は点数及び回数を記載する。
  - (ウ) 在宅歯科医療推進加算は、加算点数及び回数を記載する。
  - (エ) 歯科訪問診療移行加算は、加算点数及び回数を記載する。(項番 45)
  - (オ) 通信画像情報活用加算は、加算点数及び回数を記載する。(項番 46)
  - (カ) 区分番号 C O O O の注 19 に規定する歯科訪問診療料を算定する場合は、点数又は点数及び回数を記載する。
  - (キ) 訪問歯科衛生指導料はそれぞれ点数(加算を含む。)及び回数を記載する。(項番 47)
  - (ク) 歯科疾患在宅療養管理料は、点数を記載する。
  - また、文書提供加算、在宅総合医療管理加算、在宅歯科医療連携加算 1 又は 2、在宅歯科医療情報連携加算は、点数を記載する。(項番 48、49)
  - (ケ) 在宅患者歯科治療時医療管理料は、点数及び回数を記載する。(項番 50)
  - (コ) 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料は、点数及び回数を記載する。なお、当該管理に係る加算を算定する場合は、点数及び回数を記載する。在宅歯科医療連携加算 1 又は 2、在宅歯科医療情報連携加算を算定する場合は、点数を記載する。(項番 51)
  - (サ) 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料は、点数及び回数を記載する。なお、当該管理に係る加算を算定する場合は、点数及び回数を記載する。小児在宅歯科医療



連携加算 1 又は 2、在宅歯科医療情報連携加算を算定する場合は、点数を記載する。（項番 52）

(シ) 在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料 1、2 又は 3 は、点数を記載する。（項番 53）

(ス) 救急搬送診療料は、点数及び回数を記載する。

(セ) 在宅患者訪問薬剤管理指導料は、総点数及び回数を記載する。

(ソ) 退院前在宅療養指導管理料は、点数を記載する。退院前在宅療養指導管理に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、総点数を記載する。（項番 54）

(タ) 在宅麻薬等注射指導管理料、在宅腫瘍化学療法注射指導管理料、在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料、在宅患者連携指導料は、点数を記載する。在宅悪性腫瘍等患者の療養に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合は、総点数を記載する。（項番 55、56）

(チ) 在宅患者緊急時等カンファレンス料は、点数及び回数を記載する。（項番 57）

(ツ) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第 2 条第 15 号に基づき、選定療養として長期収載品を処方等した場合の記載については、(24) のタの例によること。

(24) 「投薬・注射」欄について

ア 内服薬を投与した場合は「内」の文字を、屯服薬を投与した場合は「屯」の文字を、外用薬を投与した場合は「外」の文字を、注射を行った場合は「注」の文字を、それぞれ○で囲み、使用薬剤の点数及び単位数又は回数を記載する。なお、書ききれない場合は、合計点数のみを記載し、使用薬剤の点数及び単位数又は回数は「摘要」欄に記載する。

また、皮内、皮下及び筋肉内注射又は静脈内注射を行った場合は「注」欄に点数及び回数をそれぞれ記載し、その他の注射を行った場合は全体の「その他」欄に、点数及び回数を記載する。（項番 62、65）

イ 血漿成分製剤加算は、加算点数を点数欄に記載する。（項番 63、64）

ウ 調剤料は、内服、屯服又は外用ごとに「調」の項にそれぞれ点数及び回数を記載し、「処方」の項は処方箋を交付しない場合において処方の点数及び回数を記載する。なお、外来後発医薬品使用体制加算 1、2 又は 3 を算定する場合は、全体の「その他」欄に点数及び回数を記載する。

エ 使用薬剤の医薬品名、規格・単位（%、mL 又は mg 等）及び使用量を記載する。（項番 60、61）

オ 調剤技術基本料は、全体の「その他」欄に点数を記載する。なお、院内製剤加算は、当該加算後の点数を記載する。

カ 7 種類以上の内服薬の投薬に係る処方箋を発行した場合は、「処」の項にその点数及び回数を、その他の場合は「処」の項にその点数及び回数を記載する。

キ 一般的名称による処方箋の交付は、全体の「その他」欄に点数及び回数を記載する。

ク 麻薬、向精神薬、覚醒剤原料、毒薬を処方又は調剤した場合は、全体の「その他」欄に点数及び回数を記載する。

ケ 無菌製剤処理料の「1」又は「2」は、「摘要」欄にそれぞれ点数及び算定回数を記載する。

コ 処方料又は処方箋料における乳幼児加算は、それぞれ項中の「+ ×」欄にその加算点数及び回数を記載する。

サ 薬剤情報提供料は、「情」の項に点数及び回数を記載する。なお、書ききれない場合は、合

計点数のみを記載し、点数及び回数は「摘要」欄に記載する。また、手帳加算を算定した場合は、当該加算を算定した点数及び回数を記載する。

シ 特定疾患処方管理加算は、加算点数及び回数を全体の「その他」欄に記載する。（項番 61）

ス 外来化学療法加算は、当該点数を加算した点数及び算定回数を記載する。

セ バイオ後続品導入初期加算は、加算点数を記載する。

ソ 区分番号 F400 の注 6 に規定する処方箋料を発行した場合は、7 種類以上の内服薬の投薬に係る処方箋を発行した場合は、「処」の項にその点数及び回数を、その他の場合は「処」の項にその点数及び回数を記載する。

タ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第 2 条第 15 号に基づき、長期収載品を選定療養として処方した場合（処方箋を交付する場合を除く。）は、当該医薬品名の後に「（選）」を記載し、所定単位につき、選定療養に係る額を除いた薬価を用いて算出した点数を記載すること。

〔記載例〕

|         |     |         |
|---------|-----|---------|
| ●●●錠（選） | 1 錠 |         |
| △△△錠    | 1 錠 | 1 7 × 5 |

また、長期収載品について、医療上の必要性があるため「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載して処方箋を交付する場合は、理由について、今後、別表 I に示す項目を参照して記載すること。

#### (25) 「X線・検査」欄について

ア 全顎撮影（アナログ撮影）を行った場合は「全顎」の項にフィルム使用枚数及びその合計点数を記載し、全顎撮影以外で標準型フィルムを使用して撮影を行った場合は「標」の項のうち点数を算定した場合は左欄に、症状の確認を行った場合は右欄にそれぞれ点数及び回数を記載し、パノラマ X 線撮影を行った「パ」の項のうちオルソパントモ型フィルムであって、15 センチメートル×30 センチメートルの場合は左欄に、20.3 センチメートル×30.5 センチメートルの場合は右欄にそれぞれの点数及び回数を記載する。

イ 歯冠補綴時色調採得検査は、「色調」の項に点数及び回数を記載する。（項番 62）

ウ 電氣的根管長測定検査は、「EMR」の項にそれぞれ左から単根管、2 根管、3 根管、4 根管の順に点数及び回数を記載する。

エ 細菌簡易培養検査は、「S 培」の項に点数及び回数を記載する。

オ 顎運動関連検査は、「顎運動」の項に点数及び回数を記載する。（項番 61）

カ 歯周病検査における歯周基本検査及び歯周精密検査は、それぞれ「基本検査」の項及び「精密検査」の項のうち、左欄の上から 1 歯以上 10 歯未満、10 歯以上 20 歯未満、20 歯以上の順にそれぞれ点数を記載する。また、1 回目の混合歯列期歯周病検査は「P 混検」の項の左欄に点数を記載し、歯周病部分的再評価検査は「P 部検」の項に点数及び回数を記載する。歯周病検査を 2 回以上行った場合は、2 回目以後の混合歯列期歯周病検査は「P 混検」の項の右欄に点数及び回数を記載し、その他の歯周病検査はそれぞれ該当する検査の項のうち右欄に点数及び回数を記載する。なお、電子計算機の場合は、上段に歯数に応じた点数及び回数を、下段に 2 回以上行った場合の 2 回目以降の点数及び回数をそれぞれ記載して差し支えない。（項番 59）

キ 1 回目の口腔細菌定量検査 1 は「菌検」の項の左欄に点数を記載し、2 回以上行った場合は

右欄に点数及び回数を記載する。

ク 「その他」欄について

- (ア) 標準型以外のフィルムを使用して撮影（アナログ撮影）を行った場合は、点数及び回数を、診断のみの場合は点数及び回数をそれぞれ記載する。その他の画像診断は、点数及び回数を記載し、画像診断に当たって薬剤を使用した場合は、回数及び点数を記載する。（項番 70、73）
- (イ) 全顎撮影（デジタル撮影）の場合は、枚数及びその合計点数を記載する。歯科エックス線撮影の全顎撮影以外（デジタル撮影）の場合、歯科パノラマ断層撮影（デジタル撮影）の場合歯科部分パノラマ断層撮影の場合及び歯科用3次元エックス線断層撮影の場合は、点数及び回数を記載する。その他の画像診断は、点数及び回数を記載し、画像診断に当たって薬剤を使用した場合は、点数及び回数を記載する。なお、電子画像管理加算を算定したデジタル撮影は、（ク）の電子画像管理加算に係る規定により記載する。（項番 70、73）
- (ウ) 歯科画像診断管理加算1又は歯科画像診断管理加算2を算定した場合は、点数を記載する。
- (エ) 遠隔画像診断を行った場合は、点数を記載する。
- (オ) 新生児、3歳未満の乳幼児又は3歳以上6歳未満の幼児に対する加算を算定した場合は、アにかかわらず、当該加算後の点数及び回数を記載する。（項番 70）
- (カ) 記載欄が示されていない各種の検査は、当該欄に点数及び回数を記載する。検査に当たって薬剤を使用した場合は、点数及び回数を記載する。（項番 58、69）
- (キ) 時間外緊急院内画像診断加算を算定した場合は、加算点数を記載する。（項番 70）
- (ク) 電子画像管理加算は、歯科エックス線撮影の場合、歯科パノラマ断層撮影の場合、歯科用3次元エックス線断層撮影の場合、歯科部分パノラマ断層撮影の場合、その他の場合は、それぞれ加算点数を点数に合算した点数及び回数を記載する。
- (ケ) 口腔細菌定量検査2を算定する場合は、点数を記載する。（項番 60）
- (コ) 有床義歯咀嚼機能検査を算定する場合は、点数を記載する。（項番 63）
- (サ) 咀嚼能力検査1若しくは2、咬合圧検査1若しくは2、小児口唇閉鎖力検査又は舌圧検査を算定した場合は点数及び回数を記載する。（項番 63、68）
- (シ) 精密触覚機能検査を算定した場合は、点数及び回数を記載する。
- (ス) 睡眠時歯科筋電図検査を算定した場合は、点数及び回数を記載する。
- (セ) 「その他」欄に書ききれない等の場合は、合計点数のみを「その他」欄に、それ以外は「摘要」欄に記載して差し支えない。以下「その他」欄において同様とする。

(26) 「処置・手術」欄について

- ア う蝕処置は、「う蝕」の項に点数及び回数を記載する。
- イ 歯髄保護処置は、「保護」の項のうち、歯髄温存療法を行った場合は左欄に、直接歯髄保護処置を行った場合は中欄に、間接歯髄保護処置を行った場合は右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。
- ウ 象牙質レジンコーティングは、「Rコ」の項に点数及び回数を記載する。
- エ 初期う蝕早期充填処置は、「填塞」の項のうち、ガラスイオノマー系を用いた場合は左欄に、複合レジン系を用いた場合は右欄に、それぞれ材料料を合算した点数及び回数を記載する。
- オ 知覚過敏処置は、「Hys」の項のうち、3歯までの場合は左欄に、4歯以上の場合は右欄

に、それぞれ点数及び回数を記載する。

カ 咬合調整は、「咬調」の項のうち、1 歯から 10 歯未満の場合は左欄に、10 歯以上の場合は右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。（項番 86）

キ 残根削合は、「その他」欄に点数及び回数を記載する。

ク 生活歯髄切断又は抜髄のために表面麻酔、浸潤麻酔又は簡単な伝達麻酔に用いた場合は、使用薬剤の医薬品名、規格・単位（%、mL 又は mg 等）及び使用量を「その他」欄に記載する。（項番 109）

ケ 抜髄は、「抜髄」の項にそれぞれ上から単根管、2 根管、3 根管以上の順に点数及び回数を記載する。

また、歯髄温存療法を行った日から起算して 3 月以内又は直接歯髄保護処置を行った日から起算して 1 月以内の場合は、「その他」欄にそれぞれ点数及び回数を記載する。

コ 感染根管処置は「感根処」の項に、根管貼薬処置は「根貼」の項に、根管充填は「根充」の項に、それぞれ上から単根管、2 根管、3 根管以上の順に点数及び回数を記載する。なお、抜歯を前提として急性症状の消退を図ることを目的として根管拡大を行った場合又は抜歯を前提とした消炎のための根管貼薬処置を行った場合は、「その他」欄に点数を記載する。（項番 87、88）

サ 抜髄及び根管充填を同時に行った場合は、「その他」欄に点数の合算点数及び回数を記載する。

また、感染根管処置及び根管充填を同時に行った場合は、「その他」欄に点数の合算点数及び回数を記載する。

シ 根管充填の際に加圧根管充填処置を併せて行った場合は、「加圧根充」の項の上から単根管、2 根管、3 根管以上の順に加算点数及び回数を記載する。

また、手術用顕微鏡加算及び Ni-Ti ロータリーファイル加算は、「加圧根充」の項の「+ × + ×」欄に左から手術用顕微鏡加算の点数及び回数並びに Ni-Ti ロータリーファイル加算の点数及び回数を記載する。（項番 89、90、91）

ス 生活歯髄切断は、「生切」の項の上欄に点数及び回数を記載する。なお、乳歯及び永久歯の歯根完成期以前の歯髄の場合は、下欄に点数と加算点数の合計点数及び回数を記載する。

セ 失活歯髄切断は、「その他」欄に点数及び回数を記載する。

ソ 機械的歯面清掃処置は、「歯清」の項に点数を記載する。（項番 107）

タ 歯冠修復物又は補綴物の除去は、「除去」の項のうち、簡単なものは上欄に、困難なものは中欄に、著しく困難なものは下欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。（項番 103）

チ フッ化物歯面塗布処置は、「F 局」の項に点数を記載する。（項番 108）

ツ 有床義歯床下粘膜調整処置は、「T. cond」の項に点数及び回数を記載する。

テ 歯周基本治療におけるスケーリングは「SC」の項に点数及び回数を記載し、同時に 3 分の 1 顎を超えて行った場合は項中の「+ ×」欄に 3 分の 1 顎を増すごとに加算点数及び回数を記載する。

また、2 回目以降は右欄に 100 分の 50 に相当する点数及び回数を記載し、同時に 3 分の 1 顎を超えて行う場合は項中の「+ ×」欄に 3 分の 1 顎を増すごとに加算点数の 100 分の 50 に相当する点数及び回数を記載する。

ト 歯周基本治療におけるスケーリング・ルートプレーニングは、「SRP」の項のうち、「前」の項に前歯、「小」の項に小臼歯、「大」の項に大臼歯の順に点数及び回数を記載する。

また、同部位に対して2回以上歯周基本治療を行った場合は、2回目以降は右欄に前歯、小臼歯及び大臼歯の順に100分の50に相当する点数及び回数を記載する。

ナ 歯周病安定期治療は、「SPT」の項に点数（加算を含む。）を記載する。なお、口腔管理体制強化加算及び歯周病ハイリスク患者加算は、項中の「+」欄にそれぞれ左から口腔管理体制強化加算、歯周病ハイリスク患者加算の順に当該加算点数を記載する。（項番94、95）

ニ 歯周病重症化予防治療は、「P重防」の項に点数を記載する。（項番96）

ヌ 歯周病処置は、「P処」の項に点数及び回数を記載する。（項番93）

ネ 口腔内消炎手術は、「切開」の項のうち、歯肉膿瘍等は左欄に、骨膜下膿瘍、口蓋膿瘍等は右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。また、智歯周囲炎の歯肉弁切除等は、「その他」の欄に点数及び回数を記載する。（項番120）

ノ 抜歯手術は、「抜歯」の項のうち、乳歯は「乳」の項に、前歯は「前」の項に、臼歯は「臼」の項に、埋伏歯は「埋」の項にそれぞれ点数及び回数を記載する。

また、前歯及び臼歯の難抜歯加算は、「前」又は「臼」の項の「+ ×」欄にそれぞれ加算点数及び回数を記載し、下顎完全埋伏智歯（骨性）及び下顎水平埋伏智歯に係る加算は、「埋」の項の「+ ×」欄にそれぞれ加算点数及び回数を記載する。（項番115）

ハ 区分「I100」又は「J300」により特定薬剤を算定する場合は、「その他」欄に点数及び回数を記載する。（項番110、128）

ヒ 「その他」欄について

（ア） 処置又は手術のうち、該当する記載欄を設けていない場合及び該当欄に記載しきれない場合は、点数（加算を含む。）及び回数を記載する。（項番83、97、105、111、123）

（イ） 診療時間以外、休日若しくは深夜加算を算定する処置又は手術は、点数及び回数を記載する。なお、時間外加算の特例の場合も、点数及び回数を記載する。（項番84、112）

（ウ） 口腔内装置を製作した場合は、当該装置に係る印象採得、咬合採得及び口腔内装置（装着料を含む。）の点数をそれぞれ記載する。（項番98）

（エ） 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置を製作した場合は、当該装置に係る印象採得、咬合採得及び装置（装着料を含む。）の点数をそれぞれ記載する。（項番99）

（オ） 舌接触補助床を製作又は旧義歯を用いた場合は、当該装置に係る印象採得、咬合採得及び装置（装着料を含む。）の点数をそれぞれ記載する。

（カ） 術後即時顎補綴装置を製作した場合は、当該装置に係る印象採得、咬合採得及び装置（装着料を含む。）の点数をそれぞれ記載する。

（キ） 口腔内装置調整・修理の「1 口腔内装置調整」の「イ 口腔内装置調整1」、「ロ 口腔内装置調整2」、「ハ 口腔内装置調整3」又は「2 口腔内装置修理」を行った場合は、点数を記載する。

（ク） 根管内異物除去は、点数及び回数を記載する。また、手術用顕微鏡を用いて当該処置を行った場合は、加算後の点数及び回数を記載する。（項番104）

（ケ） 周術期等専門的口腔衛生処置1は、周術期等口腔機能管理料（Ⅰ）又は（Ⅱ）を算定した患者に対して当該処置を行った場合は、術前又は術後に応じて、それぞれ点数を記載する。

周術期等口腔機能管理料（Ⅲ）又は（Ⅳ）を算定した患者に対して当該処置を行った場合は、点数を記載する。また、周術期等専門的口腔衛生処置2は、点数を記載する。（項番106）

（コ） 在宅等療養患者専門的口腔衛生処置は、点数を記載する。

- (サ) 口腔粘膜処置は、点数を記載する。
  - (シ) 非経口摂取患者口腔粘膜処置は、点数及び回数を記載する。
  - (ス) 摘便は、点数及び回数を記載する。
  - (セ) ハイフローセラピーを算定した場合は、動脈血酸素分圧又は経皮的酸素飽和度の測定結果、点数及び回数を「その他」欄に記載する。(項番 92)
  - (ソ) 経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法は、点数及び回数を記載する。
  - (タ) 留置カテーテル設置は、点数及び回数を記載する。
  - (チ) 超音波ネブライザは、点数及び回数を記載する。
  - (ツ) 回復期等専門的口腔衛生処置は、点数及び回数を記載する。
  - (テ) 口腔バイオフィilm除去処置は、点数及び回数を記載する。
  - (ト) 口腔リンパ管腫局所注入は、点数(加算を含む。)を記載する。
  - (ナ) 入院を必要とするHIV抗体陽性の患者に対する観血的手術加算は、加算後の点数及び回数を記載する。(項番 114)
  - (ニ) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症患者に対する加算は、加算後の点数及び回数を記載する。
  - (ヌ) 内視鏡下加算は、加算後の点数及び回数を記載する。
  - (ネ) 歯根端切除手術における、「2 歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合」を行う場合は、点数及び回数を記載する。(項番 116)
  - (ノ) 歯の再植術又は歯の移植手術は、点数及び回数を記載する。(項番 117、118、119)
  - (ハ) 歯周ポケット搔爬術、新付着手術、歯肉切除手術、歯肉剥離搔爬手術、歯周組織再生誘導手術及び歯肉歯槽粘膜形成手術は、点数を記載する。(項番 121)
  - (ヒ) 手術時歯根面レーザー応用加算は、点数及び回数を記載する。(項番 122)
  - (フ) 広範囲顎骨支持型装置埋入手術は、点数及び回数を記載する。(項番 124)
  - (ヘ) 広範囲顎骨支持型装置搔爬術は、点数を記載する。(項番 125)
  - (ホ) 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法は、点数を記載する。(項番 126)
  - (マ) レーザー機器加算は、点数及び回数を記載する。(項番 127)
  - (ミ) 口腔粘膜蛍光観察評価加算は、点数を記載する。
  - (ム) 「その他」欄に書ききれない等の場合は、全体の「その他」欄に記載する。(項番 129)
- フ 乳幼児加算、歯科診療特別対応加算、歯科訪問診療時の加算等を伴う処置及び手術は、該当する記載欄に加算後の点数及び回数を記載する。(項 85、113)
- (27) 「麻酔」欄について
- ア 伝達麻酔は「伝麻」の項に、浸潤麻酔は「浸麻」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。
  - イ 未熟児加算、新生児加算、乳児加算、幼児(1歳以上3歳未満)加算、乳幼児(6歳未満)加算又は歯科診療特別対応加算等を伴う麻酔は、該当する記載欄に加算後の点数及び回数を記載する。
  - ウ 「その他」欄について
    - (ア) 区分「K100」による麻酔薬剤は、点数及び回数を記載する。(項番 134)
    - (イ) 吸入鎮静法は、点数及び回数を記載する。なお、使用麻酔薬は、点数を記載する。(項番 132)
    - (ウ) 静脈内鎮静法は、点数及び回数を記載する。なお、使用薬剤は、点数を記載する。(項番 133)

(エ) 伝達麻酔、浸潤麻酔等以外の医科点数表の取扱いによる麻酔は、麻酔名、点数及び回数を記載する。なお、使用麻酔薬は、点数を記載する。(項番 130)

(オ) 診療時間以外、休日又は深夜加算等を算定する麻酔料は、点数及び回数を記載する。なお、時間外加算の特例も同様に、点数及び回数を記載する。(項番 131)

(28) 「歯冠修復及び欠損補綴」欄について

ア 各項に点数を記載する場合は、技術料及び材料料を合算した点数(乳幼児加算又は歯科診療特別対応加算 1、2 又は 3 等は、当該加算点数を更に合算した点数)並びに回数を記載する。ただし、有床義歯、有床義歯内面適合法及び床修理は、技術料、材料料及び装着料を合算した点数並びに回数を記載する。

また、充填は、技術料及び充填材料料を別の項に記載する。なお、装着材料料は「装着材料」の項に、人工歯料は「人工歯」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。

イ 補綴時診断料は、「補診」の項のうち、欠損補綴物を新たに製作する場合は左欄に、有床義歯修理又は有床義歯内面適合法を実施した場合は右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。

(項番 136)

ウ クラウン・ブリッジ維持管理料は、「維持管理」の項の左から単冠、支台歯とポンティックの数の合計が 5 歯以下のブリッジ、支台歯とポンティックの数の合計が 6 歯以上のブリッジの順にそれぞれ点数及び回数を記載する。

エ 「印象」の項について

印象採得の「1 歯冠修復」の「イ 単純印象」、「1 歯冠修復」の「ロ 連合印象」、「2 欠損補綴」の「ニ ブリッジ (1) 5 歯以下の場合」及び「2 欠損補綴」の「ニ ブリッジ (2) 6 歯以上の場合」は、「印象」の項の上欄にそれぞれ左から点数及び回数を記載する。「2 欠損補綴」の「イ 単純印象 (1) 簡単なもの」、「2 欠損補綴」の「イ 単純印象 (2) 困難なもの」、「2 欠損補綴」の「ロ 連合印象」及び「2 欠損補綴」の「ハ 特殊印象」は、「印象」の項の下欄にそれぞれ左から点数及び回数を記載する。また、歯科技工士連携加算 1 及び 2 は、「その他」欄に加算点数及び回数を記載する。なお、「印象」の項に書ききれない場合は、「その他」欄に点数及び回数を記載する。(項番 141、142)

オ 咬合採得の「1 歯冠修復」、「2 欠損補綴」の「イ ブリッジ (1) 5 歯以下の場合」及び「2 欠損補綴」の「イ ブリッジ (2) 6 歯以上の場合」は、「咬合」の項の上欄にそれぞれ左から点数及び回数を記載する。咬合採得の「2 欠損補綴」の「ロ 有床義歯 (1) 少数歯欠損」、「2 欠損補綴」の「ロ 有床義歯 (2) 多数歯欠損」及び「2 欠損補綴」の「ロ 有床義歯 (3) 総義歯」は、「咬合」の項の下欄にそれぞれ左から点数及び回数を記載する。また、歯科技工士連携加算 1 及び 2 は、「その他」欄に加算点数及び回数を記載する。(項番 145、146)

カ ブリッジの試適の「5 歯以下の場合」及び「6 歯以上の場合」は「試適」の項の上欄にそれぞれ左から点数及び回数を記載する。仮床試適の「少数歯欠損」、「多数歯欠損」及び「総義歯」は、「試適」の項の下欄にそれぞれ左から点数及び回数を記載する。また、仮床試適における歯科技工士連携加算 1 及び 2 は、「その他」欄に加算点数及び回数を記載する。(項番 147)

キ 「歯冠形成」欄について

(ア) 生活歯歯冠形成は、「(生単)」の項のうち、レジン前装金属冠、レジン前装チタン冠、前歯部の 4 分の 3 冠及び CAD/CAM 冠の場合は「前 C」の項に、その他の金属冠、チ

タン冠、乳歯冠(乳歯金属冠を除く。)及び硬質レジンジャケット冠の場合は「金硬」の項に、乳歯金属冠、小児保険装置及び既製金属冠の場合は「既製」の項に、それぞれ点数(加算を含む。)及び回数を記載する。

(イ) ブリッジに対する生活歯歯冠形成は「(生ブ)」の項のうち、レジン前装金属冠、前歯部の4分の3冠、接着冠及び高強度硬質レジンブリッジの場合は「前接」の項に、その他の金属冠の場合は「金」の項に、それぞれ点数(加算を含む。)及び回数を記載する。また、ブリッジ支台歯形成加算は、項中の「+ ×」欄にその加算点数及び回数を記載する。

(ウ) 失活歯歯冠形成は、「(失単)」の項のうち、レジン前装金属冠、レジン前装チタン冠、前歯部の4分の3冠及びCAD/CAM冠の場合は「前C」の項に、その他の金属冠、チタン冠、乳歯冠(乳歯金属冠を除く。)及び硬質レジンジャケット冠の場合は「金硬」の項に、乳歯金属冠、小児保険装置及び既製金属冠の場合は「既製」の項に、それぞれ点数(加算を含む。)及び回数を記載する。

(エ) ブリッジに対する失活歯歯冠形成は「(失ブ)」の項のうち、レジン前装金属冠、前歯部の4分の3冠及び高強度硬質レジンブリッジの場合は「前」の項に、その他の金属冠の場合は「金」の項に、それぞれ点数(加算を含む。)及び回数を記載する。また、ブリッジ支台歯形成加算は、項中の「+ ×」欄の右欄にその加算点数及び回数を記載する。

(オ) 窩洞形成は、「(窩洞)」の項のうち、単純なものは上欄に、複雑なものは中欄に、それぞれ点数及び回数を記載すること。なお、複雑なものにおけるブリッジ支台歯形成加算は、複雑なものの下欄に加算点数及び回数を記載する。

また、う蝕歯無痛的窩洞形成加算は、ブリッジ支台歯形成加算の下欄に点数及び回数を記載する。なお、CAD/CAMインレーのための窩洞形成に係る加算は、「その他」欄に加算点数及び回数を記載する。(項番138)

(カ) う蝕歯即時充填形成は、「充填」の項に点数及び回数を記載し、う蝕歯無痛的窩洞形成加算は、項中の「+ ×」欄に点数及び回数を記載する。(項番139)

(キ) う蝕歯インレー修復形成は、「修形」の項に点数及び回数を記載する。また、CAD/CAMインレーのための窩洞形成に係る加算は、「その他」欄に加算点数及び回数を記載する。

#### ク 「充填」の項について

(ア) 充填に係る技術料は、「充填1」又は「充填2」の項のうち、単純なものは上欄に、複雑なものは下欄に、それぞれ点数及び回数を記載すること。(項番148)

(イ) 充填に際して歯科充填用材料Ⅰの複合レジン系を用いた場合は「材充Ⅰ」の項の上欄に、ガラスアイオノマー系を用いた場合は「材充Ⅰ」の項の下欄に、歯科充填用材料Ⅱの複合レジン系を用いた場合は「材充Ⅱ」の項の上欄に、ガラスアイオノマー系を用いた場合は「材充Ⅱ」の項の下欄に、それ以外の材料を用いた場合は「その他」欄に、それぞれ充填材料の点数及び回数を記載する。なお、それぞれの項において、充填の「単純なもの」は左欄に、充填の「複雑なもの」は右欄に記載する。

#### ケ 「支台築造」の項について

(ア) 間接法において、メタルコアによる支台築造は、「メタル」の項のうち、前歯及び小臼歯は「前小」の項に、大臼歯は「大」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。なお、ファイバーポストを用いた場合は、「その他」欄に点数及び回数を部位ごとにそれぞれ記載する。(項番140)



(イ) 直接法において、その他の支台築造は、「その他」の項のうち、前歯及び小臼歯は「前小」の項に、大臼歯は「大」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。なお、ファイバーポストを用いた場合は、「その他」欄に点数及び回数を部位ごとにそれぞれ記載する。

(項番 140)

(ウ) 支台築造印象は「支台印象」の項に点数及び回数を記載する。

コ 「リテーナー」の項について

「リテーナー」の項は、支台歯とポンティックの数の合計が5歯以下の場合は左欄に、支台歯とポンティックの数の合計が6歯以上の場合は右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。

サ 「金属歯冠修復」の項について

(ア) 乳歯、前歯及び小臼歯に銀合金を用いた金属歯冠修復は、「乳前小銀」の項の左から、インレー単純なもの、インレー複雑なもの、前歯部の4分の3冠及び接着冠、臼歯部の5分の4冠及び接着冠、全部金属冠及びレジン前装金属冠の順に点数及び回数を記載する。

(イ) 前歯及び小臼歯に鋳造用金銀パラジウム合金を用いた金属歯冠修復は、「前小パ」の項の左から、インレー単純なもの、インレー複雑なもの、前歯部の4分の3冠及び接着冠、臼歯部の5分の4冠及び接着冠、全部金属冠及びレジン前装金属冠の順に点数及び回数を記載する。(項番 149)

(ウ) 大臼歯に鋳造用金銀パラジウム合金を用いた金属歯冠修復は、「大パ」の項の左から、インレー単純なもの、インレー複雑なもの、5分の4冠(生活歯をブリッジの支台として用いる場合に限る。)及び接着冠、全部金属冠の順に点数及び回数を記載する。

(エ) 大臼歯に銀合金を用いた金属歯冠修復は、「大銀」の項の左から、インレー単純なもの、インレー複雑なもの、5分の4冠(生活歯をブリッジの支台として用いる場合に限る。)及び接着冠、全部金属冠の順に点数及び回数を記載する。

(オ) 可動性連結装置は、当該装置を装着した歯に対する金属歯冠修復の記入欄に、(ア)とは別に点数及び回数を記載する。

(カ) 装着材料は、「装着材料」の項に点数及び回数を記載する。

シ 「仮着」の項について

ブリッジの仮着は、支台歯とポンティックの数の合計が5歯以下の場合は左欄に、支台歯とポンティックの数の合計が6歯以上の場合は右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。

ス テンポラリークラウンは、「T e C」の項に点数及び回数を記載する。

セ 「硬ジ」の項、「乳」の項及び「CAD冠」の項について

(ア) 硬質レジンジャケット冠は、「硬ジ」の項のうち、光重合硬質レジン左欄に、加熱重合硬質レジン右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。(項番 152)

(イ) 乳歯冠は、「乳」の項の左欄に乳歯金属冠を、右欄には乳歯に対するジャケット冠を、それぞれ点数(ジャケット冠は人工歯料を除く。)及び回数を記載する。

(ウ) CAD/CAM冠の「1 2以外の場合」は、「CAD冠」の項のうち、小臼歯に対してCAD/CAM冠用材料(I)を用いた場合は「(I)」の項、CAD/CAM冠用材料(II)を用いた場合は「(II)」の項に、大臼歯に対してCAD/CAM冠用材料(III)を用いた場合は「(III)」の項、前歯に対してCAD/CAM冠用材料(IV)を用いた場合は「(IV)」の項にそれぞれ点数及び回数を記載する。なお、小臼歯に対してCAD/CAM冠用材料(III)を用いた場合は「(I)」又は「(II)」の項に点数及び回数を記載する。(項番 153)

ソ 「CAD In」の項、「チ冠」の項及び「前チ」の項について

(ア) CAD/CAMインレーは、「CAD In」の項のうち、小臼歯に対してCAD/CAM冠用材料（Ⅰ）を用いた場合は「（Ⅰ）」の項、CAD/CAM冠用材料（Ⅱ）を用いた場合は「（Ⅱ）」の項に、大臼歯に対してCAD/CAM冠用材料（Ⅲ）を用いた場合は「（Ⅲ）」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。なお、小臼歯に対してCAD/CAM冠用材料（Ⅲ）を用いた場合は「（Ⅰ）」又は「（Ⅱ）」の項に点数及び回数を記載する。

(イ) チタン冠は、「チ冠」の項に点数及び回数を記載する。

(ウ) レジン前装チタン冠は、「前チ」の項に点数及び回数を記載する。

タ 「根板」の項について

(ア) 前歯及び小臼歯に鑄造用金銀パラジウム合金を用いた根面板は、「パ前小」の項に点数及び回数を記載する。

(イ) 大臼歯に鑄造用金銀パラジウム合金を用いた根面板は、「パ大」の項に点数及び回数を記載する。

(ウ) 前歯及び小臼歯に銀合金を用いた根面板は、「銀前小」の項に点数及び回数を記載する。

(エ) 大臼歯に銀合金を用いた根面板は、「銀大」の項に点数及び回数を記載する。

(オ) 歯科充填用材料Ⅰを用いて根面を被覆した場合は、「レジン」の項に点数及び回数を記載する。

チ 「ポンティック」の項について

(ア) 鑄造ポンティックは、「鑄造」の項のうち、大臼歯に対する鑄造用金銀パラジウム合金を用いた製作は「パ大」の項に、小臼歯に対する鑄造用金銀パラジウム合金を用いた製作は「パ小」の項に、銀合金を用いた製作は「銀」の項に、点数及び回数を記載する。（項番 156）

(イ) レジン前装鑄造ポンティックは、「前装」の項のうち、前歯に対する鑄造用金銀パラジウム合金を用いた製作は「パ前」の項に、小臼歯に対する鑄造用金銀パラジウム合金を用いた製作は「パ小」の項に、大臼歯に対する鑄造用金銀パラジウム合金を用いた製作は「パ大」の項に、前歯に対する銀合金を用いた製作は「銀前」の項に、小臼歯に対する銀合金を用いた製作は「銀小」の項に、大臼歯に対する銀合金を用いた製作は「銀大」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。（項番 156）

ツ 「Br 装着」の項について

ブリッジを装着した場合の装着料は、「Br 装着」の項のうち、ブリッジ1装置について支台歯とポンティックの数の合計が5歯以下の場合は左欄に、支台歯とポンティックの数の合計が6歯以上の場合は右欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。

テ 「装着」の項について

歯冠修復物を装着した場合は、点数及び回数を記載する。なお、CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレーの装着は、項中の「+ ×」欄に加算点数及び回数も記載する。

ト 「有床義歯」の項について

有床義歯は、点数及び床数を記載する。（項番 158、159）

ナ 「床適合」の項について

硬質材料を用いた有床義歯内面適合法は、点数及び床数を記載する。なお、軟質材料を用いた有床義歯内面適合法は、「その他」欄に点数を記載する。また、有床義歯内面適合法に伴う

歯科技工加算 1 又は 2 は、「その他」欄に加算点数及び回数を記載する。(項番 163、164)

ニ 「床修理」の項について

有床義歯修理は、1～8 歯欠損の場合は上欄に、9～14 歯の場合は中欄に、総義歯の場合は下欄に、それぞれ点数及び回数を記載する。また、有床義歯修理に伴う歯科技工加算 1 及び 2 において、歯科技工加算 1 は項中の「+ ×」欄の左欄に加算点数及び回数を記載し、歯科技工加算 2 は項中の「+ ×」欄の右欄に加算点数及び回数を記載する。(項番 161、162)

ヌ 「人工歯」の項について

人工歯料は、点数及び回数を記載する。なお、電子計算機の場合は、「人工歯」の項の記載は上欄左から右へ記載する。なお、書ききれない場合は、中欄から下欄へ順に点数及び回数を記載する。

ネ 「バー」の項について

(ア) 鑄造バーは、「鑄」の項のうち、鑄造用金銀パラジウム合金を用いた製作は「パ」の項に、鑄造用コバルトクロム合金を用いた製作は「コバ」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。

(イ) 屈曲バーは、「屈曲」の項のうち、不銹鋼及び特殊鋼による屈曲バーの製作は「不特」の項に、保持装置の使用は「保」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。

ノ 「鑄造鉤」の項について

(ア) 鑄造用金銀パラジウム合金による鑄造鉤の製作は「パ」の項に、それぞれ上から大・小臼歯の双子鉤、犬歯・小臼歯の双子鉤、大臼歯の二腕鉤(レスト付き)、犬歯又は小臼歯の二腕鉤(レスト付き)、前歯(切歯)の二腕鉤(レスト付き)の点数及び回数を記載する。

(イ) 鑄造用コバルトクロム合金による鑄造鉤の製作は、「コバ」の項に、それぞれ上から双子鉤、二腕鉤(レスト付き)の点数及び回数を記載する。

ハ 「線鉤」の項及び「間接」の項について

(ア) 不銹鋼及び特殊鋼を用いた製作は「不・特」の項に、それぞれ双子鉤は左上欄に、二腕鉤(レスト付き)は左下欄に、二腕鉤(レスト無し)は右下欄に点数及び回数を記載する。

(イ) 間接支台装置は、「間接」の項に点数及び回数を記載する。

ヒ 「コンビ」の項について

鑄造用コバルトクロム合金によるコンビネーション鉤の製作は「コンビ」の項に、点数及び回数を記載する。

フ 「磁性アタッチメント」の項について

(ア) 磁石構造体を用いる場合は、「磁性アタッチメント」の項のうち、「磁石」の項に、点数及び回数を記載する。

(イ) キーパー付き根面板を用いる場合は、「キ付根板」の項のうち、鑄造用金銀パラジウム合金を用いて前歯及び小臼歯に対しての製作は「パ」の項の「前小」の項に、大臼歯に対する製作は「大」の項に、銀合金を用いて前歯及び小臼歯に対しての製作は「銀」の項の「前小」の項に、大臼歯に対する製作は「大」の項に、それぞれ点数及び回数を記載する。

ヘ 「修理」の項について

有床義歯修理及び有床義歯内面適合法以外の修理は、点数及び回数を記載する。

ホ 「その他」欄について

(ア) クラウン・ブリッジ維持管理料について地方厚生(支)局長へ届け出た保険医療機関以

外の保険医療機関において、歯冠補綴物又はブリッジを製作し当該補綴物を装着した場合は、所定点数の100分の70に相当する点数及び回数を記載する。(項番135)

- (イ) 咬合印象は、点数及び回数を記載する。
- (ウ) 光学印象は、点数(加算を含む。)及び回数を記載する。(項番143)
- (エ) 仮床試適の「4 その他の場合」は、点数(加算を含む。)及び回数を記載する。
- (オ) 小児保険装置は、点数及び回数を記載する。(項番155)
- (カ) 熱可塑性樹脂有床義歯等、記載欄がない歯冠修復及び欠損補綴は、名称、部位、点数及び回数を記載する。(項番159)
- (キ) レジンインレー、高強度硬質レジnbridge又は既製金属冠等、記載欄がない歯冠修復及び欠損補綴は、点数及び回数を記載する。  
なお、高強度硬質レジnbridge又は接着ブリッジの装着を行った場合の装着料は、加算を合算した点数及び回数を記載する。(項番135)
- (ク) 鑄造用金銀パラジウム合金によるコンビネーション鉤は、点数及び回数を記載する。
- (ケ) 歯科鑄造用14カラット金合金による鑄造鉤及び歯科用14カラット金合金鉤用線による線鉤は、点数及び回数を記載する。
- (コ) 新たに製作した有床義歯を装着した日から起算して6月以内の当該有床義歯の修理及び有床義歯内面適合法は、それぞれの点数の100分の50に相当する点数及び装着料を合算した点数を記載する。(項番161、162、163、164)
- (サ) 脱離した歯冠修復物の再装着は、点数及び回数を記載する。なお、それに伴い内面処理加算を行った場合は点数及び回数を記載する。(項番144)
- (シ) 脱離又は修理したブリッジを再装着した場合の装着料は、ブリッジ1装置について、支台歯とポンティックの数の合計が5歯以下の場合又は支台歯とポンティックの数の合計が6歯以上の場合に分けて、点数及び回数を記載する。(項番144)
- (ス) 歯科鑄造用14カラット金合金を用いた金属歯冠修復は、点数及び回数を記載する。(項番149)
- (セ) 広範囲顎骨支持型補綴物管理料、広範囲顎骨支持型補綴診断料、広範囲顎骨支持型補綴(ブリッジ形態のもの)に用いたリテーナー、広範囲顎骨支持型補綴又は広範囲顎骨支持型補綴物修理は、それぞれ点数を記載すること。(項番165)
- (ソ) チタン冠を歯根分割した歯に対し装着した場合は技術料及び材料料を合算した点数及び回数を記載する。「その他」欄に書ききれない等の場合は、全体の「その他」欄に記載する。
- (タ) CAD/CAM冠の「1 2以外の場合」について、CAD/CAM冠用材料(V)を用いた場合は、点数及び回数を記載する。
- (チ) CAD/CAM冠の「2 エンドクラウンの場合」について、CAD/CAM冠用材料(Ⅲ)を用いた場合は、点数及び回数を記載する。
- (ツ) CAD/CAM冠を歯根分割した歯に対し装着した場合は技術料及び材料料を合算した点数及び回数を記載する。「その他」欄に書ききれない等の場合は、全体の「その他」欄に記載する。
- (テ) 歯冠修復及び欠損補綴のうち、該当する記載欄を設けていない場合及び該当欄に記載しきれない場合は、名称、点数及び回数を記載する。「その他」欄に書ききれない等の場合は、全体の「その他」欄に記載する。

- (ト) 歯冠修復物又は欠損補綴物の装着予定日から起算して1月以上患者が来院しない場合の当該歯冠修復物又は欠損補綴物は、該当する記載欄に装着料を含まない点数及び回数を記載する。(項番135)
- (29) 歯科矯正について  
全体の「その他」欄に記載する。(項番166~176)
- ア 歯科矯正における帯環及びダイレクトボンドブラケット並びに可撤式装置及び固定式装置は、それぞれ点数と装着料を合算した点数を記載する。
- イ 植立は点数を記載する。また、アンカースクリュー脱落后の再埋入において特定保険医療材料を算定する場合又は治療途中で新たにアンカースクリューを追加で植立する場合は、点数を記載する。(項番150)
- (30) その他について  
全体の「その他」欄に記載する。
- ア 看護職員処遇改善評価料、歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)及び歯科外来・在宅ベースアップ評価料(II)並びに入院ベースアップ評価料は、それぞれ点数及び回数を記載する。
- (31) その他の項目について
- ア 都道府県知事が厚生労働大臣の承認を得て別に療養担当手当を定めた場合の療養担当手当は、全体の「その他」欄に点数を記載する。
- イ 内訳を記載するに当たって、「摘要」欄に書ききれない場合は、明細書と同じ大きさの用紙(用紙の色は白色で可とする。)に、診療年月、医療機関コード、患者氏名、保険種別番号(例; 1社・国 1単独 2本外)、保険者番号(公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担者番号)、被保険者証・保険者手帳等の記号・番号(公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担医療の受給者番号)を記載した上、所定の内容を記載し、続紙として、当該明細書の次に重ね、左上端を貼り付ける。
- ウ 医療情報取得加算、医療DX推進体制整備加算又は在宅医療DX情報活用加算は、全体の「その他」欄に点数を記載する。
- (32) 「点数」欄について  
「初診」欄から全体の「その他」欄までのそれぞれの合計点数を記載する。  
医療保険と公費負担医療の併用の場合は、「点数」欄を縦に区分して、左欄から順に医療保険に係る請求点数、第1公費に係る請求点数、第2公費に係る請求点数を記載するが、公費負担医療に係るすべての請求点数が医療保険に係る請求点数と同じ場合は、「点数」欄を縦に区分して、当該公費負担医療に係る請求点数を記載することを省略しても差し支えない。  
なお、月の途中で公費負担医療の受給資格の変更があった場合又は公費負担医療に係る給付の内容が医療保険と異なる場合は、公費負担医療に係る請求点数が医療保険に係る請求点数と異なることとなるので、「点数」欄を縦に区分して、公費負担医療に係る請求点数も必ず記載する。  
また、公費負担医療と公費負担医療の併用の場合も同様とする。
- (33) 「合計」欄について  
請求する医療保険に係る合計点数を記載する。
- (34) 「一部負担金額」欄について
- ア 医療保険(高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証又は特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証及び小児慢性特定疾病医療受

給者証にあっては、適用区分に所得区分の記載があるものに限る。)の提示若しくは限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。)は、次による。

(ア) 船員保険の被保険者について、「職務上の事由」欄中「通勤災害」に該当する場合には、初診時における一部負担金の金額を記載する。ただし、災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。

(イ) 健康保険及び国民健康保険の場合は、患者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して「割」の文字を○で囲み、「円」単位で減額される場合には、減額される金額を記載して「円」の文字を○で囲む。

また、負担額が免除される場合は「免除」の文字を○で囲み、支払が猶予される場合は「支払猶予」の文字を○で囲む。

イ 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証又は特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証及び小児慢性特定疾病医療受給者証にあっては、適用区分に所得区分の記載があるものに限る。）の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）及び後期高齢者医療は、以下による。

(ア) 高額療養費が現物給付された者に限り記載し、支払いを受けた一部負担金の額を記載する。なお、この場合において、一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を「一部負担金額」の項の上段に（ ）で再掲するものとし、下段に支払いを受けた一部負担金と公費負担医療が給付する額とを合算した金額を記載する。なお、「一部負担金」の項に記載しきれない場合には、「摘要」欄に（ ）で再掲して差し支えない。

(イ) 健康保険法施行令第43条第1項並びに同条第5項、国民健康保険法施行令第29条の4第1項並びに同条第3項又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項並びに同条第3項の規定が適用される者の場合は、これらの規定により算定した額（この額に1円未満の端数がある場合において、その端数金額が50銭未満であるときは、これを切り捨て、その端数金額が50銭以上であるときは、これを切り上げた額）を記載する。

(ウ) 健康保険法施行令第43条第1項第2号へ、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号へに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号へに掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「摘要」欄に、「低所得Ⅰ」と記載する。

(エ) 健康保険法施行令第43条第1項第2号ホに掲げる者、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号ホに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号ホに掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「摘要」欄に、「低所得Ⅱ」と記載する。

(オ) 健康保険及び国民健康保険において、患者の負担金額が「割」の単位で減額される場合は減額割合を記載して「割」の文字を○で囲み、「円」単位で減額される場合は減額後の一部負担金の金額を記載して「円」の文字を○で囲む。

また、負担額が免除される場合は「免除」の文字を○で囲み、支払が猶予される場合は「支払猶予」の文字を○で囲む。

(カ) 後期高齢者医療において、高齢者医療確保法第69条第1項の規定に基づき広域連合長

から一部負担金の減額を受けた者の場合は、「割」の単位で減額される場合は減額割合を記載して「割」の文字を○で囲み、「円」単位で減額される場合は減額後の一部負担金の金額を記載して「円」を○で囲む。また、負担額が免除される場合は「免除」の文字を○で囲み、支払いが猶予される場合は「支払猶予」の文字を○で囲む。

(35) 「公費分点数」欄について

ア 「請求」の項は、第1公費に係る合計点数を記載する。なお、第2公費に係る合計点数がある場合は、括弧書きで記載する。ただし、第1公費に係る合計点数が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る合計点数の記載を省略しても差し支えない。

また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る合計点数が第1公費に係る合計点数と同じ場合は、第2公費に係る合計点数の記載を省略しても差し支えない。

(36) 「患者負担額（公費）」欄について

医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額（一部負担金の額が医療券等に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を下回る場合で、「一部負担金」の項に金額を記載するもの場合は(33)のイの(ア)により記載した額を、金額の記載を要しないもの場合は10円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額）を記載する。なお、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合に限る。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）と感染症法との併用の場合は、一部負担金から同負担金のうち当該公費負担医療が給付する額を控除した額（即ち、窓口で徴収した額）を記載する。

また、障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法による小児慢性特定疾病医療支援、肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療並びに難病法による特定医療に係る患者の負担額は、10円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額を記載し、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法による肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療並びに難病法による特定医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合に限る。）に10円未満の端数を四捨五入した後の一部負担金の額を記載する。ただし、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合を除く。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付化された者に係るものを除く。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合には、当該公費に係る負担額は「患者負担額（公費）」欄への記載は要しない。

高齢受給者の一般所得者及び低所得者であって、難病法による特定医療、特定疾患治療研究事業又は肝炎治療特別促進事業に係る公費負担医療受給者は、医療券に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を記載する。ただし、当該公費負担医療の給付対象額の2割相当の額が、当該医療券に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を下回る場合は、当該2割相当の額（「一部負担金額」の項に金額を記載するものは10円未満の端数を四捨五入した後の額を、金額の記載を要しないものは10円未満の端数を四捨五入する前の額。）を記載する。

(37) その他

- ア 歯科の入院に係る費用の請求に当たっては、原則として医科入院の明細書を使用する。  
この場合、当該明細書の「保険種別1」欄の左の欄の「1 医科」を「3 歯科」と訂正する。
- また、その記載に当たっては、医科の記載要領に準拠して記載し、「歯冠修復及び欠損補綴」等歯科独自の診療行為は「摘要」欄に診療行為名、点数及び必要事項を記載する。
- イ 「処置・手術」等のうち、該当する記載欄を設けていないが頻度の高いものは、「処置・手術」等の「その他」欄に予め印刷しても差し支えない。
- ウ 平成18年3月31日保医発第0331002号に規定する特別養護老人ホーム等に入所中の患者について診療報酬を算定した場合は、「特記事項」欄に「施」と表示する。なお、同月内に同患者につき、特別養護老人ホーム等に赴き行った診療と、それ以外の外来分の診療がある場合は、それぞれ明確に区分し「摘要」欄に記載する。
- エ 公費負担医療のみの場合において、請求点数を後期高齢者医療の診療報酬点数表による場合は、「特記事項」欄に「後保」と表示する。
- オ 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出又は特定疾病療養受療証情報を提供した患者の負担額が、健康保険法施行令第42条第9項第1号又は同項第2号に規定する金額を超えた場合は、「特記事項」欄に、それぞれ「長」又は「長2」と記載する。ただし、患者が特定疾病療養受療証の提出又は特定疾病療養受療証情報の提供を行った際に、既に健康保険法施行令第42条第6項第1号又は同項第2号に規定する金額を超えて受領している場合で現物給付化することが困難な場合を除く。
- カ 患者の疾病又は負傷が交通事故等第三者の不法行為によって生じたと認められる場合は、「特記事項」欄に「第三」と記載する。なお、「交」等従来行われていた記載も差し支えない。
- キ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号、第7号又は第8号に規定する医療機器を使用又は支給した場合は、Ⅱの第3の2の(26)のケの例により「摘要」欄に「器評」と記載し、当該医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載する。厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号に規定する体外診断用医薬品を使用又は支給した場合は、Ⅱの第3の2の(26)のケの例により「摘要」欄に「体評」と記載し、当該体外診断用医薬品名を他の診療報酬請求項目と区別して記載すること。厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第2条第12号に規定する医療機器を使用又は支給した場合は、Ⅱの第3の2の(26)のケの例により「摘要」欄に「器選」と記載し、当該医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。
- ク 地方厚生（支）局長に届け出て別に厚生労働大臣が定める先進医療を実施した場合は、「特記事項」欄に「先進」と記載し、先進医療の名称及び先進医療について徴収した特別の料金の額を「摘要」欄の最上部に記載する。
- ケ 「制限回数を超えて行う診療」に係る診療報酬の請求は、「特記事項」欄に「制超」と記載する。  
また、実施したりハビリテーションごとに、「摘要」欄に「リハ選」と記載し、併せて「制限回数を超えて行う診療」の名称、徴収した特別の料金及び回数を記載する。
- コ 自己負担限度額特例対象被扶養者等は、「特記事項」欄に「高半」と記載する。
- サ 高齢者医療確保法第50条第2号に該当する者（65歳から75歳未満の者であって、後期高齢者医療広域連合の障害認定を受けた者）が75歳に到達した月に療養を受けた場合（自己負担限度額が2分の1とならない場合）は、「摘要」欄に「障害」と記載する。



- シ 電子情報処理組織の使用による請求又は光ディスク等を用いた請求により療養の給付等の請求を行う場合は、請求する各点数の算定日ごとに回数を記録して請求し、各規定により「摘要」欄に算定日（初回算定日及び前回算定日等の当該請求月以外の算定日を除く。）を記載する点数は、その記録を省略しても差し支えない。ただし、平成 24 年 3 月診療以前分は、「摘要」欄に算定日を記載する点数の各規定に従い、「摘要」欄に算定日を記載する。
- ス 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第 1 条第 5 号の 2 又は第 7 号の 2 に規定する再生医療等製品を使用又は支給した場合は、「摘要」欄に「加評」と記載し、当該再生医療等製品名を他の再生医療等製品と区別して記載すること。
- セ 70 歳未満の場合であって、「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 901 万円超）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（ア）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 901 万円超）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（適用区分が（ア）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は 70 歳以上の場合であって、「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 690 万円以上）の世帯」の高齢受給者証若しくは後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（3 割））の提示のみ若しくは高齢受給者証情報若しくは後期高齢者医療被保険者証情報の提供のみの場合又は「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 690 万円以上）の世帯」の適用区分（VI）の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区ア」と記載すること。
- ソ 70 歳未満の場合であって、「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び退職者医療にあつては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（イ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（適用区分が（イ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は 70 歳以上の場合であって、「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅡ又は現役Ⅱ））が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の適用区分（V）の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区イ」と記載すること。
- タ 70 歳未満の場合であって、「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（ウ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（適用

区分が（ウ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額28万～50万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得145万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅠ又は現役Ⅰ））が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額28万～50万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得145万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅳ）の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区ウ」と記載すること。

チ 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得210万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（エ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得210万円以下）の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証（適用区分が（エ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては課税所得145万円未満）の世帯」の高齢受給者証（一部負担金の割合（2割））の提示のみ若しくは高齢受給者証情報の提供のみの場合又は「標準報酬月額26万円以下（国民健康保険にあつては課税所得145万円未満）の世帯」の適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区エ」と記載すること。

ツ 70歳未満の場合であって、「低所得者の世帯」の限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（オ）であるもの）が提示若しくは限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合又は「低所得者の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証（適用区分が（オ）であるもの）が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は70歳以上の場合であって、「低所得者の世帯」の限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（Ⅰ又はⅡ））が提示若しくは限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合又は「低所得者の世帯」の適用区分（Ⅰ又はⅡ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区オ」と記載すること。

テ 70歳未満において「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得901万円超）の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は70歳以上において「標準報酬月額83万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得690万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅵ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多ア」と記載すること。

ト 70歳未満において「標準報酬月額53万～79万円（国民健康保険にあつては、旧ただし書き

所得 600 万円超～901 万円以下) の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は 70 歳以上において「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅴ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多イ」と記載すること。

ナ 70 歳未満において「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険及び退職者医療にあつては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は 70 歳以上において「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 145 万円以上）の世帯」の適用区分（Ⅳ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多ウ」と記載すること。

ニ 70 歳未満において「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 210 万円以下）の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合、又は 70 歳以上で「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあつては課税所得 145 万円未満）の世帯」の適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多エ」と記載すること。

ヌ 70 歳未満において「低所得者の世帯」の適用区分の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証又は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であつて、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合には、「特記事項」欄に「多才」と記載すること。

ネ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区カ」と記載すること。

ノ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課

税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合を除く。）、又は「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合（特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）を除く。）には、「特記事項」欄に「区キ」と記載すること。

ハ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多力」と記載すること。

ヒ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示又は後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合であって、特定疾病給付対象療養高額療養費多数回該当の場合（小児慢性特定疾病医療支援を除く。）には、「特記事項」欄に「多キ」と記載すること。

※ ネからヒまでについては、令和 4 年 10 月 1 日から適用する。令和 4 年 9 月 30 日までの間は、後期高齢者医療にあつてはチ及びニに従い、従前どおり「区エ」及び「多エ」を使用されたい。

フ 別に厚生労働大臣が定める患者申出療養（当該療養を適切に実施できるものとして厚生労働大臣に個別に認められた病院又は診療所において行われるものに限る。）を実施した場合には、「特記事項」欄に「申出」と記載するとともに、当該療養の名称及び当該療養について徴収した特別の料金の額を「摘要」欄の最上部に記載すること。

ヘ 医療法第 30 条の 13 に規定する病床機能報告制度において、医療法施行規則第 30 条の 33 の 6 第 1 項に規定するレセプト情報による方法の場合であつて、病棟情報を電子レセプトに記録する場合は、「病床機能報告制度に関する電子レセプトへの病棟情報の記録の通年化について」によること。

## IV 調剤報酬請求書及び調剤報酬明細書に関する事項

### 第1 調剤報酬請求書に関する事項（様式第4）

#### 1 「令和 年 月分」欄について

調剤年月又は外来服薬支援料1若しくは退院時共同指導料を算定した年月（以下「調剤年月等」という。）を記載すること。したがって、調剤年月等の異なる調剤報酬明細書（以下「明細書」という。）がある場合には、それぞれの調剤年月分等について調剤報酬請求書を作成すること。なお、調剤年月等の異なる明細書であっても、返戻分の再請求等やむを得ぬ事由による請求遅れ分については、この限りではないこと。

#### 2 「薬局コード」欄について

それぞれの薬局について定められた薬局コード7桁を記載すること（別添2「設定要領」の第4を参照）。

#### 3 「別記 殿」欄について

保険者名、市町村名及び公費負担者名を下記例のとおり備考欄に記載することを原則とするが、省略しても差し支えないこと。

（例） 別記 全国健康保険協会理事長  
千代田区長  
東京都知事

#### 4 「令和 年 月 日」欄について

調剤報酬請求書を提出する年月日を記載すること。

#### 5 「保険薬局の所在地及び名称、開設者氏名」欄について

（1） 保険薬局の所在地及び名称、開設者氏名については、保険薬局指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地、名称及び開設者氏名を記載すること。なお、開設者氏名については開設者から調剤報酬につき委任を受けている場合は、保険薬局の管理者の氏名であっても差し支えないこと。

（2） 保険薬局自体で調剤報酬請求書用紙の調製をしない場合において、記名の労を省くため、保険薬局の所在地、名称及び開設者氏名のゴム印を製作の上、これを押捺することは差し支えないこと。

#### 6 「医療保険」欄について

（1） 医療保険と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち医療保険に係る分及び医療保険単独の者に係る明細書について記載することとし、医療保険単独の者に係る分については医療保険制度ごとに記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

（2） 「件数」欄には明細書の医療保険に係る件数の合計を、「処方箋受付回数」欄には明細書の受付回数の合計を、「点数」欄には明細書の「請求」欄の「保険」の項に係る「請求」の項の合計を、「一部負担金」欄には明細書の「一部負担金」欄の「保険」の項に係る「一部負担金」の項の合計を記載すること。

なお、「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄、「医保単独（七〇以上七割）」欄、「医保単独（本人）」欄、「医保単独（家族）」欄及び「医保単独（六歳）」欄の「小計」欄にはそれ

ぞれの合計を記載すること。

(3) 「①合計」欄には、「医保（70以上一般・低所得）と公費の併用」欄と「医保単独（70以上一般・低所得）」欄の「小計」欄と、「医保（70以上7割）と公費の併用」欄と「医保単独（70以上7割）」欄の「小計」欄と、「医保本人と公費の併用」欄と「医保単独（本人）」欄の「小計」欄と、「医保家族と公費の併用」欄と「医保単独（家族）」欄の「小計」欄と、「医保（6歳）と公費の併用」欄と「医保単独（6歳）」欄の「小計」欄とを合計して記載すること。なお、処方箋受付回数及び点数については、記載を省略して差し支えない。

(4) 医事会計システムの電算化が行われていない保険薬局等にあつては、「医保単独（70以上一般・低所得）」欄と、「医保単独（70以上7割）」欄とに記載すべき各項の数字を合算し、その合計を「医保単独（70以上一般・低所得）」欄に記載することをもって請求することができること。この場合には、当該合算を実施した上で各項を記載していることがわかるように「備考」欄に合算している旨を記載すること。

#### 7 「公費負担」欄の「公費と医保の併用」欄について

(1) 医療保険と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には、区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

(2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、医療保険と2種の公費負担医療（例えば、感染症法による結核患者の適正医療と児童福祉法）の併用の場合は、1枚の明細書であっても公費負担医療に係る件数は2件となること。

(3) 「処方箋受付回数」欄には、明細書の「受付回数」欄の「公費①」及び「公費②」の項を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。

(4) 「点数」欄には、明細書の請求欄の「公費①」及び「公費②」の項に記載した点数を、公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費①」又は「公費②」の項の記載を省略した明細書については、「保険」又は「公費①」の項の点数が当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計すること。

(5) 「一部負担金（控除額）」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の「一部負担金額」欄の「公費①」及び「公費②」の項の額（調剤券等に記入されている公費負担医療に係る患者負担額）を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。

#### 8 「公費負担」欄の「公費と公費の併用」欄について

(1) 公費負担医療のみで2種以上の公費負担医療の併用が行われた場合には、当該併用の者に係る明細書分を記載すること。

公費負担医療が2種の場合、例えば、感染症法による結核患者の適正医療と生活保護法による医療扶助に係る分とを併せて請求する場合には、空欄にそれぞれの公費負担医療の法別番号を記載して当該公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、特例的に、生活保護法による医療扶助、感染症法による結核患者の適正医療及び障害者総合支援法による精神通院医療等の3種の公費負担医療の併用の場合があるが、この場合は、空欄を取り繕ってそれぞれの公費負担医療の法別番号を記載し、当該公費負担医療に係る分を記載すること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、1枚の明細書であっても、公費負担医療に係る件数は、2件ないし3件となること。
  - (3) 「処方箋受付回数」欄には、明細書の「受付回数」欄の「公費①」及び「公費②」の項を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
  - (4) 「一部負担金（控除額）」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の「一部負担金額」欄の「公費①」及び「公費②」の項の額（調剤券等に記入されている公費負担医療に係る患者負担額）を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
  - (5) 「点数」欄には、明細書の「請求」欄の「公費①」及び「公費②」の項に記載した点数を、公費負担医療制度ごとに合計してそれぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「請求」欄の「公費②」の項の記載を省略した明細書については、請求欄の「公費①」の項に記載した点数が、当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計すること。また、特例的に3種の公費負担医療の併用を行った場合には、生活保護法による医療扶助に係る点数は「請求」欄の「保険」の項の点数をも合計して記載すること。
- 9 「公費負担」欄の「公費単独」欄について
- (1) 公費負担医療単独の者に係る明細書分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る請求分を記載すること。  
なお、公費負担医療に係る法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」により示すとおりであること。
  - (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
  - (3) 「処方箋受付回数」欄には、明細書の「受付回数」欄の「①」の項を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
  - (4) 「一部負担金（控除額）」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の「一部負担金額」欄の「公費①」の額（調剤券等に記入されている公費負担医療に係る患者負担額）を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
  - (5) 「点数」欄には、明細書の「請求」欄の「公費①」の項に記載した点数を、公費負担医療制度ごとに合計し、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
- 10 「②合計」欄について
- 「公費と医保の併用」、「公費と公費の併用」及び「公費単独」欄の「件数」欄の請求件数を合計して記載すること。
- 11 「総件数①+②」欄について
- 「①合計」及び「②合計」欄の請求件数を合計して記載すること。
- 12 その他
- (1) 請求に係る月の処方箋受付回数を「備考」欄に記載すること。
  - (2) 服用薬剤調整支援料、服薬情報等提供料、在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料又は在宅患者緊急時等共同指導料を算定した月とその基となる調剤月が異なる場合は、「処方箋受付回数」は調剤月について計上すること。また、長期投薬若しくは後発医薬品に係る分割調剤の調剤基本料を算定する場合、医師の指示による分割調剤に係る自局での初回以外の調剤を行う場合、調剤管理料（在宅協力薬局が当該分析、評価を行い、在宅基幹薬局が当該

点数を算定する場合に限る。)又は服薬情報等提供料、在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料、在宅患者緊急時等共同指導料、服用薬剤調整支援料、外来服薬支援料1、外来服薬支援料2(在宅協力薬局が当該指導等を行い、在宅基幹薬局が当該点数を算定する場合に限る。)、退院時共同指導料、経管投薬支援料、調剤後薬剤管理指導料1、調剤後薬剤管理指導料2若しくは在宅移行初期管理料のみの算定を行っている場合は、「件数」としては1件、「受付回数」としては0件として計上すること。

## 第1の2 調剤報酬請求書に関する事項(様式第9)

調剤報酬請求書に関する事項については、次に掲げる事項を除き、第1の例によること。

なお、「3 「別記 殿」欄について」は、各広域連合殿と読み替えるものであること。

### 1 「後期高齢者医療」欄について

- (1) 後期高齢者医療と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち後期高齢者医療に係る分及び後期高齢者医療単独の者に係る明細書について記載すること。
- (2) 「件数」欄、「処方箋受付回数」欄、「点数」欄及び「一部負担金」欄については、第1の6の(2)と同様であること。この場合、第1の6の(2)中「医療保険」とあるのは「後期高齢者医療」と読み替えるものであること。
- (3) 医事会計システムの電算化が行われていない保険薬局等にあつては、「後期高齢一般・低所得」欄と、「後期高齢七割」欄とに記載すべき各項の数字を合算し、その合計を「後期高齢一般・低所得」欄に記載することをもって請求することができること。この場合には、合計を記載していることがわかるように「備考」欄に合算している旨を記載すること。

### 2 「公費負担」欄の「公費と後期高齢者医療の併用」欄について

- (1) 後期高齢者医療と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には、区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、医療保険と2種の公費負担医療(例えば、感染症法による結核患者の適正医療と児童福祉法)の併用の場合は、1枚の明細書であっても公費負担医療に係る件数は2件となること。
- (3) 「処方箋受付回数」欄には、明細書の「受付回数」欄の「公費①」及び「公費②」の項を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
- (4) 「点数」欄には、明細書の請求欄の「公費①」及び「公費②」の項に記載した点数を、公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費①」又は「公費②」の項の記載を省略した明細書については、「保険」又は「公費①」の項の点数が当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計すること。
- (5) 「一部負担金」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の「一部負担金額」欄の「公費①」及び「公費②」の項の額(調剤券等に記入されている公費負担医療に係る患者負担額)を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。



## 第2 調剤報酬明細書の記載要領（様式第5）

### 1 調剤報酬明細書の記載要領に関する一般的事項

- (1) 明細書は、白色紙黒色刷りとすること。
- (2) 左上の隅より右へ 12mm、下へ 12mmの位置を中心に半径 2 mmの穴をあけて、綴じ穴とすること。
- (3) 同一患者につき、同一医療機関の保険医が交付した処方箋に係る調剤分については、一括して 1 枚の明細書に記載すること。ただし、歯科と歯科以外の診療科の処方箋については、それぞれ別の明細書に記載すること。また、外来服薬支援料 1、服薬情報等提供料 3 及び退院時共同指導料に係る明細書については、処方箋に基づく調剤分に係る明細書とは別とし、それぞれ単独の明細書とすること。
- (4) 1 枚の処方箋の使用期間が次月にまたがる場合については、当該処方箋に係る調剤実行為を行った月の調剤分として請求すること。
- (5) 服薬情報等提供料は、算定の対象となる情報提供を実施した月の分として請求すること。
- (6) 在宅患者訪問薬剤管理指導料は、算定の対象となる訪問薬剤管理指導を実施した月の分として請求すること。
- (7) 在宅移行初期管理料は、当該患者について初めて在宅患者訪問薬剤管理指導料、居宅療養管理指導費及び介護予防居宅療養管理指導費を算定する月の分として請求すること。
- (8) 月の途中において保険者番号又は本人・家族等の種別の変更があった場合は、保険者番号ごとに、それぞれ別の明細書を作成すること。高齢受給者証又は後期高齢者の被保険者証が月の途中に発行されること等により給付額を調整する必要がある場合又は公費負担医療単独の場合において公費負担者番号若しくは公費負担医療の受給者番号の変更があった場合も同様とすること。なお、それぞれ別の明細書を作成する場合は、変更後の明細書の「摘要」欄にその旨を記載すること。
- (9) 1 枚の明細書に書ききれない場合は、明細書又は明細書と同じ大きさの用紙に、調剤年月等、薬局コード、患者氏名、保険種別（例：1社・国 1単独 2本外）、保険者番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担者番号）、被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担医療の受給者番号）を記載した上、所定の内容を記載し、続紙として、当該明細書の次に重ね、左上端を貼り付けること。
- (10) 電子計算機の場合は、以下によること。
  - ア 欄の名称を簡略化して記載しても差し支えないこと。また、複数の選択肢より○を用いて選択する欄については、特段の定めのある場合を除き、選択した項目のみ記載し、それ以外の項目は省略しても差し支えないこと。
  - イ 枠をその都度印刷することとしても差し支えないこと。
  - ウ 用紙下端の空白部分は、OCR処理等審査支払機関の事務処理に供するため、その他の目的には使用しないこと。
  - エ 電子計算機用のOCR関連事項は、「レセプト基本フォーマット集（平成9年8月版）」（社会保険庁運営部編）によることが望ましいこと。
  - オ 記載する文字は、JIS X 0 2 0 8において文字コードが設定された範囲とすることが望ましいこと。

### 2 調剤報酬明細書に関する事項

- (1) 「令和 年 月分」欄について

調剤年月等を記載すること。

(2) 「都道府県番号」欄について

別添2の設定要領の別表2に掲げる都道府県番号表に従い、保険薬局の所在する都道府県の番号を記載すること。

(3) 「薬局コード」欄について

それぞれの薬局について定められた薬局コード7桁を記載すること（別添2「設定要領」の第4を参照）。

(4) 「保険種別1」、「保険種別2」及び「本人・家族」欄について

ア 「保険種別1」欄については、以下の左に掲げる保険の種別に応じ、右の番号のうち1つを○で囲むこと。

|   |       |
|---|-------|
| 健康保険（船員保険を含む。以下同じ。）又は国民健康保険             | 1 社・国 |
| 公費負担医療（健康保険、国民健康保険又は後期高齢者医療との併用の場合を除く。） | 2 公費  |
| 後期高齢者医療                                 | 3 後期  |

イ 「保険種別2」欄については、「保険種別1」欄のそれぞれについて、以下の左の別に応じ、右の番号のうち1つを○で囲むこと。

|                 |      |
|-----------------|------|
| 単独              | 1 単独 |
| 1種の公費負担医療との併用   | 2 2併 |
| 2種以上の公費負担医療との併用 | 3 3併 |

（注）公費負担医療には、地方公共団体が独自に行う医療費助成事業（審査支払機関へ医療費を請求するものに限る。）を含むこと。

ウ 「本人・家族」欄については、以下の左に掲げる種別に応じて、右の番号のうち1つを○で囲むこと。なお、未就学者である患者は「4」、高齢受給者及び後期高齢者医療受給対象者は「8」又は「0」を○で囲むこととする。なお、公費負担医療については本人に該当するものとする。

ただし、国民健康保険の場合は、市町村国民健康保険であって被保険者（世帯主）と被保険者（その他）の給付割合が異なるもの及び国民健康保険組合については被保険者（世帯主（高齢受給者を除く。））は「2」、被保険者（その他（未就学者である患者及び高齢受給者を除く。））は「6」を○で囲むこととし、それ以外（未就学者である患者及び高齢受給者を除く。）はいずれか一方を○で囲むこと。

なお、「2 本外」（若しくは「2 本」）、「4 六外」（若しくは「4 六」）、「6 家外」（若しくは「6 家」）、「8 高外一」（若しくは「8 高一」）又は「0 高外7」（若しくは「0 高7」）の項のみを印刷したものを使用することとしても差し支えないこと。

|                          |       |
|--------------------------|-------|
| 2 本人外来                   | 2 本外  |
| 4 未就学者外来                 | 4 六外  |
| 6 家族外来                   | 6 家外  |
| 8 高齢受給者・後期高齢者医療一般・低所得者外来 | 8 高外一 |
| 0 高齢受給者・後期高齢者医療7割給付外来    | 0 高外7 |

（注1） 後期高齢者医療一般のうち、1割負担の者と、2割負担の者の判別については、「特記事項」欄に記載される所得区分により行うため、特段の記載は必要ない。

- エ 電子計算機の場合は、以下のいずれかの方法によること。
- (ア) 当該欄の上に選択する番号及び保険種別等のみを記載する。
  - (イ) 選択肢をすべて記載した上で、選択しないものをすべて＝線で抹消する。
- (5) 「保険者番号」欄について
- ア 設定された保険者番号8桁（国民健康保険については6桁）を記載すること（別添2「設定要領」の第1を参照）。なお、国民健康保険の場合は右詰めで記載すること。
  - イ 公費負担医療単独の場合及び公費負担医療のみの場合は、別段の定めのある場合を除き、記載しないこと。
- (6) 「給付割合」欄について
- 国民健康保険の場合、該当する給付割合を○で囲むか、( )の中に給付割合を記載すること。ただし、国民健康保険については、自県分の場合は、記載を省略しても差し支えないこと。
- (7) 「被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号」欄について
- ア 被保険者証等の「記号及び番号」欄の記号及び番号を記載すること。また、後期高齢者医療被保険者証の「被保険者番号」欄の「被保険者番号」を記載すること。被保険者証等の「記号及び番号」欄に枝番の記載がある場合は、併せて枝番を記載すること。なお、電子資格確認の場合は、オンラインにより提供された資格情報から、これらの記載を行うこと。
  - イ 記号と番号の間にスペース、「・」若しくは「-」を挿入するか、又は上段に記号、下段に番号を記載すること。また、枝番は「(枝番)」の後ろに記載すること。
  - ウ 当該記号及び番号のうち○で囲んだ文字に代えて当該文字を( )で囲んだものを使用して記載することも差し支えなく、記載枠に書ききれない等の場合は、( )を省略しても差し支えないこと。なお、被保険者が、月の途中において、記号・番号を変更した場合又は任意継続に変更した場合（給付割合に変更がない場合に限る。）は、変更後の記号・番号を記載すること。
- (8) 「公費負担者番号①」欄及び「公費負担者番号②」欄について
- ア 調剤券等に記入されている公費負担者番号8桁を記載すること（別添2「設定要領」の第2を参照）。
  - イ 別添2の別表1「法別番号及び制度の略称表」に示す順番により、先順位の公費負担者番号を「公費負担者番号①」欄に（以下「公費負担者番号①」欄に記載される公費負担医療を「第1公費」という。）、後順位の公費負担者番号を「公費負担者番号②」欄に（以下「公費負担者番号②」欄に記載される公費負担医療を「第2公費」という。）記載すること。
  - ウ 保険者番号の変更はないが、同種の公費負担医療で住所変更により月の途中において公費負担者番号の変更があった場合は、変更前の公費負担医療に係る分を第1公費とし、変更後の公費負担医療に係る分を第2公費として取り扱うものとする。
- (9) 「公費負担医療の受給者番号①」欄及び「公費負担医療の受給者番号②」欄について
- 調剤券等に記入されている受給者番号7桁を、第1公費については「公費負担医療の受給者番号①」欄に、第2公費については「公費負担医療の受給者番号②」欄に記載すること（別添2「設定要領」の第3を参照）。
- (10) 「氏名」欄について
- ア 姓名を記載すること。ただし、健康保険の被保険者については、姓のみの記載で差し支えないこと。
- なお、電子計算機の場合は、例外的に漢字を読み替えたカタカナを使用すること又はひらが

なをカタカナに読み替えて記載することも差し支えないこととするが、この場合には被保険者であっても姓名を記載することとし、姓と名の間にスペースをとること。

イ 性別は該当するものを○で囲むこと。なお、電子計算機の場合は、「1 男」、「2 女」と記載しても差し支えないこと。

ウ 生年月日は以下によること。

(ア) 該当する元号を○で囲み、生まれた年月日を記載すること。

(イ) 電子計算機の場合は元号については「1 明」、「2 大」、「3 昭」、「4 平」、「5 令」と記載すること。

エ 電子レセプトによる請求を行う場合は、アによる姓名と別にカタカナによる姓名を記録することが望ましい。

(11) 「職務上の事由」欄について

船員保険の被保険者については、「1 職務上」、「2 下船後3月以内」又は「3 通勤災害」のうち該当するものを○で囲むこと。ただし、「1 職務上」及び「3 通勤災害」については、災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。共済組合の船員組合員については、下船後3月以内の傷病で職務上の取扱いとなる場合に「2 下船後3月以内」の番号を○で囲むこと。

なお、同一月に職務上の取扱いとなる傷病及び職務外の取扱いとなる傷病が生じた場合は、それぞれ1枚の明細書の取扱いとすること。

電子計算機の場合は、番号と名称又は次の略称を記載することとしても差し支えないこと。

1 職上（職務上）、 2 下3（下船後3月以内）、 3 通災（通勤災害）

(12) 「特記事項」欄について

該当するものについては、Ⅱの第3の2の(13)と同様とすること。

(13) 「保険薬局の所在地及び名称」欄について

ア 保険薬局指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地及び名称を記載すること。

また、所在地とともに、連絡先電話番号を記載すること。

イ 麻薬を調剤した場合は、麻薬小売業の免許番号を欄の下部に「麻：○○○○○○○○号」と記載すること。

(14) 「保険医療機関の所在地及び名称」欄、「都道府県番号」欄、「点数表番号」欄及び「医療機関コード」欄について

処方箋を発行した保険医（以下「処方医」という。）が診療に従事する保険医療機関の所在地、名称、都道府県番号、点数表番号及び医療機関コードを処方箋に基づいて記載すること。また、外来服薬支援料1及び退院時共同指導料に係る明細書については記載しないこと。

なお、電子計算機の場合は、例外的に所在地及び名称をカタカナで記載しても差し支えないこと。

(15) 「保険医氏名」欄について

処方医である医師又は歯科医師の姓名を記載すること。

なお、同一医療機関で同一患者に対し、異なる医師又は歯科医師が処方箋を発行した場合には、当該欄に当該処方医の姓名を1の項から順番に記載すること。処方箋を発行した医師又は歯科医師の数が10人を超えた場合は、「摘要」欄に11以降の番号を付して医師又は歯科医師の姓名を記載すること。また、外来服薬支援料1及び退院時共同指導料に係る明細書については記載しないこと。

なお、電子計算機の場合は、例外的に漢字を読み替えたカタカナを使用すること又はひらがなをカタカナに読み替えて記載することも差し支えないこととするが、この場合には姓と名の間にスペースをとること。

(16) 「受付回数」欄について

ア 「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険（健康保険、国民健康保険及び後期高齢者医療をいう。以下同じ。）、第1公費及び第2公費に係る処方箋の受付回数を記載すること。なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の処方箋の受付回数は、「公費①」の項に記載すること。

ただし、第1公費に係る処方箋の受付回数が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る処方箋の受付回数を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る処方箋の受付回数が第1公費に係る処方箋の受付回数と同じ場合は、第2公費に係る処方箋の受付回数の記載を省略しても差し支えないこと。

イ 同一の保険医療機関で一連の診療に基づいて同一の患者に交付された処方箋を同一日に受け付けた場合は、複数診療科に係るものであっても枚数にかかわらず受付回数は1回となること。ただし、歯科診療に係る処方箋とそれ以外の処方箋についてはこの限りでない。また、以下に掲げる調剤又は薬学管理料を算定すべき薬学管理のみを行った場合については、受付回数としては計上しないこと。

(ア) 長期投薬又は後発医薬品に係る分割調剤に係る調剤基本料を算定すべき調剤

(イ) 医師の指示による分割調剤に係る当該保険薬局における2回目以降の調剤

(ウ) 調剤管理料（在宅協力薬局が当該分析等を行い、在宅基幹薬局が当該点数を算定する場合に限る。）

(エ) 服薬情報等提供料

(オ) 在宅患者訪問薬剤管理指導料

(カ) 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料

(キ) 在宅患者緊急時等共同指導料

(ク) 服用薬剤調整支援料

(ケ) 外来服薬支援料1

(コ) 外来服薬支援料2（在宅協力薬局が当該指導等を行い、在宅基幹薬局が当該点数を算定する場合に限る。）

(サ) 退院時共同指導料

(シ) 経管投薬支援料

(ス) 調剤後薬剤管理指導料

(セ) 在宅移行初期管理料

(17) 「医師番号」欄から「加算料」欄について

「医師番号」欄から「加算料」欄までの該当欄には、当月調剤に係るすべての医師番号等を記載すること。

なお、公費負担医療のみの場合であっても、当月調剤に係るすべての医師番号等を記載すること。感染症法による結核患者の適正医療と生活保護法による医療扶助との併用の場合は、生活保護法による医療扶助に係る調剤が該当するものであること。

(18) 「医師番号」欄について

当該処方箋を発行した医師又は歯科医師の「保険医氏名」欄の該当番号を記載すること。ただ

し、処方箋を発行した医師又は歯科医師が1枚の明細書において1名の場合は、番号の記載を省略しても差し支えないこと。

(19) 「処方月日」欄について

処方箋が交付された月日を記載すること。

(20) 「調剤月日」欄について

保険薬剤師が調剤した月日を記載すること。

なお、「処方月日」欄の月と調剤した月とが同一の場合は、月の記載を省略しても差し支えないこと。

(21) 「処方」欄について

ア 所定単位（内服薬（浸煎薬及び湯薬を除く。以下同じ。）にあつては1剤1日分、湯薬にあつては内服薬に準じ1調剤ごとに1日分、内服用滴剤、屯服薬、浸煎薬、注射薬及び外用薬にあつては1調剤分）ごとに調剤した医薬品名、用量（内服薬及び湯薬については、1日用量、内服用滴剤、注射薬及び外用薬（ただし、鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤（ただし、麻薬若しくは向精神薬であるもの又は専ら皮膚疾患に用いるものを除く。以下同じ。）を除く。）については、投薬全量、屯服薬については1回用量及び投薬全量）、剤形及び用法（注射薬及び外用薬については、省略して差し支えない。）を記載し、次の行との間を線で区切ること。

なお、浸煎薬の用量については、投薬全量を記載し、投薬日数についても併せて記載すること。また、貼付剤の用量については、貼付剤の枚数としての投薬全量を記載するとともに、貼付剤の枚数としての1日用量又は投与日数を併せて記載すること。

ただし、服用時点が同一であっても投薬日数が異なる内服薬に係る調剤及び同一の保険医療機関で一連の診療に基づいて同一の患者に対して交付され、受付回数1回とされた異なる保険医の発行する処方箋に係る調剤については、それぞれ別の欄（線により区切られた部分をいう。以下同じ。）に記載すること。

イ 特別調剤基本料A又は特別調剤基本料Bを算定する保険薬局において、1処方につき7種類以上の内服薬の調剤を行い、薬剤料を所定点数の100分の90に相当する点数で算定した場合は、該当の「処方」欄の薬剤名の下に「薬剤料逡減（90/100）（内服薬）」と表示すること。

ウ 異なる調剤日に調剤を行った場合又は同一処方を異なった医師が発行した場合であっても、調剤数量以外の処方内容が同一である場合には1欄の記載のみで差し支えないこと。ただし、この場合であっても、前イに該当する調剤日と該当しない調剤日の調剤については、それぞれ別の「処方」欄として記載すること。

エ 医薬品名は原則として調剤した薬剤の名称、剤形及び含量を記載すること。

オ 剤形は「内服」、「内滴」、「屯服」、「浸煎」、「湯」、「注射」、「外用」と記載すること。

カ 医事会計システムの電算化が行われていないものとして地方厚生（支）局長に届け出た保険薬局については、所定単位当たりの薬剤料が175円以下の場合は医薬品名、規格、用量の記載を省略しても差し支えないが、剤形及び用法は記載すること。

なお、次の場合は医薬品名、規格、用量、剤形、用法を記載するものであること。

（ア） 自家製剤加算（予製剤による場合又は錠剤を分割する場合を含む。以下同じ。）、麻薬・向精神薬・覚醒剤原料・毒薬加算、計量混合調剤加算（予製剤による場合を含む。以下同じ。）及び外来服薬支援料2（在宅協力薬局が当該指導等を行い、在宅基幹薬局が当該

点数を算定する場合を除く。)を算定した場合

(イ) 同一処方箋により、2以上の医薬品を用いて内服薬を調剤した場合であって、別剤として薬剤調製料及び調剤管理料を算定した場合

(ウ) 前イの薬剤料逡減に該当する場合

キ 特定保険医療材料(自己注射に用いる自己注射用ディスポーザブル注射器(針を含む。)、万年筆型注入器用注射針及び「特定保険医療材料及びその材料価格(材料価格基準)」(平成20年3月厚生労働省告示第61号)の別表のIに規定されている特定保険医療材料)を支給した場合は、他の処方とは別の欄に名称及びセット数等を記載すること。この場合、剤形は「材料」とすること。また、支給月日は「調剤月日」欄に、支給回数は「調剤数量」欄に、単位材料料は「単位薬剤料」欄に、材料料は「薬剤料」欄にそれぞれ記載すること。

ク 同一明細書の同一「処方」欄において、医療保険と公費負担医療の支給薬剤が異なる場合は、当該「処方」欄の公費負担医療に係る分にアンダーラインを付すこと。

ケ 電子計算機の場合は、カタカナで記載しても差し支えないこと。

コ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第4号又は第6号に係る医薬品を投与した場合は、Ⅱの第3の2の(20)の力の(ウ)の例により「薬評」と記載し、当該医薬品名を他の医薬品と区別して記載すること。

(22) 「単位薬剤料」欄について

「処方」欄の1単位(内服薬にあつては1剤1日分、湯薬にあつては内服薬に準じ1調剤ごとに1日分、内服用滴剤、屯服薬、浸煎薬、注射薬及び外用薬にあつては1調剤分)当たりの薬剤料を記載すること。

なお、医療保険と公費負担医療の支給薬剤が異なる場合は、行を改めて公費負担医療に係る薬剤料を記載し、当該薬剤料にアンダーラインを付すか、又はその左側に「\*」を付すこと。

(23) 「調剤数量」欄について

ア 「処方」欄記載の処方内容に係る調剤の単位数(内服薬及び湯薬にあつては投薬日数、内服用滴剤、浸煎薬、屯服薬、注射薬及び外用薬にあつては調剤回数)を調剤月日ごとに記載すること。

イ 分割調剤の場合は以下によること。

(ア) 長期投薬に係る分割調剤を同一保険薬局において行う場合には、単位数に  $\boxed{\text{分}}$  の記号を付すこと。なお、電子計算機の場合は、 $\boxed{\text{分}}$  に代えて「B」と記載することも差し支えないものであること。

(イ) 後発医薬品に係る分割調剤を同一保険薬局において行う場合には、単位数に  $\boxed{\text{試}}$  の記号を付すこと。なお、電子計算機の場合は、 $\boxed{\text{試}}$  に代えて「T」と記載することも差し支えないものであること。

(ウ) 医師の分割指示に係る分割調剤を行う場合は、単位数及び医の記号を付した総単位数を記載すること。なお、電子計算機の場合は、医に代えて「D」と記載することも差し支えないものであること。

(24) 「薬剤調製料 調剤管理料」欄について

「処方」欄に掲げる調剤を行った際の調剤数量に応じた薬剤調製料及び調剤管理料の点数を記載すること。ただし、薬剤調製料及び調剤管理料が算定できない場合又は医師の指示による分割調剤の場合は、「0」を記載すること。

なお、内服薬及び湯薬について、長期投薬又は後発医薬品に係る分割調剤を同一薬局において

行う場合には、第1回目の調剤から通算した日数に対応する薬剤調製料及び調剤管理料から前回までに請求した薬剤調製料及び調剤管理料の点数を減じた点数を記載すること。

(25) 「薬剤料」欄について

「処方」欄の所定単位当たりの薬剤料に調剤数量を乗じて得た点数を記載すること。なお、前(21)のイの薬剤料逓減に該当する場合は、薬剤料の所定点数の下に、算定点数から所定点数を控除して得た点数を△書きにより記載すること。この場合、薬剤料の逓減に該当する場合であっても、控除して得た点数が0点となるものについては記載しない。

(26) 「加算料」、「調剤基本料」、「時間外等加算」及び「薬学管理料」欄について

ア 通則

各欄又は「摘要」欄への調剤行為等の名称（以下この項において単に「名称」という。）、回数及び点数の記載方法は、次のイからオまでのとおりであること。また、名称、回数及び点数以外の「摘要」欄に記載する事項等は、別表Ⅰ「調剤報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧」のとおりであること。

なお、電子レセプトによる請求の場合、別表Ⅰの「レセプト電算処理システム用コード」欄にコードが記載された項目については、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格」に基づき、該当するコードを選択すること。ただし、別表Ⅰ（令和6年6月1日適用の旨が表示されたコードに限る。）のコードについては、令和6年10月診療分以降に選択するものとして差し支えないこと。

書面による請求を行う場合においては、名称について、別表Ⅳ「調剤行為名称等の略号一覧」に示す略号を使用して差し支えないこと。

イ 「加算料」欄について

(ア) 麻薬・向精神薬・覚醒剤原料・毒薬加算、時間外加算、休日加算、深夜加算、時間外加算の特例、自家製剤加算、計量混合調剤加算、予製剤加算、無菌製剤処理加算又は外来服薬支援料2を算定した場合は、当該名称を記載して加算点数（無菌製剤処理加算においては加算点数に日数を乗じた点数）の合計点数（ただし、医師の指示による分割調剤にあつては「0」）を記載すること。

また、外来服薬支援料2の算定対象となる剤が複数ある場合は、同加算を算定する点数に対応する投薬日数が分かるように、原則として、当該日数が「調剤数量」欄に記載されている剤の欄に（当該日数の剤が複数ある場合は、いずれかの1欄にのみ）、外来服薬支援料2に係る点数（ただし、医師の指示による分割調剤にあつては「0」）を記載すること。

ただし、同一の保険医療機関で一連の診療に基づいて同一の患者に対して交付され、受付回数1回とされた異なる保険医の発行する処方箋に係る調剤については、同一調剤であっても、それぞれ別の「処方」欄に記載することとされているが、これに該当する場合であっても、これらの加算はどちらか1欄にのみ記載すること。

(イ) 外来服薬支援料2については、上記（ア）のほか、当該加算の算定対象となる剤が複数ある場合は、一包化を行った全ての剤の「加算料」欄に名称を記載すること。

(ウ) 調剤基本料に対応する加算点数、夜間・休日等加算に係る点数については本欄には記載しないこと。

(エ) 電子計算機の場合は、 等の□を省略して記載しても差し支えないこと。以下、 等



の略号を使用する場合について同様であること。

(オ) 1行で記載できない場合は、同欄において行を改めて記載しても差し支えないこと。

ウ 「調剤基本料」欄について

(ア) 医師の指示による分割調剤の場合を除き、「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険、第1公費及び第2公費に係る調剤基本料（地域支援体制加算の施設基準の届出を行った場合等にあつては、調剤基本料に地域支援体制加算1、地域支援体制加算2、地域支援体制加算3若しくは地域支援体制加算4、連携強化加算、後発医薬品調剤体制加算1、後発医薬品調剤体制加算2若しくは後発医薬品調剤体制加算3、在宅薬学総合体制加算1若しくは在宅薬学総合体制加算2、又は区分番号00の注3、注4若しくは注8を適用して算出した点数。）に処方箋受付回数に乗じた点数、医療DX推進体制整備加算については月1回分の点数、長期投薬又は後発医薬品に係る分割調剤を行った場合は算定可能な分割調剤の回数に5点に乗じた点数を記載すること。また、記載した点数の上部に該当する調剤基本料及びその加算等について、名称を記載すること。

なお、「公費①」及び「公費②」の項の記載については、(28)のウを参照すること。

(イ) 本欄に記載しきれない場合は、「摘要」欄に算定する調剤基本料及びその加算等の名称及び回数を記載しても差し支えないが、合計点数は「調剤基本料」欄に記載すること。

エ 「時間外等加算」欄について

(ア) 調剤基本料に係る時間外加算、休日加算、深夜加算若しくは時間外加算の特例又は薬剤調製料に係る夜間・休日等加算（かかりつけ薬剤師包括管理料を基礎額とする場合を含む。）を算定した場合（ただし、医師の指示による分割調剤の場合を除く。）は、名称を「保険」の項の上欄に記載すること。

(イ) リフィル処方箋による調剤については、「リ1/2」のように、リフィル処方箋の総使用回数に対する当該調剤を行う回数を「時間外等加算」欄に記載すること。なお、電子計算機の場合は、それぞれの回数に対応するものを記載すること。

(ウ) 医師の指示による分割調剤の場合を除き、「保険」の項の下欄、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険、第1公費及び第2公費に係る時間外等の加算点数を記載すること。

なお、「公費①」及び「公費②」の項の記載については、(28)のウを参照すること。

オ 「薬学管理料」欄について

(ア) 医師の指示による分割調剤の場合を除き、「保険」の項の上欄には、算定した薬学管理料（薬学管理料の加算を含む。以下同じ。）の名称と回数を下記により記載すること。

① 調剤管理料の加算である重複投薬・相互作用等防止加算、調剤管理加算又は医療情報取得加算を算定した場合は、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。

② 服薬管理指導料の「1」、「2」、「3」、「4」又は注13若しくは注14の特例を算定した場合は該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。また、麻薬管理指導加算、特定薬剤管理指導加算1、特定薬剤管理指導加算2、特定薬剤管理指導加算3、乳幼児服薬指導加算、小児特定加算又は吸入薬指導加算、を算定した場合は、服薬管理指導料の回数の次に、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。

③ かかりつけ薬剤師指導料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。また、

麻薬管理指導加算、特定薬剤管理指導加算 1、特定薬剤管理指導加算 2、特定薬剤管理指導加算 3、乳幼児服薬指導加算、小児特定加算又は吸入薬指導加算を算定した場合は、かかりつけ薬剤師指導料の回数の上に、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。

- ④ かかりつけ薬剤師包括管理料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。
- ⑤ 外来服薬支援料 1 を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。
- ⑥ 施設連携加算を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。
- ⑦ 服用薬剤調整支援料 1 又は服用薬剤調整支援料 2 のイ若しくはロを算定した場合は、該当するものの名称及びその回数を記載すること。
- ⑧ 調剤後薬剤管理指導料の「1」又は「2」を算定した場合は、該当する名称及びその回数をそれぞれ記載すること。
- ⑨ 在宅患者訪問薬剤管理指導料の「1」、「2」又は「3」を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。また、麻薬管理指導加算、在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算、乳幼児加算、小児特定加算又は在宅中心静脈栄養法加算を算定した場合は、在宅患者訪問薬剤管理指導料の回数の上に、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。
- ⑩ 在宅患者オンライン薬剤管理指導料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。また、麻薬管理指導加算、乳幼児加算又は小児特定加算を算定した場合は、在宅患者オンライン薬剤管理指導料の回数の上に、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。
- ⑪ 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の「1」又は「2」を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。また、麻薬管理指導加算、在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算、乳幼児加算、小児特定加算、在宅中心静脈栄養法加算、夜間訪問加算、休日訪問加算又は深夜訪問加算を算定した場合は、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。
- ⑫ 在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。また、麻薬管理指導加算、乳幼児加算又は小児特定加算を算定した場合は、在宅患者オンライン薬剤管理指導料の回数の上に、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。
- ⑬ 在宅患者緊急時等共同指導料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。また、麻薬管理指導加算、在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算、乳幼児加算、小児特定加算又は在宅中心静脈栄養法加算を算定した場合は、該当するものの名称及びその回数をそれぞれ記載すること。
- ⑭ 退院時共同指導料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。
- ⑮ 服薬情報等提供料 1、2 のイ、ロ若しくはハ又は 3 を算定した場合は、該当する名称及びその回数をそれぞれ記載すること。
- ⑯ 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料の「1」又は「2」を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。
- ⑰ 経管投薬支援料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。
- ⑱ 在宅移行初期管理料を算定した場合は、名称及びその回数を記載すること。
- ⑲ 在宅基幹薬局が、在宅協力薬局で行われた調剤に係る調剤管理料及び外来服薬支援料

2を算定する場合、本欄に該当する名称及びその回数をそれぞれ記載すること。なお、その際の時間外等加算については、前エのとおり記載すること。

- (イ) 医師の指示による分割調剤の場合を除き、「保険」の項の下欄、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険、第1公費及び第2公費に係る薬学管理料の合計点数を記載すること。

なお、「公費①」及び「公費②」の項の記載については、(28)のエを参照すること。

- (ウ) 本欄に記載しきれない場合は、「摘要」欄に算定する薬学管理料又は加算の名称及び回数を記載しても差し支えないが、合計点数は「薬学管理料」欄に記載すること。

- (エ) 前(ア)の⑮の場合を除き、調剤管理料及び外来服薬支援料2に係る点数については本欄に記載せず、前(24)及び前(26)のイのとおり記載すること。

(27) 「摘要」欄について

ア 介護保険に相当するサービスを行った場合について、居宅療養管理指導費若しくは介護予防居宅療養管理指導費により訪問指導を行った日を「摘要」欄に記載すること。その場合、当該請求月の最終算定時の要支援度若しくは要介護度を記載すること。

イ その他請求内容について特記する必要があるればその事項を記載すること。

ウ 「摘要」欄に記載しきれない場合においては、「処方」欄下部の余白部分に必要事項を記載しても差し支えないこと。

(28) 「公費分点数」欄について

ア 「公費分点数」欄には、併用する公費負担医療に係る調剤報酬点数を記載することとするが、調剤報酬点数が「薬剤調製料 調剤管理料」欄から「加算料」欄まで並びに「調剤基本料」欄、「時間外等加算」欄及び「薬学管理料」欄のすべてに係る調剤報酬点数と同じ場合は省略しても差し支えないこと。

イ 前(21)のウの薬剤料逡減に該当する場合は、各公費負担医療の調剤報酬点数の下に前(25)において△書きにより記載した点数のうち、当該公費に係る算定点数から所定点数を控除して得た点数を△書きにより記載すること。この場合、薬剤料の逡減に該当する場合であっても、控除して得た点数が0点となるものについては記載しない。

ウ 医療保険と併用される公費負担医療において、医療保険単独の処方の場合は「公費分点数」欄には、「0」と記載すること。なお、公費負担医療の併用の場合も同様とすること。

エ 「薬剤調製料 調剤管理料」欄から「加算料」欄まで並びに「調剤基本料」欄、「時間外等加算」欄及び「薬学管理料」欄のすべてに係る調剤報酬点数と異なる公費負担医療が2種以上あるときは、「公費分点数」欄を縦に区分し、左から順次「第1公費」、「第2公費」の順で当該公費に係る調剤報酬点数を記載すること。なお、「薬剤調製料 調剤管理料」欄から「加算料」欄まで並びに「調剤基本料」欄、「時間外等加算」欄及び「薬学管理料」欄のすべてに係る調剤報酬点数と同じ調剤報酬点数の公費負担医療がある場合は、縦に区分すること及び調剤報酬点数を記載することを省略しても差し支えないこと。

(29) 「請求」欄及び「一部負担金額」欄について

ア 「請求」欄には、「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険、第1公費及び第2公費に係る合計点数（分割調剤に係るものについては当該分割調剤の分割調剤技術料、薬剤料及び特定保険医療材料料の合計点数を、それ以外については「調剤報酬点数」欄、「調剤基本料」欄、「時間外等加算」欄及び「薬学管理料」欄の合計点数を計算し、それぞれ合算したものをいう。(30)において同じ。)を記載すること。なお、公費負担医療のみの場合

の第1公費の合計点数は、「公費①」の項に記載すること。

ただし、第1公費に係る合計点数が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る合計点数の記載を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る合計点数が第1公費に係る合計点数と同じ場合は、第2公費に係る合計点数の記載を省略しても差し支えないこと。

イ 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証又は特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証及び小児慢性特定疾病医療受給者証にあっては、適用区分に所得区分の記載があるものに限る。）の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。）に係る「一部負担金額」の項については、以下によること。

健康保険、国民健康保険の場合は、患者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して「割」の字句を○で囲み、「円」単位で減額される場合には、減額される金額を記載して「円」の字句を○で囲むこと。

また、負担額が免除される場合は「免除」の字句を○で囲み、支払が猶予される場合は「支払猶予」の字句を○で囲むこと。

ウ 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証又は特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証（特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証及び小児慢性特定疾病医療受給者証にあっては、適用区分に所得区分の記載があるものに限る。）の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）及び後期高齢者医療に係る「一部負担金額」の項については、以下によること。

（ア） 高額療養費が現物給付された者に限り記載することとし、支払いを受けた一部負担金の額を記載すること。なお、この場合において、一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を「一部負担金額」の項の「保険」の項の上段に（ ）で再掲するものとし、「一部負担金額」の項には、支払いを受けた一部負担金と公費負担医療が給付する額とを合算した金額を記載すること。

（イ） 健康保険法施行令第43条第1項並びに同条第5項、国民健康保険法施行令第29条の4第1項並びに同条第3項又は高齢者医療確保法施行令（昭和57年政令第293号）第16条第1項並びに同条第3項の規定が適用される者の場合は、これらの規定により算定した額（この額に1円未満の端数がある場合において、その端数金額が50銭未満であるときは、これを切り捨て、その端数金額が50銭以上であるときは、これを切り上げた額）を記載すること。

（ウ） 健康保険法施行令第43条第1項第2号二、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号二に掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号二に掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「摘要」欄に、「低所得Ⅰ」と記載すること。

（エ） 健康保険法施行令第43条第1項第2号ハに掲げる者、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号ハに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号ハに掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「摘要」欄に、「低所得Ⅱ」と記

載すること。

(オ) 健康保険、国民健康保険の場合は、患者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して「割」の字句を○で囲み、「円」単位で減額される場合には、減額後の一部負担金の金額を記載して「円」の字句を○で囲むこと。

また、負担額が免除される場合は「免除」の字句を○で囲み、支払が猶予される場合は「支払猶予」の字句を○で囲むこと。

(カ) 後期高齢者医療の場合で、高齢者医療確保法第 69 条第 1 項の規定に基づき広域連合長から一部負担金の減額を受けた者の場合は、「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して「割」の字句を○で囲み、「円」単位で減額される場合は、減額後の一部負担金の金額を記載して「円」を○で囲むこと。また、負担額が免除される場合は「免除」の字句を○で囲み、支払いが猶予される場合は「支払猶予」の字句を○で囲むこと。

エ 「公費①」及び「公費②」の項には、それぞれ第 1 公費及び第 2 公費に係る調剤券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額（一部負担金の額が医療券等に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を下回る場合で、「一部負担金額」の項に金額を記載するもの場合はアの(ア)により記載した額を、金額の記載を要しないもの場合は 10 円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額）を記載すること。なお、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合に限る。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）と感染症法との併用の場合には、一部負担金から同負担金のうち当該公費負担医療が給付する額を控除した額（即ち、窓口で徴収した額）を記載すること。

また、障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法による小児慢性特定疾病医療支援、肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療並びに難病法による特定医療に係る患者の負担額については、10 円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額を記載し、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法による肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療並びに難病法による特定医療との併用（高額療養費が現物給付された場合に限る。）の場合に 10 円未満の端数を四捨五入した後の一部負担金の額を記載すること。

ただし、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合を除く。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証の提示又は限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報の提供があった者で高額療養費が現物給付化された者に係るものを除く。）と感染症法との併用の場合には、当該公費に係る患者負担額は「公費①」及び「公費②」の項には記載することを要しないこと。

高齢受給者の一般所得者及び低所得者であって、難病法による特定医療又は肝炎治療特別促進事業に係る公費負担医療受給者については、医療券に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を記載すること。ただし、当該公費負担医療の給付対象額の 2 割相当の額が、当該医療券に記載されている公費負担医療に係る患者の負担額を下回る場合は、当該 2 割相当の額（「一部負担金額」の項に金額を記載するもの場合は、10 円未満の端数を四捨五入した後の額を、金額の記載を要しないもの場合は、10 円未満の端数を四捨五入する前の

額。)を「一部負担金額」の項に記載すること。

(30) その他

ア 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出又は特定疾病療養受療証情報を提供した患者の負担額が、健康保険法施行令第 42 条第 9 項第 1 号又は同項第 2 号に規定する金額を超えた場合にあっては、「特記事項」欄に、それぞれ「長」又は「長 2」と記載すること。

ただし、患者が特定疾病療養受療証の提出又は特定疾病療養受療証情報の提供を行った際に、既に健康保険法施行令第 42 条第 6 項第 1 号又は同項第 2 号に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除くこと。

イ 特例的に、生活保護法による医療扶助、感染症法による結核患者の適正医療及び障害者総合支援法による精神通院医療等の 3 種の公費負担医療の併用の場合があるが、この場合にあっては、法別番号等によらず、次の記載要領によること。

(ア) 生活保護法による医療扶助に係る公費負担者番号は「保険者番号」欄に、公費負担医療の受給者番号は「被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号」欄に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「公費負担者番号①」欄に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「公費負担者番号②」欄に記載すること。

(イ) 「職務上の事由」欄は記載しないこと。

(ウ) 生活保護法による医療扶助に係る処方箋受付回数は「受付回数」欄の「保険」の項に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「受付回数」欄の「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「受付回数」欄の「公費②」の項に記載すること。

(エ) 生活保護法による医療扶助に係る調剤基本料は「調剤基本料」欄の「保険」の項に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「調剤基本料」欄の「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「調剤基本料」欄の「公費②」の項に記載すること。

(オ) 生活保護法による医療扶助に係る調剤基本料の時間外等加算は「時間外等加算」欄の「保険」の項に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「時間外等加算」欄の「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「時間外等加算」欄の「公費②」の項に記載すること。

(カ) 生活保護法による医療扶助に係る薬学管理料は「薬学管理料」欄の「保険」の項に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「薬学管理料」欄の「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「薬学管理料」欄の「公費②」の項に記載すること。

(キ) 「医師番号」欄から「加算料」欄までの該当欄には、生活保護法による医療扶助に係る医師番号等を記載すること。

(ク) 「公費分点数」欄は縦に 2 区分し、左欄に感染症法による結核患者の適正医療、右欄に障害者総合支援法による精神通院医療等に係る調剤報酬点数を記載することとするが、生活保護法による医療扶助に係る調剤報酬点数と同じものがある場合は、縦に 2 区分すること及び当該調剤報酬点数を記載することを省略しても差し支えないこと。

(ケ) 生活保護法による医療扶助に係る合計点数は「請求」欄の「保険」の項に、感染症法による結核患者の適正医療に係る合計点数は「請求」欄の「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る合計点数は「請求」欄の「公費②」の項に記載すること。

- ウ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号、第7号又は第8号に規定する医療機器を使用又は支給した場合は、Ⅱの第3の2の(26)のケの例により「摘要」欄に「器評」と記載し、当該医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号に規定する体外診断用医薬品を使用又は支給した場合は、Ⅱの第3の2の(26)のケの例により「摘要」欄に「体評」と記載し、当該体外診断用医薬品名を他の調剤報酬請求項目と区別して記載すること。厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第2条第12号に規定する医療機器を使用又は支給した場合は、Ⅱの第3の2の(26)のケの例により「摘要」欄に「器選」と記載し、当該医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。
- エ 自己負担限度額特例対象被扶養者等の場合には、「特記事項」欄に「高半」と記載すること。
- オ 高齢者医療確保法第50条第2号に該当する者(65歳から75歳未満の者であって、後期高齢者医療広域連合の障害認定を受けた者)が75歳に到達した月に療養を受けた場合(自己負担限度額が2分の1とならない場合)には、「摘要」欄に「障害」と記載すること。
- カ 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第5号の2又は第7号の2に規定する再生医療等製品を使用又は支給した場合は、「摘要」欄に「加評」と記載し、当該再生医療等製品名を他の再生医療等製品と区別して記載すること。
- キ 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得901万円超)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(ア)であるもの)が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得901万円超)の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(適用区分が(ア)であるもの)が提示された場合、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得690万円以上)の世帯」の高齢受給者証若しくは後期高齢者医療被保険者証(一部負担金の割合(3割))の提示のみ若しくは高齢受給者証情報若しくは後期高齢者医療被保険者証情報の提供のみの場合又は「標準報酬月額83万円以上(国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得690万円以上)の世帯」の適用区分(VI)の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区ア」と記載すること。
- ク 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額53万~79万円(国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得600万円超~901万円以下)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(イ)であるもの)が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額53万~79万円(国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得600万円超~901万円以下)の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(適用区分が(イ)であるもの)が提示された場合、又は70歳以上の場合であって、「標準報酬月額53万~79万円(国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得380万円以上)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(現役並みⅡ又は現役Ⅱ))が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額53万~79万円(国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得380万円以上)の世帯」の適用区分(V)の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区イ」と記載すること。
- ケ 70歳未満の場合であって、「標準報酬月額28万~50万円(国民健康保険にあっては、旧た

だし書き所得 210 万円超～600 万円以下)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(ウ)であるもの)が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額 28 万～50 万円(国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下)の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(適用区分が(ウ)であるもの)が提示された場合、又は 70 歳以上の場合であって「標準報酬月額 28 万～50 万円(国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 145 万円以上)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(現役並みⅠ又は現役Ⅰ))が提示若しくは限度額適用認定証情報が提供された場合又は「標準報酬月額 28 万～50 万円(国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 145 万円以上)の世帯」の適用区分(Ⅳ)の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区ウ」と記載すること。

コ 70 歳未満の場合であって、「標準報酬月額 26 万円以下(国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円以下)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(エ)であるもの)が提示された場合又は「標準報酬月額 26 万円以下(国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円以下)の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(適用区分が(エ)であるもの)が提示された場合、又は 70 歳以上の場合であって、「標準報酬月額 26 万円以下(国民健康保険にあっては課税所得 145 万円未満)の世帯」の高齢受給者証(一部負担金の割合(2割))の提示のみ若しくは高齢受給者証情報の提供のみの場合又は「標準報酬月額 26 万円以下(国民健康保険にあっては課税所得 145 万円未満)の世帯」の適用区分(Ⅲ)の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区エ」と記載すること。

サ 70 歳未満の場合であって、「低所得者の世帯」の限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証(適用区分が(オ)であるもの)が提示若しくは限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合又は「低所得者の世帯」の特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(適用区分が(オ)であるもの)が提示された場合、又は 70 歳以上の場合であって、「低所得者の世帯」の限度額適用認定証若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証(適用区分が(Ⅰ又はⅡ))が提示若しくは限度額適用認定証情報若しくは限度額適用・標準負担額減額認定証情報が提供された場合又は「低所得者の世帯」の適用区分(Ⅰ又はⅡ)の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区オ」と記載すること。

シ 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上(後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上)」の後期高齢者医療被保険者証(一部負担金の割合(2割))が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供された場合、又は「課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上(後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上)」の後期高齢者医療被保険者証(一部負担金の割合(2割))かつ適用区分(Ⅲ)の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分(Ⅲ)の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区カ」と記載すること。



ス 後期高齢者医療において「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供された場合、又は「課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）若しくは課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）」の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証若しくは特定疾患医療受給者証が提示若しくは後期高齢者医療被保険者証情報が提供かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証若しくは肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証が提示された場合には、「特記事項」欄に「区キ」と記載すること。

※ シ及びスについては、令和 4 年 10 月 1 日から適用する。令和 4 年 9 月 30 日までの間は、後期高齢者医療にあつてはコに従い、従前どおり「区エ」を使用されたい。

セ 医師の分割指示に係る分割調剤を行った場合は、「医師番号」欄、「処方月日」欄及び「調剤月日」欄に当該分割調剤に係る医師番号、処方月日及び調剤月日を記載すること。また、「処方」欄に指示された分割回数及び当該分割調剤が何回目の分割調剤に相当するかを記載するほか、当該分割調剤における調剤基本料及びその加算等の名称及び点数、薬剤調製料及びその加算並びに調剤管理料及びその加算等の名称及び点数、薬学管理料及びその加算の名称及び点数を記載するとともに、分割調剤技術料（当該分割調剤における調剤基本料及びその加算等、薬剤調製料及びその加算並びに薬学管理料の点数を合算し、当該合算点数を分割指示回数で除し、小数点以下第一位を四捨五入して得た点数をいう。）を併せて記載すること。ただし、服薬情報等提供料については、分割指示回数で除さず、「薬学管理料」欄に名称、回数及び点数を記載すること。

ソ 電子情報処理組織の使用による請求又は光ディスク等を用いた請求により療養の給付等の請求を行う場合については、調剤基本料及び薬学管理料を算定した年月日を記録して請求すること。

別表 I 診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（医科）

| 項番 | 区分          | 診療行為名称等                  | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|-------------|--------------------------|--|------------------|---|---------|------------|
| 1  | A000        | 初診料                      | <p>(初診の後、当該初診に附随する一連の行為を後日行った場合であって当該初診日が前月である場合)<br/>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(平成30年3月5日保医発0305第1号)別添1第1章第1部通則2の「ア」から「ウ」までに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。</p> <p>(注5のただし書に規定する2つ目の診療科に係る初診料を算定した場合)<br/>2つ目の診療科の診療科名を記載すること。</p> <p>(情報通信機器を用いた診療を行う際に、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って診療を行う場合)<br/>当該指針において示されている一般社団法人日本医学会連合が作成した「オンライン診療の初診に適さない症状」等を踏まえ、当該診療が指針に沿った適切な診療であることを記載すること。</p> <p>(情報通信機器を用いた処方を行う際に、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って処方を行う場合)<br/>一般社団法人日本医学会連合が作成した「オンライン診療の初診での投与について十分な検討が必要な薬剤」等の関係学会が定める診療ガイドラインを踏まえ、当該処方指針に沿った適切な処方であることを記載すること。</p>   | 820100001        | ア 初診又は再診時に行った検査、画像診断の結果のみを聞きに来院                         |         |            |
|    |             |                          |  | 820100002        | イ 往診等の後に薬剤のみを取りに来院                                      |         |            |
|    |             |                          |  | 820100003        | ウ 一旦帰宅し、後刻又は後日検査、画像診断、手術等を受けに来院                         |         |            |
|    |             |                          |  | 830100002        | 2つ目の診療科(初診料);*****                                      |         |            |
|    |             |                          |  | 820100990        | オンライン診療の適切な実施に関する指針に沿った適切な診療である(初診料)                    |         |            |
| 2  | A001        | 再診料                      | <p>(再診の後、当該再診に附随する一連の行為を後日行った場合であって当該再診日が前月である場合)<br/>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第1部通則2の「ア」から「ウ」までに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。</p> <p>(同一日に2回以上の再診(電話等再診を含む。))がある場合<br/>同一日に2回以上の再診(電話等再診を含む。))がある旨を記載すること。</p> <p>(注3に規定する2つ目の診療科において再診を行った場合)<br/>2つ目の診療科の診療科名を記載すること。</p> <p>(情報通信機器を用いた診療を行う際に、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って診療を行う場合)<br/>当該指針において示されている一般社団法人日本医学会連合が作成した「オンライン診療の初診に適さない症状」等を踏まえ、当該診療が指針に沿った適切な診療であったことを記載すること。</p> <p>(情報通信機器を用いた処方を行う際に、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って処方を行う場合)<br/>一般社団法人日本医学会連合が作成した「オンライン診療の初診での投与について十分な検討が必要な薬剤」等の関係学会が定める診療ガイドラインを踏まえ、当該処方指針に沿った適切な処方であったことを記載すること。</p> | 820100001        | ア 初診又は再診時に行った検査、画像診断の結果のみを聞きに来院                         |         |            |
|    |             |                          |  | 820100002        | イ 往診等の後に薬剤のみを取りに来院                                      |         |            |
|    |             |                          |  | 820100003        | ウ 一旦帰宅し、後刻又は後日検査、画像診断、手術等を受けに来院                         |         |            |
|    |             |                          |  | 112008350        | 同日再診料   |         | ○          |
|    |             |                          |  | 112024950        | 同日再診料(情報通信機器)   |         | ○          |
|    |             |                          |  | 112016850        | 同日特定要結率再診料  |         | ○          |
|    |             |                          |  | 112025150        | 同日特定要結率再診料(情報通信機器)                                      |         | ○          |
|    |             |                          |  | 112008850        | 同日電話等再診料  |         | ○          |
|    |             |                          |  | 112023450        | 同日電話等再診料(30年3月以前継続)                                     |         | ○          |
|    |             |                          |  | 112016950        | 同日電話等特定要結率再診料   |         | ○          |
|    |             |                          |  | 112023750        | 同日電話等特定要結率再診料(30年3月以前継続)                                |         | ○          |
| 3  | A001<br>注20 | 看護師等遠隔診療補助加算             | <p>(へき地診療所の医師又はへき地医療拠点病院の医師が、看護師等とする患者に対して情報通信機器を用いた診療を実施した場合)<br/>前回の対面診療を実施した年月日(初回である場合は初回である旨)を記載すること。</p>   | 850190207        | 前回の対面診療を実施した年月日(再診料(看護師等遠隔診療補助加算));(元号)yy'年'mm'月'dd'日   |         | ※          |
|    |             |                          |  | 820190492        | 初回(再診料(看護師等遠隔診療補助加算))                                   |         | ※          |
| 4  | A002        | 外来診療料                    | <p>(再診の後、当該再診に附随する一連の行為を後日行った場合であって当該再診日が前月である場合)<br/>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第1部通則2の「ア」から「ウ」までに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。</p> <p>(注5に規定する2つ目の診療科において再診を行った場合)<br/>2つ目の診療科の診療科名を記載すること。</p> <p>(情報通信機器を用いた診療を行う際に、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って診療を行う場合)<br/>当該指針において示されている一般社団法人日本医学会連合が作成した「オンライン診療の初診に適さない症状」等を踏まえ、当該診療が指針に沿った適切な診療であることを記載すること。</p> <p>(情報通信機器を用いた処方を行う際に、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って処方を行う場合)<br/>一般社団法人日本医学会連合が作成した「オンライン診療の初診での投与について十分な検討が必要な薬剤」等の関係学会が定める診療ガイドラインを踏まえ、当該処方指針に沿った適切な処方であることを記載すること。</p>  | 820100001        | ア 初診又は再診時に行った検査、画像診断の結果のみを聞きに来院                         |         |            |
|    |             |                          |  | 820100002        | イ 往診等の後に薬剤のみを取りに来院                                      |         |            |
|    |             |                          |  | 820100003        | ウ 一旦帰宅し、後刻又は後日検査、画像診断、手術等を受けに来院                         |         |            |
| 5  | A002<br>注11 | 看護師等遠隔診療補助加算             | <p>(へき地診療所の医師又はへき地医療拠点病院の医師が、看護師等とする患者に対して情報通信機器を用いた診療を実施した場合)<br/>前回の対面診療を実施した年月日(初回である場合は初回である旨)を記載すること。</p>   | 850190208        | 前回の対面診療を実施した年月日(外来診療料(看護師等遠隔診療補助加算));(元号)yy'年'mm'月'dd'日 |         | ※          |
|    |             |                          |  | 820190493        | 初回(外来診療料(看護師等遠隔診療補助加算))                                 |         | ※          |
| 6  | A100        | 一般病棟入院基本料の救急・在宅等支援病床初期加算 | <p>入院元を記載すること。</p> <p>(入院元が急性期医療を担う病院である場合)<br/>当該加算の算定対象である旨、過去に当該患者が当該病院(病棟)から転院(転棟)した回数を記載すること。(記載例1参照)<br/>[記載例1]<br/>入院元であるXXX病院は地域一般入院料2を算定しており、かつ救急医療管理加算の届出を行っている。本患者がXXX病院から当院に転院したことは、過去に2回ある。<br/>(転院日:○年○月○日及び○年○月○日)。</p> <p>(入院元が介護保健施設、介護医療院、居住系施設等又は自宅である場合)<br/>直近の入院医療機関名及び退院日を記載すること。(記載例2参照)<br/>[記載例2]<br/>入院元は自宅である。本患者はXXX病院から○年○月○日に退院後、自宅療養していた。</p>  | 830100005        | 入院元(一般病棟入院基本料)(救急・在宅等支援病床初期加算);*****                    |         |            |
|    |             |                          |  | 830100006        | 算定対象である旨及び転院(転棟)回数(救急・在宅等支援病床初期加算);*****                |         |            |
|    |             |                          |  | 830100007        | 直近の入院医療機関名及び退院年月日(救急・在宅等支援病床初期加算);*****                 |         |            |
| 7  | A101        | 療養病棟入院基本料                | <p>(必要があって患者を他の病棟又は病床へ移動させた場合)<br/>その医療上の必要性を記載すること。</p> <p>(患者の急性増悪により、療養病棟入院基本料を算定する病棟において、同一の保険医療機関の一般病棟へ転棟又は別の保険医療機関の一般病棟へ転院する場合であって、療養病棟入院基本料の入院料27を算定した場合)<br/>その医療上の必要性を記載すること。</p> <p>(回復期リハビリテーション入院料又は地域包括ケア病棟入院料を算定する療養病棟において当該入院料に係る算定要件に該当しない患者について、療養病棟入院基本料の入院料27を算定する場合)<br/>非該当患者である旨を記載すること。</p>   | 830100008        | 他の病棟又は病床へ移動させた医療上の必要性(療養病棟入院基本料);*****                  |         |            |
|    |             |                          |  | 830100009        | 医療上の必要性(療養病棟入院基本料);*****                                |         |            |
|    |             |                          |  | 820100392        | 非該当患者(療養病棟入院基本料)  |         |            |

| 項番 | 区分        | 診療行為名称等                                   | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|-----------|---|--|------------------|--|---------|------------|
| 8  | A101      | 療養病棟入院基本料の急性期患者支援療養病棟初期加算又は在宅患者支援療養病棟初期加算 | 入院元を記載すること。  | 830100010        | 入院元(急性期患者支援療養病棟初期加算);*****   |         |            |
|    |           |   |  | 830100011        | 入院元(在宅患者支援療養病棟初期加算);*****  |         |            |
|    |           |   | (入院元が急性期医療を担う病院である場合)<br>当該加算の算定対象である旨、過去に当該患者が当該病院(病棟)から転院(転棟)した回数を記載すること。(記載例1参照)<br>[記載例1]<br>入院元であるXXX病院は地域一般入院料2を算定しており、かつ救急医療管理加算の届出を行っている。本患者がXXX病院から当院に転院したことは、過去に2回ある。<br>(転院日:○年○月○日及び○年○月○日)。 | 830100012        | 算定対象である旨及び転院(転棟)回数(急性期患者支援療養病棟初期加算);*****                            |         |            |
|    |           |   | (入院元が介護保健施設、介護医療院、居住系施設等又は自宅である場合)<br>直近の入院医療機関名及び退院日を記載すること。(記載例2参照)<br>[記載例2]<br>入院元は自宅である。本患者はXXX病院から○年○月○日に退院後、自宅療養していた。   | 830100015        | 直近の入院医療機関名及び退院年月日(在宅患者支援療養病棟初期加算);*****                              |         |            |
| 9  | A103      | 精神病棟入院基本料の重度認知症加算                         | 当該加算を当月に算定した根拠となる評価(当該加算の施設基準に基づくランク等)及び評価日を記載すること。(月の途中で加算点数に変更がある場合には、その都度、評価及び評価日を記載すること。)  | 830100016        | 算定根拠となる評価(重度認知症加算(精神病棟入院基本料));*****                                  |         |            |
|    |           |   |  | 850100013        | 評価年月日(重度認知症加算(精神病棟入院基本料));(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                        |         |            |
| 10 | A104      | 特定機能病院入院基本料の重度認知症加算                       | 当該加算を当月に算定した根拠となる評価(当該加算の施設基準に基づくランク等)及び評価日を記載すること。(月の途中で加算点数に変更がある場合には、その都度、評価及び評価日を記載すること。)  | 830100455        | 算定根拠となる評価(重度認知症加算(特定機能病院精神病棟入院基本料));*****                            |         |            |
|    |           |   |  | 850100386        | 評価年月日(重度認知症加算(特定機能病院精神病棟入院基本料));(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                  |         |            |
| 11 | A106      | 障害者施設等入院基本料                               | (一般病棟における入院期間が90日を超える患者のうち、いわゆる「特定患者」に該当する場合)<br>「特」と記載すること。   | 190161210        | 特定入院基本料(障害者施設等入院基本料)   | ○       |            |
|    |           |   |  | 190161310        | 特定入院基本料(障害者施設等入院基本料)(夜勤時間超過減算)                                       | ○       |            |
|    |           |   | (一般病棟における入院期間が90日を超える患者のうち、いわゆる「特定患者」に該当しない場合)<br>「特外」と記載し、その理由(悪性新生物に対する治療を行っている、など)を簡潔に記載すること。   | 830100472        | 「特外」理由(障害者施設等入院基本料);*****  |         |            |
| 12 | A109      | 有床診療所療養病棟入院基本料                            | (必要があつて患者を他の病棟又は病床へ移動させた場合)<br>その医療上の必要性を記載すること。   | 830100018        | 他の病棟又は病床へ移動した医療上の必要性(有床診療所療養病棟入院基本料);*****                           |         |            |
|    |           |   | 患者の急性増悪により、有床診療所療養病棟入院基本料を算定する病室において、同一の保険医療機関の療養病床以外へ転室又は別の保険医療機関の一般病棟若しくは有床診療所の療養病床以外の病室へ転院する場合であつて、有床診療所療養病棟入院基本料の入院基本料Eを算定した場合)<br>その医療上の必要性を記載すること。   | 830100019        | 同一の保険医療機関の療養病床以外又は別の保険医療機関の一般病棟等以外へ転院する医療上の必要性(有床診療所療養病棟入院基本料);***** |         |            |
| 13 | A108      | 有床診療所入院基本料の有床診療所急性期患者支援病棟初期加算             | 入院元を記載すること。  | 830100800        | 入院元(有床診療所急性期患者支援病棟初期加算);*****  |         | ※          |
|    |           |   | (入院元が急性期医療を担う病院である場合)<br>当該加算の算定対象である旨、過去に当該患者が当該病院(病棟)から転院(転棟)した回数を記載すること。(記載例1参照)<br>[記載例1]<br>入院元であるXXX病院は地域一般入院料2を算定しており、かつ救急医療管理加算の届出を行っている。本患者がXXX病院から当院に転院したことは、過去に2回ある。<br>(転院日:○年○月○日及び○年○月○日)。 | 830100801        | 算定対象である旨及び転院(転棟)回数(有床診療所急性期患者支援病棟初期加算);*****                         |         | ※          |
| 14 | A108      | 有床診療所入院基本料の有床診療所在宅患者支援病棟初期加算              | 入院元を記載すること。  | 830100802        | 入院元(有床診療所在宅患者支援病棟初期加算);*****   |         | ※          |
|    |           |   | (入院元が介護保健施設、介護医療院、居住系施設等又は自宅である場合)<br>直近の入院医療機関名及び退院日を記載すること。(記載例2参照)<br>[記載例2]<br>入院元は自宅である。本患者はXXX病院から○年○月○日に退院後、自宅療養していた。   | 830100803        | 直近の入院医療機関名及び退院年月日(有床診療所在宅患者支援病棟初期加算);*****                           |         | ※          |
| 15 | A109      | 有床診療所療養病棟入院基本料の有床診療所急性期患者支援療養病棟初期加算       | 入院元を記載すること。  | 830100020        | 入院元(有床診療所急性期患者支援療養病棟初期加算);*****                                      |         |            |
|    |           |   | (入院元が急性期医療を担う病院である場合)<br>当該加算の算定対象である旨、過去に当該患者が当該病院(病棟)から転院(転棟)した回数を記載すること。(記載例1参照)<br>[記載例1]<br>入院元であるXXX病院は地域一般入院料2を算定しており、かつ救急医療管理加算の届出を行っている。本患者がXXX病院から当院に転院したことは、過去に2回ある。<br>(転院日:○年○月○日及び○年○月○日)。 | 830100021        | 算定対象である旨及び転院(転棟)回数(有床診療所急性期患者支援療養病棟初期加算);*****                       |         |            |
| 16 | A109      | 有床診療所療養病棟入院基本料の有床診療所在宅患者支援療養病棟初期加算        | 入院元を記載すること。  | 830100779        | 入院元(有床診療所在宅患者支援療養病棟初期加算);*****                                       |         |            |
|    |           |   | (入院元が介護保健施設、介護医療院、居住系施設等又は自宅である場合)<br>直近の入院医療機関名及び退院日を記載すること。(記載例2参照)<br>[記載例2]<br>入院元は自宅である。本患者はXXX病院から○年○月○日に退院後、自宅療養していた。   | 830100022        | 直近の入院医療機関名及び退院年月日(有床診療所在宅患者支援療養病棟初期加算);*****                         |         |            |
| 17 | A200-2    | 急性期充実体制加算                                 | (当該加算の算定を開始した入院年月日と「入院年月日」の項の入院年月日が異なる場合)<br>当該加算の算定を開始した入院年月日を記載すること。   | 850100487        | 加算の算定を開始した入院年月日(急性期充実体制加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                       |         |            |
|    |           |   | (他の保険医療機関に入院中の患者が転院により入院する場合)<br>転院前の入院における主傷病名を記載すること。  | 830100804        | 転院前の入院における主傷病名(救急医療管理加算1);*****                                      |         | ※          |
|    |           |   |  | 820100393        | 一 吐血、喀血又は重篤な脱水で全身状態不良の状態(救急医療管理加算1)                                  |         |            |
|    |           |   |  | 820101043        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS0   |         | ※          |
|    |           |   |  | 820100395        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS1   |         |            |
|    |           |   |  | 820100396        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS2   |         |            |
|    |           |   |  | 820100397        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS3   |         |            |
|    |           |   |  | 820100398        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS10  |         |            |
|    |           |   |  | 820100399        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS20  |         |            |
|    |           |   |  | 820100400        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS30  |         |            |
|    |           |   |  | 820100401        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS100   |         |            |
|    |           |   |  | 820100402        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS200   |         |            |
|    |           |   |  | 820100403        | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算1):JCS300   |         |            |
|    |           |   |  | 820101044        | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比400以上(酸素投与前)                             |         | ※          |
|    |           |   |  | 820100408        | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比300以上400未満(酸素投与前)                        |         |            |
|    |           |   |  | 820100409        | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比200以上300未満(酸素投与前)                        |         |            |
|    |           |   |  | 820100410        | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比200未満(酸素投与前)                             |         |            |
|    | 820101045 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比400以上(酸素投与後)  |  | ※                |  |         |            |

| 項番 | 区分     | 診療行為名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                   | 紙レセのみ記載   | 令和6年6月1日適用                                       |   |
|----|--------|-----------|---|------------------|--|-----------|--|---|
| 18 | A205の1 | 救急医療管理加算1 | <p>以下の内容について、記載すること。</p> <p>ア 「基本診療料の施設基準等」の別表七の三(以下この項において「別表」という。)別表の一から十二までのうち該当する状態</p> <p>イ 別表の二、三、四、六、七又は八の状態に該当する場合は、それぞれの入院時の状態に係る指標(P/F比は、酸素投与前の値とする。ただし、酸素投与前の測定が困難である場合は、酸素投与後の値である旨及び酸素投与後の値並びにFIO2を記載すること。また、酸素投与前の測定が困難であって、かつ、別表の三に掲げる状態であってP/F比400以上の場合は、呼吸不全と判断する根拠となった理学的所見について記載すること。)</p> <p>ウ 当該重症な状態に対して、入院後3日以内に実施した検査、画像診断、処置又は手術のうち主要なものについて、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に關して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に關して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」(平成30年4月27日保発0428第10号)(本通知が改正された場合は、改正後の通知によること。)の別添5に掲げる医科診療行為コードを記載すること。</p> <p>(当該加算を算定した入院年月日と「入院年月日」の項の入院年月日が異なる場合)<br/>当該加算を算定した入院年月日を記載すること。</p> | 820101046        | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比300以上400未満(酸素投与後)      | ※         |  |   |
|    |        |           |   | 820101047        | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比200以上300未満(酸素投与後)      | ※         |  |   |
|    |        |           |   | 820101048        | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):P/F比200未満(酸素投与後)           | ※         |  |   |
|    |        |           |   | 842100116        | 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算1)であって、酸素投与後の場合におけるFIO2の値(%)    | ※         |  |   |
|    |        |           |   | 830100805        | P/F比400以上であって呼吸不全と判断する根拠となった理学的所見(救急医療管理加算1):***** | ※         |  |   |
|    |        |           |   | 820100404        | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):NYHA1                       |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100405        | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):NYHA2                       |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100406        | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):NYHA3                       |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100407        | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算1):NYHA4                       |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100411        | 五 急性薬物中毒(救急医療管理加算1)                                |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100412        | 六 ショック(救急医療管理加算1):平均血圧70mmHg以上                     |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100413        | 六 ショック(救急医療管理加算1):平均血圧70mmHg未満                     |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100414        | 六 ショック(救急医療管理加算1):昇圧剤利用なし                          |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100415        | 六 ショック(救急医療管理加算1):昇圧剤利用あり                          |           |  |   |
|    |        |           |   | 842100001        | 七 重篤な代謝障害(肝不全)(救急医療管理加算1)AST値:*****                |           |  |   |
|    |        |           |   | 842100002        | 七 重篤な代謝障害(肝不全)(救急医療管理加算1)ALT値:*****                |           |  |   |
|    |        |           |   | 842100003        | 七 重篤な代謝障害(腎不全)(救急医療管理加算1)eGFR値:*****               |           |  |   |
|    |        |           |   | 842100004        | 七 重篤な代謝障害(重症糖尿病)(救急医療管理加算1)JDS値:*****              |           |  |   |
|    |        |           |   | 842100005        | 七 重篤な代謝障害(重症糖尿病)(救急医療管理加算1)NGSP値:*****             |           |  |   |
|    |        |           |   | 842100006        | 七 重篤な代謝障害(重症糖尿病)(救急医療管理加算1)随時血糖値:*****             |           |  |   |
|    |        |           |   | 830100023        | 七 重篤な代謝障害(その他)(救急医療管理加算1)具体的な状態:*****              |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100416        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算1):Burn Index 9以上       |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100417        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算1):Burn Index 4以上9未満    |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100418        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算1):Burn Index 1以上4未満    |           |  |   |
|    |        |           |   | 820101049        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算1):Burn Index 0         | ※         |  |   |
|    |        |           |   | 820100419        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算1):気道熱傷なし               |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100420        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算1):気道熱傷あり               |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100421        | 九 外傷、破傷風等で重篤な状態(救急医療管理加算1)                         |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100808        | 十 緊急手術、緊急カテーテル治療、検査又は1-PA療法を必要とする状態(救急医療管理加算1)     |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100822        | 十一 消化器疾患で緊急処置を必要とする重篤な状態(救急医療管理加算1)                |           |  |   |
|    |        |           |   | 820100823        | 十二 蘇生術を必要とする重篤な状態(救急医療管理加算1)                       |           |  |   |
|    |        |           |   | 830100473        | 緊急入院が必要であると判断した医学的根拠(救急医療管理加算1):*****              |           |  |   |
|    |        |           |   |                  |  | 831110001 | 入院後3日以内に実施した主要な診療行為(救急医療管理加算1):***** (医科診療行為コード) |   |
|    |        |           |   |                  |  | 850100017 | 救急医療管理加算1を算定した入院年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |   |
|    |        |           |   |                  |  | 830100806 | 転院前の入院における主傷病名(救急医療管理加算2):*****                  | ※ |
|    |        |           |   |                  |  | 820100422 | 一 吐血、喀血又は重篤な脱水で全身状態不良の状態(救急医療管理加算2)              |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820101050 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS0                       | ※ |
|    |        |           |   |                  |  | 820100423 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS1                       |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100424 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS2                       |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100425 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS3                       |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100426 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS10                      |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100427 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS20                      |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100428 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS30                      |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100429 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS100                     |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100430 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS200                     |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100431 | 二 意識障害又は昏睡(救急医療管理加算2):JCS300                     |   |
|    |        |           |   |                  |  | 820100436 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比400以上(酸素投与前)         |   |
|    |        | 820100437 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比300以上400未満(酸素投与前)   |                  |  |           |  |   |
|    |        | 820100438 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比200以上300未満(酸素投与前)   |                  |  |           |  |   |
|    |        | 820100439 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比200未満(酸素投与前)  |                  |  |           |  |   |
|    |        | 820101051 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比400以上(酸素投与後)  | ※                |  |           |  |   |
|    |        | 820101052 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比300以上400未満(酸素投与後)   | ※                |  |           |  |   |
|    |        | 820101053 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比200以上300未満(酸素投与後)   | ※                |  |           |  |   |
|    |        | 820101054 | 三 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):P/F比200未満(酸素投与後)  | ※                |  |           |  |   |
|    |        | 842100117 | 呼吸不全で重篤な状態(救急医療管理加算2)であって、酸素投与後の場合におけるFIO2の値(%)   | ※                |  |           |  |   |
|    |        | 830100807 | P/F比400以上であって呼吸不全と判断する根拠となった理学的所見(救急医療管理加算2):*****  | ※                |  |           |  |   |
|    |        | 820100432 | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):NYHA1  |                  |  |           |  |   |
|    |        | 820100433 | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):NYHA2  |                  |  |           |  |   |
|    |        | 820100434 | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):NYHA3  |                  |  |           |  |   |
|    |        | 820100435 | 四 心不全で重篤な状態(救急医療管理加算2):NYHA4  |                  |  |           |  |   |
|    |        | 820100440 | 五 急性薬物中毒(救急医療管理加算2)   |                  |  |           |  |   |
|    |        |           | 以下の内容について、記載すること。 <p>ア 別表の一から十二までに準ずる状態又は十三の状態として該当するもの</p> <p>イ 別表の二、三、四、六、七又は八に準ずる状態に該当する場合は、それぞれの入院時の状態に係る指標(P/F比は、酸素投与前の値とする。ただし、酸素投与前の測定が困難である場合は、酸素投与後の値である旨及び酸素投与後の値並びにFIO2を記載すること。また、酸素投与前の測定が困難であって、かつ、別表の三に掲げる状態に準</p>  |                  |  |           |  |   |

| 項番        | 区分  | 診療行為名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載   | 令和6年6月1日適用  |  |  |  |   |
|-----------|---|-----------|---|------------------|---|---|---|--|--|--|---|
| 19        | A205の2  | 救急医療管理加算2 | <p>する状態であってP/F比400以上の場合は、呼吸不全と判断する根拠となった理学的所見について記載すること。）<br/>ウ 当該重症な状態に対して、入院後3日以内に実施した検査、画像診断、処置又は手術のうち主要なもの<br/>エ 重症患者の状態のうち、別表の二に掲げる状態に準ずる状態であってJCS(Japan Coma Scale)0の状態、別表の三に掲げる状態に準ずる状態であってP/F比400以上の状態、別表の四に掲げる状態に準ずる状態であってNYHA I度の状態、又は別表の八に掲げる状態に準ずる状態(顔面熱傷若しくは気道熱傷を除く。)であってBurn Index0の状態について、緊急入院が必要であると判断した医学的根拠</p> | 820100441        | 六 ショック(救急医療管理加算2):平均血圧70mmHg以上  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100442        | 六 ショック(救急医療管理加算2):平均血圧70mmHg未満  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100443        | 六 ショック(救急医療管理加算2):昇圧剤利用なし   |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100444        | 六 ショック(救急医療管理加算2):昇圧剤利用あり   |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 842100007        | 七 重篤な代謝障害(肝不全)(救急医療管理加算2)AST値:*****   |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 842100008        | 七 重篤な代謝障害(肝不全)(救急医療管理加算2)ALT値:*****   |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 842100009        | 七 重篤な代謝障害(腎不全)(救急医療管理加算2)eGFR値:*****  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 842100010        | 七 重篤な代謝障害(重症糖尿病)(救急医療管理加算2)JDS値:*****   |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 842100011        | 七 重篤な代謝障害(重症糖尿病)(救急医療管理加算2)NGSP値:*****  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 842100012        | 七 重篤な代謝障害(重症糖尿病)(救急医療管理加算2)随時血糖値:*****  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 830100025        | 七 重篤な代謝障害(その他)(救急医療管理加算2)具体的な状態:*****   |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100445        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算2):Burn Index 9以上  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100446        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算2):Burn Index 4以上9未満                                       |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100447        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算2):Burn Index 1以上4未満                                       |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820101055        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算2):Burn Index 0  |   | ※   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100448        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算2):気道熱傷なし  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100449        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算2):気道熱傷あり  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 830100642        | 八 広範囲熱傷、顔面熱傷又は気道熱傷(救急医療管理加算2)Burn Index 0:顔面熱傷又は気道熱傷なしの場合は、緊急入院が必要であると判断した医学的根拠:***** |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100450        | 九 外傷、破傷風等で重篤な状態(救急医療管理加算2)  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100451        | 十 緊急手術、緊急カテーテル治療・検査又はt-PA療法を必要とする状態(救急医療管理加算2)  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100824        | 十一 消化器疾患で緊急処置を必要とする重篤な状態(救急医療管理加算2)   |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820100825        | 十二 蘇生術を必要とする重篤な状態(救急医療管理加算2)  |   |   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 820101056        | 十三 その他の重症な状態(救急医療管理加算2)   |   | ※   |  |  |  |   |
|           |   |           |   | 830100808        | 緊急入院が必要であると判断した医学的根拠(救急医療管理加算2):*****   |   | ※   |  |  |  |   |
|           |   |           |   |                  |   | 当該重症な状態に対して、入院後3日以内に実施した検査、画像診断、処置又は手術のうち主要なものについて、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に關して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に關して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」(平成30年4月27日保発0428第10号)(本通知が改正された場合は、改正後の通知によること。)の別添5に掲げる医科診療行為コードを記載すること。 | 831110002   | 入院後3日以内に実施した主要な診療行為(救急医療管理加算2):***** (医科診療行為コード) |  |  |   |
|           |   |           |   |                  |   | (当該加算を算定した入院年月日と「入院年月日」の項の入院年月日が異なる場合)<br>当該加算を算定した入院年月日を記載すること。  | 850100387   | 加算を算定した入院年月日(救急医療管理加算2):(元号)yy"年"mm"月"dd"日       |  |  |   |
|           |   |           |   | 20               | A209  | 特定感染症入院医療管理加算   | 院内感染対策において感染管理の必要性が高い次に掲げる感染症の患者及び疑似症患者に係る感染症について、記載すること。 | 820101057  | ア 狂犬病(特定感染症入院医療管理加算)   |  | ※ |
|           |   |           |   |                  |   |   |   | 820101058  | イ 鳥インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)(特定感染症入院医療管理加算)                    |  | ※ |
|           |   |           |   |                  |   |   |   | 820101059  | ウ エムボックス(特定感染症入院医療管理加算)                                      |  | ※ |
|           |   |           |   |                  |   |   |   | 820101060  | エ 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)(特定感染症入院医療管理加算) |  | ※ |
| 820101061 | オ 腎症候性出血熱(特定感染症入院医療管理加算)                                  |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101062 | カ ニパウイルス感染症(特定感染症入院医療管理加算)                                |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101063 | キ ハンタウイルス肺炎候群(特定感染症入院医療管理加算)                              |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101064 | ク ヘンドラウイルス感染症(特定感染症入院医療管理加算)                              |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101065 | ケ インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)(特定感染症入院医療管理加算)     |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101066 | コ 後天性免疫不全症候群(ニューモシステス肺炎に限る。)(特定感染症入院医療管理加算)               |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101067 | サ 麻しん(特定感染症入院医療管理加算)                                      |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101068 | シ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(特定感染症入院医療管理加算)                        |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101069 | ス RSウイルス感染症(特定感染症入院医療管理加算)                                |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101070 | セ カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症(特定感染症入院医療管理加算)                       |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101071 | ソ 感染性胃腸炎(特定感染症入院医療管理加算)                                   |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101072 | タ 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。病原体がエンテロウイルスによるものに限る。)(特定感染症入院医療管理加算) |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101073 | チ 新型コロナウイルス感染症(特定感染症入院医療管理加算)                             |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101074 | ツ 侵襲性髄膜炎菌感染症(特定感染症入院医療管理加算)                               |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101075 | テ 水痘(特定感染症入院医療管理加算)                                       |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101076 | ト 先天性風しん症候群(特定感染症入院医療管理加算)                                |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101077 | ナ バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症(特定感染症入院医療管理加算)                      |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101078 | ニ バンコマイシン耐性腸球菌感染症(特定感染症入院医療管理加算)                          |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101079 | ヌ 百日咳(特定感染症入院医療管理加算)                                      |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101080 | ネ 風しん(特定感染症入院医療管理加算)                                      |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101081 | ノ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(特定感染症入院医療管理加算)                           |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |
| 820101082 | ハ 無菌性髄膜炎(特定感染症入院医療管理加算)                                   |           | ※   |                  |   |   |   |  |  |  |   |

| 項番        | 区分   | 診療行為<br>名称等                  | 記載事項                            | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセの<br>み記載  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|--|------------------------------|---------------------------------|----------------------|--|--|--------------------|
|           |  |                              |                                 | 820101083            | ヒ 薬剤耐性アシネトバクター感染症(特定感染症入院医療管理加算)   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101084            | フ 薬剤耐性緑膿菌感染症(特定感染症入院医療管理加算)  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101085            | ヘ 流行性耳下腺炎(特定感染症入院医療管理加算)   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101086            | ホ 感染症法第6条第8項に規定する指定感染症(特定感染症入院医療管理加算)  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 830100809            | 病原体検査の結果及び他の患者への感染の危険性が特に高いと判断する根拠(特定感染症入院医療管理加算);*****  | (7日を超えて算定する場合)<br>病原体検査の結果及び他の患者への感染の危険性が特に高いと判断する根拠を記載すること。 | ※                  |
| 21        | A212   | 超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算 | 当該加算の算定開始日を記載すること。              | 850100020            | 算定開始年月日(超重症児(者)入院診療加算):(元号)yy"年"mm"月dd"日   |  |                    |
|           |  |                              |                                 | 850100021            | 算定開始年月日(準超重症児(者)入院診療加算):(元号)yy"年"mm"月dd"日  |  |                    |
| 22        | A220-2   | 特定感染症患者療養環境特別加算の個室加算         | 個室管理を必要とする原因となった感染症について、記載すること。 | 820101087            | ア 狂犬病(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101088            | イ 鳥インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101089            | ウ エムボックス(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101090            | エ 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                           |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101091            | オ 腎症候性出血熱(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101092            | カ ニバウイルス感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101093            | キ ハンタウイルス肺炎候群(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101094            | ク ヘンドラウイルス感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101095            | ケ インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                                  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101096            | コ 麻しん(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101097            | サ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101098            | シ RSウイルス感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101099            | ス カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101100            | セ 感染性胃腸炎(病原体がバロウイルスであるものに限る。)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101101            | ソ 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。病原体がエンテロウイルスによるものに限る。)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                              |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101102            | タ 新型コロナウイルス感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101103            | チ 侵襲性髄膜炎菌感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101104            | ツ 水痘(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101105            | テ 先天性風しん症候群(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101106            | ト パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101107            | ナ パンコマイシン耐性腸球菌感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101108            | ニ 百日咳(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101109            | ヌ 風しん(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101110            | ネ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101111            | ノ 無菌性髄膜炎(病原体がバロウイルスB19によるものに限る。)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101112            | ハ 薬剤耐性アシネトバクター感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101113            | ヒ 薬剤耐性緑膿菌感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101114            | フ 流行性耳下腺炎(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101115            | ヘ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(急性灰白髄炎)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101116            | ヘ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(結核)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101117            | ヘ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(ジフテリア)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101118            | ヘ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。))(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算)) |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101119            | ヘ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。))(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101120            | ヘ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(特定鳥インフルエンザ)(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                                      |  | ※                  |
|           |  |                              |                                 | 820101121            | ホ 感染症法第6条第7項に規定する新型インフルエンザ等感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |  | ※                  |
| 820101122 | マ 感染症法第6条第8項に規定する指定感染症(個室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))          |                              | ※                               |                      |  |  |                    |
| 820101123 | ア 鳥インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)(除居室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))     |                              | ※                               |                      |  |  |                    |
| 820101124 | イ 麻しん(除居室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                          |                              | ※                               |                      |  |  |                    |
| 820101125 | ウ 新型コロナウイルス感染症(除居室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                 |                              | ※                               |                      |  |  |                    |
| 820101126 | エ 水痘(除居室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                           |                              | ※                               |                      |  |  |                    |
| 820101127 | オ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(急性灰白髄炎)(除居室加算(特定感染症患者療養環境特別加算)) |                              | ※                               |                      |  |  |                    |
| 820101128 | オ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(結核)(除居室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))     |                              | ※                               |                      |  |  |                    |

| 項番        | 区分                    | 診療行為<br>名称等           | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|-----------------------|-----------------------|--|----------------------|---|-------------|--------------------|
| 23        | A220-2                | 特定感染症患者療養環境特別加算の除任室加算 | 除任室管理を必要とする原因となった感染症について、記載すること。   | 820101129            | オ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(ジフテリア)(除任室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   | ※           |                    |
|           |                       |                       |  | 820101130            | オ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。))(除任室加算(特定感染症患者療養環境特別加算)) |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820101131            | オ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。))(除任室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820101132            | オ 感染症法第6条第3項に規定する二類感染症(特定鳥インフルエンザ)(除任室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))                                      |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820101133            | カ 感染症法第6条第7項に規定する新型インフルエンザ等感染症(除任室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820101134            | キ 感染症法第6条第8項に規定する指定感染症(除任室加算(特定感染症患者療養環境特別加算))  |             |                    |
| 24        | A221-2                | 小児療養環境特別加算            | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第2部A221-2小児療養環境特別加算の(1)のア又はイに規定するものうち、対象患者として該当するものを選択して記載すること。       | 820100025            | ア 麻疹等に感染しており、他の患者への感染の危険性が高い患者  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100026            | イ 易感性により、感染症罹患の危険性が高い患者   |             |                    |
| 25        | A226                  | 重症皮膚潰瘍管理加算            | 患者の皮膚潰瘍に係るSheaの分類を記載すること。  | 830100027            | 皮膚潰瘍に係るSheaの分類(重症皮膚潰瘍管理加算):*****  |             |                    |
| 26        | A228                  | 精神科応急入院施設管理加算         | 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号。)第33条の7第1項に規定する応急入院患者及び同法第34条第1項から第3項までの規定により移送された患者(応急入院患者等)である旨を記載すること。 | 820100452            | 規定により移送された患者(応急入院患者等)(精神科応急入院施設管理加算)  |             |                    |
| 27        | A229                  | 精神科隔離室管理加算            | 算定日を記載すること。  | 算定日情報                | (算定日)   | ○           |                    |
| 28        | A230-3                | 精神科身体合併症管理加算          | 対象患者について基本診療科の施設基準等別表第七の二の各号に掲げるものの中からいずれかが該当するものを選択して記載すること。  | 820100453            | 呼吸器系疾患の患者(精神科身体合併症管理加算)   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100454            | 心疾患の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100455            | 手術又は直達・介達牽引を要する骨折の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100456            | 背髄損傷の患者(精神科身体合併症管理加算)   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100457            | 重篤な内分泌・代謝性疾患の患者(精神科身体合併症管理加算)   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100458            | 重篤な栄養障害の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100459            | 意識障害の患者(精神科身体合併症管理加算)   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100460            | 全身感染症の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100461            | 中枢神経系の感染症の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100462            | 急性腹症の患者(精神科身体合併症管理加算)   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100463            | 劇症肝炎又は重症急性膵炎の患者(精神科身体合併症管理加算)   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100464            | 悪性症候群又は横紋筋融解症の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100465            | 広範囲(半肢以上)熱傷の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100466            | 手術、化学療法若しくは放射線療法を要する状態又は末期の悪性腫瘍の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100467            | 透析導入時の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100468            | 重篤な血液疾患の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100469            | 急性かつ重篤な腎疾患の患者(精神科身体合併症管理加算)   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100470            | 手術室での手術を必要とする状態の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100471            | 膠原病の患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100472            | 妊産婦である患者(精神科身体合併症管理加算)  |             |                    |
| 820100473 | 指定難病の患者(精神科身体合併症管理加算) |                       |  |                      |   |             |                    |
| 29        | A230-4                | 精神科リエゾンチーム加算          | 算定日を記載すること。  | 算定日情報                | (算定日)   | ○           |                    |
| 30        | A231-2                | 強度行動障害入院医療管理加算        | 強度行動障害スコア及び医療度判定スコアの値を記載すること。  | 830100028            | 強度行動障害スコア(強度行動障害入院医療管理加算):*****   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 830100029            | 医療度判定スコア(強度行動障害入院医療管理加算):*****  |             |                    |
| 31        | A231-4                | 摂食障害入院医療管理加算          | 初回算定時のBMIの値を記載すること。  | 842100013            | 初回算定時のBMI値(摂食障害入院医療管理加算):*****  |             |                    |
| 32        | A233-2                | 栄養サポートチーム加算           | 算定日を記載すること。  | 算定日情報                | (算定日)   | ○           |                    |
| 33        | A234-2                | 感染対策向上加算3             | (初回算定後、90日を超えて再度算定した場合)当該加算を算定した入院年月日を記載すること。  | 850100401            | 加算を算定した入院年月日(感染対策向上加算3):(元号)yy年"mm"月"dd"日   |             |                    |
| 34        | A234-4                | 重症患者初期支援充実加算          | (当該加算を算定した入院年月日と「入院年月日」の項の入院年月日が異なる場合)当該加算を算定した入院年月日を記載すること。   | 850190197            | 加算を算定した入院年月日(重症患者初期支援充実加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日  |             |                    |
|           |                       |                       | (当該加算を算定した入院年月日と「入院年月日」の項の入院年月日が異なる場合)当該加算を算定した入院年月日を記載すること。   | 850100026            | 加算を算定した入院年月日(褥瘡ハイリスク患者ケア加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日   |             |                    |
| 35        | A236                  | 褥瘡ハイリスク患者ケア加算         | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第2部A236褥瘡ハイリスク患者ケア加算の(3)のaからケまでに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。         | 820100826            | ア ショック状態のもの   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100827            | イ 重度の末梢循環不全のもの  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100827            | ウ 麻薬等の鎮痛・鎮静剤の持続的な使用が必要であるもの   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100827            | エ 6時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100828            | オ 特殊体位による手術を受けたもの   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100828            | カ 強度の下痢が続く状態であるもの   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100829            | キ 極度の皮膚の脆弱(低出生体重児、GVHD、黄疸等)であるもの  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100830            | ク 皮膚に密着させる医療関連機器の長期かつ持続的な使用が必要であるもの   |             |                    |
|           |                       |                       |  | 820100831            | ケ 褥瘡に関する危険因子(病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等)があって既に褥瘡を有するもの  |             |                    |
|           |                       |                       |  | 36                   | A242  |             |                    |
| 37        | A244                  | 病棟薬剤業務実施加算            | 算定日を記載すること。  | 算定日情報                | (算定日)   | ○           |                    |
| 38        | A246-3                | 医療的ケア児(者)入院前支援加算      | 入院前支援を行った年月日を記載すること。   | 850190209            | 入院前支援を行った年月日(医療的ケア児(者)入院前支援加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日  |             | ※                  |
|           |                       |                       |  | 820100832            | せん妄のリスク因子:70歳以上   |             |                    |

| 項番        | 区分                                    | 診療行為名称等        | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード                               | 左記コードによるレセプト表示文言                                | 紙レセのみ記載       | 令和6年6月1日適用  |
|-----------|---------------------------------------|----------------|---|--|---|---------------|---|
| 39        | A247-2                                | せん妄ハイリスク患者ケア加算 | せん妄のリスク因子の確認結果について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別紙様式7の3に規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。 | 820100905                                      | せん妄のリスク因子:脳器質的障害                                |               |   |
|           |                                       |                |   | 820100833                                      | せん妄のリスク因子:認知症                                   |               |   |
|           |                                       |                |   | 820100906                                      | せん妄のリスク因子:アルコール多飲                               |               |   |
|           |                                       |                |   | 820100907                                      | せん妄のリスク因子:せん妄の既往                                |               |   |
|           |                                       |                |   | 820100834                                      | せん妄のリスク因子:リスクとなる薬剤(特にベンゾジアゼピン系薬剤)の使用            |               |   |
|           |                                       |                |   | 820100835                                      | せん妄のリスク因子:全身麻酔を要する手術後又はその予定があること                |               |   |
|           |                                       |                |   | 820100836                                      | せん妄のリスク因子:その他                                   |               |   |
|           |                                       |                |   | 820100908                                      | ハイリスク患者に対するせん妄対策:認知機能低下に対する介入(見当識の維持等)          |               |   |
|           |                                       |                | 820100909   | ハイリスク患者に対するせん妄対策:脱水の治療・予防(適切な補液と水分摂取)          |   |               |   |
|           |                                       |                | 820100837   | ハイリスク患者に対するせん妄対策:リスクとなる薬剤(特にベンゾジアゼピン系薬剤)の漸減・中止 |   |               |   |
|           |                                       |                | 820100838   | ハイリスク患者に対するせん妄対策:早期離床の取組                       |   |               |   |
|           |                                       |                | 820100839   | ハイリスク患者に対するせん妄対策:疼痛管理の強化(痛みの客観的評価の併用等)         |   |               |   |
|           |                                       |                | 820100840   | ハイリスク患者に対するせん妄対策:適切な睡眠管理(非薬物的な入眠の促進等)          |   |               |   |
|           |                                       |                | 820100841   | ハイリスク患者に対するせん妄対策:本人及び家族へのせん妄に関する情報提供           |   |               |   |
| 820100842 | ハイリスク患者に対するせん妄対策:その他                  |                |   |  |   |               |   |
| 40        | A250注2                                | 薬剤調整加算         | 内服薬が減少する前後の内服薬の種類数(クロロプロマジン換算の評価による場合はクロロプロマジン換算した量)を記載すること。                            | 842100014                                      | 調整前の内服薬の種類数(薬剤調整加算):*****                       |               |   |
|           |                                       |                |   | 842100015                                      | 調整前の内服薬の種類数(クロロプロマジン換算量(mg))(薬剤調整加算):*****      |               |   |
|           |                                       |                |   | 842100016                                      | 調整後の内服薬の種類数(薬剤調整加算):*****                       |               |   |
|           |                                       |                |   | 842100017                                      | 調整後の内服薬の種類数(クロロプロマジン換算量(mg))(薬剤調整加算):*****      |               |   |
|           |                                       |                | 830100030   | 他の保険医療機関名(薬剤調整加算):*****                        |   |               |   |
|           |                                       |                | 842100018   | 当該保険医療機関における調整前の内服薬の種類数(薬剤調整加算):*****          |   |               |   |
|           |                                       |                | 842100019   | 他の保険医療機関における調整前の内服薬の種類数(薬剤調整加算):*****          |   |               |   |
| 842100020 | 当該保険医療機関における調整後の内服薬の種類数(薬剤調整加算):***** |                |   |  |   |               |   |
| 842100021 | 他の保険医療機関における調整後の内服薬の種類数(薬剤調整加算):***** |                |   |  |   |               |   |
| 41        | A251                                  | 排尿自立支援加算       | 当該加算の初回算定日及び初回からの通算算定回数(当該月に実施されたものを含む。)を記載すること。  | 850100027                                      | 初回算定年月日(排尿自立支援加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"           |               |   |
|           |                                       |                |   | 842100022                                      | 通算算定回数(排尿自立支援加算):*****                          |               |   |
| 42        | A253                                  | 協力対象施設入所者入院加算  | 当該入院患者の入所していた介護保険施設等の名称   | 830100810                                      | 入所していた介護保険施設等:*****                             |               | ※   |
| 43        | A300                                  | 救命救急入院料        | (救命救急入院料の算定に係る入院年月日と「入院年月日」の項の入院年月日が異なる場合)救命救急入院料の算定に係る入院年月日を記載すること。                    | 850100028                                      | 救命救急入院料の算定に係る入院年月日(救命救急入院料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |               |   |
| 44        | A300注5                                | 急性薬物中毒加算1      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物を記載すること。  | 820101135                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):バルビタール系薬物       |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101136                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):プロムパレルリル尿素      |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101137                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):三環系・四環系抗うつ薬     |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101138                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):アセトアミノフェン       |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101139                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):サリチル酸           |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101140                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):有機リン系農薬         |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101141                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):カーバメート系農薬       |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101142                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):グルホシネート         |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101143                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):バラコート           |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101144                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):メタンフェタミン        |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101145                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):メタノール           |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101146                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):青酸化合物           |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 820101147                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):ヒ素化合物           |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 830100811                                      | 急性薬物中毒の原因物質として同定した薬物(急性薬物中毒加算1):その他:*****       |               | ※   |
|           |                                       |                |   | 45   | A302  | 新生児特定集中治療室管理料 | (総合周産期特定集中治療室管理料の新生児集中治療室管理料及び新生児治療回復室入院医療管理料と合計して22日以上算定した場合)出生時体重について、「1,500g以上」、「1,000g以上1,500g未満」、「500g以上750g未満」又は「500g未満」の中から該当するものを選択して記載すること。慢性肺疾患の新生児の出生時体重について、「500g以上750g未満」、「500g未満」の中から該当するものを選択して記載すること。 |
| 820100028 | 出生時体重 1,000g以上1,500g未満                |                |   |  |   |               |   |
| 820100029 | 出生時体重 1,000g未満                        |                |   |  |   |               |   |
| 820101040 | 出生時体重 500g以上750g未満                    |                |   |  |   |               |   |
| 820101041 | 出生時体重 500g未満                          |                |   |  |   |               |   |
| 820100474 | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):ア 高度の先天奇形       |                |   |  |   |               |   |
| 820100475 | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):イ 低体温           |                |   |  |   |               |   |
| 820100476 | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):ウ 重症黄疸          |                |   |  |   |               |   |
| 820100477 | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):エ 未熟児           |                |   |  |   |               |   |
| 820100478 | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):オ 意識障害又は昏睡      |                |   |  |   |               |   |



| 項番        | 区分                                     | 診療行為名称等                            | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセプトのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--|------------------------------------|--|------------------|---|-----------|------------|
|           |  |                                    | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第2部A302新生児特定集中治療室管理料の(1)のAからSまでのいずれに該当するか選択して記載すること。            | 820100479        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):カ 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪                               |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100480        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):キ 急性心不全(心筋梗塞を含む。)                                   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100481        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):ク 急性薬物中毒  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100482        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):ケ ショック  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100483        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):コ 重篤な代謝障害(肝不全、腎不全、重症糖尿病等)                           |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100484        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):サ 大手術後  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100485        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):シ 救急蘇生後   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100486        | 該当するもの(新生児特定集中治療室管理料):ス その他外傷、破傷風等で重篤な状態                                  |           |            |
| 46        | A302-2                                 | 新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料             | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第2部A302-2新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料の(1)のAからKまでのいずれに該当するか選択して記載すること。 | 820101148        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):ア 体外式膜型人工肺を実施している状態                        |           | ※          |
|           |  |                                    |  | 820101149        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):イ 腎代替療法(血液透析、腹膜透析等)を実施している状態               |           | ※          |
|           |  |                                    |  | 820101150        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):ウ 交換輸血を実施している状態                            |           | ※          |
|           |  |                                    |  | 820101151        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):エ 低体温療法を実施している状態                           |           | ※          |
|           |  |                                    |  | 820101152        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):オ 人工呼吸器を使用している状態(出生時体重が七百五十グラム未満である場合に限る。) |           | ※          |
|           |  |                                    |  | 820101153        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):カ 人工呼吸器を使用している状態であって、一酸化窒素吸入療法を実施している状態    |           | ※          |
|           |  |                                    |  | 820101154        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):キ 人工呼吸器を使用している状態であって、胸腔・腹腔ドレーン管理を実施している状態  |           | ※          |
|           |  |                                    |  | 820101155        | 該当するもの(新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料):ク 手術後に人工呼吸器を使用している状態                       |           | ※          |
| 47        | A303の1                                 | 総合周産期特定集中治療室管理料<br>1 母体・胎児集中治療室管理料 | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第2部A303総合周産期特定集中治療室管理料の(2)のAからKまでのいずれに該当するか選択して記載すること。          | 820100487        | 該当するもの(母体・胎児集中治療室管理料):ア 合併症妊娠   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100488        | 該当するもの(母体・胎児集中治療室管理料):イ 妊娠高血圧症候群  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100489        | 該当するもの(母体・胎児集中治療室管理料):ウ 多胎妊娠  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100490        | 該当するもの(母体・胎児集中治療室管理料):エ 胎盤位置異常  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100491        | 該当するもの(母体・胎児集中治療室管理料):オ 切迫流産  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100492        | 該当するもの(母体・胎児集中治療室管理料):カ 胎児発育遅延や胎児畸形などの胎児異常を伴うもの                           |           |            |
| 48        | A303の2                                 | 総合周産期特定集中治療室管理料<br>2 新生児集中治療室管理料   | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第2部A302新生児特定集中治療室管理料の(1)のAからSまでのいずれに該当するか選択して記載すること。            | 820100027        | 出生時体重 1,500g以上  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100028        | 出生時体重 1,000g以上1,500g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100029        | 出生時体重 1,000g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820101040        | 出生時体重 500g以上750g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820101041        | 出生時体重 500g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100493        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):ア 高度の先天奇形   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100494        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):イ 低体温   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100495        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):ウ 重症黄疸  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100496        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):エ 未熟児   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100497        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):オ 意識障害又は昏睡  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100498        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):カ 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪                                 |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100499        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):キ 急性心不全(心筋梗塞を含む。)                                     |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100500        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):ク 急性薬物中毒  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100501        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):ケ ショック  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100502        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):コ 重篤な代謝障害(肝不全、腎不全、重症糖尿病等)                             |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100503        | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):サ 大手術後  |           |            |
| 820100504 | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):シ 救急蘇生後            |                                    |  |                  |   |           |            |
| 820100505 | 該当するもの(新生児集中治療室管理料):ス その他外傷、破傷風等で重篤な状態 |                                    |  |                  |   |           |            |
| 49        | A303-2                                 | 新生児治療回復室入院医療管理料                    | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第2部A303-2新生児治療回復室入院医療管理料の、(2)のAからSまでのいずれに該当するか選択して記載すること。       | 820100027        | 出生時体重 1,500g以上  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100028        | 出生時体重 1,000g以上1,500g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100029        | 出生時体重 1,000g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820101040        | 出生時体重 500g以上750g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820101041        | 出生時体重 500g未満  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100506        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):ア 高度の先天奇形   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100507        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):イ 低体温   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100508        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):ウ 重症黄疸  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100509        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):エ 未熟児   |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100510        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):オ 意識障害又は昏睡  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100511        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):カ 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪                             |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100512        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):キ 急性心不全(心筋梗塞を含む。)                                 |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100513        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):ク 急性薬物中毒  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100514        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):ケ ショック  |           |            |
|           |  |                                    |  | 820100515        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):コ 重篤な代謝障害(肝不全、腎不全、重症糖尿病等)                         |           |            |

| 項番 | 区分               | 診療行為名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|------------------|--|--|------------------|--|---------|------------|
|    |                  |  |  | 820100516        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):サ 大手術後                               |         |            |
|    |                  |  |  | 820100517        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):シ 救急蘇生後                              |         |            |
|    |                  |  |  | 820100518        | 該当するもの(新生児治療回復室入院医療管理料):ス その他外傷、破傷風等で重篤な状態                   |         |            |
| 50 | A306             | 特殊疾患入院医療管理料  | (必要があつて患者が他の病棟等へ移動した場合)その医療上の必要性を詳細に記載すること。  | 830100031        | 患者が他の病棟等へ移動した医療上の必要性(特殊疾患入院医療管理料):*****                      |         |            |
| 51 | A308             | 回復期リハビリテーション病棟入院料  | 対象となる疾患の発症年月日、手術年月日又は損傷年月日及び入棟年月日並びに退棟年月日を記載する   | 850100029        | 対象疾患の発症年月日(回復期リハビリテーション病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日                  |         |            |
|    |                  |  |  | 850100030        | 対象疾患の手術年月日(回復期リハビリテーション病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日                  |         |            |
|    |                  |  |  | 850100031        | 対象疾患の損傷年月日(回復期リハビリテーション病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日                  |         |            |
|    |                  |  |  | 850100032        | 入棟年月日(回復期リハビリテーション病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日                       |         |            |
|    |                  |  |  | 850100033        | 退棟年月日(回復期リハビリテーション病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日                       |         |            |
|    |                  |  |  | 842100023        | 1日6単位以上のリハビリテーション提供日数(回復期リハビリテーション病棟入院料):*****               |         |            |
|    |                  |  | (入院までの間に算定開始日数除対象入院料等において1日6単位以上の重点的なりハビリテーションが提供された場合)当該日数を記載すること。  | 842100024        | 転院前の算定日数(回復期リハビリテーション病棟入院料):*****                            |         |            |
|    |                  |  | (回復期リハビリテーション病棟入院料等を算定する病棟から転院してきた患者であつて、転院後継続して回復期リハビリテーション病棟入院料等を算定する場合)転院前の保険医療機関における当該入院料の算定日数を記載すること。   | 830100032        | 実績指数算出から除外する理由(回復期リハビリテーション病棟入院料):*****                      |         |            |
|    |                  |  | (「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1の第1章第2部第3節A308回復期リハビリテーション病棟入院料の(12)のウ及びエにおいて、当該患者をリハビリテーション実績指数の算出から除外する場合)当該患者の入棟月の診療報酬明細書に、実績指数の算出から除外する旨及びその理由を記載すること。                            | 830100033        | 患者が他の病棟等へ移動した医療上の必要性(回復期リハビリテーション病棟入院料):*****                |         |            |
| 52 | A308-3           | 地域包括ケア病棟入院料  | (必要があつて患者が他の病棟等へ移動した場合)その医療上の必要性を詳細に記載すること。  | 830100034        | 患者が他の病棟等へ移動した医療上の必要性(地域包括ケア病棟入院料):*****                      |         |            |
| 53 | A308-3           | 地域包括ケア病棟入院料の急性期患者支援病床初期加算又は在宅患者支援病床初期加算                      | 入院元を記載すること。  | 830100035        | 入院元(急性期患者支援病床初期加算):*****                                     |         |            |
|    |                  |  |  | 830100036        | 入院元(在宅患者支援病床初期加算):*****                                      |         |            |
|    |                  |  |  | 830100037        | 算定対象である旨及び転院(転棟)回数(急性期患者支援病床初期加算):*****                      |         |            |
|    |                  |  |  | 830100040        | 直近の入院医療機関名及び退院年月日(在宅患者支援病床初期加算):*****                        |         |            |
|    |                  |  | (入院元が急性期医療を担う病院である場合)当該加算の算定対象である旨、過去に当該患者が当該病院(病棟)から転院(転棟)した回数を記載すること。(記載例1参照)[記載例1]入院元であるXXX病院は地域一般入院料2を算定しており、かつ救急医療管理加算の届出を行っている。本患者がXXX病院から当院に転院したことは、過去に2回ある。(転院日:○年○月○日及び○年○月○日)。 |                  |  |         |            |
|    |                  |  | (入院元が介護保健施設、介護医療院、居住施設等又は自宅である場合)直近の入院医療機関名及び退院日を記載すること。(記載例2参照)[記載例2]入院元は自宅である。本患者はXXX病院から○年○月○日に退院後、自宅療養していた。  |                  |  |         |            |
| 54 | A309             | 特殊疾患病棟入院料  | (必要があつて患者が他の病棟等へ移動した場合)その医療上の必要性を詳細に記載すること。  | 830100041        | 患者が他の病棟等へ移動した医療上の必要性(特殊疾患病棟入院料):*****                        |         |            |
| 55 | A311-2<br>A311-3 | 精神科救急急性期医療入院料<br>精神科急性期治療病棟入院料<br>精神科救急・合併症入院料               | 算定を開始した年月日を記載すること。   | 850100034        | 精神科救急急性期医療入院料の算定開始年月日:(元号)yy年mm月dd日                          |         |            |
|    |                  |  |  | 850100035        | 精神科急性期治療病棟入院料の算定開始年月日:(元号)yy年mm月dd日                          |         |            |
|    |                  |  |  | 850100036        | 精神科救急・合併症入院料の算定開始年月日:(元号)yy年mm月dd日                           |         |            |
|    |                  |  |  | 830100042        | 転棟の必要性(精神科救急急性期医療入院料):*****                                  |         |            |
|    |                  |  |  | 830100043        | 転棟の必要性(精神科急性期治療病棟入院料):*****                                  |         |            |
|    |                  |  |  | 830100044        | 転棟の必要性(精神科救急・合併症入院料):*****                                   |         |            |
|    |                  |  |  | 850100037        | 医療観察法による入院開始年月日:(元号)yy年mm月dd日                                |         |            |
|    |                  |  |  | 850100038        | 医療観察法による入院終了年月日:(元号)yy年mm月dd日                                |         |            |
| 56 | A311-2<br>A311-3 | 精神科救急急性期医療入院料<br>精神科急性期治療病棟入院料<br>精神科救急・合併症入院料<br>非定型抗精神病薬加算 | 非定型、定型を含めて投与している向精神病薬をすべて記載すること。   | 830100045        | 向精神病薬名(非定型抗精神病薬加算(精神科救急急性期医療入院料)):*****                      |         |            |
|    |                  |  |  | 830100046        | 向精神病薬名(非定型抗精神病薬加算(精神科急性期治療病棟入院料)):*****                      |         |            |
|    |                  |  |  | 830100047        | 向精神病薬名(非定型抗精神病薬加算(精神科救急・合併症入院料)):*****                       |         |            |
| 57 | A311             | 精神科救急急性期医療入院料  | 当該病棟におけるクロザピンの初回投与日(年月日)を記載すること。   | 850100039        | 当該病棟におけるクロザピンの初回投与年月日(精神科救急急性期医療入院料):(元号)yy年mm月dd日           |         |            |
|    |                  |  |  | 850100040        | 当該病棟におけるクロザピンの投与中止年月日(精神科救急急性期医療入院料):(元号)yy年mm月dd日           |         |            |
|    |                  |  |  | 820100519        | クロザピンの投与中止の理由(精神科救急急性期医療入院料):ア クロザピンの副作用等の事由により、投与を中止        |         |            |
|    |                  |  |  | 820100520        | クロザピンの投与中止の理由(精神科救急急性期医療入院料):イ 患者事由により、投与を中止                 |         |            |
|    |                  |  |  | 850100041        | 他の病棟又は他の保険医療機関におけるクロザピンの投与中止年月日(精神科救急急性期医療入院料):(元号)yy年mm月dd日 |         |            |
|    |                  |  |  | 842100025        | クロザピンの投与中止回数(精神科救急急性期医療入院料):*****                            |         |            |
| 58 | A311-2           | 精神科急性期治療病棟入院料  | 当該病棟におけるクロザピンの初回投与日(年月日)を記載すること。   | 850100042        | 当該病棟におけるクロザピンの初回投与年月日(精神科急性期治療病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日           |         |            |
|    |                  |  |  | 850100043        | 当該病棟におけるクロザピンの投与中止日(精神科急性期治療病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日             |         |            |
|    |                  |  |  | 820100521        | クロザピンの投与中止の理由(精神科急性期治療病棟入院料):ア クロザピンの副作用等の事由により、投与を中止        |         |            |
|    |                  |  |  | 820100522        | クロザピンの投与中止の理由(精神科急性期治療病棟入院料):イ 患者事由により、投与を中止                 |         |            |
|    |                  |  |  | 850100044        | 他の病棟又は他の保険医療機関におけるクロザピンの投与中止年月日(精神科急性期治療病棟入院料):(元号)yy年mm月dd日 |         |            |
|    |                  |  |  | 842100026        | クロザピンの投与中止回数(精神科急性期治療病棟入院料):*****                            |         |            |
| 59 | A311-3           | 精神科救急・合併症  | 当該病棟におけるクロザピンの初回投与日(年月日)を記載すること。   | 850100045        | 当該病棟におけるクロザピンの初回投与年月日(精神科救急・合併症入院料):(元号)yy年mm月dd日            |         |            |
|    |                  |  |  | 850100046        | 当該病棟におけるクロザピンの投与中止年月日(精神科救急・合併症入院料):(元号)yy年mm月dd日            |         |            |
|    |                  |  |  | 820100523        | クロザピンの投与中止の理由(精神科救急・合併症入院料):ア クロザピンの副作用等の事由により、投与を中止         |         |            |

| 項番 | 区分        | 診療行為名称等                                       | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|-----------|---|--|------------------|--|---------|------------|
| 3  | 入院料       |   |  | 820100524        | クロザピンの投与中止の理由(精神科救急・合併症入院料):イ 患者事由により、投与を中止                      |         |            |
|    |           |   | (他の病棟又は他の保険医療機関においてクロザピンを中止したことがある場合)<br>他の病棟又は他の保険医療機関における直近のクロザピンの投与中止日及び当該保険医療機関におけるクロザピンの投与中止回数  | 850100047        | 他の病棟又は他の保険医療機関におけるクロザピンの投与中止年月日(精神科救急・合併症入院料):(元年)yy"年"mm"月"dd"日 |         |            |
|    |           |   |  | 842100027        | クロザピンの投与中止回数(精神科救急・合併症入院料):*****                                 |         |            |
| 60 | A312      | 精神療養病棟入院料                                     | (必要があつて患者が他の病棟等へ移動した場合)<br>その医療上の必要性を詳細に記載すること。  | 830100048        | 患者が他の病棟等へ移動した医療上の必要性(精神療養病棟入院料):*****                            |         |            |
| 61 | A312      | 精神療養病棟入院料の非定型抗精神病薬加算                          | 非定型、定型を含めて投与している向精神病薬をすべて記載すること。   | 830100049        | 向精神病薬名(非定型抗精神病薬加算(精神療養病棟入院料)):*****                              |         |            |
| 62 | A312      | 精神療養病棟入院料の重症者加算                               | 算定日を記載すること。  | 算定日情報            | (算定日)  | ○       |            |
| 63 | A314      | 認知症治療病棟入院料                                    | (必要があつて患者が他の病棟等へ移動した場合)<br>その医療上の必要性を詳細に記載すること。  | 830100050        | 患者が他の病棟等へ移動した医療上の必要性(認知症治療病棟入院料):*****                           |         |            |
| 64 | A317      | 特定一般病棟入院料の救急・在宅等支援病床初期加算                      | 入院元を記載すること。  | 830100051        | 入院元(特定一般病棟入院料)(救急・在宅等支援病床初期加算):*****                             |         |            |
|    |           |   | (入院元が急性期医療を担う病院である場合)<br>当該加算の算定対象である旨、過去に当該患者が当該病院(病棟)から転院(転棟)した回数を記載すること。(記載例1参照)<br>[記載例1]<br>入院元であるXXX病院は地域一般入院料2を算定しており、かつ救急医療管理加算の届出を行っている。本患者がXXX病院から当院に転院したことは、過去に2回ある。<br>(転院日:○年○月○日及び○年○月○日)。 | 830100006        | 算定対象である旨及び転院(転棟)回数(救急・在宅等支援病床初期加算):*****                         |         |            |
|    |           |   | (入院元が介護保健施設、介護医療院、居住系施設等又は自宅である場合)<br>直近の入院医療機関名及び退院日を記載すること。(記載例2参照)<br>[記載例2]<br>入院元は自宅である。本患者はXXX病院から○年○月○日に退院後、自宅療養していた。   | 830100007        | 直近の入院医療機関名及び退院年月日(救急・在宅等支援病床初期加算):*****                          |         |            |
| 65 | A317      | 特定一般病棟入院料を算定している患者について、地域包括ケア入院医療管理が行われた場合    | 地域包括ケア入院医療管理を行う病室に入室した年月日を記載すること。  | 850100048        | 特定一般病棟入院料(地域包括ケア)を行う病室への入室年月日;(元年)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|    |           |   | (必要があつて患者を他の病棟等へ移動した場合)<br>その医療上の必要性を記載すること。   | 830100054        | 患者を他の病棟等へ移動した医療上の必要性(特定一般病棟入院料)(地域包括ケア):*****                    |         |            |
| 66 | A318      | 地域移行機能強化病棟入院料の非定型抗精神病薬加算                      | 非定型、定型を含めて投与している向精神病薬をすべて記載すること。   | 830100055        | 向精神病薬名(地域移行機能強化病棟入院料)(非定型抗精神病薬加算):*****                          |         |            |
| 67 | A318      | 地域移行機能強化病棟入院料の重症者加算                           | 算定した日を記載すること。  | 算定日情報            | (算定日)  | ○       |            |
| 68 | A319      | 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料                          | (医療上特に必要がある場合であつて、特定機能病院リハビリテーション病棟から他の病棟へ患者が移動した場合)<br>その医療上の必要性について詳細に記載すること。  | 830100476        | 他の病棟へ患者が移動した医療上の必要性(特定機能病院リハビリテーション病棟入院料):*****                  |         |            |
|    |           |   | 転院前の保険医療機関における特定機能病院リハビリテーション病棟入院料又は回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数を記載すること。   | 830100477        | 転院前の保険医療機関における算定日数(特定機能病院リハビリテーション病棟入院料):*****                   |         |            |
| 69 | A400の1    | 短期滞在手術等基本料1                                   |  | 算定日情報            | (算定日)  | ○       |            |
|    |           |   |  | 820100992        | 対象手術(短手1):内分泌負荷試験 1 下垂体前葉負荷試験 イ 成長ホルモン(GH)(一連として)                |         |            |
|    |           |   |  | 820100993        | 対象手術(短手1):小児食物アレルギー負荷検査  |         |            |
|    |           |   |  | 820100525        | 対象手術(短手1):皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 3 長径四センチメートル以上(六歳未満に限る。)               |         |            |
|    |           |   |  | 820100526        | 対象手術(短手1):皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 3 長径六センチメートル以上十二センチメートル未満(六歳未満に限る。)  |         |            |
|    |           |   |  | 820100527        | 対象手術(短手1):皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 4 長径十二センチメートル以上(六歳未満に限る。)            |         |            |
|    |           |   |  | 820100528        | 対象手術(短手1):腋臭症手術  |         |            |
|    |           |   |  | 820100994        | 対象手術(短手1):四肢・躯幹部腫瘍摘出術 2 手、足(手に限る。)                               |         |            |
|    |           |   |  | 820100995        | 対象手術(短手1):骨内異物(挿入物を含む。)除去術 4 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他(手に限る。)         |         |            |
|    |           |   |  | 820100529        | 対象手術(短手1):半月板切除術   |         |            |
|    |           |   |  | 820100530        | 対象手術(短手1):関節鏡下半月板切除術   |         |            |
|    |           |   |  | 820100996        | 対象手術(短手1):ガングリオン摘出術 1 手、足、指(手、足)(手に限る。)                          |         |            |
|    |           |   |  | 820100531        | 対象手術(短手1):手根管開放手術  |         |            |
|    |           |   |  | 820100532        | 対象手術(短手1):関節鏡下手根管開放手術  |         |            |
|    |           |   |  | 820100997        | 対象手術(短手1):涙管チューブ挿入術 1 涙道内視鏡を用いるもの                                |         |            |
|    |           |   |  | 820100998        | 対象手術(短手1):眼瞼内反症手術 2 皮膚切開法  |         |            |
|    |           |   |  | 820100999        | 対象手術(短手1):眼瞼下垂症手術 1 眼瞼挙筋前転法                                      |         |            |
|    |           |   |  | 820101000        | 対象手術(短手1):眼瞼下垂症手術 3 その他のもの                                       |         |            |
|    |           |   |  | 820101001        | 対象手術(短手1):翼状片手術(弁の移植を要するもの)                                      |         |            |
|    |           |   |  | 820101002        | 対象手術(短手1):治療的角膜切除術 1 エキシマレーザーによるもの(角膜シフトロプシー又は帯状角膜酸性に換るものに限る。)   |         |            |
|    |           |   |  | 820101003        | 対象手術(短手1):緑内障手術 6 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術                              |         |            |
|    |           |   |  | 820100533        | 対象手術(短手1):水晶体再建術 1 眼内レンズを挿入する場合 イ 縫着レンズを挿入するもの                   |         |            |
|    |           |   |  | 820101157        | 対象手術(短手1):水晶体再建術 1 眼内レンズを挿入する場合 ロ その他のもの                         |         | ※          |
|    |           |   |  | 820101158        | 対象手術(短手1):水晶体再建術 2 眼内レンズを挿入しない場合                                 |         | ※          |
|    |           |   |  | 820101159        | 対象手術(短手1):水晶体再建術 3 計画的後囊切開を伴う場合                                  |         | ※          |
|    |           |   |  | 820100534        | 対象手術(短手1):乳腺腫瘍摘出術 1 長径五センチメートル未満                                 |         |            |
|    |           |   |  | 820101160        | 対象手術(短手1):乳腺腫瘍摘出術 2 長径五センチメートル以上                                 |         | ※          |
|    | 820100535 | 対象手術(短手1):気管支狭窄拡張術(気管支鏡によるもの)                 |  |                  |  |         |            |
|    | 820100536 | 対象手術(短手1):気管支腫瘍摘出術(気管支鏡又は気管支ファイバースコープによるもの)   |  |                  |  |         |            |
|    | 820101004 | 対象手術(短手1):経皮的シャント拡張術・血栓除去術 1 初回               |  |                  |  |         |            |
|    | 820101005 | 対象手術(短手1):経皮的シャント拡張術・血栓除去術 2 1の実施後3月以内に実施する場合 |  |                  |  |         |            |
|    | 820101006 | 対象手術(短手1):下肢静脈瘤手術 1 抜去切除術                     |  |                  |  |         |            |
|    | 820101007 | 対象手術(短手1):下肢静脈瘤手術 2 硬化療法(一連として)               |  |                  |  |         |            |

| 項番 | 区分     | 診療行為名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|--------|--|--|------------------|---|---------|------------|
|    |        |  |  | 820101008        | 対象手術(短手1):下肢静脈瘤手術 3 高位結紮術                                       |         |            |
|    |        |  |  | 820101009        | 対象手術(短手1):下肢静脈瘤血管内焼灼術   |         |            |
|    |        |  |  | 820101010        | 対象手術(短手1):下肢静脈瘤血管内塞栓術   |         |            |
|    |        |  |  | 820100537        | 対象手術(短手1):内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 1 早期悪性腫瘍粘膜切除術                    |         |            |
|    |        |  |  | 820100538        | 対象手術(短手1):内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 1 長径二センチメートル未満                       |         |            |
|    |        |  |  | 820101011        | 対象手術(短手1):痔核手術(脱肛を含む。) 2 硬化療法(四段階注射法によるもの)                      |         |            |
|    |        |  |  | 820101012        | 対象手術(短手1):肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術(肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術に限る。) |         |            |
|    |        |  |  | 820101013        | 対象手術(短手1):尿失禁手術(ボツリヌス毒素によるもの)                                   |         |            |
|    |        |  |  | 820101014        | 対象手術(短手1):顕微鏡下精索静脈瘤手術   |         |            |
|    |        |  |  | 820100539        | 対象手術(短手1):経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術 1 ホルミウムレーザー又は倍周波数レーザーを用いるもの         |         |            |
|    |        |  |  | 820101161        | 対象手術(短手1):経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術 2 ツリウムレーザーを用いるもの                    |         | ※          |
|    |        |  |  | 820101162        | 対象手術(短手1):経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術 3 その他のもの                            |         | ※          |
|    |        |  | (短期滞在手術等基本料1の届出を行った保険医療機関が、短期滞在手術等基本料の対象となる手術を行った場合であって入院基本料を算定する場合)<br>短期滞在手術等基本料を算定しない理由を記載すること。                         | 830100056        | 非算定理由(短手1):*****  |         |            |
|    |        |  | (短期滞在手術等基本料1を算定する患者について、当該手術とは別の目的で実施した、検査及び当該検査項目等に係る判断料並びに画像診断項目の費用を算定する場合)<br>その旨を記載すること。                               | 820100540        | 対象手術とは別目的で実施した検査等(短手1)  |         |            |
| 70 | A400の3 | 短期滞在手術等基本料3  | 短手3と表示し、検査日又は手術日及び検査名又は手術名を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
| 71 | A      | 180日を超える期間通算対象入院料を算定する場合   | (「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣の定める医薬品等」(平成18年9月12日厚生労働省告示第498号)の九のいずれにも該当しない場合)<br>「選」と記載すること。  | 190117810        | (選)急性期一般入院料1  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190214510        | (選)急性期一般入院料2  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190214610        | (選)急性期一般入院料3  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190214710        | (選)急性期一般入院料4  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190214810        | (選)急性期一般入院料5  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190214910        | (選)急性期一般入院料6  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190215010        | (選)地域一般入院料1   | ○       |            |
|    |        |  |  | 190111910        | (選)地域一般入院料2   | ○       |            |
|    |        |  |  | 190112010        | (選)地域一般入院料3   | ○       |            |
|    |        |  |  | 190113410        | (選)一般病棟特別入院基本料  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190118710        | (選)特定機能病院一般病棟7対1入院基本料   | ○       |            |
|    |        |  |  | 190114710        | (選)特定機能病院一般病棟10対1入院基本料  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190119410        | (選)専門病院7対1入院基本料   | ○       |            |
|    |        |  |  | 190115710        | (選)専門病院10対1入院基本料  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190115810        | (選)専門病院13対1入院基本料  | ○       |            |
|    |        |  |  | 190122890        | 選定療養(入院180日超)減算(入院基本料)  | ○       |            |
|    |        |  | (「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣の定める医薬品等」の九のいずれかに該当する場合)<br>「選外」と記載し、「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣の定める医薬品等」第九のイからフまでに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。 | 820100030        | イ 通算対象入院料算定患者以外の患者  |         |            |
|    |        |  |  | 820100031        | ロ 難病患者等入院診療加算を算定する患者  |         |            |
|    |        |  |  | 820100032        | ハ 重症者等療養環境特別加算を算定する患者   |         |            |
|    |        |  |  | 820100033        | ニ 厚生労働省告示に規定する難病患者等   |         |            |
|    |        |  |  | 820100034        | ホ 悪性新生物に対する腫瘍用薬を投与している状態にある患者                                   |         |            |
|    |        |  |  | 820100035        | ヘ 悪性新生物に対する放射線治療を実施している状態にある患者                                  |         |            |
|    |        |  |  | 820100036        | ト ドレーン法等を実施している状態にある患者  |         |            |
|    |        |  |  | 820100037        | チ 人工呼吸器を使用している状態にある患者   |         |            |
|    |        |  |  | 820100038        | リ 人工腎臓又は血漿交換療法を実施している状態にある患者                                    |         |            |
|    |        |  |  | 820100039        | ヌ 全身麻酔その他これに準ずる麻酔を用いる手術患者                                       |         |            |
|    |        |  |  | 820100040        | ル 15歳未満の患者  |         |            |
|    |        |  |  | 820100041        | ヲ 小児慢性特定疾病児童等患者又は育成医療給付患者                                       |         |            |
|    |        |  |  | 820100042        | フ ロからヌまでに掲げる状態に準ずる状態にある患者                                       |         |            |
| 72 | A      | 救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床(救急医療管理加算又は救命救急入院料を算定する病床に限る。)に入院したものとみなす場合 | 死亡年月日及び死亡を確認した場所として、「処置室で死亡」、「手術室で死亡」、「処置室・手術室以外で死亡」の中から該当するものを選択して記載すること。<br>なお、「処置室・手術室以外で死亡」を選択した場合は、死亡を確認した場所を記載すること。  | 820100043        | 処置室で死亡  |         |            |
|    |        |  |  | 820100044        | 手術室で死亡  |         |            |
|    |        |  |  | 820100045        | 処置室・手術室以外で死亡  |         |            |
|    |        |  |  | 830100057        | 死亡を確認した場所:*****   |         |            |
|    |        |  |  | 820100046        | (イ) 心疾患患者でジギタリス製剤を投与  |         |            |
|    |        |  |  | 820100047        | (ロ) てんかん患者で抗てんかん剤を投与  |         |            |
|    |        |  |  | 820100558        | (ハ) 臓器移植を受けた患者で免疫抑制剤を投与   |         |            |
|    |        |  |  | 820100559        | (ニ) 気管支喘息等の患者でテオフィリン製剤を投与                                       |         |            |
|    |        |  |  | 820100560        | (ホ) 不整脈の患者に対して不整脈用剤を継続的に投与                                      |         |            |
|    |        |  |  | 820100561        | (ヘ) 統合失調症の患者でハロペリドール製剤等を投与                                      |         |            |
|    |        |  |  | 820100562        | (ト) 躁うつ病の患者でリチウム製剤を投与   |         |            |
|    |        |  |  | 820100563        | (チ) 躁うつ病又は躁病の患者でバルプロ酸ナトリウム等を投与                                  |         |            |

| 項番        | 区分                            | 診療行為<br>名称等                         | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード   | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|-------------------------------|-------------------------------------|--|--|--|-------------|--------------------|
| 73        | B001<br>の2                    | 特定薬剤治療管理料<br>1                      | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第1部第1節B001の2特定薬剤治療管理料の(1)の(イ)から(ナ)までに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。また、初回の算定年月を記載すること。ただし、抗てんかん剤及び免疫抑制剤以外の薬剤を投与している患者について4月以降の特定薬剤治療管理料1を算定する場合は抗てんかん剤または免疫抑制剤を投与している患者について特定薬剤治療管理料1を算定する場合には、初回の算定年月の記載を省略して差し支えない。 | 820100054  | (リ) 留意事項通知に規定する患者でシクロスポリンを投与   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100056  | (ス) 留意事項通知に規定する患者でタクロリムス水和物を投与   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100056  | (ル) 若年性関節リウマチ等の患者でサリチル酸系製剤を継続投与  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100056  | (ヲ) 悪性腫瘍の患者でメトキシサートを投与   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100057  | (ワ) 留意事項通知に規定する患者でエベロリムスを投与  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100058  | (カ) 入院中の患者であってアミノ配糖体抗生物質等を数日間以上投与  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100059  | (ヨ) 重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植の患者であってトリアゾール系抗真菌剤を投与   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100070  | (タ) イマチニブを投与   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100062  | (レ) リンパ脈管筋腫症の患者でシクロリムス製剤を投与  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100063  | (ソ) 腎細胞癌の患者で抗悪性腫瘍剤としてスニチニブを投与  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100072  | (ツ) 片頭痛の患者であってバルプロ酸ナトリウムを投与  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100084  | (ネ) 統合失調症の患者であって治療抵抗性統合失調症治療薬を投与   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820101163  | (ナ) プスルファンを投与  |             | ※                  |
| 74        | B001<br>の2                    | 特定薬剤治療管理料<br>1の臓器移植加算               | 当該臓器移植を行った年月日を記載すること。  | 850100049  | 臓器移植年月日(臓器移植加算)(特定薬剤治療管理料1):(元号)yy年<br>mm月dd日  |             |                    |
| 75        | B001<br>の2                    | 特定薬剤治療管理料<br>1の注9加算                 | ミコフェノール酸モフェテルの血中濃度測定の実施を記載すること。  | 830100058  | ミコフェノール酸モフェテルの血中濃度測定の実施(特定薬剤治療管理料1):*****  |             |                    |
| 76        | B001<br>の2                    | 特定薬剤治療管理料<br>1の注10加算                | (エベロリムスの初回投与から3月の間に算定する場合)<br>エベロリムスの初回投与日   | 850100050  | エベロリムスの初回投与年月日(特定薬剤治療管理料1):(元号)yy年<br>mm月dd日   |             |                    |
|           |                               |                                     | (エベロリムスの初回投与から3月の間に算定する場合)<br>エベロリムスの血中濃度測定の実施   | 830100059  | エベロリムスの血中濃度測定の実施(特定薬剤治療管理料1):*****   |             |                    |
| 77        | B001<br>の3                    | 悪性腫瘍特異物質治療<br>管理料                   | 行った腫瘍マーカーの検査名を記載すること。  | 830100060  | 検査名(悪性腫瘍特異物質治療管理料):*****   |             |                    |
| 78        | B001<br>の4                    | 小児特定疾患カウンセ<br>リング料                  | 同一患者に対し初めてのカウンセリングを行った年月日を記載すること。  | 850100051  | 同一患者に対し初めてのカウンセリング実施年月日(小児特定疾患カウ<br>ンセリング料):(元号)yy年mm月dd日                                  |             |                    |
| 79        | B001<br>の9                    | 外来栄養食事指導料<br>の「注2」の場合               | 指導した年月日を記載すること。  | 850100052  | 指導した年月日(外来栄養食事指導料(注2)):(元号)yy年mm月<br>dd日   |             |                    |
| 80        | B001<br>の12                   | 心臓ペースメーカー指<br>導管理料の導入期加算            | ペースメーカー移植術、両心室ペースメーカー移植術、補込型除細動器移植術又は両室ペースメーカー機能付き補込型<br>除細動器移植術を行った年月日を記載すること。  | 850100053  | 導入期加算(心臓ペースメーカー指導管理料)移植年月日:(元号)yy年<br>mm月dd日   |             |                    |
| 81        | B001<br>の12                   | 心臓ペースメーカー指<br>導管理料の補込型除<br>細動器移植期加算 | 直近の算定年月及び使用開始日を記載すること。また、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事<br>項について」別添1第2章第1部第1節B001の12心臓ペースメーカー指導管理料の(5)のA又はBに規定するもの<br>のうち該当するものを選択して記載すること。   | 850100054  | 直近の算定年月日(補込型除細動器移植期加算):(元号)yy年mm月<br>dd日   |             |                    |
|           |                               |                                     | 850100055  | 使用開始年月日(補込型除細動器移植期加算):(元号)yy年mm月<br>dd日  |  |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100064  | ア 留意事項通知に規定する患者でICD適否確定までの間使用  |  |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100065  | イ 留意事項通知に規定する患者でICD補込込みまでの間使用  |  |             |                    |
| 82        | B001<br>の12                   | 心臓ペースメーカー指<br>導管理料の遠隔モニ<br>タリング加算   | 当該指導管理料の直近の算定年月を記載すること。  | 850190001  | 直近の算定年月(遠隔モニタリング加算(心臓ペースメーカー指導管理<br>料)):(元号)yy年mm月   |             |                    |
| 83        | B001<br>の14                   | 高度難聴指導管理料<br>のイ                     | 人工内耳植込術を行った年月日を記載すること。   | 850100056  | 人工内耳植込術実施年月日(高度難聴指導管理料(術後3月以内)):(元<br>号)yy年mm月dd日  |             |                    |
| 84        | B001<br>の14                   | 高度難聴指導管理料<br>のロ                     | 前回算定年月日(初回である場合は初回である旨)を記載すること。  | 850100488  | 前回算定年月日(高度難聴指導管理料(その他の患者)):(元号)yy年<br>mm月dd日   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820190488  | 初回(高度難聴指導管理料(その他の患者))  |             |                    |
| 85        | B001<br>の14                   | 高度難聴指導管理料<br>の人工内耳機器調整<br>加算        | 前回算定年月日(初回である場合は初回である旨)を記載すること。  | 850190043  | 前回算定年月日(人工内耳機器調整加算):(元号)yy年mm月dd日  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820190043  | 初回(人工内耳機器調整加算)   |             |                    |
| 86        | B001<br>の15                   | 慢性維持透析患者外<br>来医学管理料                 | (慢性維持透析患者外来医学管理料に含まれる検査以外の検査を別に算定した場合)<br>その必要性を記載すること。  | 830100061  | 管理料に含まれる検査以外の検査を別に算定した必要性(慢性維持透析<br>患者外来医学管理料):*****                                       |             |                    |
|           |                               |                                     | (慢性維持透析患者外来医学管理料に含まれる検査であって特例として算定を認められた検査を別に算定した場<br>合)<br>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第1部第1節B001の15慢性維<br>持透析患者外来医学管理料の(10)のAからCまでに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。   | 820100066  | ア 出血性合併症患者の退院月翌月の2回目以後の末梢血液一般検<br>査  |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100067  | イ バルス療法施行時の2回目以後のカルシウム等の検査   |  |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100068  | ウ 副甲状腺切除を行った患者の2回目以後のカルシウム等の検査   |  |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100069  | エ シナカルセット塩酸塩投与患者の2回目以後のカルシウム等の検査   |  |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100070  | オ 透析アミロイド症の2回目以後のβ2-マイクログロブリン検査  |  |             |                    |
| 820100071 | カ デフェロキサミンシリン酸塩投与患者のアルミニウムの検査 |                                     |  |  |  |             |                    |
| 87        | B001<br>の16                   | 喘息治療管理料1の<br>重度喘息患者治療<br>管理料        | 当該加算に係る第1回目の治療管理を行った年月日を記載すること。  | 850100058  | 第1回目の治療管理を行った年月日(重度喘息患者治療管理加算):(元<br>号)yy年mm月dd日   |             |                    |
| 88        | B001<br>の17                   | 慢性疼痛疾患管理料                           | (当該患者に対し最初に当該管理料を算定した場合)<br>算定年月日を記載すること。  | 850100059  | 算定年月日(慢性疼痛疾患管理料):(元号)yy年mm月dd日   |             |                    |
| 89        | B001<br>の23                   | がん患者指導管理料<br>のロ                     | 当該患者に対して過去に当該指導管理料を算定した年月日を記載すること。   | 850100060  | 過去に算定した年月日(がん患者指導管理料ロ):(元号)yy年mm月<br>dd日   |             |                    |
| 90        | B001<br>の23                   | がん患者指導管理料<br>のハ                     | 当該患者に対して過去に当該指導管理料を算定した年月日を記載すること。   | 850100061  | 過去に算定した年月日(がん患者指導管理料ハ):(元号)yy年mm月<br>dd日   |             |                    |
| 91        | B001<br>の26                   | 補込型輸液ポンプ持<br>続注入療法指導管理<br>料の導入期加算   | 補込術を行った年月日を記載すること。   | 850100062  | 補込術の実施年月日(導入期加算(補込型輸液ポンプ持続注入療法指導<br>管理料)):(元号)yy年mm月dd日                                    |             |                    |
| 92        | B001<br>の27                   | 糖尿病透析予防指<br>導管理料                    | ヘモグロビンA1cの値又は内服薬やインスリン製剤を使用している旨を記載すること。   | 842100028  | ヘモグロビンA1c値(糖尿病透析予防指導管理料):*****   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820100054  | 内服薬やインスリン製剤使用(糖尿病透析予防指導管理料)  |             |                    |
| 93        | B001<br>の28                   | 小児運動器疾患指<br>導管理料                    | 前回算定年月(初回である場合は初回である旨)を記載すること。   | 850190002  | 前回算定年月(小児運動器疾患指導管理料):(元号)yy年mm月  |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 820190002  | 初回(小児運動器疾患指導管理料)   |             |                    |
| 94        | B001<br>の29                   | 乳腺炎重症化予防ケ<br>ア・指導料                  | 通算算定回数(当該月に実施されたものを含む。)を記載すること。  | 842100029  | 乳腺炎重症化予防ケア・指導料1の通算実施回数:*****   |             |                    |
|           |                               |                                     |  | 842100111  | 乳腺炎重症化予防ケア・指導料2の通算実施回数:*****   |             | ※                  |
| 95        | B001<br>の31                   | 腎代替療法指導管理<br>料                      | (腎代替療法指導管理料を2回算定する場合)<br>その医療上の必要性を詳細に記載すること。  | 830100065  | 2回算定する医療上の必要性(腎代替療法指導管理料):*****  |             |                    |
|           |                               |                                     | (「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第1部第1節B001の31腎代替<br>療法指導管理料の(2)のAに該当する場合)<br>直近の血液検査におけるeGFRの検査値について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項に<br>ついて」別添1第2章第1部第1節B001の31腎代替療法指導管理料の(6)の(イ)から(ハ)のうちいずれか該当するもの<br>を選択して記載すること。                                    | 820100075  | eGFRの検査値(腎代替療法指導管理料):(イ) 25mL/min/1.73<br>m <sup>2</sup> 以上 30mL/min/1.73m <sup>2</sup> 未満 |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100076  | eGFRの検査値(腎代替療法指導管理料):(ロ) 15mL/min/1.73<br>m <sup>2</sup> 以上 25mL/min/1.73m <sup>2</sup> 未満 |  |             |                    |
|           |                               |                                     | 820100077  | eGFRの検査値(腎代替療法指導管理料):(ハ) 15mL/min/1.73<br>m <sup>2</sup> 未満                                |  |             |                    |

| 項番  | 区分                | 診療行為<br>名称等       | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード   | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----|-------------------|-------------------|---|------------------------|--|-------------|--------------------|
|     |                   |                   | (「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第1部第1節B001の31腎代替療法指導管理料の(2)のイに該当する場合)<br>腎代替療法指導管理料の実施について適切な時期と判断とした理由を記載すること。 | 830100066              | 腎代替療法指導管理料の実施について適切な時期と判断とした理由:<br>*****   |             |                    |
| 96  | B001<br>の32       | 一般不妊治療管理料         | 前回算定年月(初回である場合は初回である旨)を記載すること。  | 850100402<br>820190049 | 前回算定年月(一般不妊治療管理料):(元号)yy"年"mm"月"<br>初回(一般不妊治療管理料)  |             |                    |
| 97  | B001<br>の33       | 生殖補助医療管理料         | 生殖補助医療の開始日における年齢(初回である場合は初回である旨)を記載すること。  | 830100478<br>820190061 | 生殖補助医療の開始日における年齢(生殖補助医療管理料);*****<br>初回(生殖補助医療管理料)   |             |                    |
|     |                   |                   | 治療計画の作成時点における胚移植術の実施回数の合計について確認した上で、当該時点における実施回数の合計及び確認した年月日を記載すること。  | 830100479<br>850100403 | 治療計画の作成時点における胚移植術の実施回数の合計(生殖補助医療管理料);*****<br>胚移植術の実施回数を確認した年月日(生殖補助医療管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |             |                    |
|     |                   |                   | 治療計画を作成し、又は見直した場合における当該患者及びそのパートナーに説明して同意を得た年月日を記載すること。   | 850100404              | 治療計画の同意を得た年月日(生殖補助医療管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"   |             |                    |
|     |                   |                   | (2回目以降の胚移植術に向けた治療計画を作成した場合)<br>当該患者及びそのパートナーに説明して同意を得た年月日を記載すること。   | 850100405              | 治療計画の同意を得た年月日(2回目以降)(生殖補助医療管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"  |             |                    |
| 98  | B001<br>の34<br>のハ | 二次性骨折予防継続管理料3     | 初回算定年月日を記載すること。   | 850100406              | 初回算定年月日(二次性骨折予防継続管理料3):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"   |             |                    |
| 99  | B001<br>の35       | アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料 | 初回算定年月日を記載すること。   | 850100407              | 初回算定年月日(アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"   |             |                    |
| 100 | B001<br>の36       | 下肢創傷処置管理料         | 下肢創傷処置を実施した年月日を記載すること。  | 850190198              | 下肢創傷処置実施年月日(下肢創傷処置管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"   |             |                    |
| 101 | B001<br>の37       | 慢性腎臓病透析予防指導管理料    | 初回算定年月日を記載すること。   | 850190210              | 初回算定年月日(慢性腎臓病透析予防指導管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"  |             | ※                  |

| 項番  | 区分        | 診療行為名称等             | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|-----------|---------------------|---|------------------|---|---------|------------|
| 102 | B001-2    | 小児科外来診療料            | (院外処方せんを交付している者に対し、夜間緊急の受診等やむを得ない場合において院内投薬を行った場合)その理由を記載すること。                                | 830100067        | 夜間緊急の受診等やむを得ない院内投与理由(小児科外来診療料);*****                          |         |            |
|     |           |                     | (他の保険医療機関において在宅療養指導管理料を算定しているため小児科外来診療料を算定しない場合)他の保険医療機関において在宅療養指導管理料を算定している旨記載すること。          | 820100578        | 小児科外来診療料非算定理由:他の保険医療機関で在宅療養指導管理料算定                            |         |            |
| 103 | B001-2-2  | 地域連携小児夜間・休日診療料      | (病態の度重なる変化等による複数回の受診のため2回以上算定する場合)その理由を詳細に記載すること。   | 830100068        | 2回以上算定する理由(地域連携小児夜間・休日診療料);*****                              |         |            |
| 104 | B001-2-4  | 地域連携夜間・休日診療料        | (病態の度重なる変化等による複数回の受診のため2回以上算定する場合)その理由を詳細に記載すること。   | 830100069        | 2回以上算定する理由(地域連携夜間・休日診療料);*****                                |         |            |
| 105 | B001-2-7  | 外来リハビリテーション診療料      | 算定日を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
| 106 | B001-2-8  | 外来放射線照射診療料          | 算定日を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
|     |           |                     | (所定点数の100分の50に相当する点数により算定する場合)算定日を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
|     |           |                     | (100分の50に相当する点数を算定したにもかかわらず、その後も治療を継続する場合)治療を継続する医学的理由を記載すること。                                | 830100070        | 治療を継続する医学的理由(外来放射線照射診療料);*****                                |         |            |
|     |           |                     | (外来放射線照射診療料を算定したにもかかわらず予定の期間よりも早期に外来放射線照射を終了する場合)早期に治療終了となった医学的理由を記載すること。                     | 830100071        | 早期に治療終了となった医学的理由(外来放射線照射診療料);*****                            |         |            |
| 107 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料          | (院外処方せんを交付している者に対し、夜間緊急の受診等やむを得ない場合において院内投薬を行った場合)その理由を記載すること。                                | 830100072        | 夜間緊急の受診等やむを得ない院内投与理由(小児かかりつけ診療料);*****                        |         |            |
| 108 | B001-3-2  | ニコチン依存症管理料          | 初回の当該管理料を算定した年月日を記載すること。  | 850100064        | 初回算定年月日(ニコチン依存症管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
| 109 | B001-7    | リンパ浮腫指導管理料(入院)      | 手術日(手術前に当該指導を実施した場合であって、診療報酬明細書を作成する時点で手術を実施していない場合には、手術予定日)(年月日)を記載すること。                     | 850100065        | 手術実施年月日(リンパ浮腫指導管理料(入院)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                    |         |            |
|     |           |                     |   | 850100066        | 手術予定年月日(リンパ浮腫指導管理料(入院)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                    |         |            |
| 110 | B001-7    | リンパ浮腫指導管理料(入院外)     | (退院後に再度算定する場合)退院日(年月日)及び実施した手術名を記載すること。   | 850100067        | 退院年月日(リンパ浮腫指導管理料(入院外)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                     |         |            |
|     |           |                     |   | 830100073        | 手術名(リンパ浮腫指導管理料(入院外));*****                                    |         |            |
|     |           |                     | (地域連携診療計画に基づいた治療を担う他の保険医療機関において算定する場合)入院中に当該指導管理料を算定した保険医療機関名及び実施した手術名を記載すること。                | 830100074        | 入院中にリンパ浮腫指導管理料(入院外)を算定した保険医療機関名(リンパ浮腫指導管理料(入院外));*****        |         |            |
|     |           |                     |   | 830100075        | 入院中に実施した手術名(リンパ浮腫指導管理料(入院外));*****                            |         |            |
| 111 | B001-9    | 療養・就労自立支援指導料        | 前回算定年月(初回である場合は初回である旨)を記載すること。  | 850190003        | 前回算定年月(療養・就労自立支援指導料):(元号)yy"年"mm"月"                           |         |            |
|     |           |                     |   | 820190003        | 初回(療養・就労自立支援指導料)  |         |            |
| 112 | B004      | 退院時共同指導料1の特別管理指導料加算 | 算定日を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
| 113 | B005      | 退院時共同指導料2           | 共同指導を行った年月日を記載すること。   | 850100071        | 共同指導を行った日(退院時共同指導料2):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                       |         |            |
|     |           |                     | (同一日に退院時共同指導料2と退院時リハビリテーション指導料又は退院時薬剤情報管理指導料を算定した場合)共同指導を行った者の職種及び年月日を記載すること。                 | 830100076        | 共同指導を行った者の職種;*****  |         |            |
|     |           |                     |   | 850100072        | 指導年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                      |         |            |
| 114 | B005-1-2  | 介護支援等連携指導料          | 算定年月日(当該入院中に既に算定している場合は併せて初回算定日)を記載すること。  | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
|     |           |                     |   | 850100073        | 初回算定年月日(介護支援等連携指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
| 115 | B005-1-3  | 介護保険リハビリテーション移行支援料  | 介護保険によるリハビリテーションを開始した年月日及び維持期のリハビリテーションを終了した年月日を記載すること。                                       | 850100074        | 介護保険によるリハビリテーションの開始年月日(介護保険リハビリテーション移行支援料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         |            |
|     |           |                     |   | 850100075        | 維持期リハビリテーションの終了年月日(介護保険リハビリテーション移行支援料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日     |         |            |
| 116 | B005-4    | ハイリスク妊産婦共同管理料(1)    | ハイリスク妊産婦又はハイリスク分娩に関する医学管理を行った年月日を記載すること。  | 850100076        | 医学管理を行った年月日(ハイリスク妊産婦共同管理料(1)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |         |            |
| 117 | B005-6の1  | がん治療連携計画策定料1        | 退院年月日を記載すること。   | 850100077        | 退院年月日(がん治療連携計画策定料1):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
| 118 | B005-7の2  | 認知症専門診断管理料2         | 前回算定年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。   | 850190004        | 前回算定年月日(認知症専門診断管理料2):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                       |         |            |
|     |           |                     |   | 820190004        | 初回(認知症専門診断管理料2)   |         |            |
| 119 | B005-7-2  | 認知症療養指導料1(入院)       | 認知症療養計画に基づく最初の治療を行った年月日を記載すること。   | 850100078        | 認知症療養計画に基づく初回治療年月日(認知症療養指導料1(入院)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日          |         |            |
| 120 | B005-7-2  | 認知症療養指導料1(入院外)      | 治療を行った年月日を記載すること。   | 850100079        | 治療年月日(認知症療養指導料1(入院外)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                      |         |            |
| 121 | B005-7-2  | 認知症療養指導料2           | 治療を行った年月日を記載すること。   | 850100080        | 治療開始年月日(認知症療養指導料2):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
| 122 | B005-7-2  | 認知症療養指導料3           | 治療を行った年月日を記載すること。   | 850100081        | 治療開始年月日(認知症療養指導料3):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
| 123 | B005-7-3  | 認知症サポート指導料          | 前回算定年月(初回である場合は初回である旨)を記載すること。  | 850190005        | 前回算定年月(認知症サポート指導料):(元号)yy"年"mm"月"                             |         |            |
|     |           |                     |   | 820190005        | 初回(認知症サポート指導料)  |         |            |
| 124 | B005-9    | 外来排尿自立指導料           | A251排尿自立支援加算の初回算定日並びにA251排尿自立支援加算の初回算定日からのA251排尿自立支援加算及び当該指導料の通算算定回数(当該月に実施されたものを含む。)を記載すること。 | 850100082        | 排尿自立支援加算の初回算定年月日(外来排尿自立指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                |         |            |
|     |           |                     |   | 842100030        | 排尿自立支援加算及び外来排尿自立指導料の通算算定回数(外来排尿自立指導料);*****                   |         |            |
| 125 | B005-10   | ハイリスク妊産婦連携指導料1      | 診療情報が文書により提供された妊婦又は出産日(年月日)を記載すること。   | 820100844        | 診療情報が文書により提供された妊婦(ハイリスク妊産婦連携指導料1)                             |         |            |
|     |           |                     |   | 850100409        | 出産日(ハイリスク妊産婦連携指導料1):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
| 126 | B005-10-2 | ハイリスク妊産婦連携指導料2      | 当該保険医療機関で精神療法が実施されている又は精神疾患が疑われるものとして産科若しくは産婦人科を担当する医師から紹介された妊婦又は出産日(年月日)を記載すること。             | 820100845        | 産科若しくは産婦人科を担当する医師から紹介された妊婦(ハイリスク妊産婦連携指導料2)                    |         |            |
|     |           |                     |   | 850100410        | 出産日(ハイリスク妊産婦連携指導料2):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |

| 項番        | 区分                      | 診療行為名称等                   | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|-------------------------|---------------------------|---|------------------|--|---------|------------|
| 127       | B005-11の1               | 遠隔連携診療料1 診断を目的とする場合       | (2回以上算定する場合)<br>「未確」と表示し、前回算定年月日を記載すること。  | 850100411        | 前回算定年月日(遠隔連携診療料1 診断を目的とする場合):(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |         |            |
|           |                         |                           |   | 820100846        | 未確(遠隔連携診療料1 診断を目的とする場合)                                      |         |            |
| 128       | B005-12                 | ここの連携指導料(1)               | 初回算定年月日を記載すること。   | 850100413        | 初回算定年月日(ここの連携指導料(1)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                      |         |            |
| 129       | B005-13                 | ここの連携指導料(2)               | 初回算定年月日を記載すること。   | 850100414        | 初回算定年月日(ここの連携指導料(2)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                      |         |            |
| 130       | B005-14                 | プログラム医療機器等指導管理料           | プログラム医療機器等指導管理料を算定する際に用いる特定保険医療材料について記載すること。<br><br>(地域の医療機関と連携する、関係学会が認定した高血圧症診療に係る専門施設である医療機関において高血圧治療補助アプリを用いる場合(例えば、地域のかかりつけ医療機能を保つ医療機関からの紹介で治療する場合や心筋梗塞等の救急治療で入院後に当該医療機関において一定期間外来でフォローする場合))<br>当該医療機関でアプリを活用して治療を行う具体的な理由について記載するとともに、地域のかかりつけ医療機能を保つ医療機関での治療が可能かどうか検討を行い、その検討結果について記載すること。  | 820101164        | ニコチン依存症治療補助アプリ(プログラム医療機器等指導管理料)                              |         | ※          |
|           |                         |                           |   | 820101165        | 高血圧治療補助アプリ(プログラム医療機器等指導管理料)                                  |         | ※          |
|           |                         |                           |   | 830100812        | 当該保険医療機関においてアプリを活用して治療を行う理由(プログラム医療機器等指導管理料);*****           |         | ※          |
|           |                         |                           |   | 830100813        | 地域のかかりつけ医療機能を保つ保険医療機関での治療が可能かどうかの検討結果(プログラム医療機器等指導管理料);***** |         | ※          |
| 131       | B007                    | 退院前訪問指導料                  | (2回算定した場合)<br>各々の訪問指導年月日を記載すること。  | 850100084        | 訪問指導年月日(退院前訪問指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
| 132       | B007-2                  | 退院後訪問指導料                  | 退院日(年月日)を記載すること。  | 850100085        | 退院年月日(退院後訪問指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                           |         |            |
| 133       | B008の1                  | 薬剤管理指導料1                  | 算定日及び薬剤名を記載すること。  | 算定日情報            | (算定日)  |         | ○          |
|           |                         |                           |   | 830100078        | 薬剤名(薬剤管理指導料1);*****  |         |            |
| 134       | B008の2                  | 薬剤管理指導料2                  | 算定日を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)  |         | ○          |
| 135       | B008-2                  | 薬剤総合評価調整管理料               | (当該保険医療機関及び他の保険医療機関で処方された内服薬を合計した種類数から2種類以上減少した場合)<br>当該他の保険医療機関名及び各保険医療機関における調整前後の薬剤の種類数を記載すること。   | 830100079        | 他の保険医療機関名(薬剤総合評価調整管理料);*****                                 |         |            |
|           |                         |                           |   | 842100031        | 当該保険医療機関における調整前の内服薬の種類数(薬剤総合評価調整管理料);*****                   |         |            |
|           |                         |                           |   | 842100032        | 他の保険医療機関における調整前の内服薬の種類数(薬剤総合評価調整管理料);*****                   |         |            |
|           |                         |                           |   | 842100033        | 当該保険医療機関における調整後の内服薬の種類数(薬剤総合評価調整管理料);*****                   |         |            |
|           |                         |                           |   | 842100034        | 他の保険医療機関における調整後の内服薬の種類数(薬剤総合評価調整管理料);*****                   |         |            |
| 136       | B009                    | 診療情報提供料(Ⅰ)                | 算定日を記載すること。<br>(保険医療機関以外の機関へ診療情報を提供した場合)<br>情報提供先を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)  |         | ○          |
| 830100080 | 情報提供先(診療情報提供料(Ⅰ));***** |                           |   |                  |  |         |            |
| 137       | B009                    | 診療情報提供料(Ⅰ)の注8に規定する加算      | 退院年月日を記載すること。   | 850100087        | 退院年月日(注8加算(診療情報提供料(Ⅰ))):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
| 138       | B009                    | 診療情報提供料(Ⅰ)の検査・画像情報提供加算のイ  | 退院年月日を記載すること。   | 850100088        | 退院年月日(検査・画像情報提供加算イ(診療情報提供料(Ⅰ))):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
| 139       | B009                    | 診療情報提供料(Ⅰ)の療養情報提供加算       | 療養に係る情報を得た訪問看護ステーション名を記載すること。   | 830100081        | 訪問看護ステーション名(療養情報提供加算(診療情報提供料(Ⅰ))):*****                      |         |            |
| 140       | B010                    | 診療情報提供料(Ⅱ)                | 算定日を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)  |         | ○          |
| 141       | B010-2                  | 診療情報連携共有料                 | 連携先の保険医療機関名を記載すること。   | 830100082        | 連携先保険医療機関名(診療情報連携共有料);*****                                  |         |            |
| 142       | B011                    | 連携強化診療情報提供料               | (妊婦である場合)<br>当該患者が妊婦している者である旨記載すること。  | 820100579        | 妊娠中(連携強化診療情報提供料)   |         |            |
|           |                         |                           | (産科若しくは産婦人科を標榜する保険医療機関等との保険医療機関が連携した場合)<br>前回算定年月(初回である場合は初回である旨)を記載すること。   | 850100415        | 前回算定年月(連携強化診療情報提供料):(元号)yy"年"mm"月"                           |         |            |
| 820190050 | 初回(連携強化診療情報提供料)         |                           |   |                  |  |         |            |
| 143       | B011注5                  | 連携強化診療情報提供料               | (注5に規定する注1から注4までのいずれにも該当しない場合(頻回の情報提供の必要性を認め、当該患者を紹介した他の保険医療機関に情報提供を行った場合を除く。))<br>前回算定年月(初回である場合は初回である旨)を記載すること。   | 850190199        | 前回算定年月(注5(頻回の情報提供を行う場合以外)):(元号)yy"年"mm"月"                    |         |            |
|           |                         |                           |   | 820190062        | 初回(注5(頻回の情報提供を行う場合以外))                                       |         |            |
| 144       | B012                    | 傷病手当金意見書交付料               | 交付年月日を記載すること。<br><br>(当該月前に受療した傷病について傷病手当金意見書の交付のみの求めがあった場合)<br>当該意見書の対象となった傷病名及びその傷病についての診療を開始した日を「傷病名」欄及び「診療開始日」欄にそれぞれ記載すること。<br><br>(遺族等に対して意見書を交付した場合で遺族等が他に療養の給付を受けていない場合)<br>当該遺族等の診療報酬明細書に相続と表示し、意見書の対象となった傷病名を「傷病名」欄に記載すること。<br><br>(遺族等に対して意見書を交付した場合で遺族等が他に療養の給付を受けている場合)<br>当該遺族等の診療報酬明細書に相続と表示し、遺族等自身の傷病名と意見書の対象となった傷病名の両方を「傷病名」欄に記載すること。 | 850100089        | 交付年月日(傷病手当金意見書交付料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|           |                         |                           |   | 傷病名コード           | (傷病名を表示する。)  |         | ○          |
|           |                         |                           |   | 修飾語コード           | (修飾語を表示する。)  |         | ○          |
|           |                         |                           |   | 傷病名コード           | (傷病名を表示する。)  |         | ○          |
|           |                         |                           |   | 修飾語コード           | (修飾語を表示する。)  |         | ○          |
| 180000850 | 感染症法申請診断書交付料            |                           | ○   |                  |  |         |            |
| 180000950 | 感染症法申請手続代行料             |                           | ○   |                  |  |         |            |
| 180001030 | 感染症法申請診断書交付・申請手続代行料     |                           | ○   |                  |  |         |            |
| 145       | B012                    | 感染症法による公費負担申請に係る診断書料及び協力料 | 感染症法による公費負担申請に係る診断書料及び協力料を算定した旨を記載すること。   | 850100090        | 交付年月日(療養費同意書交付料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          |         |            |
|           |                         |                           |   | 830100083        | 同意書又は診断書に記載した病名(療養費同意書交付料);*****                             |         |            |
| 146       | B013                    | 療養費同意書交付料                 | 交付年月日及び同意書又は診断書の病名欄に記載した病名を記載すること。  | 850100090        | 交付年月日(療養費同意書交付料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          |         |            |
| 147       | B014                    | 退院時薬剤情報管理指導料              | 退院年月日を記載すること。   | 850100091        | 退院年月日(退院時薬剤情報管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                       |         |            |



| 項番        | 区分  | 診療行為<br>名称等        | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|---|--------------------|---|----------------------|--|-------------|--------------------|
| 148       | B015  | 精神科退院時共同指<br>導料1のイ | 対象となる患者の状態について記載すること。   | 820100581            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のイ):措置入院にかかる患者                           |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100582            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のイ):緊急措置入院にかかる患者                         |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100583            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のイ):医療観察法による入院又は通院をしたことがある患者             |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100584            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のイ):入院の期間が1年以上の患者                        |             |                    |
| 149       | B015  | 精神科退院時共同指<br>導料1のロ | 対象となる患者の状態について記載すること。   | 820100585            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):6ヶ月間継続して社会的役割を遂行することに重大な問題がある。       |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100586            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):自分1人で地域生活に必要な課題を遂行することに重大な問題がある      |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100587            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):家族以外への暴力行為、器物破損、迷惑行為、近隣とのトラブル等がある。   |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100588            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):行方不明、住居を失う、立ち退きを迫られる、ホームレスになったことがある。 |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100589            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):自傷や自殺を企てたことがある。                      |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100590            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):家族への暴力、暴言、拒絶がある。                     |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100591            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):警察・保健所介入歴がある。                        |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100592            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):定期的な服薬ができていなかったことが2か月以上あった。          |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100593            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):外来受診をしないことが2か月以上あった。                 |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100594            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):自分の病気についての知識や理解に乏しい、治療の必要性を理解していない。  |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100595            | 精神科退院時共同指導料1のロの対象患者:直近の入院は措置入院である。                           |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100596            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):日常必需品の購入、光熱費/医療費等の支払いに関して、経済的な問題がある。 |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100597            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):家賃の支払いに経済的な問題を抱えている。                 |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100598            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):支援をする家族がいない。                         |             |                    |
| 820100599 | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料1のロ):同居家族が支援を要する困難な問題を抱えている。 |                    |   |                      |  |             |                    |
| 150       | B015  | 精神科退院時共同指<br>導料2   | 対象となる患者の状態について記載すること。   | 820100600            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):措置入院にかかる患者                             |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100601            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):緊急措置入院にかかる患者                           |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100602            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):医療観察法による入院又は通院をしたことがある患者               |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100603            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):入院の期間が1年以上の患者                          |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100604            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):6ヶ月間継続して社会的役割を遂行することに重大な問題がある。         |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100605            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):自分1人で地域生活に必要な課題を遂行することに重大な問題がある        |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100606            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):家族以外への暴力行為、器物破損、迷惑行為、近隣とのトラブル等がある。     |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100607            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):行方不明、住居を失う、立ち退きを迫られる、ホームレスになったことがある。   |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100608            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):自傷や自殺を企てたことがある。                        |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100609            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):家族への暴力、暴言、拒絶がある。                       |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100610            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):警察・保健所介入歴がある。                          |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100611            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):定期的な服薬ができていなかったことが2か月以上あった。            |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100612            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):外来受診をしないことが2か月以上あった。                   |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100613            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):自分の病気についての知識や理解に乏しい、治療の必要性を理解していない。    |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100614            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):直近の入院は措置入院である。                         |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100615            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):日常必需品の購入、光熱費/医療費等の支払いに関して、経済的な問題がある。   |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100616            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):家賃の支払いに経済的な問題を抱えている。                   |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100617            | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):支援をする家族がいない。                           |             |                    |
| 820100618 | 対象患者の状態(精神科退院時共同指導料2):同居家族が支援を要する困難な問題を抱えている。   |                    |   |                      |  |             |                    |
| 151       | C   | 在宅患者診療・指導<br>料     | (在宅療養支援診療所と連携する保険医療機関が、在宅療養支援診療所の保険医の指示により往診又は訪問看護を行った場合)<br>「支援」と記載し、当該指示のあった在宅療養支援診療所の名称を記載すること。  | 830100085            | 指示のあった在宅療養支援診療所名:*****                                       |             |                    |
| 152       | C   | 乳幼児呼吸管理材料<br>加算    | (1月に3回分又は2回分の算定を行う場合)<br>当月分に加え、翌々月分、翌月分、前月分、前々月分のいずれを算定したのか又は当月分に加え、翌月分、前月分のいずれを算定したのかを選択して記載すること。 | 820100619            | 当月以外の算定月(乳幼児呼吸管理材料加算):当月分                                    |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100620            | 当月以外の算定月(乳幼児呼吸管理材料加算):翌月分                                    |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100621            | 当月以外の算定月(乳幼児呼吸管理材料加算):翌々月分                                   |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100622            | 当月以外の算定月(乳幼児呼吸管理材料加算):前月分                                    |             |                    |
|           |   |                    |   | 820100623            | 当月以外の算定月(乳幼児呼吸管理材料加算):前々月分                                   |             |                    |

| 項番        | 区分                | 診療行為<br>名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                      | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|-------------------|--|--|----------------------|---|-------------|--------------------|
| 153       | C000              | 往診料等   | (往診を行う保険医療機関と連携体制を構築している他の保険医療機関において、過去60日以内に在宅患者訪問診療料(Ⅰ)、在宅患者訪問診療料(Ⅱ)又は在宅がん医療総合診療料を算定している患者に往診料を算定した場合)<br>当該他の保険医療機関の名称を記載すること。  | 830100814            | 訪問診療を行っている保険医療機関名:*****                               |             | ※                  |
|           |                   |  | (往診を行う保険医療機関と平時からの連携体制を構築している介護老人保健施設、介護医療院及び特別養護老人ホームに入所する患者に往診料を算定した場合)<br>当該介護老人保健施設、介護医療院及び特別養護老人ホームの名称を記載すること。  | 830100815            | 入所する介護保険施設等の名称:*****                                  |             | ※                  |
|           |                   |  | (在宅患者訪問診療料(Ⅰ)又は(Ⅱ)を算定した日と同一日に往診料を算定した場合)<br>患者の病状の急変等往診が必要となった理由を記載すること。   | 830100086            | 患者の病状の急変等往診が必要となった理由:*****                            |             |                    |
| 154       | C000              | 往診料<br>特別往診料   | 往診地域、海路距離、往、復、往復の波浪の別、滞在時間を記載すること。   | 830100087            | 往診地域、海路距離、往、復、往復の波浪の別及び滞在時間(特別往診料):*****              |             |                    |
| 155       | C000              | 往診料の患者診療時間<br>加算   | 診療時間を記載すること。   | 114000970            | 患者診療時間加算(往診料)   | ○           |                    |
|           |                   |  |  | 114002470            | 患者診療時間加算(特別往診)  | ○           |                    |
| 156       | C000              | 往診料<br>在宅ターミナルケア加<br>算   | 死亡年月日を記載すること。  | 850100098            | 死亡年月日(在宅ターミナルケア加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                |             | ※                  |
| 157       | C001              | 在宅患者訪問診療料<br>(Ⅰ)   | <p>(「Ⅰ」の在宅患者訪問診療料1を算定する場合で、患者の急性増悪等により一時的に週4回以上の頻回な在宅患者訪問診療を行った場合)<br/>その必要性、必要を認めた診療年月日及び当該訪問診療を行った年月日を記載すること。</p> <p>(「Ⅱ」の在宅患者訪問診療料2を算定する場合)<br/>他の保険医療機関からの求めがあった年月を記載すること。</p> <p>(「Ⅱ」の在宅患者訪問診療料2について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第2部C001在宅患者訪問診療料(Ⅰ)の(7)のただし書きに該当する場合)<br/>他の保険医療機関からの求めがあった診療内容について、(7)のア又はイのうち、該当するものを記載すること。また、6月を超えて訪問診療を行った場合は、継続的な訪問診療の必要性を記載すること。</p> | 830100088            | 頻回な在宅患者訪問診療を行った必要性(在宅患者訪問診療料(Ⅰ)):<br>*****            |             |                    |
|           |                   |  |  | 850100094            | 必要性を認めた診療年月日(在宅患者訪問診療料(Ⅰ)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"        |             |                    |
|           |                   |  |  | 850100095            | 訪問診療年月日(在宅患者訪問診療料(Ⅰ)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"             |             |                    |
|           |                   |  |  | 850100096            | 他医療機関から依頼があった年月(在宅患者訪問診療料(Ⅰ)):(元号)yy"年"mm"月"          |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100072            | ア その診療料の医師でなければ困難な診療                                  |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100073            | イ 既に診療した傷病等とは明らかに異なる傷病に対する診療                          |             |                    |
|           |                   |  |  | 830100089            | 継続的な訪問診療の必要性(在宅患者訪問診療料2):*****                        |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100074            | 末期の悪性腫瘍   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100075            | 多発性硬化症  |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100076            | 重症筋無力症  |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100077            | スモン   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100078            | 筋萎縮性側索硬化症   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100079            | 脊髄小脳変性症   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100080            | ハンチントン病   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100081            | 進行性筋ジストロフィー症  |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100082            | パーキンソン病関連疾患(留意事項通知に規定するもの)                            |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100083            | 多系統萎縮症(留意事項通知に規定するもの)                                 |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100084            | プリオン病   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100085            | 亜急性硬化性全脳炎   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100086            | ライゾソーム病   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100087            | 副腎白質ジストロフィー   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100088            | 脊髄性筋萎縮症   |             |                    |
|           |                   |  |  | 820100089            | 球脊髄性筋萎縮症  |             |                    |
| 820100090 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎     |  |  |                      |   |             |                    |
| 820100091 | 後天性免疫不全症候群        |  |  |                      |   |             |                    |
| 820100092 | 頭脳損傷の患者           |  |  |                      |   |             |                    |
| 820100093 | 人工呼吸器を使用している状態の患者 |  |  |                      |   |             |                    |
| 158       | C001              | 在宅患者訪問診療料<br>(Ⅰ)の患者診療時間<br>加算                                      | 診療時間を記載すること。   | 114001470            | 患者診療時間加算(在宅患者訪問診療料(Ⅰ)・(Ⅱ))                            | ○           |                    |
| 159       | C001              | 在宅患者訪問診療料<br>(Ⅰ)(「Ⅰ」に限る。)の<br>在宅ターミナルケア加<br>算                      | 死亡年月日を記載すること。  | 850100098            | 死亡年月日(在宅ターミナルケア加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                |             |                    |
|           |                   |  | (当該患者が在宅以外で死亡した場合)<br>死亡前24時間以内に行った訪問診療の年月日及び時刻を記載すること。  | 850100100            | 死亡前24時間以内に行った訪問診療年月日(在宅ターミナルケア加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |             |                    |
|           |                   |  |  | 851100038            | 死亡前24時間以内に行った訪問診療時刻(在宅ターミナルケア加算)                      |             |                    |
| 160       | C001              | 在宅患者訪問診療料<br>(Ⅰ)(「Ⅰ」に限る。)の<br>死亡診断加算                               | (「情報通信機器(ICT)を利用した死亡診断等ガイドライン(平成29年9月厚生労働省)」に基づき、ICTを利用した看護師との連携による死亡診断を行い、死亡診断加算のみを算定する場合)<br>ICTを利用した看護師との連携による死亡診断を行った旨を記載すること。   | 820100624            | ICTを利用した看護師との連携による死亡診断                                |             |                    |
| 161       | C001              | 在宅患者訪問診療料<br>(Ⅰ)<br>注9の規定により算定<br>する場合(患者との距離<br>が16kmを超えた場合<br>等) | 訪問地域(距離)、海路距離、往、復、往復の波浪の別、滞在時間を記載すること。   | 830100090            | 訪問地域、海路距離、往、復、往復の波浪の別及び滞在時間(在宅患者訪問診療料(Ⅰ)):<br>*****   |             |                    |
| 162       | C001-<br>2        | 在宅患者訪問診療料<br>(Ⅱ)   | (注1のイの場合で、患者の急性増悪等により一時的に週4回以上の頻回な在宅患者訪問診療を行った場合)<br>その必要性、必要を認めた診療年月日及び当該訪問診療を行った年月日を記載すること。  | 830100091            | 頻回な在宅患者訪問診療を行った必要性(在宅患者訪問診療料(Ⅱ)):<br>*****            |             |                    |
|           |                   |  |  | 850100102            | 必要性を認めた診療年月日(在宅患者訪問診療料(Ⅱ)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"        |             |                    |
|           |                   |  |  | 850100103            | 訪問診療年月日(在宅患者訪問診療料(Ⅱ)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"             |             |                    |
| 163       | C001-<br>2        | 在宅患者訪問診療料<br>(Ⅱ)の患者診療時間<br>加算                                      | 診療時間を記載すること。   | 114001470            | 患者診療時間加算(在宅患者訪問診療料(Ⅰ)・(Ⅱ))                            | ○           |                    |

| 項番  | 区分               | 診療行為名称等   | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|------------------|---|--|------------------|--|---------|------------|
| 164 | C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)(注1のイの場合に限る。)在宅ターミナルケア加算                        | 死亡年月日を記載すること。  | 850100098        | 死亡年月日(在宅ターミナルケア加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日                       |         |            |
|     |                  |   | (当該患者が有料老人ホーム等以外で死亡した場合)<br>死亡前24時間以内に行った訪問診療の年月日及び時刻を記載すること。  | 850100100        | 死亡前24時間以内に行った訪問診療年月日(在宅ターミナルケア加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日        |         |            |
|     |                  |   |  | 851100038        | 死亡前24時間以内に行った訪問診療時刻(在宅ターミナルケア加算)                           |         |            |
| 165 | C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅱ)(注1のイの場合に限る。)の死亡診断加算                            | (「情報通信機器(ICT)を利用した死亡診断等ガイドライン(平成29年9月厚生労働省)」に基づき、ICTを利用した看護師との連携による死亡診断を行い、死亡診断加算のみを算定する場合)ICTを利用した看護師との連携による死亡診断を行った旨を記載すること。   | 820100624        | ICTを利用した看護師との連携による死亡診断                                     |         |            |
| 166 | C002<br>C002-2   | 在宅時医学総合管理料<br>施設入居時等医学総合管理料                                 | 当該月において往診又は訪問診療を行った年月日を記載すること。   | 850100106        | 往診又は訪問診療年月日(在医総管):(元号)yy年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|     |                  |   |  | 850100107        | 往診又は訪問診療年月日(施設総管):(元号)yy年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|     |                  |   | 当該月において情報通信機器を用いた診療を行った年月日を記載すること。   | 850100492        | 情報通信機器を用いた診療年月日(在医総管):(元号)yy年"mm"月"dd"日                    |         |            |
|     |                  |   |  | 850100493        | 情報通信機器を用いた診療年月日(施設総管):(元号)yy年"mm"月"dd"日                    |         |            |
|     |                  |   | (単一建物診療患者が2人以上の場合)その人数を記載すること。   | 842100035        | 単一建物診療患者数(在医総管):*****                                      |         |            |
|     |                  |   |  | 842100036        | 単一建物診療患者数(施設総管):*****                                      |         |            |
|     |                  |   | (在宅患者訪問診療料(Ⅰ)の「同一建物居住者以外の場合」を算定する場合であって、同居する同一世帯の複数の患者に対して診療をした場合など、同一の患者において2人以上の患者を診療した場合に、2人目以降の患者について、A000初診料又はA001再診料又はA002外来診療料及び第2章特種診療料のみを算定した場合において、2人目の患者の診療に要した時間が1時間を超えた場合)その旨を記載すること。   | 820100847        | 2人目患者診療時間が1時間超   |         |            |
|     |                  |   | (在宅時医学総合管理料について、当該建築物において当該保険医療機関が在宅医学管理を行う患者数が、当該建築物の戸数の10%以下の場合又は当該建築物の戸数が20戸未満で在宅医学管理を行う患者が2人以下の場合、また、ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所のそれぞれユニットにおいて施設入居時等医学総合管理料を算定する人数を単一建物診療患者の人数とみなす場合)「ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所」、「在宅医学管理を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下」、「当該建築物の戸数が20戸未満で在宅医学管理を行う患者が2人以下」の中から、該当するものを選択して記載すること。 | 820100094        | ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所                                  |         |            |
|     | 820100095        | 在宅医学管理を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下                                 |  |                  |  |         |            |
|     | 820100096        | 当該建築物の戸数が20戸未満で在宅医学管理を行う患者が2人以下                             |  |                  |  |         |            |
| 167 | C002<br>C002-2   | 在宅時医学総合管理料<br>施設入居時等医学総合管理料の在宅移行早期加算                        | 初回の当該管理料を算定した年月日を記載すること。   | 850100108        | 初回算定年月日(在宅移行早期加算(在医総管)):(元号)yy年"mm"月"dd"日                  |         |            |
|     |                  |   |  | 850100109        | 初回算定年月日(在宅移行早期加算(施設総管)):(元号)yy年"mm"月"dd"日                  |         |            |
| 168 | C002<br>C002-2   | 在宅時医学総合管理料<br>施設入居時等医学総合管理料の包括的支援加算                         |  | 820100625        | 該当する状態(包括的支援加算):1-1 要介護2                                   |         |            |
|     |                  |   |  | 820100626        | 該当する状態(包括的支援加算):1-2 要介護3                                   |         |            |
|     |                  |   |  | 820100627        | 該当する状態(包括的支援加算):1-3 要介護4                                   |         |            |
|     |                  |   |  | 820100628        | 該当する状態(包括的支援加算):1-4 要介護5                                   |         |            |
|     |                  |   |  | 820100629        | 該当する状態(包括的支援加算):1-5 障害支援区分2以上                              |         |            |
|     |                  |   |  | 820100630        | 該当する状態(包括的支援加算):2-1 ランク2b                                  |         |            |
|     |                  |   |  | 820100631        | 該当する状態(包括的支援加算):2-2 ランク3a                                  |         |            |
|     |                  |   |  | 820100632        | 該当する状態(包括的支援加算):2-3 ランク3b                                  |         |            |
|     |                  |   |  | 820100633        | 該当する状態(包括的支援加算):2-4 ランク4                                   |         |            |
|     |                  |   |  | 820100634        | 該当する状態(包括的支援加算):2-5 ランクM                                   |         |            |
|     |                  |   |  | 820100635        | 該当する状態(包括的支援加算):3 頻回の訪問看護を受けている状態                          |         |            |
|     |                  |   |  | 820100636        | 該当する状態(包括的支援加算):4 訪問診療又は訪問看護において処置を受けている状態                 |         |            |
|     |                  |   |  | 820100637        | 該当する状態(包括的支援加算):5 施設に入居し、看護職員による処置を受けている状態                 |         |            |
|     | 820100638        | 該当する状態(包括的支援加算):6-1 脳性麻痺等、小児慢性特定疾病、障害児に該当する15歳未満の患者         |  |                  |  |         |            |
|     | 820100639        | 該当する状態(包括的支援加算):6-2 出生時体重が1,500g未満であった1歳未満の患者               |  |                  |  |         |            |
|     | 820100640        | 該当する状態(包括的支援加算):6-3 「超重症児(者)・準超重症児(者)」の判定スコアが10以上である患者      |  |                  |  |         |            |
|     | 820100641        | 該当する状態(包括的支援加算):6-4 家族等患者の看護に当たる者が注射又は喀痰吸引、経管栄養等の処置を行っている患者 |  |                  |  |         |            |
| 169 | C003             | 在宅がん医療総合診療料   | 在宅がん医療総合診療料を算定した週において、訪問診療、訪問看護を行った年月日を記載すること。<br>連携医療機関又は訪問看護ステーションが行った訪問看護についても同様であること。  | 850100111        | 訪問診療年月日(在宅がん医療総合診療料):(元号)yy年"mm"月"dd"日                     |         |            |
|     |                  |   |  | 850100112        | 訪問看護年月日(在宅がん医療総合診療料):(元号)yy年"mm"月"dd"日                     |         |            |
| 170 | C004             | 救急搬送診療料の長時間加算   | 診療に要した時間を記載すること。   | 852100004        | 診療に要した時間(長時間加算(救急搬送診療料))                                   |         |            |
| 171 | C004-2           | 救急患者連携搬送料   | 搬送先の保険医療機関名について記載すること。   | 830100816        | 搬送先の保険医療機関名(救急患者連携搬送料):*****                               |         | ※          |
| 172 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料                                | (在宅療養支援診療所と連携する保険医療機関等が、在宅療養支援診療所の保険医の指示により訪問看護を行った場合)支援と記載し、当該指示のあった在宅療養支援診療所の名称を記載すること。  | 830100092        | 支援 訪問看護の指示を行った在宅療養支援診療所名(在宅患者訪問看護・指導料):*****               |         |            |
|     |                  |   |  | 830100093        | 訪問看護の指示を行った在宅療養支援診療所名(同一建物居住者訪問看護・指導料):*****               |         |            |
|     |                  |   | (月の初日が週の途中にある場合)<br>前月の最終の週における訪問回数を記載すること。  | 842100037        | 前月最終週の訪問回数(在宅患者訪問看護・指導料):*****                             |         |            |
|     |                  |   |  | 842100038        | 前月最終週の訪問回数(同一建物居住者訪問看護・指導料):*****                          |         |            |
|     |                  |   | (保健師、助産師、看護師又は准看護師のそれぞれが別に当該月に在宅患者訪問看護・指導を行った場合)それぞれの回数を記載すること。  | 842100039        | 指導回数(在宅患者訪問看護・指導料):*****                                   |         |            |
|     | 842100040        | 指導回数(同一建物居住者訪問看護・指導料):*****                                 |  |                  |  |         |            |
| 173 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料の難病等複数回訪問加算                     | 頻回な在宅患者訪問看護・指導を行う必要を認めた診療年月日、訪問看護・指導を行った年月日及びその必要を認めた理由を記載すること。  | 850100113        | 頻回な在宅患者訪問看護・指導を行う必要を認めた診療年月日(難病等複数回訪問加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日 |         |            |
|     |                  |   |  | 850100114        | 訪問看護・指導を行った年月日(難病等複数回訪問加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日               |         |            |
|     |                  |   |  | 830100094        | 頻回な訪問看護・指導の必要を認めた理由(難病等複数回訪問加算):*****                      |         |            |
| 174 | C005<br>C005-1   | 在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料                                | 情報共有を行った年月日及び共有された情報を除き必要事項が指導を行った年月日を記載すること。  | 850100117        | 情報共有年月日(在宅患者連携指導加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日                      |         |            |

| 項番  | 区分                  | 診療行為<br>名称等  | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード                             | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセの<br>み記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----|---------------------|--|---|--|--|-------------|--------------------|
|     | C005<br>I-2         | 料の在宅患者連携指<br>導料・同一建物居<br>住者連携指導加算  |   | 850100118  | 指導年月日(在宅患者連携指導加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日  |             |                    |
| 175 | C005<br>C005<br>I-2 | 在宅患者訪問看護・<br>指導料・同一建物居<br>住者訪問看護・指導<br>料の在宅患者緊急時<br>等カンファレンス加算<br>同一建物居住者緊急<br>時等カンファレンス加<br>算 | カンファレンスを実施した年月日及びカンファレンスの参加者と共同で療養上必要な指導を行った年月日を記載すること。   | 850100119<br>850100120                           | カンファレンス実施年月日(緊急時等カンファレンス加算):(元号)yy年<br>"mm"月"dd"日<br>共同指導年月日(緊急時等カンファレンス加算):(元号)yy年"mm"月<br>"dd"日                                |             |                    |
| 176 | C005<br>C005<br>I-2 | 在宅患者訪問看護・<br>指導料・同一建物居<br>住者訪問看護・指導<br>料の在宅ターミナルケ<br>ア加算・同一建物居住<br>者ターミナルケア加算                  | 訪問看護を実施した年月日及び時刻、患者が死亡した場所として在宅又は在宅以外のうち該当するもの及び日時(年月日及び時刻)を記載すること。   | 820100097<br>820100098<br>850100098<br>851100001 | 在宅で死亡<br>在宅以外で死亡<br>死亡年月日(在宅ターミナルケア加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日<br>患者死亡時刻(在宅ターミナルケア加算)  |             |                    |
| 177 | C005<br>C005<br>I-2 | 在宅患者訪問看護・<br>指導料・同一建物居<br>住者訪問看護・指導<br>料の在宅移行管理加<br>算又は在宅移行管理<br>重症者加算                         | 使用している医療機器等の名称(当該診療報酬明細書において医療機器の使用等が明らかである場合を除く。)を記載すること。  | 特定器材コード  | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 178 | C005<br>C005<br>I-2 | 在宅患者訪問看護・<br>指導料・同一建物居<br>住者訪問看護・指導<br>料の夜間・早朝訪問<br>看護加算又は深夜訪<br>問看護加算                         | 訪問看護を実施した日時(年月日及び時刻)を記載すること。  | 850100121<br>850100122<br>851100002<br>851100003 | 訪問看護年月日(夜間・早朝訪問看護加算):(元号)yy年"mm"月"dd"<br>日<br>訪問看護年月日(深夜訪問看護加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日<br>訪問看護実施時刻(夜間・早朝訪問看護加算)<br>訪問看護実施時刻(深夜訪問看護加算) |             |                    |
| 179 | C005<br>C005<br>I-2 | 在宅患者訪問看護・<br>指導料・同一建物居<br>住者訪問看護・指導<br>料の看護・介護職員<br>連携強化加算                                     | 介護職員等と同行訪問した年月日を記載すること。   | 850100123  | 同行訪問年月日(看護・介護職員連携強化加算):(元号)yy年"mm"月<br>"dd"日   |             |                    |
| 180 | C005<br>C005<br>I-2 | 在宅患者訪問看護・<br>指導料・同一建物居<br>住者訪問看護・指導<br>料の特別地域訪問看<br>護加算  | 患者の住所並びに通常の経路及び方法で訪問に要する時間(片道)を記載すること。  | 830100095<br>852100005                           | 患者住所(特別地域訪問看護加算):*****<br>訪問に要する時間(片道)(特別地域訪問看護加算)   |             |                    |
| 181 | C005<br>C005<br>I-2 | 在宅患者訪問看護・<br>指導料・同一建物居<br>住者訪問看護・指導<br>料の緊急訪問看護加<br>算  | 加算を算定する理由を詳細に記載すること。<br>緊急の訪問看護を行った年月日を記載すること。  | 830100817<br>850190211                           | 緊急訪問看護の理由(緊急訪問看護加算):*****<br>緊急訪問年月日(緊急訪問看護加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日   | ※<br>※      |                    |
| 182 | C005<br>2           | 在宅患者訪問点滴注<br>射管理指導料  | 点滴注射を行った年月日を記載すること。<br>(在宅患者訪問点滴注射管理指導料に用いる注射液を支給した場合)<br>「注射」欄の例により記載し、在宅患者訪問点滴注射管理指導料に係る注射液である旨の「訪点」を表示すること。<br>なお、在宅患者訪問点滴注射管理指導料に係る指示を行った後に算定要件を満たさず薬剤料のみを算定する場合<br>についても同様に記載すること。 | 850100124<br>820100642                           | 点滴注射年月日(在宅患者訪問点滴注射管理指導料):(元号)yy年<br>"mm"月"dd"日<br>訪点   |             |                    |
| 183 | C006                | 在宅患者訪問リハビ<br>テーション指導管理料  | 訪問指導を行った日及び単位数を記載すること。<br><br>(急性増悪等により、一時的に頻回の訪問リハビリテーション指導管理を必要とする患者に対して行った場合)<br>「急性」と表示すること。  | 算定日情報<br>114006410<br>114015010<br>820100643     | (算定日)<br>在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料(同一建物居住者以外)<br>在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料(同一建物居住者)<br>急性  | ○<br>○<br>○ |                    |
| 184 | C007                | 訪問看護指示料  | 算定日を記載すること。   | 算定日情報  | (算定日)  | ○           |                    |
| 185 | C007                | 訪問看護指示料の特<br>別訪問看護指示加算   | 算定日を記載すること。また、頻回の指定訪問看護を行う必要性を認めた理由として、「急性増悪」、「終末期」、「退<br>院直後」、「その他」の中から該当するものを選択して記載すること。なお、「その他」を選択した場合は、具体的な理<br>由を記載すること。   | 820100099<br>820100100<br>820100101<br>830100469 | 急性増悪<br>終末期<br>退院直後<br>その他具体的理由(特別訪問看護指示加算):*****  |             |                    |
| 186 | C007<br>注3          | 訪問看護指示料の手<br>順書加算  | 前回の算定日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。  | 850100418<br>820190052                           | 前回算定年月日(手順書加算):(元号)yy年"mm"月"dd"日<br>初回(手順書加算)  |             |                    |
| 187 | C007<br>2           | 介護職員等喀痰吸引<br>等指示料  | 前回の指示書を交付した年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。  | 850190006<br>820190006                           | 指示書の前回交付年月日(介護職員等喀痰吸引等指示料):(元号)yy年<br>"mm"月"dd"日<br>初回(介護職員等喀痰吸引等指示料)  |             |                    |

| 項番        | 区分  | 診療行為名称等            | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード              | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|---|--------------------|---|-------------------------------|--|---------|------------|
| 188       | C008  | 在宅患者訪問薬剤管理指導料      | (月2回以上算定した場合)<br>算定日を記載すること。  | 算定日情報                         | (算定日)  | ○       |            |
|           |   |                    | (単一建物診療患者が2人以上の場合)<br>その人数を記載すること。  | 842100041                     | 単一建物患者数(在宅患者訪問薬剤管理指導料):*****                                   |         |            |
|           |   |                    | (1つの患者に当該指導料の対象となる同居する同一世帯の患者が2人以上いる場合、保険医療機関が在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定する患者数が当該建築物の戸数の10%以下の場合、当該建築物の戸数が20戸未満で当該保険医療機関が在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定する患者数が2人以下の場合又はユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所のそれぞれのユニットにおいて在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定する人数を単一建物診療患者の人数とみなす場合) | 820100103                     | 同居する同一世帯の患者が2人以上   |         |            |
|           |   |                    | (同居する同一世帯の患者が2人以上)、「管理指導を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下」、「当該建築物の戸数が20戸未満で管理指導を行う患者が2人以下」又は「ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所」の中から、該当するものを選択して記載すること。  | 820100104                     | 管理指導を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下                                      |         |            |
|           |   |                    | 820100105   | 当該建築物の戸数が20戸未満で管理指導を行う患者が2人以下 |  |         |            |
| 189       | C009  | 在宅患者訪問栄養食事指導料      | (単一建物診療患者が2人以上の場合)<br>その人数を記載すること。  | 842100042                     | 単一建物患者数(在宅患者訪問栄養食事指導料):*****                                   |         |            |
|           |   |                    | (1つの患者に当該指導料の対象となる同居する同一世帯の患者が2人以上いる場合、保険医療機関が在宅患者訪問栄養食事指導料を算定する患者数が当該建築物の戸数の10%以下の場合、当該建築物の戸数が20戸未満で当該保険医療機関が在宅患者訪問栄養食事指導料を算定する者が2人以下の場合又はユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所のそれぞれのユニットにおいて在宅患者訪問栄養食事指導料を算定する人数を単一建物診療患者の人数とみなす場合)   | 820100103                     | 同居する同一世帯の患者が2人以上   |         |            |
|           |   |                    | (同居する同一世帯の患者が2人以上)、「指導料を算定する者の数が当該建築物の戸数の10%以下」、「当該建築物の戸数が20戸未満で指導料を算定する者が2人以下」又は「ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所」の中から、該当するものを選択して記載すること。   | 820100106                     | 指導料を算定する者の数が当該建築物の戸数の10%以下                                     |         |            |
|           |   |                    | 820100107   | 当該建築物の戸数が20戸未満で指導料を算定する者が2人以下 |  |         |            |
|           |   |                    | 820100094   | ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所     |  |         |            |
| 190       | C010  | 在宅患者連携指導料          | 情報共有を行った年月日及び共有された情報を踏まえて療養に必要な指導を行った年月日を記載すること。  | 850100125                     | 情報共有年月日(在宅患者連携指導料):(元号)yy年mm月dd日                               |         |            |
|           |   |                    |   | 850100126                     | 指導年月日(在宅患者連携指導料):(元号)yy年mm月dd日                                 |         |            |
| 191       | C011  | 在宅患者緊急時等カンファレンス料   | カンファレンスを実施した年月日及びカンファレンスの参加者と共同で療養に必要な指導を行った年月日を記載すること。   | 850100127                     | カンファレンス実施年月日(在宅患者緊急時等カンファレンス料):(元号)yy年mm月dd日                   |         |            |
|           |   |                    |   | 850100128                     | 指導年月日(在宅患者緊急時等カンファレンス料):(元号)yy年mm月dd日                          |         |            |
| 192       | C012  | 在宅患者共同診療料          | 初回算定年月日を記載すること。<br><br>(15歳未満の人工呼吸器装着患者、15歳未満から引き続き人工呼吸を実施しており体重が20キログラム未満の患者又は神経障害等の患者を対象とした場合)<br>当該診療の初回算定年月日及び初回からの通算算定回数(当該月に実施されたものを含む。)を記載すること。  | 850100129                     | 初回算定年月日(在宅患者共同診療料):(元号)yy年mm月dd日                               |         |            |
|           |   |                    |   | 842100043                     | 通算算定回数(在宅患者共同診療料):*****  |         |            |
| 193       | C013  | 在宅患者訪問褥瘡管理指導料      | (「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第2節C013在宅患者訪問褥瘡管理指導料の(8)又は(9)により当該指導料算定する場合)<br>カンファレンスの実施年月日、DESIGN-R※2020による深さの評価及び本通知C013(2)のいずれに該当するかの記載すること。   | 850100130                     | 初回カンファレンスの実施年月日(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):(元号)yy年mm月dd日                   |         |            |
|           |   |                    |   | 850100131                     | 2回目のカンファレンスの実施年月日(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):(元号)yy年mm月dd日                 |         |            |
|           |   |                    |   | 850100132                     | 3回目のカンファレンスの実施年月日(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):(元号)yy年mm月dd日                 |         |            |
|           |   |                    |   | 820100644                     | DESIGN-R2020による深さの評価(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):d0(皮膚損傷・発赤なし)              |         |            |
|           |   |                    |   | 820100645                     | DESIGN-R2020による深さの評価(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):d1(持続する発赤)                 |         |            |
|           |   |                    |   | 820100646                     | DESIGN-R2020による深さの評価(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):d2(真皮までの損傷)                |         |            |
|           |   |                    |   | 820100647                     | DESIGN-R2020による深さの評価(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):d3(皮下組織までの損傷)              |         |            |
|           |   |                    |   | 820100648                     | DESIGN-R2020による深さの評価(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):d4(皮下組織を越える損傷)             |         |            |
|           |   |                    |   | 820100649                     | DESIGN-R2020による深さの評価(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):d5(関節腔、体腔に至る損傷)            |         |            |
|           |   |                    |   | 820100650                     | DESIGN-R2020による深さの評価(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):DU(深さ判定が不能の場合)             |         |            |
|           |   |                    |   | 820100651                     | 該当項目(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):ア 重度の末梢循環不全のもの                             |         |            |
|           |   |                    |   | 820100652                     | 該当項目(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):イ 麻薬等の鎮痛・鎮静剤の持続的な使用が必要であるもの                |         |            |
|           |   |                    |   | 820100653                     | 該当項目(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):ウ 強度の下痢が続く状態であるもの                          |         |            |
|           |   |                    |   | 820100654                     | 該当項目(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):エ 極度の皮膚脆弱であるもの                             |         |            |
| 820100655 | 該当項目(在宅患者訪問褥瘡管理指導料):オ 皮膚に密着させる医療関連機器の長期かつ持続的な使用が必要であるもの |                    |   |                               |  |         |            |
| 194       | C014  | 外来在宅共同指導料          | 共同指導を行った者の属する保険医療機関の名称及び年月日を記載すること。   | 830100643                     | 共同指導を行った者の属する保険医療機関の名称(外来在宅共同指導料):*****                        |         |            |
|           |   |                    |   | 850100490                     | 共同指導を行った年月日(外来在宅共同指導料):(元号)yy年mm月dd日                           |         |            |
| 195       | C015  | 在宅がん患者緊急時医療情報連携指導料 | ICTを用いて活用された当該患者の情報の記録された年月日を記載すること。  | 850190212                     | ICTを用いて活用された当該患者の情報の記録された年月日(在宅がん患者緊急時医療情報連携指導料):(元号)yy年mm月dd日 |         | ※          |
| 196       | C   | 在宅療養指導管理料          | (退院日に在宅療養指導管理料を算定した保険医療機関以外の保険医療機関において在宅療養指導管理料を算定する場合)<br>算定理由を記載すること。   | 830100818                     | 退院日に在宅療養指導管理料を算定した保険医療機関以外で算定する理由(在宅療養指導管理料):*****             |         | ※          |
| 197       | C100  | 退院前在宅療養指導管理料       | (退院前在宅療養指導管理に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 医薬品コード                        | (医薬品名を表示する。)   | ○       |            |
|           |   |                    |   | 特定器材コード                       | (特定器材名を表示する。)  | ○       |            |

| 項番  | 区分                     | 診療行為名称等                     | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                      | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|------------------------|-----------------------------|---|------------------|---|---------|------------|
| 198 | C101                   | 在宅自己注射指導管理料                 | (在宅自己注射に用いる薬剤を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名及び支給日数等を記載すること。   | 医薬品コード           | (医薬品名を表示する。)  | ○       |            |
|     |                        |                             |   | 830100480        | 薬剤支給日数(在宅自己注射指導管理料);*****                             |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100656        | 算定理由(在宅自己注射指導管理料);緊急時                                 |         |            |
| 199 | C101注4                 | 在宅自己注射指導管理料<br>バイオ後続品導入初期加算 | 初回処方年月日を記載すること。   | 850100408        | 初回使用年月日(バイオ後続品導入初期加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |         |            |
|     |                        |                             |   | 850100133        | 緊急時受診した年月日(在宅自己注射指導管理料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日            |         |            |
| 200 | C101-3                 | 在宅妊婦糖尿病患者指導管理料2             | 分娩日(年月日)を記載すること。  | 850100134        | 分娩日(在宅妊婦糖尿病患者指導管理料2);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |         |            |
| 201 | C102                   | 在宅自己腹膜灌流指導管理料               | (1月に2回以上在宅自己腹膜灌流指導管理料を算定した場合)<br>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第2部C102在宅自己腹膜灌流指導管理料の(1)のAからオまでに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。                       | 820100110        | ア 在宅自己連続携行式腹膜灌流の導入期にあるもの                              |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100111        | イ 糖尿病で血糖コントロールが困難であるもの                                |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100112        | ウ 腹膜炎の疑い、トンネル感染及び出口感染のあるもの                            |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100113        | エ 腹膜の透析効率及び除水効率が著しく低下しているもの                           |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100114        | オ その他医師が特に必要と認めるもの                                    |         |            |
|     |                        |                             |   | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
|     |                        |                             |   | 算定日情報            | (算定日)   | ○       |            |
| 202 | C102-2                 | 在宅血液透析指導管理料                 | (1月に2回以上在宅血液透析指導管理料を算定した場合)<br>初回の指導管理を行った年月日を記載するとともに、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第2部C102-2在宅血液透析指導管理料の(3)のAからオまでに規定するものの中から、該当するものを選択して記載すること。 | 850100137        | 初回算定年月日(在宅血液透析指導管理料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100115        | ア 在宅血液透析の導入期にあるもの                                     |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100116        | イ 合併症の管理が必要なもの  |         |            |
|     |                        |                             |   | 820100117        | ウ その他医師が特に必要と認めるもの                                    |         |            |
| 203 | C103                   | 在宅酸素療法指導管理料                 | 当該月の動脈血酸素分圧又は動脈血酸素飽和度を記載すること。   | 842100072        | 動脈血酸素分圧(在宅酸素療法指導管理料);*****                            |         |            |
|     |                        |                             |   | 842100044        | 動脈血酸素飽和度(在宅酸素療法指導管理料);*****                           |         |            |
|     |                        |                             |   | 850100139        | 終夜睡眠ポリグラフィの実施年月日(在宅酸素療法指導管理料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日      |         |            |
| 204 | C103                   | 在宅酸素療法指導管理料の遠隔モニタリング加算      | 当該指導管理料の直近の算定年月を記載すること。   | 842100045        | 無呼吸低呼吸指数(在宅酸素療法指導管理料);*****                           |         |            |
|     |                        |                             |   | 850100140        | 在宅酸素療法指導管理料の前回算定年月(遠隔モニタリング加算);(元号)yy"年"mm"月"         |         |            |
| 205 | C103<br>C107<br>C107-2 | 在宅療養指導管理料加算の乳幼児呼吸管理材料加算     | (6歳未満の乳幼児に対する在宅呼吸管理を行い、専用の経皮的動脈血酸素飽和度測定器その他附属品を貸与又は支給した場合)<br>貸与又は支給した機器等の名称及びその数量を記載すること。  | 830100819        | 貸与又は支給した機器等の名称及びその数量(在宅療養指導管理材料加算(乳幼児呼吸管理材料加算));***** |         | ※          |
| 206 | C104                   | 在宅中心静脈栄養法指導管理料              | (在宅中心静脈栄養法に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 医薬品コード           | (医薬品名を表示する。)  | ○       |            |
| 207 | C105                   | 在宅成分栄養経管栄養法指導管理料            | (在宅成分栄養法に用いる薬剤を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名及び支給量等を記載すること。   | 医薬品コード           | (医薬品名を表示する。)  | ○       |            |
| 208 | C105-2                 | 在宅小児経管栄養法指導管理料              | (15歳以上の患者であって経口摂取が著しく困難である状態が15歳未満から継続しているもの(体重が20キログラム未満である場合に限る。))に算定した場合<br>体重を記載すること。   | 842100046        | 患者体重(kg)(在宅小児経管栄養法指導管理料);*****                        |         |            |
|     |                        |                             |   | 医薬品コード           | (医薬品名を表示する。)  | ○       |            |
| 209 | C105-3                 | 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料           | 胃瘻造設年月日及び初回算定年月日を記載すること。  | 850100141        | 胃瘻造設年月日(在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日         |         |            |
|     |                        |                             |   | 850100142        | 初回算定年月日(在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日         |         |            |
|     |                        |                             |   | 医薬品コード           | (医薬品名を表示する。)  | ○       |            |
|     |                        |                             | (半固形状の流動食(市販されているものに限る。))に係る指導管理を行った場合)<br>当該流動食の製品名を記載すること。  | 医薬品コード           | (医薬品名を表示する。)  | ○       |            |

| 項番        | 区分   | 診療行為<br>名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|--|--|--|----------------------|--|-------------|--------------------|
| 210       | C106   | 在宅自己導尿指導管理料  | (在宅自己導尿に用いる薬剤を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名及び支給量等を記載すること。   | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
| 211       | C107-2<br>C107-2<br>注3   | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料<br>情報通信機器を用いた在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料   | 一連の治療期間における初回の指導管理を行った年月日、直近の無呼吸低呼吸指数及び睡眠ポリグラフ上<br>の所見並びに実施年月日及び当該管理料を算定する日の自覚症状等の所見を記載すること。ただし、「診療報酬の算<br>定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第2部C107-2在宅持続陽圧呼吸療法指導管<br>理料の(3)のイに該当する場合は、直近の無呼吸低呼吸指数及び睡眠ポリグラフ上<br>の所見並びに実施年月日<br>※注3における「初診日」は一連の治療期間における初回の指導管理を行った年月日を指す。<br><br>(注3を算定する場合)<br>OPAP療法を開始したことにより睡眠時無呼吸症候群の症状である眠気やいびきなどの症状が改善していることを<br>対面診療で確認した日を記載すること。<br><br>(2月を超えて当該療法の継続が可能であると認める場合)<br>その理由を記載すること。 | 850100143            | 一連の治療期間における初回の指導管理年月日(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |             |                    |
|           |  |  |  | 842100047            | 直近の無呼吸低呼吸指数(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料):*****                                     |             |                    |
|           |  |  |  | 830100099            | 睡眠ポリグラフ上<br>の所見(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料):*****                                 |             |                    |
|           |  |  |  | 850100144            | 睡眠ポリグラフ上<br>実施年月日(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |             |                    |
|           |  |  |  | 830100100            | 算定日の自覚症状(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料):*****  |             |                    |
|           |  |  |  | 850190214            | 症状が改善していることを対面診療で確認した年月日(情報通信機器を用いた在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 | ※           |                    |
|           |  |  |  | 830100101            | 療法の継続が可能であると認める理由(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料):*****                               |             |                    |
| 212       | C107-2   | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の遠隔モニタリング加算   | 当該指導管理料の直近の算定年月日を記載すること。   | 850100145            | 遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)前回算定年月:(元号)yy"年"mm"月"                       |             |                    |
| 213       | C108   | 在宅麻薬等注射指導管理料   | (在宅麻薬等注射に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。   | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
|           |  |  |  | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 214       | C108-2   | 在宅腫瘍化学療法注射指導管理料  | (在宅腫瘍化学療法注射に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
|           |  |  |  | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 215       | C108-3   | 在宅強心剤持続投与指導管理料   | (在宅強心剤持続投与に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。   | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
|           |  |  |  | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 216       | C108   | 在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料  | 在宅悪性腫瘍患者指導管理料を算定する保険医療機関と連携して指導管理を行った年月日及び連携して指導管理を行った保険医療機関名を記載すること。<br><br>(在宅悪性腫瘍患者の療養に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 850100146            | 連携指導管理年月日(在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          |             |                    |
|           |  |  |  | 830100102            | 連携指導保険医療機関名(在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料):*****                                     |             |                    |
|           |  |  |  | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
|           |  |  |  | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 217       | C109   | 在宅寝たきり患者処置指導管理料  | (在宅寝たきり患者処置に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
|           |  |  |  | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 218       | C110-2   | 在宅薬等刺激装置治療指導管理料の導入期加算  | 補込術を行った年月日を記載すること。   | 850100147            | 補込術実施年月日(導入期加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                     |             |                    |
| 219       | C110-3   | 在宅迷走神経電気刺激治療指導管理料の導入期加算  | 補込術を行った年月日を記載すること。   | 850100147            | 補込術実施年月日(導入期加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                     |             |                    |
| 220       | C114   | 在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料   | (在宅難治性皮膚疾患処置に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。   | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
|           |  |  |  | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 221       | C116   | 在宅補込型補助人工心臓(非拍動型)指導管理料   | (在宅補込型補助人工心臓(非拍動型)指導管理料に用いる特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。   | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 222       | C118   | 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料  | (在宅腫瘍治療電場療法に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 医薬品コード               | (医薬品名を表示する。)   | ○           |                    |
|           |  |  |  | 特定器材コード              | (特定器材名を表示する。)  | ○           |                    |
| 223       | C150   | 血糖自己測定器加算  | (「7日間スクリーン式持続血糖測定器によるもの」以外を算定する場合)<br>1月の血糖自己測定回数(血糖自己測定器加算):*****<br><br>(1型糖尿病の患者等に対し算定する場合)<br>1型糖尿病の患者等である旨を記載すること。  | 842100048            | 1月の血糖自己測定回数(血糖自己測定器加算):*****   |             |                    |
|           |  |  |  | 114009910            | 血糖自己測定器加算(20回以上)(1型糖尿病・小児低血糖症等)  | ○           |                    |
|           |  |  |  | 114046110            | 血糖自己測定器加算(30回以上)(1型糖尿病・小児低血糖症等)  | ○           |                    |
|           |  |  |  | 114010010            | 血糖自己測定器加算(40回以上)(1型糖尿病・小児低血糖症等)  | ○           |                    |
|           |  |  |  | 114010110            | 血糖自己測定器加算(60回以上)(1型糖尿病・小児低血糖症等)  | ○           |                    |
|           |  |  |  | 114010210            | 血糖自己測定器加算(90回以上)(1型糖尿病・小児低血糖症等)  | ○           |                    |
| 114015610 | 血糖自己測定器加算(120回以上)(1型糖尿病・小児低血糖症等)   | ○  |  |                      |  |             |                    |
| 224       | C150<br>C157<br>C158<br>C159<br>C159-2<br>C163<br>C165<br>C171<br>C171-2<br>C171-3<br>C172<br>C174 | 血糖自己測定器加算<br>酸素ポンベ加算<br>酸素濃縮装置加算<br>液化酸素装置加算<br>呼吸同調式デマンドバルブ加算<br>特殊カテーテル加算<br>在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算<br>在宅酸素療法材料加算<br>在宅持続陽圧呼吸療法材料加算<br>在宅ハイフローセラピー材料加算<br>在宅経肛門的自己洗腸用材料加算<br>在宅ハイフローセラピー装置加算 | (1月に2回又は3回分の算定を行う場合)<br>当月分に加え、翌々月分、翌月分、前月分、前々月分のいずれかを算定したのか又は当月分に加え、翌月分、前月分のいずれかを算定したのかを選択して記載すること。   | 820100122            | 当月分  |             |                    |
|           |  |  |  | 820100123            | 翌々月分   |             |                    |
|           |  |  |  | 820100124            | 翌月分  |             |                    |
|           |  |  |  | 820100125            | 前月分  |             |                    |
|           |  |  |  | 820100126            | 前々月分   |             |                    |
|           |  |  |  | 820100657            | 該当する患者(持続血糖測定器)1型糖尿病患者の患者(間歇注入シリッジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)               |             |                    |
|           |  |  |  | 820100658            | 該当する患者(持続血糖測定器)膵臓摘後の患者(間歇注入シリッジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)                  |             |                    |
|           |  |  |  | 820100659            | 該当する患者(持続血糖測定器)2型糖尿病患者(間歇注入シリッジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)                  |             |                    |
|           |  |  |  | 820100660            | 該当する患者(持続血糖測定器)1型糖尿病患者の患者(間歇注入シリッジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)              |             |                    |

| 項番        | 区分                          | 診療行為名称等   | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|-----------------------------|---|--|------------------|---|---------|------------|
| 225       | C152-2                      | 持続血糖測定器加算   | <p>〔2型糖尿病患者に対して、間歇注入シリンジポンプと運動しない持続血糖測定器を用いる場合〕<br/>直近の空腹時血清Cペプチドの測定結果を記載すること。</p> <p>〔1月に2回分の算定を行う場合〕<br/>当月分に加え、翌月分、前月分のいずれを算定したのかを選択して記載すること。</p>   | 820100661        | 該当する患者(持続血糖測定器)：膝全摘後の患者(間歇注入シリンジポンプと運動しない持続血糖測定器を用いる場合)       |         |            |
|           |                             |   |  | 820100662        | 該当する患者(持続血糖測定器)：2型糖尿病患者(間歇注入シリンジポンプと運動しない持続血糖測定器を用いる場合)       |         |            |
|           |                             |   |  | 830100103        | 直近の空腹時血清Cペプチドの測定結果(持続血糖測定器)：*****                             |         |            |
|           |                             |   |  | 820100122        | 当月分   |         |            |
|           |                             |   |  | 820100124        | 翌月分   |         |            |
| 226       | C153の1                      | 注入器用注射針加算の1   | <p>〔診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について〕別添1第2章第2節C153注入器用注射針加算の(2)のア又はイに規定するものうち、該当するものを選択して記載すること。</p>  | 820100120        | ア 糖尿病等で1日概ね4回以上自己注射が必要  |         |            |
|           |                             |   |  | 820100121        | イ 血友病で自己注射が必要   |         |            |
| 227       | C163                        | 特殊カテーテル加算「2」の「イ」親水性コティング  | <p>〔診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について〕別添1第2章第2節C163の「特殊カテーテル加算」の(3)の「イ」のうち該当するものを選択して記載するとともに、要件を満たす医学的根拠を記載すること。</p>  | 830100104        | ア 脊髄障害の要件を満たす医学的根拠：*****                                      |         |            |
|           |                             |   |  | 830100105        | イ 二分脊椎の要件を満たす医学的根拠：*****                                      |         |            |
|           |                             |   |  | 830100106        | ウ 他の中枢神経を原因とする神経因性膀胱の要件を満たす医学的根拠：*****                        |         |            |
|           |                             |   |  | 830100107        | エ その他の要件を満たす医学的根拠：*****                                       |         |            |
| 228       | C165の1                      | 在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算1   | <p>〔診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について〕別添1の第2章第2節C107-2在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の(3)のア又はイの要件に該当する患者に対して算定する場合(3)のア又はイのうち該当するものを選択して記載すること。また、イの要件を根拠に算定する場合は、当該患者に対するASV療法の実施開始日も併せて記載すること。</p>   | 820100127        | ア 留意事項通知アの慢性心不全患者にASV療法を実施した場合                                |         |            |
|           |                             |   |  | 820100128        | イ 留意事項通知イの心不全患者にASV療法を実施した場合                                  |         |            |
|           |                             |   |  | 850100148        | 留意事項通知イの心不全患者 ASV療法開始年月日(在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算1)：(元号)yy年"mm"月"dd"日 |         |            |
| 229       | C175                        | 在宅抗菌薬吸入療法用ネブライザ加算   | 初回算定日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。  | 850100419        | 初回算定年月日(在宅抗菌薬吸入療法用ネブライザ加算)：(元号)yy年"mm"月"dd"日                  |         |            |
|           |                             |   |  | 820190053        | 初回(在宅抗菌薬吸入療法用ネブライザ加算)   |         |            |
| 230       | C200<br>C300                | 初診、再診又は在宅医療において、患者の診療を担う保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日に訪問看護ステーション等の看護師等が、当該患者に対し点滴又は処置等を実施した場合  | <p>〔初診、再診又は在宅医療において、患者の診療を担う保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日に訪問看護ステーション等の看護師等が、当該患者に対し点滴又は処置等を実施した場合〕<br/>これに用いた薬剤又は特定保険医療材料が使用された日を記載すること。</p>  | 850190200        | 訪問看護ステーション等の看護師等が薬剤を使用した年月日(C200)：(元号)yy年"mm"月"dd"日           |         |            |
|           |                             |   |  | 850190201        | 訪問看護ステーション等の看護師等が特定保険医療材料を使用した年月日(C300)：(元号)yy年"mm"月"dd"日     |         |            |
| 231       | C                           | 在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院から患者の紹介を受けて在宅療養指導管理を行う場合  | <p>〔診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)第2章第2節第2節第1款の通則3の規定に基づき、在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院から患者の紹介を受けて在宅療養指導管理を行う場合〕<br/>紹介元医療機関名及び当該在宅療養指導管理料を算定した理由を記載すること。</p>  | 830100108        | 紹介元医療機関名：*****  |         |            |
|           |                             |   |  | 830100109        | 在宅療養指導管理料の算定理由：*****  |         |            |
| 232       | C                           | 退院した患者に対して、当該退院月に、退院日に在宅療養指導管理料を算定した保険医療機関以外の保険医療機関において在宅療養指導管理料を算定した場合                   | <p>〔退院した患者に対して、当該退院月に、退院日に在宅療養指導管理料を算定した保険医療機関以外の保険医療機関において在宅療養指導管理料を算定した場合〕<br/>当該在宅療養指導管理料を算定した理由を記載すること。</p>  | 830100109        | 在宅療養指導管理料の算定理由：*****  |         |            |
| 233       | C                           | 在宅療養指導管理料のいずれかの所定点数に増して特定保険医療材料のうち「皮膚欠損創傷被覆材」又は「非固着性シリコンガーゼ」を支給した場合(在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料を除く。) | <p>〔在宅療養指導管理料のいずれかの所定点数に併せて特定保険医療材料のうち「皮膚欠損創傷被覆材」又は「非固着性シリコンガーゼ」を支給した場合(在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料を除く。)]<br/>特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数を記載すること。</p>   | 特定器材コード          | (特定器材名を表示する。)   | ○       |            |
| 234       | D                           | 時間外緊急院内検査加算   | 検査開始日時を記載すること。   | 853100001        | 検査開始日時(時間外緊急院内検査加算)：dd"日"hh"時"mm"分"                           |         |            |
|           |                             |   |  | 820100129        | 引き続き入院  |         |            |
| 235       | D                           | 外来迅速検体検査加算  | <p>〔外来診療料を算定した場合であって、当該診療料に包括される検査のみに対して当該加算を算定した場合〕<br/>当該加算を算定した日に行った検体検査の項目名を記載すること。</p>  | 830100111        | 検体検査名(外来迅速検体検査加算)：*****                                       |         |            |
|           |                             |   |  | 820100129        | 引き続き入院  |         |            |
| 236       | D001の10                     | トリブノーゲン2(原)   | 急性肺炎を疑う医学的根拠について記載すること。  | 830100481        | 急性肺炎を疑う医学的根拠(トリブノーゲン2(原))：*****                               |         |            |
| 237       | D001の17                     | プロスタグランジンE主要代謝物(原)  | <p>〔医学的必要性から、本検査を1月に1回行う場合〕<br/>その詳細な理由及び検査結果を記載すること。</p>  | 830100820        | 1月に1回行う詳細な理由(プロスタグランジンE主要代謝物(原))：*****                        |         | ※          |
|           |                             |   |  | 830100821        | 検査結果(プロスタグランジンE主要代謝物(原))：*****                                |         | ※          |
| 238       | D001の19                     | L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(原)  | <p>〔3月に2回以上算定する場合〕<br/>その詳細な理由を記載すること。</p>   | 830100112        | 3月に2回以上算定した詳細な理由(L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(原))：*****                  |         |            |
| 239       | D001の19                     | 好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン(NGAL)(原)  | <p>〔医学的必要性から4回以上算定する場合〕<br/>その詳細な理由を記載すること。</p>  | 830100113        | 医学的必要性から4回以上算定した詳細な理由(好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン(NGAL)(原))：*****       |         |            |
| 240       | D003の9                      | カルプロテクチン(糞便)  | <p>〔慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助を目的として測定する場合〕<br/>要旨を記載すること。</p> <p>〔潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定する場合で医学的必要性から1月に1回行う場合〕<br/>詳細な理由及び検査結果を記載すること。</p>   | 830100116        | 慢性的な炎症性腸疾患の診断補助を目的として測定した要旨(カルプロテクチン(糞便)要旨)：*****             |         |            |
|           |                             |   |  | 830100117        | 詳細理由(カルプロテクチン(糞便))：*****                                      |         |            |
|           |                             |   |  | 830100118        | 検査結果(カルプロテクチン(糞便))：*****                                      |         |            |
| 241       | D004の15                     | アミロイドβ42/40比(髄液)  | <p>〔レカネマブ(遺伝子組換え)製剤の投与中止後に初回投与から18か月を超えて再開する場合〕<br/>必要と判断した医学的根拠を記載すること。</p> <p>認知機能スコア MMSEスコアを記載すること。(他の保険医療機関からの紹介により検査を実施する場合は、紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)</p> <p>臨床認知症尺度 CDR全般尺度の評価を記載すること(他の保険医療機関からの紹介により検査を実施する場合は、紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)</p> | 830100822        | 必要と判断した医学的根拠(アミロイドβ42/40比(髄液))：*****                          |         | ※          |
|           |                             |   |  | 820101166        | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア：22点以上                                  |         | ※          |
|           |                             |   |  | 820101167        | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア：21点以下                                  |         | ※          |
|           |                             |   |  | 820101168        | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度：0                                      |         | ※          |
|           |                             |   |  | 820101169        | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度：0.5又は1                                 |         | ※          |
| 820101170 | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度：2又は3 |   | ※  |                  |   |         |            |



| 項番  | 区分       | 診療行為名称等                 | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|----------|-------------------------|---|------------------|---|---------|------------|
|     |          |                         |   | 820101171        | 画像診断を実施する時点におけるCDR全肢尺度、評価困難                                     |         | ※          |
|     |          |                         | 検査の結果におけるAβ 病理を示唆する所見の有無について記載すること。   | 820101172        | 検査の結果、Aβ 病理を示唆する所見あり  |         | ※          |
|     |          |                         |   | 820101173        | 検査の結果、Aβ 病理を示唆する所見なし  |         | ※          |
| 242 | D004-201 | 悪性腫瘍組織検査<br>1 悪性腫瘍遺伝子検査 | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D004-2悪性腫瘍組織検査の(2)から(4)までに掲げる遺伝子検査の中から該当するものを選択して記載すること。                                | 820100663        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるALK融合遺伝子検査                          |         |            |
|     |          |                         |   | 820100664        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるKRAS遺伝子検査                           |         |            |
|     |          |                         |   | 820100665        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)               |         |            |
|     |          |                         |   | 820100666        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるKRAS遺伝子検査                           |         |            |
|     |          |                         |   | 820100667        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 大腸癌におけるRAS遺伝子検査                           |         |            |
|     |          |                         |   | 820100668        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 大腸癌におけるBRAF遺伝子検査                          |         |            |
|     |          |                         |   | 820100669        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 大腸癌におけるEGFR遺伝子検査                          |         |            |
|     |          |                         |   | 820100670        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 大腸癌におけるKRAS遺伝子検査                          |         |            |
|     |          |                         |   | 820100671        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): リンチ症候群におけるマイクロサテライト不安定性検査                 |         |            |
|     |          |                         |   | 820100672        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるHER2遺伝子検査                           |         |            |
|     |          |                         |   | 820100673        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 固形癌におけるマイクロサテライト不安定性検査                    |         |            |
|     |          |                         |   | 820100674        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 悪性骨軟部組織腫瘍におけるEWS-Fli1遺伝子検査                |         |            |
|     |          |                         |   | 820100675        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 悪性骨軟部組織腫瘍におけるTLS-CHOP遺伝子検査                |         |            |
|     |          |                         |   | 820100676        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 悪性骨軟部組織腫瘍におけるSYT-SSX遺伝子検査                 |         |            |
|     |          |                         |   | 820100677        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 消化管間葉系腫瘍における-kit遺伝子検査                     |         |            |
|     |          |                         |   | 820100678        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節生検に係る遺伝子検査              |         |            |
|     |          |                         |   | 820100680        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 固形癌におけるNTRK融合遺伝子検査                        |         |            |
|     |          |                         |   | 820100803        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるEGFR遺伝子検査                           |         |            |
|     |          |                         |   | 820100804        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるROS1融合遺伝子検査                         |         |            |
|     |          |                         |   | 820100848        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)           |         |            |
|     |          |                         |   | 820100849        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるMETex14遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)        |         |            |
|     |          |                         |   | 820100850        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 濾胞性リンパ腫におけるEZH2遺伝子検査                      |         |            |
|     |          |                         |   | 820100853        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるMETEX14遺伝子検査(次世代シーケンシング)            |         |            |
|     |          |                         |   | 820100854        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるRET融合遺伝子検査                          |         |            |
|     |          |                         |   | 820100855        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 悪性黒色腫におけるBRAF遺伝子検査(リアルタイムPCR法)            |         |            |
|     |          |                         |   | 820100856        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 固形癌における腫瘍遺伝子変異検査                          |         |            |
|     |          |                         |   | 820100857        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 胆道癌におけるFGFR2融合遺伝子検査                       |         |            |
|     |          |                         |   | 820101174        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるKRAS遺伝子変異(G12C)検査                   |         | ※          |
|     |          |                         |   | 820101175        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 肺癌におけるHER2遺伝子検査(次世代シーケンシング)               |         | ※          |
|     |          |                         |   | 820101176        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 悪性黒色腫におけるBRAF遺伝子検査(PCR-rSSO法)             |         | ※          |
|     |          |                         |   | 820101177        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 甲状腺癌におけるRET融合遺伝子検査                        |         | ※          |
|     |          |                         |   | 820101178        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 甲状腺癌におけるRET遺伝子変異検査                        |         | ※          |
|     |          |                         |   | 820101179        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 固形腫瘍(肺癌及び大腸癌を除く。)におけるBRAF遺伝子検査(PCR-rSSO法) |         | ※          |
|     |          |                         |   | 820101180        | 該当する遺伝子検査(悪性腫瘍遺伝子検査): 悪性リンパ腫におけるBR AF遺伝子検査(PCR-rSSO法)           |         | ※          |
|     |          |                         | (早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外を目的としてBRAF遺伝子検査を実施した場合) マイクロサテライト不安定性検査又は「N005-4」ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を実施した年月日を記載すること。              | 850100150        | マイクロサテライト不安定性検査の実施年月日(悪性腫瘍遺伝子検査): (元号)yy年mm月dd日                 |         |            |
|     |          |                         |   | 850190215        | ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製の実施年月日(悪性腫瘍遺伝子検査): (元号)yy年mm月dd日  |         | ※          |
| 243 | D006の33  | ADAMTS13活性              | (血栓性血小板減少性紫斑病と診断された患者又はその再発が認められた患者に対して、診断した日又は再発を確認した日から起算して1月以内に算定する場合) 血栓性血小板減少性紫斑病と診断した年月日又はその再発を確認した年月日を記載すること。            | 850100151        | 血栓性血小板減少性紫斑病の診断年月日(ADAMTS13活性): (元号)yy年mm月dd日                   |         |            |
|     |          |                         |   | 850100152        | 血栓性血小板減少性紫斑病の再発年月日(ADAMTS13活性): (元号)yy年mm月dd日                   |         |            |
|     |          |                         | (血栓性血小板減少性紫斑病に対し、血漿交換療法、免疫抑制療法及びカプラズマブ製剤による治療を行った際に治療の継続の要否を判定することを目的として測定を行った場合) 30日間を越え1週間に1回に別に算定する、その医学的必要性を記載すること。         | 830100823        | 医学的必要性(ADAMTS13活性):*****  |         | ※          |
| 244 | D006の34  | 血小板凝集能                  | (先天性血小板機能低下症が疑われる患者に対し、当該疾患の鑑別診断の補助を目的として、3種類以上の試薬を用いて血小板凝集能を測定した場合) 2回以上算定する場合は、その医学的必要性について記載すること。                            | 830100824        | 2回以上算定する医学的必要性(血小板凝集能 イ 鑑別診断の補助に用いるもの):*****                    |         | ※          |
| 245 | D006の35  | ADAMTS13インヒビター          | (後天性血栓性血小板減少性紫斑病と診断された患者又はその再発が認められた患者に対して、診断した日又は再発を確認した日から起算して1月以内に算定する場合) 後天性血栓性血小板減少性紫斑病と診断した年月日又はその再発を確認した年月日を記載すること。      | 850100153        | 後天性血栓性血小板減少性紫斑病の診断年月日(ADAMTS13インヒビター): (元号)yy年mm月dd日            |         |            |
|     |          |                         |   | 850100154        | 後天性血栓性血小板減少性紫斑病の再発年月日(ADAMTS13インヒビター): (元号)yy年mm月dd日            |         |            |
|     |          |                         | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D006-4遺伝学的検査の(1)に掲げる遺伝子疾患の中から該当するものを選択して記載すること。   | 830100825        | 遺伝子疾患の名称:*****  |         | ※          |
|     |          |                         | (2回以上実施する場合) その医療上の必要性を記載すること。  | 830100119        | 遺伝学的検査を2回以上実施する医療上の必要性(遺伝学的検査):*****                            |         |            |
| 246 | D006-4   | 遺伝学的検査                  | (「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D006-4遺伝学的検査の(1)のオに掲げる遺伝子疾患に対する検査を実施する場合) 臨床症状や他の検査等では当該疾患の診断がつかないこと及びその医学的必要性を記載すること。 | 830100120        | 臨床症状や他の検査等では当該疾患の診断がつかないこと及びその医学的必要性(遺伝学的検査):*****              |         |            |

| 項番  | 区分        | 診療行為名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|-----------|---|---|------------------|---|---------|------------|
| 247 | D006-4注2  | 遺伝学的検査の注2加算   | 検査の対象となった全ての遺伝子疾患の名称及び検査の実施の必要性について、記載すること。   | 830100826        | 遺伝子疾患の名称(遺伝学的検査注2);*****  |         | ※          |
|     |           |   |   | 830100827        | 実施の必要性(遺伝学的検査注2);*****  |         | ※          |
| 248 | D006-5    | 染色体検査 1 FISH法を用いた場合                                     | (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫又は多発性骨髄腫の診断の目的で2回以上検査を行った場合)「未確」と表示し、前回算定日を記載すること。  | 850100420        | 前回算定年月日(染色体検査1 FISH法を用いた場合);(元号)yy年mm月dd日                       |         |            |
|     |           |   |   | 820100858        | 未確(染色体検査1 FISH法を用いた場合)  |         |            |
| 249 | D006-10   | CCR4タンパク(フローサイトメトリー法)                                   | (CCR4タンパク(フローサイトメトリー法)及びCCR4タンパクを併せて算定した場合)その理由及び医学的根拠を記載すること。  | 830100121        | 併せて算定した理由及び医学的根拠(CCR4タンパク(フローサイトメトリー法));*****                   |         |            |
| 250 | D006-11   | FIP1L1-PDGFRα融合遺伝子検査                                    | 本検査を必要と判断した理由を記載すること。<br>(本検査を再度実施した場合)その理由を記載すること。   | 830100122        | 必要理由(FIP1L1-PDGFRα融合遺伝子検査);*****                                |         |            |
|     |           |   |   | 830100123        | 再実施理由(FIP1L1-PDGFRα融合遺伝子検査);*****                               |         |            |
| 251 | D006-12   | EGFR遺伝子検査(血漿)   | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。   | 830100124        | 肺癌の組織検体検査が実施困難である医学的理由(EGFR遺伝子検査(血漿));*****                     |         |            |
| 252 | D006-15   | 膀胱がん関連遺伝子検査   | 上皮内癌(CIS)と診断された病理所見を記載すること。   | 830100125        | 膀胱がん関連遺伝子検査が実施困難である医学的理由(膀胱がん関連遺伝子検査);*****                     |         |            |
|     |           |   | K803膀胱悪性腫瘍手術の「6」経尿道的手術の実施年月日を記載すること。<br>(本検査を過去に算定している場合)過去の算定日を記載すること。   | 850100155        | 膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)の実施年月日(膀胱がん関連遺伝子検査);(元号)yy年mm月dd日               |         |            |
| 253 | D006-18   | BRCA1/2遺伝子検査  | その医療上の必要性を記載すること。   | 830100126        | 医療上の必要性(BRCA1/2遺伝子検査);*****                                     |         |            |
| 254 | D006-19   | がんゲノムプロファイリング検査   | (血液を検体とする場合であって、医学的な理由により、固形腫瘍の腫瘍細胞を検体としてがんゲノムプロファイリング検査を行うことが困難な場合)<br>固形腫瘍の腫瘍細胞を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。 | 830100761        | 固形腫瘍の腫瘍細胞を検体とした検査が実施困難である医学的理由(血液を検体とする)(がんゲノムプロファイリング検査);***** |         |            |
|     |           |   | (血液を検体とする場合であって、固形腫瘍の腫瘍細胞を検体として実施したががんゲノムプロファイリング検査において、包括的なゲノムプロファイルの結果を得られなかった場合)<br>その旨を記載すること。              | 820100859        | 包括的なゲノムプロファイルの結果を得られない(血液を検体とする)(がんゲノムプロファイリング検査)               |         |            |
|     |           |   |   | 850100421        | 肺癌におけるEGFR遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日            |         |            |
|     |           |   |   | 850100422        | 肺癌におけるROS1融合遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日          |         |            |
|     |           |   |   | 850100423        | 肺癌におけるALK融合遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日           |         |            |
|     |           |   |   | 850190216        | 肺癌におけるRAS遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日             |         | ※          |
|     |           |   |   | 850190217        | 肺癌におけるHER2遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日            |         | ※          |
|     |           |   |   | 850100424        | 大腸癌におけるRAS遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日            |         |            |
|     |           |   |   | 850190218        | 大腸癌におけるHER2遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日           |         | ※          |
|     |           |   |   | 850190219        | 大腸癌におけるBRAF遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日           |         | ※          |
|     |           |   |   | 850100425        | 乳癌におけるHER2遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日            |         |            |
|     |           |   |   | 850100426        | 固形腫瘍におけるマイクロサテライト不安定性検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日    |         |            |
|     |           |   |   | 850100427        | 肺癌におけるMETex14遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日         |         |            |
|     |           |   |   | 850100428        | 悪性黒色腫におけるBRAF遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日         |         |            |
|     |           |   |   | 850100429        | 固形腫瘍におけるNTRK融合遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日        |         |            |
|     |           |   |   | 850100430        | 固形腫瘍における腫瘍遺伝子変異検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日          |         |            |
|     |           |   |   | 850100431        | 胆道癌におけるFGFR2融合遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日        |         |            |
|     | 850100432 | 卵巣癌におけるBRCA1遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日  |   |                  |   |         |            |
|     | 850100433 | 前立腺癌におけるBRCA1遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日 |   |                  |   |         |            |
|     | 850100434 | 卵巣癌におけるBRCA2遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日  |   |                  |   |         |            |
|     | 850100435 | 前立腺癌におけるBRCA2遺伝子検査の実施年月日(がんゲノムプロファイリング検査);(元号)yy年mm月dd日 |   |                  |   |         |            |
| 255 | D006-20   | 角膜ジストロフィー遺伝子検査  | その医学的な必要性を記載すること。   | 830100127        | 医学的な必要性(角膜ジストロフィー遺伝子検査);*****                                   |         |            |
| 256 | D006-22   | RAS遺伝子検査(血漿)  | 大腸癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。  | 830100483        | 大腸癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的理由(RAS遺伝子検査(血漿));*****                 |         |            |
| 257 | D006-25   | CYP2C9遺伝子多型   | 必要と判断した医学的根拠を記載すること。  | 830100484        | 必要と判断した医学的根拠(CYP2C9遺伝子多型);*****                                 |         |            |
| 258 | D006-26   | 染色体構造変異解析   | 検査を実施する医学的な理由を記載すること。   | 830100485        | 検査を実施する医学的な理由(染色体構造変異解析);*****                                  |         |            |
| 259 | D006-27の1 | 悪性腫瘍遺伝子検査(血液・血漿) ROS1融合遺伝子検査                            | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。   | 830100486        | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的理由(ROS1融合遺伝子検査);*****                   |         |            |
| 260 | D006-27の2 | 悪性腫瘍遺伝子検査(血液・血漿) ALK融合遺伝子検査                             | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。   | 830100487        | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的理由(ALK融合遺伝子検査);*****                    |         |            |
| 261 | D006-27の3 | 悪性腫瘍遺伝子検査(血液・血漿) METex14遺伝子検査                           | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。   | 830100488        | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的理由(METex14遺伝子検査);*****                  |         |            |
| 262 | D006-27の4 | 悪性腫瘍遺伝子検査(血液・血漿) NTRK融合遺伝子検査                            | 固形腫瘍の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。   | 830100489        | 固形腫瘍の組織を検体とした検査が実施困難である医学的理由(NTRK融合遺伝子検査);*****                 |         |            |
| 263 | D006-27の5 | 悪性腫瘍遺伝子検査 RAS遺伝子検査                                      | 本検査の実施に当たっては、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第1節第1節D006-27イに該当する医学的な理由を記載すること。                             | 830100828        | 医学的な理由(イのイ)に該当(RAS遺伝子検査);*****                                  |         | ※          |
|     |           |   |   | 830100829        | 医学的な理由(イのロ)に該当(RAS遺伝子検査);*****                                  |         | ※          |
|     |           |   |   | 830100830        | 医学的な理由(イのハ)に該当(RAS遺伝子検査);*****                                  |         | ※          |

| 項番  | 区分        | 診療行為<br>名称等                                    | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                      | 紙レセのみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----|-----------|--|---|----------------------|---|---------|--------------------|
| 264 | D006-27の6 | 悪性腫瘍遺伝子検査<br>(血液・血漿)<br>BRAF遺伝子検査              | 大腸癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。  | 830100831            | 大腸癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由(BRAF遺伝子検査);*****         |         | ※                  |
| 265 | D006-27の8 | 悪性腫瘍遺伝子検査<br>(血液・血漿)<br>HER2遺伝子検査(肺<br>癌に係るもの) | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。   | 830100832            | 肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由(HER2遺伝子検査(肺癌に係るもの));***** |         | ※                  |
| 266 | D006-27の9 | 悪性腫瘍遺伝子検査<br>(血液・血漿)<br>マイクロサテライト不<br>安定性検査    | 固形癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を記載すること。  | 830100833            | 固形癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由(マイクロサテライト不安定性検査);*****   |         | ※                  |
| 267 | D006-29   | 乳癌悪性度判定検査                                      | (医学的な必要性から患者1人につき2回以上実施した場合)<br>その理由を記載すること。                                  | 830100834            | 患者1人につき2回以上実施した理由(乳癌悪性度判定検査);*****                    |         | ※                  |
|     |           |  | 本検査の実施に当たっては、ホルモン受容体、HER2の検査結果及びリンパ節転移の状況について記載すること。                          | 830100835            | ホルモン受容体の検査結果(乳癌悪性度判定検査);*****                         |         | ※                  |
|     |           |  |   | 830100836            | HER2の検査結果(乳癌悪性度判定検査);*****                            |         | ※                  |
|     |           |  |   | 830100837            | リンパ節転移の状況(乳癌悪性度判定検査);*****                            |         | ※                  |
| 268 | D007の8    | マンガン(Mn)                                       | 高カロリー静脈栄養法を開始した年月日を記載すること。  | 850100157            | 高カロリー静脈栄養法の実施年月日(Mn):(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |         |                    |
| 269 | D007の38   | アルブミン非結合型ビリルビン                                 | (早産児にあって、生後2週間を超えて、修正週数として正期産に相当する期間まで経過観察を行う場合)<br>検査を実施した日に相当する修正週数を記載すること。 | 842100112            | 検査を実施した日に相当する修正週数(アルブミン非結合型ビリルビン);*****               |         | ※                  |

| 項番  | 区分          | 診療行為名称等  | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード   | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|-------------|--|---|--|---|---------|------------|
| 270 | D007<br>の57 | ロイシンリッチα2グロブリン   | 前回の実施年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。  | 850190049  | 前回実施年月日(ロイシンリッチα2グロブリン);(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
|     |             |  |   | 820190054  | 初回(ロイシンリッチα2グロブリン)  |         |            |
|     |             |  | 医学的必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を記載すること。  | 830100490  | 1月に1回行う詳細な理由(ロイシンリッチα2グロブリン);*****  |         |            |
|     |             |  |   | 830100491  | 検査結果(ロイシンリッチα2グロブリン);*****  |         |            |
| 271 | D008<br>の18 | 脳性Na利尿ペプチド(BNP)  | (脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上を実施した場合)各々の検査の実施日を記載すること。          | 算定日情報  | (算定日)   | ○       |            |
| 272 | D008<br>の20 | 脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)                               | (脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上を実施した場合)各々の検査の実施日を記載すること。          | 算定日情報  | (算定日)   | ○       |            |
| 273 | D008<br>の24 | 低カルポキシル化オステオカルシン(ucOC)   | (2回目を算定した場合)前回算定年月日を記載すること。   | 850100161  | 前回算定年月日(ucOC);(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
| 274 | D008<br>の25 | 酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)                                       | (診断補助として実施した後、6月以内の治療経過観察時の補助的指標として実施した場合)診断補助として実施した日を記載すること。  | 850100159  | 診断補助の実施年月日(TRACP-5b);(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         |            |
|     |             |  | (治療方針を変更した際に実施した場合)治療方針の変更年月日を記載すること。   | 850100160  | 治療方針変更年月日(TRACP-5b);(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
| 275 | D008<br>の43 | 抗IA-2抗体  | 抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)の結果、陰性を確認した年月日を記載すること。  | 850100163  | 抗GAD抗体陰性の確認年月日(抗IA-2抗体);(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
| 276 | D008<br>の46 | 心房性Na利尿ペプチド(ANP)   | (脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上を実施した場合)各々の検査の実施日を記載すること。          | 算定日情報  | (算定日)   | ○       |            |
| 277 | D008<br>の52 | 抗ミューラー管ホルモン(AMH)   | 前回の実施日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。  | 850190050  | 前回実施年月日(抗ミューラー管ホルモン(AMH));(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                      |         |            |
|     |             |  |   | 820190055  | 初回(抗ミューラー管ホルモン(AMH))  |         |            |
| 278 | D008<br>の53 | レプテン   | 脂肪萎縮の発症時期及び全身性脂肪萎縮症を疑う医学的な理由を記載すること。  | 830100492  | 脂肪萎縮の発症時期(レプテン);*****   |         |            |
|     |             |  |   | 830100493  | 全身性脂肪萎縮症を疑う医学的な理由(レプテン);*****   |         |            |
| 279 | D009<br>の9  | 前立腺特異抗原(PSA)   | (前立腺癌の確定診断がつかず前立腺特異抗原(PSA)を2回以上算定する場合)「未確」と表示し、当該検査の実施年月日及び検査値をすべて記載すること。                                     | 850100164  | 検査の実施年月日(前立腺特異抗原(PSA));(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         |            |
|     |             |  |   | 842100049  | 未確 検査値(前立腺特異抗原(PSA));*****  |         |            |
| 280 | D009<br>の30 | 可溶性モノクローナル抗体   | (悪性中皮腫の診断の補助を目的として実施する場合)本検査が必要である理由を記載すること。  | 820100809  | (イ)石綿曝露歴があり、胸水、腹水等の貯留が認められる患者(可溶性モノクローナル抗体)                                       |         |            |
|     |             |  |   | 820100810  | (ロ)体腔液細胞診で悪性中皮腫が疑われる患者(可溶性モノクローナル抗体)  |         |            |
|     |             |  |   | 820100811  | (ハ)画像診断で胸膜腫瘍、腹膜腫瘍等の漿膜腫瘍が認められる患者(可溶性モノクローナル抗体)                                     |         |            |
| 281 | D009<br>の31 | S2, 3PSA%  | (前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合)前回の実施日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。   | 850190220  | 前回実施年月日(S2, 3PSA%);(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         | ※          |
|     |             |  |   | 820190494  | 初回(S2, 3PSA%)   |         | ※          |
|     |             |  | 前立腺特異抗原(PSA)の測定年月日及び測定結果を記載すること。  | 850190221  | 前立腺特異抗原(PSA)の測定年月日(S2, 3PSA%);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                  |         | ※          |
|     |             |  |   | 830100838  | 前立腺特異抗原(PSA)の測定結果(S2, 3PSA%);*****  |         | ※          |
|     |             | (2回以上算定する場合)必要性を記載すること。  | 830100839   | 2回以上算定する必要性(S2, 3PSA%);*****                                   |   | ※       |            |
| 282 | D009<br>の32 | プロステートヘルスイデックス(phi)  | (前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合)前回の実施日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。   | 850190051  | 前回実施年月日(プロステートヘルスイデックス(phi));(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                   |         |            |
|     |             |  |   | 820190056  | 初回(プロステートヘルスイデックス(phi))   |         |            |
|     |             |  | 前立腺特異抗原(PSA)の測定年月日及び測定結果を記載すること。  | 850100436  | 前立腺特異抗原(PSA)の測定年月日(プロステートヘルスイデックス(phi));(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|     |             |  |   | 830100494  | 前立腺特異抗原(PSA)の測定結果(プロステートヘルスイデックス(phi));*****                                      |         |            |
|     |             | (2回以上算定する場合)必要性を記載すること。  | 830100495   | 2回以上算定する必要性(プロステートヘルスイデックス(phi));*****                         |   |         |            |
| 283 | D009<br>の35 | アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム                                 | 本検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。  | 830100840  | 必要と判断した医学的根拠(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);*****                                |         | ※          |
|     |             |  | (本検査を、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第1部第1節D009腫瘍マーカーの(28)アの(イ)及び(ハ)に実施する場合)CA19-9の測定年月日及び測定結果を、記載すること。 | 850190222  | CA19-9の測定年月日(アの(イ)に実施)(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);(元号)yy"年"mm"月"dd"日         |         | ※          |
|     |             |  |   | 830100841  | CA19-9の測定結果(アの(イ)に実施)(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);*****                       |         | ※          |
|     |             |  |   | 850190223  | 癌胎児性抗原(CEA)の測定年月日(アの(ロ)(ハ)に実施)(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         | ※          |
|     |             |  |   | 850190224  | CA19-9の測定年月日(アの(ロ)(ハ)に実施)(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);(元号)yy"年"mm"月"dd"日      |         | ※          |
|     |             |  |   | 830100842  | 癌胎児性抗原(CEA)の測定結果(アの(ロ)(ハ)に実施)(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);*****               |         | ※          |
|     |             | CA19-9の測定結果(アの(ロ)(ハ)に実施)(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);***** | 830100843   | CA19-9の測定結果(アの(ロ)(ハ)に実施)(アポリipoprotein A2(APOA2)アイソフォーム);***** |   | ※       |            |
| 284 | D011<br>の4  | 不規則抗体  | 輸血症あり又は妊娠歴ありのうち該当するものを選択して記載すること。   | 820100137  | 輸血症あり   |         |            |
|     |             |  |   | 820100138  | 妊娠歴あり   |         |            |
| 285 | D012<br>の16 | HIV-1, 2抗体定性<br>HIV-1, 2抗体半定量<br>HIV-1, 2抗原・抗体同時測定定性           | (K920輸血料(「4」の自己血輸血を除く。)を算定した患者又は血漿成分製剤(新鮮液状血漿、新鮮凍結人血漿等)の輸注を行った患者の場合)当該輸血又は輸注が行われた最終年月日を記載すること。                | 850100165  | 輸血又は輸注最終年月日(HIV-1, 2抗体定性);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                      |         |            |
|     |             |  |   | 850100166  | 輸血又は輸注最終年月日(HIV-1, 2抗体半定量);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                     |         |            |
|     |             |  |   | 850100167  | 輸血又は輸注最終年月日(HIV-1, 2抗原・抗体同時測定定性);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                               |         |            |
| 286 | D012<br>の17 | HIV-1抗体  | (K920輸血料(「4」の自己血輸血を除く。)を算定した患者又は血漿成分製剤(新鮮液状血漿、新鮮凍結人血漿等)の輸注を行った患者の場合)当該輸血又は輸注が行われた最終年月日を記載すること。                | 850100168  | 輸血又は輸注最終年月日(HIV-1抗体);(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         |            |
| 287 | D012<br>の20 | HIV-1, 2抗原・抗体同時測定定量<br>HIV-1, 2抗体定量                            | (K920輸血料(「4」の自己血輸血を除く。)を算定した患者又は血漿成分製剤(新鮮液状血漿、新鮮凍結人血漿等)の輸注を行った患者の場合)当該輸血又は輸注が行われた最終年月日を記載すること。                | 850100169  | 輸血又は輸注最終年月日(HIV-1, 2抗原・抗体同時測定定量);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                               |         |            |
|     |             |  |   | 850100170  | 輸血又は輸注最終年月日(HIV-1, 2抗体定量);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                      |         |            |
| 288 | D012<br>の28 | SARS-CoV-2抗原定性   | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断がつかない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。                                | 830100500  | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2抗原定性);*****   |         |            |

| 項番        | 区分   | 診療行為名称等                               | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード       | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--|---------------------------------------|---|------------------------|--|---------|------------|
| 289       | D012の39                                    | 単純ヘルペスウイルス抗原定性(皮膚)                    | (医学的な必要性から、本検査を2回以上算定する場合)その理由を記載すること。  | 830100844              | 2回以上算定する理由(単純ヘルペスウイルス抗原定性(皮膚));*****                         |         | ※          |
| 290       | D012の50                                    | SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出定性        | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断がつかない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。  | 830100503              | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出定性);*****        |         |            |
| 291       | D012の53                                    | 白黴菌抗原定性                               | (KOH直接鏡検が陰性であったものの、臨床所見等から爪白癬が疑われる場合)検査を実施した医学的な必要性を記載すること。<br>(KOH直接鏡検が実施できない場合)KOH直接鏡検を実施できない理由を記載すること。   | 830100496<br>830100497 | 医学的な必要性(白黴菌抗原定性);*****<br>KOH直接鏡検を実施できない理由(白黴菌抗原定性);*****    |         |            |
| 292       | D012の57                                    | サイトメガロウイルスpp65抗原定性                    | (高度細胞性免疫不全の患者に対して算定した場合)当該検査が必要であった理由を記載すること。   | 830100456              | 高度細胞性免疫不全に対して算定した必要性理由(サイトメガロウイルスpp65抗原定性);*****             |         |            |
| 293       | D012の59                                    | SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出定性             | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19又はRSウイルス感染以外の診断がつかない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。  | 830100845              | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出定性);*****             |         | ※          |
| 294       | D012の59                                    | SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス・RSウイルス抗原同時検出定性 | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断がつかない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。  | 830100846              | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス・RSウイルス抗原同時検出定性);***** |         | ※          |
| 295       | D012の61                                    | SARS-CoV-2抗原検出定量                      | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断がつかない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。  | 830100501              | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2抗原検出定量);*****                      |         |            |
| 296       | D012の65                                    | 鳥特異的IgG抗体                             | 検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。   | 830100498              | 検査が必要と判断した医学的根拠(鳥特異的IgG抗体);*****                             |         |            |
| 297       | D012の66                                    | 抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体                  | (2回以上算定する場合)必要性を記載すること。   | 830100499              | 2回以上算定する必要性(抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体);*****                      |         |            |
| 298       | D014の24                                    | 抗シトルリン化ペプチド抗体定性<br>抗シトルリン化ペプチド抗体定量    | (関節リウマチの確定診断がつかず抗シトルリン化ペプチド抗体定性又は定量を2回以上算定する場合)未確」と表示し、当該検査の実施年月日及び検査値をすべて記載すること。   | 850100171              | 検査の実施年月日(抗シトルリン化ペプチド抗体定性):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|           |  |                                       |   | 850100172              | 検査の実施年月日(抗シトルリン化ペプチド抗体定量):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|           |  |                                       |   | 842100050              | 未確 検査値(抗シトルリン化ペプチド抗体定性);*****                                |         |            |
|           |  |                                       |   | 842100051              | 未確 検査値(抗シトルリン化ペプチド抗体定量);*****                                |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100128              | 検査を2回以上算定する医学的な必要性(抗シトルリン化ペプチド抗体定性);*****                    |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100129              | 検査を2回以上算定する医学的な必要性(抗シトルリン化ペプチド抗体定量);*****                    |         |            |
| 299       | D014の28                                    | 抗LKM-1抗体                              | 抗核抗体陰性を確認した年月日を記載すること。  | 850100173              | 抗核抗体陰性確認年月日(抗LKM-1抗体):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                     |         |            |
| 300       | D014の47                                    | 抗アコアポリン4抗体                            | (抗アコアポリン4抗体を再度実施した場合)前回の検査実施日及び検査を再度実施する医学的な必要性を記載すること。   | 850100174              | 前回実施年月日(抗アコアポリン4抗体):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                       |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100130              | 再度実施する医学的な必要性(抗アコアポリン4抗体);*****                              |         |            |
| 301       | D014の47                                    | 抗P/Q型電位依存性カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)    | (反復刺激誘発筋電図検査において異常所見を認めない患者を対象として実施する場合)その詳細な理由を記載すること。   | 830100504              | 医学的な必要性(抗P/Q型電位依存性カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体));*****            |         |            |
| 302       | D014の48                                    | 抗HLA抗体(スクリーニング検査)                     | (1年に2回以上実施する場合)その理由及び医学的な必要性を記載すること。  | 830100131              | 1年に2回以上実施する医学的な必要性(抗HLA抗体(スクリーニング検査));*****                  |         |            |
| 303       | D014の49                                    | 抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)                     | (1年に2回以上実施する場合)その理由及び医学的な必要性を記載すること。  | 830100132              | 1年に2回以上実施する医学的な必要性(抗HLA抗体(抗体特異性同定検査));*****                  |         |            |
| 304       | D015の17                                    | インターロイキン-6(IL-6)                      | 実施した年月日を記載すること。<br>(3回以上算定する場合)その詳細な理由を記載すること。  | 850100437              | 実施年月日(インターロイキン-6(IL-6)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100762              | 3回以上算定する詳細な理由(インターロイキン-6(IL-6));*****                        |         |            |
| 305       | D015の28                                    | sFlt-1/PIGF比                          | リスク因子のいずれに該当するかを記載すること。<br><br>(1年)に2回以上実施する場合)その理由及び医学的な必要性を記載すること。<br><br>(1年に2回以上実施する場合)その理由及び医学的な必要性を記載すること。<br><br>(1年に2回以上実施する場合)その理由及び医学的な必要性を記載すること。<br><br>(リスク因子を2つ以上有する妊婦において算定する場合)詳細な理由を記載すること。<br><br>(一連の妊婦につき2回以上算定する場合)詳細な理由を記載すること。 | 820100860              | (イ) 収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧80mmHg以上(sFlt-1/PIGF比)             |         |            |
|           |  |                                       |   | 820100861              | (ロ) 蛋白尿(sFlt-1/PIGF比)  |         |            |
|           |  |                                       |   | 820100862              | (ハ) 妊婦高血圧腎症を疑う臨床症状又は検査所見(sFlt-1/PIGF比)                       |         |            |
|           |  |                                       |   | 820100863              | (ニ) 子宮内胎児発育遅延(sFlt-1/PIGF比)                                  |         |            |
|           |  |                                       |   | 820100864              | (ホ) 子宮内胎児発育遅延を疑う検査所見(sFlt-1/PIGF比)                           |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100506              | (ハ)に該当する医学的根拠(sFlt-1/PIGF比);*****                            |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100507              | (ホ)に該当する医学的根拠(sFlt-1/PIGF比);*****                            |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100508              | 医学的必要性(リスク因子を2つ以上有する妊婦)(sFlt-1/PIGF比);*****                  |         |            |
| 830100509 | 医学的必要性(一連の妊婦につき2回以上算定)(sFlt-1/PIGF比);***** |                                       |   |                        |  |         |            |
| 306       | D016の8                                     | 顆粒球表面抗原検査                             | 本検査を実施した場合には、「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成26年11月12日付け健発1112第1号厚生労働省健康局長通知)において示されている診断基準に基づいて、当該疾患を疑う根拠を記載すること。  | 830100847              | 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症を疑う根拠(顆粒球表面抗原検査);*****          |         | ※          |
| 307       | D017                                       | 排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査                  | (排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査、尿沈渣(鏡検法)又は尿沈渣(フローサイトメトリー法)を同一日に併せて算定する場合)当該検査に用いた検体の種類を記載すること。  | 830100133              | 検体の種類(S-蛍光M、位相差M、暗視野M);*****                                 |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100134              | 検体の種類(S-M);*****   |         |            |
|           |  |                                       |   | 830100135              | 検体の種類(S-保温装置使用A-M);*****                                     |         |            |
| 308       | D023の4                                     | HBV核酸定量                               | (B型肝炎ウイルス既感染者であって、免疫抑制剤の投与や化学療法を行っている悪性リンパ腫等の患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、「4」のHBV核酸定量を行った場合)治療中又は治療終了年月日を記載すること。  | 850100438              | 治療終了年月日(HBV核酸定量):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          |         |            |
|           |  |                                       |   | 820100865              | B型肝炎ウイルス既感染者であって、免疫抑制剤の投与や化学療法を行っている悪性リンパ腫等の患者の治療中(HBV核酸定量)  |         |            |
| 309       | D023の6                                     | インフルエンザ核酸検出                           | 当該検査が必要である理由を記載すること。  | 820101181              | ア 5歳未満の幼児(インフルエンザ核酸検出)                                       |         | ※          |
|           |  |                                       |   | 820101182              | イ 65歳以上の高齢者(インフルエンザ核酸検出)                                     |         | ※          |
|           |  |                                       |   | 820101183              | ウ 妊婦(インフルエンザ核酸検出)  |         | ※          |
|           |  |                                       |   | 820101184              | エ その他重症化リスクのある患者(インフルエンザ核酸検出)                                |         | ※          |
|           |  |                                       |   | 820100139              | ア 臓器移植後の患者   |         |            |
| 820100140 | イ 造血幹細胞移植後の患者で留意事項通知に規定するもの                |                                       |   |                        |  |         |            |

| 項番        | 区分                                  | 診療行為名称等                                 | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード                        | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|-------------------------------------|---|--|---|---|---------|------------|
| 310       | D023の8                              | EBウイルス核酸定量                              | <p>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D023微生物核酸定量検査の(7)のAからCまでに規定するものの中から該当するものを選択して記載し、併せて、該当するものに応じて、以下の事項を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aに該当する場合、臓器移植の実施年月日</li> <li>・Bに該当する場合、造血幹細胞移植の実施年月日</li> <li>・Cに該当する場合、抗胸腺細胞グロブリンの投与開始日</li> <li>・Eのうち移植後リンパ増殖性疾患の経過経過観察を目的として実施する場合、移植後リンパ増殖性疾患と診断された年月日及び医学的根拠</li> <li>・オのうちEBウイルス陽性が確認された後の経過経過観察を目的として実施する場合、EBウイルス陽性を確認した年月日及び医学的根拠</li> <li>・カに該当する場合、抗胸腺細胞グロブリンの投与開始日</li> <li>・キに該当する場合、医学的根拠</li> </ul> | 820100141                               | ウ 留意事項通知に規定する抗胸腺細胞グロブリンが投与された患者                                     |         |            |
|           |                                     |   |  | 820100142                               | エ 移植後リンパ増殖性疾患患者(経過観察目的)   |         |            |
|           |                                     |   |  | 820100143                               | オ 悪性リンパ腫又は白血病の患者(経過観察目的)  |         |            |
|           |                                     |   |  | 820100144                               | カ 再生不良性貧血の患者で抗胸腺細胞グロブリンが投与されたもの                                     |         |            |
|           |                                     |   |  | 820100145                               | キ 慢性活動性EBウイルス感染症等の患者  |         |            |
|           |                                     |   |  | 820101185                               | ク 上咽頭癌の患者   |         | ※          |
|           |                                     |   |  | 850100175                               | 臓器移植実施年月日(EBウイルス核酸定量):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                            |         |            |
|           |                                     |   |  | 850100176                               | 造血幹細胞移植実施年月日(EBウイルス核酸定量):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
|           |                                     |   |  | 850100177                               | 移植後リンパ増殖性疾患と診断された年月日(EBウイルス核酸定量):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|           |                                     |   |  | 850100178                               | EBウイルス陽性を確認した年月日(EBウイルス核酸定量):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                     |         |            |
|           |                                     |   |  | 850100179                               | 抗胸腺細胞グロブリンの投与開始年月日(EBウイルス核酸定量):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
|           |                                     |   |  | 830100136                               | 移植後リンパ増殖性疾患と診断した医学的根拠(EBウイルス核酸定量):*****                             |         |            |
|           |                                     |   |  | 830100137                               | EBウイルス陽性を確認した医学的根拠(EBウイルス核酸定量):*****                                |         |            |
| 830100848 | 留意事項通知キに該当する医学的根拠(EBウイルス核酸定量):***** |   | ※  |   |   |         |            |
| 311       | D023の16                             | HTLV-1核酸検出                              | HTLV-1抗体(ウエスタンブロット法及びライソブロット法)の判定保留を確認した年月日を記載すること。  | 850100180                               | HTLV-1抗体判定保留確認年月日(HTLV-1核酸検出):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                    |         |            |
| 312       | D023の17                             | サイトメガロウイルス核酸定量                          | (高度細胞性免疫不全の患者に算定する場合)検査が必要であった理由について記載すること。  | 830100513                               | 検査が必要なる理由(サイトメガロウイルス核酸定量):*****                                     |         |            |
| 313       | D023の19                             | SARS-CoV-2核酸検出                          | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。   | 830100511                               | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2核酸検出):*****                               |         |            |
| 314       | D023の19                             | SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出                | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。   | 830100518                               | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2・インフルエンザ核酸同時検出):*****                     |         |            |
| 315       | D023の19                             | SARS-CoV-2・RSウイルス核酸同時検出                 | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。   | 830100849                               | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2・RSウイルス核酸同時検出):*****                      |         | ※          |
| 316       | D023の19                             | SARS-CoV-2・インフルエンザ・RSウイルス核酸同時検出         | (本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合であって、さらに1回算定した場合)検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。   | 830100850                               | 検査が必要と判断した医学的根拠(SARS-CoV-2・インフルエンザ・RSウイルス核酸同時検出):*****              |         | ※          |
| 317       | D023の22                             | ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの) | 検査を実施した年月日を記載すること。   | 850100181                               | 検査実施年月日(ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         |            |
|           |                                     |   | (「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D023の17ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)(32)のイの(ロ)に該当する場合)治療内容を記載すること。  | 830100140                               | 治療内容(ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)):*****                 |         |            |
| 318       | D023の23                             | ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含む。)    | 検査が必要と判断した医学的根拠を記載すること。  | 830100515                               | 検査が必要と判断した医学的根拠(ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含む。)):*****         |         |            |
| 319       | D023の24                             | 細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出                        | 関連学会が定める敗血症診断基準に基づいて、敗血症を疑う根拠を記載すること。  | 830100141                               | 敗血症を疑う根拠(細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出):*****                                    |         |            |
| 320       | D023の24                             | ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)                    | 髄膜炎又は脳炎を疑う臨床症状又は検査所見及び医学的な必要性を詳細に記載すること。   | 830100851                               | 髄膜炎又は脳炎を疑う臨床症状又は検査所見及び医学的な必要性(ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)):*****           |         | ※          |
| 321       | D023の25                             | HPVジェノタイプ判定                             | あらかじめ行われた組織診断の実施日及び組織診断の結果、CIN1又はCIN2のいずれに該当するかを記載すること。  | 850190225                               | あらかじめ行われた組織診断の実施日(HPVジェノタイプ判定):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         | ※          |
|           |                                     |   |  | 820100146                               | CIN1  |         |            |
|           |                                     |   |  | 820100147                               | CIN2  |         |            |
|           |                                     | (当該検査の2回目以降を算定した場合)前回実施年月日を記載すること。      | 850100182  | 前回実施年月日(HPVジェノタイプ判定):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |   |         |            |
| 322       | D026                                | 検体検査判断料の遺伝カウンセリング加算                     | (BRCA1/2遺伝子検査を行った保険医療機関と遺伝カウンセリングを行った保険医療機関とが異なる場合)遺伝カウンセリングを行った保険医療機関名と当該医療機関を受診した年月日を記載すること。   | 830100142                               | 遺伝カウンセリングを行った保険医療機関名(遺伝カウンセリング加算):*****                             |         |            |
|           |                                     |   |  | 850100183                               | 遺伝カウンセリングを行った保険医療機関の受診年月日(遺伝カウンセリング加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
| 323       | D210-3                              | 植込型心電図検査                                | 心電図が記録されていた時間を記載すること。  | 852100006                               | 心電図が記録されていた時間(植込型心電図検査)   |         |            |
| 324       | D211-3                              | 時間内歩行試験                                 | 過去の実施年月日を記載すること。   | 850100184                               | 過去実施年月日(時間内歩行試験):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                 |         |            |
| 325       | D211-4                              | シャトルウォーキングテスト                           | 過去の実施年月日、在宅酸素療法の実施の有無又は流量の変更を含む患者の治療方針を記載すること。   | 850100185                               | 過去実施年月日(シャトルウォーキングテスト):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                           |         |            |
|           |                                     |   |  | 830100143                               | 在宅酸素療法の実施の有無又は流量の変更を含む患者の治療方針(シャトルウォーキングテスト):*****                  |         |            |

| 項番  | 区分       | 診療行為名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード                           | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|----------|---|---|--|---|---------|------------|
| 326 | D215     | 超音波検査(記録に要する費用を含む。)2断層撮影法(心臓超音波検査を除く。)ロ その他の場合(1) 胸腹部 | 検査を行った領域を記載すること。  | 820100681                                  | 超音波検査(断層撮影法)(胸腹部):ア 消化器領域                                     |         |            |
|     |          |   |   | 820100682                                  | 超音波検査(断層撮影法)(胸腹部):イ 腎・泌尿器領域                                   |         |            |
|     |          |   |   | 820100683                                  | 超音波検査(断層撮影法)(胸腹部):ウ 女性生殖器領域                                   |         |            |
|     |          |   |   | 820100684                                  | 超音波検査(断層撮影法)(胸腹部):エ 血管領域(大動脈・大静脈等)                            |         |            |
|     |          |   |   | 820100685                                  | 超音波検査(断層撮影法)(胸腹部):オ 腹腔内・胸腔内の貯留物等                              |         |            |
|     |          |   |   | 820100686                                  | 超音波検査(断層撮影法)(胸腹部):カ その他                                       |         |            |
|     |          | (カに該当する場合)具体的な臓器又は領域を記載すること。                          | 830100144   | 具体的な臓器又は領域:*****                           |   |         |            |
| 327 | D215-2   | 肝硬度測定   | (3月に2回以上算定する場合)その理由及び詳細な医学的根拠を算定すること。<br>(肝硬度測定、超音波エラストグラフィ及び超音波減衰法検査について、同一の患者につき、当該検査実施日より3月以内において、医学的な必要性から別に算定する必要がある場合)その理由及び医学的根拠を詳細に記載すること。  | 830100145                                  | 3月に2回以上算定する理由・医学的根拠(肝硬度測定):*****                              |         |            |
|     |          |   |   | 830100147                                  | 別に算定する理由及び医学的根拠(肝硬度測定):*****                                  |         |            |
| 328 | D215-3   | 超音波エラストグラフィ   | (3月に2回以上算定する場合)その理由及び詳細な医学的根拠を算定すること。<br>(肝硬度測定、超音波エラストグラフィ及び超音波減衰法検査について、同一の患者につき、当該検査実施日より3月以内において、医学的な必要性から別に算定する必要がある場合)その理由及び医学的根拠を詳細に記載すること。  | 830100146                                  | 3月に2回以上算定する理由・医学的根拠(超音波エラストグラフィ):*****                        |         |            |
|     |          |   |   | 830100148                                  | 別に算定する理由及び医学的根拠(超音波エラストグラフィ):*****                            |         |            |
| 329 | D215-4   | 超音波減衰法検査  | (肝硬度測定、超音波エラストグラフィ及び超音波減衰法検査について、同一の患者につき、当該検査実施日より3月以内において、医学的な必要性から別に算定する必要がある場合)その理由及び医学的根拠を詳細に記載すること。<br>(脂肪性肝疾患の患者であって慢性肝炎又は肝硬変の疑いがある者に対し、肝臓の脂肪量を評価した場合)前回の実施年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。                 | 850190052                                  | 前回実施年月日(超音波減衰法検査):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          |         |            |
|     |          |   |   | 820190057                                  | 初回(超音波減衰法検査)  |         |            |
| 330 | D220     | 呼吸心拍監視、新生児心拍呼吸監視、カルジオスコop(ハートスコop)、カルジオタコスop          | 算定開始年月日を記載すること。   | 850100186                                  | 算定開始年月日(呼吸心拍監視等):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                           |         |            |
| 331 | D231-2   | 皮下連続式グルコース測定  | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D231-2皮下連続式グルコース測定の(2)のア又はイに規定するものうち、該当するものを選択して記載すること。   | 820100151                                  | ア 留意事項通知に規定する1型糖尿病患者(検査)                                      |         |            |
|     |          |   |   | 820100152                                  | イ 留意事項通知に規定する2型糖尿病患者(検査)                                      |         |            |
| 332 | D236-2の1 | 光トポグラフィ<br>1 脳外科手術の術前検査に使用するもの                        | 手術実施年月日又は手術実施予定年月日を記載すること。<br><br>(手術が行われなかった場合)その理由を記載すること。  | 850100187                                  | 手術実施年月日(光トポグラフィ(脳外科手術前検査)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|     |          |   |   | 850100188                                  | 手術予定年月日(光トポグラフィ(脳外科手術前検査)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|     |          |   |   | 830100149                                  | 手術が行われなかった理由(光トポグラフィ(脳外科手術前検査)):*****                         |         |            |
| 333 | D236-2の2 | 光トポグラフィ<br>2 抑うつ症状の鑑別診断の補助に使用するもの                     | 当該検査が必要な理由及び前回の実施年月日(該当する患者に限る。)を記載すること。  | 830100150                                  | 検査の必要理由(光トポグラフィ(抑うつ症状の鑑別診断)):*****                            |         |            |
|     |          |   |   | 850100189                                  | 前回実施年月日(光トポグラフィ(抑うつ症状の鑑別診断)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |         |            |
| 334 | D236-3の1 | 脳磁図 1 自発活動を測定するもの                                     | 手術実施年月日又は手術実施予定年月日を記載すること。<br><br>(手術が行われなかった場合)その理由を記載すること。  | 850100190                                  | 手術実施日(脳磁図(自発活動を測定するもの)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                    |         |            |
|     |          |   |   | 850100191                                  | 手術実施予定日(脳磁図(自発活動を測定するもの)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |         |            |
| 335 | D236-3の2 | 脳磁図 2 その他のもの  | 検査の医学的な必要性及び結果の概要を記載すること。   | 830100151                                  | 手術が行われなかった理由(脳磁図(その他のもの)):*****                               |         |            |
|     |          |   |   | 830100152                                  | 検査の医学的な必要性(脳磁図(その他のもの)):*****                                 |         |            |
|     |          |   |   | 830100153                                  | 結果の概要(脳磁図(その他のもの)):*****                                      |         |            |
| 336 | D237の3のイ | 終夜睡眠ポリグラフィ 3 1及び2以外の場合 イ 安全精度管理下で行うもの                 | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D237終夜睡眠ポリグラフィの(3)の(イ)から(ホ)までのいずれかの要件を満たす医学的根拠を記載すること。<br><br>次の事項を記載すること。<br><br>(合併症を有する睡眠関連呼吸障害の患者に対して実施した場合)継続的な治療の内容、BMI又は日常生活の状況等の当該検査を実施する医学的な必要性について記載すること。 | 830100154                                  | (イ)の要件を満たす医学的根拠(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****            |         |            |
|     |          |   |   | 830100155                                  | (ロ)の要件を満たす医学的根拠(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****            |         |            |
|     |          |   |   | 830100156                                  | (ハ)の要件を満たす医学的根拠(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****            |         |            |
|     |          |   |   | 830100157                                  | (ニ)の要件を満たす医学的根拠(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****            |         |            |
|     |          |   |   | 830100778                                  | (ホ)の要件を満たす医学的根拠(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****            |         |            |
|     |          |   |   | 830100521                                  | 安全精度管理を要した患者の診断名(疑い病名を含む。)(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):***** |         |            |
|     |          |   |   | 830100522                                  | 検査中の安全精度管理に係る検査結果の要点(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****       |         |            |
|     |          |   |   | 830100523                                  | 継続的な治療の内容(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****                  |         |            |
|     |          |   | 830100524   | BMI(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):*****     |   |         |            |
|     |          |   | 830100525   | 医学的な必要性(終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)(安全精度管理下)):***** |   |         |            |
| 337 | D239の2   | 筋電図検査 2 誘発筋電図   | 検査を行った神経名を記載すること。(感覚・運動の別、左・右の別を記載すること。)  | 830100158                                  | 正中神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100159                                  | 尺骨神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100160                                  | 腓腹神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100161                                  | 脛骨神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100162                                  | 腓骨神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100163                                  | 顔面神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100164                                  | 橈骨神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100165                                  | 三叉神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100166                                  | 腋窩神経(誘発筋電図):*****   |         |            |
|     |          |   |   | 830100167                                  | その他(誘発筋電図):*****  |         |            |

| 項番        | 区分   | 診療行為名称等                          | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--|----------------------------------|---|------------------|--|---------|------------|
| 338       | D239の4   | 筋電図検査 4 単線維筋電図(一連につき)            | 検査実施年月日、実施医療機関の名称、診断名(疑いを含む。)及び当該検査を行う医学的必要性の症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 850190226        | 検査実施年月日(単線維筋電図):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         | ※          |
|           |  |                                  |   | 830100852        | 実施医療機関の名称(単線維筋電図):*****                                    |         | ※          |
|           |  |                                  |   | 830100853        | 診断名(疑いを含む。)(単線維筋電図):*****                                  |         | ※          |
|           |  |                                  |   | 830100854        | 検査を行う医学的必要性(単線維筋電図):*****                                  |         | ※          |
| 339       | D245   | 鼻腔通気度検査                          | 当該検査に関連する手術名及び手術実施年月日(手術前に当該検査を実施した場合においては手術実施予定年月日)を記載すること。  | 830100168        | 鼻腔通気度検査に関連する手術名(鼻腔通気度検査):*****                             |         |            |
|           |  |                                  |   | 850100192        | 手術実施年月日(鼻腔通気度検査):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|           |  |                                  |   | 850100193        | 手術予定年月日(鼻腔通気度検査):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
| 340       | D258-2   | 網膜機能精密電気生理検査                     | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D258-2網膜機能精密電気生理検査の(1)から(3)までに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。(1)又は(2)を記載した場合は、直近の算定月日(初回であればその旨)、(3)を記載した場合は手術施行(予定を含む。)年月日を記載すること。                      | 820100153        | (1) 留意事項通知に規定する患者に対する黄斑疾患の診断目的                             |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100154        | (2) 黄斑ジストロフィーの診断目的   |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100155        | (3) 網膜手術の前後  |         |            |
|           |  |                                  |   | 850190007        | 前回算定年月日(網膜機能精密電気生理検査):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
|           |  |                                  |   | 820190007        | 初回(網膜機能精密電気生理検査)   |         |            |
|           |  |                                  |   | 850100194        | 手術実施年月日(網膜機能精密電気生理検査):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
|           |  |                                  |   | 850100195        | 手術予定年月日(網膜機能精密電気生理検査):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
| 341       | D258-3   | 黄斑局所網膜電図、全視野精密網膜電図               | (黄斑局所網膜電図又は全視野精密網膜電図を年2回以上算定する場合)その医学的必要性を記載すること。   | 830100169        | 年2回以上算定する医学的必要性(黄斑局所網膜電図):*****                            |         |            |
|           |  |                                  |   | 830100170        | 年2回以上算定する医学的必要性(全視野精密網膜電図):*****                           |         |            |
| 342       | D282-4   | ダーモスコピー                          | (新たに他の病変で検査を行う場合)医学的必要性から4月に2回以上算定するときはその理由を記載すること。   | 830100763        | 新たな他の病変で4月に2回以上算定する理由(ダーモスコピー):*****                       |         |            |
| 343       | D285   | 認知機能検査その他の心理検査 1 操作が容易なものイ 簡易なもの | (3月以内に2回以上算定する場合)その理由及び医学的根拠を詳細に記載すること。<br><br>前回の実施年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。   | 830100171        | その理由及び医学的根拠(認知機能検査1 簡易なもの):*****                           |         |            |
|           |  |                                  |   | 850190053        | 前回実施年月日(認知機能検査その他の心理検査1操作が容易なものイ 簡易なもの):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         |            |
|           |  |                                  |   | 820190058        | 初回(認知機能検査その他の心理検査1操作が容易なものイ 簡易なもの)                         |         |            |
| 344       | D310の3   | 小腸内視鏡検査 3 カプセル型内視鏡によるもの          | 当該患者の症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100172        | 小腸内視鏡検査(カプセル型内視鏡)症状詳細:*****                                |         |            |
| 345       | D310注2   | 小腸内視鏡検査 内視鏡的留置術加算                | 当該患者の症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100527        | 小腸内視鏡検査(内視鏡的留置術加算)症状詳細:*****                               |         |            |
| 346       | D313の2   | 大腸内視鏡検査 2 カプセル型内視鏡によるもの          | 当該患者の症状詳細を記載すること。さらに、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第3部D313大腸内視鏡検査の(2)の(ア)から(ウ)までに規定するものうち、該当するものを選択して記載するとともに、(ア)の場合は実施日を、イ又はウの場合は実施困難な理由を記載すること。症状詳細については、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。 | 820100156        | ア 大腸ファイバースコープでは回盲部まで到達できなかった患者                             |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100157        | イ 器質的異常により大腸ファイバースコープが困難と判断された患者                           |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100805        | ウ 身体的負担により大腸ファイバースコープが実施困難であると判断された患者                      |         |            |
|           |  |                                  |   | 850100196        | 大腸内視鏡検査の実施年月日(大腸内視鏡検査(カプセル型内視鏡)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |         |            |
| 830100173 | 大腸内視鏡検査が困難な理由(大腸内視鏡検査(カプセル型内視鏡)):*****           |                                  |   |                  |  |         |            |
| 347       | D313注3   | 大腸内視鏡検査 バルーン内視鏡加算                | 当該患者の症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100528        | 大腸内視鏡検査(バルーン内視鏡加算)症状詳細:*****                               |         |            |
| 348       | D313注4   | 大腸内視鏡検査 内視鏡的留置術加算                | 当該患者の症状詳細を添付すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100529        | 大腸内視鏡検査(内視鏡的留置術加算)症状詳細:*****                               |         |            |
| 349       | D414   | 内視鏡下生検法                          | 「1臓器」の取扱いについては、「N000」病理組織標本作製(1臓器につき)に準ずる。「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第13部N000病理組織標本作製の(1)の(ア)から(ケ)までのいずれかを選択し記載する。なお、選択する臓器又は部位がない場合は(コ)その他を選択し、具体的部位等を記載すること。                      | 820100866        | ア 気管支及び肺臓  |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100867        | イ 食道   |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100868        | ウ 胃及び十二指腸  |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100869        | エ 小腸   |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100870        | オ 盲腸   |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100871        | カ 上行結腸、横行結腸及び下行結腸  |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100872        | キ S状結腸   |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100873        | ク 直腸   |         |            |
|           |  |                                  |   | 820100874        | ケ 子宮体部及び子宮頸部   |         |            |
|           |  |                                  |   | 830100612        | コ その他:*****  |         |            |
|           |  |                                  |   |                  |  |         |            |
| 820190008 | 初回(アルブミン定量(尿))                                   |                                  |   |                  |  |         |            |
| 850190009 | 前回実施年月日(ミオイノシトール(尿)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日          |                                  |   |                  |  |         |            |
| 820190009 | 初回(ミオイノシトール(尿))                                  |                                  |   |                  |  |         |            |
| 850190227 | 前回実施年月日(プロスタグランジンE主要代謝物(尿)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |                                  | ※   |                  |  |         |            |
| 820190495 | 初回(プロスタグランジンE主要代謝物(尿))                           |                                  | ※   |                  |  |         |            |
| 850190010 | 前回実施年月日(4型コラーゲン(尿)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |                                  |   |                  |  |         |            |
| 820190010 | 初回(4型コラーゲン(尿))                                   |                                  |   |                  |  |         |            |
| 850190011 | 前回実施年月日(シュウ酸(尿)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |                                  |   |                  |  |         |            |
| 820190011 | 初回(シュウ酸(尿))                                      |                                  |   |                  |  |         |            |
| 850190012 | 前回実施年月日(L型脂脂肪酸結合蛋白(L-FABP(尿)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |                                  |   |                  |  |         |            |
| 820190012 | 初回(L-FABP(尿))                                    |                                  |   |                  |  |         |            |



| 項番        | 区分   | 診療行為<br>名称等                   | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                 | 紙レセの<br>み記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|--|-------------------------------|--|----------------------|--|-------------|--------------------|
| 350       | D  | 算定回数が複数月に<br>1回のみとされている<br>検査 | (算定回数が複数月に1回又は年1回のみとされている検査を実施した場合)<br>前回の実施年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること | 850190013            | 前回実施年月日(カルプロテクチン(糞便));(元号)yy"年"mm"月"dd"日         |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190013            | 初回(カルプロテクチン(糞便))                                 |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190014            | 前回実施年月日(免疫関連遺伝子再構成);(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190014            | 初回(免疫関連遺伝子再構成)                                   |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190015            | 前回実施年月日(Mn);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190015            | 初回(Mn)   |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190016            | 前回実施年月日(遊離カルニチン);(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190016            | 初回(遊離カルニチン)                                      |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190017            | 前回実施年月日(総カルニチン);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190017            | 初回(総カルニチン)                                       |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190018            | 前回実施年月日(リポ蛋白(a));(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190018            | 初回(リポ蛋白(a))                                      |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190019            | 前回実施年月日(ベントシジン);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190019            | 初回(ベントシジン)                                       |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190020            | 前回実施年月日(イヌリン);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190020            | 初回(イヌリン)   |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190021            | 前回実施年月日(シスタチンC);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190021            | 初回(シスタチンC)                                       |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190022            | 前回実施年月日(RLP-C);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190022            | 初回(RLP-C)  |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190228            | 前回実施年月日(ELFスコア);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |             | ※                  |
|           |  |                               |  | 820190496            | 初回(ELFスコア)                                       |             | ※                  |
|           |  |                               |  | 850190023            | 前回実施年月日(MDA-LDL);(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190023            | 初回(MDA-LDL)                                      |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190054            | 前回実施年月日( $\beta$ -CTX(尿));(元号)yy"年"mm"月"dd"日     |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190059            | 初回( $\beta$ -CTX(尿))                             |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190024            | 前回実施年月日( $\beta$ -CTX);(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190024            | 初回( $\beta$ -CTX)                                |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190025            | 前回実施年月日(抗RNAポリメラーゼ3抗体);(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190025            | 初回(抗RNAポリメラーゼ3抗体)                                |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190026            | 前回実施年月日(抗HLA抗体(スクリーニング検査));(元号)yy"年"mm"月"dd"日    |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190026            | 初回(抗HLA抗体(スクリーニング検査))                            |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190027            | 前回実施年月日(抗HLA抗体(抗体特異性同定検査));(元号)yy"年"mm"月"dd"日    |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190027            | 初回(抗HLA抗体(抗体特異性同定検査))                            |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190028            | 前回実施年月日(トランスフェリン(尿));(元号)yy"年"mm"月"dd"日          |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190028            | 初回(トランスフェリン(尿))                                  |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190029            | 前回実施年月日(HIVジェノタイプ薬剤耐性);(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190029            | 初回(HIVジェノタイプ薬剤耐性)                                |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190030            | 前回実施年月日(肝硬度測定);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190030            | 初回(肝硬度測定)  |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190031            | 前回実施年月日(超音波エラストグラフィ);(元号)yy"年"mm"月"dd"日          |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190031            | 初回(超音波エラストグラフィ)                                  |             |                    |
|           |  |                               |  | 850190032            | 前回実施年月日(骨塩定量検査(DEXA法による腰椎撮影));(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |             |                    |
|           |  |                               |  | 820190032            | 初回(骨塩定量検査(DEXA法による腰椎撮影))                         |             |                    |
| 850190229 | 前回実施年月日(骨塩定量検査(REMS法(腰椎)));(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |                               | ※  |                      |  |             |                    |
| 820190497 | 初回(骨塩定量検査(REMS法(腰椎)))                          |                               | ※  |                      |  |             |                    |
| 850190033 | 前回実施年月日(骨塩定量検査(MD法、SEXA法等));(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |                               |  |                      |  |             |                    |
| 820190033 | 初回(骨塩定量検査(MD法、SEXA法等))                         |                               |  |                      |  |             |                    |
| 850190034 | 前回実施年月日(骨塩定量検査(超音波法));(元号)yy"年"mm"月"dd"日       |                               |  |                      |  |             |                    |
| 820190034 | 初回(骨塩定量検査(超音波法))                               |                               |  |                      |  |             |                    |

| 項番        | 区分                   | 診療行為名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                    | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|----------------------|--|--|------------------|---|---------|------------|
|           |                      |  |  | 850190035        | 前回実施年月日(経皮的酸素ガス分圧測定):(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |         |            |
|           |                      |  |  | 820190035        | 初回(経皮的酸素ガス分圧測定)                                     |         |            |
|           |                      |  |  | 850190036        | 前回実施年月日(皮下連続式グルコース測定(診療所)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日       |         |            |
|           |                      |  |  | 820190036        | 初回(皮下連続式グルコース測定(診療所))                               |         |            |
|           |                      |  |  | 850190037        | 前回実施年月日(網膜機能精密電気生理検査(多局所網膜電位図)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
|           |                      |  |  | 820190037        | 初回(網膜機能精密電気生理検査(多局所網膜電位図))                          |         |            |
|           |                      |  |  | 850190038        | 前回実施年月日(ダーモスコピー):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|           |                      |  |  | 820190038        | 初回(ダーモスコピー)   |         |            |
|           |                      |  |  | 850190039        | 前回実施年月日(イヌリンクリアランス測定):(元号)yy"年"mm"月"dd"日            |         |            |
|           |                      |  |  | 820190039        | 初回(イヌリンクリアランス測定)                                    |         |            |
|           |                      |  |  | 850190041        | 前回実施年月日(内服・点滴誘発試験):(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |         |            |
|           |                      |  |  | 820190041        | 初回(内服・点滴誘発試験)                                       |         |            |
| 351       | D                    | 初診、再診又は在宅医療において、患者の診療を担う保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日に訪問看護ステーション等の看護師等が、当該患者に対し検査のための検体採取等を実施した場合 | (初診、再診又は在宅医療において、患者の診療を担う保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日に訪問看護ステーション等の看護師等が、当該患者に対し検査のための検体採取等を実施した場合)当該検体採取が実施された年月日を記載すること。  | 850100197        | 訪問看護ステーション等の看護師等による検体採取実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日     |         |            |
| 352       | D                    | 「制限回数を超えて行う診療」に係る検査を実施した場合   | (「制限回数を超えて行う診療」に係る検査を実施した場合)次の例により「検選」と記載し、当該「制限回数を超えて行う診療」の名称、徴収した特別の料金及び回数を他の検査と区別して記載すること。<br>〔記載例〕<br>末梢血液一般検査 21×1<br>末梢血液像(鏡検法) 25×1<br>(検選)<br>AFP 1,070円×1 | 830100457        | 検選:*****  |         |            |
| 353       | E                    | 画像診断   | 撮影部位を記載すること。<br>※E001写真診断、E200コンピューター断層撮影、E202磁気共鳴コンピューター断層撮影は項番344、349、353のとおり、選択して記載すること。  | 830189300        | 撮影部位(写真診断、コンピューター断層撮影及び磁気共鳴コンピューター断層撮影以外):その他:***** |         |            |
|           | E                    | 時間外緊急院内画像診断加算  | 撮影開始日時を記載すること。   | 853100003        | 撮影開始日時(時間外緊急院内画像診断加算):dd"日"hh"時"mm"分                |         |            |
| 354       | E001                 | 写真診断<br>1 単純撮影   | 撮影部位を選択して記載すること。<br>選択する撮影部位がない場合はその他を選択し、具体的な部位を記載すること。<br>なお、四肢については、左・右・両側の別を記載すること。  | 820181000        | 撮影部位(単純撮影):頭部(副鼻腔を除く。)                              |         |            |
|           |                      |  |  | 820183620        | 撮影部位(単純撮影):頭部(副鼻腔に限る。)                              |         |            |
|           |                      |  |  | 820181100        | 撮影部位(単純撮影):頸部(頸椎を除く。)                               |         |            |
|           |                      |  |  | 820181220        | 撮影部位(単純撮影):胸部(肩を除く。)                                |         |            |
|           |                      |  |  | 820181300        | 撮影部位(単純撮影):腹部                                       |         |            |
|           |                      |  |  | 820181340        | 撮影部位(単純撮影):骨盤(仙骨部・股関節を除く。)                          |         |            |
|           |                      |  |  | 820181120        | 撮影部位(単純撮影):頸椎                                       |         |            |
|           |                      |  |  | 820181240        | 撮影部位(単純撮影):胸椎                                       |         |            |
|           |                      |  |  | 820181310        | 撮影部位(単純撮影):腰椎                                       |         |            |
|           |                      |  |  | 820181320        | 撮影部位(単純撮影):仙骨部                                      |         |            |
|           |                      |  |  | 830181200        | 撮影部位(単純撮影):肩_*****                                  |         |            |
|           |                      |  |  | 830181400        | 撮影部位(単純撮影):上腕_*****                                 |         |            |
|           |                      |  |  | 830181410        | 撮影部位(単純撮影):肘関節_*****                                |         |            |
|           |                      |  |  | 830181420        | 撮影部位(単純撮影):前腕_*****                                 |         |            |
|           |                      |  |  | 830181430        | 撮影部位(単純撮影):手関節_*****                                |         |            |
|           |                      |  |  | 830181440        | 撮影部位(単純撮影):手_*****                                  |         |            |
|           |                      |  |  | 830181370        | 撮影部位(単純撮影):股関節_*****                                |         |            |
|           |                      |  |  | 830181500        | 撮影部位(単純撮影):膝_*****                                  |         |            |
|           |                      |  |  | 830181510        | 撮影部位(単純撮影):大腿_*****                                 |         |            |
|           |                      |  |  | 830181520        | 撮影部位(単純撮影):下腿_*****                                 |         |            |
| 830181530 | 撮影部位(単純撮影):足関節_***** |  |  |                  |   |         |            |
| 830181540 | 撮影部位(単純撮影):足_*****   |  |  |                  |   |         |            |
| 830189000 | 撮影部位(単純撮影):その他:***** |  |  |                  |   |         |            |
| 355       | E                    | コンピューター断層撮影診断科<br>通則4 新生児頭部外傷撮影加算  | 医学的な理由について診療報酬明細書の摘要欄に該当項目を記載すること。また、かに該当する場合は、その詳細な理由及び医学的な必要性を記載すること。  | 820100696        | 該当する項目(新生児頭部外傷撮影加算):ア GCS≤14                        |         |            |
|           |                      |  |  | 820100697        | 該当する項目(新生児頭部外傷撮影加算):イ 頭蓋骨骨折の触知又は徴候                  |         |            |
|           |                      |  |  | 820100698        | 該当する項目(新生児頭部外傷撮影加算):ウ 意識変容(興奮、傾眠、会話の反応が鈍い等)         |         |            |
|           |                      |  |  | 820100699        | 該当する項目(新生児頭部外傷撮影加算):エ 受診後の症状所見の悪化                   |         |            |
|           |                      |  |  | 820100700        | 該当する項目(新生児頭部外傷撮影加算):オ 家族等の希望                        |         |            |
|           |                      |  |  | 820100701        | 該当する項目(新生児頭部外傷撮影加算):カ その他                           |         |            |
|           |                      |  |  | 830100187        | 詳細な理由及び医学的な必要性(新生児頭部外傷撮影加算(カ その他)):*****            |         |            |

| 項番  | 区分       | 診療行為名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード   | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|----------|---|---|--|--|---------|------------|
| 356 | E        | コンピューター断層撮影診断科<br>通則4 乳幼児頭部外傷撮影加算   | 医学的な理由について診療報酬明細書の摘要欄に該当項目を記載すること。また、カに該当する場合は、その詳細な理由及び医学的な必要性を記載すること。                     | 820100702  | 該当する項目(乳幼児頭部外傷撮影加算):ア GCS≤14   |         |            |
|     |          |   |   | 820100703  | 該当する項目(乳幼児頭部外傷撮影加算):イ 頭蓋骨骨折の触知又は徴候                                     |         |            |
|     |          |   |   | 820100704  | 該当する項目(乳幼児頭部外傷撮影加算):ウ 意識変容(興奮、傾眠、会話の反応が鈍い等)                            |         |            |
|     |          |   |   | 820100705  | 該当する項目(乳幼児頭部外傷撮影加算):エ 受診後の症状所見の悪化                                      |         |            |
|     |          |   |   | 820100706  | 該当する項目(乳幼児頭部外傷撮影加算):オ 家族等の希望   |         |            |
|     |          |   |   | 820100707  | 該当する項目(乳幼児頭部外傷撮影加算):カ その他  |         |            |
|     |          |   |   | 830100188  | 詳細な理由及び医学的な必要性(乳幼児頭部外傷撮影加算(カ その他)):*****                               |         |            |
| 357 | E        | コンピューター断層撮影診断科<br>通則4 幼児頭部外傷撮影加算  | 医学的な理由について診療報酬明細書の摘要欄に該当項目を記載すること。また、カに該当する場合は、その詳細な理由及び医学的な必要性を記載すること。                     | 820100708  | 該当する項目(幼児頭部外傷撮影加算):ア GCS≤14  |         |            |
|     |          |   |   | 820100709  | 該当する項目(幼児頭部外傷撮影加算):イ 頭蓋骨骨折の触知又は徴候                                      |         |            |
|     |          |   |   | 820100710  | 該当する項目(幼児頭部外傷撮影加算):ウ 意識変容(興奮、傾眠、会話の反応が鈍い等)                             |         |            |
|     |          |   |   | 820100711  | 該当する項目(幼児頭部外傷撮影加算):エ 受診後の症状所見の悪化                                       |         |            |
|     |          |   |   | 820100712  | 該当する項目(幼児頭部外傷撮影加算):オ 家族等の希望  |         |            |
|     |          |   |   | 820100806  | 該当する項目(幼児頭部外傷撮影加算):カ その他   |         |            |
|     |          |   |   | 830100189  | 詳細な理由及び医学的な必要性(幼児頭部外傷撮影加算(カ その他)):*****                                |         |            |
| 358 | E101-2の5 | ポジトロン断層撮影 5 アミロイドPETイメージング剤を用いた場合   | (レカネマブ(遺伝子組換え)製剤の投与中止後に初回投与から18か月を超えて再開する場合において、さらに1回に限り算定する場合)<br>本撮影が必要と判断した医学的根拠を記載すること。 | 830100855  | 本撮影が必要と判断した医学的根拠(ポジトロン断層撮影(5 アミロイドPETイメージング剤を用いた場合)):*****             |         | ※          |
|     |          |   | 認知機能スコア MMSEスコアを記載すること。(他の保険医療機関からの紹介により画像診断を実施する場合は、紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)            | 820101166  | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア:22点以上   |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101167  | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア:21点以下   |         | ※          |
|     |          |   | 臨床認知症尺度 CDR全般尺度の評価を記載すること(他の保険医療機関からの紹介により画像診断を実施する場合は、紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)          | 820101168  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:0   |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101169  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:0.5又は1  |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101170  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:2又は3  |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101171  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:評価困難  |         | ※          |
|     |          | 画像診断の結果におけるAβ 病理を示唆する所見の有無について記載すること。   | 820101186   | 画像診断の結果、Aβ 病理を示唆する所見あり   |  | ※       |            |
|     |          |   | 820101187   | 画像診断の結果、Aβ 病理を示唆する所見なし   |  | ※       |            |
| 359 | E101-3の4 | ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 4 アミロイドPETイメージング剤を用いた場合   | (レカネマブ(遺伝子組換え)製剤の投与中止後に初回投与から18か月を超えて再開する場合において、さらに1回に限り算定する場合)<br>本撮影が必要と判断した医学的根拠を記載すること。 | 830100856  | 本撮影が必要と判断した医学的根拠(ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(4 アミロイドPETイメージング剤を用いた場合)):***** |         | ※          |
|     |          |   | 認知機能スコア MMSEスコアを記載すること。(他の保険医療機関からの紹介により画像診断を実施する場合は、紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)            | 820101166  | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア:22点以上   |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101167  | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア:21点以下   |         | ※          |
|     |          |   | 臨床認知症尺度 CDR全般尺度の評価を記載すること(他の保険医療機関からの紹介により画像診断を実施する場合は、紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)          | 820101168  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:0   |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101169  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:0.5又は1  |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101170  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:2又は3  |         | ※          |
|     |          |   |   | 820101171  | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:評価困難  |         | ※          |
|     |          | 画像診断の結果におけるAβ 病理を示唆する所見の有無について記載すること。   | 820101186   | 画像診断の結果、Aβ 病理を示唆する所見あり   |  | ※       |            |
|     |          |   | 820101187   | 画像診断の結果、Aβ 病理を示唆する所見なし   |  | ※       |            |
|     |          | (レカネマブ(遺伝子組換え)製剤の投与中止後に初回投与から18か月を超えて再開する場合において、さらに1回に限り算定する場合)<br>本撮影が必要と判断した医学的根拠を記載すること。 | 830100857   | 本撮影が必要と判断した医学的根拠(ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(3 アミロイドPETイメージング剤を用いた場合)):***** |  | ※       |            |

| 項番        | 区分                     | 診療行為<br>名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|------------------------|---|---|----------------------|---|-------------|--------------------|
| 360       | E101-<br>403           | ボジトロン断層・磁気<br>共鳴コンピュータ断層<br>検査撮影 3. アミロ<br>イドPETイメージング<br>剤を用いた場合 | 認知機能スコア MMSEスコアを記載すること。(他の保険医療機関からの紹介により画像診断を実施する場合は、<br>紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)<br><br>臨床認知症尺度 CDR全般尺度の評価を記載すること(他の保険医療機関からの紹介により画像診断を実施する<br>場合は、紹介元医療機関において測定したスコアを記載すること。)<br><br>画像診断の結果におけるAβ 病理を示唆する所見の有無について記載すること。 | 820101166            | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア:22点以上                            |             | ※                  |
|           |                        |   |   | 820101167            | 画像診断を実施する時点におけるMMSEスコア:21点以下                            |             | ※                  |
|           |                        |   |   | 820101168            | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:0                                |             | ※                  |
|           |                        |   |   | 820101169            | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:0.5又は1                           |             | ※                  |
|           |                        |   |   | 820101170            | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:2又は3                             |             | ※                  |
|           |                        |   |   | 820101171            | 画像診断を実施する時点におけるCDR全般尺度:評価困難                             |             | ※                  |
|           |                        |   |   | 820101186            | 画像診断の結果、Aβ 病理を示唆する所見あり                                  |             | ※                  |
| 820101187 | 画像診断の結果、Aβ 病理を示唆する所見なし |   | ※   |                      |   |             |                    |
| 361       | E200                   | コンピューター断層撮<br>影   | (コンピューター断層撮影及び磁気共鳴コンピューター断層撮影を同一月に行った場合)<br>それぞれ初回の算定日を記載すること。<br><br>(別の保険医療機関と共同でCT又はMRIを利用している保険医療機関が、当該機器を利用してコンピューター断層<br>撮影を算定した場合)<br>画像共同と表示すること。<br><br>撮影部位を選択して記載すること。<br>選択する撮影部位がない場合はその他を選択し、具体的部位を記載すること。        | 算定日情報                | (算定日情報)   | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040210            | CT撮影(64列以上)共同利用施設(画像共同)                                 | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040310            | CT撮影(64列以上)共同利用施設・頭部外傷(画像共同)                            | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040410            | CT撮影(64列以上)(その他)(画像共同)                                  | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040510            | CT撮影(64列以上)(その他)頭部外傷(画像共同)                              | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040610            | CT撮影(16列以上64列未満)(画像共同)                                  | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040710            | CT撮影(16列以上64列未満)頭部外傷(画像共同)                              | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040810            | CT撮影(4列以上16列未満)(画像共同)                                   | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170040910            | CT撮影(4列以上16列未満)頭部外傷(画像共同)                               | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170041010            | CT撮影(イ、ロ又はハ以外)(画像共同)                                    | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170041110            | CT撮影(イ、ロ又はハ以外)頭部外傷(画像共同)                                | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170041210            | 脳槽CT撮影(造影含む)(画像共同)                                      | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170041310            | 脳槽CT撮影(造影含む)頭部外傷(画像共同)                                  | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 820182000            | 撮影部位(CT撮影):頭部(副鼻腔を除く)                                   |             |                    |
|           |                        |   |   | 820182800            | 撮影部位(CT撮影):頭部(副鼻腔)                                      |             |                    |
|           |                        |   |   | 820182110            | 撮影部位(CT撮影):頸部   |             |                    |
|           |                        |   |   | 820182210            | 撮影部位(CT撮影):胸部・肩   |             |                    |
|           |                        |   |   | 820182300            | 撮影部位(CT撮影):腹部   |             |                    |
|           |                        |   |   | 820182350            | 撮影部位(CT撮影):骨盤・股関節                                       |             |                    |
|           |                        |   |   | 820182600            | 撮影部位(CT撮影):四肢   |             |                    |
| 820182700 | 撮影部位(CT撮影):全身          |   |   |                      |   |             |                    |
| 820182250 | 撮影部位(CT撮影):心臓          |   |   |                      |   |             |                    |
| 820182230 | 撮影部位(CT撮影):脊椎          |   |   |                      |   |             |                    |
| 830189100 | 撮影部位(CT撮影)(その他):*****  |   |   |                      |   |             |                    |
| 362       | E200<br>注4             | 冠動脈CT撮影加算   | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第4部E200コンピューター断層<br>撮影(CT撮影)の(8)のアからオまでの該当するものを選択して記載すること。なお、オに該当する場合はその詳細<br>な理由を記載する。  | 820100723            | 該当する医学的根拠(冠動脈CT撮影加算):ア 諸種の原因による冠動<br>脈の構造的・解剖学的異常       |             |                    |
|           |                        |   |   | 820100724            | 該当する医学的根拠(冠動脈CT撮影加算):イ 急性冠症候群                           |             |                    |
|           |                        |   |   | 820100725            | 該当する医学的根拠(冠動脈CT撮影加算):ウ 狭心症                              |             |                    |
|           |                        |   |   | 820100726            | 該当する医学的根拠(冠動脈CT撮影加算):エ 狭心症等が疑われ、冠<br>動脈疾患のリスク因子が認められる場合 |             |                    |
|           |                        |   |   | 820100727            | 該当する医学的根拠(冠動脈CT撮影加算):オ その他、冠動脈CT撮影<br>が医学的に必要と認められる場合   |             |                    |
|           |                        |   |   | 830100191            | その詳細な理由(冠動脈CT撮影加算):*****                                |             |                    |
| 363       | E200-<br>2             | 血流予備量比コン<br>ピューター断層撮<br>影   | 血流予備量比コンピューター断層撮影による血流予備量比の値を記載すること。  | 842100052            | 血流予備量比の値(血流予備量比コンピューター断層撮影):*****                       |             |                    |
| 364       | E202                   | 磁気共鳴コンピ<br>ューター断層撮<br>影   | (コンピューター断層撮影及び磁気共鳴コンピューター断層撮影を同一月に行った場合)<br>それぞれ初回の算定日を記載すること。<br><br>(別の保険医療機関と共同でCT又はMRIを利用している保険医療機関が、当該機器を利用してコンピューター断層<br>撮影を算定した場合)<br>画像共同と表示すること。   | 算定日情報                | (算定日情報)   | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170041410            | MRI撮影(3テスラ以上)共同利用施設(画像共同)                               | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170041510            | MRI撮影(3テスラ以上)(その他)(画像共同)                                | ○           |                    |
|           |                        |   |   | 170041610            | MRI撮影(1.5テスラ以上3テスラ未満)(画像共同)                             | ○           |                    |
| 170041710 | MRI撮影(1又は2以外)(画像共同)    | ○   |   |                      |   |             |                    |
| 365       | E202                   | 磁気共鳴コンピ<br>ューター断層撮<br>影   | 撮影部位を選択して記載すること。<br>選択する撮影部位がない場合はその他を選択し、具体的部位を記載すること。   | 820183020            | 撮影部位(MRI撮影):頭部(脳)                                       |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183630            | 撮影部位(MRI撮影):頭部(副鼻腔)                                     |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183010            | 撮影部位(MRI撮影):頭部(脳・副鼻腔を除く)                                |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183110            | 撮影部位(MRI撮影):頸部  |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183200            | 撮影部位(MRI撮影):肩   |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183220            | 撮影部位(MRI撮影):胸部(肩を除く)                                    |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183300            | 撮影部位(MRI撮影):腹部  |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183360            | 撮影部位(MRI撮影):骨盤・股関節                                      |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183610            | 撮影部位(MRI撮影):四肢(膝を除く)                                    |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183500            | 撮影部位(MRI撮影):膝   |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183120            | 撮影部位(MRI撮影):頸椎  |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183240            | 撮影部位(MRI撮影):胸椎  |             |                    |
|           |                        |   |   | 820183330            | 撮影部位(MRI撮影):腰椎・仙骨部                                      |             |                    |
|           |                        |   |   | 830189200            | 撮影部位(MRI撮影)(その他):*****                                  |             |                    |

| 項番  | 区分           | 診療行為<br>名称等                  | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード  | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセ<br>のみ記載                                 | 令和6年<br>6月1日<br>適用                         |  |
|-----|--------------|------------------------------|---|---|--|---|--|--|
| 366 | E202<br>注10  | 肝エラストグラフィー加算                 | 前回算定年月日(初回である場合は初回である旨)を記載すること。   | 850190055   | 前回実施年月日(肝エラストグラフィー加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 820190060   | 初回(肝エラストグラフィー加算)   |   |  |  |
| 367 | F100<br>F400 | 処方科<br>処方箋料                  | (診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について)別添1の第2章第5部第2節F100処方科の(3)のアの(イ)から(ニ)に定める内容に該当し、処方科又は処方箋料について「1」の点数を算定しない場合)その理由を記載すること。   | 830100193   | 1を算定しない理由(処方料):*****   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 830100194   | 1を算定しない理由(処方箋料):*****  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 850100200   | 初診年月日(処方料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 850100201   | 初診年月日(処方箋料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 850100202   | 薬剤切替開始年月日(処方料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 850100203   | 薬剤切替開始年月日(処方箋料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 830100195   | 切替対象薬剤名(処方料):*****   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 830100196   | 切替対象薬剤名(処方箋料):*****  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 830100197   | 新しく導入する薬剤名(処方料):*****  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 830100198   | 新しく導入する薬剤名(処方箋料):*****   |   |  |  |
|     |              |                              | (向精神薬多剤投与に該当しない期間が1か月以上継続しており、向精神薬が投与されている患者について、当該患者の症状の改善が不十分又はみられず、薬剤の切り替えが必要であり、既に投与されている薬剤と新しく導入する薬剤を一時的に併用する場合の連続した3か月間の場合)<br>薬剤の切り替えの開始年月日、切り替え対象となる薬剤名及び新しく導入する薬剤名を記載すること。 | 850100204   | 臨時投与開始年月日(処方料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 850100205   | 臨時投与開始年月日(処方箋料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |   |  |  |
|     |              |                              | (向精神薬多剤投与に関する臨時に投与した場合)<br>臨時の投与の開始年月日を記載すること。  | 850100204   | 臨時投与開始年月日(処方料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 850100205   | 臨時投与開始年月日(処方箋料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |   |  |  |
|     |              |                              | (複数の診療科を標榜する保険医療機関において、2以上の診療科で、異なる医師が処方した場合)<br>その旨を記載すること。  | 820100741   | 複数診療科で処方   |   |  |  |
|     |              |                              |   |   |  |   |  |  |
| 368 | F100<br>F400 | 処方科及び処方箋料<br>の特定疾患処方管理<br>加算 | (隔日、漸増・減等で投与する場合)<br>その旨を記載すること。  | 820100742   | 隔日投与   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 820100743   | 漸増投与   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 820100744   | 漸減投与   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 820100875   | 週1回投与  |   |  |  |
| 369 | F200         | 薬剤(入院分)                      | (入院患者に対し退院時に投薬(内服薬)を行った場合)<br>「退院時 日分投薬」と記載すること。<br>(入院患者に対し退院時に投薬(屯服薬)を行った場合)<br>「退院時 回分投薬」と記載すること。<br>(入院患者に対し退院時に投薬(外用薬)を行った場合)<br>「退院時投薬」と記載すること。                               | 840000006   | 退院時 日分投薬   |   |  |  |
|     |              |                              |   | 840000634   | 退院時 回分投薬(屯服薬)  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 820101042   | 退院時投薬(外用薬)   |   |  |  |
|     |              |                              | (入院時食事療養費に係る食事療養又は入院時生活療養費に係る生活療養の食事の提供たる療養を受けている入院患者に対してビタミン剤を投与した場合)<br>当該ビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断した趣旨を記載すること。ただし、病名によりビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断できる場合はこの限りではない。                                | 830100201   | ビタミン剤の投与趣旨(薬剤):*****   |   |  |  |
| 370 | F200<br>F400 | 薬剤等(入院外分)<br>処方箋料            | (ビタミン剤を投与した場合)<br>当該ビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断した趣旨を記載すること。ただし、病名によりビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断できる場合はこの限りではない。  | 830100202   | ビタミン剤の投与趣旨(薬剤料・処方箋料):*****   |   |  |  |
|     |              |                              |   | (臨時薬を追加投与し、その結果投与する内服薬が7種類以上となる場合)<br>臨時薬の投与の必要性を記載すること。ただし、病名によりその必要性が判断できる場合は、この限りでない。                  | 830100203  | 臨時薬の投与の必要性(薬剤料・処方箋料):*****                  |  |  |
|     |              |                              |   |   | (鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤を投与した場合)<br>所定単位当たりの薬剤名、貼付剤の枚数としての投与量を記載した上で、貼付剤の枚数としての1日用量又は投与日数を記載すること。 | 830100204                                   | 鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤の1日用量又は投与日数(薬剤料):***** |  |
|     |              |                              |   | (1回の処方において、63枚を超えて鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤を投与した場合)<br>当該貼付剤の投与が必要であると判断した趣旨を記載すること。                           | 830000052  | 63枚を超えて鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤を投与した理由:*****    |  |  |
|     |              |                              |   | (緊急やむを得ず、同一の患者に対して、同一診療日に一部の薬剤を院内において投薬し、他の薬剤を処方せんにより投薬した場合)<br>その年月日及び理由を記載すること。                         | 850100206  | 同日に院内処方及び処方箋による投薬を行った年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |  |  |
|     |              |                              |   |   | 830100205  | 同日に院内処方及び処方箋による投薬を行った理由(処方箋料):*****         |  |  |
|     |              |                              |   | (長期の旅行等特殊の事情がある場合において、必要があると認め、必要最小限の範囲において、投薬量が1回14日分を限度とされる内服薬及び外用薬を14日を超えて投与した場合)<br>当該長期投与の理由を記載すること。 | 830100206  | 長期投与理由(薬剤料・処方箋料):*****                      |  |  |
| 371 | G<br>通則7     | バイオ後続品導入初期<br>加算             | 初回使用年月日を記載すること。   | 850100408   | 初回使用年月日(バイオ後続品導入初期加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |   |  |  |
| 372 | G004         | 点滴注射の血漿成分<br>製剤加算            | 1回目の注射の実施年月日を記載すること。  | 850100207   | 血漿成分製剤加算(点滴注射)1回目注射年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |   |  |  |
| 373 | G005         | 中心静脈注射の血漿<br>成分製剤加算          | 1回目の注射の実施年月日を記載すること。  | 850100208   | 血漿成分製剤加算(中心静脈注射)1回目注射年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |   |  |  |
| 374 | G100         | 薬剤                           | (入院時食事療養費に係る食事療養又は入院時生活療養費に係る生活療養の食事の提供たる療養を受けている入院患者又は入院中の患者以外の患者に対してビタミン剤を投与した場合)<br>当該ビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断した趣旨を記載すること。ただし、病名によりビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断できる場合はこの限りではない。                   | 830100201   | ビタミン剤の投与趣旨(薬剤):*****   |   |  |  |
|     |              |                              | 算定単位数及び実施日数を記載すること。   | 180744210   | 心大血管疾患リハビリテーション料(1)(理学療法士による場合)  | ○   |  |  |
|     |              |                              |   | 180745110   | 心大血管疾患リハビリテーション料(2)(集団療法による場合)   | ○   |  |  |
|     |              |                              |   | 830100208   | 疾患名(心大血管疾患リハビリテーション料):*****  |   |  |  |
|     |              |                              |   | 850100209   | 治療開始年月日(心大血管疾患リハビリテーション料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |   |  |  |
|     |              |                              |   |   |  |   |  |  |

| 項番  | 区分   | 診療行為名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|--|--|--|------------------|--|---------|------------|
| 375 | H000   | 心大血管疾患リハビリテーション料   | <p>(標準的算定日数を超過して月13単位を超過して疾患別リハビリテーションを行う患者のうち、治療を継続することにより状態の改善が期待できると医学的に判断される場合(特掲診療料の施設基準等(平成20年3月5日厚生労働省告示第63号)別表第九の八第一号に掲げる患者であって、別表第九の九第一号に掲げる場合))</p> <p>①これまでのリハビリテーションの実施状況(期間及び内容)、②前月の状態との比較をした当月の患者の状態、③将来的な状態の到達目標を示した今後のリハビリテーション計画と改善に要する見込み期間、④機能的自立度評価法(Functional Independence Measure:FIM)、基本的日常生活活動度(Barthel Index:BI)、関節の可動域、歩行速度及び運動耐用量などの指標を用いた具体的な改善の状態等を示した継続の理由を記載すること。ただし、リハビリテーション実施計画書を作成した月においては、改善に要する見込み期間とリハビリテーション継続の理由を記載した上で、当該計画書の写しを添付することでも差し支えない。なお、継続の理由については、具体的には次の例を参考にして記載すること。</p> <p>[記載例]</p> <p>本患者は、2023年9月21日に脳出血を発生し、同日開頭血腫除去術を施行した。右片麻痺を認めたが、術後に水頭症及び敗血症を合併したため、積極的なリハビリテーションが実施できるようになったのは術後40日目からであった。2024年2月中旬まで1日5単位週4日程度のリハビリテーションを実施し、BIは45点から65点に改善を認めた。3月末に標準的算定日数を超過するが、BIの改善を引き続き認めており、リハビリ開始が合併症のために遅れたことを考えると、1か月程度のリハビリテーション継続により、更なる改善が見込めると判断される。</p> | 830100209        | 継続理由(心大血管疾患リハビリテーション料);*****   |         |            |
|     |  |  |  | 830100210        | 新たな疾患名(心大血管疾患リハビリテーション料);*****                                       |         |            |
|     |  |  |  | 850100210        | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 治療開始年月日(心大血管疾患リハビリテーション料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         |            |
|     |  |  |  | 850100211        | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 発症年月日(心大血管疾患リハビリテーション料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         |            |
|     |  |  |  | 850100212        | 発症年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                              |         |            |
| 376 | H000<br>注2   | 心大血管疾患リハビリテーション料の早期リハビリテーション加算   | 発症、手術又は急性増悪の年月日を記載すること。  | 850100213        | 手術年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                              |         |            |
|     |  |  |  | 850100214        | 急性増悪年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                            |         |            |
|     |  |  |  | 850100215        | 発症年月日(初期加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                       |         |            |
| 377 | H000<br>注3   | 心大血管疾患リハビリテーション料の初期加算  | 発症、手術又は急性増悪の年月日を記載すること。  | 850100216        | 手術年月日(初期加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                       |         |            |
|     |  |  |  | 850100217        | 急性増悪年月日(初期加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                                     |         |            |
|     |  |  |  | 850190230        | 算定の根拠となった要件アの年月日(急性期リハビリテーション加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |         | ※          |
| 378 | H000<br>注4<br>H001<br>注4<br>H001-2<br>注4<br>H002<br>注4<br>H003<br>注4 | 心大血管疾患リハビリテーション料の急性期リハビリテーション加算<br>脳血管疾患等リハビリテーション料の急性期リハビリテーション加算<br>廃用症候群リハビリテーション料の急性期リハビリテーション加算<br>運動器リハビリテーション料の急性期リハビリテーション加算<br>呼吸器リハビリテーション料の急性期リハビリテーション加算 | 算定の根拠となった要件イ(「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第1章第7部H000(11)に掲げるアからエまでのいずれか)を日毎に記載すること。   | 850190231        | 算定の根拠となった要件イの年月日(急性期リハビリテーション加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |         | ※          |
|     |  |  |  | 850190232        | 算定の根拠となった要件ウの年月日(急性期リハビリテーション加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |         | ※          |
|     |  |  |  | 850190233        | 算定の根拠となった要件エの年月日(急性期リハビリテーション加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |         | ※          |
|     |  |  |  | 180745310        | 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(理学療法士による場合)                                      | ○       |            |
| 379 | H001   | 脳血管疾患等リハビリテーション料   | <p>算定単位数及び実施日数を記載すること。</p> <p>疾患名及び発症年月日、手術年月日、急性増悪した年月日又は最初に診断された年月日を記載すること。</p> <p>(標準的算定日数を超過して月13単位を超過して疾患別リハビリテーションを行う患者のうち、治療を継続することにより状態の改善が期待できると医学的に判断される場合(特掲診療料の施設基準等別表第九の八第一号に掲げる患者であって、別表第九の九第一号に掲げる場合))<br/>心大血管疾患リハビリテーション料(項番375)と同様。</p> <p>(新たな疾患が発症し、新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態となった場合)<br/>新たな疾患名及び治療開始年月日又は発症年月日等を記載すること。</p>   | 180750430        | 脳血管疾患等リハビリテーション料(3)要介護・1から4以外・リ減                                     | ○       |            |
|     |  |  |  | 830100211        | 疾患名(脳血管疾患等リハビリテーション料);*****  |         |            |
|     |  |  |  | 850100218        | 発症年月日(脳血管疾患等リハビリテーション料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                           |         |            |
|     |  |  |  | 850100389        | 手術年月日(脳血管疾患等リハビリテーション料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                           |         |            |
|     |  |  |  | 850100390        | 急性増悪年月日(脳血管疾患等リハビリテーション料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
|     |  |  |  | 850100439        | 最初に診断された年月日(脳血管疾患等リハビリテーション料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                     |         |            |
|     |  |  |  | 830100212        | 継続理由(脳血管疾患等リハビリテーション料);*****   |         |            |
|     |  |  |  | 830100213        | 新たな疾患名(脳血管疾患等リハビリテーション料);*****                                       |         |            |
| 380 | H001<br>注2   | 脳血管疾患等リハビリテーション料の早期リハビリテーション加算   | (入院中の患者以外の患者が当該加算を算定する場合)<br>地域連携診療計画加算の算定患者である旨を記載すること。   | 820100158        | 地域連携診療計画加算の算定患者  |         |            |
|     |  |  |  | 180750510        | 廃用症候群リハビリテーション料(1)(理学療法士による場合)                                       | ○       |            |
| 381 | H001<br>注3   | 脳血管疾患等リハビリテーション料の初期加算  | (入院中の患者以外の患者が当該加算を算定する場合)<br>地域連携診療計画加算の算定患者である旨を記載すること。   | 820100158        | 地域連携診療計画加算の算定患者  |         |            |
|     |  |  | 算定単位数及び実施日数を記載すること。  | 180755630        | 廃用症候群リハビリテーション料(3)(要介護)イからニ以外・リ減                                     | ○       |            |

| 項番        | 区分   | 診療行為名称等                       | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセプト記載のみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--|-------------------------------|---|------------------|--|-------------|------------|
| 382       | H001-2   | 廃用症候群リハビリテーション料               | <p>廃用症候群の診断又は急性増悪した年月日を記載すること。廃用症候群に係る評価表を添付すること又は同様の情報を「摘要」欄に記載すること。</p> <p>(標準的算定日数を超過して月13単位を超えて疾患別リハビリテーションを行う患者のうち、治療を継続することにより状態の改善が期待できると医学的に判断される場合(特掲診療料の施設基準等別表第九の八第一号に掲げる患者)であって、別表第九の九第一号に掲げる場合)<br/>心大血管疾患リハビリテーション料(項番375)と同様。</p> <p>(新たな疾患が発症し、新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態となった場合)<br/>新たな疾患名及び治療開始日又は発症年月日を記載すること。</p>            | 830100214        | 疾患名(廃用症候群リハビリテーション料);*****                                     |             |            |
|           |  |                               |   | 850100221        | 治療開始年月日(廃用症候群リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日                         |             |            |
|           |  |                               |   | 830100215        | 継続理由(廃用症候群リハビリテーション料);*****                                    |             |            |
|           |  |                               |   | 830100216        | 新たな疾患名(廃用症候群リハビリテーション料);*****                                  |             |            |
|           |  |                               |   | 850100222        | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 治療開始年月日(廃用症候群リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日 |             |            |
| 850100223 | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 発症年月日(廃用症候群リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日 |                               |   |                  |  |             |            |
| 383       | H001-2注2   | 廃用症候群リハビリテーション料の早期リハビリテーション加算 | 当該患者の廃用症候群にかかる急性疾患等の疾患名とその発症、手術若しくは急性増悪の月日、又は廃用症候群の急性増悪の年月日を記載すること。   | 850100212        | 発症年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy年mm月dd日                             |             |            |
|           |  |                               |   | 850100213        | 手術年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy年mm月dd日                             |             |            |
|           |  |                               |   | 850100214        | 急性増悪年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy年mm月dd日                           |             |            |
|           |  |                               |   | 830100531        | 疾患名(早期リハビリテーション加算);*****                                       |             |            |
| 384       | H001-2注3   | 廃用症候群リハビリテーション料の初期加算          | 当該患者の廃用症候群にかかる急性疾患等の疾患名とその発症、手術若しくは急性増悪の月日、又は廃用症候群の急性増悪の月日を記載すること。  | 850100215        | 発症年月日(初期加算);(元号)yy年mm月dd日                                      |             |            |
|           |  |                               |   | 850100216        | 手術年月日(初期加算);(元号)yy年mm月dd日                                      |             |            |
|           |  |                               |   | 850100217        | 急性増悪年月日(初期加算);(元号)yy年mm月dd日                                    |             |            |
|           |  |                               |   | 830100799        | 疾患名(初期加算);*****  |             |            |
| 385       | H002   | 運動器リハビリテーション料                 | <p>算定単位数及び実施日数を記載すること。</p> <p>疾患名及び発症年月日、手術年月日、急性増悪した年月日又は最初に診断された年月日を記載すること。</p> <p>(標準的算定日数を超過して月13単位を超えて疾患別リハビリテーションを行う患者のうち、治療を継続することにより状態の改善が期待できると医学的に判断される場合(特掲診療料の施設基準等別表第九の八第一号に掲げる患者)であって、別表第九の九第一号に掲げる場合)<br/>心大血管疾患リハビリテーション料(項番375)と同様。</p> <p>(新たな疾患が発症し、新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態となった場合)<br/>新たな疾患名及び治療開始年月日又は発症年月日等を記載すること。</p> | 180755710        | 運動器リハビリテーション料(1)(理学療法士による場合)                                   | ○           |            |
|           |  |                               |   | 180759630        | 運動器リハビリテーション料(3)(要介護)1から3以外・リ減                                 | ○           |            |
|           |  |                               |   | 830100217        | 疾患名(運動器リハビリテーション料);*****                                       |             |            |
|           |  |                               |   | 850100224        | 発症年月日(運動器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日                             |             |            |
|           |  |                               |   | 850100391        | 手術年月日(運動器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日                             |             |            |
|           |  |                               |   | 850100392        | 急性増悪年月日(運動器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日                           |             |            |
|           |  |                               |   | 850100440        | 最初に診断された年月日(運動器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日                       |             |            |
|           |  |                               |   | 830100218        | 継続理由(運動器リハビリテーション料);*****                                      |             |            |
|           |  |                               |   | 830100219        | 新たな疾患名(運動器リハビリテーション料);*****                                    |             |            |
|           |  |                               |   | 850100225        | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 治療開始年月日(運動器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日   |             |            |
| 850100226 | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 発症年月日(運動器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日   |                               |   |                  |  |             |            |
| 386       | H002注2   | 運動器リハビリテーション料の早期リハビリテーション加算   | (入院中の患者以外の患者が当該加算を算定する場合)地域連携診療計画加算の算定患者である旨を記載すること。  | 820100158        | 地域連携診療計画加算の算定患者  |             |            |
| 387       | H002注3   | 運動器リハビリテーション料の初期加算            | (入院中の患者以外の患者が当該加算を算定する場合)地域連携診療計画加算の算定患者である旨を記載すること。  | 820100158        | 地域連携診療計画加算の算定患者  |             |            |
| 388       | H003   | 呼吸器リハビリテーション料                 | <p>算定単位数及び実施日数を記載すること。</p> <p>疾患名及び治療開始年月日を記載すること。</p> <p>(標準的算定日数を超過して月13単位を超えて疾患別リハビリテーションを行う患者のうち、治療を継続することにより状態の改善が期待できると医学的に判断される場合(特掲診療料の施設基準等別表第九の八第一号に掲げる患者)であって、別表第九の九第一号に掲げる場合)<br/>心大血管疾患リハビリテーション料(項番375)と同様。</p> <p>(新たな疾患が発症し、新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態となった場合)<br/>新たな疾患名及び治療開始年月日又は発症年月日等を記載すること。</p>                            | 180759710        | 呼吸器リハビリテーション料(1)(理学療法士による場合)                                   | ○           |            |
|           |  |                               |   | 180760410        | 呼吸器リハビリテーション料(2)(医師による場合)                                      | ○           |            |
|           |  |                               |   | 830100220        | 疾患名(呼吸器リハビリテーション料);*****                                       |             |            |
|           |  |                               |   | 850100227        | 治療開始年月日(呼吸器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日                           |             |            |
|           |  |                               |   | 830100221        | 継続理由(呼吸器リハビリテーション料);*****                                      |             |            |
|           |  |                               |   | 830100222        | 新たな疾患名(呼吸器リハビリテーション料);*****                                    |             |            |
| 850100228 | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 治療開始年月日(呼吸器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日 |                               |   |                  |  |             |            |
| 850100229 | 新たに他の疾患別リハビリテーションを要する状態 発症年月日(呼吸器リハビリテーション料);(元号)yy年mm月dd日   |                               |   |                  |  |             |            |
| 389       | H003注2   | 呼吸器リハビリテーション料の早期リハビリテーション加算   | 発症、手術又は急性増悪の年月日を記載すること。   | 850100212        | 発症年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy年mm月dd日                             |             |            |
|           |  |                               |   | 850100213        | 手術年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy年mm月dd日                             |             |            |
|           |  |                               |   | 850100214        | 急性増悪年月日(早期リハビリテーション加算);(元号)yy年mm月dd日                           |             |            |
| 390       | H003注3   | 呼吸器リハビリテーション料の初期加算            | 発症、手術又は急性増悪の年月日を記載すること。   | 850100215        | 発症年月日(初期加算);(元号)yy年mm月dd日                                      |             |            |
|           |  |                               |   | 850100216        | 手術年月日(初期加算);(元号)yy年mm月dd日                                      |             |            |
|           |  |                               |   | 850100217        | 急性増悪年月日(初期加算);(元号)yy年mm月dd日                                    |             |            |
| 391       | H003-2注5   | リハビリテーション総合計画評価料の運動量増加機器加算    | (機器の使用に有効性が認められ、継続すべき医学的必要性が認められ、運動量増加機器加算を更に算定する場合)医学的必要性を記載すること。  | 830100223        | 医学的必要性(運動量増加機器加算);*****  |             |            |

| 項番        | 区分                             | 診療行為名称等                           | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                    | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--------------------------------|-----------------------------------|---|------------------|---|---------|------------|
| 392       | H004                           | 摂食機能療法                            | 疾患名及び摂食機能療法の治療開始年月日を記載すること。   | 830100224        | 疾患名(摂食機能療法);*****                                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 850100230        | 治療開始年月日(摂食機能療法);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |         |            |
| 393       | H004                           | 摂食機能療法の摂食嚥下機能回復体制加算               | 内視鏡下嚥下機能検査又は嚥下造影の実施年月日及びカンパレンスを実施した年月日を記載すること。内視鏡下嚥下機能検査及び嚥下造影について、摂食嚥下機能回復体制加算を算定する保険医療機関とは別の保険医療機関において検査を実施した場合には、検査を行った保険医療機関名を記載すること。                     | 850100231        | 内視鏡下嚥下機能検査を実施した年月日(摂食嚥下機能回復体制加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         |            |
|           |                                |                                   |   | 850100232        | 嚥下造影を実施した年月日(摂食嚥下機能回復体制加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日       |         |            |
|           |                                |                                   |   | 830100458        | 内視鏡下嚥下機能検査又は嚥下造影を実施した別の保険医療機関名;*****                |         |            |
|           |                                |                                   |   | 850100233        | カンパレンスを実施した年月日(摂食嚥下機能回復体制加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日     |         |            |
| 394       | H006                           | 難病患者リハビリテーション料                    | 対象疾患について、特掲診療料の施設基準等別表第十の各号に掲げるものの中から該当するものを選択して記載すること。   | 820100159        | パーチェット病   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100075        | 多発性硬化症  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100076        | 重症筋無力症  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100160        | 全身性エリテマトーデス   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100077        | スモン   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100078        | 筋萎縮性側索硬化症   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100161        | 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎                                     |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100162        | 結節性動脈周囲炎  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100163        | ピュルガー病  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100079        | 脊髄小脳変性症   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100164        | 悪性関節リウマチ  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100165        | パーキンソン病関連疾患   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100166        | アミロイドーシス  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100167        | 後縦帯帯化症  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100080        | ハンチントン病   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100168        | モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)                                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100169        | ウェグナー肉芽腫症   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100299        | 多系統萎縮症  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100170        | 広範脊柱管狭窄症  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100171        | 特発性大腿骨頭壊死症  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100172        | 混合性結合組織病  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100084        | プリオン病   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100173        | ギラン・バレー症候群  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100174        | 黄色帯帯化症  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100175        | シェーグレン症候群   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100176        | 成人発症スチル病  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100177        | 関節リウマチ  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100085        | 亜急性硬化性全脳炎   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100086        | ライゾソーム病   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100087        | 副腎白質ジストロフィー   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100088        | 脊髄性筋萎縮症   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100089        | 球脊髄性筋萎縮症  |         |            |
| 820100090 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎                  |                                   |   |                  |   |         |            |
| 395       | H006                           | 難病患者リハビリテーション料の短期集中リハビリテーション実施加算  | 退院年月日を記載すること。   | 850100234        | 退院年月日(短期集中リハビリテーション実施加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日         |         |            |
|           |                                |                                   |   |                  |   |         |            |
| 396       | H007                           | 障害児(者)リハビリテーション料                  | 算定単位数及び実施日数を記載すること。また、対象患者について、特掲診療料の施設基準等別表第十の二の各号に掲げるものの中から該当するものを選択して記載すること。   | 820100178        | 脳性麻痺の患者   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100179        | 胎生期若しくは乳幼児期に生じた脳又は脊髄の奇形及び障害の患者                      |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100180        | 顎・口腔の先天異常の患者  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100181        | 先天性の体幹四肢の奇形又は変形の患者                                  |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100182        | 先天性神経代謝異常症、大脳白質変性症の患者                               |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100183        | 先天性又は進行性の神経筋疾患の患者                                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100184        | 神経障害による麻痺及び後遺症の患者                                   |         |            |
| 820100185 | 言語障害、聴覚障害又は認知障害を伴う自閉症等の発達障害の患者 |                                   |   |                  |   |         |            |
| 397       | H007-2                         | がん患者リハビリテーション料                    | 算定単位数、実施日数及びがんの種類を記載すること。また、当該入院中に提供した治療の種類について、特掲診療料の施設基準等別表第十の二の各号に掲げるものの中から該当するものを選択して記載すること。  | 820100812        | 1 がんの治療のための手術が行われる予定又は行われたもの                        |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100813        | 2 がんの治療のための骨髄抑制を来たしうる化学療法が行われる予定又は行われたもの            |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100814        | 3 がんの治療のための放射線治療が行われる予定又は行われたもの                     |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100815        | 4 がんの治療のための造血幹細胞移植が行われる予定又は行われたもの                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100193        | 5 進行がん等の患者で、在宅復帰を目的としたリハビリが必要なもの                    |         |            |
| 398       | H007-3                         | 認知症患者リハビリテーション料                   | 「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のランク、診療時間及びリハビリテーション計画作成日を記載すること。なお、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のランクについては、「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」別添6の別紙12におけるランクの中から該当するものを選択して記載すること。 | 820100194        | 認知症高齢者の日常生活自立度 1                                    |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100195        | 認知症高齢者の日常生活自立度 2                                    |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100196        | 認知症高齢者の日常生活自立度 2a                                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100197        | 認知症高齢者の日常生活自立度 2b                                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100198        | 認知症高齢者の日常生活自立度 3                                    |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100199        | 認知症高齢者の日常生活自立度 3a                                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100200        | 認知症高齢者の日常生活自立度 3b                                   |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100201        | 認知症高齢者の日常生活自立度 4                                    |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100202        | 認知症高齢者の日常生活自立度 M                                    |         |            |
|           |                                |                                   |   | 820100202        | 認知症高齢者の日常生活自立度 M                                    |         |            |
| 399       | H                              | 「制限回数を超えて行う診療」に係るリハビリテーションを実施した場合 | 次の例により「リハ選」と記載し、当該「制限回数を超えて行う診療」の名称、徴収した特別の料金及び回数その他のリハビリテーションと区別して記載すること。<br>〔記載例〕<br>運動器リハビリテーション料(Ⅰ) 185×18<br>実施日数3日<br>(リハ選)<br>運動器リハビリテーション料 1,850円×1   | 830100372        | リハ選;*****   |         |            |
|           |                                |                                   |   |                  |   |         |            |
| 400       | 1000-2                         | 経頭蓋磁気刺激療法                         | 治療開始日と終了日の年月日を記載すること。   | 850100235        | 治療開始年月日(経頭蓋磁気刺激療法);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |         |            |
|           |                                |                                   |   | 850100236        | 治療終了年月日(経頭蓋磁気刺激療法);(元号)yy"年"mm"月"dd"日               |         |            |



| 項番        | 区分                                | 診療行為名称等  | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|-----------------------------------|--|---|------------------|--|---------|------------|
| 401       | 1002                              | 通院・在宅精神療法  | (通院・在宅精神療法を退院後4週間以内の患者について算定した場合)<br>退院年月日を記載すること。<br><br>診療に要した時間に応じて、選択して記載すること。<br>ただし、30分又は60分を超える診療を行った場合であって、当該診療に要した時間が明確でない場合には、当該診療に要した時間が30分又は60分を超えたことが明らかであると判断される精神療法を行った場合に限り、「30分超」又は「60分超」と記載しても差し支えない。<br><br>(1回の処方において2種類以上の抗うつ薬又は2種類以上の抗精神病薬を投与した場合)<br>投与した抗うつ薬又は抗精神病薬の種類数及びその医療上の必要性並びに副作用等について患者に説明し、説明した内容を診療録に記載するとともに、説明を行った旨を記載すること。 | 850100237        | 退院年月日(通院・在宅精神療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                            |         |            |
|           |                                   |  |   | 820101309        | 5分を超え10分未満(通院・在宅精神療法)  |         | ※          |
|           |                                   |  |   | 820101310        | 10分以上20分未満(通院・在宅精神療法)  |         | ※          |
|           |                                   |  |   | 820101311        | 20分以上30分未満(通院・在宅精神療法)  |         | ※          |
|           |                                   |  |   | 820101312        | 30分以上40分未満(通院・在宅精神療法)  |         | ※          |
|           |                                   |  |   | 820101313        | 40分以上50分未満(通院・在宅精神療法)  |         | ※          |
|           |                                   |  |   | 820101314        | 50分以上60分未満(通院・在宅精神療法)  |         | ※          |
|           |                                   |  |   | 820101315        | 30分超(通院・在宅精神療法)  |         | ※          |
| 820101316 | 60分超(通院・在宅精神療法)                   |  | ※   |                  |  |         |            |
| 402       | 1002                              | 通院・在宅精神療法の注3及び注4の加算(20歳未満、16歳未満の患者)                          | 当該保険医療機関の精神科を初めて受診した年月日を記載すること。   | 850100238        | 精神科初回受診年月日(通院・在宅精神療法(20歳未満)加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |         |            |
|           |                                   |  |   | 850100239        | 精神科初回受診年月日(児童思春期精神科専門管理加算(16歳未満)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
|           |                                   |  |   | 850100240        | 精神科初回受診年月日(児童思春期精神科専門管理加算(20歳未満)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
| 403       | 1002注7                            | 通院・在宅精神療法の措置入院後継続支援加算  | (指導等を行った月と算定する月が異なる場合)<br>指導等を行った年月日を記載すること。  | 850100241        | 指導等年月日(措置入院後継続支援加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
| 404       | 1002注8                            | 通院・在宅精神療法の療養生活継続支援加算   | 初回の当該加算を算定した年月日を記載すること。<br><br>(対象となる状態の急性増悪又は著しい環境の変化により新たに重点的な支援を要する場合)<br>急性増悪等における具体的な状態について記載すること。   | 850100441        | 初回算定年月日(療養生活継続支援加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
| 830100533 | 急性増悪等における具体的な状態(療養生活継続支援加算):***** |  |   |                  |  |         |            |
| 405       | 1002注11                           | 通院・在宅精神療法の早期診療体制充実加算   | (病状等により、患者本人から同意を得ることが困難である場合や、やむを得ず家族等から同意を得る場合)その理由を記載すること。   | 830100858        | 患者本人から同意を得ることが困難又はやむを得ず家族等から同意を得た理由(早期診療体制充実加算):*****          |         | ※          |
| 406       | 1002注12                           | 通院・在宅精神療法の注12の規定   | (情報通信機器を用いた精神療法を行う際に、厚生労働省「情報通信機器を用いた精神療法に係る指針」(「オンライン精神療法指針」といふ。))に沿って診療を行う場合)<br>オンライン精神療法指針に沿った適切な診療であることを記載すること。<br><br>(処方を行った場合)<br>オンライン精神療法指針に沿って処方を行い、当該処方がオンライン精神療法指針に沿った適切な処方であることを記載すること。   | 820101189        | オンライン精神療法指針に沿った適切な診療である(通院・在宅精神療法の注12の規定)                      |         | ※          |
|           |                                   |  |   | 820101190        | オンライン精神療法指針に沿って処方を行い、オンライン精神療法指針に沿った適切な処方である(通院・在宅精神療法の注12の規定) |         | ※          |
| 407       | 1002-2                            | 精神科継続外来支援・指導料  | (1回の処方において、抗不安薬を3種類以上、睡眠薬を3種類以上、抗うつ薬を3種類以上又は抗精神病薬を3種類以上投与した場合であっても、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1の第2章第5節第2節F100処方料の(3)のアの(イ)から(ニ)のいずれかに該当し、算定する場合)<br>(3)のアの(イ)から(ニ)までに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。   | 820100203        | (イ) 精神疾患患者が他医療機関で既に向精神薬多剤投与の場合                                 |         |            |
|           |                                   |  |   | 820100204        | (ロ) 向精神薬投与と患者の既投与薬と新導入薬の一時的併用の場合                               |         |            |
|           |                                   |  |   | 820100205        | (ハ) 臨時に投与した場合  |         |            |
|           |                                   |  |   | 820100206        | (ニ) やむを得ず投与を行う場合(抗うつ薬又は抗精神病薬に限る)                               |         |            |
| 408       | 1002-3の2                          | 救急患者精神科継続支援料<br>2 入院中の患者以外の患者                                | (電話等で指導等を行った月と算定する月が異なる場合)<br>当該指導等を行った年月日を記載すること。  | 850100243        | 指導等年月日(救急患者精神科継続支援料(入院外)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
| 409       | 1003                              | 標準型精神分析療法  | 当該診療に要した時間を記載すること。  | 852100009        | 標準型精神分析療法に要した時間(標準型精神分析療法)                                     |         |            |
| 410       | 1003-2                            | 認知療法・認知行動療法  | 初回の算定年月日及び一連の治療における算定回数の合計を記載すること。<br><br>当該診療に要した時間を記載すること。  | 850100244        | 初回算定年月日(認知療法・認知行動療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|           |                                   |  |   | 842100053        | 一連の治療の算定回数の合計(認知療法・認知行動療法):*****                               |         |            |
|           |                                   |  |   | 852100015        | 認知療法・認知行動療法に要した時間(認知療法・認知行動療法)                                 |         |            |
| 411       | 1004                              | 心身医学療法   | 傷病名欄において、心身症による当該身体的傷病の傷病名の次に「(心身症)」と記載すること。<br>例「胃潰瘍(心身症)」<br><br>(初診の日に心身医学療法を算定した場合)<br>診療に要した時間を記載すること。   |                  | 傷病名コード (傷病名を表示する。)<br>修飾語コード (修飾語を表示する。)                       | ○<br>○  |            |
|           |                                   |  |   | 852100010        | 診療に要した時間(心身医学療法)   |         |            |
| 412       | 1006-2                            | 依存症集団療法  | 治療開始年月日を記載すること。   | 850100245        | 治療開始年月日(依存症集団療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                            |         |            |
| 413       | 1008-2<br>1009<br>1010<br>1010-2  | 精神科ショート・ケア<br>精神科デイ・ケア<br>精神科ナイト・ケア<br>精神科デイ・ナイト・ケア          | 精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアのうち最初に算定した年月日を記載すること。なお、最初に算定した日から3年を経過している場合は省略して差し支えないが、精神疾患により、通算して1年以上の入院歴を有する患者であって、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアを週4日以上算定する場合は、通算の入院期間を記載すること。<br><br>(入院中の患者に精神科ショート・ケア又は精神科デイ・ケアを算定した場合)<br>算定日を記載すること。  | 850100246        | 初回算定年月日(精神科デイ・ケア等):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          |         |            |
|           |                                   |  |   | 820100745        | 初回(精神科デイ・ケア等)  |         |            |
|           |                                   |  |   | 830100226        | 通算入院期間(精神科デイ・ケア):*****   |         |            |
|           |                                   |  |   | 830100227        | 通算入院期間(精神科ナイト・ケア):*****  |         |            |
|           |                                   |  |   | 830100228        | 通算入院期間(精神科デイ・ナイト・ケア):*****                                     |         |            |
| 850100247 | 算定日情報 (算定日)                       |  | ○   |                  |  |         |            |
| 414       | 1008-2<br>1009<br>1010<br>1010-2  | 精神科ショート・ケア<br>精神科デイ・ケア<br>精神科ナイト・ケア<br>精神科デイ・ナイト・ケア<br>の早期加算 | 最初に当該療法を算定した年月日又は精神科病床を退院した年月日を記載すること。  | 850100247        | 初回精神科デイ・ケア等算定年月日(早期加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                      |         |            |
|           |                                   |  |   | 850100248        | 精神科病床の退院年月日(早期加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                           |         |            |
| 415       | 1008-2                            | 精神科ショート・ケアの疾患別等専門プログラム加算                                     | 治療開始年月日を記載すること。   | 850100249        | 治療開始年月日(疾患別等専門プログラム加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                      |         |            |
| 416       | 1011-2                            | 精神科退院前訪問指導料  | (2回以上算定した場合)<br>各々の訪問指導年月日を記載すること。  | 850100250        | 訪問指導年月日(精神科退院前訪問指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|           |                                   |  | (患者が服薬中断等により急性増悪した場合であって、医師が必要と認め指示し、当該急性増悪した日から7日以内の期間に算定した場合)<br>その医療上の必要性を記載すること。  | 830100229        | 急性増悪した日から7日以内の期間に算定した医療上の必要性(精神科訪問看護・指導料):*****                |         |            |

| 項番        | 区分                  | 診療行為<br>名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード   | 左記コードによるレセプト表示文言                                     | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|---------------------|--|--|------------------------|--|-------------|--------------------|
| 417       | 1012                | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)<br>精神科訪問看護・指導料(Ⅱ)<br>精神科訪問看護・指導料(Ⅲ) | (急性増悪した患者について、さらに継続した訪問看護が必要と医師が判断し、急性増悪した日から1月以内の連続した7日間に算定した場合)<br>その医療上の必要性を記載すること。 | 830100230              | 急性増悪した日から1月以内の連続した7日間に算定した医療上の必要性(精神科訪問看護・指導料);***** |             |                    |
|           |                     |  | (退院後3月以内の期間において行われる場合で、週5回算定する場合)<br>退院年月日を記載すること。                                     | 850100251              | 退院年月日(精神科訪問看護・指導料(Ⅰ));(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |             |                    |
|           |                     |  |  | 850100252              | 退院年月日(精神科訪問看護・指導料(Ⅲ));(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |             |                    |
|           |                     |  | 月の初日の訪問看護・指導料におけるGAF尺度により測定した値及び測定日を記載すること。GAFの値については該当する範囲を選択して記載すること。                | 850190202              | GAF測定年月日(精神科訪問看護・指導料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101019              | GAF尺度100-91(精神科訪問看護・指導料)                             |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101020              | GAF尺度90-81(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101021              | GAF尺度80-71(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101022              | GAF尺度70-61(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101023              | GAF尺度60-51(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101024              | GAF尺度50-41(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101025              | GAF尺度40-31(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101026              | GAF尺度30-21(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820101027              | GAF尺度20-11(精神科訪問看護・指導料)                              |             |                    |
|           |                     |  | 820101028  | GAF尺度10-1(精神科訪問看護・指導料) |  |             |                    |
| 820101029 | GAF尺度0(精神科訪問看護・指導料) |  |  |                        |  |             |                    |
| 418       | 1012                | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)、精神科訪問看護・指導料(Ⅱ)の夜間・早朝訪問看護加算、深夜訪問看護加算 | 精神科訪問看護を実施した年月日及び時刻を記載すること。  | 850100253              | 精神科訪問看護の実施年月日(夜間・早朝訪問看護加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |             |                    |
|           |                     |  |  | 850100254              | 精神科訪問看護の実施年月日(深夜訪問看護加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |             |                    |
|           |                     |  |  | 851100006              | 精神科訪問看護の実施時刻(夜間・早朝訪問看護加算)                            |             |                    |
|           |                     |  |  | 851100007              | 精神科訪問看護の実施時刻(深夜訪問看護加算)                               |             |                    |
| 419       | 1012                | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)、精神科訪問看護・指導料(Ⅱ)の看護・介護職員連携強化加算        | 介護職員等同行訪問した年月日を記載すること。   | 850100255              | 介護職員等同行訪問年月日(看護・介護職員連携強化加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日       |             |                    |
| 420       | 1012                | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)、精神科訪問看護・指導料(Ⅱ)の特別地域訪問看護加算           | 患者の住所並びに通常の経路及び方法で訪問に要する時間(片道)を記載すること。   | 830100095              | 患者住所(特別地域訪問看護加算);*****                               |             |                    |
|           |                     |  |  | 852100005              | 訪問に要する時間(片道)(特別地域訪問看護加算)                             |             |                    |
| 421       | 1012<br>注7          | 精神科訪問看護・指導料の精神科緊急訪問看護加算                            | 加算を算定する理由を詳細に記載すること。   | 830100859              | 緊急訪問看護の理由(精神科緊急訪問看護加算);*****                         |             | ※                  |
|           |                     |  | 緊急の訪問看護を行った年月日を記載すること。   | 850190234              | 緊急訪問年月日(精神科緊急訪問看護加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |             | ※                  |
| 422       | 1012-2              | 精神科訪問看護指示料の精神科特別訪問看護指示加算                           | 頻回の指定訪問看護を行う必要性を認めた理由を記載すること。  | 830100232              | 頻回の指定訪問看護を行う必要性(精神科特別訪問看護指示加算);*****                 |             |                    |
| 423       | 1012-2              | 精神科訪問看護指示料の手順書加算                                   | 前回算定年月日(初回である場合は初回である旨)を記載すること。  | 850190056              | 前回実施年月日(手順書加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                    |             |                    |
|           |                     |  |  | 820190052              | 初回(手順書加算)  |             |                    |
| 424       | 1014                | 医療保護入院等診療料   | 患者の該当する入院形態として、措置入院、緊急措置入院、医療保護入院、応急入院の中から該当するものを選択して記載すること。                           | 820100207              | 措置入院   |             |                    |
|           |                     |  |  | 820100208              | 緊急措置入院   |             |                    |
|           |                     |  |  | 820100209              | 医療保護入院   |             |                    |
|           |                     |  |  | 820100210              | 応急入院   |             |                    |
| 425       | 1015                | 重度認知症患者デイケア料の早期加算                                  | 最初に当該療法を算定した年月日又は精神病床を退院した年月日を記載すること。  | 850100256              | 重度認知症患者デイケア料の初回算定年月日(早期加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |             |                    |
|           |                     |  |  | 850100248              | 精神病床の退院年月日(早期加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |             |                    |
| 426       | 1015                | 重度認知症患者デイケア料の夜間ケア加算                                | 初回算定年月日及び夜間ケアに要した時間を記載すること。  | 850100258              | 重度認知症患者デイケア料の初回算定年月日(夜間ケア加算);(元号)yy"年"mm"月"dd"日      |             |                    |
|           |                     |  |  | 852100012              | 夜間ケアに要した時間(夜間ケア加算)                                   |             |                    |
|           |                     |  |  | 850100259              | 直近の入院の入院日(精神科在宅患者支援管理料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |             |                    |
|           |                     |  |  | 820100746              | 入院形態(精神科在宅患者支援管理料);措置入院                              |             |                    |
|           |                     |  |  | 820100747              | 入院形態(精神科在宅患者支援管理料);緊急措置入院                            |             |                    |
|           |                     |  |  | 820100748              | 入院形態(精神科在宅患者支援管理料);医療保護入院                            |             |                    |
|           |                     |  |  | 850100260              | 直近の入院の退院日(精神科在宅患者支援管理料);(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |             |                    |
|           |                     |  |  | 830100233              | 前々回の入院日、入院形態並びに退院日(精神科在宅患者支援管理料);*****               |             |                    |

| 項番        | 区分                                       | 診療行為名称等              | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                            | 紙レセのみ記載                         | 令和6年6月1日適用   |           |                                     |  |  |
|-----------|--|----------------------|---|------------------|---|---------------------------------|--|-----------|-------------------------------------|--|--|
| 427       | 1016                                     | 精神科在宅患者支援管理料         | <p>(精神科在宅患者支援管理料の「1」又は「2」を算定した場合)<br/>直近の入院についての入院年月日、入院形態、退院年月日(入退院を繰り返す者の場合は、直近の入院に加え、前々回の入院日、入院形態並びに退院日)、直近の退院時におけるGAF、当該月の最初の訪問診療時におけるGAF、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のランク、平成31～令和3年度厚生労働行政調査推進補助金障害者対策総合研究事業において「地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究」の研究班が作成した、別紙様式41の2に掲げる「在宅医療における包括的支援マネジメント導入基準」(以下この項において「在宅医療における包括的支援マネジメント導入基準」という。))において、当該患者に該当するコア項目並びに当該導入基準の点数、初回の算定日、カンファレンス実施日、算定する月に行った訪問の日時、診療時間及び訪問した者の職種を記載すること。<br/>なお、入院形態については、措置入院、緊急措置入院、医療保護入院の中から該当するものを選択して、また、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のランクについては、「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」別添6の別紙12におけるランクの中から該当するものを選択して記載すること。</p> | 842100054        | 直近の退院時におけるGAF(精神科在宅患者支援管理料);*****           |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 842100055        | 当該月の最初の訪問診療時におけるGAF(精神科在宅患者支援管理料);*****     |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100194        | 認知症高齢者の日常生活自立度 1                            |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100195        | 認知症高齢者の日常生活自立度 2                            |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100196        | 認知症高齢者の日常生活自立度 2a                           |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100197        | 認知症高齢者の日常生活自立度 2b                           |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100198        | 認知症高齢者の日常生活自立度 3                            |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100199        | 認知症高齢者の日常生活自立度 3a                           |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100200        | 認知症高齢者の日常生活自立度 3b                           |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100201        | 認知症高齢者の日常生活自立度 4                            |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820100202        | 認知症高齢者の日常生活自立度 M                            |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820101191        | 在宅医療における包括的支援マネジメント導入基準において該当するコア項目:1       |                                 | ※  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820101192        | 在宅医療における包括的支援マネジメント導入基準において該当するコア項目:2       |                                 | ※  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 820101193        | 在宅医療における包括的支援マネジメント導入基準において該当するコア項目:3       |                                 | ※  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 842100113        | 在宅医療における包括的支援マネジメント導入基準の点数;*****            |                                 | ※  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 850100261        | 初回算定日(精神科在宅患者支援管理料);(元号)yy年mm月dd日           |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 850100262        | カンファレンス実施日(精神科在宅患者支援管理料);(元号)yy年mm月dd日      |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 850100263        | 算定する月に行った訪問日(精神科在宅患者支援管理料);(元号)yy年mm月dd日    |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 851100008        | 算定する月に行った訪問の時刻(精神科在宅患者支援管理料)                |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 852100013        | 診療時間(精神科在宅患者支援管理料)                          |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100234        | 訪問した者の職種(精神科在宅患者支援管理料);*****                |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 428              | I   | 「制限回数を超えて行う診療」に係る精神科専門療法を実施した場合 | <p>次の例により「精選」と記載し、当該制限回数を超えて行う診療の名称、徴収した特別の料金及び回数を他の精神科専門療法と区別して記載すること。<br/>(記載例)<br/>精神科デイ・ケア(小規模) 590×5<br/>(精選)<br/>精神科デイ・ケア 5,900円×1</p> | 830100534 | 精選;*****                            |  |  |
|           |  |                      |   |                  |   |                                 |  | 850100264 | 初回の算定日(精神科在宅患者支援管理料1);(元号)yy年mm月dd日 |  |  |
| 850100265 | 初回の算定日(精神科在宅患者支援管理料2);(元号)yy年mm月dd日      |                      |   |                  |   |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 850100266 | 初回の算定日(精神科在宅患者支援管理料3);(元号)yy年mm月dd日      |                      |   |                  |   |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 830100235 | 訪問の日時、診療時間、訪問した者の職種(精神科在宅患者支援管理料3);***** |                      |   |                  |   |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 429       | J000-2                                   | 下肢創傷処置               | 下肢創傷の部位及び潰瘍の深さを記載すること。  | 830100535        | 下肢創傷の部位及び潰瘍の深さ(下肢創傷処置);*****                |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100236        | 急性増悪における状態像(精神科在宅患者支援管理料1の「ロ」);*****        |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 430       | J001                                     | 熱傷処置                 | 初回の処置を行った年月日を記載すること。  | 850100268        | 初回年月日(熱傷処置);(元号)yy年mm月dd日                   |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 431       | J001-5                                   | 長期療養患者褥瘡等処置          | (1年を超える入院の場合)にあって創傷処置又は皮膚科軟膏処置の費用を算定する場合)対象傷病名を記載すること。  | 830100239        | 対象傷病名(長期療養患者褥瘡等処置);*****                    |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 432       | J001-10                                  | 静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの) | <p>難治性潰瘍の所見(潰瘍の持続期間、部位、深達度及び面積を含む。)、これまでの治療経過(初回の場合はその旨を記載)、慢性静脈不全と診断した根拠(下肢静脈超音波検査等の所見)、静脈圧迫処置を必要とする医学的理由及び指導内容について記載すること。</p>   | 830100240        | 難治性潰瘍の所見(静脈圧迫処置);*****                      |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100241        | 治療経過(静脈圧迫処置);*****                          |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100242        | 慢性静脈不全等と診断した根拠(下肢静脈超音波検査等の所見)(静脈圧迫処置);***** |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100243        | 静脈圧迫処置を必要とする医学的理由(静脈圧迫処置);*****             |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100244        | 指導内容(静脈圧迫処置);*****                          |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 433       | J003                                     | 局所陰圧閉鎖処置(入院)         | <p>(J040局所灌流の「2」骨髄・骨髄炎に対するものを併せて算定する場合)その理由及び医学的な根拠を詳細に記載すること。</p>  | 830100245        | 理由及び医学的根拠(局所陰圧閉鎖処置と洗浄を行った場合);*****          |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 850100442        | 初回加算算定年月日(局所陰圧閉鎖処置(入院));(元号)yy年mm月dd日       |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100246        | 陰圧維持管理装置として使用した機器(局所陰圧閉鎖処置(入院));*****       |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100247        | 医学的必要性(局所陰圧閉鎖処置(入院));*****                  |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100459        | 併算定した処置の部位(局所陰圧閉鎖処置);*****                  |                                 |  |           |                                     |  |  |
|           |  |                      |   | 830100460        | 対象部位(局所陰圧閉鎖処置);*****                        |                                 |  |           |                                     |  |  |
| 434       | J003注2                                   | 局所陰圧閉鎖処置(入院)の持続洗浄加算  | 持続洗浄加算を算定した理由及び医学的な根拠を詳細に記載すること。  | 830100248        | 持続洗浄加算を算定した理由及び医学的根拠(持続洗浄加算);*****          |                                 |  |           |                                     |  |  |

| 項番  | 区分                 | 診療行為名称等                                   | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                             | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|--------------------|---|--|------------------|--|---------|------------|
| 435 | J003-2             | 局所除圧閉鎖処置(入院外)                             | (局所除圧閉鎖処置(入院外)を算定した場合)<br>初回加算を算定した年月日を記載すること。   | 850100270        | 初回加算算定年月日(局所除圧閉鎖処置(入院外));(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
|     |                    |   | (創傷処置、下肢創傷処置又は熱傷処置を併せて算定した場合)<br>併算定した処置と局所除圧閉鎖処置のそれぞれの対象部位を記載すること。  | 830100459        | 併算定した処置の部位(局所除圧閉鎖処置);*****                   |         |            |
|     |                    |   |  | 830100460        | 対象部位(局所除圧閉鎖処置);*****                         |         |            |
| 436 | J003-3             | 局所除圧閉鎖処置(腹部開放創)                           | (局所除圧閉鎖処置(腹部開放創)を算定した場合)<br>処置開始年月日を記載すること   | 850100393        | 処置開始日(局所除圧閉鎖処置(腹部開放創));(元号)yy"年"mm"月"dd"日    |         |            |
| 437 | J003-4             | 多血小板血漿処置                                  | 当該処置を行う医学的必要性を記載すること。  | 830100249        | 多血小板血漿処置を行う医学的必要性(多血小板血漿処置);*****            |         |            |
|     |                    |   | (創傷処置、下肢創傷処置又は熱傷処置を併せて算定した場合)<br>併算定した処置と多血小板血漿処置のそれぞれの対象部位を記載すること。  | 830100860        | 併算定した処置の部位(多血小板血漿処置);*****                   |         | ※          |
|     |                    |   |  | 830100861        | 対象部位(多血小板血漿処置);*****                         |         | ※          |
| 438 | J007-2             | 硬膜外自家血注入                                  | 当該診断基準を満たすことを示す画像所見、撮影日及び撮影医療機関の名称等の症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。                                      | 830100250        | 症状詳細(硬膜外自家血注入);*****                         |         |            |
| 439 | J026-4             | ハイフローセラピー                                 | 動脈血酸素分圧又は経皮的酸素飽和度の測定結果を記載すること。   | 830100251        | 動脈血酸素分圧又は経皮的酸素飽和度測定結果(ハイフローセラピー);*****       |         |            |
| 440 | J027               | 高気圧酸素治療                                   | 一連の治療における初回実施年月日及び初回からの通算実施回数(当該月に実施されたものを含む。)を記載すること。   | 850100272        | 初回実施年月日(高気圧酸素治療);(元号)yy"年"mm"月"dd"日          |         |            |
|     |                    |   | (高気圧酸素治療の「1」を算定した場合)<br>減圧症又は空気塞栓が発症した年月日を記載すること。  | 850100273        | 減圧症又は空気塞栓発症年月日(高気圧酸素治療);(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         |            |
|     |                    |   | (高気圧酸素治療の「1」について、長時間加算を算定した場合)<br>高気圧酸素治療の実施時間を記載すること。   | 140057510        | 高気圧酸素治療(減圧症又は空気塞栓)                           |         | ○          |
| 441 | J032注              | 肛門拡張法の周術期乳幼児加算                            | 初回の算定年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。   | 850190046        | 初回の算定年月日(周術期乳幼児加算(肛門拡張法));(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         |            |
|     |                    |   |  | 820190046        | 初回(周術期乳幼児加算(肛門拡張法))                          |         |            |
| 442 | J034-2             | 経鼻栄養・薬剤投与用チューブ挿入術                         | (経胃の栄養摂取が必要な患者に対して在宅などX線装置が活用できない環境下において、経鼻栄養・薬剤投与用チューブの挿入に際して、ファイバー光源の活用によりチューブの先端が胃内にあることを確認する場合)医学的必要性について記載すること。 | 830100862        | 医学的必要性(経鼻栄養・薬剤投与用チューブ挿入術);*****              |         | ※          |
| 443 | J038               | 人工腎臓                                      | 人工腎臓を算定した日を記載すること。   | 算定日情報            | (算定日)  |         | ○          |
|     |                    |   |  | 820100211        | ア 急性腎不全の患者                                   |         |            |
|     |                    |   |  | 820100212        | イ 透析導入期(1月に限る。)の患者                           |         |            |
|     |                    |   |  | 820100213        | ウ 血液濾過又は血液透析濾過を実施                            |         |            |
|     |                    |   |  | 820100214        | エ 特別な管理が必要(イ 進行性眼底出血)                        |         |            |
|     |                    |   |  | 820100215        | エ 特別な管理が必要(ロ 重篤な急性出血性合併症)                    |         |            |
|     |                    |   |  | 820100216        | エ 特別な管理が必要(ハ ヘパリン起因性血小板減少症)                  |         |            |
|     |                    |   |  | 820100217        | エ 特別な管理が必要(ニ 播種性血管内凝固症候群)                    |         |            |
|     |                    |   |  | 820100218        | エ 特別な管理が必要(ホ 敗血症)                            |         |            |
|     |                    |   |  | 820100219        | エ 特別な管理が必要(ヘ 急性肺炎)                           |         |            |
|     |                    |   |  | 820100220        | エ 特別な管理が必要(ト 重篤な急性肝不全)                       |         |            |
|     |                    |   |  | 820100221        | エ 特別な管理が必要(チ 注射による化学療法中の悪性腫瘍)                |         |            |
|     |                    |   |  | 820100222        | エ 特別な管理が必要(リ 自己免疫疾患の活動性が高い状態)                |         |            |
|     |                    |   |  | 820100223        | エ 特別な管理が必要(ヌ 麻酔による手術を実施した状態)                 |         |            |
|     | 830100252          | 在宅自己腹膜灌流指導管理料を算定している他の保険医療機関名(人工腎臓);***** |  |                  |  |         |            |
| 444 | J038               | 人工腎臓の導入期加算                                | 導入の年月日を記載すること。   | 850100275        | 導入年月日(導入期加算(人工腎臓));(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |         |            |
| 445 | J038注3<br>J038-2注2 | 人工腎臓の障害者等加算<br>持続濾過式血液濾過の障害者等加算           | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第9節J038人工腎臓の(18)のアからツまでに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。                            | 820100224        | ア 障害者基本法にいう障害者で留意事項通知に規定する者                  |         |            |
|     |                    |   |  | 820100225        | イ 精神保健福祉法の規定によって医療を受ける者                      |         |            |
|     |                    |   |  | 820100226        | ウ 指定難病等に罹患している者で留意事項通知に規定するもの                |         |            |
|     |                    |   |  | 820100227        | エ 留意事項通知に規定する糖尿病の患者                          |         |            |
|     |                    |   |  | 820100228        | オ 運動麻痺を伴う脳血管疾患患者                             |         |            |
|     |                    |   |  | 820100229        | カ 認知症患者                                      |         |            |
|     |                    |   |  | 820100230        | キ 常時低血圧(収縮期血圧が90mmHg以下)の者                    |         |            |
|     |                    |   |  | 820100231        | ク 透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈する者                |         |            |
|     |                    |   |  | 820100232        | ケ 出血性消化器病変を有する者                              |         |            |
|     |                    |   |  | 820100233        | コ 骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症の患者                       |         |            |
|     |                    |   |  | 820100234        | サ 重症感染症に合併しているため入院中の患者                       |         |            |
|     |                    |   |  | 820100235        | シ 末期癌に合併しているため入院中の患者                         |         |            |
|     |                    |   |  | 820100236        | ス 入院中の患者であって腹水・胸水が貯留しているもの                   |         |            |
|     |                    |   |  | 820100237        | セ 妊婦(妊娠中期以降)                                 |         |            |
|     |                    |   |  | 820100238        | ソ うっ血性心不全(NYHA3度以上)                          |         |            |
|     |                    |   |  | 820100239        | タ 12歳未満の小児                                   |         |            |
|     |                    |   |  | 820100240        | チ 人工呼吸を実施中の患者                                |         |            |
|     |                    |   |  | 820100241        | ツ 結核菌を排菌中の患者                                 |         |            |

| 項番  | 区分      | 診療行為名称等                  | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|---------|--------------------------|--|------------------|---|---------|------------|
| 446 | J038注14 | 人工腎臓透析時運動指導等加算           | 指導を開始した年月日を記載すること。   | 850190235        | 指導を開始した年月日(透析時運動指導等加算(人工腎臓)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |         | ※          |
| 447 | J038-2  | 持続緩徐式血液濾過                | 一連の当該療法の初回実施日、初回からの通算実施回数(当該月に実施されたものを含む。)、当該月の算定日及び1回毎の開始時間と終了時間(当該月に実施されたものに限る。)を記載すること。   | 850100443        | 初回実施年月日(持続緩徐式血液濾過):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
|     |         |                          |  | 842100057        | 通算実施回数(持続緩徐式血液濾過):*****                         |         |            |
|     |         |                          |  | 851100009        | 開始時刻(持続緩徐式血液濾過)                                 |         |            |
|     |         |                          |  | 851100010        | 終了時刻(持続緩徐式血液濾過)                                 |         |            |
|     |         |                          |  | 820100750        | 該当する項目(持続緩徐式血液濾過):ア 末期腎不全の患者                    |         |            |
|     |         |                          |  | 820100751        | 該当する項目(持続緩徐式血液濾過):イ 急性腎障害と診断された、高度代謝性アシドーシスの患者  |         |            |
|     |         |                          |  | 820100752        | 該当する項目(持続緩徐式血液濾過):ウ 薬物中毒の患者                     |         |            |
|     |         |                          |  | 820100753        | 該当する項目(持続緩徐式血液濾過):エ 急性腎障害と診断された、尿毒症の患者          |         |            |
|     |         |                          |  | 820100754        | 該当する項目(持続緩徐式血液濾過):オ 急性腎障害と診断された、電解質異常の患者        |         |            |
|     |         |                          |  | 820100755        | 該当する項目(持続緩徐式血液濾過):カ 急性腎障害と診断された、体液過剰状態の患者       |         |            |
| 448 | J039    | 血漿交換療法                   | 一連の当該療法の初回実施年月日、初回からの通算実施回数(当該月に実施されたものも含む。)、当該月の算定日及び1回毎の開始時間と終了時間(当該月に実施されたものに限る。)を記載すること。   | 850100277        | 初回実施年月日(血漿交換療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日              |         |            |
|     |         |                          |  | 842100058        | 通算実施回数(血漿交換療法):*****                            |         |            |
|     |         |                          |  | 算定日情報 (算定日)      |   | ○       |            |
| 449 | J039注3  | 移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法 | 臓器移植後に抗体関連型拒絶反応を呈する患者を対象として、抗ドナー抗体を除去することを目的として実施する医学的な必要性から一連につき6回以上算定する場合には、その理由を記載すること。   | 830100536        | 6回以上算定する理由(移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法):*****      |         |            |
|     |         |                          |  | 830100256        | 理由及び医学的根拠(血漿交換療法):*****                         |         |            |
| 450 | J040    | 局所灌流                     | 当該月の算定日及び1回毎の開始時間と終了時間(当該月に実施されたものに限る。)を記載すること。  | 算定日情報 (算定日)      |   | ○       |            |
|     |         |                          |  | 851100013        | 開始時刻(局所灌流)                                      |         |            |
|     |         |                          |  | 851100014        | 終了時刻(局所灌流)                                      |         |            |
| 451 | J041    | 吸着式血液浄化法                 | 当該月の算定日及び1回毎の開始時間と終了時間(当該月に実施されたものに限る。)を記載すること。  | 算定日情報 (算定日)      |   | ○       |            |
|     |         |                          |  | 851100015        | 開始時刻(吸着式血液浄化法)                                  |         |            |
|     |         |                          |  | 851100016        | 終了時刻(吸着式血液浄化法)                                  |         |            |
|     |         |                          |  | 830100257        | アの1の要件を満たす医学的根拠(吸着式血液浄化法):*****                 |         |            |
|     |         |                          |  | 830100258        | アの2の要件を満たす医学的根拠(吸着式血液浄化法):*****                 |         |            |
| 452 | J041-2  | 血球成分除去療法                 | (寛解期の潰瘍性大腸炎で既存の薬物治療が無効、効果不十分又は適用できない難治性患者(厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班の診断基準)に対しては、寛解維持を目的として行った場合であって、医学的な必要性から一連につき2週間に2回以上算定する場合は48週間を超えて算定する場合)その理由を記載すること。 | 830100764        | 2週間に2回以上算定する理由(血球成分除去療法):*****                  |         |            |
|     |         |                          |  | 830100765        | 48週間を超えて算定する理由(血球成分除去療法):*****                  |         |            |
|     |         |                          |  | 830100863        | 24週間に31回を超えて算定する理由(血球成分除去療法):*****              |         | ※          |
|     |         |                          |  | 830100766        | 医学的な必要性(初回)(血球成分除去療法):*****                     |         |            |
|     |         |                          |  | 850100444        | 初回実施年月日(血球成分除去療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日            |         |            |
| 453 | J042の1  | 連続換行式腹膜灌流の導入期加算          | 導入の年月日を記載すること。   | 842100060        | 通算実施回数(血球成分除去療法):*****                          |         |            |
|     |         |                          |  | 851100017        | 開始時刻(血球成分除去療法)                                  |         |            |
|     |         |                          |  | 851100018        | 終了時刻(血球成分除去療法)                                  |         |            |
|     |         |                          |  | 850100279        | 導入年月日(導入期加算(腹膜灌流)):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
|     |         |                          |  | 820101242        | ア 傍ストーマヘルニア(ストーマ合併症加算(ストーマ処置))                  |         | ※          |
|     |         |                          |  | 820101243        | イ ストーマ脱出(ストーマ合併症加算(ストーマ処置))                     |         | ※          |
|     |         |                          |  | 820101244        | ウ ストーマ腫瘍(ストーマ合併症加算(ストーマ処置))                     |         | ※          |

| 項番  | 区分           | 診療行為<br>名称等                 | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                             | 紙レセの<br>み記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----|--------------|-----------------------------|--|----------------------|--|-------------|--------------------|
| 454 | J043-3<br>注4 | ストーマ処置のストーマ併症加算             | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第9部J043-3ストーマ処置の(4)のAからキまでに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。   | 820101245            | エ ストーマ部瘻孔(ストーマ合併症加算(ストーマ処置))                 |             | ※                  |
|     |              |                             |  | 820101246            | オ ストーマ静脈瘻(ストーマ合併症加算(ストーマ処置))                 |             | ※                  |
|     |              |                             |  | 820101247            | カ ストーマ周囲肉芽腫(ストーマ合併症加算(ストーマ処置))               |             | ※                  |
|     |              |                             |  | 820101248            | キ ストーマ周囲難治性潰瘍等(ストーマ合併症加算(ストーマ処置))            |             | ※                  |
| 455 | J045-03      | 人工呼吸 5時間を超えた場合              | 開始年月日を記載すること。なお、長期入院により人工呼吸開始日の特定日が困難な場合については、その旨記載すること。   | 850100445            | 開始年月日(人工呼吸 5時間を超えた場合):(元号)yy"年"mm"月"dd"日     |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100864            | 人工呼吸開始日の特定が困難な理由(人工呼吸 5時間を超えた場合):*****       |             | ※                  |
| 456 | J045注3       | 覚醒試験加算                      | 開始年月日を記載すること。  | 850100446            | 開始年月日(覚醒試験加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |             |                    |
| 457 | J045注5       | 人工呼吸 腹臥位療法加算                | 当該月の算定日及び1回毎の開始年月日、開始時間、終了年月日及び終了時間(当該月に実施されたものに限る。)を記載すること。   | 算定日情報 (算定日)          |  | ○           |                    |
|     |              |                             |  | 850190236            | 開始年月日(腹臥位療法加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日            |             | ※                  |
|     |              |                             |  | 851100079            | 開始時刻(腹臥位療法加算)                                |             | ※                  |
|     |              |                             |  | 850190238            | 終了年月日(腹臥位療法加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日            |             | ※                  |
|     |              |                             |  | 851100080            | 終了時刻(腹臥位療法加算)                                |             | ※                  |
| 458 | J045-2       | 一酸化窒素吸入療法                   | 開始日時、終了日時及び通算時間を記載すること。<br><br>(96時間又は168時間を超えて算定する場合)その理由及び医学的根拠を記載すること。  | 算定日情報 (算定日)          |  | ○           |                    |
|     |              |                             |  | 851100019            | 開始時刻(一酸化窒素吸入療法)                              |             |                    |
|     |              |                             |  | 850100281            | 終了年月日(一酸化窒素吸入療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日          |             |                    |
|     |              |                             |  | 851100020            | 終了時刻(一酸化窒素吸入療法)                              |             |                    |
|     |              |                             |  | 852100014            | 通算時間(一酸化窒素吸入療法)                              |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100262            | 理由及び医学的根拠(一酸化窒素ガス加算):*****                   |             |                    |
| 459 | J047-3       | 心不全に対する遠赤外線温熱療法             | 当該療法を開始した年月日及び医学的必要性を記載する。   | 850100282            | 初回の算定年月日(心不全に対する遠赤外線温熱療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100263            | 医学的必要性(心不全に対する遠赤外線温熱療法):*****                |             |                    |
| 460 | J052-2       | 熱傷温浴療法                      | 受傷年月日を記載すること。  | 850100283            | 受傷年月日(熱傷温浴療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |             |                    |
| 461 | J054-2       | 皮膚レーザー照射療法                  | 前回の治療開始年月日を記載すること。   | 850100284            | 前回治療開始年月日(皮膚レーザー照射療法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日     |             |                    |
| 462 | J070-2       | 干渉低周波による膀胱等刺激法              | 治療開始年月日を記載すること。  | 850100285            | 治療開始年月日(干渉低周波による膀胱等刺激法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |             |                    |
| 463 | J070-3       | 冷却褥処置                       | 褥瘡の重症度について、Ⅰ度又はⅡ度のうち該当するものを選択して記載すること。   | 820100242            | 重症度 1度                                       |             |                    |
|     |              |                             |  | 820100243            | 重症度 2度                                       |             |                    |
| 464 | J070-4       | 磁気による膀胱等刺激法                 | 当該療法の初回実施年月日及び初回からの通算実施日を記載すること。   | 850100286            | 初回実施年月日(磁気による膀胱等刺激法):(元号)yy"年"mm"月"dd"日      |             |                    |
|     |              |                             |  | 842100061            | 通算実施日(磁気による膀胱等刺激法):*****                     |             |                    |
| 465 | J118-4       | 歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)        | (歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)を継続して算定する場合)カンファレンスにおける歩行機能の改善効果等の検討結果について、その要点(5週間以内に実施される9回の処置の前後の結果を含む。)を症状詳細として記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。 | 830100264            | 症状詳細(歩行運動処置(ロボットスーツ)):*****                  |             |                    |
| 466 | J008等        | 180日を超える期間通算対象入院料を算定している患者  | (厚生労働大臣が定める状態にあるもの(「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」(平成18年厚生労働省告示第408号)第九のトに該当する患者)について胸腔穿刺又は腹腔穿刺を算定した場合)処置名を記載すること。                                 | 140003210            | 胸腔穿刺(洗浄、注入及び排液を含む)                           | ○           |                    |
|     |              |                             |  | 140003610            | 腹腔穿刺(人工気腹、洗浄、注入及び排液を含む)                      | ○           |                    |
|     |              |                             |  | 820100244            | 障害老人の日常生活自立度(寝たきり度) ランクB                     |             |                    |
|     |              |                             |  | 820100245            | 障害老人の日常生活自立度(寝たきり度) ランクC                     |             |                    |
| 467 | J129-3       | 治療用器具採寸法                    | (医学的な必要性から、既製品の治療用器具を処方するに当たって、既製品の治療用器具を加工するために当該採寸を実施した場合)医学的必要性及び加工の内容を記載すること。  | 830100537            | 医学的な必要性(治療用器具採寸法):*****                      |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100538            | 加工の内容(治療用器具採寸法):*****                        |             |                    |
| 468 | K            | 手術                          | 算定日を記載すること。<br>なお、対称器官の両側に対し、手術(片側の点数が表示されているものに限る。)を行った場合は、左右別にそれぞれ算定日を記載すること。  | 算定日情報 (算定日)          |  | ○           |                    |
| 469 | K 通則7        | 通則7<br>1,500グラム未満の児加算、新生児加算 | 手術時体重を記載すること。  | 830100265            | 手術時体重(極低出生体重児加算(手術)):*****                   |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100266            | 手術時体重(新生児加算(手術)):*****                       |             |                    |
| 470 | K 通則12       | 通則12<br>時間外等加算1             | 手術を実施した診療科、初診又は再診の日時(入院中の患者以外の患者に手術を実施した場合に限る。)及び手術を開始した日時を記載すること。   | 830100539            | 手術実施診療科(休日加算1(手術)):*****                     |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100540            | 手術実施診療科(時間外加算1(手術)):*****                    |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100541            | 手術実施診療科(深夜加算1(手術)):*****                     |             |                    |
|     |              |                             |  | 830100542            | 手術実施診療科(時間外特別医療機関加算1(手術)):*****              |             |                    |
|     |              |                             |  | 853100021            | 休日加算1(手術)初診又は再診の日時:dd"日"hh"時"mm"分            |             |                    |
|     |              |                             |  | 853100022            | 時間外加算1(手術)初診又は再診の日時:dd"日"hh"時"mm"分           |             |                    |
|     |              |                             |  | 853100023            | 深夜加算1(手術)初診又は再診の日時:dd"日"hh"時"mm"分            |             |                    |
|     |              |                             |  | 853100024            | 時間外特別医療機関加算1(手術)初診又は再診の日時:dd"日"hh"時"mm"分     |             |                    |
|     |              |                             |  | 853100025            | 休日加算1(手術)手術開始日時:dd"日"hh"時"mm"分               |             |                    |

| 項番  | 区分          | 診療行為<br>名称等                           | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----|-------------|---------------------------------------|---|----------------------|--|-------------|--------------------|
|     |             |                                       |   | 853100026            | 時間外加算1(手術)手術開始日時:dd"日"hh"時"mm"分"                               |             |                    |
|     |             |                                       |   | 853100027            | 深夜加算1(手術)手術開始日時:dd"日"hh"時"mm"分"                                |             |                    |
|     |             |                                       |   | 853100028            | 時間外特別医療機関加算1(手術)手術開始日時:dd"日"hh"時"mm"分"                         |             |                    |
| 471 | K002        | デブリードマン                               | (デブリードマンを繰り返し算定する場合)<br>植皮の範囲(全身に占める割合)を記載すること。<br><br>(A群溶連菌感染症に伴う壊死性筋膜炎に対して行う場合)<br>病歴、細菌培養検査及び画像所見を記載すること。           | 830100267            | 植皮の範囲(デブリードマン);*****   |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100268            | 病歴(デブリードマン);*****  |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100269            | 細菌培養検査結果(デブリードマン);*****  |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100270            | 画像所見(デブリードマン);*****  |             |                    |
| 472 | K019-2      | 自家脂肪注入                                | 注入した脂肪量を記載すること。   | 830100543            | 注入した脂肪量(自家脂肪注入);*****  |             |                    |
| 473 | K022<br>の1  | 組織拡張器による再<br>建手術<br>1 乳房(再建手術)の<br>場合 | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第10部K022の組織拡張器による再建手術の(2)のア又はイのうち該当するものを選択して記載すること。                                | 820100246            | ア 留意事項通知に規定する一次再建  |             |                    |
|     |             |                                       |   | 820100247            | イ 留意事項通知に規定する二次再建  |             |                    |
|     |             |                                       | (一連の治療につき2回以上算定する場合)<br>その詳細な理由を記載すること。   | 830100271            | 詳細理由(組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)));*****                             |             |                    |
| 474 | K022<br>の2  | 組織拡張器による再<br>建手術<br>2 その他の場合          | (一連の治療につき2回以上算定する場合)<br>その詳細な理由を記載すること。   | 830100272            | 詳細理由(組織拡張器による再建手術(その他));*****                                  |             |                    |
| 475 | K046<br>注   | 骨折親血の手術の緊急<br>整備固定加算                  | 骨折した日時及び手術を開始した日時を記載すること。   | 853100006            | 骨折した日時(緊急整備固定加算);dd"日"hh"時"mm"分"                               |             |                    |
|     |             |                                       |   | 853100007            | 手術を開始した日時(緊急整備固定加算);dd"日"hh"時"mm"分"                            |             |                    |
| 476 | K047        | 難治性骨折電磁波電<br>気治療法                     | (親血の手術又は超音波骨折治療法等他の療養を行わず難治性骨折電磁波電気治療法を行った場合)<br>その詳細な理由を記載すること。<br><br>当該治療の実施予定期間及び頻度について患者に対して指導した内容を記載すること。         | 830100273            | 詳細理由(難治性骨折電磁波電気治療法);*****                                      |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100274            | 指導内容(難治性骨折電磁波電気治療法);*****                                      |             |                    |
| 477 | K047-2      | 難治性骨折超音波治<br>療法                       | (親血の手術又は超音波骨折治療法等他の療養を行わず難治性骨折超音波治療法を行った場合)<br>その詳細な理由を記載すること。<br><br>当該治療の実施予定期間及び頻度について患者に対して指導した内容を記載すること。           | 830100780            | 詳細理由(難治性骨折超音波治療法);*****  |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100781            | 指導内容(難治性骨折超音波治療法);*****  |             |                    |
| 478 | K047-3      | 超音波骨折治療法                              | (四肢(手足を含む。))の骨折親血の手術等を実施した後、当該骨折から3週間を超えて超音波骨折治療法を行った場合)<br>その理由を記載すること。<br><br>当該治療の実施予定期間及び頻度について患者に対して指導した内容を記載すること。 | 830100275            | 実施理由(超音波骨折治療法);*****   |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100276            | 指導内容(超音波骨折治療法);*****   |             |                    |
| 479 | K059        | 骨移植術(教育移植<br>術を含む。)                   | (自家骨又は非生体同種骨(凍結保存された死体骨を含む。))移植に加え、人工骨移植を併せて行った場合)<br>人工骨の移植部位について記載すること。   | 830100544            | 人工骨の移植部位(骨移植術);*****   |             |                    |
| 480 | K079-2<br>注 | 関節鏡下靭帯断裂形<br>成手術の一次的両靭<br>帯形成加算       | 両靭帯損傷と診断する根拠となった検査所見等及び一次的な両靭帯形成術の医学的必要性を記載すること。  | 830100277            | 両靭帯損傷と診断する根拠となった検査所見(一次的両靭帯形成加算);*****                         |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100278            | 一次的な両靭帯形成術の医学的必要性(一次的両靭帯形成加算);*****                            |             |                    |
| 481 | K081<br>注   | 人工骨頭挿入術の緊急<br>挿入加算                    | 骨折した日時及び手術を開始した日時を記載すること。   | 853100008            | 骨折した日時(緊急挿入加算);dd"日"hh"時"mm"分"                                 |             |                    |
|     |             |                                       |   | 853100009            | 手術を開始した日時(緊急挿入加算);dd"日"hh"時"mm"分"                              |             |                    |
| 482 | K096-2      | 体外衝撃波疼痛治療<br>術                        | 保存療法の開始年月日及び本治療を選択した医学的理由を記載すること。<br><br>(2回目以降算定する場合)<br>前回算定年月日及びその理由を記載すること。   | 850100287            | 保存療法開始年月日(体外衝撃波疼痛治療術);(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                      |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100279            | 治療を選択した医学的理由(体外衝撃波疼痛治療術);*****                                 |             |                    |
|     |             |                                       |   | 850100288            | 前回算定年月日(体外衝撃波疼痛治療術);(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                        |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100280            | 2回目以降算定する理由(体外衝撃波疼痛治療術);*****                                  |             |                    |
| 483 | K172<br>の2  | 脳動静脈奇形摘出術                             | SM-Grade3から5と診断した画像所見及び手術の概要を摘要欄に記載する。  | 830100281            | SM-Grade3から5と診断した画像所見;*****                                    |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100282            | 手術の概要(脳動静脈奇形摘出術);*****   |             |                    |
| 484 | K268        | 線内障手術<br>6 水晶体再建術併用<br>眼内ドレーン挿入術      | 症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。   | 830100283            | 症状詳細(線内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術));*****                           |             |                    |
| 485 | K280-2      | 網膜付着組織を含む<br>硝子体切除術                   | 当該術式を選択した理由を詳細に記載すること。  | 830100284            | 選択理由(網膜付着組織を含む硝子体切除術);*****                                    |             |                    |
| 486 | K282        | 水晶体再建術の注の<br>加算                       | 症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。   | 830100285            | 症状詳細(水晶体再建術併用加算(水晶体再建術));*****                                 |             |                    |
| 487 | K311        | 鼓膜穿孔閉鎖術                               | 症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。   | 830100545            | 症状詳細(鼓膜穿孔閉鎖術);*****  |             |                    |
| 488 | K474-3      | 乳腺腫瘍画像下ガイド<br>下吸引術<br>2 MRIによるもの      | 実施した医学的必要性を記載すること。  | 830100286            | 医学的必要性(乳腺腫瘍画像下ガイド下吸引術(MRI));*****                              |             |                    |
| 489 | K476-4      | ゲル充填人工乳房を<br>用いた乳房再建術(乳<br>房切除後)      | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第10部K476-4ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術の(2)のアからウまでに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。                | 820100248            | ア 留意事項通知に規定する一次一次的再建   |             |                    |
|     |             |                                       |   | 820100249            | イ 留意事項通知に規定する一次二次的再建   |             |                    |
|     |             |                                       |   | 820100250            | ウ 留意事項通知に規定する二次再建  |             |                    |
| 490 | K508-4      | 気管支バルブ留置術                             | 「K511」肺切除術若しくは「K513」胸腔鏡下肺切除術が適応とならない又は実施困難な理由を記載すること。   | 830100865            | 「K511」肺切除術若しくは「K513」胸腔鏡下肺切除術が適応とならない又は実施困難な理由(気管支バルブ留置術);***** |             | ※                  |
|     |             |                                       |   | 830100546            | 理由・医学的根拠(留意事項通知K546(1));*****                                  |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100547            | 医学的根拠(留意事項通知K546(2)のア);*****                                   |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100548            | 測定項目(留意事項通知K546(2)のア);*****                                    |             |                    |
|     |             |                                       |   | 830100549            | 医学的根拠(留意事項通知K546(2)のイ);*****                                   |             |                    |

| 項番        | 区分                        | 診療行為<br>名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                            | 紙レセの<br>み記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|---------------------------|--|--|----------------------|---|-------------|--------------------|
| 491       |                           | 経皮的冠動脈形成術<br>経皮的冠動脈粥腫切<br>除術<br>経皮的冠動脈形成術<br>(特殊カテーテルによる<br>もの)<br>経皮的冠動脈ステント<br>留置術 | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第10部K546経皮的冠動脈形成術の(1)から(3)、(6)、(7)、K547経皮的冠動脈粥腫切除術の(1)及び(2)、K548経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)の(1)又はK549経皮的冠動脈ステント留置術の(1)から(3)、(6)、(7)に該当する場合は、所定の事項を記載すること。 | 830100550            | 医学的根拠(留意事項通知K546(2)のウ);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100551            | 医学的根拠(留意事項通知K546(3)のア);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100552            | 重症度及びその医学的根拠(留意事項通知K546(3)のイ);*****         |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100553            | 医学的根拠(留意事項通知K546(3)のイ);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100554            | 短期リスク評価及びその医学的根拠(留意事項通知K546(3)のイ);*****     |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100555            | 医学的根拠(留意事項通知K546(3)のウ);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100556            | 詳細な理由・医学的根拠(留意事項通知K546(6));*****            |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100557            | 過去に実施した手術(留意事項通知K546(7)のイ);*****            |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100558            | 使用したカテーテル等の使用本数(留意事項通知K546(7)のイ);*****      |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100559            | 今回の実施理由・医学的根拠(留意事項通知K546(7)のウ);*****        |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100560            | 理由・医学的根拠(留意事項通知K547(1));*****               |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100561            | 過去に実施した手術(留意事項通知K547(2)のイ);*****            |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100562            | 使用したカテーテル等の使用本数(留意事項通知K547(2)のイ);*****      |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100563            | 今回の実施理由・医学的根拠(留意事項通知K547(2)のウ);*****        |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100564            | 過去に実施した手術(留意事項通知K548(1)のイ);*****            |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100565            | 使用したカテーテル等の使用本数(留意事項通知K548(1)のイ);*****      |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100566            | 今回の実施理由・医学的根拠(留意事項通知K548(1)のウ);*****        |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100567            | 理由・医学的根拠(留意事項通知K549(1));*****               |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100568            | 医学的根拠(留意事項通知K549(2)のア);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100569            | 測定項目数(留意事項通知K549(2)のア);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100570            | 医学的根拠(留意事項通知K549(2)のイ);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100571            | 医学的根拠(留意事項通知K549(2)のウ);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100572            | 医学的根拠(留意事項通知K549(3)のア);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100573            | 重症度及びその医学的根拠(留意事項通知K549(3)のイ);*****         |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100574            | 医学的根拠(留意事項通知K549(3)のイ);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100575            | 短期リスク評価及びその医学的根拠(留意事項通知K549(3)のイ);*****     |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100576            | 医学的根拠(留意事項通知K549(3)のウ);*****                |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100577            | 詳細な理由・医学的根拠(留意事項通知K549(6));*****            |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100578            | 過去に実施した手術(留意事項通知K549(7)のイ);*****            |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100579            | 使用したカテーテル等の使用本数(留意事項通知K549(7)のイ);*****      |             |                    |
|           |                           |  |  | 830100580            | 今回の実施理由・医学的根拠(留意事項通知K549(7)のウ);*****        |             |                    |
|           |                           |  |  | 842100075            | 留意事項通知K546(2)のア測定値:                         |             |                    |
|           |                           |  |  | 842100076            | 留意事項通知K549(2)のア測定値:                         |             |                    |
|           |                           |  |  | 850100453            | 留意事項通知K546(7)のア過去の実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |             |                    |
|           |                           |  |  | 850100454            | 留意事項通知K547(2)のア過去の実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |             |                    |
|           |                           |  |  | 850100455            | 留意事項通知K548(1)のア過去の実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |             |                    |
|           |                           |  |  | 850100456            | 留意事項通知K549(7)のア過去の実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100039            | 留意事項通知K546(2)のイの(イ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100040            | 留意事項通知K546(2)のイの(ニ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100041            | 留意事項通知K546(2)のイの(ハ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100042            | 留意事項通知K546(2)のイの(ホ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100043            | 留意事項通知K546(2)のイの(ロ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100044            | 留意事項通知K546(2)のウの(イ) 再開通時刻                   |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100045            | 留意事項通知K546(2)のウの(イ) 発症時刻                    |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100046            | 留意事項通知K546(2)のウの(イ) 来院時刻                    |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100047            | 留意事項通知K546(2)のウの(ロ) 再開通時刻                   |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100048            | 留意事項通知K546(2)のウの(ロ) 発症時刻                    |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100049            | 留意事項通知K546(2)のウの(ロ) 来院時刻                    |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100050            | 留意事項通知K546(3)のウ手術開始時刻                       |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100051            | 留意事項通知K546(3)のウ来院時刻                         |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100052            | 留意事項通知K549(2)のイの(イ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100053            | 留意事項通知K549(2)のイの(ニ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100054            | 留意事項通知K549(2)のイの(ハ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100055            | 留意事項通知K549(2)のイの(ホ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100056            | 留意事項通知K549(2)のイの(ロ) 所見の得られた時刻               |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100057            | 留意事項通知K549(2)のウの(イ) 再開通時刻                   |             |                    |
|           |                           |  |  | 851100058            | 留意事項通知K549(2)のウの(イ) 発症時刻                    |             |                    |
| 851100059 | 留意事項通知K549(2)のウの(イ) 来院時刻  |  |  |                      |   |             |                    |
| 851100060 | 留意事項通知K549(2)のウの(ロ) 再開通時刻 |  |  |                      |   |             |                    |
| 851100061 | 留意事項通知K549(2)のウの(ロ) 発症時刻  |  |  |                      |   |             |                    |
| 851100062 | 留意事項通知K549(2)のウの(ロ) 来院時刻  |  |  |                      |   |             |                    |
| 851100063 | 留意事項通知K549(3)のウ手術開始時刻     |  |  |                      |   |             |                    |



| 項番        | 区分   | 診療行為<br>名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                    | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|--|--|--|----------------------|---|-------------|--------------------|
|           |  |  |  | 85110064             | 留意事項通知K549(3)のウ未院時刻                                 |             |                    |
|           |  |  |  | 830100581            | 医学的根拠(留意事項通知K546(4)のア):*****                        |             |                    |
|           |  |  |  | 830100582            | 医学的根拠(留意事項通知K546(4)のイ):*****                        |             |                    |
|           |  |  |  | 830100583            | 医学的根拠(留意事項通知K546(4)のウ):*****                        |             |                    |
|           |  |  |  | 830100584            | 医学的必要性及び検討結果(留意事項通知K546(4)のウ):*****                 |             |                    |
|           |  |  |  | 830100585            | 医学的根拠(留意事項通知K549(4)のア):*****                        |             |                    |
|           |  |  |  | 830100586            | 医学的根拠(留意事項通知K549(4)のイ):*****                        |             |                    |
|           |  |  |  | 830100587            | 医学的根拠(留意事項通知K549(4)のウ):*****                        |             |                    |
|           |  |  |  | 830100588            | 医学的必要性及び検討結果(留意事項通知K549(4)のウ):*****                 |             |                    |
|           |  |  |  | 820100756            | 該当する病変(経皮的冠動脈形成術):ア 機能的虚血の原因である狭窄病変                 |             |                    |
| 820100757 | 該当する病変(経皮的冠動脈形成術):イ 心臓カテーテル法における90%以上の狭窄病変           |  |  |                      |   |             |                    |
| 820100758 | 該当する病変(経皮的冠動脈形成術):ウ その他医学的必要性が認められる病変                |  |  |                      |   |             |                    |
| 830100287 | 実施の医学的必要性及びカンファレンス等の検討結果(経皮的冠動脈形成術):*****            |  |  |                      |   |             |                    |
| 820100759 | 該当する病変(経皮的冠動脈形成術(その他のもの)):ア 機能的虚血の原因である狭窄病変          |  |  |                      |   |             |                    |
| 820100760 | 該当する病変(経皮的冠動脈形成術(その他のもの)):イ 心臓カテーテル法における90%以上の狭窄病変   |  |  |                      |   |             |                    |
| 820100761 | 該当する病変(経皮的冠動脈形成術(その他のもの)):ウ その他医学的必要性が認められる病変        |  |  |                      |   |             |                    |
| 830100288 | 実施の医学的必要性及びカンファレンス等の検討結果(経皮的冠動脈形成術(その他のもの)):*****    |  |  |                      |   |             |                    |
| 492       | K555<br>注<br>K555-<br>3注<br>K557-<br>3注<br>K560<br>注 | 弁置換術の心臓弁再置換術加算<br>胸腔鏡下弁置換術の心臓弁再置換術加算<br>弁縮大術を伴う大動脈弁置換術の心臓弁再置換術加算<br>大動脈瘤切除術の心臓弁再置換術加算                | 前回手術年月日、術式及び保険医療機関名を記載すること。  | 850100289            | 前回手術年月日(心臓弁再置換術加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"              |             |                    |
|           |  |  |  | 830100289            | 前回手術の術式(心臓弁再置換術加算):*****                            |             |                    |
|           |  |  |  | 830100290            | 前回手術実施保険医療機関名(心臓弁再置換術加算):*****                      |             |                    |
| 493       | K581<br>注<br>K583<br>注<br>K584<br>注<br>K586<br>注     | 肺動脈閉鎖症手術の人工血管等再置換術加算<br>大血管転位症手術の人工血管等再置換術加算<br>修正大血管転位症手術の人工血管等再置換術加算<br>単心室症又は三尖弁閉鎖症手術の人工血管等再置換術加算 | 前回手術年月日、術式及び保険医療機関名を記載すること。  | 850100290            | 前回手術年月日(人工血管等再置換術加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"            |             |                    |
|           |  |  |  | 830100297            | 前回手術の術式(人工血管等再置換術加算):*****                          |             |                    |
|           |  |  |  | 830100298            | 前回手術実施保険医療機関名(人工血管等再置換術加算):*****                    |             |                    |
| 494       | K594<br>の4の<br>イ及び<br>ロ                              | 不整脈手術<br>4 左心耳閉鎖術<br>イ 閉胸手術によるもの<br>胸腔鏡下によるもの  | 手術前に心房細動又は心房粗動と診断した根拠となる12誘導心電図検査又は長時間記録心電図検査(ホルター心電図検査を含む。)の結果及び当該手術を行う医学的理由を記載すること。  | 830100305            | 12誘導心電図検査又は長時間記録心電図検査の結果(不整脈手術(左心耳閉鎖術(閉胸手術))):***** |             |                    |
|           |  |  |  | 830100306            | 当該手術を行う医学的理由(不整脈手術(左心耳閉鎖術(閉胸手術))):*****             |             |                    |
|           |  |  |  | 830100589            | 12誘導心電図検査又は長時間記録心電図検査の結果(不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下))):***** |             |                    |
|           |  |  |  | 830100590            | 当該手術を行う医学的理由(不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下))):*****             |             |                    |
| 495       | K598<br>K599<br>K599-<br>3                           | 両心室ペースメーカー移植術<br>植込型除細動器移植術<br>両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術   | 症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100307            | 症状詳細(両心室ペースメーカー移植術):*****                           |             |                    |
|           |  |  |  | 830100308            | 症状詳細(植込型除細動器移植術):*****                              |             |                    |
|           |  |  |  | 830100309            | 症状詳細(両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術):*****                 |             |                    |
| 496       | K616-<br>4   | 経皮的シャント拡張術・血栓除去術   | (経皮的シャント拡張術・血栓除去術を2回以上算定した場合)<br>前回算定日を記載すること。   | 850100291            | 前回算定年月日(経皮的シャント拡張術・血栓除去術):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"       |             |                    |
|           |  |  |  | 830100310            | アの要件を満たす医学的根拠(経皮的シャント拡張術・血栓除去術):*****               |             |                    |
|           |  |  |  | 830100311            | イの要件を満たす医学的根拠(経皮的シャント拡張術・血栓除去術):*****               |             |                    |
| 497       | K616-<br>4   | 経皮的シャント拡張術・血栓除去術<br>2 1の実施後3月以内に実施する場合   | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第10部K616-4経皮的シャント拡張術・血栓除去術の(2)の要件を満たす画像所見等の医学的根拠を記載すること。<br><br>前回算定年月日(他の保険医療機関での算定を含む。)を記載すること。 | 850100291            | 前回算定年月日(経皮的シャント拡張術・血栓除去術):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"       |             |                    |
|           |  |  |  | 830100310            | アの要件を満たす医学的根拠(経皮的シャント拡張術・血栓除去術):*****               |             |                    |
|           |  |  |  | 830100311            | イの要件を満たす医学的根拠(経皮的シャント拡張術・血栓除去術):*****               |             |                    |
| 498       | K616-<br>8   | 吸着式潰瘍治療法   | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第10部K616-8吸着式潰瘍治療法の(2)のア及びイの要件を満たす医学的根拠を記載すること。   | 830100591            | 医学的根拠(吸着式潰瘍治療法):*****                               |             |                    |
| 499       | K656-<br>2   | 腹腔鏡下胃縮小術   | 手術前のBMI、手術前に行われた内科的管理の内容及び期間、手術の必要性等を記載すること。   | 830100312            | 手術前のBMI等(腹腔鏡下胃縮小術):*****                            |             |                    |
| 500       | K664   | 胃瘻造設術  | 実施した胃瘻造設術の術式について、開腹による胃瘻造設術、経皮的内視鏡下胃瘻造設術又は腹腔鏡下胃瘻造設術の中から該当するものを選択して記載すること。  | 820100254            | 開腹による胃瘻造設術  |             |                    |
|           |  |  |  | 820100255            | 経皮的内視鏡下胃瘻造設術  |             |                    |
|           |  |  |  | 820100256            | 腹腔鏡下胃瘻造設術   |             |                    |
| 501       | K664-<br>2   | 経皮経食道胃管挿入術(PTEG)   | 医学的な理由を記載すること。   | 830100313            | 医学的理由(経皮経食道胃管挿入術(PTEG)):*****                       |             |                    |
| 502       | K664-<br>3   | 薬剤投与用胃瘻造設術   | 経胃瘻空腸投与が必要な理由及び医学的な根拠を詳細に記載すること。   | 830100314            | 必要理由・医学的根拠(薬剤投与用胃瘻造設術):*****                        |             |                    |
| 503       | K695   | 肝切除術   | 複数回の切除を要した根拠となる画像所見及び医学的な理由を記載すること。  | 830100921            | 複数回の切除を要した根拠となる画像所見及び医学的理由(肝切除術):*****              |             |                    |
| 504       | K695-<br>2   | 腹腔鏡下肝切除術   | 複数回の切除を要した根拠となる画像所見及び医学的な理由を記載すること。  | 830100315            | 複数回の切除を要した根拠となる画像所見及び医学的理由(腹腔鏡下肝切除術):*****          |             |                    |

| 項番        | 区分                                | 診療行為名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|-----------------------------------|--|--|------------------|---|---------|------------|
| 505       | K721注2<br>K721-3注<br>K721-4注      | 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術<br>内視鏡的結腸異物摘出術<br>バルーン内視鏡加算<br>早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術<br>バルーン内視鏡加算 | 症状詳細を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100592        | 症状詳細(バルーン内視鏡加算);*****   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100257        | ア 最大径が2cm以上の早期癌   |         |            |
| 506       | K721-4                            | 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術  | 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術を算定した場合は、病変が以下のいずれに該当するかを選択して記載し、併せて病変の最大径を記載すること。<br>ア 最大径が2cm以上の早期癌<br>イ 最大径が5mmから1cmまでの神経内分分泌腫瘍<br>ウ 最大径が2cm未満の線維化を伴う早期癌           | 820100258        | イ 最大径が5mmから1cmまでの神経内分分泌腫瘍   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100259        | ウ 最大径が2cm未満の線維化を伴う早期癌   |         |            |
|           |                                   |  |  | 830100317        | 短期間又は同一入院期間中に2回目を算定する理由及び医学的必要性(小腸・結腸狭窄部拡張術);*****                        |         |            |
| 507       | K735-2                            | 小腸・結腸狭窄部拡張術  | (短期間又は同一入院期間中に2回目を算定する場合)その理由及び医学的必要性を記載すること。  | 830100317        | 短期間又は同一入院期間中に2回目を算定する理由及び医学的必要性(小腸・結腸狭窄部拡張術);*****                        |         |            |
| 508       | K740                              | 直腸切除・切断術の人工肛門造設加算  | 一時的人工肛門造設実施の医学的必要性について記載すること。  | 830100318        | 医学的必要性(人工肛門造設加算(直腸切除・切断術));*****  |         |            |
| 509       | K740の4                            | 直腸切除・切断術 4 経肛門吻合を伴う切除術   | 手術内容を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100866        | 手術内容(経肛門吻合を伴う切除術(直腸切除・切断術));*****   |         | ※          |
| 510       | K740-2の4                          | 腹腔鏡下直腸切除・切断術 4 経肛門吻合を伴う切除術   | 手術内容を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。  | 830100867        | 手術内容(経肛門吻合を伴う切除術(腹腔鏡下直腸切除・切断術));*****                                     |         | ※          |
| 511       | K740-2                            | 腹腔鏡下直腸切除・切断術の人工肛門造設加算  | 一時的人工肛門造設実施の医学的必要性について記載すること。  | 830100319        | 医学的必要性(人工肛門造設加算(腹腔鏡下直腸切除・切断術));*****                                      |         |            |
| 512       | K755-3                            | 副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法   | 副腎摘出術が適応とならない理由を記載すること。  | 830100593        | 副腎摘出術が適応とならない理由(副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法);*****                                       |         |            |
| 513       | K823-6                            | 尿失禁手術  | (効果の減弱等により再手術が必要となった場合)前回実施年月日(初回の場合は初回である旨)を記載すること。   | 850100491        | 前回実施年月日(尿失禁手術);(元号)yy"mm"dd"日"  |         |            |
|           |                                   |  |  | 820190491        | 初回(尿失禁手術)   |         |            |
| 514       | K838-2の1                          | 精巣内精子採取術 1 単純なもの   | いずれの状態に該当するかを記載すること。<br>ア 閉塞性無精子症<br>イ 非閉塞性無精子症<br>ウ 射精障害等の患者であって、他の方法により体外受精又は顕微授精に用いる精子が採取できないと医師が判断したもの   | 820100876        | ア 閉塞性無精子症(精巣内精子採取術 1 単純なもの)   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100877        | イ 非閉塞性無精子症(精巣内精子採取術 1 単純なもの)  |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100878        | ウ 射精障害等の患者であって、他の方法により体外受精又は顕微授精に用いる精子が採取できないと医師が判断したもの(精巣内精子採取術 1 単純なもの) |         |            |
| 515       | K838-2の2                          | 精巣内精子採取術 2 顕微鏡を用いたもの   | いずれの状態に該当するかを記載すること。<br>ア 非閉塞性無精子症<br>イ 他の方法により体外受精又は顕微授精に用いる精子が採取できないと医師が判断した患者   | 820100879        | ア 非閉塞性無精子症(精巣内精子採取術 2 顕微鏡を用いたもの)  |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100880        | イ 他の方法により体外受精又は顕微授精に用いる精子が採取できないと医師が判断した患者(精巣内精子採取術 2 顕微鏡を用いたもの)          |         |            |
| 516       | K838-2                            | 精巣内精子採取術   | (「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第10部K838-2精巣内精子採取術の(2)のウ又は(3)のイに該当する患者に算定する場合)実施する必要があると判断した理由について記載すること。                                      | 830100594        | 実施する必要があると判断した理由(精巣内精子採取術);*****  |         |            |
| 517       | K884-2                            | 人工授精   | いずれの状態に該当するかを記載すること。<br>ア 精子・精液の量的・質的異常<br>イ 射精障害・性交障害<br>ウ 精子-頸管粘液不適合<br>エ 機能性不妊  | 820100881        | ア 精子・精液の量的・質的異常(人工授精)   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100882        | イ 射精障害・性交障害(人工授精)   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100883        | ウ 精子-頸管粘液不適合(人工授精)  |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100884        | エ 機能性不妊(人工授精)   |         |            |
|           |                                   |  |  | 830100595        | 治療開始日の年齢(胚移植術);*****  |         |            |
| 518       | K884-3                            | 胚移植術   | 治療開始日の年齢を記載すること。<br>胚移植術の実施回数の合計を記載すること。   | 830100596        | 胚移植術の実施回数(胚移植術);*****   |         |            |
|           |                                   |  |  | 830100597        | 実施した医学的な理由(アンステッドハッチング);*****   |         |            |
| 519       | K884-3注2                          | アンステッドハッチング  | 実施した医学的な理由を記載すること。   | 830100597        | 実施した医学的な理由(アンステッドハッチング);*****   |         |            |
| 520       | K884-3注3                          | 高濃度ヒアルロン酸含有培養液を用いた前処置  | 実施した医学的な理由を記載すること。   | 830100598        | 実施した医学的な理由(高濃度ヒアルロン酸含有培養液を用いた前処置);*****                                   |         |            |
| 521       | K890-4                            | 採卵術  | 採取した卵子の数を記載すること。<br>いずれの状態に該当するかを記載すること。<br>ア 卵管性不妊<br>イ 男性不妊(閉塞性無精子症等)<br>ウ 機能性不妊<br>エ 人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合  | 830100599        | 採取した卵子の数(採卵術);*****   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100885        | ア 卵管性不妊(採卵術)  |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100886        | イ 男性不妊(閉塞性無精子症等)(採卵術)   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100887        | ウ 機能性不妊(採卵術)  |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100888        | エ 人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合(採卵術)  |         |            |
| 522       | K917                              | 体外受精・顕微授精管理料   | いずれの状態に該当するかを記載すること。<br>ア 卵管性不妊<br>イ 男性不妊(閉塞性無精子症等)<br>ウ 機能性不妊<br>エ 人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合<br>(顕微授精及び必要な医学管理を行った場合)管理を開始した年月日及び顕微授精を実施した卵子の個数を記載すること。 | 820100889        | ア 卵管性不妊(体外受精・顕微授精管理料)   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100890        | イ 男性不妊(閉塞性無精子症等)(体外受精・顕微授精管理料)  |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100891        | ウ 機能性不妊(体外受精・顕微授精管理料)   |         |            |
|           |                                   |  |  | 820100892        | エ 人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合(体外受精・顕微授精管理料)                                     |         |            |
|           |                                   |  |  | 850100457        | 管理を開始した年月日(体外受精・顕微授精管理料);(元号)yy"mm"dd"日"                                  |         |            |
| 830100600 | 顕微授精を実施した卵子の数(体外受精・顕微授精管理料);***** |  |  |                  |   |         |            |
| 523       | K917注1                            | 体外受精・顕微授精管理料<br>体外受精及び顕微授精を同時に実施した場合   | 体外受精及び顕微授精を同時に実施する医学的な理由について記載すること。  | 830100601        | 体外受精及び顕微授精を同時に実施する医学的な理由(体外受精・顕微授精管理料);*****                              |         |            |
| 524       | K917注2                            | 体外受精・顕微授精管理料<br>卵子調整加算   | 実施した医学的な理由を記載すること。   | 830100603        | 実施した医学的な理由(卵子調整加算);*****  |         |            |
| 525       | K917-2                            | 受精卵・胚培養管理料   | 管理を実施した受精卵及び胚の数並びに当該管理を開始した年月日を記載すること。   | 830100604        | 管理を実施した受精卵及び胚の数(受精卵・胚培養管理料);*****   |         |            |
|           |                                   |  |  | 850100460        | 管理を開始した年月日(受精卵・胚培養管理料);(元号)yy"mm"dd"日"                                    |         |            |
| 526       | K917-2注                           | 受精卵・胚培養管理料<br>注:胚盤胞の作成目的   | 管理の具体的な内容、当該管理を実施した初期胚の数及び当該管理を開始した年月日を記載すること。   | 830100798        | 管理の具体的な内容(注:胚盤胞の作成目的);*****   |         |            |
|           |                                   |  |  | 842100107        | 管理を実施した初期胚の数(注:胚盤胞の作成目的);*****  |         |            |

| 項番  | 区分           | 診療行為<br>名称等                       | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----|--------------|-----------------------------------|--|----------------------|--|-------------|--------------------|
|     |              | 内                                 |  | 850190203            | 管理を開始した年月日(注:胚盤胞の作成目的):(元号)yy"年"mm"月<br>dd"日"                                    |             |                    |
| 527 | K917-<br>3の1 | 胚凍結保存管理料<br>胚凍結保存管理料<br>(導入時)     | 凍結する初期胚又は胚盤胞の数及び凍結を開始した年月日を記載すること。   | 830100607            | 凍結する初期胚又は胚盤胞の数(胚凍結保存管理料(導入時)):*****  |             |                    |
|     |              |                                   |  | 850100462            | 凍結を開始した年月日(胚凍結保存管理料(導入時)): (元号)yy"年"<br>"mm"月"dd"日"                              |             |                    |
| 528 | K917-<br>3の2 | 胚凍結保存管理料<br>胚凍結保存維持管理<br>料        | 維持管理を行う初期胚又は胚盤胞の数を記載すること。<br>また、凍結を開始した年月日を維持管理を行う初期胚又は胚盤胞ごとに記載すること。   | 830100608            | 維持管理を行う初期胚又は胚盤胞の数(胚凍結保存維持管理料):<br>*****  |             |                    |
|     |              |                                   |  | 850190204            | 維持管理を行う初期胚又は胚盤胞ごとの凍結を開始した年月日(胚凍結<br>保存維持管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                 |             |                    |
| 529 | K917-<br>5の1 | 精子凍結保存管理料<br>1 精子凍結保存管理<br>料(導入時) | 凍結する精子の量及び凍結を開始した年月日を記載すること。   | 830100868            | 凍結する精子の量(精子凍結保存管理料(導入時)):*****   |             | ※                  |
|     |              |                                   |  | 850190240            | 凍結を開始した年月日(精子凍結保存管理料(導入時)): (元号)yy"年"<br>"mm"月"dd"日"                             |             | ※                  |
| 530 | K917-<br>5の2 | 精子凍結保存管理料<br>2 精子凍結保存維持<br>管理料    | 維持管理を行う精子の量及び当該精子ごとの凍結を開始した年月日を記載すること。   | 830100869            | 維持管理を行う精子の量(精子凍結保存維持管理料):*****   |             | ※                  |
|     |              |                                   |  | 850190241            | 精子ごとの凍結を開始した年月日(精子凍結保存維持管理料):(元号)<br>yy"年"mm"月"dd"日"                             |             | ※                  |
| 531 | K920<br>の3   | 自己血貯血                             | 貯血量、手術予定年月日(当該自己血貯血を入院外で行った場合又は当該自己血貯血を行った日が属する月と手<br>術予定日が属する月とが異なる場合に限る。)を記載すること。<br><br>(6歳未満の患者に対して自己血貯血を行った場合)<br>患者の体重を記載すること。   | 150327510            | 自己血貯血(6歳以上)(液状保存)  | ○           |                    |
|     |              |                                   |  | 150327610            | 自己血貯血(6歳以上)(凍結保存)  | ○           |                    |
|     |              |                                   |  | 150327710            | 自己血貯血(6歳未満)(液状保存)  | ○           |                    |
|     |              |                                   |  | 150327810            | 自己血貯血(6歳未満)(凍結保存)  | ○           |                    |
|     |              |                                   |  | 840000082            | 患者体重 g   |             |                    |
| 532 | K920<br>の4   | 自己血輸血                             | (6歳未満の患者に対して自己血輸血を行った場合)<br>患者の体重及び輸血量を記載すること。   | 840000082            | 患者体重 g   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 150286410            | 自己血輸血(6歳未満)(液状保存)  | ○           |                    |
|     |              |                                   |  | 150286510            | 自己血輸血(6歳未満)(凍結保存)  | ○           |                    |
| 533 | K920<br>の5   | 希釈式自己血輸血                          | (6歳未満の患者に対して希釈式自己血輸血を行った場合)<br>患者の体重及び輸血量を記載すること。  | 840000082            | 患者体重 g   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 150390610            | 希釈式自己血輸血(6歳未満)   | ○           |                    |
| 534 | K923         | 術中術後自己血回収<br>術                    | (12歳未満の患者に対して術中術後自己血回収術を行った場合)<br>患者の体重及び出血量を記載すること。   | 840000082            | 患者体重 g   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 842100114            | 出血量(術中術後自己血回収術):*****  |             | ※                  |
| 535 | K930-<br>5   | 胃瘻造設時嚥下機能<br>評価加算                 | 嚥下造影又は内視鏡下嚥下機能検査の実施年月日を記載すること。   | 850100293            | 嚥下造影又は内視鏡下嚥下機能検査実施年月日(胃瘻造設時嚥下機能<br>評価加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                     |             |                    |
| 536 | K939-<br>9   | 切開創局所陰圧閉鎖<br>処置機器加算               | 患者のいずれに該当するかを詳細に記載すること。  | 820100893            | ア BMIが30以上の肥満症の患者(切開創局所陰圧閉鎖処置機器加<br>算)   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100894            | イ 糖尿病患者のうち、ヘモグロビンA1C(HbA1C)がJDS値で6.6%<br>以上(NGSP値で7.0%以上)の者(切開創局所陰圧閉鎖処置機器加<br>算) |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100895            | ウ ステロイド療法を受けている患者(切開創局所陰圧閉鎖処置機器加<br>算)   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100896            | エ 慢性維持透析患者(切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算)  |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100897            | オ 免疫不全状態にある患者(切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算)   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100898            | カ 低栄養状態にある患者(切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算)  |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100899            | キ 創傷治癒遅延をもたらす皮膚疾患又は皮膚の血流障害を有する患者<br>(切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算)                            |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100900            | ク 手術の既往がある者に対して、同一部位に再手術を行う(切開創局所<br>陰圧閉鎖処置機器加算)                                 |             |                    |
| 537 | - 1          |                                   | 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(令和6年3月5日保医発0305第8号) I の2の<br>006の(1)のウ、008の(3)、009の(3)、010、011の(2)、013の(3)、013の(4)、015の(1)、015の(2)、I の3の010<br>の(2)、010の(5)、021の(4)、031の(4)、033の(2)、040 I の2の006の(1)のウと同様、061の(1)、064の(11)、<br>065、066の(2)、069、070、071の(1)、090の(1)、094の(2)、107の(1)、107の(2)、129の(1)のイ、129の(2)のイ、<br>132の(3)、132の(5)、132の(7)、133の(3)のイ、133の(3)のオ、133の(5)のカ、133の(8)のア、133の(9)のア、<br>133の(13)のア、134、144の(2)、146の(1)、146の(2)、146の(3)、146の(5)、149の(3)、150の(1)のア、150の(1)の<br>エ、150の(2)のウ、150の(3)のア、150の(3)のウ、152の(2)、152の(5)、153の(2)、153の(3)、153の(4)、153の<br>(5)、155の(2)、159の(3)、159の(4)、159の(5)、174の(3)、180の(2)、186の(4)、187の(3)、189の(2)、190の<br>(2)、191の(2)、191の(5)、195の(2)、196の(2)、200の(1)のウ、202の(3)、203の(5)、204の(1)、205の(1)、206の<br>(2)、207の(1)、207の(2)、211の(2)、212の(1)、212の(2)、213、214の(2)、214の(3)、218の(3)、220、224<br>の(3)、225の(1)又は225の(3)に該当する場合には、所定の事項を「摘要」欄に記載すること。また、同通知のIV<br>に規定する略称を使用しても差し支えないこと。なお、I の3の021の(4)、133の(3)のイ、144の(2)、150の(1)の<br>エ、150の(2)のウ、150の(3)のウ、150の(4)のエ、150の(5)のウ、150の(6)のエ、150の(7)のオ、186の(4)又は191<br>(5)に該当する場合には、症状詳細に記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えな<br>いこと。また、I の3の153(動脈管内留置型を使用する場合に限る。))については、関連学会より認定された保険医<br>療機関であることを証する文書の写し及び関連学会より認定された医師であることを証する文書の写しを、191(人工<br>血管内シントの静脈側吻合部狭窄治療の実施に限る。))については、関連学会の定める適正使用指針における術<br>前要件を満たすことを証明する書類の写しを、193については、関連学会により発行される実施施設証明書<br>の写しを、196については、経皮的増幅弁クリップシステムを用いた治療が当該患者にとって最適であると判断した評価内<br>容を、204、205については、関連学会より認定された保険医療機関であることを証する文書の写し及び医師の所定<br>の研修修了を証する文書の写しを添付すること。 | 830100609            | 所定事項(特定保険医療材料):*****   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 830100610            | 症状詳記(特定保険医療材料):*****   |             |                    |
| 538 | L            | 麻酔                                | 算定日を記載すること。  | 算定日情報                | (算定日)  | ○           |                    |
|     |              |                                   | 各区分ごとの麻酔時間を記載すること。   | 150332610            | 閉鎖循環式全身麻酔1   | ○           |                    |
|     |              |                                   |  | 150332510            | 閉鎖循環式全身麻酔1(麻酔困難な患者)<br>等   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100260            | ア 心不全(NYHA3度以上のものに限る。)の患者  |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100261            | イ 狭心症(CCS分類3度以上のものに限る。)の患者   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100262            | ウ 心筋梗塞(発症後3月以内のものに限る。)の患者  |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100263            | エ 大動脈閉鎖不全等(いずれも中等度以上のものに限る。)の患者  |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100264            | オ 留意事項通知に規定する大動脈狭窄又は僧帽弁狭窄の患者   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100265            | カ 植込型ペースメーカー又は植込型除細動器を使用している患者   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100266            | キ 留意事項通知に規定する先天性心疾患の患者   |             |                    |
|     |              |                                   |  | 820100267            | ク 留意事項通知に規定する肺動脈性肺高血圧症の患者  |             |                    |

| 項番        | 区分                      | 診療行為名称等                         | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                              | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|-------------------------|---------------------------------|---|------------------|---|---------|------------|
| 539       | L008                    | マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔          | (各区分の「別」に厚生労働大臣が定める麻酔が困難な患者に行う場合)を算定する場合)<br>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第11部L008マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔の(4)の「ア」から「ハ」までに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。                                | 820100268        | ケ 留意事項通知に規定する呼吸不全の患者                          |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100269        | コ 留意事項通知に規定する換気障害の患者                          |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100270        | サ 留意事項通知に規定する気管支喘息の患者                         |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100271        | シ 留意事項通知に規定する糖尿病の患者                           |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100272        | ス 留意事項通知に規定する腎不全の患者                           |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100273        | セ 肝不全(Child-Pugh分類B以上のものに限る。)の患者              |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100274        | ソ 貧血(Hb6.0g/dL未満のものに限る。)の患者                   |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100275        | タ 血液凝固能低下(PT-INR2.0以上のものに限る。)の患者              |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100276        | チ DICの患者                                      |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100277        | ツ 血小板減少(血小板5万/uL未満のものに限る。)の患者                 |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100278        | テ 敗血症(SIRSを伴うものに限る。)の患者                       |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100279        | ト 留意事項通知に規定するショック状態の患者                        |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100280        | ナ 完全脊髄損傷(第5胸椎より高位のものに限る。)の患者                  |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100281        | ニ 心肺補助を行っている患者                                |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100282        | ヌ 人工呼吸を行っている患者                                |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100283        | ネ 透析を行っている患者                                  |         |            |
| 820100284 | ノ 大動脈内バルーンパンピングを行っている患者 |                                 |   |                  |   |         |            |
| 820100285 | ハ BMI35以上の患者            |                                 |   |                  |   |         |            |
| 540       | L008注9                  | 神経ブロック併施加算                      | 硬膜外麻酔の代替として神経ブロックを行う医学的必要性を記載すること。  | 830100320        | 医学的必要性(神経ブロック併施加算):*****                      |         |            |
| 541       | L008注11                 | 術中脳灌流モニタリング加算                   | (K561に掲げるステントグラフト内挿管(血管損傷以外の場合において、胸部大動脈に限る。))については、弓部大動脈においてステント留置を行う若しくは弓部3分枝の血管吻合を行う際に術中に非侵襲的に脳灌流のモニタリングを実施した場合)その医学的必要性を記載すること。   | 830100870        | 医学的必要性(術中脳灌流モニタリング加算):*****                   |         | ※          |
| 542       | L008-2                  | 体温維持療法                          | (頭部外傷患者(脳浮腫又は頭蓋内血腫を伴うGCS8点以下の状態にある患者に限る。))に対し体温維持療法を算定した場合)脳脊髄圧モニタリングの内容等を詳細に記載すること。  | 830100871        | 脳脊髄圧モニタリングの詳細な内容等(体温維持療法):*****               |         | ※          |
| 543       | L008-2注2                | 体温維持療法(体温維持迅速導入加算)              | 算定の可否の判断に必要な発症等に係る時刻等を症状詳記を記載すること。ただし、記載可能であれば、「摘要」欄への記載でも差し支えない。   | 830100321        | 症状詳記(体温維持迅速導入加算):*****                        |         |            |
| 544       | L100                    | 神経ブロック(局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用)        | (局所麻酔剤又は神経破壊剤とそれ以外の薬剤を混合注射した場合)その医学的必要性を記載すること。   | 830100322        | 医学的必要性(神経ブロック(局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用)):*****        |         |            |
| 545       | L101                    | 神経ブロック(神経破壊剤、高周波凝固法又はハルス高周波法使用) | (局所麻酔剤又は神経破壊剤とそれ以外の薬剤を混合注射した場合)その医学的必要性を記載すること。   | 830100323        | 医学的必要性(神経ブロック(神経破壊剤、高周波凝固法又はハルス高周波法使用)):***** |         |            |
| 546       | M                       | 放射線治療                           | 照射部位を記載すること。<br><br>(放射性粒子、高線量率イリジウム又は低線量率イリジウムを使用した場合)放射性粒子、高線量率イリジウム又は低線量率イリジウムの中から該当するものを選択して記載するとともに、使用量を記載すること。  | 830100324        | 照射部位(放射線治療):*****                             |         |            |
|           |                         |                                 |   | 770070000        | 放射性粒子   |         | ○          |
|           |                         |                                 |   | 770050000        | 高線量率イリジウム                                     |         | ○          |
| 770060000 | 低線量率イリジウム               |                                 | ○   |                  |   |         |            |
| 547       | M000-2                  | 放射性同位元素内用療法管理料                  | 管理を開始した年月日を記載すること。  | 850100294        | 管理開始年月日(放射性同位元素内用療法管理料):(元号)yy年"mm"月"dd"日     |         |            |
| 548       | M001                    | 体外照射                            | (「1」エックス線表在治療及び「2」高エネルギー放射線治療において、同一部位に対する1日2回目の照射を算定する場合又は、「3」強度変調放射線治療において、小細胞肺癌に対して1日2回目の照射を算定する場合)1回目及び2回目の照射の開始時刻及び終了時刻を記載すること。  | 851100067        | 照射の開始時刻(1回目)(体外照射)                            |         | ※          |
|           |                         |                                 |   | 851100068        | 照射の終了時刻(1回目)(体外照射)                            |         | ※          |
|           |                         |                                 |   | 851100069        | 照射の開始時刻(2回目)(体外照射)                            |         | ※          |
|           |                         |                                 |   | 851100070        | 照射の終了時刻(2回目)(体外照射)                            |         | ※          |
| 549       | N000                    | 病理組織標本作製「1」の「組織切片によるもの」         | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第13部N000病理組織標本作製の(1)の「ア」から「ケ」までのいずれかを選択して記載する。<br>なお、選択する臓器又は部位がない場合は「コ」その他を選択し、具体的部位等を記載すること。   | 820100866        | ア 気管支及び肺臓                                     |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100867        | イ 食道  |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100868        | ウ 胃及び十二指腸                                     |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100869        | エ 小腸  |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100870        | オ 盲腸  |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100871        | カ 上行結腸、横行結腸及び下行結腸                             |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100872        | キ S状結腸  |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100873        | ク 直腸  |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100874        | ケ 子宮体部及び子宮頸部                                  |         |            |
|           |                         |                                 |   | 830100612        | コ その他:*****                                   |         |            |
| 550       | N000                    | 病理組織標本作製「2」の「セルブロック法によるもの」      | 対象疾患名について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第13部N000病理組織標本作製(6)に規定するものうち、該当するものを選択して記載すること。<br><br>(肺悪性腫瘍、胃癌、大腸癌、卵巣癌、悪性リンパ腫又は乳癌を疑う患者に対して実施した場合)組織切片を検体とした病理組織標本作製が実施困難である医学的なる理由を記載すること。 | 820100762        | 対象患者(T-M(セルブロック法)):悪性中皮腫を疑う患者                 |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100763        | 対象患者(T-M(セルブロック法)):肺悪性腫瘍を疑う患者                 |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100764        | 対象患者(T-M(セルブロック法)):胃癌を疑う患者                    |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100765        | 対象患者(T-M(セルブロック法)):大腸癌を疑う患者                   |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100766        | 対象患者(T-M(セルブロック法)):卵巣癌を疑う患者                   |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100767        | 対象患者(T-M(セルブロック法)):悪性リンパ腫を疑う患者                |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820101194        | 対象患者(T-M(セルブロック法)):乳癌を疑う患者                    |         | ※          |
|           |                         |                                 |   | 830100326        | 実施困難理由(T-M(セルブロック法)):*****                    |         |            |
| 551       | N002                    | 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製             | (セルブロック法による病理組織標本に対する免疫染色を実施した場合)対象疾患名について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第13部N002免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製(10)に規定するものうち、該当するものを選択して記載すること。   | 820100797        | 対象患者(セルブロック法による免疫染色病理組織標本作製):悪性中皮腫を疑う患者       |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100798        | 対象患者(セルブロック法による免疫染色病理組織標本作製):肺悪性腫瘍を疑う患者       |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100799        | 対象患者(セルブロック法による免疫染色病理組織標本作製):胃癌を疑う患者          |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100800        | 対象患者(セルブロック法による免疫染色病理組織標本作製):大腸癌を疑う患者         |         |            |
|           |                         |                                 |   | 820100801        | 対象患者(セルブロック法による免疫染色病理組織標本作製):卵巣癌を疑う患者         |         |            |

| 項番        | 区分                       | 診療行為名称等   | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード                                 | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--------------------------|---|--|--|--|---------|------------|
|           |                          |   |  | 820100802  | 対象患者(セルブロック法による免疫染色病理組織標本作製):悪性リンパ腫を疑う患者   |         | ※          |
|           |                          |   |  | 820101305  | 対象患者(セルブロック法による免疫染色病理組織標本作製):乳癌を疑う患者   |         |            |
|           |                          |   |  | 830100328  | 実施困難理由(免疫染色病理組織標本作製):*****   |         |            |
| 552       | N002                     | 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製(注2)に規定する、確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して標本作製を実施した場合の加算 | 対象疾患名について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添1第2章第13節N002免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製(の8)の中から該当するものを選択して記載すること。<br><br>(「肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)が疑われる患者に対して算定する場合」その医学的根拠を詳細に記載すること。  | 820100768  | 原発不明癌が疑われる患者   |         |            |
|           |                          |   |  | 820100769  | 原発性脳腫瘍が疑われる患者  |         |            |
|           |                          |   |  | 820100286  | 悪性リンパ腫が疑われる患者  |         |            |
|           |                          |   |  | 820100287  | 悪性中皮腫が疑われる患者   |         |            |
|           |                          |   |  | 820100288  | 肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)が疑われる患者   |         |            |
|           |                          |   |  | 820100289  | 消化管間質腫瘍(GIST)が疑われる患者   |         |            |
|           |                          |   |  | 820100290  | 慢性腎炎が疑われる患者  |         |            |
|           |                          |   |  | 820100291  | 内分泌腫瘍が疑われる患者   |         |            |
|           |                          |   |  | 820100292  | 軟部腫瘍が疑われる患者  |         |            |
|           |                          |   |  | 820100293  | 皮膚の血管炎が疑われる患者  |         |            |
|           |                          |   |  | 820100294  | 水疱症(天疱瘡、類天疱瘡等)が疑われる患者  |         |            |
|           |                          |   |  | 820100295  | 悪性黒色腫が疑われる患者   |         |            |
|           |                          |   |  | 820100296  | 筋ジストロフィーが疑われる患者  |         |            |
| 820100297 | 筋炎が疑われる患者                |   |  |  |  |         |            |
| 830100329 | 医学的根拠(4種類以上抗体使用加算):***** |   |  |  |  |         |            |
| 553       | N002の3                   | 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製 3 HER2タンパク  | (化学療法のある手術不能又は再発乳癌患者に対して、過去に乳癌に係る本標本作製を実施した場合であって、抗HER2ヒトモノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判定するための補助に用いるものとして薬事承認又は承認を得ている体外診断用医薬品を用いて、HER2低発現の確認により当該抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、本標本作製を再度行う場合)再度免疫染色が必要である医学的根拠を記載すること。また、初回の標本作製の実施日を選択すること。 | 830100872  | 再度免疫染色が必要である医学的根拠(HER2タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製):*****                                 |         | ※          |
|           |                          |   |  | 820190498  | 初回の標本作製の実施日「令和6年3月30日以前」   |         |            |
|           |                          |   |  | 820190499  | 初回の標本作製の実施日「令和6年3月31日以降」   |         |            |
| 554       | N002の5                   | 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製 5 CCR4タンパク  | (CCR4タンパク及びCCR4タンパク(フローサイトメトリー法)を併せて算定した場合)その理由及び医学的根拠を記載すること。   | 830100121  | 併せて算定した理由及び医学的根拠(CCR4タンパク(フローサイトメトリー法)):*****  |         | ※          |
| 555       | N005-4                   | ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製  | (いずれか1つの目的で当該標本作製を実施した後に、別の目的で当該標本作製を実施した場合にあって、別に1回算定する場合)医学的必要性を記載すること。  | 830100873  | 医学的必要性(ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製):*****   |         | ※          |
| 556       | N005-5                   | BRAF V600E変異タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製   | (早期大腸癌におけるリンパ症候群の除外を目的として、実施した場合)「D004-2」に掲げるマイクロサテライト不安定性検査、又は「N005-4」ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を実施した年月日を、記載すること。   | 850190242  | マイクロサテライト不安定性検査実施年月日(BRAF V600E変異タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製):(元号)yy年mm月dd日              |         | ※          |
|           |                          |   |  | 850190243  | ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製年月日(BRAF V600E変異タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製):(元号)yy年mm月dd日 |         | ※          |
| 557       | N006                     | 病理診断時の悪性腫瘍病理組織標本加算  | 検体を抽出した手術の名称を記載すること。   | 830100331  | 検体を抽出した手術名(悪性腫瘍病理組織標本加算):*****   |         |            |
| 558       |                          | ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱い   | (核酸増幅法の検査の結果、ヘリコバクター・ピロリ陰性となった患者について、胃粘膜に同感染症特有の所見が認められているなど、同感染症を強く疑う特有の所見がある場合に、異なる検査法により再度検査を実施した場合に限り、さらに1項目に限り算定した場合)医療上の必要性について記載すること。   | 830100874  | 医療上の必要性(核酸増幅法):*****   |         | ※          |
|           |                          |   |  | 830100613  | 内視鏡検査等で確定診断した際の所見・結果:*****   |         |            |
|           |                          |   |  | 820100901  | 健康診断として内視鏡検査を実施  |         |            |
|           |                          |   |  | 830100614  | 検査方法:*****   |         |            |
|           |                          |   |  | 830100615  | 検査結果:*****   |         |            |
|           |                          |   |  | 850100465  | 除菌終了年月日:(元号)yy年mm月dd日  |         |            |
|           |                          |   |  | 850100466  | 薬剤投与中止年月日:(元号)yy年mm月dd日  |         |            |
|           |                          |   |  | 850100467  | 終了年月日:(元号)yy年mm月dd日  |         |            |
|           |                          |   |  | 850100468  | 抗体測定実施年月日(除菌前):(元号)yy年mm月dd日   |         |            |
|           |                          |   |  | 850100469  | 抗体測定実施年月日(除菌後):(元号)yy年mm月dd日   |         |            |
| 830100616 | 測定結果:*****               |   |  |  |  |         |            |
| 559       |                          | 長期収載品の選定療養に関する取扱い   | (長期収載品について、選定療養の対象とはせずに、保険給付する場合(長期収載品について、後発医薬品への変更不可の処方箋を交付する場合を含む。))理由のうち該当するものを記載すること。<br>※記載は制度が施行となる令和6年10月からとする。  | ※レセプト電算処理システム用コード、レセプト表示文言(理由の具体例)については、追ってお示する。 |  |         |            |
| 560       |                          | プログラム医療機器の評価療養に関する取扱い   | 「器評」と記載し、当該プログラム医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。   | 820000095  | (器評)   |         |            |
|           |                          |   |  | 820101251  | 第1段階承認後のプログラム医療機器  |         | ※          |
|           |                          |   |  | 820101252  | チャレンジ申請による再評価を目指すプログラム医療機器   |         | ※          |
| 561       |                          | プログラム医療機器の選定療養に関する取扱い   | 「器選」と記載し、当該プログラム医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。   | 820101253  | (器選)   |         | ※          |
|           |                          |   |  | 820101254  | 保険適用期間を超えたプログラム医療機器  |         | ※          |
| 562       | 入所診療                     | 施設入所者自己腹膜灌流薬剤料  | 薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、投与量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 医薬品コード   | (医薬品名を表示する。)   |         | ○          |
|           |                          |   |  | 特定器材コード  | (特定器材名を表示する。)  |         | ○          |
| 563       | 入所診療                     | 緊急時施設治療管理料(併設保険医療機関の保険医が往診を行った場合)   | 対象患者が介護療養型老健施設の入居者である旨を記載すること。<br><br>(緊急時施設治療管理料を算定する往診を行った月に介護保険の緊急時施設治療費を算定した場合)その年月日及び時刻を記載すること。   | 820100298  | 介護療養型老健施設入居者   |         |            |
|           |                          |   |  | 850100295  | 介護保険の緊急時施設治療費の算定年月日:(元号)yy年mm月dd日  |         |            |
|           |                          |   |  | 851100021  | 介護保険の緊急時施設治療費の算定時刻   |         |            |

※「記載事項」欄における括弧書きは、該当する場合に記載する事項であること。

※「記載事項」欄の記載事項は、特に記載している場合を除き、「摘要」欄へ記載するものであること。

| 項番 | 区分 | 診療行為<br>名称等 | 記載事項 | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言 | 紙レセの<br>み記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----|----|-------------|------|----------------------|------------------|-------------|--------------------|
|----|----|-------------|------|----------------------|------------------|-------------|--------------------|

※「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」に基づき請求する場合、「紙レセのみ記載」列の○の記載事項については、請求上、該当する「レセプト電算処理システム用コード」の記録により必然的に記載される内容になるので、別途コメントとしての記載は不要であること。

別表 I 診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（歯科）

| 項番        | 区分                                 | 診療行為<br>名称等               | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                               | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|------------------------------------|---------------------------|---|----------------------|--|-------------|--------------------|
| 1         | -                                  | -                         | 請求に際して、特に説明が必要と判断される内容は、簡潔に記載すること。  |                      | —  |             |                    |
| 2         | -                                  | -                         | 医科点数表の例により算定することと告示された項目については、医科の記載要領の別表 I に準じて記載すること。  |                      | —  |             |                    |
| 3         | A000                               | 初診料                       | (健康診断の結果に基づき治療を開始する場合において、初診料を算定しない場合)<br>健康診断の結果に基づき治療を開始した旨を記載すること。<br><br>(歯科疾患管理料を算定した患者について、再度初診料を算定する場合)<br>当該患者の前回治療年月日を記載すること。<br>なお、治療終了後2月以内に、予想しなかった外傷等により当初の管理計画の対象となっていた疾患とは異なる疾病が生じたことにより初診料を算定する場合は、その理由を記載すること。 | 820100300            | 健康診断の結果に基づき治療開始                                |             |                    |
|           |                                    |                           |   | 850100296            | 前回治療年月日;(元号)yy"年"mm"月"dd"日                     |             |                    |
|           |                                    |                           |   | 830100332            | 初診理由:*****                                     |             |                    |
| 4         | A000                               | 初診料<br>注11 歯科診療特別対応連携加算   | 当該患者の紹介元保険医療機関名を記載すること。   | 830100333            | 特達紹介元保険医療機関名:*****                             |             |                    |
| 5         | A000                               | 初診料<br>注12 歯科診療特別対応地域支援加算 | 当該患者の紹介元保険医療機関名を記載すること。   | 830100334            | 特地紹介元保険医療機関名:*****                             |             |                    |
| 6         | A000                               | 初診料<br>注6 歯科診療特別対応加算1、2   | (感染症患者に対して歯科診療特別対応加算1又は2を算定した場合)<br>患者の病名を選択して記載すること。   | 820101196            | (ア)狂犬病   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101197            | (イ)鳥インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)                    |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101198            | (ウ)エムボックス                                      |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101199            | (エ)重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101200            | (オ)腎症候性出血熱                                     |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101201            | (カ)ニパウイルス感染症                                   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101202            | (キ)ハンタウイルス肺症候群                                 |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101203            | (ク)ヘンドラウイルス感染症                                 |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101204            | (ケ)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)        |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101205            | (コ)後天性免疫不全症候群(ニューモシステス肺炎に限る。)                  |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101206            | (サ)麻しん   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101207            | (シ)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症                           |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101208            | (ス)RSウイルス感染症                                   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101209            | (セ)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症                          |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101210            | (ソ)感染性胃腸炎(病原体がノロウイルスであるものに限る。)                 |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101211            | (タ)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。病原体がエンテロウイルスによるものに限る。)    |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101212            | (チ)新型コロナウイルス感染症                                |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101213            | (ツ)侵襲性髄膜炎菌感染症                                  |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101214            | (テ)水痘  |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101215            | (ト)先天性風しん症候群                                   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101216            | (ナ)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症                         |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101217            | (ニ)バンコマイシン耐性腸球菌感染症                             |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101218            | (ヌ)百日咳   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101219            | (ネ)風しん   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101220            | (ノ)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症                              |             | ※                  |
| 820101221 | (ハ)無菌性髄膜炎(病原体がヘルポウイルスB19によるものに限る。) |                           | ※   |                      |  |             |                    |
| 820101222 | (ヒ)薬剤耐性アシネトバクター感染症                 |                           | ※   |                      |  |             |                    |
| 820101223 | (フ)薬剤耐性緑膿菌感染症                      |                           | ※   |                      |  |             |                    |
| 820101224 | (ヘ)流行性耳下腺炎                         |                           | ※   |                      |  |             |                    |
| 820101225 | (ホ)感染症法第6条第3項に規定する二類感染症            |                           | ※   |                      |  |             |                    |
| 7         | A000                               | 歯科診療特別対応加算1、2及び3          | (診療に要した時間に係る加算を算定する場合)<br>診療の開始時間及び終了時間を記載すること。   | 851100077            | 診療の開始時間(歯科診療特別対応加算):hh"時"mm"分"                 |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 851100078            | 診療の終了時間(歯科診療特別対応加算):hh"時"mm"分"                 |             | ※                  |
| 8         | A002                               | 再診料(同日再診)<br>(同日電話再診)     | (同日に2回以上の再診(電話等再診を含む。))がある場合)<br>同日再診、同日電話再診のうち該当するものを記載すること。   | 301003050            | 同日再診   |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301003250            | 同日病再診  |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301073250            | 同日再診(未届出)                                      |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301003150            | 同日電話等再診  |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301003350            | 同日電話等病再診                                       |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301073350            | 同日電話等再診(未届出)                                   |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301182510            | 同日再診料(診療所)(情報通信機器を用いた場合)                       |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301182610            | 同日再診料(診療所・未届出)(情報通信機器を用いた場合)                   |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301182810            | 同日再診料(病院)(情報通信機器を用いた場合)                        |             | ○                  |
| 9         | A002                               | 再診料(電話再診)                 | 電話再診に係る再診料の回数を記載すること(再掲)。   | 301002810            | 電話等再診  |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301002910            | 電話等病再診   |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301073110            | 電話等再診(未届出)                                     |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301003150            | 同日電話等再診  |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301003350            | 同日電話等病再診                                       |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 301073350            | 同日電話等再診(未届出)                                   |             | ○                  |
|           |                                    |                           |   | 820101196            | (ア)狂犬病   |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101197            | (イ)鳥インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)                    |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101198            | (ウ)エムボックス                                      |             | ※                  |
|           |                                    |                           |   | 820101199            | (エ)重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) |             | ※                  |

| 項番        | 区分                      | 診療行為名称等                | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|-------------------------|------------------------|---|------------------|--|---------|------------|
| 10        | A002                    | 歯科診療特別対応加算1、2          | (感染症患者に対して歯科診療特別対応加算を算定した場合)患者の病名を記載すること。   | 820101200        | (オ)腎症候性出血熱   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101201        | (カ)ニパウイルス感染症   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101202        | (キ)ハンタウイルス肺症候群   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101203        | (ク)ヘンドラウイルス感染症   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101204        | (ケ)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)                        |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101205        | (コ)後天性免疫不全症候群(ニューモシス肺炎に限る。)                                    |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101206        | (サ)麻しん   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101207        | (シ)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101208        | (ス)RSウイルス感染症   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101209        | (セ)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症  |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101210        | (ソ)感染性胃腸炎(病原体がノロウイルスであるものに限る。)                                 |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101211        | (タ)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。病原体がエンテロウイルスによるものに限る。)                    |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101212        | (チ)新型コロナウイルス感染症  |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101213        | (ツ)侵襲性髄膜炎菌感染症  |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101214        | (テ)水痘  |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101215        | (ト)先天性風しん症候群   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101216        | (ナ)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101217        | (ニ)バンコマイシン耐性腸球菌感染症   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101218        | (ヌ)百日咳   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101219        | (ネ)風しん   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101220        | (ノ)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101221        | (ハ)無菌性髄膜炎(病原体がバルボウイルスB19によるものに限る。)                             |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101222        | (ヒ)薬剤耐性アシネトバクター感染症   |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101223        | (フ)薬剤耐性緑膿菌感染症  |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101224        | (ヘ)流行性耳下腺炎   |         | ※          |
| 820101225 | (ホ)感染症法第6条第3項に規定する二類感染症 |                        | ※   |                  |  |         |            |
| 11        | A002                    | 歯科診療特別対応加算1、2及び3       | (診療に要した時間に係る加算を算定する場合)診療の開始時間及び終了時間を記載すること。   | 851100077        | 診療の開始時間(歯科診療特別対応加算):hh"時"mm"分"                                 |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 851100078        | 診療の終了時間(歯科診療特別対応加算):hh"時"mm"分"                                 |         | ※          |
| 12        | A002                    | 再診料注12<br>情報通信機器を用いた診療 | 特に情報通信機器を用いた歯科診療が必要な患者の状態を選択して記載すること。なお、複数の状態に該当する場合は、該当する状態を全て記載すること。  | 820101226        | イ 新型インフルエンザ等感染症等の発生時であって、保険医療機関での対面での診療が困難な状況において、歯科診療を必要とする患者 |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101227        | ロ B000-4-2に掲げる小児口腔機能管理料の「注5」又はB000-4-3に掲げる口腔機能管理料の「注5」に規定する患者  |         | ※          |
|           |                         |                        |   | 820101228        | ハ B002に掲げる歯科特定疾患療養管理料の(2)のロ及びトに規定する患者                          |         | ※          |
| 13        | B                       | 医学管理等                  | がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料、入院栄養食事指導料、外来緩和ケア管理料、外来リハビリテーション診療料、外来放射線照射診療料、外来腫瘍化学療法診療料、介護支援等連携指導料、がん治療連携計画策定料、がん治療連携指導料、がん治療連携管理料、こころの連携指導料(1)、退院時共同指導料1、退院時共同指導料2、退院時薬剤情報管理指導料、がんゲノムプロファイリング評価提供料、傷病手当金意見書交付料及び医療機器安全管理料は、全体の「その他」欄に当該項目を記載すること。 | 302006410        | がん性疼痛緩和指導管理料   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302007810        | がん患者指導管理料(歯科医師等の共同診療方針等を文書等で提供)                                | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302007910        | がん患者指導管理料(歯科医師・看護師が心理的不安軽減のため面接)                               | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302008010        | がん患者指導管理料(歯科医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等文書説明)                               | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302008610        | 入院栄養食事指導料1(初回)   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302008710        | 入院栄養食事指導料1(2回目)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302008810        | 入院栄養食事指導料2(初回)   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302008910        | 入院栄養食事指導料2(2回目)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302006710        | 外来緩和ケア管理料  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302006910        | 外来リハビリテーション診療料1  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302007010        | 外来リハビリテーション診療料2  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302007110        | 外来放射線照射診療料   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302012210        | 外来腫瘍化学療法診療料1(イ)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302012310        | 外来腫瘍化学療法診療料1(ロ)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302012410        | 外来腫瘍化学療法診療料2(イ)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302012510        | 外来腫瘍化学療法診療料2(ロ)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302005210        | 介護支援等連携指導料   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302007310        | がん治療連携計画策定料1   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302007410        | がん治療連携計画策定料2   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302005410        | がん治療連携指導料  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302007510        | がん治療連携管理料(がん診療連携拠点病院)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302009110        | がん治療連携管理料(地域がん診療病院)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302009210        | がん治療連携管理料(小児がん拠点病院)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302012910        | こころの連携指導料(1)   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302004110        | 退院時共同指導料1(看護診1又は看護診2)  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302004210        | 退院時共同指導料1(1以外)   | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302004310        | 退院時共同指導料2  | ○       |            |
|           |                         |                        |   | 302003510        | 退院時薬剤情報管理指導料   | ○       |            |



| 番  | 区分               | 診療行為<br>名称等   | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード  | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----|------------------|---|--|---|---|-------------|--------------------|
|    |                  |   |  | 302013010   | がんゲノムプロファイリング評価提供料  | ○           |                    |
|    |                  |   |  | 302003610   | 傷病手当金意見書交付料   | ○           |                    |
|    |                  |   |  | 302004810   | 医療機器安全管理料   | ○           |                    |
| 14 | B000-4           | 歯科疾患管理料<br>注10 総合医療管理<br>加算                                     | 主病に係る治療を行っている紹介元保険医療機関名を記載すること。  | 830100335   | 総合医療管理加算紹介元保険医療機関名:*****  |             |                    |
| 15 | B000-5           | 周術期等口腔機能<br>管理計画策定料   | (手術等を実施する保険医療機関からの文書による依頼に基づく場合)<br>依頼元保険医療機関名を記載すること。   | 830100336   | 周計依頼元保険医療機関名:*****  |             |                    |
| 16 | B000-6<br>B000-7 | 周術期等口腔機能<br>管理料(Ⅰ)<br>周術期等口腔機能<br>管理料(Ⅱ)                        | 手術の実施年月日又は予定年月日を記載すること。<br><br>(「1 手術前」の算定がなく、「2 手術後」の算定がある場合)<br>脳卒中等による緊急手術を実施した患者に対して術後早期に口腔機能管理の依頼を受けた旨を記載す<br>ること。  | 850100298<br>850100300<br>850100302<br>850100304<br>820100379 | 周1(手術後)手術等実施年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>周2(手術後)手術等実施年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>周1(手術前)手術等予定年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>周2(手術前)手術等予定年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>脳卒中等の術後早期に口腔機能管理の依頼 |             |                    |
| 17 | B000-8           | 周術期等口腔機能<br>管理料(Ⅲ)  | がん等に係る放射線治療又は化学療法の実施年月日又は予定年月日を記載すること。<br><br>緩和ケアの場合はその旨を記載すること。<br><br>(長期管理加算を算定する場合)<br>B000-5に掲げる周術期等口腔機能管理計画策定料の算定年月日を記載すること。  | 850100470<br>850100306<br>820101015<br>850190244              | 放射線治療等実施年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>放射線治療等予定年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>緩和ケア<br>周術期等口腔機能管理計画策定料算定年月日(周術期等口腔機能管理<br>料(3) 長期管理加算):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                               |             |                    |
| 18 | B000-9           | 周術期等口腔機能<br>管理料(Ⅳ)  | (放射線治療等を実施する患者に対して算定する場合)<br>B000-5に掲げる周術期等口腔機能管理計画策定料の算定年月日を記載すること。<br><br>(長期管理加算を算定する場合)<br>B000-5に掲げる周術期等口腔機能管理計画策定料の算定年月日を記載すること。   | 850190245<br>850190246  | 周術期等口腔機能管理計画策定料算定年月日(周術期等口腔機能管理<br>料(4) ):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>周術期等口腔機能管理計画策定料算定年月日(周術期等口腔機能管理<br>料(4) 長期管理加算):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'  |             | ※                  |
| 19 | B000-10          | 回復期等口腔機能<br>管理計画策定料   | (リハビリテーション等を実施する保険医療機関からの文書による依頼に基づく場合)<br>依頼元保険医療機関名を記載すること。  | 830100875   | 回計依頼元保険医療機関名:*****  |             | ※                  |
| 20 | B002             | 歯科特定疾患療養<br>管理料<br>注2 共同療養指<br>導計画加算                            | 共同療養指導計画の策定に関わった患者の主治医(区分番号B002 歯科特定疾患療養管理料の「注1」<br>に規定する別に厚生労働大臣が定める疾患に係るものに限る。)の保険医療機関名を記載すること。  | 830100337   | 共計主治医の保険医療機関名:*****   |             |                    |
| 21 | B003             | 特定薬剤治療管理<br>料   | 全体の「その他」欄に初回の算定年月日を記載すること。なお、4月目以降の特定薬剤治療管理料は、初回<br>の算定年月日の記載を省略して差し支えない。  | 850100307   | 薬初回算定年月:(元号)yy'年'mm'月'  |             |                    |
| 22 | B004             | 悪性腫瘍特異物質<br>治療管理料   | 実施した腫瘍マーカーの検査名を記載すること。   | 830100338   | 悪性腫瘍特異物質治療管理料検査名:*****  |             |                    |
| 23 | B004-6-<br>2     | 歯科治療時医療管<br>理料  | 当該管理の対象となる医科の主病名を記載すること。<br><br>(在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料、歯周病安定期治療を算定している場合(歯周病安定<br>期治療を算定した日を除く。))<br>当該管理料の要件に該当する患者であって、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料、歯周病<br>安定期治療の包括範囲に含まれ個別の算定ができない項目に該当する処置を行った日に当該管理料を<br>算定する場合は、実際に行った処置の項目を記載すること。<br><br>(区分番号B004-6-2の「注1」に掲げる処置を開始し、必要な医学管理を行っている際に、患者の容体<br>の急変によりやむを得ず治療を中止し処置等の算定を行わなかった場合)<br>患者の容体の急変等によりやむを得ず治療を中止し処置等の算定を行わなかった旨を記載すること。 | 830100339<br>830100876<br>820101229                           | 医管医科の主病名:*****<br>実際に行った処置の項目(歯科治療時医療管理料):*****<br>患者の容体の急変等によりやむを得ず治療を中止(歯科治療時医療管<br>理料)   |             | ※                  |
| 24 | B005             | 開放型病院共同指<br>導料(Ⅰ)   | 入院日を記載すること。  | 850100308   | 開1入院年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |             |                    |
| 25 | B006-4           | 歯科遠隔連携診療<br>料   | 連携先の保険医療機関名を記載すること。  | 830100877   | 歯科遠隔連携診療料連携先保険医療機関名:*****   |             | ※                  |
| 26 | B007             | 退院前訪問指導料  | (退院前訪問指導料を2回算定する場合)<br>それぞれの訪問指導日を記載すること。  | 850100309   | 退院前訪問指導年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'  |             |                    |
| 27 | B008             | 薬剤管理指導料1<br>特に安全管理が必<br>要な医薬品が投薬<br>又は注射されてい<br>る患者に対して行<br>う場合 | 指導日及び薬剤名を記載すること。   | 算定日情報<br>830100340  | (算定日)<br>薬管1(安全管理を要する医薬品投与患者)薬剤名:*****  | ○           |                    |
| 28 | B008             | 薬剤管理指導料2<br>1の患者以外の患<br>者に対して行う場<br>合                           | 指導日を記載すること。  | 算定日情報   | (算定日)   | ○           |                    |
| 29 | B008             | 薬剤管理指導料<br>注2 麻薬管理指<br>導加算                                      | 指導日を記載すること。  | 850100310   | 麻加指導年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |             |                    |
| 30 | B008-2           | 薬剤総合評価調整<br>管理料   | (当該保険医療機関及び他の保険医療機関で処方された内服薬を合計した種類数から2種類以上減少し<br>た場合)<br>当該他の保険医療機関名及び各保険医療機関における調整前後の薬剤の種類数を記載すること。  | 842100062<br>830100461  | 薬剤総合評価調整管理料調整前後の種類数:*****<br>薬剤総合評価調整管理料他の保険医療機関名:*****   |             |                    |
| 31 | B009             | 診療情報提供料<br>(Ⅰ)  | (保険医療機関以外の機関へ情報提供した場合)<br>情報提供先を記載すること。  | 830100341   | 情1情報提供先:*****   |             |                    |
| 32 | B009             | 診療情報提供料<br>(Ⅰ)<br>注9 退院患者の<br>紹介加算                              | 退院日を記載すること。  | 850100311   | 情1加1退院年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |             |                    |
| 33 | B009             | 診療情報提供料<br>(Ⅰ)<br>注8 検査・画像情<br>報提供加算 イ                          | 退院日を記載すること。  | 850100312   | 検査・画像情報提供加算(退院患者の必要な情報を提供)退院年月日:<br>(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |             |                    |
| 34 | B011             | 診療情報等連携共<br>有料  | (診療情報等連携共有料1を算定する場合)<br>連携先の保険医療機関名又は保険薬局名を記載すること。<br><br>(診療情報等連携共有料2を算定する場合)<br>依頼元保険医療機関名を記載すること。   | 830100342<br>830100878<br>830100879                           | 診療情報等連携共有料連携先保険医療機関名:*****<br>診療情報等連携共有料連携先保険薬局名:*****<br>診療情報等連携共有料依頼元保険医療機関名:*****  |             | ※                  |
| 35 | B011-2           | 連携強化診療情報<br>提供料   | (妊娠中の場合)<br>妊娠中である旨を記載すること。  | 820100579   | 妊娠中(連携強化診療情報提供料)  |             |                    |
| 36 | B011-4           | 退院時薬剤情報管<br>理指導料  | 退院日を記載すること。  | 850100313   | 退院時薬剤情報管理指導料退院年月日:(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |             |                    |

| 項番        | 区分                                 | 診療行為名称等  | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード                               | 左記コードによるレセプト表示文言                                    | 紙レセのみ記載                           | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|------------------------------------|--|---|--|---|-----------------------------------|------------|
| 37        | B012                               | 傷病手当金意見書交付料  | 全体の「その他」欄に交付年月日を記載すること。   | 850100089                                      | 交付年月日(傷病手当金意見書交付料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"              |                                   |            |
|           |                                    |  | (当該月前に受療した傷病について傷病手当金意見書の交付の求めがあった場合)当該意見書の対象となった傷病名及びその傷病の診察開始年月日を「傷病名部位」欄及び「診療開始日」欄にそれぞれ記載すること。   | 傷病名コード<br>(傷病名を表示する。)<br>修飾語コード<br>(修飾語を表示する。) | ○   |                                   |            |
| 38        | B013                               | 新製有床義歯管理料  | (「傷病名部位」欄に記載した欠損部位と装着部位が異なる場合)装着部位を記載すること。  | 830100343                                      | 義歯装着部位:*****  |                                   |            |
| 39        | B014                               | 退院時共同指導料1  | 全体の「その他」欄に患者が入院している保険医療機関名を記載。なお、2回目の当該退院時共同指導料は、全体の「その他」欄に別に厚生労働大臣が定める疾病のうち、該当する病名を記載すること。なお、1回目の場合は1回目と記載すること。  | 830100344                                      | 退院時共同指導料1保険医療機関名:*****                              |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 830100345                                      | 退院時共同指導料1病名:*****                                   |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 820100303                                      | 1回目(退院時共同指導料1)                                      |                                   |            |
| 40        | B015                               | 退院時共同指導料2  | 全体の「その他」欄に当該指導を共同して行った保険医療機関名、共同指導に参画した者の職種及び指導年月日を記載すること。  | 830100346                                      | 退院時共同指導料2保険医療機関名:*****                              |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 830100347                                      | 退院時共同指導料2指導参画者の職種:*****                             |                                   |            |
| 41        | C000                               | 歯科訪問診療料  | 訪問診療を行った日付、実施時刻(開始時刻と終了時刻)、訪問先名(記載例:自宅、〇〇マンション、介護老人保健施設××苑)及び患者の状態を記載すること。なお、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2第2章第2部C000歯科訪問診療料の(9)に該当し、歯科訪問診療+2又は歯科訪問診療+3を所定点数により算定した場合はその理由を記載すること。  | 853100010                                      | 歯科訪問診療日及び開始時刻:dd"日"hh"時"mm"分"                       |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 853100011                                      | 歯科訪問診療日及び終了時刻:dd"日"hh"時"mm"分"                       |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 830100348                                      | 訪問診療訪問先名:*****                                      |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 830100349                                      | 訪問診療患者の状態:*****                                     |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 820100382                                      | (9)容体が急変し、やむを得ず治療中断                                 |                                   |            |
| 42        | C000                               | 歯科訪問診療料注7 患者診療時間加算注8 歯科診療特別対応加算注9 緊急歯科訪問診療加算、夜間歯科訪問診療加算又は深夜歯科訪問診療加算(患者診療時間加算、歯科診療特別対応加算、緊急歯科訪問診療加算、夜間歯科訪問診療加算又は深夜歯科訪問診療加算がある場合)全体の「その他」欄に患者診療時間加算、歯科診療特別対応加算、緊急歯科訪問診療加算、夜間歯科訪問診療加算又は深夜歯科訪問診療加算である旨を記載すること。 | CC001(303000370)  | 患者診療時間加算(歯科訪問診療)                               | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC002(303000470)  | 歯科診療特別対応加算1(歯科訪問診療料)                           | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC003(303000570)  | 歯科診療特別対応加算2(歯科訪問診療料)                           | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC084(303013870)  | 歯科診療特別対応加算3(歯科訪問診療料)                           | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC004(303000670)  | 緊急歯科訪問診療加算(歯科訪問診療1)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC005(303000770)  | 緊急歯科訪問診療加算(歯科訪問診療2)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC028(303004770)  | 緊急歯科訪問診療加算(歯科訪問診療3)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC086(303014070)  | 緊急歯科訪問診療加算(歯科訪問診療4)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC087(303014170)  | 緊急歯科訪問診療加算(歯科訪問診療5)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC006(303000870)  | 夜間歯科訪問診療加算(歯科訪問診療1)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC007(303000970)  | 夜間歯科訪問診療加算(歯科訪問診療2)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC029(303004870)  | 夜間歯科訪問診療加算(歯科訪問診療3)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC088(303014270)  | 夜間歯科訪問診療加算(歯科訪問診療4)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC089(303014370)  | 夜間歯科訪問診療加算(歯科訪問診療5)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC008(303001070)  | 深夜歯科訪問診療加算(歯科訪問診療1)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC009(303001170)  | 深夜歯科訪問診療加算(歯科訪問診療2)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC030(303004970)  | 深夜歯科訪問診療加算(歯科訪問診療3)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC090(303014470)  | 深夜歯科訪問診療加算(歯科訪問診療4)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | CC091(303014570)  | 深夜歯科訪問診療加算(歯科訪問診療5)                            | ○   |                                   |            |
|           |                                    |  | 43  | C000   | 歯科訪問診療料注10 地域医療連携体制加算                               | 地域医療連携体制加算である旨及び連携保険医療機関名を記載すること。 | 830100350  |
| 44        | C000                               | 歯科訪問診療料注11 特別歯科訪問診療料   | 滞在時間(島に上陸したときから離島するまでの時間)を記載すること。   | CC013(303001570)                               | 滞在時間加算(1号地域)****分                                   | ○                                 |            |
| 45        | C000                               | 歯科訪問診療料注17 歯科訪問診療移行加算  | 当該保険医療機関の外來を最後に受診した年月日を記載すること。  | 850100315                                      | 歯科訪問診療移行加算外來最後受診年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日"             |                                   |            |
| 46        | C000                               | 歯科訪問診療料注18 通信画像情報活用加算  | 歯科医師が口腔内を観察した際の訪問歯科衛生指導料(歯科衛生士等が行う場合)、居宅療養管理指導費(歯科衛生士等が行う場合)又は介護予防居宅療養管理指導費(歯科衛生士等が行う場合)を算定した年月日を記載すること。  | 850100398                                      | 訪問歯科衛生指導料(歯科衛生士等が行う場合)算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日"     |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 850100485                                      | 居宅療養管理指導費(歯科衛生士等が行う場合)算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日"     |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 850100484                                      | 介護予防居宅療養管理指導費(歯科衛生士等が行う場合)算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |                                   |            |
| 47        | C001                               | 訪問歯科衛生指導料  | 訪問歯科衛生指導を行った日付及び指導の実施時刻(開始時刻と終了時刻)を記載すること。<br><br>単一建物診療患者が2人以上の場合には「摘要」欄にその人数を記載すること。1つの患者に当該指導料の対象となる同居する同一世帯の患者が2人以上いる場合、保険医療機関が訪問歯科衛生指導料を算定する者の数が当該建築物の戸数の10%以下の場合、当該建築物の戸数が20戸未満で当該保険医療機関が訪問歯科衛生指導料を算定する者が2人以下の場合又はユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所のそれぞれのユニットにおいて訪問歯科衛生指導料を算定する人数を単一建物診療患者の人数とみなす場合は、「摘要」欄に、「同居する同一世帯の患者が2人以上」、「訪問歯科衛生指導料を算定する者の数が当該建築物の戸数の10%以下」、「当該建築物の戸数が20戸未満で訪問歯科衛生指導料を算定する者が2人以下」又は「ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所」の中から、該当するものを選択して記載すること。<br><br>(訪問歯科衛生指導料と同月に歯科訪問診療料がない場合)直近の歯科訪問診療料の算定年月日を記載すること。<br><br>緩和ケアの場合はその旨を記載すること。 | 853100012                                      | 訪問歯科衛生指導日及び開始時刻:dd"日"hh"時"mm"分"                     |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 853100013                                      | 訪問歯科衛生指導日及び終了時刻:dd"日"hh"時"mm"分"                     |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 842100063                                      | 訪問指単一建物診療患者数:*****                                  |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 820100094                                      | ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所                           |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 820100103                                      | 同居する同一世帯の患者が2人以上                                    |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 820100304                                      | 訪問歯科衛生指導を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下                       |                                   |            |
|           |                                    |  |   | 820100305                                      | 当該建築物戸数が20戸未満で訪問指を算定するものが2人以下                       |                                   |            |
| 850100316 | 歯科訪問診療料前回算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |  |   |  |   |                                   |            |
| 820101015 | 緩和ケア                               |  |   | ※  |   |                                   |            |

| 番  | 区分       | 診療行為名称等  | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|----------|--|---|------------------|--|---------|------------|
| 48 | C001-3   | 歯科疾患在宅療養管理料  | (指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成12年厚生労働省告示19号)別表「5 居宅療養管理指導費」の「口 歯科医師が行う場合」又は指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成19年厚生労働省告示127号)別表「5 介護予防居宅療養管理指導費」の「口 歯科医師が行う場合」を算定した場合)<br>当該するものを選択し、算定年月日を記載すること。<br><br>(居宅療養管理指導費又は介護予防居宅療養管理指導費を算定した場合に、歯科疾患在宅療養管理料を算定したものとみなす場合)<br>居宅療養管理指導費又は介護予防居宅療養管理指導費を算定していない月に、歯科疾患在宅療養管理料の算定が必要な区分を算定する場合は、居宅療養管理指導費又は介護予防居宅療養管理指導費を選択し直近の算定年月日を記載すること。 | 820100306        | 居宅療養管理指導費  |         |            |
|    |          |  |   | 820100307        | 介護予防居宅療養管理指導費                                      |         |            |
|    |          |  |   | 850100317        | 居宅療養管理指導費算定年月日:(元号)yy年mm月dd日                       |         |            |
|    |          |  |   | 850100318        | 介護予防居宅療養管理指導費算定年月日:(元号)yy年mm月dd日                   |         |            |
|    |          |  |   | 850100319        | 居宅療養管理指導費前算定年月日:(元号)yy年mm月dd日                      |         |            |
| 49 | C001-3   | 歯科疾患在宅療養管理料<br>注4 在宅総合医療管理加算<br>注5 在宅歯科医療連携加算1<br>注6 在宅歯科医療連携加算2 | (在宅総合医療管理加算を算定した場合)<br>在宅総合医療管理加算については、主病に係る治療を行っている紹介元保険医療機関名を記載すること。<br>(在宅歯科医療連携加算1又は2を算定した場合)<br>提供元の保険医療機関又は介護保険施設等の名称を記載すること。   | 830100351        | 在宅総合紹介元保険医療機関名:*****                               |         |            |
|    |          |  |   | 830100880        | 在宅歯科医療連携加算1提供元保険医療機関名:*****                        |         | ※          |
|    |          |  |   | 830100881        | 在宅歯科医療連携加算2提供元介護保険施設等名:*****                       |         | ※          |
| 50 | C001-4-2 | 在宅患者歯科治療時医療管理料   | 当該管理の対象となる医科の主病名を記載すること。<br><br>(在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料、歯周病安定期治療を算定している場合(歯周病安定期治療を算定した日を除く。))<br>当該管理料の要件に該当する患者であって、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料、歯周病安定期治療の包括範囲に含まれ個別の算定ができない項目に該当する日当該管理料を算定する場合は、実際に行った処置の項目を記載すること。<br><br>(区分番号B004-6-2の「注1」に掲げる処置等を開始し、必要な医学管理を行っている際に、患者の容体の急変等によりやむを得ず治療を中止し処置等の算定を行わなかった場合)<br>患者の容体の急変等によりやむを得ず治療を中止し処置等の算定を行わなかった旨を記載すること。                 | 830100354        | 在宅管医科主病名:*****                                     |         |            |
|    |          |  |   | 830100882        | 実際に行った処置の項目(在宅患者歯科治療時医療管理料):*****                  |         | ※          |
|    |          |  |   | 820101230        | 患者の容体の急変等によりやむを得ず治療を中止(在宅患者歯科治療時医療管理料)             |         | ※          |
| 51 | C001-5   | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料<br>注6 在宅歯科医療連携加算1<br>注7 在宅歯科医療連携加算2       | 当該管理の実施日及び実施時刻(開始時刻と終了時刻)を記載すること。<br>(在宅歯科医療連携加算1又は2を算定した場合)<br>提供元の保険医療機関又は介護保険施設等の名称を記載すること。  | 853100014        | 訪問口腔リハ実施日及び開始時刻(在宅患者訪問口腔リハ):dd日hh時mm分              |         |            |
|    |          |  |   | 853100015        | 訪問口腔リハ実施日及び終了時刻(在宅患者訪問口腔リハ):dd日hh時mm分              |         |            |
|    |          |  |   | 830100880        | 在宅歯科医療連携加算1提供元保険医療機関名:*****                        |         | ※          |
|    |          |  |   | 830100881        | 在宅歯科医療連携加算2提供元介護保険施設等名:*****                       |         | ※          |
|    |          |  |   | 853100016        | 小訪問口腔リハ開始日時:dd日hh時mm分                              |         |            |
| 52 | C001-6   | 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料   | 当該管理の実施日及び実施時刻(開始時刻と終了時刻)を記載すること。<br>(小児在宅歯科医療連携加算1又は2を算定した場合)<br>提供元の保険医療機関又は障害児入所施設等の名称を記載すること。   | 853100017        | 小訪問口腔リハ終了日時:dd日hh時mm分                              |         |            |
|    |          |  |   | 830100883        | 小児在宅歯科医療連携加算1提供元保険医療機関名:*****                      |         | ※          |
|    |          |  |   | 830100884        | 小児在宅歯科医療連携加算2提供元障害児入所施設等名:*****                    |         | ※          |
| 53 | C001-7   | 在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料  | (在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料1を算定する場合)<br>連携先の保険医療機関の名称及びカンファレンス等に参加した年月日を記載すること。<br><br>(在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料2を算定する場合)<br>介護保険施設等の名称及びカンファレンス等に参加した年月日を記載すること。<br><br>(在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料3を算定する場合)<br>障害児入所施設等の名称及びカンファレンス等に参加した年月日を記載すること。   | 830100885        | 連携先保険医療機関名(在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料1):*****             |         | ※          |
|    |          |  |   | 850190247        | カンファレンス等の参加年月日(在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料1):(元号)yy年mm月dd日 |         | ※          |
|    |          |  |   | 830100886        | 連携先介護保険施設等名(在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料2):*****            |         | ※          |
|    |          |  |   | 850190248        | カンファレンス等の参加年月日(在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料2):(元号)yy年mm月dd日 |         | ※          |
|    |          |  |   | 830100887        | 連携先障害児入所施設等名(在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料3):*****           |         | ※          |
| 54 | C004     | 退院前在宅療養指導管理料   | (退院前在宅療養指導管理に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。  | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)   | ○       |            |
|    |          |  |   | 特定器材コード          | (特定器材名を表示。)  | ○       |            |
| 55 | C005     | 在宅療養等注射指導管理料   | (在宅悪性腫瘍等患者の療養に用いる薬剤又は特定保険医療材料を支給した場合(院外処方の場合を除く。))<br>薬剤の総点数、所定単位当たりの薬剤名、支給量、特定保険医療材料の総点数、名称及びセット数等を記載すること。   | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)   | ○       |            |
| 56 | C007     | 在宅患者連携指導料  | 全体の「その他」欄に当該指導に係る情報共有先の保険医療機関名又は保険薬局名、訪問看護ステーション名及び当該指導を行った年月日を記載すること。  | 830100357        | 在宅患者連携指導料情報共有先保険医療機関名等:*****                       |         |            |
|    |          |  |   | 850100325        | 在宅患者連携指導料指導年月日:(元号)yy年mm月dd日                       |         |            |
| 57 | C008     | 在宅患者緊急時等カンファレンス料   | 全体の「その他」欄に訪問先、当該カンファレンスに参加した保険医療機関名又は保険薬局名、訪問看護ステーション名、当該カンファレンスを行った日及び当該指導日を記載すること。  | 830100358        | 在宅患者緊急時等カンファレンス料訪問先:*****                          |         |            |
|    |          |  |   | 830100359        | 在宅患者緊急時等カンファレンス料参加保険医療機関名等:*****                   |         |            |
|    |          |  |   | 850100326        | 在宅患者緊急時等カンファレンス料実施年月日:(元号)yy年mm月dd日                |         |            |
|    |          |  |   | 850100327        | 在宅患者緊急時等カンファレンス料指導年月日:(元号)yy年mm月dd日                |         |            |
| 58 | D        | 検査   | (記載欄が示されていない各種の検査を行った場合)<br>X線・検査の「その他」欄に検査の名称を記載すること。  | 診療行為コード          | (診療行為名を表示。)  | ○       |            |
| 59 | D002-5   | 歯周病部分的再評価検査  | X線・検査の「その他」欄に部位を記載すること。   | 830100360        | P部検部位:*****  |         |            |
| 60 | D002-6   | 口腔細菌定量検査2  | 前回の算定年月を記載すること。(初回である場合は初診月を除き初回である旨)を記載すること。   | 850190250        | 前回の算定年月(口腔細菌定量検査2):(元号)yy年mm月                      |         | ※          |
|    |          |  |   | 820190500        | 初回(口腔細菌定量検査2)                                      |         | ※          |
| 61 | D009     | 顎運動関連検査  | 実施した検査名として、X線・検査の「その他」欄にMMG、ChB、GoA、Ptgのうち該当するものを記載すること。<br><br>(少数歯欠損症において、顎運動関連検査を実施し、当該検査に係る費用を算定する場合)<br>患者の咬合状態等当該検査の必要性を記載すること。   | 820100308        | MMG  |         |            |
|    |          |  |   | 820100309        | ChB  |         |            |
|    |          |  |   | 820100310        | GoA  |         |            |
|    |          |  |   | 820100311        | Ptg  |         |            |
|    |          |  |   | 830100361        | 顎運動関連検査必要性:*****                                   |         |            |
| 62 | D010     | 歯冠補綴時色調採得検査  | それぞれの検査ごとに検査対象となった歯冠補綴物の部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から当該検査を行った部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。  | 830100362        | 歯冠補綴時色調採得検査部位:*****                                |         |            |

| 番番 | 区分     | 診療行為名称等       | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                   | 紙レセプト記載 | 令和6年6月1日適用 |  |
|----|--------|---------------|--|------------------|--|---------|------------|--|
| 63 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査    | (新製有床義歯装着日より前に算定する場合で傷病名の部位から新製有床義歯管理料の「2 困難な場合」に準じる状態であると判断できない場合)<br>有床義歯咀嚼機能検査を開始する時に、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2第2章第1部D011有床義歯咀嚼機能検査の(9)のイからホまでのうち該当するものを選択して記載すること。  | 820100770        | イ 義管の「2 困難な場合」に準じる場合                               |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100314        | ロ PAPを装着する場合                                       |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100315        | ハ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術の(5)に準じる場合                         |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100316        | ニ 左右第二大臼歯を含む臼歯が4歯以上欠損している場合                        |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100317        | ホ 口蓋補綴、顎補綴を装着する場合                                  |         |            |  |
|    |        |               |  | 850100328        | 有床義歯咀嚼機能検査1(下顎運動測定と咀嚼能力測定を併施)年月:(元号)yy年mm月         |         |            |  |
|    |        |               |  | 850100388        | 有床義歯咀嚼機能検査2(下顎運動測定と咬合圧測定を併施)年月:(元号)yy年mm月          |         |            |  |
|    |        |               |  | 850100329        | 新製有床義歯等装着年月:(元号)yy年mm月                             |         |            |  |
| 64 | D011-2 | 咀嚼能力検査1       | 前回の算定年月(初回である場合は初診月を除き初回である旨)を記載すること。  | 850190251        | 前回の算定年月(咀嚼能力検査1):(元号)yy年mm月                        |         | ※          |  |
|    |        |               |  | 820190501        | 初回(咀嚼能力検査1)  |         | ※          |  |
| 65 | D011-2 | 咀嚼能力検査2       | 手術前である旨又は手術後の直近の算定年月を記載すること。   | 850190252        | 手術後の直近の算定年月(咀嚼能力検査2):(元号)yy年mm月                    |         | ※          |  |
|    |        |               |  | 820190502        | 手術後初回(咀嚼能力検査2)                                     |         | ※          |  |
|    |        |               |  | 820101231        | 手術前(咀嚼能力検査2)                                       |         | ※          |  |
| 66 | D011-3 | 咬合圧検査1        | 前回の算定年月(初回である場合は初診月を除き初回である旨)を記載すること。  | 850190253        | 前回の算定年月(咬合圧検査1):(元号)yy年mm月                         |         | ※          |  |
|    |        |               |  | 820190503        | 初回(咬合圧検査1)   |         | ※          |  |
| 67 | D011-3 | 咬合圧検査2        | 手術前である旨又は手術後の直近の算定年月を記載すること。   | 850190254        | 手術後の直近の算定年月(咬合圧検査2):(元号)yy年mm月                     |         | ※          |  |
|    |        |               |  | 820190504        | 手術後初回(咬合圧検査2)                                      |         | ※          |  |
|    |        |               |  | 820101232        | 手術前(咬合圧検査2)  |         | ※          |  |
| 68 | D012   | 舌圧検査          | 舌圧検査に当たって、該当する患者の状態を選択して記載すること。  | 820100318        | 口腔機能の低下が疑われる場合                                     |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100319        | PAPを装着する場合または予定している場合                              |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100320        | 広範囲顎骨支持型装置埋入手術の対象となる場合                             |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100321        | 口蓋補綴、顎補綴を装着する場合                                    |         |            |  |
| 69 | D100   | 薬剤(検査)        | (検査に当たって薬剤を使用した場合)<br>薬剤名及び使用量を記載すること。   | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)   | ○       |            |  |
| 70 | E      | 画像診断          | (標準型以外のフィルムを使用して撮影(アナログ撮影)を行った場合)<br>X線・検査の「その他」欄に使用フィルムの種類を記載すること。<br><br>(新生児、3歳未満の乳幼児又は3歳以上6歳未満の幼児に対する加算を算定した場合)<br>「X線・検査」欄のそれぞれの項の記載要領にかかわらずX線・検査の「その他」欄に画像診断の種類を記載すること。<br><br>(標準型以外のフィルムを使用して撮影(アナログ撮影)を行った場合、全額撮影(デジタル撮影)、歯科エックス線撮影の全額撮影以外(デジタル撮影)、歯科パノラマ断層撮影(デジタル撮影)、歯科用3次元エックス線断層撮影及び歯科部分パノラマ断層撮影以外の画像診断を行った場合)<br>X線・検査の「その他」欄に画像診断の種類を記載すること。   | 診療行為コード          | (診療行為名を表示。)  | ○       |            |  |
|    |        |               |  | 特定器材コード          | (特定器材名を表示。)  | ○       |            |  |
| 71 | E(通則)  | 時間外緊急院内画像診断加算 | 撮影開始日時を記載すること。<br><br>(引き続き入院した場合)<br>上記に加え、引き続き入院した旨を記載すること。  | 853100018        | 時間外緊急院内画像診断加算撮影開始日時(時間外緊急院内画像診断加算):dd"日"hh"時"mm"分" |         |            |  |
|    |        |               |  | 820100322        | 画像診断後、引き続き入院                                       |         |            |  |
| 72 | E200   | 基本的エックス線診断科   | X線・検査の「その他」欄に入院日数及び点数を次の例により記載すること。<br>【記載例】「基工」(15日) 825  | 830100363        | 基工(4週以内);*****                                     |         |            |  |
|    |        |               |  | 830100364        | 基工(4週超);*****                                      |         |            |  |
| 73 | E301   | 造影剤           | (画像診断に当たって薬剤を使用した場合)<br>薬剤名及び使用量を記載すること。   | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)   | ○       |            |  |
| 74 | F      | 投薬            | 使用薬剤の医薬品名、規格・単位(%, mL又はmg等)及び使用量を記載。<br>ただし、届出保険医療機関は、薬剤料に掲げる所定単位の薬価が175円以下の場合は、使用薬剤の医薬品名・使用量等の記載は不要とする。なお、複数の規格単位のある薬剤について最も小さい規格単位を使用する場合は、規格単位は省略して差し支えない。<br><br>(常態として内服薬7種類以上を処方し、薬剤料を点数の合計の100分の90に相当する点数で算定した場合)<br>当該処方に係る薬剤名を区分して記載するとともに、薬剤名の下に算定点数を記載し又は算定点数から点数の合計を控除して得た点数を△書きにより記載すること。<br><br>(厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第4号又は第1条第6号に係る医薬品を投与した場合)<br>当該医薬品名を他の医薬品と区分して記載すること。<br><br>(入院患者に対し退院時に投薬を行った場合)<br>「投薬・注射」欄の余白に「退院時 日分投薬」と記載すること。<br><br>(入院時食事療養費に係る食事療養又は入院時生活療養費に係る生活療養の食事の提供たる療養を受けている入院患者又は入院中の患者に対してビタミン剤を投与した場合)<br>「療養」欄の余白に当該ビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断した趣旨を記載すること。(ただし、病名によりビタミン剤の投与が必要かつ有効と判断できる場合はこの限りではない。)<br><br>(長期の旅行等特殊の事情がある場合において、必要があると認め、必要最小限の範囲において、投薬量が1回14日分を限度とされる内服薬及び外用薬であって14日を超えて投与した場合)<br>当該長期投与の理由を記載すること。 | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)   | ○       |            |  |
|    |        |               |  | 630010002        | 薬剤料減減(90/100)(内服薬)                                 |         | ○          |  |
|    |        |               |  | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)   |         | ○          |  |
|    |        |               |  | 840000006        | 退院時 日分投薬   |         |            |  |
|    |        |               |  | 830100365        | ビタミン剤の投与趣旨;*****                                   |         |            |  |
| 75 | F400   | 処方箋料          | (万 一 緊急やむを得ない事態が生じ、同一の患者に対して、同一診療日に一部の薬剤を院内において投薬し他の薬剤を院外処方箋により投薬した場合)<br>日付及び理由を記載すること。   | 850100331        | 同日に院内処方及び処方箋による投薬を行った診療年月日:(元号)yy年mm月dd日           |         |            |  |
|    |        |               |  | 830100369        | 同日に院内処方及び処方箋による投薬を行った理由;*****                      |         |            |  |

| 番番 | 区分     | 診療行為名称等                       | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード                   | 左記コードによるレセプト表示文言                            | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|--------|-------------------------------|---|------------------------------------|---|---------|------------|
| 76 | G      | 注射                            | (皮内、皮下及び筋肉内注射又は静脈内注射のその他の注射を行った場合)<br>全体の「その他」欄に注射の種類、その内訳は、「摘要」欄に注射の種類、所定単位当たりの使用薬剤の薬名、使用量及び回数等を記載すること。  | 診療行為コード                            | (診療行為名を表示。)                                 | ○       |            |
|    |        |                               | (その他の注射を行った場合)<br>全体の「その他」欄に注射の種類、その内訳は、「摘要」欄に注射の種類、所定単位当たりの使用薬剤の薬名、使用量及び回数等を記載すること。  | 医薬品コード                             | (医薬品名を表示。)                                  | ○       |            |
| 77 | G004   | 点滴注射<br>注3 血漿成分製剤<br>加算       | 1回目の注射の実施日を記載すること。  | 850100332                          | 血漿(点滴)1回目実施年月日;(元号)yy"年"mm"月"dd"日"          |         |            |
| 78 | G005   | 中心静脈注射<br>注1 血漿成分製剤<br>加算     | 1回目の注射の実施日を記載すること。  | 850100333                          | 血漿(中心静脈注射)1回目実施年月日;(元号)yy"年"mm"月"dd"日"      |         |            |
| 79 | G100   | 薬剤(注射)                        | 使用薬剤の医薬品名、規格・単位(%, mL又はmg等)及び使用量を記載すること。<br>ただし、届出保険医療機関は、注射のうち皮内、皮下及び筋肉内注射又は静脈注射であって入院中の患者以外の患者に対するものについては1回当たりの、それ以外の注射については1日当たりの薬価がそれぞれ175円以下の場合には、使用薬剤の医薬品名・使用量等の記載は不要とする。なお、複数の規格単位のある薬剤について最も小さい規格単位を使用する場合は、規格単位は省略して差し支えない。<br>(注射の手技料を包括する点数を算定するに当たって、併せて当該注射に係る薬剤料を算定する場合)<br>「投薬」欄及び「摘要」欄に同様に記載すること。 | 医薬品コード                             | (医薬品名を表示。)                                  | ○       |            |
| 80 | H      | リハビリテーション                     | (「制限回数を超えて行う診療」に係るリハビリテーションを行った場合)<br>次の例により、当該「制限回数を超えて行う診療」の名称、徴収した特別の料金及び回数を他のリハビリテーションと区別して記載すること。<br>【記載例】<br>脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ) 200×18<br>実施日数3日<br>(リハ選)<br>脳血管疾患等リハビリテーション料 2,000円×1   | 830100372                          | リハ選;*****                                   |         |            |
| 81 | H001   | 摂食機能療法                        | 摂食機能療法の実施日、実施時刻(開始時刻と終了時刻)等を記載すること。   | 853100019                          | 摂食機能療法開始日時(摂食機能療法);dd"日"hh"時"mm"分"          |         |            |
|    |        |                               |   | 853100020                          | 摂食機能療法終了日時(摂食機能療法);dd"日"hh"時"mm"分"          |         |            |
| 82 | H001   | 摂食機能療法<br>注3 摂食嚥下機能<br>回復体制加算 | 連携している医師名を記載すること。   | 830100373                          | 摂食嚥下機能回復体制加算(摂食機能療法)連携医師名;*****             |         |            |
| 83 | I      | 処置                            | (該当する記載欄を設けていない場合及び該当欄に記載しきれない場合)<br>処置・手術の「その他」欄に当該処置の名称を記載すること。   | 診療行為コード                            | (診療行為名を表示。)                                 | ○       |            |
| 84 | I(通則)  | 時間外加算<br>休日加算<br>深夜加算         | (第8部処置の通則「6」の規定により時間外加算(時間外加算の特例を含む。)、休日加算又は深夜加算を算定した場合)<br>処置・手術の「その他」欄に処置名及び加算の種類を記載すること。   | 診療行為コード                            | (診療行為名を表示。)                                 | ○       |            |
| 85 | I(通則)  | 乳幼児加算                         | (当月中に6歳を迎え、加算した点数と加算しない点数が混在する場合)<br>記載欄に加算した点数及び回数を記載し、処置・手術の「その他」欄に加算しない点数及び回数を名称を付して記載して差し支えない。  | 診療行為コード                            | (診療行為名を表示。)                                 | ○       |            |
| 86 | 1000-2 | 咬合調整                          | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2第2章第8部1000-2咬合調整の(1)のイからホまでのいずれに該当するかを記載すること。   | 820100910                          | イ 一次性咬合性外傷の場合                               |         |            |
|    |        |                               |   | 820100911                          | ロ 二次性咬合性外傷の場合                               |         |            |
|    |        |                               |   | 820100912                          | ハ 歯冠形態修正の場合                                 |         |            |
|    |        |                               |   | 820100913                          | ニ レスト製作の場合                                  |         |            |
|    |        |                               |   | 820100914                          | ホ 第13部 歯科矯正に伴うディスクングの場合                     |         |            |
| 87 | 1006   | 感染根管処置                        | (抜歯を前提として急性症状の消退を図ることを目的として根管拡大を行った場合)<br>処置・手術の「その他」欄に部位を記載すること。なお、「歯病名部位」の記載から当該処置を行った部位が明らかに特定できる場合は、処置・手術の「その他」欄への部位の記載を省略して差し支えない。<br>(同一初診期間内に再度の感染根管処置が必要になった場合)<br>前回の感染根管処置に係る歯冠修復が完了した年月日を記載すること。   | 830100376                          | 抜歯前提の消炎目的の根管拡大部位;*****                      |         |            |
|    |        |                               | 850100334   | 感染処前回歯冠修復完了年月日;(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |   |         |            |
| 88 | 1007   | 根管貼薬処置                        | (同一歯に対して初回の根管貼薬処置を実施した日の属する月から起算して6月を超えて治療を継続して処置を行う場合)<br>当該歯の状態及び初回の根管貼薬処置を行った年月日を記載すること。   | 830100377                          | 根管貼薬部位の状態;*****                             |         |            |
|    |        |                               | 850100335   | 根管貼初回年月;(元号)yy"年"mm"月"             |   |         |            |
| 89 | 1008   | 根管充填                          | (抜歯を前提とした消炎のための根管貼薬処置を行った場合)<br>処置・手術の「その他」欄に部位を記載すること。なお、「歯病名部位」の記載から当該処置を行った部位が明らかに特定できる場合は、処置・手術の「その他」欄への部位の記載を省略して差し支えない。   | 830100378                          | 抜歯前提の消炎目的の根管拡大後の根管貼薬部位;*****                |         |            |
|    |        |                               | (暫間根管充填又は暫間根管充填後に根管充填を行う場合)<br>暫間根管充填又は暫間根管充填後に根管充填を行う旨を記載すること。   | 820100329                          | 暫間根管  |         |            |
| 90 | 1008-2 | 加圧根管充填処置                      | (加圧根管充填後の歯科エックス線撮影において、妊娠中であり、エックス線撮影に同意が得られない場合)<br>妊娠中であり、エックス線撮影に同意が得られない旨を記載すること。<br>(加圧根管充填処置と異日にエックス線撮影を行い根管充填の状態を確認した場合)<br>特別な理由を記載すること。  | 820100330                          | 暫間根管充填後の根管                                  |         |            |
| 90 | 1008-2 | 加圧根管充填処置                      | (加圧根管充填後の歯科エックス線撮影において、妊娠中であり、エックス線撮影に同意が得られない場合)<br>妊娠中であり、エックス線撮影に同意が得られない旨を記載すること。<br>(加圧根管充填処置と異日にエックス線撮影を行い根管充填の状態を確認した場合)<br>特別な理由を記載すること。  | 820100390                          | 妊娠中(加圧根管充填処置)                               |         |            |
|    |        |                               |   | 830100888                          | 加圧根管充填処置と異日にエックス線撮影を行う特別な理由(加圧根管充填処置);***** |         | ※          |
| 91 | 1008-2 | 加圧根管充填処置<br>注3 手術用顕微鏡<br>加算   | (手術用顕微鏡加算において、連携する保険医療機関にて歯科用3次元エックス線断層撮影を撮影した場合)<br>撮影した保険医療機関名を記載すること。  | 830100379                          | 手術用顕微鏡加算(加圧根管充填処置)撮影保険医療機関名;*****           |         |            |
| 92 | 1009-7 | ハイフローセラピー                     | 動脈血酸素分圧又は経皮的酸素飽和度の測定結果を記載すること。  | 830100251                          | 動脈血酸素分圧又は経皮的酸素飽和度測定結果(ハイフローセラピー);           |         | ※          |
| 93 | 1010   | 歯周病処置                         | 処置・手術の「その他」欄に部位及び使用した薬剤の名称を記載すること。なお、特定薬剤を算定した場合は、部位のみを記載すること。  | 830100380                          | P処部位;*****                                  | ○       |            |
|    |        |                               |   | 850100336                          | P処初回年月日;(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                 |         |            |
|    |        |                               |   | 830100381                          | P処紹介元保険医療機関名;*****                          |         |            |
|    |        |                               |   | 850100337                          | SPT又はP重訪前回実施年月;(元号)yy"年"mm"月"               |         |            |
|    |        |                               | 前回の歯周病安定期治療又は歯周病重症化予防治療の実施年月(初回である場合は初診月を除き初回である旨)を記載すること。  | 820190337                          | 初回(SPT)                                     |         |            |

| 項番  | 区分   | 診療行為名称等            | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                                 | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|--|--------------------|--|------------------|--|---------|------------|
| 94  | 1011-2   | 歯周病安定期治療           | (歯周病安定期治療の治療間隔が3月以内の場合)<br>治療間隔が3月以内になった理由の要点として、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2第2章第8部1011-2歯周病安定期治療の(3)のイからホまでに規定するものの中から該当するものを記載すること。なお、ロ又はトを選択した場合は、別途、詳細な理由(全身的な疾患の状態を含む。)を記載すること。 | 820100331        | イ 歯周外科手術を実施した場合                                  |         |            |
|     |  |                    |  | 820100332        | ロ 全身的な疾患の状態により歯周病の病状に大きく影響を与える場合                 |         |            |
|     |  |                    |  | 820101233        | ハ 糖尿病の状態により、歯周病が重症化するおそれのある場合                    |         | ※          |
|     |  |                    |  | 820100333        | ニ 全身的な疾患の状態により歯周外科手術が実施できない場合                    |         |            |
|     |  |                    |  | 830100334        | ホ 侵襲性歯周炎の場合                                      |         |            |
| 95  | 1011-2   | ハイリスク患者加算          | (糖尿病の病態によって歯周病の重症化を引き起こすおそれのある患者に対して、歯周病安定期治療を行う場合)<br>初回の年月日及び紹介元保険医療機関名を記載。  | 850190272        | SPT初回年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                      |         | ※          |
|     |  |                    |  | 830100917        | SPT紹介元保険医療機関名:*****                              |         | ※          |
| 96  | 1011-2-3   | 歯周病重症化予防治療         | 前回の歯周病安定期治療又は歯周病重症化予防治療の実施年月(初回である場合は初診月を除き初回である旨)及びSPTからP重防に移行した年月を記載すること。  | 850100339        | SPT又はP重防前実施年月:(元号)yy"年"mm"月"                     |         |            |
|     |  |                    |  | 820190339        | 初回(P重防)  |         |            |
|     |  |                    |  | 850190273        | SPTからP重防に移行した年月:(元号)yy"年"mm"月"                   |         | ※          |
| 97  | 1014   | 暫間固定               | 固定を行った部位(固定源となる歯を含めない。)及びその方法を記載し、暫間固定の前回実施年月日(1回目の場合は1回目と記載する。)及び歯周外科手術の予定の有無を記載すること。なお、歯周外科手術後の暫間固定を行う場合については、歯周外科手術の予定に関する記載は不要であり、手術後1回目の場合は術後1回目と記載し、2回目以降は前回実施年月日を記載する。              | 830100383        | 暫間固定部位:*****                                     |         |            |
|     |  |                    |  | 830100384        | 暫間固定方法:*****                                     |         |            |
|     |  |                    |  | 850190047        | 暫間固定前回実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
|     |  |                    |  | 820190047        | 1回目(暫間固定)  |         |            |
|     |  |                    |  | 820100335        | 歯周外科手術の予定あり                                      |         |            |
|     |  |                    |  | 820100336        | 歯周外科手術の予定なし                                      |         |            |
|     |  |                    |  | 820100337        | 歯周外科手術未定   |         |            |
|     |  |                    |  | 820100776        | 術後1回目(暫間固定)                                      |         |            |
| 98  | 1017   | 口腔内装置              | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2第2章第8部1017口腔内装置の(1)のイからヌまでに規定するものの中から該当するものを記載すること。なお、トを選択した場合は手術の予定日及び手術を行う保険医療機関名を記載すること。  | 820100339        | イ 顎関節治療用装置                                       |         |            |
|     |  |                    |  | 820100340        | ロ 歯ぎしりに対する口腔内装置                                  |         |            |
|     |  |                    |  | 820100341        | ハ 顎間固定用に歯科用ベースプレートを用いた床                          |         |            |
|     |  |                    |  | 820100342        | ニ 出血創の保護と圧迫止血を目的としてレジン等で製作した床                    |         |            |
|     |  |                    |  | 820100343        | ホ 手術に当たり製作したサージカルガイドプレート                         |         |            |
|     |  |                    |  | 820100344        | ヘ 腫瘍等による顎骨切除後、手術創(開放創)の保護等を目的として製作するオプチュレーター     |         |            |
|     |  |                    |  | 820100345        | ト 気管内挿管時の歯の保護等を目的として製作した口腔内装置                    |         |            |
|     |  |                    |  | 820100346        | チ 不随意運動等による咬傷を繰り返す患者に対して、口腔粘膜等の保護を目的として製作する口腔内装置 |         |            |
|     |  |                    |  | 820100347        | リ 放射線治療に用いる口腔内装置                                 |         |            |
|     |  |                    |  | 820101234        | ヌ 外傷歯の保護を目的として製作した口腔内装置(日常生活時の外傷歯の保護を目的とするもの)    |         | ※          |
|     |  |                    |  | 820101235        | ヌ 外傷歯の保護を目的として製作した口腔内装置(運動時の外傷歯の保護を目的とするもの)      |         | ※          |
|     |  |                    |  | 850100394        | 口腔内装置手術予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                  |         |            |
|     |  |                    |  | 830100462        | 口腔内装置手術を行う保険医療機関名:*****                          |         |            |
|     | (ヌ 外傷歯の保護を目的として製作した口腔内装置を算定する場合)<br>当該外傷の受傷年月日を記載すること。   | 850190274          | 外傷受傷年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |                  | ※  |         |            |
|     | (口腔内装置の装着予定日から起算して1月以上患者が来院しない場合)<br>「令和 年 月分」欄に製作月を、「診療実日数」欄に0を、「転帰」欄に中止を、「摘要」欄に装着物の種類、装着予定年月日及び装着できなくなった理由を記載すること。 | 830100404          | 未来院請求 装着物の種類:*****   |                  |  |         |            |
|     |  | 850100348          | 未来院請求 装着予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |                  |  |         |            |
|     |  | 830100405          | 未来院請求 装着できなくなった理由:*****  |                  |  |         |            |
| 99  | 1017-1-2   | 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 | (睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置の装着予定日から起算して1月以上患者が来院しない場合)<br>「令和 年 月分」欄に製作月を、「診療実日数」欄に0を、「転帰」欄に中止を、「摘要」欄に装着物の種類、装着予定年月日及び装着できなくなった理由を記載すること。  | 830100385        | 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置紹介元保険医療機関名:*****               |         |            |
|     |  |                    |  | 830100468        | 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置院内紹介元担当科名:*****                |         |            |
|     |  |                    |  | 830100404        | 未来院請求 装着物の種類:*****                               |         |            |
|     |  |                    |  | 850100348        | 未来院請求 装着予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|     |  |                    |  | 830100405        | 未来院請求 装着できなくなった理由:*****                          |         |            |
| 100 | 1017-1-3   | 舌接触補助床             | (舌接触補助床の装着予定日から起算して1月以上患者が来院しない場合)<br>「令和 年 月分」欄に製作月を、「診療実日数」欄に0を、「転帰」欄に中止を、「摘要」欄に装着物の種類、装着予定年月日及び装着できなくなった理由を記載すること。  | 830100404        | 未来院請求 装着物の種類:*****                               |         |            |
|     |  |                    |  | 850100348        | 未来院請求 装着予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|     |  |                    |  | 830100405        | 未来院請求 装着できなくなった理由:*****                          |         |            |
| 101 | 1017-1-4   | 術後即時顎補綴装置          | (術後即時顎補綴装置の装着予定日から起算して1月以上患者が来院しない場合)<br>「令和 年 月分」欄に製作月を、「診療実日数」欄に0を、「転帰」欄に中止を、「摘要」欄に装着物の種類、装着予定年月日及び装着できなくなった理由を記載すること。   | 830100404        | 未来院請求 装着物の種類:*****                               |         |            |
|     |  |                    |  | 850100348        | 未来院請求 装着予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|     |  |                    |  | 830100405        | 未来院請求 装着できなくなった理由:*****                          |         |            |
| 102 | 1018   | 歯周治療用装置            | (歯周治療用装置の装着予定日から起算して1月以上患者が来院しない場合)<br>「令和 年 月分」欄に製作月を、「診療実日数」欄に0を、「転帰」欄に中止を、「摘要」欄に装着物の種類、装着予定年月日及び装着できなくなった理由を記載すること。   | 830100404        | 未来院請求 装着物の種類:*****                               |         |            |
|     |  |                    |  | 850100348        | 未来院請求 装着予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|     |  |                    |  | 830100405        | 未来院請求 装着できなくなった理由:*****                          |         |            |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等                                      | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|--------|--|--|------------------|---|---------|------------|
| 103 | 1019   | 歯冠修復物又は補綴物の除去                                | 除去した歯冠修復物並びに補綴物の部位及び種類を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から除去した部位及び種類が明らかに特定できる場合は、「摘要」欄への部位の記載を省略して差し支えない。   | 830100386        | 除去部位:*****  |         |            |
|     |        |  |  | 830100387        | 除去した歯冠修復・補綴物等の種類:*****  |         |            |
| 104 | 1021   | 根管内異物除去注 手術用顕微鏡加算                            | (手術用顕微鏡加算において、連携する保険医療機関にて歯科用3次元エックス線断層撮影を撮影した場合)撮影した保険医療機関名を記載すること。   | 830100388        | 歯科用3次元エックス線断層撮影を撮影した保険医療機関名等:*****  |         |            |
| 105 | 1023   | 心身医学療法                                       | 確定診断を行った医科保険医療機関名(医科歯科併設の病院であって心因性疾患を有する歯科領域の患者について、確定診断が可能な医科診療科が設置されている場合は、確定診断を行った診療科名)、紹介年月日、治療の内容の要点、実施日、実施時刻(開始時刻と終了時刻)を記載すること。                          | 830100389        | 心身医学療法医科保険医療機関名等:*****  |         |            |
|     |        |  |  | 850100341        | 心身医学療法紹介年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
|     |        |  |  | 830100390        | 心身医学療法治療内容の要点:*****   |         |            |
|     |        |  |  | 850100342        | 心身医学療法実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
|     |        |  |  | 851100033        | 心身医学療法開始時刻  |         |            |
| 106 | 1029   | 周術期等専門的口腔衛生処置                                | (周術期等口腔機能管理料(I)又は(II)を算定した患者に対して当該処置を行った場合)当該患者の手術を行った年月日又は予定年月日、手術名を記載すること。   | 850100343        | 術口術手術年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         |            |
|     |        |  |  | 850100344        | 術口術手術予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |         |            |
|     |        |  |  | 830100391        | 術口術手術名:*****  |         |            |
| 107 | 1030   | 機械的歯面清掃処置                                    | (患者の状況により周術期等専門的口腔衛生処置2を算定せずに特定保険医療材料を算定する場合)前回の周術期等専門的口腔衛生処置2の算定年月日を記載すること。   | 850100345        | 術口術2前回算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |         |            |
|     |        |  |  | 850100346        | 歯清前回実施年月:(元号)yy"年"mm"月"   |         |            |
|     |        |  |  | 820190346        | 初回(歯清)  |         |            |
|     |        |  |  | 820100779        | 歯科診療特別対応加算算定後   |         |            |
|     |        |  |  | 820101304        | 根管強(歯清)   |         | ※          |
|     |        |  |  | 830100918        | 特に機械的歯面清掃が必要と認められる理由:*****  |         | ※          |
|     |        |  |  | 820101304        | 根管強(歯清)   |         | ※          |
| 108 | 1031   | フッ化物歯面塗布処置                                   | (前回実施年月(初回である場合は初診月を除き初回である旨)を記載すること。  | 850100347        | F局前回実施年月:(元号)yy"年"mm"月"   |         |            |
|     |        |  |  | 820190347        | 初回(F局)  |         |            |
|     |        |  |  | 830100889        | 充填等が行われた歯面(フッ化物歯面塗布処置):*****  |         | ※          |
|     |        |  |  | 830100890        | エナメル質初期う蝕の管理を行う歯面(フッ化物歯面塗布処置):*****   |         | ※          |
|     |        |  |  |                  | (レジン充填又はインレー修復による治療を行った歯について、充填等による治療を行った月の翌月以降に、充填等を行った歯面と異なる歯面にエナメル質初期う蝕が認められた場合)充填等が行われた歯面とエナメル質初期う蝕の管理を行う歯面をそれぞれ記載すること。 |         |            |
| 109 | 1090   | 薬剤(処置)                                       | (区分番号1090により薬剤を算定する場合)処置・手術の「その他」欄にその医薬品名、使用量を記載すること。  | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)  | ○       | ※          |
| 110 | 1100   | 特定薬剤(処置)                                     | (区分番号1100により特定薬剤を算定する場合)処置・手術の「その他」欄にその医薬品名、使用量を記載すること。  | 医薬品コード           | (医薬品名を表示。)  | ○       |            |
| 111 | J      | 手術   | (該当する記載欄を設けていない場合及び該当欄に記載しきれない場合)処置・手術の「その他」欄に当該手術の名称を記載すること。  | 診療行為コード          | (診療行為名を表示。)   | ○       |            |
| 112 | J(通則)  | 時間外加算<br>休日加算<br>深夜加算                        | (第9部手術の通則「9」の規定により時間外加算(時間外加算の特例を含む。)、休日加算又は深夜加算を算定した場合)処置・手術の「その他」欄に手術名及び加算の種類を記載すること。  | 診療行為コード          | (診療行為名を表示。)   | ○       |            |
| 113 | J(通則)  | 乳幼児加算  | (当月中に6歳を迎え、加算した点数と加算しない点数が混在する場合)記載欄に加算した点数及び回数に記載し、加算しない点数については、処置・手術の「その他」欄に名称、加算しない点数及び回数を記載すること。   | 診療行為コード          | (診療行為名を表示。)   | ○       |            |
| 114 | J(通則)  | 親視的手術加算                                      | (入院を必要とするHIV抗体陽性の患者に対して行った場合)処置・手術の「その他」欄に手術の名称を記載すること。  | 診療行為コード          | (診療行為名を表示。)   | ○       |            |
| 115 | J000   | 抜歯手術   | (難抜歯加算の対象となる歯又は埋伏歯において完全抜歯が困難となりやむを得ず抜歯を中止した場合で抜歯料を算定した場合)完全抜歯が困難となりやむを得ず抜歯を中止した旨を記載すること。  | 820100349        | 完全抜歯が困難となりやむを得ず抜歯を中止  |         |            |
|     |        |  |  | 820100350        | 患者の急変によりやむを得ず抜歯を中止  |         |            |
|     |        |  |  | 830100392        | 抜歯手術中止理由:*****  |         |            |
| 116 | J004   | 歯根端切除手術<br>2 歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合 | 処置・手術の「その他」欄に手術を行った部位を記載すること。  | 830100393        | 根切部位:*****  |         |            |
|     |        |  |  | 830100394        | 根切(歯科CT撮影装置及び手術用顕微鏡)歯科CT装置撮影保険医療機関名:*****   |         |            |
| 117 | J004-2 | 歯の再植術  | 手術部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から当該手術を行った部位が明らかに特定できる場合は、「摘要」欄への部位の記載を省略して差し支えない。   | 830100395        | 歯の再植術部位:*****   |         |            |
| 118 | J004-2 | 歯の再植術  | (歯内治療が困難な根尖病巣を有する保存が可能な小臼歯又は大臼歯であって、解剖学的な理由から歯根端切除手術が困難な症例)に対して、歯の再植による根尖病巣の治療を行った場合)部位及び算定理由を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から当該治療を行った部位が明らかに特定できる場合は、部位の記載を省略して差し支えない。 | 830100396        | 歯の再植による根尖病巣の治療部位:*****  |         |            |
|     |        |  |  | 830100397        | 歯の再植による根尖病巣の治療算定理由:*****  |         |            |
| 119 | J004-3 | 歯の移植手術                                       | 手術部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から当該手術を行った部位が明らかに特定できる場合は、「摘要」欄への部位の記載を省略して差し支えない。   | 830100398        | 歯の移植手術部位:*****  |         |            |
| 120 | J013   | 口腔内消炎手術                                      | (顎炎又は顎骨骨髓炎等の手術としての骨の開さく等を行い口腔内消炎手術を行う場合)処置・手術の「その他」欄に顎炎又は顎骨骨髓炎等の手術としての骨の開さく等を行い口腔内消炎手術を行う旨及び抜歯した歯の部位を記載すること。   | 820100351        | 顎炎又は顎骨骨髓炎等の手術としての骨の開さく等   |         |            |
|     |        |  |  | 830100399        | 口腔内消炎手術に係る抜歯部位:*****  |         |            |
|     |        |  |  | 310011610        | 掻爬術   |         | ○          |
|     |        |  |  | 310011710        | 新付着手術   |         | ○          |
|     |        |  |  | 310011810        | GEct  |         | ○          |

| 番         | 区分             | 診療行為名称等  | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード       | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|----------------|--|---|------------------------|--|---------|------------|
| 121       | J063           | 歯周外科手術   | 処置・手術の「その他」欄に算定する区分の名称及び歯周外科手術を行った部位を記載すること。  | 310011910              | FOp  | ○       |            |
|           |                |  |   | 310012010              | GTR(一次手術)  | ○       |            |
|           |                |  |   | 310012110              | GTR(二次手術)  | ○       |            |
|           |                |  |   | 310013010              | 歯肉歯槽粘膜形成手術(歯肉弁根尖側移動術)  | ○       |            |
|           |                |  |   | 310013110              | 歯肉歯槽粘膜形成手術(歯肉弁歯冠側移動術)  | ○       |            |
|           |                |  |   | 310013210              | 歯肉歯槽粘膜形成手術(歯肉弁側方移動術)   | ○       |            |
|           |                |  |   | 310013310              | 歯肉歯槽粘膜形成手術(遊離歯肉移植術)  | ○       |            |
|           |                |  |   | 310013410              | 歯肉歯槽粘膜形成手術(口腔前庭拡張術)  | ○       |            |
|           |                |  |   | 310037510              | 歯肉歯槽粘膜形成手術(結合組織移植術)  | ○       | ※          |
| 830100400 | 歯周外科手術部位:***** |  |   |                        |  |         |            |
|           |                | (歯周病の治療を目的としない歯周外科手術を行う場合)<br>当該手術の目的を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から当該手術を行った目的が明らか<br>に特定できる場合は、目的の記載を省略して差し支えない。 | 830100919   | 歯周外科手術を行う目的:*****      |  |         | ※          |
| 122       | J063           | 歯周外科手術<br>注5 手術時歯根<br>面レーザー応用加算  | 処置・手術の「その他」欄に当該加算の名称を記載すること。  | CJ027<br>(310030670)   | 手術歯根(FOp又はGTR)   | ○       |            |
| 123       | J090           | 皮膚移植術(生体<br>培養)  | 皮膚移植術の診療報酬明細書の「摘要」欄に療養上の費用に係る合計点数を併せて記載するとともに、<br>皮膚提供者の療養に係る点数を記載した診療報酬明細書を添付する。   | 310021070              | 提供者の療養上の費用(皮膚移植術)  | ○       |            |
| 124       | J109           | 広範囲顎骨支持型<br>装置埋入手術   | 処置・手術の「その他」欄に手術を行った部位を記載すること。<br>(当該手術の実施範囲が4歯相当未満である場合)<br>顎堤欠損の原因となった疾患名を記載すること。  | 830100401              | 特イ術部位:*****  |         |            |
|           |                |  |   | 830100402              | 特イ術疾患名:*****   |         |            |
| 125       | J110           | 広範囲顎骨支持型<br>装置植術   | 処置・手術の「その他」欄に手術を行った部位を記載すること。   | 830100403              | 特イ術部位:*****  |         |            |
| 126       | J111           | 頭頸部悪性腫瘍光<br>線力学療法  | 処置・手術の「その他」欄に手術を行った部位を記載すること。   | 830100920              | 歯頭頸悪光部位:*****  |         | ※          |
| 127       | J200-4-<br>2   | レーザー機器加算   | 処置・手術の「その他」欄に当該加算の名称を記載すること   | BJ005<br>(310036210)   | レーザー機器加算1  | ○       |            |
|           |                |  |   | BJ006<br>(310036310)   | レーザー機器加算2  | ○       |            |
|           |                |  |   | BJ007<br>(310036410)   | レーザー機器加算3  | ○       |            |
| 128       | J300           | 特定薬剤(手術)   | (区分番号J300により特定薬剤を算定する場合)<br>処置・手術の「その他」欄にその医薬品名、使用量を記載すること。   | 医薬品コード                 | (医薬品名を表示。)   | ○       |            |
| 129       | J400           | 特定保険医療材料<br>(手術)   | (手術等において特定保険医療材料等を使用した場合)<br>以下、「処置・手術」の「その他」欄に記載すること。<br>a 手術、処置、検査等の名称は、告示文又は通知名を使用。<br>b 手術、処置、検査等の手技料は、必ず点数を記載すること。<br>c 材料は、①商品名、②告示の名称又は通知の名称、③規格又はサイズ、④材料規格、⑤使用本数又は<br>個数の順に手術ごとに記載。なお、告示の名称又は通知の名称は、( )書きとする。<br>d 保険医療機関における購入価格によるものは、定価ではなく保険医療機関が実際に購入した価格を<br>記載すること。<br>e 手術等の名称、手技の加算、薬剤、特定保険医療材料等の順に記載すること。<br>【記載例】<br>②特定保険医療材料 [商品名] × × × ×<br>(鼻孔プロテーゼ) 387 × 1  | 診療行為コード<br>(診療行為名を表示。) | ○  |         |            |
|           |                |  |   | 特定器材コード<br>(特定器材名を表示。) | ○  |         |            |
| 130       | K              | 麻酔   | (伝達麻酔、浸潤麻酔等以外の歯科点数表の取扱いによる麻酔を行った場合)<br>麻酔の「その他」欄に麻酔名を記載。なお、使用麻酔薬は、麻酔薬名及び使用量を記載すること。   | 診療行為コード<br>(診療行為名を表示。) | ○  |         |            |
|           |                |  |   | 医薬品コード<br>(医薬品名を表示。)   | ○  |         |            |
| 131       | K(通則)          | 時間外加算<br>休日加算<br>深夜加算  | (第10部麻酔の通則「4」の規定により時間外加算(時間外加算の特例を含む。)、休日加算又は深夜加算<br>を算定した場合)<br>麻酔名及び加算の種類を記載すること。   | 診療行為コード<br>(診療行為名を表示。) | ○  |         |            |
| 132       | K002           | 吸入鎮静法  | 使用麻酔薬は、麻酔の「その他」欄に麻酔薬名及び使用量を記載すること。<br>また、使用した麻酔薬又は麻酔薬は、地方厚生(支)局長に届け出た購入単価(単位: 銭)(酸素のみ)及び<br>当該請求に係る使用量(単位: リットル)を記載。なお、酸素の請求は、Ⅱの第3の2(20)のク(イ)の七と<br>同様とする。  | 医薬品コード<br>(医薬品名を表示。)   | ○  |         |            |
|           |                |  |   | 特定器材コード<br>(特定器材名を表示。) | ○  |         |            |
| 133       | K003           | 静脈内鎮静法   | 使用薬剤は、麻酔の「その他」欄に薬剤名及び使用量を記載すること。<br>静脈内鎮静法が必要な理由を記載すること。  | 医薬品コード<br>(医薬品名を表示。)   | ○  |         |            |
|           |                |  |   | 830100891              | 静脈内鎮静法が必要な理由(静脈内鎮静法):*****                                     |         | ※          |
| 134       | K100           | 薬剤(麻酔)   | 麻酔の「その他」欄に医薬品名を記載すること。  | 医薬品コード<br>(医薬品名を表示。)   | ○  |         |            |
| 135       | M              | 歯冠修復及び欠損<br>補綴   | (歯冠修復物又は欠損補綴物の装着予定日から起算して1月以上患者が来院しない場合)<br>「令和 年 月分」欄に製作月を、「診療実日数」欄に0を、「転帰」欄に中止を、「摘要」欄に未、装着物の<br>種類、装着予定日及び装着できなかった理由を記載すること。なお、「歯冠修復及び欠損補綴」欄の記載<br>から当該装着物の種類が明らかで特定できる場合は、「摘要」欄への装着物の種類の記載を省略して差し<br>支えない。<br>(未来院請求後に患者が再び来院し、すでに未来院請求を行った歯冠修復物又は欠損補綴物を装着する<br>場合の装着料及び装着材料を算定する場合)<br>未来院請求後及び装着物の種類を記載すること。なお、「歯冠修復及び欠損補綴」欄の記載から当該装<br>着物の種類が明らかで特定できる場合は、「摘要」欄への装着物の種類の記載を省略して差し支えない。<br>(有床義歯製作中であって、咬合採得後における試適前又はクラスプ等を有する咬合床を用いて咬合採<br>得を行う前に、患者が理由なく来院しなくなった場合、患者の意志により治療を中止した場合又は患者が<br>死亡した場合)<br>装着物の種類及び装着(又は試適)予定日及び装着できなかった理由を記載すること。なお、「歯冠修復<br>及び欠損補綴」欄の記載から当該装着物の種類が明らかで特定できる場合は、「摘要」欄への装着物の<br>種類の記載を省略して差し支えない。<br>(歯冠修復及び欠損補綴に係る歯冠形成及び印象採得後において、偶発的な事故等を原因とする外傷によ<br>る歯冠形成歯の喪失等やむを得ない場合)<br>装着物の種類及び装着(又は試適)予定日及び装着できなかった理由を記載すること。<br>(欠損歯数と補綴歯数が一致しないため、算定点数が異なる場合)<br>欠損歯数と補綴歯数の不一致を記載すること。<br>(レジニンレー、高強度硬質レジニンブリッジ又は熱可塑性樹脂有床義歯等、記載欄がない歯冠修復及び<br>欠損補綴を算定する場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に装着物の種類及び部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄<br>の記載から対象部位が明らかで特定できる場合は、部位の記載を省略して差し支えない。<br>(クラウン・ブリッジ維持管理料について地方厚生(支)局長へ届け出た保険医療機関以外の保険医療機<br>関において、歯冠補綴物又はブリッジを製作し当該補綴物を装着した場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に診療行為名を記載すること。<br>(歯根分割を行った歯に歯冠修復物又は欠損補綴物を装着する場合)<br>分割抜歯を行った部位を記載すること。 | 未来院請求コード<br>「01」       | (「オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様(歯科用)」<br>の別表12に収載するコード)<br>未来院請求 | ○       |            |
|           |                |  |   | 830100404              | 未来院請求 装着物の種類:*****   |         |            |
|           |                |  |   | 850100348              | 未来院請求 装着予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                               |         |            |
|           |                |  |   | 830100405              | 未来院請求 装着できなかった理由:*****   |         |            |
|           |                |  |   | 830100406              | 未来院請求後 装着物の種類:*****  |         |            |
|           |                |  |   | 850100349              | 未来院請求 装着(又は試適)予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         |            |
|           |                |  |   | 830100409              | やむを得ない場合 装着物の種類:*****  |         |            |
|           |                |  |   | 850100350              | やむを得ない場合 装着(又は試適)予定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                      |         |            |
|           |                |  |   | 830100410              | やむを得ない場合 装着できなかった理由:*****                                      |         |            |
|           |                |  |   | 820100358              | 欠損歯数と補綴歯数の不一致  |         |            |
|           |                |  |   | 830100411              | 歯冠修復及び欠損補綴部位:*****   |         |            |
|           |                |  |   |                        | 診療行為コード<br>(診療行為名を表示。)   | ○       |            |
|           |                |  |   | 830100892              | 分割抜歯を行った部位:*****   |         | ※          |



| 項番  | 区分     | 診療行為名称等                        | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード     | 左記コードによるレセプト表示文言                                   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|--------|--------------------------------|---|----------------------|--|---------|------------|
| 136 | M000   | 補綴時診断科                         | (補綴時診断科(有床歯冠修理を実施した場合に限る。)を算定する場合)<br>当該装置に係る当該診断科の前回実施年月日(初回である場合は初診月を除き初回である旨)を記載すること。  | 850190048            | 補診前回実施年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                      |         |            |
|     |        |                                |   | 820101016            | 初回(補診)   |         |            |
| 137 | M000-2 | クラウン・ブリッジ維持管理料                 | (地方厚生(支)局長に事前に模型等を提出した上でブリッジを製作する場合)<br>事前承認と記載すること。<br>(地方厚生(支)局長に対して、保険適用の有無を判定するために提出するエクス線フィルム又はその複製の費用を算定する場合)<br>算定の理由を記載すること。  | 820100355            | 事前承認   |         |            |
|     |        |                                |   | 830100420            | ブリッジに係るフィルム料等の算定理由:*****                           |         |            |
| 138 | M001   | 歯冠形成 3 窩洞形成注1 う蝕歯無痛窩洞形成加算      | 部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から当該治療部位が明らかに特定できる場合は、「摘要」欄への記載は省略して差し支えない。   | 830100412            | う蝕無痛(KP)部位:*****                                   |         |            |
| 139 | M001-2 | う蝕歯即時充填形成注1 う蝕歯無痛窩洞形成加算        | 部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から当該治療部位が明らかに特定できる場合は、「摘要」欄への記載は省略して差し支えない。   | 830100413            | う蝕無痛(充形)部位:*****                                   |         |            |
| 140 | M002   | 支台築造                           | (ファイバーポストを用いた場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に部位、ファイバーポストの使用本数を部位毎にそれぞれ記載すること。<br>(後継永久歯が先天的に欠如している乳歯に対して支台築造を算定する場合)<br>永久歯代行と記載すること。  | 830100617            | ファイバーポスト部位:*****                                   |         |            |
|     |        |                                |   | DM110<br>(313029520) | ファイバーポスト*****本                                     | ○       |            |
|     |        |                                |   | 820100353            | 永久歯代行  |         |            |
| 141 | M003   | 印象採得                           | (「印象」の項に書ききれない場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に印象採得の名称を記載すること。  | 診療行為コード              | (診療行為名称を表示)  | ○       |            |
| 142 | M003   | 印象採得注1 歯科技工士連携加算1注2 歯科技工士連携加算2 | 部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から印象採得の部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。   | 830100893            | 印象採得部位:*****                                       |         | ※          |
| 143 | M003-4 | 光学印象注3 光学印象歯科技工士連携加算           | 部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から印象採得の部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。   | 830100894            | 光学印象部位:*****                                       |         | ※          |
| 144 | M005   | 装着                             | (脱離した歯冠修復物又は、脱離又は修理したブリッジを再装着した場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に部位を記載すること。なお、再装着する歯冠修復物が1つ又は再装着する装置が1つあって、「傷病名部位」欄の記載から再装着した部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。  | 830100414            | 再装着部位:*****  |         |            |
| 145 | M006   | 咬合採得                           | (「咬合」の項に書ききれない場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に咬合採得の名称を記載すること。  | 診療行為コード              | (診療行為名称を表示)  | ○       |            |
| 146 | M006   | 咬合採得注1 歯科技工士連携加算1注2 歯科技工士連携加算2 | 部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から咬合採得の部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。   | 830100895            | 咬合採得部位:*****                                       |         | ※          |
| 147 | M007   | 仮床試適注1 歯科技工士連携加算1注2 歯科技工士連携加算2 | 部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から仮床試適の部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。   | 830100896            | 仮床試適部位:*****                                       |         | ※          |
| 148 | M009   | 充填                             | (2歯以上の充填に際し1歯に複数窩洞の充填を行った場合)<br>当該歯の部位を記載すること。  | 830100415            | 同一歯の複数窩洞に対する充填部位:*****                             |         |            |
| 149 | M010   | 金属歯冠修復                         | (後継永久歯が先天的に欠如している乳歯に対して鑄造用金銀パラジウム合金を用いた金属歯冠修復を行った場合)<br>永久歯代行と記載すること。<br>(同一歯の複数の窩洞に対して、充填及びインレー又はレジンインレーにより歯冠修復を行った場合)<br>同一歯の複数窩洞に対する歯冠修復であること及び部位を記載すること。なお、当該治療部位が単独であって「傷病名部位」欄の記載から当該治療部位が明らかに特定できる場合は、「摘要」欄への部位の記載は省略して差し支えない。<br>(歯科鑄造用14カラット合金を用いた金属歯冠修復を算定する場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に修復物の名称及び部位を記載すること。なお、当該治療部位が単独であって「傷病名部位」欄の記載から当該治療部位が明らかに特定できる場合は、「その他」欄への部位の記載は省略して差し支えない。 | 820100353            | 永久歯代行  |         |            |
|     |        |                                |   | 830100416            | 同一歯の複数窩洞に対する歯冠修復部位:*****                           |         |            |
|     |        |                                |   | 820100354            | 同一歯の複数窩洞に対する歯冠修復                                   |         |            |
|     |        |                                |   | 830100417            | 14Kを用いた金属歯冠修復部位:*****                              |         |            |
|     |        |                                |   | DM019<br>(313010920) | 14K(インレー(複))                                       | ○       |            |
|     |        |                                |   | DM020<br>(313011020) | 14K(3/4冠)  | ○       |            |
| 150 | M010-3 | 接着冠                            | 歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に当該支台歯の部位及び接着冠を記載すること。なお、当該ブリッジが1つあって、「傷病名部位」欄の記載から接着冠の部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。  | 830100422            | 接着冠部位:*****  |         |            |
| 151 | M011   | レジン前装金属冠                       | (後継永久歯が先天的に欠如している乳歯に対してレジン前装金属冠を用いた歯冠修復を行った場合)<br>永久歯代行と記載すること。   | 820100353            | 永久歯代行  |         |            |
| 152 | M015   | 非金属歯冠修復 2 硬質レジンジャケット冠          | (歯科用金属を原因とする金属アレルギーを有する患者の大臼歯に用いた場合)<br>紹介元保険医療機関名を記載すること。<br>(後継永久歯が先天的に欠如している乳歯に対して硬質レジンジャケット冠を用いた歯冠修復を行った場合)<br>永久歯代行と記載すること。  | 830100418            | 硬質紹介元保険医療機関名:*****                                 |         |            |
|     |        |                                |   | 820100353            | 永久歯代行  |         |            |
| 153 | M015-2 | CAD/CAM冠                       | (大臼歯に用いた場合)<br>歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に部位を記載すること。なお、「傷病名部位」欄の記載から対象部位が明らかに特定できる場合は、記載を省略して差し支えない。<br><br>(第一大臼歯又は第二大臼歯にCAD/CAM冠用材料(Ⅲ)を使用する場合)<br>当該CAD/CAM冠を装着する部位の対側の対側の第一大臼歯による咬合支持の有無及び同側の第一大臼歯による咬合支持の有無について記載すること。なお、当該CAD/CAM冠を装着する部位の同側の第一大臼歯による咬合支持がない場合は、当該補綴部位の対合歯が欠損である旨及び当該補綴部位の近心側隣在歯までの咬合支持の有無について記載すること。<br><br>(歯科用金属を原因とする金属アレルギーを有する患者の大臼歯に用いた場合)<br>紹介元保険医療機関名を記載すること。         | 830100419            | CAD/CAM冠部位:*****                                   |         |            |
|     |        |                                |   | 830100897            | CAD/CAM冠を装着する部位の対側の第一大臼歯による咬合支持の有無(CAD/CAM冠):***** |         | ※          |
|     |        |                                |   | 830100898            | CAD/CAM冠を装着する部位の同側の第一大臼歯による咬合支持の有無(CAD/CAM冠):***** |         | ※          |
|     |        |                                |   | 820101308            | CAD/CAM冠を装着する部位の対合歯が欠損(CAD/CAM冠)                   |         | ※          |
|     |        |                                |   | 830100900            | CAD/CAM冠を装着する部位の近心側隣在歯までの咬合支持の有無(CAD/CAM冠):*****   |         | ※          |
|     |        |                                |   | 830100465            | CAD/CAM冠紹介元保険医療機関名:*****                           |         |            |
|     |        |                                |   | 830100901            | CAD/CAMインレー部位:*****                                |         | ※          |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等                 | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----|--------|-------------------------|--|------------------|--|---------|------------|
| 154 | M015-3 | CAD/CAMインレー             | (第一大臼歯又は第二大臼歯に用いる場合)<br>当該CAD/CAMインレーを装着する部位の対側の第一大臼歯による咬合支持の有無及び同側の第一大臼歯による咬合支持の有無について記載すること。なお、当該CAD/CAMインレーを装着する部位の同側に第一大臼歯による咬合支持がない場合は、当該補綴部位の対合歯が欠損である旨及び当該補綴部位の近心側隣在歯までの咬合支持の有無について記載すること。  | 830100902        | CAD/CAMインレーを装着する部位の対側の第一大臼歯による咬合支持の有無(CAD/CAMインレー);***** |         | ※          |
|     |        |                         |  | 830100903        | CAD/CAMインレーを装着する部位の同側の第一大臼歯による咬合支持の有無(CAD/CAMインレー);***** |         | ※          |
|     |        |                         |  | 820101307        | CAD/CAMインレーを装着する部位の対合歯が欠損(CAD/CAMインレー)                   |         | ※          |
|     |        |                         |  | 830100905        | CAD/CAMインレーを装着する部位の近心側隣在歯までの咬合支持の有無(CAD/CAMインレー);*****   |         | ※          |
|     |        |                         |  | 830100470        | CAD/CAMインレー紹介元保険医療機関名;*****                              |         |            |
| 155 | M016-2 | 小児保険装置                  | 装置の種類を選択して記載すること。  | 820100782        | クラウンループ  |         |            |
|     |        |                         |  | 820100783        | バンドループ   |         |            |
| 156 | M017   | ボンテック                   | (地方厚生(支)局長に事前に模型等を提出した上でブリッジを製作した場合) 事前承認と記載すること。<br>(地方厚生(支)局長に対して、保険適用の有無を判定するために提出するエックス線フィルム又はその複製の費用を算定する場合) 算定の理由を記載すること。<br>(大歯のボンテックが必要な場合で、中切歯がすでにブリッジの支台として使用されている等の理由で新たに支台として使用できない場合に限って、ブリッジの設計を変更する場合) 中切歯の状態等を記載すること。<br>(側切歯及び犬歯、或いは犬歯及び第一小臼歯の2歯欠損であって、犬歯が低位唇側転位していたため間隙が1歯分しかない場合であってボンテック1歯のブリッジの設計とした場合) 低位唇側転位の犬歯を含む欠損歯数と補綴歯数の不一致の旨を記載すること。   | 820100355        | 事前承認   |         |            |
|     |        |                         |  | 830100420        | Brに係るフィルム料等の算定理由;*****                                   |         |            |
|     |        |                         |  | 830100421        | Brに係る中切歯の状態等;*****                                       |         |            |
|     |        |                         |  | 820100784        | 低位唇側転位の犬歯を含む欠損歯数と補綴歯数の不一致                                |         |            |
| 157 | M017-2 | 高強度硬質レジンプリッジ            | (歯科用金属を原因とする金属アレルギーを有する患者の臼歯部1歯中間欠損に使用する場合) 紹介元保険医療機関名を記載すること。   | 830100618        | HRBr紹介元保険医療機関名;*****                                     |         |            |
| 158 | M018   | 有床義歯                    | (残根上に義歯を装着した場合) 残根上の義歯と記載すること。<br>(人工歯料の算定に当たって、同一組の人工歯を月をまたがって分割使用し、既に請求済である場合であって、当該月には人工歯料の請求がない場合) 前月(以前)請求済と記載すること。<br>(小児義歯に係る費用を算定する場合) 装着部位及び小児義歯が必要となった疾患名又は必要となった理由を記載すること。<br>(有床義歯を1～2日で製作し装着する場合) 当該有床義歯の製作方法及び1～2日で製作し装着することが必要となった理由及び製作方法を記載すること。<br>(前回有床義歯を製作した際の印象採得を算定した日から6か月が経過していない場合であって新たに有床義歯の印象採得を行った場合) 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2第2章第12部M018有床義歯の(13)の二又はホに該当する場合は、該当するものを記載すること。なお、ホの場合は、具体的な理由を記載すること。<br>(1顎に2床以上の局部義歯を装着した場合) 1顎の床数を記載すること。 | 820100356        | 残根上義歯  |         |            |
|     |        |                         |  | 820100357        | 人工歯前月(以前)請求済   |         |            |
|     |        |                         |  | 830100423        | 小児義歯装着部位;*****   |         |            |
|     |        |                         |  | 830100424        | 小児義歯が必要な疾患名;*****  |         |            |
|     |        |                         |  | 830100425        | 小児義歯が必要な理由;*****   |         |            |
|     |        |                         |  | 830100906        | 有床義歯の製作方法;*****  |         | ※          |
|     |        |                         |  | 830100907        | 有床義歯を1～2日で製作し装着することが必要となった理由;*****                       |         | ※          |
|     |        |                         |  | 820100359        | ニ 認知症を有する患者等であって、有床義歯が使用できない場合                           |         |            |
|     |        |                         |  | 830100426        | ホ その他特別な場合;*****   |         |            |
|     |        |                         |  | 842100115        | 1顎の床数(有床義歯);*****  |         | ※          |
| 159 | M019   | 熱可塑性樹脂有床義歯等             | (残根上に義歯を装着した場合) 残根上義歯と記載すること。<br>(人工歯料の算定に当たって、同一組の人工歯を月をまたがって分割使用し、既に請求済である場合であって、当該月には人工歯料の請求がない場合) 人工歯前月(以前)請求済と記載すること。<br>(小児義歯に係る費用を算定する場合) 装着部位及び小児義歯が必要となった疾患名又は必要となった理由を記載すること。  | 820100356        | 残根上義歯  |         |            |
|     |        |                         |  | 820100357        | 人工歯前月(以前)請求済   |         |            |
|     |        |                         |  | 830100423        | 小児義歯装着部位;*****   |         |            |
|     |        |                         |  | 830100424        | 小児義歯が必要な疾患名;*****  |         |            |
|     |        |                         |  | 830100425        | 小児義歯が必要な理由;*****   |         |            |
| 160 | M025   | 口蓋補綴、顎補綴                | 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2第2章第12部M025口蓋補綴、顎補綴の(1)のイからホまでに規定するものの中から該当するものを記載すること。  | 820100384        | イ 腫瘍、顎骨囊胞等による顎骨切除に対する口蓋補綴装置又は顎補綴装置                       |         |            |
|     |        |                         |  | 820100385        | ロ オクルーザルランプを付与した口腔内装置                                    |         |            |
|     |        |                         |  | 820100386        | ハ 発音補綴装置   |         |            |
|     |        |                         |  | 820100387        | ニ 発音補助装置   |         |            |
|     |        |                         |  | 820100388        | ホ ホツツ床   |         |            |
| 161 | M029   | 有床義歯修理                  | (新たに製作した有床義歯を装着した日から起算して6月以内に当該有床義歯の修理を行った場合) 歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に有床義歯の装着年月日を記載すること。   | 850100351        | 有床義歯装着年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                             |         |            |
| 162 | M029   | 有床義歯修理<br>注4 歯科技工加算2    | (有床義歯修理において、歯科技工加算2を算定した場合) 預かり日及び修理を行った当該有床義歯の装着日を記載すること。   | 850100353        | 歯技工2(床修理)預かり年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                       |         |            |
|     |        |                         |  | 850100354        | 歯技工2(床修理)装着年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
| 163 | M030   | 有床義歯内面適合法               | (新たに製作した有床義歯を装着した日から起算して6月以内に当該有床義歯の有床義歯内面適合法を行った場合) 歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に有床義歯の装着年月日を記載すること。  | 850100351        | 有床義歯装着年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                             |         |            |
| 164 | M030   | 有床義歯内面適合法<br>注5 歯科技工加算2 | (有床義歯内面適合法において、歯科技工加算2を算定した場合) 預かり日及び修理を行った当該有床義歯の装着日を記載すること。  | 850100355        | 歯技工2(床裏装)預かり年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                       |         |            |
|     |        |                         |  | 850100356        | 歯技工2(床裏装)装着年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
| 165 | M041   | 広範囲顎骨支持型補綴物修理           | (別の保険医療機関で装着された当該補綴物の修理を行った場合) 装着を実施した保険医療機関名及び装着日(不明であれば装着時期)を記載すること。   | 830100430        | 特イ補綴装着保険医療機関名;*****                                      |         |            |
|     |        |                         |  | 850100357        | 特イ補綴装着年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                             |         |            |
|     |        |                         |  | 830100431        | 特イ補綴装着時期;*****   |         |            |
|     |        |                         | 歯科矯正相談料を算定した年月日を診断料の名称に併せて記載すること。  | 850190275        | 歯科矯正相談料1算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         | ※          |
|     |        |                         |  | 850190276        | 歯科矯正相談料2算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                         |         | ※          |
|     |        |                         |  | 850100358        | 歯科矯正診断料初回算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|     |        |                         |  | 850100359        | 顎口腔機能診断料初回算定年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日                       |         |            |

| 項番        | 区分                                     | 診療行為<br>名称等 | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                        | 紙レセ<br>のみ記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|--|-------------|--|----------------------|---|-------------|--------------------|
| 166       | N                                      | 歯科矯正        | (歯科矯正における印象採得、咬合採得、床装置、リンガルアーチ及び鉤を算定した場合) 全体の「その他」欄に「簡単」、「困難」、「著しく困難」、「複雑」等の区別を記載すること。 | 820100361            | 簡単                                      |             |                    |
|           |  |             |  | 820100362            | 困難                                      |             |                    |
|           |  |             |  | 820100363            | 著しく困難                                   |             |                    |
|           |  |             |  | 820100364            | 複雑                                      |             |                    |
|           |  |             |  | 820100929            | 唇顎口蓋裂                                   |             |                    |
|           |  |             |  | 820100930            | ゴールデンハー症候群(顴弓異常症を含む。)                   |             |                    |
|           |  |             |  | 820100931            | 鎖骨頭蓋骨異形成                                |             |                    |
|           |  |             |  | 820100932            | トリーチャ・コリス症候群                            |             |                    |
|           |  |             |  | 820100933            | ピエール・ロバン症候群                             |             |                    |
|           |  |             |  | 820100934            | ダウン症候群                                  |             |                    |
|           |  |             |  | 820100935            | ラッセル・シルバー症候群                            |             |                    |
|           |  |             |  | 820100936            | ターナー症候群                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100937            | ベックウィズ・ウイデーマン症候群                        |             |                    |
|           |  |             |  | 820100938            | 顔面半側萎縮症                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100939            | 先天性ミオパチー                                |             |                    |
|           |  |             |  | 820100940            | 筋ジストロフィー                                |             |                    |
|           |  |             |  | 820100088            | 脊髄性筋萎縮症                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100942            | 顔面半側肥大症                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100943            | エリス・ヴァンクレベルド症候群                         |             |                    |
|           |  |             |  | 820100944            | 軟骨形成不全症                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100945            | 外胚葉異形成症                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100946            | 神経線維腫症                                  |             |                    |
|           |  |             |  | 820100947            | 基底細胞母斑症候群                               |             |                    |
|           |  |             |  | 820100948            | ヌーナン症候群                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100949            | マルファン症候群                                |             |                    |
|           |  |             |  | 820100950            | ブラダー・ウィリー症候群                            |             |                    |
|           |  |             |  | 820100951            | 顔面裂(横顔裂、斜顔裂及び正中顔裂を含む。)                  |             |                    |
|           |  |             |  | 820100952            | 大理石骨病                                   |             |                    |
|           |  |             |  | 820100953            | 色素失調症                                   |             |                    |
|           |  |             |  | 820100954            | 口腔・顔面・指趾症候群                             |             |                    |
|           |  |             |  | 820100955            | メビウス症候群                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100956            | 歌舞伎症候群                                  |             |                    |
|           |  |             |  | 820100957            | クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群                    |             |                    |
|           |  |             |  | 820100958            | ウイリアムズ症候群                               |             |                    |
|           |  |             |  | 820100959            | ピンダー症候群                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100960            | スティックラー症候群                              |             |                    |
|           |  |             |  | 820100961            | 小舌症                                     |             |                    |
|           |  |             |  | 820100962            | 頭蓋骨癒合症(クルーゾン症候群及び尖頭合指症を含む。)             |             |                    |
|           |  |             |  | 820100963            | 骨形成不全症                                  |             |                    |
|           |  |             |  | 820100964            | フリーマン・シェルドン症候群                          |             |                    |
|           |  |             |  | 820100965            | ルビンスタイン・ティビ症候群                          |             |                    |
|           |  |             |  | 820100966            | 染色体欠失症候群                                |             |                    |
|           |  |             |  | 820100967            | ラーセン症候群                                 |             |                    |
|           |  |             |  | 820100968            | 濃化異骨症                                   |             |                    |
|           |  |             |  | 820100969            | 6歯以上の先天性部分無歯症                           |             |                    |
|           |  |             |  | 820100970            | CHARGE症候群                               |             |                    |
|           |  |             |  | 820100971            | マーシャル症候群                                |             |                    |
|           |  |             |  | 820100972            | 成長ホルモン分泌不全性低身長症                         |             |                    |
|           |  |             |  | 820100973            | ポリエックス症候群(XXX症候群、XXXX症候群及びXXXXX症候群を含む。) |             |                    |
|           |  |             |  | 820100974            | リング18症候群                                |             |                    |
| 820100975 | リンパ管腫                                  |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100976 | 全前脳症                                   |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100977 | クラインフェルター症候群                           |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100978 | 偽性低アルドステロン症                            |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100979 | ソトス症候群                                 |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100980 | グリコサミノグリカン代謝障害(ムコ多糖症)                  |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100981 | 線維性骨異形成症                               |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100982 | スタージ・ウェーバー症候群                          |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100983 | ケルビズム                                  |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100984 | 偽性副甲状腺機能低下症                            |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100985 | Ekman-Westborg-Julin症候群                |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100986 | 常染色体重複症候群                              |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100987 | 巨大静脈奇形(頭部口腔咽頭びまん性病変)                   |             |  |                      |   |             |                    |
| 820100988 | 毛髪・鼻・指趾症候群(Tricho-Rhino-Phalangeal症候群) |             |  |                      |   |             |                    |
| 820101236 | クリッペル・ファイル症候群(先天性頭蓋癒合症)                |             | ※  |                      |   |             |                    |
| 820101237 | アラジール症候群                               |             | ※  |                      |   |             |                    |
| 820101238 | 高IgE症候群                                |             | ※  |                      |   |             |                    |

| 項番        | 区分           | 診療行為名称等           | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード                                      | 左記コードによるレセプト表示文言              | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--------------|-------------------|--|---|-------------------------------|---------|------------|
|           |              |                   |  | 820101239   | エーラス・ダロス症候群                   |         | ※          |
|           |              |                   |  | 820101240   | ガードナー症候群(家族性大腸ポリーポーズ)         |         | ※          |
|           |              |                   |  | 820100989   | その他顎・口腔の先天異常                  |         |            |
|           |              |                   |  | 820100918   | 3歯以上の永久歯萌出不全                  |         |            |
|           |              |                   |  | 820100919   | 顎変形症                          |         |            |
|           |              |                   | (6歯以上の先天性部分無歯症又は3歯以上の永久歯萌出不全による咬合異常により歯科矯正を行う場合)<br>先天性欠如部位又は埋伏歯の部位を記載すること。  | 830100641   | 先天性欠如又は埋伏歯部位:*****            |         |            |
| 167       | N000         | 歯科矯正診断料           | 全体の「その他」欄に歯科矯正、動的処置、マルチブラケット法、保定の開始及び顎切除等の手術実施の区別(顎口腔機能診断料は顎離断等の手術を担当する連携保険医療機関名)を記載し、それぞれ最初の診断に係る記載とは別に前回歯科矯正診断料の算定年月日を記載すること。  | 820100785   | 歯科矯正開始                        |         |            |
|           |              |                   |  | 820100786   | 動的処置開始                        |         |            |
|           |              |                   |  | 820100787   | マルチブラケット法開始                   |         |            |
|           |              |                   |  | 820100788   | 保定開始                          |         |            |
|           |              |                   |  | 820101306   | 顎切除等の手術実施                     |         | ※          |
|           |              |                   |  | 850100360   | 歯科矯正診断料前回算定年月日:(元号)yy年mm月dd日  |         |            |
| 168       | N001         | 顎口腔機能診断料          | 全体の「その他」欄に歯科矯正、動的処置、マルチブラケット法、保定の開始及び顎離断等の手術実施の区別(顎口腔機能診断料は顎離断等の手術を担当する連携保険医療機関名)を記載し、それぞれ最初の診断に係る記載とは別に前回顎口腔機能診断料の算定年月日を記載すること。   | 820100785   | 歯科矯正開始                        |         |            |
|           |              |                   |  | 820100786   | 動的処置開始                        |         |            |
|           |              |                   |  | 820100787   | マルチブラケット法開始                   |         |            |
|           |              |                   |  | 820100788   | 保定開始                          |         |            |
|           |              |                   |  | 820101241   | 顎離断等の手術実施                     |         | ※          |
|           |              |                   |  | 850100361   | 顎口腔機能診断料前回算定年月日:(元号)yy年mm月dd日 |         |            |
|           |              |                   |  | 830100466   | 顎離断等の手術を担当する連携保険医療機関名:*****   |         |            |
| 169       | N002         | 歯科矯正管理料           | 全体の「その他」欄に算定年月日及び動的処置又はマルチブラケット法の開始の年月日を記載すること。  |   | 算定日情報 (算定日)                   | ○       |            |
|           |              |                   |  | 850100362   | 動的処置開始年月日:(元号)yy年mm月dd日       |         |            |
|           |              |                   |  | 850100363   | マルチブラケット法開始年月日:(元号)yy年mm月dd日  |         |            |
| 170       | N004         | 模型調整製 2 予測模型      | 全体の「その他」欄に予測歯数を記載すること。   | 842100064   | 模型調整(予測模型)予測歯数:*****          |         |            |
| 171       | N005         | 動的処置              | 全体の「その他」欄に算定年月日及び動的処置又はマルチブラケット法の開始年月日を記載すること。   | 850100396   | 動的処置算定年月日:(元号)yy年mm月dd日       |         |            |
|           |              |                   |  | 850100362   | 動的処置開始年月日:(元号)yy年mm月dd日       |         |            |
|           |              |                   |  | 850100363   | マルチブラケット法開始年月日:(元号)yy年mm月dd日  |         |            |
| 172       | N008-2       | 補立                | (歯科矯正診断料又は顎口腔機能診断料を算定した保険医療機関からの依頼による場合)<br>当該診断料を算定した保険医療機関名を記載すること。<br><br>(アンカースクリュー脱着後の再埋入において特定保険医療材料を算定する場合又は治療途中で新たにアンカースクリューを追加で補立する場合)<br>アンカースクリュー脱着後の再埋入において特定保険医療材料を算定する場合又は治療途中で新たにアンカースクリューを追加で補立する旨を記載すること。 | 830100433   | 歯科矯正診断料算定保険医療機関名:*****        |         |            |
|           |              |                   |  | 830100434   | 顎口腔機能診断料算定保険医療機関名:*****       |         |            |
|           |              |                   |  | 820100365   | アンカースクリュー脱着後の再埋入の場合           |         |            |
|           |              |                   |  | 820100366   | 治療途中で新たにアンカースクリューを追加で補立する場合   |         |            |
| 173       | N009         | 撤去                | (装置を撤去した場合)<br>撤去の費用が算定できない場合であっても、全体の「その他」欄に撤去した装置の名称を記載すること。<br><br>(歯科矯正用アンカースクリューの撤去について、歯科矯正診断料又は顎口腔機能診断料を算定した保険医療機関からの依頼による場合)<br>当該診断料を算定した保険医療機関名を記載すること。  | 830100435   | 撤去した装置の名称:*****               |         |            |
|           |              |                   |  | 830100433   | 歯科矯正診断料算定保険医療機関名:*****        |         |            |
|           |              |                   |  | 830100434   | 顎口腔機能診断料算定保険医療機関名:*****       |         |            |
| 174       | N018         | マルチブラケット装置        | (マルチブラケット装置(セクショナルアーチを行う場合を除く)を行う場合)<br>全体の「その他」欄にステップ名及びそのステップにおける装置歯数を上下顎別に記載すること。<br><br>(セクショナルアーチを行う場合)<br>その旨を記載すること。  | 830100767   | マルチブラケット装置ステップ1(上顎)・装置数:***** |         |            |
|           |              |                   |  | 830100768   | マルチブラケット装置ステップ1(下顎)・装置数:***** |         |            |
|           |              |                   |  | 830100769   | マルチブラケット装置ステップ2(上顎)・装置数:***** |         |            |
|           |              |                   |  | 830100770   | マルチブラケット装置ステップ2(下顎)・装置数:***** |         |            |
|           |              |                   |  | 830100771   | マルチブラケット装置ステップ3(上顎)・装置数:***** |         |            |
|           |              |                   |  | 830100772   | マルチブラケット装置ステップ3(下顎)・装置数:***** |         |            |
|           |              |                   |  | 830100773   | マルチブラケット装置ステップ4(上顎)・装置数:***** |         |            |
|           |              |                   |  | 830100774   | マルチブラケット装置ステップ4(下顎)・装置数:***** |         |            |
| 820101017 | セクショナルアーチを実施 |                   |  |   |                               |         |            |
| 175       | N028         | 床装置修理             | (リンガルアーチにおいて、主線の前歯部分のみを再製作し、ろう着した場合)<br>その旨を記載すること。  | 820101018   | リンガルアーチ前歯部分の再製作               |         |            |
| 176       | N100         | 特定保険医療材料(矯正)      | (特定保険医療材料において、装着材料、スクリュー、バンド、ブラケット、チューブ、矯正用線、不銹鋼、特殊鋼等を使用した場合)<br>全体の「その他」欄に特定保険医療材料に掲げる名称を記載すること。  | 特定器材コード   | (特定器材名を表示。)                   | ○       |            |
| 177       |              | 長期収載品の選定療養に関する取扱い | (長期収載品について、選定療養の対象とはせずに、保険給付する場合(長期収載品について、後発医薬品への変更不可の処方箋を交付する場合を含む。))<br>理由のうち該当するものを記載すること。<br>※記載は制度が施行となる令和6年10月からとする。  | ※レセプト電算処理システム用コード、レセプト表示文言(理由の具体例)については、<br>追ってお示しする。 |                               |         |            |

| 項番  | 区分 | 診療行為<br>名称等           | 記 載 事 項                                      | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言           | 紙レセの<br>み記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----|----|-----------------------|--|----------------------|----------------------------|-------------|--------------------|
| 178 |    | プログラム医療機器の評価療養に関する取扱い | 「器評」と記載し、当該プログラム医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。 | 820000095            | (器評)                       |             |                    |
|     |    |                       |  | 820101251            | 第1段階承認後のプログラム医療機器          |             | ※                  |
|     |    |                       |  | 820101252            | チャレンジ申請による再評価を目指すプログラム医療機器 |             | ※                  |
| 179 |    | プログラム医療機器の選定療養に関する取扱い | 「器選」と記載し、当該プログラム医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。 | 820101253            | (器選)                       |             | ※                  |
|     |    |                       |  | 820101254            | 保険適用期間を超えたプログラム医療機器        |             | ※                  |

※「記載事項」欄における括弧書は、該当する場合に記載する事項であること。

※「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」に基づき請求する場合、「紙レセのみ記載」列の○の記載事項については、請求上、該当する「レセプト電算処理システム用コード」の記録により必然的に記載される内容になるので、別途コメントとしての記載は不要であること。

別表 I 調剤報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧

| 項番 | 区分 | 調剤行為名称等                           | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言                             | 紙レセのみ記載                                   | 令和6年6月1日適用                            |   |  |  |
|----|----|-----------------------------------|---|------------------|--|---|---------------------------------------|---|--|--|
| 1  | 00 |                                   | 同日に複数の保険医療機関が交付した同一患者の処方箋を受け付けた際に、2回目以降の受付に対して調剤基本料の減算規定を適用しない場合(注3に該当しない場合)  | 850100486        | 処方箋受付年月日(調剤基本料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 851100065        | 処方箋受付時刻(同日1回目受付):hh"時"mm"分"                  |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 851100066        | 処方箋受付時刻(同日2回目以降受付):hh"時"mm"分"                |   |                                       |   |  |  |
| 2  | 01 | 薬剤調製料(内服薬)                        | (配合禁忌等の理由により内服薬を別剤とした場合)「配合不適等調剤技術上の必要性から個別に調剤した場合」、「内服用固形剤(錠剤、カプセル剤、散剤等)と内服用液剤の場合」、「内服錠、チュアブル錠及び舌下錠等のように服用方法が異なる場合」又は「その他」から最も当てはまる理由をひとつ記載すること。「その他」を選択した場合は、具体的な理由を記載すること。             | 820100367        | 薬剤調製料(内服薬):配合不適等調剤技術上の必要性から個別に調剤した場合         |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820100368        | 薬剤調製料(内服薬):内服用固形剤(錠剤、カプセル剤、散剤等)と内服用液剤の場合     |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820100369        | 薬剤調製料(内服薬):内服錠、チュアブル錠及び舌下錠等のように服用方法が異なる場合    |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 830100001        | 薬剤調製料(内服薬):その他理由:*****                       |   |                                       |   |  |  |
| 3  | 01 | 自家製剤加算                            | (自家製剤加算を算定した場合であって「処方」欄に記載内容からは加算理由が不明のとき)算定理由が明確となるように記載すること。<br>(医薬品の供給上の問題により当該加算を算定する場合)調剤に必要な数量が確保できなかった薬剤名を記載すること。<br>(医薬品の供給上の問題により当該加算を算定する場合)調剤に必要な数量が確保できなかったやむを得ない事情を記載すること。   | 830100438        | 算定理由(自家製剤加算):*****                           |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 830100908        | 調剤に必要な数量が確保できなかった薬剤名(自家製剤加算):*****           |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101255        | 調剤に必要な数量が確保できなかったやむを得ない事情(自家製剤加算):医薬品の供給上の問題 |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 830100909        | 調剤に必要な数量が確保できなかったやむを得ない事情(自家製剤加算):その他:*****  |   | ※                                     |   |  |  |
| 4  | 01 | 自家製剤加算<br>計量混合調剤加算                | (同一の保険医療機関で一連の診療に基づいて同一の患者に対して交付され、受付回数1回とされた異なる保険医の発行する処方箋に係る調剤については、同一調剤であっても、それぞれ別の「処方」欄に記載することとされているが、このことにより、自家製剤加算及び計量混合調剤加算を算定した場合であって「処方」欄に記載内容からは加算理由が不明のとき)算定理由が明確となるように記載すること。 | 830100439        | 異なる保険医の発行する処方箋に係る算定理由(自家製剤加算):*****          |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 830100441        | 異なる保険医の発行する処方箋に係る算定理由(計量混合調剤加算):*****        |   |                                       |   |  |  |
| 5  | 01 | 時間外加算<br>休日加算<br>深夜加算<br>時間外加算の特例 | 処方箋を受け付けた年月日及び時刻を記載すること。  | 850100366        | 処方箋受付年月日(時間外加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 851100035        | 処方箋受付時刻(時間外加算):hh"時"mm"分"                    |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 850100367        | 処方箋受付年月日(休日加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日            |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 850100368        | 処方箋受付年月日(深夜加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日            |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 851100036        | 処方箋受付時刻(深夜加算):hh"時"mm"分"                     |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 850100369        | 処方箋受付年月日(時間外加算の特例):(元号)yy"年"mm"月"dd"日        |   |                                       |   |  |  |
| 6  | 10 | 02                                | 重複投薬・相互作用等防止加算<br>/ 投薬調整に係るもの以外の場合  | 820101030        | 内容の要点(重複投薬・相互作用等防止加算):同種・同効の併用薬との重複投薬        |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101031        | 内容の要点(重複投薬・相互作用等防止加算):併用薬・飲食物等との相互作用         |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101032        | 内容の要点(重複投薬・相互作用等防止加算):過去のアレルギー歴、副作用歴         |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101256        | 内容の要点(重複投薬・相互作用等防止加算):年齢や体重による影響             |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101257        | 内容の要点(重複投薬・相互作用等防止加算):肝機能、腎機能等による影響          |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101034        | 内容の要点(重複投薬・相互作用等防止加算):授乳・妊娠への影響              |   |                                       |   |  |  |
| 7  | 10 | 03                                | 特定薬剤管理指導加算2   | 850100372        | 情報提供を行った年月日(特定薬剤管理指導加算2):(元号)yy"年"mm"月"dd"日  |   |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 830100445        | 患者に抗悪性腫瘍剤を注射している保険医療機関名(特定薬剤管理指導加算2):*****   |   |                                       |   |  |  |
| 8  | 10 | 03                                | 特定薬剤管理指導加算3口  | 830100910        | 調剤に必要な数量が確保できなかった薬剤名(特定薬剤管理指導加算3):*****      |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   |                  |  |   |                                       |   |  |  |
| 9  | 10 | 03                                | 13  | 02               | 吸入薬指導加算                                      | 850100480                                 | 吸入薬の調剤年月日(吸入薬指導加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |   |  |  |
|    |    |                                   |   |                  |  | 830100446                                 | 吸入薬の名称(吸入薬指導加算):*****                 |   |  |  |
| 10 | 14 | 04                                | 調剤後薬剤管理指導料1   | 850190255        | 情報提供を行った年月日(調剤後薬剤管理指導加算1):(元号)yy"年"m"月"dd"日  |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 830100911        | 糖尿病用剤を処方した保険医療機関名(調剤後薬剤管理指導加算1):*****        |   | ※                                     |   |  |  |
| 11 | 14 | 04                                | 調剤後薬剤管理指導料2   | 850190256        | 情報提供を行った年月日(調剤後薬剤管理指導加算2):(元号)yy"年"m"月"dd"日  |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 830100912        | 循環器用薬等を処方した保険医療機関名(調剤後薬剤管理指導加算2):*****       |   | ※                                     |   |  |  |
| 12 | 10 | 03                                | 13  | 02               | 03   | 服薬管理指導料<br>かかりつけ薬剤師指導料<br>かかりつけ薬剤師包括管理料   | 850100374                             | 算定年月日(服薬管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日       |  |  |
|    |    |                                   |   |                  |  |   | 850100375                             | 算定年月日(かかりつけ薬剤師指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日   |  |  |
|    |    |                                   |   |                  |  |   | 850100376                             | 算定年月日(かかりつけ薬剤師包括管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |  |  |
| 13 | 10 | 03                                | 服薬管理指導料3  | 820101258        | 服薬管理指導料3:介護老人福祉施設(特養)に入院している患者               |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101259        | 服薬管理指導料3:短期入所生活介護(ショートステイ)を受けている患者           |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101260        | 服薬管理指導料3:介護医療院に入院している患者                      |   | ※                                     |   |  |  |
|    |    |                                   |   | 820101261        | 服薬管理指導料3:介護老人保健施設(老健)に入院している患者               |   | ※                                     |   |  |  |
| 14 | 14 | 02                                | 1   | 外来服薬支援朝1         | 820100793                                    | 外来服薬支援朝1:注1                               |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   |                  | 820100794                                    | 外来服薬支援朝1:注2                               |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   |                  | 850100370                                    | 服薬管理を実施した年月日(外来服薬支援朝1):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   |                  | 830100442                                    | 保険医療機関の名称(外来服薬支援朝1):*****                 |                                       |   |  |  |
| 15 | 14 | 02                                | 2   | 外来服薬支援朝2         | 830100776                                    | 異なる保険医の発行する処方箋に係る算定理由(外来服薬支援朝2):*****     |                                       |   |  |  |
|    |    |                                   |   |                  |  |   |                                       |   |  |  |

| 項番 | 区分                   | 調剤行為名称等   | 記載事項   | レセプト電算処理システム用コード           | 左記コードによるレセプト表示文言  | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|----|----------------------|---|--|----------------------------|---|---------|------------|
| 16 | 14の2                 | 施設連携加算  | 特に重点的な服薬管理の支援を行うことが必要理由を選択し記載すること。   | 820101262                  | 算定理由(施設連携加算):施設入所時であって、服用している薬剤が多いため                        | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101263                  | 算定理由(施設連携加算):新たな薬剤が処方された若しくは薬剤の用法又は用量が変更となったため              | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101264                  | 算定理由(施設連携加算):患者が服薬している薬剤に関する副作用・体調の変化等における当該施設職員からの相談があったため | ※       |            |
| 17 | 14の3                 | 服用薬剤調整支援料1  | 減薬の提案を行った年月日、保険医療機関の名称及び保険医療機関における調整前後の薬剤種類数を記載すること。<br>〔記載例〕<br>○〇市立病院にて〇種類から〇種類に調整。〇〇医院にて〇種類から〇種類に調整。  | 850100371                  | 減薬の提案を行った年月日(服用薬剤調整支援料1):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 |         |            |
|    |                      |   |  | 830100443                  | 保険医療機関名及び調整前後の種類数(服用薬剤調整支援料1):<br>*****                     |         |            |
| 18 | 14の3                 | 服用薬剤調整支援料2  | 提案を行った全ての保険医療機関の名称を記載すること。   | 830100444                  | 提案を行った保険医療機関名(服用薬剤調整支援料2):*****                             |         |            |
| 19 | 15の2<br>15の3<br>15の5 | 在宅患者訪問薬剤管理指導料<br>在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料<br>在宅患者緊急時等共同指導料<br>服薬情報等提供料(服薬情報等提供料3を除く) | (調剤を行っていない月に在宅患者訪問薬剤管理指導料(在宅患者オンライン薬剤管理指導料を含む)、在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料又は在宅患者緊急時等共同指導料又は服薬情報等提供料(服薬情報等提供料3を除く)を算定した場合)<br>情報提供又は訪問の対象となる調剤の年月日及び投薬日数を記載すること。  | 基本料・薬学管理料レコード<br>「前回調剤年月日」 | (元号)yy"年"mm"月"dd"日調剤  | ○       |            |
|    |                      |   |  | 基本料・薬学管理料レコード<br>「前回調剤数量」  | ddd"日分投薬"   | ○       |            |
| 20 | 15                   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料   | (月に2回以上算定する場合)<br>それぞれ算定の対象となる訪問指導(在宅患者オンライン薬剤管理指導料を含む)を行った日を記載すること。(特養のがん末期の患者の場合は、項番23(特養のがん末期の患者)のコードにより記載すること。)<br><br>(単一建物診療患者が2人以上の場合)<br>その人数を記載すること。<br><br>(1つの専ら当該指導料の対象となる同居する同一世帯の患者が2人以上の場合、保険薬局が在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定する患者数が当該建築物の戸数の10%以下の場合、当該建築物の戸数が20戸未満で保険薬局が在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定する患者数が2人以下の場合又はユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所のそれぞれのユニットにおいて在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定する人数を単一建物診療患者の人数とみなす場合)<br><br>「同居する同一世帯の患者が2人以上」、「訪問薬剤管理指導を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下」、「当該建築物の戸数が20戸未満で訪問薬剤管理指導を行う患者が2人以上」又は「ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所」の中から、該当するものを選択して記載すること。 | 850100378                  | 訪問指導年月日(在宅患者訪問薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                   |         |            |
|    |                      |   |  | 842100071                  | 単一建物診療患者人数(在宅患者訪問薬剤管理指導料):*****                             |         |            |
|    |                      |   |  | 820100103                  | 同居する同一世帯の患者が2人以上  |         |            |
|    |                      |   |  | 820100371                  | 訪問薬剤管理指導を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下                               |         |            |
|    |                      |   |  | 820100372                  | 当該建築物戸数が20戸未満で訪問薬剤管理指導を行う患者が2人以下                            |         |            |
|    |                      |   |  | 820100094                  | ユニット数が3以下の認知症対応型共同生活介護事業所                                   |         |            |
| 21 | 15の2<br>15の3         | 在宅患者訪問薬剤管理指導料<br>在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料  | (訪問薬剤管理指導を主に実施している保険薬局(以下「在宅基幹薬局」という。))に代わって連携する他の薬局(以下「在宅協力薬局」という。))が訪問薬剤管理指導を実施し、在宅患者訪問薬剤管理指導料又は在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料又は在宅基幹薬局は当該訪問薬剤管理指導を実施した日付及び在宅協力薬局名を記載すること。   | 850100379                  | (在宅基幹薬局)実施年月日(在宅患者訪問薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |         |            |
|    |                      |   |  | 830100448                  | (在宅基幹薬局)在宅協力薬局名(在宅患者訪問薬剤管理指導料):<br>*****                    |         |            |
|    |                      |   |  | 850100380                  | (在宅基幹薬局)実施年月日(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
|    |                      |   |  | 830100449                  | (在宅基幹薬局)在宅協力薬局名(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料):<br>*****                  |         |            |
| 22 | 15の2<br>15の3         | 在宅患者訪問薬剤管理指導料<br>在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料  | (在宅基幹薬局に代わって在宅協力薬局が訪問薬剤管理指導(この場合においては、介護保険における居宅療養管理指導及び介護予防居宅療養管理指導を含む。)を実施した場合であって、処方箋が交付されている場合)<br>在宅協力薬局は当該訪問薬剤管理指導を実施した日付を記載すること。  | 850100381                  | (在宅協力薬局)実施年月日(在宅患者訪問薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日             |         |            |
|    |                      |   |  | 850100382                  | (在宅協力薬局)実施年月日(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日           |         |            |
| 23 | 15の2<br>15の3<br>15の5 | 在宅患者訪問薬剤管理指導料<br>在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料<br>在宅患者緊急時等共同指導料                           | (介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の入所者であって末期の悪性腫瘍の患者に対して実施した場合)<br>訪問薬剤管理指導等(在宅患者オンライン薬剤管理指導料を含む)を実施した日付を記載すること。   | 850190257                  | (特養のがん末期の患者)訪問指導年月日(在宅患者訪問薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日       | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190258                  | (特養のがん末期の患者)訪問指導年月日(在宅患者オンライン薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日    | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190259                  | (特養のがん末期の患者)訪問指導年月日(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日     | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190260                  | (特養のがん末期の患者)訪問指導年月日(在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日  | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190261                  | (特養のがん末期の患者)訪問指導年月日(在宅患者緊急時共同指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日        | ※       |            |
| 24 | 15の2                 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料1<br>在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2  | (末期の悪性腫瘍の患者及び注射による麻薬の投与が必要な患者に対して実施する場合であって、月8回を超えて算定する場合)<br>当該訪問が必要であった理由を選択し記載すること。   | 820101265                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料1):悪性腫瘍患者に対する麻薬の処方               | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101266                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料1):悪性腫瘍患者に対する麻薬以外の処方             | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101267                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料1):悪性腫瘍以外の患者に対する麻薬の処方            | ※       |            |
|    |                      |   |  | 830100913                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料1):その他:*****                     | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101268                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2):悪性腫瘍患者に対する麻薬の処方               | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101269                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2):悪性腫瘍患者に対する麻薬以外の処方             | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101270                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2):悪性腫瘍以外の患者に対する麻薬の処方            | ※       |            |
|    |                      |   |  | 830100914                  | 訪問が必要であった理由(在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2):その他:*****                     | ※       |            |
| 25 | 15の2                 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2  | (在宅患者訪問薬剤管理指導料、居宅療養管理指導及び介護予防居宅療養管理指導費を算定していない月に在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2を算定する場合)<br>直近の在宅患者訪問薬剤管理指導料、居宅療養管理指導及び介護予防居宅療養管理指導費を算定した年月日を記載すること。   | 850100383                  | 直近算定年月日(訪問薬剤管理指導):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                        |         |            |
|    |                      |   |  |                            |   |         |            |
| 26 | 15の2                 | 夜間訪問加算<br>休日訪問加算<br>深夜訪問加算  | 処方箋を受け付けた年月日及び時刻、訪問指導した年月日及び時刻を記載すること。<br><br>当該訪問が必要であった理由を選択し記載すること。   | 850190262                  | 保険医から訪問指示があった年月日(夜間訪問加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 | ※       |            |
|    |                      |   |  | 851100071                  | 保険医から訪問指示があった時刻(夜間訪問加算):hh"時"mm"分"                          | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190263                  | 訪問指導年月日(夜間訪問加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          | ※       |            |
|    |                      |   |  | 851100072                  | 訪問指導時刻(夜間訪問加算):hh"時"mm"分"                                   | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190264                  | 保険医から訪問指示があった年月日(休日訪問加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 | ※       |            |
|    |                      |   |  | 851100073                  | 保険医から訪問指示があった時刻(休日訪問加算):hh"時"mm"分"                          | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190265                  | 訪問指導年月日(休日訪問加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          | ※       |            |
|    |                      |   |  | 851100074                  | 訪問指導時刻(休日訪問加算):hh"時"mm"分"                                   | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190266                  | 保険医から訪問指示があった年月日(深夜訪問加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                 | ※       |            |
|    |                      |   |  | 851100075                  | 保険医から訪問指示があった時刻(深夜訪問加算):hh"時"mm"分"                          | ※       |            |
|    |                      |   |  | 850190267                  | 訪問指導年月日(深夜訪問加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日                          | ※       |            |
|    |                      |   |  | 851100076                  | 訪問指導時刻(深夜訪問加算):hh"時"mm"分"                                   | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101271                  | 訪問が必要であった理由(夜間・休日・深夜訪問加算):末期の悪性腫瘍患者であるため                    | ※       |            |
|    |                      |   |  | 820101272                  | 訪問が必要であった理由(夜間・休日・深夜訪問加算):注射による麻薬の投与が必要な患者であるため             | ※       |            |

| 項番        | 区分                                       | 調剤行為名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード                                     | 左記コードによるレセプト表示文言                                       | 紙レセのみ記載 | 令和6年6月1日適用 |
|-----------|--|---|---|--|--|---------|------------|
| 27        | 150の4                                    | 退院時共同指導料  | 指導年月日、共同して指導を行った患者が入院する保険医療機関の保険医等の氏名及び保険医療機関の名称並びに退院後の在宅医療を担う保険医療機関の名称を記載すること。   | 850100385  | 指導年月日(退院時共同指導料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                    |         |            |
|           |  |   |   | 830100450  | 患者が入院している保険医療機関の保険医等の氏名(退院時共同指導料):*****                |         |            |
|           |  |   |   | 830100451  | 患者が入院している保険医療機関名(退院時共同指導料):*****                       |         |            |
|           |  |   |   | 830100452  | 退院後の在宅医療を担う保険医療機関名(退院時共同指導料):*****                     |         |            |
| 28        | 150の5                                    | 薬業情報等提供料3   | 情報提供先の保険医療機関の名称及び診療科名を記載すること。<br>なお、情報提供先の保険医療機関の名称について、複数の保険医療機関に対して薬業情報等の提供を行った場合は各保険医療機関の名称を記載すること。診療科名については、同一保険医療機関の複数の診療科に対して薬業情報等の提供を行った場合に各診療科名を記載すること。 | 830100638  | 情報提供先の保険医療機関名(薬業情報等提供料3):*****                         |         |            |
|           |  |   |   | 830100639  | 情報提供先の診療科名(薬業情報等提供料3):*****                            |         |            |
| 29        | 150の6                                    | 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料1<br>処方箋に基づく場合(残薬調整に係るもの以外の場合)   | 処方医に連絡・確認を行った内容の要点を記載すること。  | 820101035  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料):同種・同効の併用薬との重複投薬             |         |            |
|           |  |   |   | 820101036  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料):併用薬・飲食物等との相互作用              |         |            |
|           |  |   |   | 820101037  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料):過去のアレルギー歴、副作用歴              |         |            |
|           |  |   |   | 820101275  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料):年齢や体重による影響                  |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101276  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料):肝機能、腎機能等による影響               |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101039  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料):授乳・妊婦への影響                   |         |            |
|           |  |   |   | 830100777  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料):その他薬学的観点から必要と認める事項:*****    |         |            |
| 30        | 150の6                                    | 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料2のイ<br>処方箋交付前の場合(残薬調整に係るもの以外の場合)   | 処方箋の交付前に行った処方医への処方提案の内容の要点を記載すること。  | 820101277  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):同種・同効の併用薬との重複投薬           |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101278  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):併用薬・飲食物等との相互作用            |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101279  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):過去のアレルギー歴、副作用歴            |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101280  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):年齢や体重による影響                |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101281  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):肝機能、腎機能等による影響             |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101282  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):授乳・妊婦への影響                 |         | ※          |
|           |  |   |   | 830100915  | 内容の要点(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):その他薬学的観点から必要と認める事項:*****  |         | ※          |
|           |  |   |   | 850190268  | 相談年月日(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"       |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101283  | 薬剤の変更内容(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):薬剤の追加                   |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101284  | 薬剤の変更内容(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):薬剤の削減                   |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101285  | 薬剤の変更内容(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):同種同効薬への変更               |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101286  | 薬剤の変更内容(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):剤形の変更                   |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101287  | 薬剤の変更内容(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):用量の変更                   |         | ※          |
| 820101288 | 薬剤の変更内容(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):用法の変更     |   | ※   |  |  |         |            |
| 830100916 | 薬剤の変更内容(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:前):その他:***** |   | ※   |  |  |         |            |
| 31        | 150の6                                    | 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料2のロ<br>処方箋交付前の場合(残薬調整に係るもの以外の場合)   | 患者へ処方箋を交付する前に処方医と処方内容を相談した年月日を記載すること。   | 850190269  | 相談年月日(在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料:事前の残薬調整):(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |         | ※          |
| 32        | 150の8                                    | 在宅移行初期管理料   | (計画的な訪問薬剤管理指導を実施する前であって別の日に患者を訪問して実施した場合)訪問を実施した日付について、記載すること。<br><br>特に重点的な服薬支援を行う必要があると判断した対象患者を選択し記載すること。  | 850190270  | 訪問を実施した年月日(在宅移行初期管理料):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"              |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101289  | 対象患者(在宅移行初期管理料):認知症患者、精神障害者である患者など自己による服薬管理が困難な患者      |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101290  | 対象患者(在宅移行初期管理料):障害児である18歳未満の患者                         |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101291  | 対象患者(在宅移行初期管理料):6歳未満の乳幼児                               |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101292  | 対象患者(在宅移行初期管理料):末期のがん患者                                |         | ※          |
|           |  |   |   | 820101293  | 対象患者(在宅移行初期管理料):注射による麻薬の投与が必要な患者                       |         | ※          |
| 33        | —  | 一般名処方が行われた医薬品について後発医薬品を調剤しなかった場合  | (一般名処方が行われた医薬品について後発医薬品を調剤しなかった場合)<br>その理由について、「患者の意向」、「保険薬局の備番」、「後発医薬品なし」又は「その他」から最も当てはまる理由をひとつ記載すること。   | 820100373  | 後発医薬品を調剤しなかった理由:患者の意向                                  |         |            |
|           |  |   |   | 820100374  | 後発医薬品を調剤しなかった理由:保険薬局の備番                                |         |            |
|           |  |   |   | 820100375  | 後発医薬品を調剤しなかった理由:後発医薬品なし                                |         |            |
|           |  |   |   | 820100376  | 後発医薬品を調剤しなかった理由:その他                                    |         |            |
| 34        | —  | 長期収載品の選定療養に関する取扱い   | (長期収載品について、選定療養の対象とはせずに、保険給付する場合)<br>理由を記載すること。<br>※記載は制度が施行となる令和6年10月からとする。  | ※レセプト電算処理システム用コード、レセプト表示文言(理由の具体例)については、<br>退ってお示する。 |  |         |            |
| 35        | —  | 長期の旅行等特殊の事情がある場合に、必要があると認められ、投薬量が1回14日分を限度とされる内服薬及び外用薬であって14日を超えて投与された場合は、処方箋の備考欄に記載されている長期投与の理由について、「海外への渡航」、「年末・年始又は連休」又は「その他」からもっとも当てはまるものをひとつ記載すること。「その他」を選択した場合は具体的な理由を記載すること。 | 820100795   | 長期投与の理由:海外への渡航(年末・年始又は連休に該当するものは除く。)                 |  |         |            |
|           |  |   | 820100796   | 長期投与の理由:年末・年始又は連休                                    |  |         |            |
|           |  |   | 830100453   | 長期投与の理由:その他理由:*****                                  |  |         |            |
| 36        | —  | 63枚を超えて鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤(ただし、麻薬若しくは向精神薬であるもの又は専ら皮膚疾患に用いるものを除く。以下同じ。)が処方されている処方箋に基づき調剤を行った場合は、処方医が当該貼付剤の投与が必要であると判断した趣旨について、処方箋の記載により確認した旨又は稟議照会により確認した旨を記載すること。                  | 820100377   | 処方箋記載により確認   |  |         |            |
|           |  |   | 820100378   | 稟議照会により確認  |  |         |            |
| 37        | —  | 在宅療養管理指導費及び介護予防在宅療養管理指導費により訪問指導を行った日を記載すること。  | 850190271   | 訪問指導年月日(在宅療養管理指導費等):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"              |  | ※       |            |
|           |  |   | 820101294   | 要支援1   |  | ※       |            |



| 項番 | 区分 | 調剤行為<br>名称等                                 | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言           | 紙レセの<br>み記載 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----|----|---|--|----------------------|----------------------------|-------------|--------------------|
| 37 | —  | 「保険医療に相当するサービスを行った場合に、当該患者が要介護者又は要支援者である場合」 | 要支援度及び要介護度(月末時点)を選択し、記載すること。                 | 820101295            | 要支援2                       |             | ※                  |
|    |    |   |  | 820101296            | 要介護1                       |             | ※                  |
|    |    |   |  | 820101297            | 要介護2                       |             | ※                  |
|    |    |   |  | 820101298            | 要介護3                       |             | ※                  |
|    |    |   |  | 820101299            | 要介護4                       |             | ※                  |
|    |    |   |  | 820101300            | 要介護5                       |             | ※                  |
| 38 | —  | プログラム医療機器の評価療養に関する取扱い                       | 「器評」と記載し、当該プログラム医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。 | 820000095            | (器評)                       |             |                    |
|    |    |   |  | 820101251            | 第1段階承認後のプログラム医療機器          |             | ※                  |
|    |    |   |  | 820101252            | チャレンジ申請による再評価を目指すプログラム医療機器 |             | ※                  |
| 39 | —  | プログラム医療機器の選定療養に関する取扱い                       | 「器選」と記載し、当該プログラム医療機器名を他の特定保険医療材料と区別して記載すること。 | 820101253            | (器選)                       |             | ※                  |
|    |    |   |  | 820101254            | 保険適用期間を超えたプログラム医療機器        |             | ※                  |

※「記載事項」欄における括弧書は、該当する場合に記載する事項であること。

※「記載事項」欄の記載事項は、「摘要」欄へ記載するものであること。

※「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」に基づき請求する場合、「紙レセのみ記載」列の○の記載事項については、請求上、該当する「レセプト電算処理システム用コード」の記録により必然的に記載される内容になるので、別途コメントとしての記載は不要であること。

別表Ⅱ 診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧(薬価基準)

| R8<br>項番  | 医薬品名称   | 効能・効果                            | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|---|----------------------------------|--|----------------------|---|--------------------|
| 1         | アイモビーグ皮下注70mgペン   |                                  | <p>本製剤に関する治療の責任者として配置されている医師について、以下のアに該当し、イ～オのいずれかの学会の専門医の認定を有していることとされているため、投与開始に当たっては、以下のア～オのうち該当するものを記載すること(「医師要件A」から「医師要件オ」までのうち該当するものを全て記載)。</p> <p>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、頭痛を主とする疾患の診療に5年以上の臨床経験を有している。</p> <p>イ 日本神経学会</p> <p>ウ 日本頭痛学会</p> <p>エ 日本内科学会(総合内科専門医)</p> <p>オ 日本脳神経科学会</p>  | 820600001            | 医師要件ア(アイモビーグ皮下注70mgペン)  |                    |
|           |   |                                  |  | 820600002            | 医師要件イ(アイモビーグ皮下注70mgペン)  |                    |
|           |   |                                  |  | 820600003            | 医師要件ウ(アイモビーグ皮下注70mgペン)  |                    |
|           |   |                                  |  | 820600004            | 医師要件エ(アイモビーグ皮下注70mgペン)  |                    |
|           |   |                                  |  | 820600005            | 医師要件オ(アイモビーグ皮下注70mgペン)  |                    |
|           |   |                                  |  | 842600001            | 投与開始前3ヶ月以上における1ヶ月あたりの片頭痛発作(片頭痛又は片頭痛の疑いが起こった日数)の平均を記載すること。                 |                    |
|           |   |                                  |  | 820600006            | 前治療要件ア(アイモビーグ皮下注70mgペン)   |                    |
|           |   |                                  |  | 820600007            | 前治療要件イ(アイモビーグ皮下注70mgペン)   |                    |
|           |   |                                  |  | 820600008            | 前治療要件ウ(アイモビーグ皮下注70mgペン)   |                    |
|           |   |                                  |  | 820600009            | 前治療要件エ(アイモビーグ皮下注70mgペン)   |                    |
| 820600010 | 投与開始後3ヶ月(3回投与後)を以て治療上の有益性を評価して症状の改善が認められない場合には、本剤の投与中止を考慮することとされているため、当該評価を実施した際に、症状の改善が認められた旨を記載すること。                              |                                  |  |                      |   |                    |
| 2         | アキラルックス点滴静注250mg  |                                  | 投与が必要と判断した理由を記載すること。   | 830600115            | 投与が必要と判断した理由(アキラルックス点滴静注250mg):*****                                      |                    |
| 3         | アクトヒブ   |                                  | ベグセタコプランの投与を行った又は行う予定の年月日を記載すること。  | 850600157            | ベグセタコプランの投与を行った年月日(アクトヒブ):(元号)yy'年'mm'月'dd'日                              | ※                  |
|           |   |                                  |  | 850600158            | ベグセタコプランの投与を行う予定の年月日(アクトヒブ):(元号)yy'年'mm'月'dd'日                            | ※                  |
| 4         | アコファイド錠100mg  | 機能性ディスペプシアにおける食後膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感 | <p>「機能性ディスペプシアにおける食後膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感」と診断された場合に限り算定できること。また、その場合には、診療報酬明細書の備病名に「機能性ディスペプシア」を用いること。</p> <p>診療報酬明細書の記載に当たっては、上部消化管内視鏡検査等の実施年月日を記載すること。</p> <p>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。</p>   | 850600001            | 上部消化管内視鏡検査等の実施年月日(アコファイド錠100mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日                        |                    |
|           |   |                                  |  | 850600002            | 上部消化管内視鏡検査等の実施年月日(初回投与)(アコファイド錠100mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日                  |                    |
| 5         | アゾビ皮下注225mgシリンジ<br>アゾビ皮下注225mgオートインジェクター  |                                  | <p>本製剤に関する治療の責任者として配置されている医師について、以下のアに該当し、イ～オのいずれかの学会の専門医の認定を有していることとされているため、投与開始に当たっては、以下のア～オのうち該当するものを記載すること(「医師要件A」から「医師要件オ」までのうち該当するものを全て記載)。</p> <p>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、頭痛を主とする疾患の診療に5年以上の臨床経験を有している。</p> <p>イ 日本神経学会</p> <p>ウ 日本頭痛学会</p> <p>エ 日本内科学会(総合内科専門医)</p> <p>オ 日本脳神経科学会</p>  | 820600011            | 医師要件ア(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)   |                    |
|           |   |                                  |  | 820600012            | 医師要件イ(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)   |                    |
|           |   |                                  |  | 820600013            | 医師要件ウ(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)   |                    |
|           |   |                                  |  | 820600014            | 医師要件エ(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)   |                    |
|           |   |                                  |  | 820600015            | 医師要件オ(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)   |                    |
|           |   |                                  |  | 842600002            | 投与開始前3ヶ月以上における1ヶ月あたりの片頭痛発作(片頭痛又は片頭痛の疑いが起こった日数)の平均(アゾビ皮下注225mgシリンジ等):***** |                    |
|           |   |                                  |  | 820600016            | 前治療要件ア(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)  |                    |
|           |   |                                  |  | 820600017            | 前治療要件イ(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)  |                    |
|           |   |                                  |  | 820600018            | 前治療要件ウ(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)  |                    |
|           |   |                                  |  | 820600019            | 前治療要件エ(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)  |                    |
| 820600226 | 4週間に1回投与の場合であって、投与開始後3ヶ月(3回投与後)症状の改善が認められた(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)  |                                  |  |                      |   |                    |
| 820600227 | 12週間に1回投与の場合であって、投与開始後3ヶ月(1回投与後)又は6ヶ月(2回投与後)を以て治療上の有益性を評価して症状の改善が認められない場合には、本剤の投与中止を考慮することとされているため、当該評価を実施した際に、症状の改善が認められた旨を記載すること。 |                                  |  |                      |   |                    |
| 820600228 | 12週間に1回投与の場合であって、投与開始後6ヶ月(2回投与後)症状の改善が認められた(アゾビ皮下注225mgシリンジ等)   |                                  |  |                      |   |                    |
| 6         | アドセトリス点滴静注50mg  |                                  | <p>CD30抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日について記載すること。</p> <p>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。</p> <p>(平成30年9月20日以前に既に本製剤の投与を受けている患者に対しては、本通知前からの投与継続患者である旨(「投与継続患者」と記載)及び当該患者に初めて本製剤を投与した年月日を記載すること。)</p>   | 850600003            | CD30抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日(アドセトリス点滴静注50mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日            |                    |
|           |   |                                  |  | 850600004            | CD30抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日(初回投与)(アドセトリス点滴静注50mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日      |                    |
|           |   |                                  |  | 820600021            | 投与継続患者(アドセトリス点滴静注50mg)  |                    |
|           |   |                                  |  | 850600005            | 初めて投与した年月日(アドセトリス点滴静注50mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日                             |                    |
| 7         | アドラーザ皮下注150mgシリンジ   | アトピー性皮膚炎                         | <p>本製剤の投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。なお、本製剤の継続投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。</p> <p>1) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」と記載)</p> <p>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の皮膚科診療の臨床研修を行っていること。</p> <p>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の臨床経験を有し、そのうち3年以上はアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を行っていること。</p> <p>2) 次に掲げる本剤投与前の抗炎症外用薬による治療の状況のうち該当するもの(「前治療要件A」又は「前治療要件J」と記載)</p> <p>ア 成人アトピー性皮膚炎患者であって、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインに重症度に応じて推奨されるステロイド外用薬(ストロングクラス以上)やカルシニューリン阻害外用薬による適切な治療を直近の6か月以上行っている。</p> <p>イ 成人アトピー性皮膚炎患者であって、ステロイド外用薬やカルシニューリン阻害外用薬に対する過敏症、顕著な局所性副作用若しくは全身性副作用により、これらの抗炎症外用薬のみによる治療の継続が困難である。</p> <p>3) 疾患活動性の状況として、次に掲げるすべての項目の数値</p> <p>ア IGAスコア</p> <p>イ 全身又は頭頸部のEASISスコア</p> <p>ウ 体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%)</p> | 820600255            | 医師要件A(アドラーザ皮下注150mgシリンジ)  | ※                  |
|           |   |                                  |  | 820600256            | 医師要件イ(アドラーザ皮下注150mgシリンジ)  | ※                  |
|           |   |                                  |  | 820600257            | 前治療要件A(アドラーザ皮下注150mgシリンジ)   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 820600258            | 前治療要件イ(アドラーザ皮下注150mgシリンジ)   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 830600138            | IGAスコア(アドラーザ皮下注150mgシリンジ):*****   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 830600139            | 全身のEASISスコア(アドラーザ皮下注150mgシリンジ):*****                                      | ※                  |
|           |   |                                  |  | 830600140            | 頭頸部のEASISスコア(アドラーザ皮下注150mgシリンジ):*****                                     | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600022            | 体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) (アドラーザ皮下注150mgシリンジ):*****                        | ※                  |

| RO<br>項目  | 医薬品名称   | 効能・効果 | 記載事項  | レポート番号処理<br>システム用コード | 左記コードによるレポート表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|---|---|-------|---|----------------------|---|--------------------|
| 8   | アレクマ点滴静注  |       | 本製品の投与開始に当たっては、次に掲げる施設のうち、該当するものを記載すること。「施設要件A」から「施設要件E」までのうち該当するものを記載。<br>ア 日本造血・免疫細胞療法学会が定める移植施設認定基準の全ての項目を満たす診療科(認定カテゴリ1)を有する施設<br>イ 日本造血・免疫細胞療法学会が定める移植施設認定基準のうち、看護部(基準3.1及び3.2)、移植認定医(基準3.2)及び移植コーディネーター(基準3.4)以外の全ての項目を満たす診療科(認定カテゴリ2)を有する施設<br>ウ 日本造血・免疫細胞療法学会が定める移植施設認定基準のうち、看護部(基準3.1及び3.2)、移植認定医(基準3.2)、移植コーディネーター(基準3.4)及び移植棟(基準4.1及び4.2)以外の全ての項目を満たす診療科(認定カテゴリ3)を有する施設<br>エ 本品に係る治験の実施施設  | 820600259            | 施設要件A(アレクマ点滴静注)   | ※                  |
|   |   |       |   | 820600260            | 施設要件イ(アレクマ点滴静注)   | ※                  |
|   |   |       |   | 820600261            | 施設要件ウ(アレクマ点滴静注)   | ※                  |
|   |   |       |   | 820600262            | 施設要件エ(アレクマ点滴静注)   | ※                  |
| 9   | アリエト錠3mg<br>アリエト錠5mg<br>アリエト錠10mg<br>アリエトD錠3mg<br>アリエトD錠5mg<br>アリエトD錠10mg<br>アリエト錠0.5%<br>アリエト内服ゼリー3mg<br>アリエト内服ゼリー5mg<br>アリエト内服ゼリー10mg<br>アリエトD内服ゼリー10mg<br>後発品のドネペジル塩酸塩錠剤 |       | (本製剤をレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制に用いる場合)<br>次の事項を記載すること。<br>① 効能又は効果に関連する使用上の注意において、本製剤は、認知症治療に精通し、「17. 臨床成績」の項の内容について十分に理解した医師又はその指導の下で、レビー小体型認知症の臨床診断基準に基づき、適切な症状観察や検査等によりレビー小体型認知症と診断され、本製剤の使用が適切と判断された患者にのみ使用すること。とされていることから、適切な症状観察や検査等によりレビー小体型認知症と診断され、本製剤の使用が適切と判断された患者に対して使用した場合に限り算定できる。レビー小体型認知症と診断され、本製剤の使用が適切と判断された理由(最新のガイドラインに基づいた診断内容及び臨床試験成績を理解した上で本剤投与が適切と判断した旨)を記載すること。<br>② 用法及び用量において投与開始12週間後までを自任に、認知機能検査、患者及び家族・介護者から自覚症状の聴取等による有効性評価を行い、認知機能、精神症状・行動障害、日常生活動作等を総合的に評価してベネフィット/リスクを上回ると判断できない場合は、投与を中止すること。とされていることから、投与開始12週間後までに有効性評価を行い、投与継続の検討を行った年月日、本製剤の投与継続が必要かつ有効と判断した理由(認知機能検査、患者及び家族・介護者から自覚症状の聴取等による有効性評価を行い、認知機能、精神症状・行動障害、日常生活動作等を総合的に評価し、ベネフィット/リスクを上回ると判断した内容)を記載すること。<br>③ 用法及び用量において投与開始12週間後までの有効性評価の結果に基づき投与継続を判断した場合であっても、定期的な有効性評価を行い、投与継続の可否を判断すること。とされていることから、投与開始12週間後までの有効性評価後に投与を継続する場合は、投与継続の検討を行った直近の年月日、本製剤の投与継続が必要かつ有効と判断した理由(認知機能検査、患者及び家族・介護者から自覚症状の聴取等による有効性評価を行い、認知機能、精神症状・行動障害、日常生活動作等を総合的に評価し、ベネフィット/リスクを上回ると判断した内容)を記載すること。 | 830600141            | 本製剤の使用が適切と判断した理由(アリエト錠3mg等):<br>*****   | ※                  |
|   |   |       |   | 850600159            | 投与継続の検討を行った年月日(アリエト錠3mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                                  | ※                  |
|   |   |       |   | 830600142            | 本製剤の投与継続が必要かつ有効と判断した理由(アリエト錠3mg等):*****                                       | ※                  |
|   |   |       |   | 850600160            | 投与継続の検討を行った直近の年月日(投与開始12週間後までの有効性評価後に投与を継続する場合)(アリエト錠3mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日 | ※                  |
| 10  | アルンブリグ錠30mg<br>アルンブリグ錠90mg  |       | ALK 融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600006            | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(アルンブリグ錠30mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                      | ※                  |
|   |   |       |   | 850600007            | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(アルンブリグ錠30mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                | ※                  |
| 11  | アレセンサカプセル150mg  |       | 本製剤の効能・効果に関連する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、ALK 融合遺伝子陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、ALK 融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日と検査実施機関を記入すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600008            | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(アレセンサカプセル150mg):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                    | ※                  |
|   |   |       |   | 850600009            | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(アレセンサカプセル150mg):(元号)yy'年 mm'月 dd'日              | ※                  |
| 12  | アレモ皮下注15mg<br>アレモ皮下注60mg<br>アレモ皮下注150mg   |       | 本製剤の使用に当たっては、血液凝固因子又は因子に対するインヒビターを保有することの確認が前提であり、インヒビター濃度の測定された年月日及び力価を記載すること。   | 830600144            | インヒビター力価(アレモ皮下注15mg等):*****   | ※                  |
|   |   |       |   | 850600161            | インヒビター力価測定年月日(アレモ皮下注15mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                                 | ※                  |
| 13  | アロフィセル注   |       | 本製品の効能・効果又は性能において、「非活動期又は軽症の活動期クローン病患者における複雑痔瘻の治療。ただし、少ない1つの非活動期による治療を行っても効果が不十分な場合に限り、及び用法及び用量又は使用方法に関連する使用上の注意において、「本品を再投与し臨床成績は得られず、痔瘻の状態を十分に確認した上で、再投与の要否を慎重に判断すること。」とされていることから、このような場合に限り算定できるものであり、次の事項を記載すること。<br>ア 本製品の投与が適切と判断した理由<br>イ 既存治療による治療として使用していた薬剤の品名及び使用期間<br>ウ 本製品の投与回数(1回目又は2回目)を記載すること。  | 830600002            | 投与が適切と判断した理由(アロフィセル注):*****   |                    |
|   |   |       |   | 830600003            | 既存治療による治療として使用していた薬剤の品名(アロフィセル注):*****  |                    |
|   |   |       |   | 830600004            | 既存治療による治療として使用していた薬剤の使用期間(アロフィセル注):*****                                      |                    |
|   |   |       |   | 820600022            | 投与回数1回目(アロフィセル注)  |                    |
|   |   |       |   | 820600023            | 投与回数2回目(アロフィセル注)  |                    |
| 14  | イェスカルタ点滴静注  |       | 投与開始に当たっては、次に掲げる施設のうち、該当するものを記載すること。「施設要件A」又は「施設要件イ」を記載。<br>ア 日本造血・免疫細胞療法学会が定める移植施設認定基準の全ての項目を満たす診療科(認定カテゴリ1)を有する施設<br>イ 認定カテゴリ1に準ずる診療科(認定基準のうち、移植コーディネーターの配置に係る基準以外を満たす診療科)を有する施設  | 820600024            | 施設要件A(イェスカルタ点滴静注)   |                    |
|   |   |       |   | 820600025            | 施設要件イ(イェスカルタ点滴静注)   |                    |
| 15  | イデルピオン静注用250<br>イデルピオン静注用500<br>イデルピオン静注用1000<br>イデルピオン静注用2000<br>イデルピオン静注用3500   |       | 手術時における血液凝固因子製剤の使用に当たっては、術前に予想される投与回数を考慮した上で適切な製剤を選択することとし、本剤を手術時に使用した場合には、その理由を記載すること。   | 830600005            | 手術時に使用した理由(イデルピオン静注用250等):*****   |                    |
|   |   |       |   |                      |   |                    |
| 16  | イブランス錠25mg<br>イブランス錠125mg   |       | ホルモン受容体陽性、HER2陰性であることを確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600011            | ホルモン受容体陽性を確認した検査の実施年月日(イブランス錠25mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                        |                    |
|   |   |       |   | 850600012            | HER2陰性を確認した検査の実施年月日(イブランス錠25mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                           |                    |
|   |   |       |   | 850600013            | ホルモン受容体陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(イブランス錠25mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                  |                    |
|   |   |       |   | 850600014            | HER2陰性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(イブランス錠25mg等):(元号)yy'年 mm'月 dd'日                     |                    |
| 17  | イベンティ皮下注105mgシリンジ   |       | (12ヵ月投与した後)に本製剤を再投与する場合)<br>再投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。<br>ア 骨折の危険性が高いと判断した理由<br>イ 本製剤を再投与するまでに投与した骨粗鬆症治療薬の品名  | 830600006            | 骨折の危険性が高いと判断した理由(イベンティ皮下注105mgシリンジ):*****                                     |                    |
|   |   |       |   | 830600007            | 再投与するまでに投与した骨粗鬆症治療薬の品名(イベンティ皮下注105mgシリンジ):*****                               |                    |
| 切除不能な局所進行<br>の非小細胞肺癌にお<br>ける根治的治療<br>経路後の維持療<br>法 |   |       | 次に掲げる施設のうち、該当するものを記載すること。「施設要件A」から「施設要件E」までのうち該当するものを記載。<br>ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院など)<br>イ 特定機能病院<br>ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携拠点病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)<br>エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍化学療法診療科1又は外来腫瘍化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設<br>オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設   | 820600026            | 施設要件A(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600027            | 施設要件イ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600028            | 施設要件ウ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600029            | 施設要件エ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600030            | 施設要件オ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600229            | 医師要件A(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600230            | 医師要件イ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600026            | 施設要件A(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600027            | 施設要件イ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600028            | 施設要件ウ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
| 進展型小細胞肺癌  |   |       | 次に掲げる施設のうち、該当するものを記載すること。「施設要件A」から「施設要件E」までのうち該当するものを記載。<br>ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院など)<br>イ 特定機能病院<br>ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携拠点病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)<br>エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍化学療法診療科1又は外来腫瘍化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設<br>オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設   | 820600029            | 施設要件A(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600027            | 施設要件イ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |
|   |   |       |   | 820600028            | 施設要件ウ(イミファンジ点滴静注120mg等)   |                    |

| RO<br>項目  | 医薬品名称                              | 効能・効果             | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード              | 左記コードによるレセプト表示文言 | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|---|------------------------------------|-------------------|---|-----------------------------------|------------------|--------------------|
| 18  | イミフィンジ点滴静注120mg<br>イミフィンジ点滴静注500mg | 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するものを記載すること(「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載)。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に6年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肺癌のがん薬物療法を含む呼吸器病気の臨床研修を行っていること。 | 820600030 施設要件オ(イミフィンジ点滴静注120mg等) |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600229 施設要件ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600230 施設要件イ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600026 施設要件ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600027 施設要件イ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600028 施設要件ウ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600029 施設要件エ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600030 施設要件オ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600229 施設要件ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600230 施設要件イ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600263 併用投与ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   | ※                |                    |
|   |                                    |                   | 850600162 EGFR遺伝子変異陰性を確認した検査の実施年月日(イミフィンジ点滴静注120mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'  |                                   | ※                |                    |
|   |                                    |                   | 850600163 ALK融合遺伝子陰性を確認した検査の実施年月日(イミフィンジ点滴静注120mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |                                   | ※                |                    |
|   |                                    |                   | 820600026 施設要件ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600027 施設要件イ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600028 施設要件ウ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600029 施設要件エ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
|   |                                    |                   | 820600030 施設要件オ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                   |                  |                    |
| 820600229 施設要件ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600230 施設要件イ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600026 施設要件ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600027 施設要件イ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600028 施設要件ウ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600029 施設要件エ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600030 施設要件オ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600229 施設要件ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600230 施設要件イ(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |
| 820600263 併用投与ア(イミフィンジ点滴静注120mg等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600264 施設要件ア(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600265 施設要件イ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600266 施設要件ウ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600267 施設要件エ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600268 施設要件オ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600269 施設要件カ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600270 施設要件キ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600271 施設要件ク(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600272 施設要件ケ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600273 施設要件コ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600274 施設要件サ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 830600145 連携施設名(施設要件キ、ケ又はサに該当)(ウゴビ皮下注0.25mg SD等);*****  |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 830600146 連携施設の所在地(施設要件キ、ケ又はサに該当)(ウゴビ皮下注0.25mg SD等);*****   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600275 施設要件シ(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| 820600276 施設要件ス(ウゴビ皮下注0.25mg SD等)   |                                    | ※                 |   |                                   |                  |                    |
| (本製剤の投与開始の場合)<br>次の事項を記載すること。<br>① 次に掲げる標榜診療科名のうち該当するもの(「施設要件ア」から「施設要件オ」までのうち該当するものをすべて記載)<br>ア 内科<br>イ 循環器内科<br>ウ 内臓外科 |                                    |                   |   |                                   |                  |                    |

| R3<br>項目 | 医薬品名称  | 効能・効果 | 記載事項  | シレプト電算処理<br>システム用コード   | 左記コードによるシレプト表示文言         | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|--|-------|---|--|--------------------------|--------------------|
| 19       | ウゴビー皮下注0.25mg SD<br>ウゴビー皮下注0.5mg SD<br>ウゴビー皮下注1.0mg SD<br>ウゴビー皮下注1.7mg SD<br>ウゴビー皮下注2.4mg SD |       | <p>エ 代謝内科<br/>オ 糖尿病内科<br/>② 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件カ」から「施設要件サ」までのうち該当するものを記載)及び「施設要件キ」、「施設要件ケ」又は「施設要件ク」に該当する場合は、連携施設名及び所在地<br/>カ 日本糖尿病学会の専門医を有する自施設の常勤医師が本製剤による治療に携わる<br/>キ 日本糖尿病学会の専門医を有する連携施設の常勤医師が本製剤による治療に携わる<br/>ク 日本糖尿病学会の専門医を有する自施設の常勤医師が本製剤による治療に携わる<br/>ケ 日本糖尿病学会の専門医を有する連携施設の常勤医師が本製剤による治療に携わる<br/>コ 日本内科学会の専門医を有する自施設の常勤医師が本製剤による治療に携わる<br/>ク 日本内科学会の専門医を有する連携施設の常勤医師が本製剤による治療に携わる<br/>③ 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件シ」から「施設要件セ」までのうち該当するものを記載)<br/>シ 日本糖尿病学会の教育研修施設<br/>ス 日本糖尿病学会の教育研修施設<br/>セ 日本内分泌学会の教育研修施設<br/>④ 常勤の管理栄養士の免許証番号<br/>⑤ 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」又は「医師要件イ」に記載)<br/>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病並びに肥満症の診療に5年以上の臨床研修を有していること。<br/>イ 医師免許取得後、満7年以上の臨床経験を有し、そのうち5年以上は高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病並びに肥満症の臨床研修を行っていること。<br/>⑥ 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ウ」から「医師要件オ」までのうち該当するものをすべて記載)<br/>ウ 日本糖尿病学会の専門医<br/>エ 日本糖尿病学会の専門医<br/>オ 日本内分泌学会の専門医<br/>⑦ 次に掲げる患者の要件のうち、該当するもの(「患者要件ア」～「患者要件ウ」までのうち該当するものをすべて記載)<br/>ア 高血圧<br/>イ 脂質異常症<br/>ウ 2型糖尿病<br/>⑧ 次に掲げる患者の要件のうち、該当するもの(「患者要件エ」又は「患者要件カ」と記載)<br/>エ BMIが27kg/m<sup>2</sup>以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害を有する<br/>オ BMIが35kg/m<sup>2</sup>以上<br/>⑨ 次の「患者要件カ」に該当する場合は、次に掲げる肥満に関連する健康障害のうち、該当するもの(「患者要件カ」～「患者要件ナ」までのうち該当するものをすべて記載)<br/>カ 脂質異常症(2型糖尿病・耐糖能異常など)<br/>キ 脂質異常症<br/>ク 高血圧<br/>ケ 高尿酸血症・痛風<br/>コ 冠動脈疾患<br/>サ 脳梗塞<br/>シ アルコール性脂肪性肝疾患<br/>ス 月経異常・不妊<br/>セ 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群<br/>ソ 運動器疾患<br/>タ 肥満関連腎臓病<br/>⑩ 食事療法・運動療法に係る治療計画を作成した年月日<br/>⑪ ⑩の治療計画に基づく食事療法において、管理栄養士による栄養指導を少なくとも6か月以上受けたことがわかるすべての年月日<br/>⑫ 合併している高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病に対して投与中のすべての医薬品名<br/>⑬ 本製剤による治療計画(68週以内に投与を中止する計画であることを作成した年月日)</p> | 820600277  | 施設要件セ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等) | ※                  |
|          |  |       | 830600147   | 常勤の管理栄養士の免許証番号(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****                                      | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600278   | 医師要件ア(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600279   | 医師要件イ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600280   | 医師要件ウ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600281   | 医師要件エ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600282   | 医師要件オ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600283   | 患者要件ア(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600284   | 患者要件イ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600285   | 患者要件ウ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600286   | 患者要件エ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600287   | 患者要件オ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600288   | 患者要件カ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600289   | 患者要件キ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600290   | 患者要件ク(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600291   | 患者要件ケ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600292   | 患者要件コ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600293   | 患者要件サ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600294   | 患者要件シ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600295   | 患者要件ス(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600296   | 患者要件セ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600297   | 患者要件ソ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 820600298   | 患者要件タ(ウゴビー皮下注0.25mg SD等)   | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600164   | 食事療法・運動療法に係る治療計画を作成した年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                    | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600165   | 管理栄養士による栄養指導を少なくとも6か月以上受けたことがわかる年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日         | ※                        |                    |
|          |  |       | 830600148   | 合併している高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病に対して投与中の医薬品名(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****                  | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600166   | 治療計画(68週以内に投与を中止する計画であることを作成した年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等));(元号)yy年mm月dd日          | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600167   | 投与中、管理栄養士による栄養指導を受けた直近の年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                  | ※                        |                    |
|          |  |       | 842600023   | 初回投与から起算して、何週目の投与(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****                                   | ※                        |                    |
|          |  |       | 842600024   | 直近の測定値(ア 体重)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****  | ※                        |                    |
|          |  |       | 842600025   | 直近の測定値(イ 血糖)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****  | ※                        |                    |
|          |  |       | 842600026   | 直近の測定値(ウ 血圧)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****  | ※                        |                    |
|          |  |       | 842600027   | 直近の測定値(エ 脂質)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****  | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600168   | 測定年月日(ア 体重)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                                 | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600169   | 測定年月日(イ 血糖)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                                 | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600170   | 測定年月日(ウ 血圧)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                                 | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600171   | 測定年月日(エ 脂質)(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                                 | ※                        |                    |
|          |  |       | 830600149   | 改善傾向が認められた旨(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****   | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600172   | 投与を中止した年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                                  | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600173   | 改めて食事療法・運動療法に係る治療計画を作成した年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日                 | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600165   | 管理栄養士による栄養指導を少なくとも6か月以上受けたことがわかる年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);(元号)yy年mm月dd日         | ※                        |                    |
|          |  |       | 830600150   | やむを得ず本製剤の投与を再開するその理由(ウゴビー皮下注0.25mg SD等);*****                                | ※                        |                    |
|          |  |       | 850600174   | 改めて本製剤による治療計画(68週以内に投与を中止する計画であることを作成した年月日(ウゴビー皮下注0.25mg SD等));(元号)yy年mm月dd日 | ※                        |                    |

| R0<br>項番  | 医薬品名称  | 効能・効果                                     | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|--|---|--|----------------------|---|--------------------|
| 20        | ヴァイトラックピカセル25mg<br>ヴァイトラックピカセル100mg<br>ヴァイトラックピカセル20mg/100mg |   | NTRK 融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600015            | NTRK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(ヴァイトラックピカセル25mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'  |                    |
|           |  |   |  | 850600016            | NTRK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ヴァイトラックピカセル25mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                                    |                    |
| 21        | ヴァンフリタ錠 17.7mg<br>ヴァンフリタ錠 26.5mg                             |   | FLT3-ITD 変異陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600017            | FLT3-ITD変異陽性を確認した検査の実施年月日(ヴァンフリタ錠 17.7mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'  |                    |
|           |  |   |  | 850600018            | FLT3-ITD変異陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ヴァンフリタ錠 17.7mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                                    |                    |
| 22        | エクログゲル5%   |   | 投与開始に当たっては、多汗症疾患重症度評価尺度(HDSS)を記載すること。  | 830600011            | 多汗症疾患重症度評価尺度(HDSS)(エクログゲル5%):<br>*****  |                    |
| 23        | エスボー皮下用24000シリンジ   |   | (貯血量が800mL以上で1週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血の場合)<br>貯血量、本剤を投与する前の患者の体重及びHb濃度を記載すること。   | 830600012            | 貯血量(エスボー皮下用24000シリンジ):*****   |                    |
|           |  |   |  | 830600013            | 投与する前の患者の体重(エスボー皮下用24000シリンジ):<br>*****   |                    |
|           |  |   |  | 830600014            | Hb濃度(エスボー皮下用24000シリンジ):*****  |                    |
| 24        | エスワントাইホウ配合OD錠T20<br>エスワントাইホウ配合OD錠T25                       |   | 本剤剤の用法及び用量において、「胃癌」にはA法、B法又はC法、結腸・直腸癌にはA法、C法又はD法、頭頸部癌にはA法、非小細胞肺癌にはA法、B法又はC法、手術不能又は再発乳癌にはA法、肺癌にはA法又はC法、胆道癌にはA法、E法又はF法を使用する。」とされていることから、用法・用量を記載すること(「A法」から「F法」までのうち該当するものを記載)。  | 820600299            | A法(エスワントাইホウ配合OD錠T20等)  | ※                  |
|           |  |   |  | 820600300            | B法(エスワントাইホウ配合OD錠T20等)  | ※                  |
|           |  |   |  | 820600301            | C法(エスワントাইホウ配合OD錠T20等)  | ※                  |
|           |  |   |  | 820600302            | D法(エスワントাইホウ配合OD錠T20等)  | ※                  |
|           |  |   |  | 820600303            | E法(エスワントাইホウ配合OD錠T20等)  | ※                  |
|           |  |   |  | 820600304            | F法(エスワントাইホウ配合OD錠T20等)  | ※                  |
| 25        | エドルミズ錠50mg   |   | 以下のアに該当し、イ～エのうち2つ以上を認める患者に使用することとされているため、投与開始に当たっては、以下のア～エのうち該当するものをすべて記載すること。<br>ア 6ヵ月以内での5%以上の体重減少及び食欲不振<br>イ 疲労又は倦怠感<br>ウ 全身の筋力低下<br>エ CRP値0.5mg/dL超、ヘモグロビン値12g/dL未満又はアルブミン値3.2g/dL未満のいずれか1つ以上  | 820600031            | ア 6ヵ月以内での5%以上の体重減少及び食欲不振(エドルミズ錠50mg)  |                    |
|           |  |   |  | 820600032            | イ 疲労又は倦怠感(エドルミズ錠50mg)   |                    |
|           |  |   |  | 820600033            | ウ 全身の筋力低下(エドルミズ錠50mg)   |                    |
|           |  |   |  | 820600034            | エ CRP値0.5mg/dL超、ヘモグロビン値12g/dL未満又はアルブミン値3.2g/dL未満のいずれか1つ以上(エドルミズ錠50mg)                                   |                    |
|           |  |   |  | 850600019            | 投与継続の検討を行った直近の年月日を記載すること。(元号)yy'年'mm'月'dd'日'  |                    |
| 26        | エフィエント錠 2.5mg<br>エフィエント錠 7.5mg                               | 虚血性脳血管障害<br>(大血管アテローム硬化又は小血管の閉塞に伴う)後の再発抑制 | 効能又は効果に関連する注意において、「17. 臨床成績」の項の内容を熟知し、有効性についてクロピドグレルに対する非劣性が検証されていないことや臨床試験の対象患者等を十分に理解した上で、本剤投与の適否を判断すること。」とされているので、投与開始に当たっては、本剤剤の投与が必要と判断した理由を記載すること。   | 830600134            | 投与が必要と判断した理由(エフィエント錠 2.5mg等):*****  |                    |
| 27        | エブリスティライシロップ60mg   |   | 効能・効果に関連する使用上の注意において「遺伝子検査により、SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることが確認された患者に投与すること。」とされているので、SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることを確認した遺伝子検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。   | 850600020            | SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることを確認した遺伝子検査の実施年月日(エブリスティライシロップ60mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'           |                    |
|           |  |   |  | 850600021            | SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることを確認した遺伝子検査の実施年月日(初回投与)(エブリスティライシロップ60mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'     |                    |
| 28        | エボジン注シリンジ1500<br>エボジン注シリンジ3000                               |   | (貯血量が800mL以上で1週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血にエボジン注シリンジ1500、同3000又は6000を使用する場合)<br>貯血量、本剤を投与する前の患者の体重及びHb濃度を記載すること。   | 830600016            | 貯血量(エボジン注シリンジ1500等):*****   |                    |
|           |  |   |  | 830600017            | 投与する前の患者の体重(エボジン注シリンジ1500等):*****   |                    |
|           |  |   |  | 830600018            | Hb濃度(エボジン注シリンジ1500等):*****  |                    |
|           |  |   |  | 830600019            | 貯血量(エボジン皮下注シリンジ24000):*****   |                    |
| 29        | エボジン皮下注シリンジ24000   |   | (貯血量が800mL以上で1週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血に使用する場合)<br>貯血量、本剤を投与する前の患者の体重及びHb濃度を記載すること。   | 830600020            | 投与する前の患者の体重(エボジン皮下注シリンジ24000):<br>*****   |                    |
|           |  |   |  | 830600021            | Hb濃度(エボジン皮下注シリンジ24000):*****  |                    |
| 30        | エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター<br>エムガルティ皮下注120mgシリンジ               |   | 本剤剤に関する治療の責任者として配置されている医師について、以下のアに該当し、イ～オのいずれかの学会の専門医の認定を有していることとされているため、投与開始に当たっては、以下のア～オのうち該当するものを記載すること(「医師要件ア」から「医師要件オ」までのうち該当するものを全て記載)。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、頭痛を呈する疾患の診療に5年以上の臨床経験を有している。<br>イ 日本神経学会<br>ウ 日本頭痛学会<br>エ 日本内科学会(総合内科専門医)<br>オ 日本脳神経外科学会 | 820600233            | 医師要件ア(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)  |                    |
|           |  |   |  | 820600234            | 医師要件イ(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)  |                    |
|           |  |   |  | 820600235            | 医師要件ウ(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)  |                    |
|           |  |   |  | 820600236            | 医師要件エ(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)  |                    |
|           |  |   |  | 820600237            | 医師要件オ(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)  |                    |
|           |  |   |  | 842100110            | 投与開始前3ヶ月以上における1ヶ月あたりのMigraine Headache Days(MHD)、片頭痛又は片頭痛の疑いが起こった日数の平均(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等):***** |                    |
|           |  |   |  | 820600238            | 前治療要件ア(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)   |                    |
|           |  |   |  | 820600239            | 前治療要件イ(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)   |                    |
|           |  |   |  | 820600240            | 前治療要件ウ(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)   |                    |
|           |  |   |  | 820600241            | 前治療要件エ(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)   |                    |
| 820600044 | 投与開始後3ヶ月(3回投与後)症状の改善が認められた(エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター等)        |   |  |                      |   |                    |
| 31        | エムババリ皮下注1080mg   |   | 本剤剤の効能・効果に関連する使用上の注意において「補体(C5)阻害剤による適切な治療を行っても、十分な効果が得られない場合に投与すること。」とされているので、本剤剤の投与開始に当たっては、治療として併用している薬剤の品名及び   | 830600151            | 治療として併用している薬剤の品名(エムババリ皮下注1080mg):*****  | ※                  |

| RO<br>項目 | 医薬品名称   | 効能・効果  | 記載事項  | シレボト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるシレボト表示文言                                    | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|---|--|---|----------------------|---|--------------------|
|          |   |  | 「トラスズマブ(遺伝子組換え)及びタキサン系抗悪性腫瘍剤による治療のない患者における本剤の有効性及び安全性は確立していない。」と記載されているので、トラスズマブ(遺伝子組換え)及びタキサン系抗悪性腫瘍剤の治療歴を有する患者に投与することとし、その旨を記載すること。  | 830600152            | 治療として使用していた使用期間(エンハーツ皮下注1080mg):<br>*****           | ※                  |
| 32       | エンハーツ点滴静注用100mg   | 化学療法歴のあるHER2陽性の手術不能又は再発肺癌  | 「トラスズマブ(遺伝子組換え)及びタキサン系抗悪性腫瘍剤による治療のない患者における本剤の有効性及び安全性は確立していない。」と記載されているので、トラスズマブ(遺伝子組換え)及びタキサン系抗悪性腫瘍剤の治療歴を有する患者に投与することとし、その旨を記載すること。  | 820600045            | トラスズマブ(遺伝子組換え)の治療歴を有する患者(エンハーツ点滴静注用100mg)           |                    |
|          |   |  |   | 820600046            | タキサン系抗悪性腫瘍剤の治療歴を有する患者(エンハーツ点滴静注用100mg)              |                    |
|          |   |  | がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治療不能な再発の再発の再発の場合   | 830600022            | 一次治療で実施した化学療法(エンハーツ点滴静注用100mg):<br>*****            |                    |
|          |   |  |   | 830600023            | 二次治療で実施した化学療法(エンハーツ点滴静注用100mg):<br>*****            |                    |
|          |   |  | 化学療法歴のあるHER2低発現の手術不能又は再発肺癌  | 850600175            | HER2低発現を確認した検査の実施年月日(エンハーツ点滴静注用100mg):(元号)yy年mm月dd日 | ※                  |
|          | 850600176   | HER2低発現を確認した検査の実施年月日(初回投与)(エンハーツ点滴静注用100mg):(元号)yy年mm月dd日          | ※   |                      |   |                    |
|          | 850600177   | HER2(ERBB2)遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(エンハーツ点滴静注用100mg):(元号)yy年mm月dd日       | ※   |                      |   |                    |
|          | 850600178   | HER2(ERBB2)遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(初回投与)(エンハーツ点滴静注用100mg):(元号)yy年mm月dd日 | ※   |                      |   |                    |
| 33       | エンレスト錠50mg<br>エンレスト錠100mg<br>エンレスト錠200mg                            | 慢性心不全、高血圧症   | (慢性心不全の場合)<br>本製剤の効能又は効果において、「慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る」とされているので、投与開始に当たっては、本製剤の投与が必要と判断した理由を記載すること。  | 830600024            | 投与が必要と判断した理由(エンレスト錠50mg等):*****                     |                    |
|          |   |  | (高血圧症の場合)<br>本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「過度な血圧低下のおそれ等があり、原則として本剤を高血圧治療の第一選択薬としないこと。」とされているので、投与開始に当たっては、本製剤の投与が必要と判断した理由を記載すること。   |                      |   |                    |
| 34       | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 共通   | 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件A」から「施設要件オ」までのうち該当するものを記載)を記載すること。<br>(※は、古典的ホジキンリンパ腫に限る。)<br>ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、小児がん連携病院※など)<br>イ 特定機能病院<br>ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)<br>エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍化学療法診療科又は外来腫瘍化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設<br>オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設                                  | 820600164            | 施設要件A(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600186            | 施設要件イ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600190            | 施設要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600194            | 施設要件エ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600197            | 施設要件オ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600141            | 施設要件A(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
| 35       | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 悪性黒色腫  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上の皮膚悪性腫瘍診療の臨床経験を有していること。  | 820600141            | 医師要件A(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600183            | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  | (本製剤とイビリマブの併用を根拠切除不能な悪性黒色腫患者であって、PD-L1発現率が確認できた患者に投与する場合)<br>PD-L1発現率を確認した検査の実施年月日及び検査結果(発現率)を記載すること。   | 850600123            | PD-L1発現率を確認した検査の実施年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy年mm月dd日      |                    |
|          |   |  |   | 830600106            | PD-L1発現率を確認した検査結果(発現率)(オプジーボ点滴静注):*****             |                    |
|          |   |  | (本製剤とイビリマブの併用を根拠切除不能な悪性黒色腫患者であって、PD-L1発現率1%以上の場合)<br>本製剤とイビリマブを併用投与することとした理由(オプジーボ点滴静注):*****   | 830600116            | 本製剤とイビリマブを併用投与することとした理由(オプジーボ点滴静注):*****            |                    |
|          |   |  | (本製剤とイビリマブの併用を根拠切除不能な悪性黒色腫患者であって、PD-L1発現率が確認できなかった場合)<br>確認できなかった理由を記載すること。   | 830600117            | PD-L1発現率を確認できなかった理由(オプジーボ点滴静注):<br>*****            |                    |
|          |   |  | (平成29年2月13日以前に既に本製剤の投与を受けている患者の場合)<br>投与中である旨(「投与中患者」と記載)及び当該患者に初めて本製剤を投与した年月日を記載すること。  | 820600169            | 投与中患者(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 850600129            | 患者に初めて投与した年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy年mm月dd日              |                    |
|          |   |  |   | 820600168            | 使用実績有(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 850600129            | 患者に初めて投与した年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy年mm月dd日              |                    |
| 36       | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」から「医師要件ウ」までのうち該当するものを記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肺癌のがん薬物療法を含む呼吸器病気の臨床研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の呼吸器外科の臨床研修を行っていること。  | 820600141            | 医師要件A(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600183            | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600184            | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                    | ※                  |
|          |   |  |   | 820600169            | 投与中患者(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 850600129            | 患者に初めて投与した年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy年mm月dd日              |                    |
|          |   |  |   | 820600168            | 使用実績有(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
| 37       | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌   | 次に掲げる医師又は歯科医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」若しくは「医師要件イ」又は「医師・歯科医師要件ウ」のうち該当するものを記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の耳鼻咽喉科領域の臨床研修を行っており、うち、2年以上は、がん薬物療法を含む頭頸部悪性腫瘍診療の臨床研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の口腔外科の臨床研修を行っており、うち、2年以上は、がん薬物療法を含む口腔外科のがん治療の臨床研修を行っていること。 | 820600141            | 医師要件A(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600183            | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
| 38       | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌   | (本製剤とイビリマブ(遺伝子組換え)の併用を化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の腎細胞癌の患者に投与する場合)<br>次のいずれかに該当するかを記載すること。(「患者要件A」又は「患者要件イ」と記載)<br>イ IMDCリスク分類:intermediate リスク<br>イ IMDCリスク分類:poor リスク  | 820600141            | 患者要件A(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 820600154            | 患者要件イ(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  | (平成29年4月17日以前に既に本製剤の投与を受けている患者の場合であって、施設要件等を記載できない場合)<br>投与中である旨(「投与中患者」と記載)及び当該患者に初めて本製剤を投与した年月日を記載すること。   | 820600169            | 投与中患者(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 850600129            | 患者に初めて投与した年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy年mm月dd日              |                    |
|          |   |  | (平成29年4月17日以前に既に本製剤の使用実績がある保険医療機関において、本製剤を初めて投与する必要が生じた患者の場合(平成29年6月30日までの間)<br>当該保険医療機関での使用実績がある旨(「使用実績有」と記載)及び当該患者に初めて本製剤を投与した年月日を記載すること。   | 820600168            | 使用実績有(オプジーボ点滴静注)                                    |                    |
|          |   |  |   | 850600129            | 患者に初めて投与した年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy年mm月dd日              |                    |
|          | 820600141   | 医師要件A(オプジーボ点滴静注)   |   |                      |   |                    |

| 凡例 | 医薬品名称   | 効能・効果   | 記載事項   | シレボト番号処理システム用コード | 左記コードによるシレボト表示文言                                  | 令和6年6月1日適用 |
|----|---|---|--|------------------|---|------------|
| 39 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫   | ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、造血器悪性腫瘍のがん薬物療法を含む臨床血液学の研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上の小児血液及び小児がんを含む小児科臨床経験を有すること。  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   | (平成29年4月17日以前に既に本製剤の投与を受けている患者の場合であって、施設要件等を記載できない場合)<br>投与中である旨(「投与中患者」と記載)及び当該患者に初めて本製剤を投与した年月日を記載すること。  | 820600184        | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600189        | 投与中患者(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 850600129        | 患者に初めて投与した年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy<br>"年"mm"月"dd"日   |            |
|    |   |   |  | 820600168        | 使用実績有(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   | (平成29年4月17日以前に既に本製剤の使用実績がある保険医療機関において、本製剤を初めて投与する必要が生じた患者の場合(平成29年30日までの期間)<br>当該保険医療機関での使用実績がある旨(「使用実績有」と記載)及び当該患者に初めて本製剤を投与した年月日を記載すること。   | 850600129        | 患者に初めて投与した年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy<br>"年"mm"月"dd"日   |            |
| 40 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 治療不能な進行・再発の胃癌   | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」から「医師要件ウ」までのうち該当するものを記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、消化器のがん薬物療法を含む5年以上の消化器外科学の研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、消化器のがん薬物療法を含む消化器病の臨床研修を行っていること。 | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600184        | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 850600118        | HER2陰性を確認した検査の実施年月日(オプジーボ点滴静注):(元号)yy"年"mm"月"dd"日 |            |
| 41 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 切除不能な進行・再発の悪性胸腺中皮腫  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載)<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、消化器のがん薬物療法を含む5年以上の消化器外科学の研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、悪性胸腺中皮腫のがん薬物療法を含む呼吸器病の臨床研修を行っていること。                | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600184        | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
| 42 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | がん化学療法後に増悪した治療不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌 | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」から「医師要件ウ」までのうち該当するものを記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、消化器のがん薬物療法を含む5年以上の消化器外科学の研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、消化器のがん薬物療法を含む消化器病の臨床研修を行っていること。 | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600184        | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 850600120        | MSI-Highを確認した検査の実施年月日を記載すること。                     |            |
| 43 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 根治切除不能な進行・再発の食道癌  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」から「医師要件ウ」までのうち該当するものを記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、消化器のがん薬物療法を含む5年以上の消化器外科学の研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、消化器のがん薬物療法を含む消化器病の臨床研修を行っていること。 | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600184        | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
| 44 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 食道癌における術後補助療法   | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」から「医師要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、消化器のがん薬物療法を含む5年以上の消化器外科学の研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、消化器のがん薬物療法を含む消化器病の臨床研修を行っていること。            | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600184        | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
| 45 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 原発不明癌   | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、原発不明癌に対するがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。   | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600156        | 検査等ア(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
|    |   |   |  | 820600157        | 検査等イ(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
|    |   |   |  | 820600158        | 検査等ウ(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
|    |   |   |  | 820600159        | 検査等エ(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
|    |   |   |  | 820600160        | 検査等オ(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
|    |   |   |  | 820600161        | 検査等カ(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
|    |   |   |  | 820600162        | 検査等キ(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
|    |   |   |  | 820600163        | 検査等ク(オプジーボ点滴静注)                                   |            |
| 46 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 原路上皮癌における術後補助療法   | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の泌尿器科学の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、原路上皮癌のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。  | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 830600113        | 投与することとした理由(オプジーボ点滴静注):*****                      |            |
| 47 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 非小細胞肺癌における術前補助療法  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」から「医師要件ウ」までのうち該当するものを記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、呼吸器のがん薬物療法を含む5年以上の呼吸器外科学の研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肺のがん薬物療法を含む呼吸器病の臨床研修を行っていること。   | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600184        | 医師要件ウ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
| 48 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 悪性中皮腫(悪性胸腺中皮腫を除く)   | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、悪性中皮腫(悪性胸腺中皮腫を除く)のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。  | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
| 49 | オプジーボ点滴静注20mg<br>オプジーボ点滴静注100mg<br>オプジーボ点滴静注120mg<br>オプジーボ点滴静注240mg | 根治切除不能な進行・再発の上皮系悪性腫瘍  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の皮膚悪性腫瘍診療の臨床経験を有していること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上の皮膚悪性腫瘍診療の臨床経験を有していること。   | 820600141        | 医師要件ア(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    |   |   |  | 820600183        | 医師要件イ(オプジーボ点滴静注)                                  |            |
|    | オルプロクシク静注用500<br>オルプロクシク静注用1000<br>オルプロクシク静注用2000<br>オルプロクシク静注用3000 |   | 手術時における血液凝固薬因子製剤の使用に当たっては、術前に予想される投与回数を考慮した上で適切な製剤を選択することとし、本剤を手術時に使用した場合には、その理由を記載すること。   | 830600025        | 手術時に使用した理由(オルプロクシク静注用500等):*****                  |            |



| RO<br>項目  | 医薬品名称                  | 効能・効果  | 記載事項  | シレプト電算処理<br>システム用コード  | 左記コードによるシレプト表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用  |   |  |  |  |
|---|------------------------|--|---|---|---|---|---|--|--|--|
| 50  | オルプロクシ静注用250           |  | 手術時における血液凝固因子製剤の使用に当たっては、術前に予想される投与回数と考慮した上で適切な製剤を選択することとし、本剤を手術時に使用した場合には、その理由を記載すること。   | 830600026   | 手術時に使用した理由(オルプロクシ静注用250):*****  |   |   |  |  |  |
|   | オルプロクシ静注用4000          |  | 手術時における血液凝固因子製剤の使用に当たっては、術前に予想される投与回数と考慮した上で適切な製剤を選択することとし、本剤を手術時に使用した場合には、その理由を記載すること。   | 830600027   | 手術時に使用した理由(オルプロクシ静注用4000):*****   |   |   |  |  |  |
| 51  | オルミニン錠2mg<br>オルミニン錠4mg | アトピー性皮膚炎   | 投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。なお、最終投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。<br>1) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当する施設(「施設要件A」から「施設要件ウ」までのうち該当するものを記載)<br>ア 成人アトピー性皮膚炎患者又は小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の皮膚科診療の臨床研修を行っていること。<br>イ 成人アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に6年以上の臨床研修を有していること。うち、3年以上は、アトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を行っていること。<br>ウ 小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の小児科診療の臨床研修及び5年以上のアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を有していること。<br>2) 本剤投与前の抗炎症外用薬による治療の状況(「前治療要件A」又は「前治療要件イ」と記載)<br>ア 2歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインで推奨されている外用薬(ステロイド外用薬(スロングラス以上)やカルシニューリン阻害外用薬による適切な治療を直近の6か月以上行っていること。<br>イ 2歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、ステロイド外用薬やカルシニューリン阻害外用薬に対する過敏症、顕著な局所副作用若しくは全身性副作用のうち、これらの抗炎症外用薬のみによる治療の継続が困難。<br>3) 疾患活動性の状況として、次に掲げるすべての項目の取組<br>ア IGAスコア<br>イ 全身又は顔面のEASIスコア<br>ウ 体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) | 820600048<br>820600049<br>820600372<br>820600050<br>820600051<br>830600028<br>830600029<br>830600030<br>842600008<br>830600153<br>830600154     | 施設要件A(オルミニン錠2mg等)<br>施設要件イ(オルミニン錠2mg等)<br>施設要件ウ(オルミニン錠2mg等)<br>前治療要件A(オルミニン錠2mg等)<br>前治療要件イ(オルミニン錠2mg等)<br>IGAスコア(オルミニン錠2mg等):*****<br>全身のEASIスコア(オルミニン錠2mg等):*****<br>顔面のEASIスコア(オルミニン錠2mg等):*****<br>体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) (オルミニン錠2mg等):*****<br>顔面全体に占める顔毛部位の割合(オルミニン錠2mg等):*****<br>毛髪の自然再生が認められていない期間(オルミニン錠2mg等):***** |   |   |  |  |  |
|   |                        |  | 円形脱毛症(ただし、顔毛部位が広範囲に及ぶ場合は除く)   | 機能又は効果に関連する注意において、「本剤投与前に、顔面全体の約50%以上に眼毛が認められ、過去6か月程毛髪に自然再生が認められない患者に投与すること。」とされているので、本剤の投与開始に当たっては、顔面全体に占める眼毛部位の割合及び毛髪の自然再生が認められていない期間を記載すること。 | 830600155<br>830600156<br>830600157<br>830600158  | 直接作用型第Xa因子阻害剤の種類(オンデキサ静注用200mg):*****<br>最終投与時の1回投与量(オンデキサ静注用200mg):*****<br>最終投与からの経過時間(オンデキサ静注用200mg):*****<br>投与が必要と判断した理由(オンデキサ静注用200mg):*****  |   |  |  |  |
|   |                        |  | 53  | ガザイバ点滴静注1000mg  | CD20陽性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)   | 本剤の機能又は効果に関連する注意において、「フローサイトメトリ法等により検査を行い、CD20抗原が陽性であることが確認された患者に使用すること」と記載されているため、CD20抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日について記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月の実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600023<br>850600024  | CD20抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日(ガザイバ点滴静注1000mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>CD20抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日(初回投与)(ガザイバ点滴静注1000mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日 |  |  |
|   |                        |  |   |   |   | 用法及び用量に関する注意において、「アカラブルチニブを8日間で投与した後に本剤の投与を開始すること。」とされているため、アカラブルチニブと併用する場合には、アカラブルチニブの単独投与開始日及び単独投与終了日を記載すること。   | 850600179<br>850600180  | アカラブルチニブの単独投与開始年月日(ガザイバ点滴静注1000mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>アカラブルチニブの単独投与終了年月日(ガザイバ点滴静注1000mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日                         |  |  |
|   |                        |  | 54  | カナグル錠100mg  |   | (「2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く。」に用いる場合)<br>機能又は効果に関連する注意において、「eGFRが30ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満の患者では、本剤の腎保護作用が十分に得られない可能性があること、本剤投与前にeGFRが低下することがあり、腎機能障害が悪化するおそれがあること、新規投与しないこと。」とされているので、本剤の投与開始に当たっては、投与開始時のGFRの値及び検査の実施年月日を記載すること。  | 842600028<br>850600181  | 投与開始時のeGFRの値(カナグル錠100mg):*****<br>eGFR検査の実施年月日(カナグル錠100mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日  |  |  |
|   |                        |  |   |   |   | (本剤を「未治療の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)」に用いる場合は、用法及び用量に関する注意の投与を開始すること。」とされているため、「ピンスツマブ(遺伝子組換え)と併用する場合」)<br>本剤の単独投与開始日及び単独投与終了日を記載すること。  | 850600182<br>850600183  | 単独投与開始年月日(カルケンスカプセル100mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>単独投与終了年月日(初回投与)(カルケンスカプセル100mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日                                     |  |  |
|   |                        |  | 56  | キイトルーダ点滴静注100mg   | 共通  | 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件A」から「施設要件オ」までのうち該当するものを記載)を記載すること。<br>ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院など)<br>イ 特定医療機関<br>ウ がん診療連携拠点病院が指定するがん診療連携病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)<br>エ 外 表化学療法室を設置し、外 表腫瘍化学療法診療科1又は外 表腫瘍化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設<br>オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設 | 820600165<br>820600187<br>820600191<br>820600195<br>820600198 | 施設要件A(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件イ(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件ウ(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件エ(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件オ(キイトルーダ点滴静注)                                  |  |  |
|   |                        |  |   |   |   | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「施設要件A」又は「施設要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上の皮膚悪性腫瘍診療の臨床研修を有していること。   | 820600146<br>820600148  | 施設要件A(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件イ(キイトルーダ点滴静注)   |  |  |
|   |                        |  |   |   |   | (本剤を単独で投与する場合)<br>PD-L1の発現を確認した検査の実施年月日及び検査結果(発現率)を記載すること。  | 850600133<br>830600118  | PD-L1の発現を確認した検査の実施年月日(キイトルーダ点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>PD-L1の発現を確認した検査結果(発現率)(キイトルーダ点滴静注):*****                                       |  |  |
|   |                        |  |   |   |   | (本製剤を他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合)<br>次に掲げる併用投与のうち、該当するもの(「併用投与A」又は「併用投与イ」と記載)を記載すること。<br>ア カルボプラチン及びパクリタキセル又は nab-paクリタキセルとの併用投与<br>イ カルボプラチン及びパクリタキセル又は nab-paクリタキセルとの併用投与   | 820600174   | 併用投与A(キイトルーダ点滴静注)<br>併用投与イ(キイトルーダ点滴静注)   |  |  |
| 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「施設要件A」又は「施設要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、造血器悪性腫瘍のがん薬物療法を含む臨床腫瘍学の研修を行っていること。 | 820600146<br>820600148 | 施設要件A(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件イ(キイトルーダ点滴静注)                             |   |   |   |   |   |  |  |  |
| 58  | キイトルーダ点滴静注100mg        | 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌  | (本剤を単独で投与する場合)<br>PD-L1の発現を確認した検査の実施年月日及び検査結果(発現率)を記載すること。  | 850600133<br>830600118  | PD-L1の発現を確認した検査の実施年月日(キイトルーダ点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>PD-L1の発現を確認した検査結果(発現率)(キイトルーダ点滴静注):*****  |   |   |  |  |  |
|   |                        |  | (本製剤を他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合)<br>次に掲げる併用投与のうち、該当するもの(「併用投与A」又は「併用投与イ」と記載)を記載すること。<br>ア カルボプラチン及びパクリタキセル又は nab-paクリタキセルとの併用投与<br>イ カルボプラチン及びパクリタキセル又は nab-paクリタキセルとの併用投与   | 820600174   | 併用投与A(キイトルーダ点滴静注)<br>併用投与イ(キイトルーダ点滴静注)  |   |   |  |  |  |
| 59  | キイトルーダ点滴静注100mg        | 再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「施設要件A」又は「施設要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、造血器悪性腫瘍のがん薬物療法を含む臨床腫瘍学の研修を行っていること。   | 820600146<br>820600148  | 施設要件A(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件イ(キイトルーダ点滴静注)  |   |   |  |  |  |
|   |                        |  | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「施設要件A」又は「施設要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有しており、うち、2年以上は、原発上皮癌のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。  | 820600146<br>820600148  | 施設要件A(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件イ(キイトルーダ点滴静注)  |   |   |  |  |  |
| 61  | キイトルーダ点滴静注100mg        | がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイグロサチン不安定性(MSI-High)を有する固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る) | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「施設要件A」又は「施設要件イ」と記載)を記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、対象となる癌種領域でがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。  | 820600146<br>820600148  | 施設要件A(キイトルーダ点滴静注)<br>施設要件イ(キイトルーダ点滴静注)  |   |   |  |  |  |
|   |                        |  | MSI-Highを確認した検査の実施年月日   | 850600021   | MSI-Highを確認した検査の実施年月日(キイトルーダ点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日  |   |   |  |  |  |



| RO<br>項目 | 医薬品名称  | 効能・効果                    | 記載事項  | シレボト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるシレボト表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|--|--------------------------|---|----------------------|---|--------------------|
| 71       | キイトルーダ点滴静注100mg  | 進行又は再発の子宮頸癌              | がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、婦人科腫瘍のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。<br>本製剤を前薬物療法として他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合、次に掲げる併用投与のうち、該当するもの(「併用投与A」又は「併用投与B」)に記載することを記載すること。<br>ア パブリタキセル及びプラチナ製剤との併用投与<br>イ パブリタキセル、プラチナ製剤及びベパシズマブとの併用投与  | 820600148            | 医師要件イ(キイトルーダ点滴静注)   |                    |
|          |  |                          |   | 820600171            | 併用投与A(キイトルーダ点滴静注)   |                    |
|          |  |                          |   | 820600174            | 併用投与イ(キイトルーダ点滴静注)   |                    |
| 72       | キイトルーダ点滴静注100mg  | 再発又は難治性の原発性腫瘍大細胞型B細胞リンパ腫 | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」)に記載することを記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、造血系悪性腫瘍のがん薬物療法を含む臨床血液学の研修を行っていること。   | 820600146            | 医師要件A(キイトルーダ点滴静注)   |                    |
|          |  |                          |   | 820600148            | 医師要件イ(キイトルーダ点滴静注)   |                    |
| 73       | キムリア点滴静注   |                          | 投与開始に当たっては、次に掲げる施設のうち、該当するものを記載すること。(「施設要件A」又は「施設要件イ」に記載)ア 日本造血・免疫細胞療法学会が定める移植施設認定基準の全ての項目を満たす診療科(認定カテゴリー)を有する施設<br>イ 認定カテゴリー1に準ずる診療科(認定基準のうち、移植コーディネーターの配置に係る基準以外を満たす診療科)を有する施設  | 820600052            | 施設要件A(キムリア点滴静注)   |                    |
|          |  |                          |   | 820600053            | 施設要件イ(キムリア点滴静注)   |                    |
|          |  |                          | 再発又は難治性のCD19陽性のB細胞性急性リンパ芽球性白血病本製品の効能、効果又は性能に関連する使用上の注意において「CD19抗原が陽性であることが確認された患者に使用すること」と記載されていること、CD19抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日について記載すること。  | 850600025            | CD19抗原が陽性であることを確認した検査の実施年月日(キムリア点滴静注);(元号)yy'年'mm'月'dd'日          |                    |
| 74       | クリスピータ皮下注10mg<br>クリスピータ皮下注20mg<br>クリスピータ皮下注30mg  |                          | 本剤の効能又は効果は「FGF23関連低リン血症性(骨軟化症)であり、FGF23の過剰産生により血清リン濃度が低下している患者を対象」として、本品の投与が適切であると判断される患者であって、かつ閉塞性動脈硬化症の患者は以下のすべての要件を満たした場合、パーチャー病の患者は以下の①～③の要件を満たした場合に限り算定できるものであること。なお、病態によって④の指標の測定が困難な閉塞性動脈硬化症患者においては、虚血に基づく潰瘍であると判断した血行動態指標(足趾血圧、足趾上腕血圧比(TB))等の測定値を記載すること。<br>① 血管造影、コンピュータ断層造影(CT)又は磁気共鳴造影(MRA)により投与対象肢の遠大動脈、膝動脈、膝動脈又は膝窩下の動脈に閉塞又は狭窄部が認められ、かつ潰瘍を有していること。<br>② 投与対象肢の血行再建術(血管内治療を含む)の適応が困難であること。<br>③ 既存の内科治療や薬物による対象肢の症状の改善が認められないこと。<br>④ 対象肢の血行動態の指標が、以下の条件をいずれも満たすこと。<br>ア 安静時上腕・足関節血圧比(ABPI)が0.6以下であること<br>イ 足関節血圧が70mmHg未満であること  | 850600026            | FGF23の過剰産生確認した検査の実施年月日(クリスピータ皮下注10mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日         |                    |
|          |  |                          |   | 850600027            | FGF23の過剰産生確認した検査の実施年月日(初回投与)(クリスピータ皮下注10mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日   |                    |
| 75       | コラテジエン筋注用4mg   |                          | 本品の効能、効果又は性能において、「標準的な薬物治療の効果が不十分で血行再建術の施行が困難な慢性動脈閉塞性」とされていることから、本品の投与が適切であると判断される患者であって、かつ閉塞性動脈硬化症の患者は以下のすべての要件を満たした場合、パーチャー病の患者は以下の①～③の要件を満たした場合に限り算定できるものであること。なお、病態によって④の指標の測定が困難な閉塞性動脈硬化症患者においては、虚血に基づく潰瘍であると判断した血行動態指標(足趾血圧、足趾上腕血圧比(TB))等の測定値を記載すること。<br>① 血管造影、コンピュータ断層造影(CT)又は磁気共鳴造影(MRA)により投与対象肢の遠大動脈、膝動脈、膝動脈又は膝窩下の動脈に閉塞又は狭窄部が認められ、かつ潰瘍を有していること。<br>② 投与対象肢の血行再建術(血管内治療を含む)の適応が困難であること。<br>③ 既存の内科治療や薬物による対象肢の症状の改善が認められないこと。<br>④ 対象肢の血行動態の指標が、以下の条件をいずれも満たすこと。<br>ア 安静時上腕・足関節血圧比(ABPI)が0.6以下であること<br>イ 足関節血圧が70mmHg未満であること   | 842600009            | 虚血に基づく潰瘍であると判断した血行動態指標(足趾血圧、足趾上腕血圧比(TB))等の測定値(コラテジエン筋注用4mg);***** |                    |
| 76       | ザコーリカプセル200mg<br>ザコーリカプセル250mg   |                          | 本製剤の効能・効果に関連する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、ALK融合遺伝子陽性又はROS1融合遺伝子陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、ALK融合遺伝子陽性又はROS1融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600028            | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(ザコーリカプセル200mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日        |                    |
|          |  |                          |   | 850600029            | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ザコーリカプセル200mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日  |                    |
|          |  |                          |   | 850600030            | ROS1融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(ザコーリカプセル200mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日       |                    |
|          |  |                          |   | 850600031            | ROS1融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ザコーリカプセル200mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日 |                    |
| 77       | サイバイン錠50mg<br>サイバイン錠100mg<br>サイバイン錠200mg   |                          | 本製剤の投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。なお、本製剤の継続投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。<br>1 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」)から「医師要件ウ」までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 成人アトピー性皮膚炎患者又は小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の皮膚科診療の臨床研修を行っていること。<br>イ 成人アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、6年以上の臨床経験を有していること。<br>ウ 小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の小児科診療の臨床研修及び3年以上のアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を含む6年以上の臨床経験を有していること。<br>2 本剤投与前の抗炎症外用薬による治療の状況(「前治療要件A」又は「前治療要件イ」)に記載すること。<br>ア 12歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインで重症度に応じて推奨されるステロイド外用薬(ストロングラス以上)やカルシニューリン阻害外用薬による適切な治療を連日の6か月以上行っていること。<br>イ 12歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、ステロイド外用薬/カルシニューリン阻害外用薬に対する過敏症、顕著な局所副作用等もしくは全身副作用等により、これらの抗炎症外用薬のみによる治療の継続が困難であること。<br>3 疾患活動性の状況として、次に掲げるすべての項目の数値<br>ア IGAスコア<br>イ 全身又は顔頸部のEASIスコア<br>ウ 体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) | 820600054            | 医師要件A(サイバイン錠50mg等)  |                    |
|          |  |                          |   | 820600055            | 医師要件イ(サイバイン錠50mg等)  |                    |
|          |  |                          |   | 820600056            | 医師要件ウ(サイバイン錠50mg等)  |                    |
|          |  |                          |   | 820600057            | 前治療要件A(サイバイン錠50mg等)   |                    |
|          |  |                          |   | 820600058            | 前治療要件イ(サイバイン錠50mg等)   |                    |
|          |  |                          |   | 830600031            | IGAスコア(サイバイン錠50mg等);*****   |                    |
|          |  |                          |   | 830600032            | 全身のEASIスコア(サイバイン錠50mg等);*****                                     |                    |
|          |  |                          |   | 830601119            | 顔頸部のEASIスコア(サイバイン錠50mg等);*****                                    |                    |
|          |  |                          |   | 842600010            | 体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) (サイバイン錠50mg等);*****                      |                    |
| 78       | サイラムザ点滴静注液100mg<br>サイラムザ点滴静注液500mg   |                          | 本製剤をがん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能肝細胞癌に用いる場合は、効能・効果に関連する使用上の注意において、「本剤の使用にあたっては、初回投与時の血清AFP値に基づき、適応患者の選択を行うこと。」とされているので、本剤の投与開始に当たっては、AFPの検査値及び当該検査の実施年月日を記載すること。   | 830600033            | AFPの検査値(サイラムザ点滴静注液100mg等);*****                                   |                    |
|          |  |                          |   | 850600032            | AFP検査の実施年月日(サイラムザ点滴静注液100mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                  |                    |
| 79       | ザルティア錠2.5mg<br>ザルティア錠5mg<br>タダラフィル錠2.5mgZA「サイ」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「フー」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「日露」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「ニブ」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「あすか」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「香林」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「サント」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「JG」<br>タダラフィルOD錠2.5mgZA「トー」<br>タダラフィル錠5mgZA「サフ」<br>タダラフィル錠5mgZA「フソ」<br>タダラフィル錠5mgZA「日工」<br>タダラフィル錠5mgZA「ニブ」<br>タダラフィル錠5mgZA「あすか」<br>タダラフィル錠5mgZA「香林」<br>タダラフィル錠5mgZA「サント」<br>タダラフィルOD錠5mgZA「トー」<br>タダラフィル錠2.5mgZA「シオエ」<br>タダラフィル錠5mgZA「シオエ」 |                          | 本製剤の効能・効果に関連する使用上の注意において「本剤の適用にあたっては、前立腺癌の診断・診療に関する国内内外のガイドライン等の最新の情報を参考に、適切な検査により診断を確定すること」とされており、適切な検査により前立腺癌と診断された場合に限り算定できること。また、尿流測定検査、残尿検査、前立腺超音波検査等の診断に用いた主な検査について、実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600136            | 診断に用いた主な検査の実施年月日(ザルティア錠2.5mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                 |                    |
|          |  |                          |   | 850600137            | 診断に用いた主な検査の実施年月日(初回投与)(ザルティア錠2.5mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日           |                    |
|          |  |                          |   | 850600138            | 診断に用いた主な検査の実施年月日(タダラフィル錠2.5mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                |                    |
|          |  |                          |   | 850600139            | 診断に用いた主な検査の実施年月日(初回投与)(タダラフィル錠2.5mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日          |                    |
| 80       | ジカディア錠150mg  |                          | 本製剤の効能・効果に関連する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、ALK融合遺伝子陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。   | 850600033            | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(ジカディア錠150mg);(元号)yy'年'mm'月'dd'日           |                    |
| 81       | ジャクスタピッドカプセル5mg<br>ジャクスタピッドカプセル10mg<br>ジャクスタピッドカプセル20mg  | ホモ接合体家族性高コレステロール血症       | 本製剤の効能・効果は「ホモ接合体家族性高コレステロール血症」であることから、次のいずれかを記載すること。<br>① 本疾患に係る特定医療費(指定難病)医療受給者証の交付を受けていること。<br>② 本疾患の診断根拠(遺伝子診断、コレステロール値、重症の高コレステロール血症の徴候等)   | 820600243            | 本疾患に係る特定医療費(指定難病)医療受給者証の交付を受けている(ジャクスタピッドカプセル5mg等)                |                    |
|          |  |                          |   | 830600035            | 診断根拠(遺伝子診断、コレステロール値、重症の高コレステロール血症の徴候等)(ジャクスタピッドカプセル5mg等);*****    |                    |
| 82       | ジャディア錠10mg   | 慢性腎臓病                    | 本製剤の効能又は効果に関連する使用上の注意において、「eGFRが20mL/min/1.73m <sup>2</sup> 未満の患者では、本剤の腎保護作用が十分に得られない可能性があること、本剤投与中、eGFRが低下することがあり、腎機能悪化が懸念されるおそれがあることから、投与の必要性を慎重に判断すること。」及び「臨床成績」の項の内容を熟知し、臨床試験に組み入れた患者の背景(疾患名、併用薬、腎機能等)を十分に理解した上で、慢性腎臓病に対するガイドラインにおける診断基準等を参考に、適応患者を選択すること」とされているので、本製剤の投与開始に当たっては、本製剤の適応患者であると判断した理由及び判断に用いた指標の値等(eGFRの値を含む。)を記載すること。   | 830600159            | 適応患者であると判断した理由(ジャディア錠10mg);*****                                  | ※                  |
|          |  |                          |   | 830600160            | 判断に用いた指標の値等(eGFRの値を含む。)(ジャディア錠10mg);*****                         | ※                  |
| 83       | シュレンカ錠300mg  |                          | 本製剤の効能又は効果は「多剤耐性HIV-1感染症」であり、効能又は効果に関連する使用上の注意において、「過去の治療において、本剤を含まない既存の抗レトロウイルス療法による適切な治療を行ってもウイルス学的抑制が得られなかった患者」及び「(多剤耐性検査)遺伝子型診断又はHIV-1感染診断検査(多剤耐性検査)の結果に基づき、本剤を含む抗レトロウイルス療法を開始する患者」の  | 850600184            | 最近の薬剤耐性検査の実施年月日(シュレンカ錠300mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                  | ※                  |

| IR<br>項番 | 医薬品名称                       | 効能・効果  | 記載事項  | シレボト電算処理<br>システム用コード  | 左記コードによるシレボト表示文言   | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|-----------------------------|--------|---|---|--|--------------------|
|          | シュンレンカ皮下注463.5mg            |        | 本剤は「本剤投与開始後、定期的に検査を実施し、検査結果に基づき、必要に応じて投与量を調整する。また、本剤の投与開始に当たっては、直近の薬剤耐性検査の実施年月日及び薬剤耐性が認められた全ての抗HIV薬の品名を記載すること。」とされているので、使用に当たっては十分留意すること。また、本剤の投与開始に当たっては、直近の薬剤耐性検査の実施年月日及び薬剤耐性が認められた全ての抗HIV薬の品名を記載すること。  | 830600161   | 薬剤耐性が認められた抗HIV薬の品名(シュンレンカ錠300mg等):*****  | ※                  |
| 84       | シンボニー皮下注50mgシリンジ            | 潰瘍性大腸炎 | 次の事項を記載すること。<br>ア 他の薬物療法として使用していた薬剤の品名及び使用期間<br>イ 本剤の投与が必要と判断した理由   | 830600038<br>830600039<br>830600040<br>830600041<br>830600042<br>830600043  | 他の薬物療法として使用していた薬剤の品名(シンボニー皮下注50mgシリンジ):*****<br>他の薬物療法として使用していた薬剤の使用期間(シンボニー皮下注50mgシリンジ):*****<br>投与が必要と判断した理由(シンボニー皮下注50mgシリンジ):*****<br>他の薬物療法として使用していた薬剤の品名(シンボニー皮下注50mgオートインジェクター):*****<br>他の薬物療法として使用していた薬剤の使用期間(シンボニー皮下注50mgオートインジェクター):*****<br>投与が必要と判断した理由(シンボニー皮下注50mgオートインジェクター):*****   |                    |
| 85       | ステロニン点滴静注バッグ9000mg/300mL    |        | 本剤の効能又は効果に関連する注意に、「化学放射線療法等の標準的な治療が可能な場合にはこれらの治療を優先すること。」と記載されているので、本剤の投与が必要と判断した理由を記載すること。   | 830600044   | 投与が必要と判断した理由(ステロニン点滴静注バッグ9000mg/300mL):*****   |                    |
| 86       | ステミラック注                     |        | 本製品の投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。<br>① 次に掲げる医師の要件のうち、本剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件I」と記載)<br>ア 医師免許取得後、脊髄領域を含む整形外科に関する10年以上の経験を有し、腎臓機能に関する十分な臨床経験(計30件以上)を有し、AIS評価が適切に行なわれること。<br>イ 医師免許取得後、脊髄領域を含む脳神経外科に関する10年以上の経験を有し、腎臓機能に関する十分な臨床経験(計30件以上)を有し、AIS評価が適切に行なわれること。<br>② 本製品の製造原料として最初末梢血の採血を行う時点及び本製品の投与する直前の時点におけるAIS<br>なお、供給当初においては、AISがAの患者を中心とした投与が適切であるとされていることから、供給可能量も踏まえAの患者を優先して対応すること。  | 820600064<br>820600065<br>830600045<br>830600046  | 医師要件A(ステミラック注)<br>医師要件I(ステミラック注)<br>製造原料として最初末梢血の採血を行う時点におけるAIS(ステミラック注):*****<br>本製品を投与する直前の時点におけるAIS(ステミラック注):*****  |                    |
| 87       | スピナザ錠注12mg                  |        | 効能・効果に関連する使用上の注意において「遺伝子検査により、SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることが確認された患者に投与すること。」とされているので、SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることを確認した遺伝子検査の実施年月日を記載すること。<br>ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。<br><br>(オナセム/ゲン アペル/ボベク(販売名:ゾルゲンスマ点滴静注)の投与後に本剤を投与する場合)<br>その必要性を適切に判断し、投与が必要なる理由を記載すること。  | 850600035<br>850600036<br>830600047<br>830600048  | SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることを確認した遺伝子検査の実施年月日(スピナザ錠注12mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し、SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることを確認した遺伝子検査の実施年月日(初回投与)(スピナザ錠注12mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>オナセム/ゲン アペル/ボベク(販売名:ゾルゲンスマ点滴静注)の投与後に本剤の投与が必要なる理由(スピナザ錠注12mg):*****<br>過去に実施した化学療法歴(ゼジュラカプセル100mg等):*****   |                    |
| 88       | ゼジュラカプセル100mg<br>ゼジュラ錠100mg |        | 本剤を「白金系抗悪性腫瘍剤感受性の相同組換え修復欠損を有する再発卵巣癌」に用いる場合は、効能又は効果に関連する使用上の注意において、「3つ以上の化学療法歴のある患者を対象とすること。」及び「承認された体外診断用医薬品又は医療機器を用いた検査により、相同組換え修復欠損を有することが確認された患者に投与すること。」とされているので、過去に実施した化学療法歴及び相同組換え修復欠損を有することを確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600037<br>850600038  | 相同組換え修復欠損を有することを確認した検査の実施年月日(ゼジュラカプセル100mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>相同組換え修復欠損を有することを確認した検査の実施年月日(初回投与)(ゼジュラカプセル100mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日   |                    |
| 89       | ゼフィックス錠100                  |        | 本剤の使用に当たっては、B型肝炎ウイルスの増殖を伴う肝機能の異常の確認が前提であり、HBV-DNA、DNAポリメラーゼ又はHBe抗原によりウイルスの増殖を確認した年月日(検査実施年月日)及びその結果を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 830600049<br>830600050<br>830600051<br>850600039<br>850600040   | HBV-DNA検査結果(ゼフィックス錠100):*****<br>DNAポリメラーゼ検査結果(ゼフィックス錠100):*****<br>HBe抗原検査結果(ゼフィックス錠100):*****<br>ウイルスの増殖を確認した年月日(検査実施年月日)(ゼフィックス錠100):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>ウイルスの増殖を確認した年月日(検査実施年月日)(初回投与)(ゼフィックス錠100):(元号)yy'年'mm'月'dd'日  |                    |
| 90       | ゼルボラフ錠240mg                 |        | 本剤の効能・効果に関連する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、BRAF遺伝子変異が確認された患者に投与すること。」とされているので、BRAF遺伝子変異を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600041<br>850600042  | BRAF遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(ゼルボラフ錠240mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>BRAF遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ゼルボラフ錠240mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日   |                    |
| 91       | ゾスバ錠40mg                    |        | 本剤の効能・効果に関連する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、FLT3遺伝子変異陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、FLT3遺伝子変異陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600043<br>850600044  | FLT3遺伝子変異陽性を確認した検査の実施年月日(ゾスバ錠40mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>FLT3遺伝子変異陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ゾスバ錠40mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日   |                    |
| 92       | ゾルゲンスマ点滴静注                  |        | 本品の効能・効果又は性能に関連する使用上の注意に、「SMN1遺伝子の両アレル性の欠失又は変異が確認された患者に投与すること。」と2歳未満の患者に投与すること。」及び「承認された体外診断用医薬品を用いた検査により抗AAV9抗体が陰性であることが確認された患者に投与すること。」とされているので、以下を記載すること。<br>・SMN1遺伝子の両アレル性の欠失又は変異を確認した遺伝子検査の実施年月日<br>・本品の投与日誌<br>・抗AAV9抗体が陰性であることを確認した検査の実施年月日  | 850600045<br>842600011<br>850600046   | SMN1遺伝子の両アレル性の欠失又は変異を確認した遺伝子検査の実施年月日(ゾルゲンスマ点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>本品の投与日誌<br>抗AAV9抗体が陰性であることを確認した検査の実施年月日(ゾルゲンスマ点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日  |                    |
|          |                             |        | ① 次に掲げる医師が本剤に関する治療の責任者として配置されている施設(「医師要件A」から「医師要件I」までのうち該当するもの)<br>【成人季節性アレルギー性鼻炎患者に投与する場合】<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、4年以上の耳鼻咽喉科診療の臨床研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、4年以上の耳鼻咽喉科診療の臨床研修を有し、そのうち3年以上は季節性アレルギー性鼻炎を含むアレルギー診療の臨床研修を行っていること。<br>【小児季節性アレルギー性鼻炎患者に投与する場合】<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、4年以上の耳鼻咽喉科診療の臨床研修を行っていること。<br>エ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の小児科診療の臨床研修かつ3年以上の季節性アレルギー性鼻炎を含むアレルギー診療の臨床研修を有していること。<br>② 投与量の設定に用いた血清中総IgE濃度及び当該検査の実施年月日<br>③ 患者がスギ花粉による季節性アレルギー性鼻炎であると判断した理由<br>④ 前スギ花粉シーズンにおける鼻症状及び本剤の投与時における鼻症状、および、しゃみ発作の1日回数、鼻の1日回数及び鼻閉の状態をそれぞれ記載すること。<br>⑤ 前スギ花粉シーズンに治療に用いた鼻噴霧用ステロイド及びケミカルメディエーター受容体拮抗薬の成分名及び一日投与量<br>⑥ 既存治療で効果不十分と判断した理由<br>⑦ アレルゲン免疫療法(減感作療法)に関する説明 | 820600251<br>820600252<br>820600253<br>820600254<br>830600122<br>850600140<br>830600052<br>842600012<br>842600013<br>830600053<br>842600014<br>842600015<br>830600054 | 医師要件A(ゾレア皮下注150mg等)<br>医師要件I(ゾレア皮下注150mg等)<br>医師要件ウ(ゾレア皮下注150mg等)<br>医師要件エ(ゾレア皮下注150mg等)<br>投与量の設定に用いた血清中総IgE濃度(ゾレア皮下注150mg等):*****<br>投与量の設定に用いた血清中総IgE濃度の実施年月日(ゾレア皮下注150mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日<br>スギ花粉による季節性アレルギー性鼻炎であると判断した理由(ゾレア皮下注150mg等):*****<br>前スギ花粉シーズンにおける鼻症状(しゃみ発作の1日回数)(ゾレア皮下注150mg等):*****<br>前スギ花粉シーズンにおける鼻症状(この鼻の1日回数)(ゾレア皮下注150mg等):*****<br>前スギ花粉シーズンにおける鼻症状(鼻閉の状態)(ゾレア皮下注150mg等):*****<br>本剤の投与時における鼻症状(しゃみ発作の1日回数)(ゾレア皮下注150mg等):*****<br>本剤の投与時における鼻症状(この鼻の1日回数)(ゾレア皮下注150mg等):*****<br>本剤の投与時における鼻症状(鼻閉の状態)(ゾレア皮下注150mg等):***** |                    |



| RO<br>項目 | 医薬品名称   | 効能・効果                    | 記載事項  | シレボト電算処理<br>システム用コード   | 左記コードによるシレボト表示文言   | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|---|--------------------------|---|--|--|--------------------|
|          |   |                          | エ 外科化学療法を併用し、外科療法で手術療法を行ったがん患者に対する手術療法と併用療法による治療を行うこと。<br>オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設  | 820600196  | 施設要件E(セントリク点滴静注)   |                    |
|          |   |                          |   | 820600199  | 施設要件オ(セントリク点滴静注)   |                    |
| 103      | セントリク点滴静注840mg<br>セントリク点滴静注1200mg                               | 切除不能進行・再発の非小細胞肺癌         | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肺癌のがん薬物療法を含む呼吸器病学の臨床研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、肺癌のがん薬物療法を含む5年以上の呼吸器外科の研修を行っていること。<br><br>(本製剤を他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合)<br>次に掲げる併用投与のうち、該当するもの(「併用投与A」から「併用投与ウ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア カルボプラチン、パクリタキセル及びビヘキサメブ(遺伝子組換え)との併用投与<br>イ 白金製剤(シスプラチン又はカルボプラチン)及びベメシドとの併用投与<br>ウ カルボプラチン及びパクリタキセル(アルブミン懸濁液)との併用投与<br><br>(本製剤を化学療法歴のないPD-L1陽性(TC3又はIC3)の切除不能進行・再発の非小細胞肺癌患者に単独で投与する場合)<br>EGFR遺伝子変異陰性、ALK融合遺伝子陰性及びPD-L1陽性(TC3又はIC3)を確認した検査の実施年月日を記載すること。   | 820600147<br>820600149<br>820600316<br>820600172<br>820600175<br>820600178<br>850600117<br>850600115<br>850600125              | 医師要件A(セントリク点滴静注)<br>医師要件イ(セントリク点滴静注)<br>医師要件ウ(セントリク点滴静注)<br>併用投与A(セントリク点滴静注)<br>併用投与イ(セントリク点滴静注)<br>併用投与ウ(セントリク点滴静注)<br>EGFR遺伝子変異陰性を確認した検査の実施年月日(セントリク点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>ALK融合遺伝子陰性を確認した検査の実施年月日(セントリク点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>PD-L1陽性(TC3又はIC3)を確認した検査の実施年月日(セントリク点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日' | ※                  |
| 104      | セントリク点滴静注840mg<br>セントリク点滴静注1200mg                               | 進展型小細胞肺癌                 | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肺癌のがん薬物療法を含む呼吸器病学の臨床研修を行っていること。  | 820600147<br>820600149   | 医師要件A(セントリク点滴静注)<br>医師要件イ(セントリク点滴静注)   |                    |
| 105      | セントリク点滴静注840mg<br>セントリク点滴静注1200mg                               | 乳癌                       | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肺癌のがん薬物療法を含む呼吸器病学の臨床研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上の乳癌のがん薬物療法を含む乳腺腫瘍学の臨床研修を行っていること。<br><br>PD-L1陽性、ホルモン受容体陰性及びHER2陰性であることを確認した検査の実施年月日を記載すること。  | 820600147<br>850600141<br>850600142<br>850600143   | 医師要件A(セントリク点滴静注)<br>PD-L1陽性であることを確認した検査の実施年月日(セントリク点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>ホルモン受容体陰性であることを確認した検査の実施年月日(セントリク点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>HER2陰性であることを確認した検査の実施年月日(セントリク点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'  |                    |
| 106      | セントリク点滴静注840mg<br>セントリク点滴静注1200mg                               | 切除不能肝細胞癌                 | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肝細胞癌のがん薬物療法を含む肝臓病学の臨床研修を行っていること。<br><br>本製剤投与時におけるChild-Pugh分類を記載すること。   | 820600147<br>820600149<br>830600114  | 医師要件A(セントリク点滴静注)<br>医師要件イ(セントリク点滴静注)<br>投与時におけるChild-Pugh分類(セントリク点滴静注):*****   |                    |
| 107      | セントリク点滴静注840mg<br>セントリク点滴静注1200mg                               | PD-L1陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法 | 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件イ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、肺癌のがん薬物療法を含む呼吸器病学の臨床研修を行っていること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、肺癌のがん薬物療法を含む5年以上の呼吸器外科の研修を行っていること。<br><br>PD-L1陽性(PD-L1発現率が1%以上)を確認した検査の実施年月日及び検査結果(発現率)を記載すること。  | 820600147<br>820600149<br>820600316<br>850600141<br>830600162  | 医師要件A(セントリク点滴静注)<br>医師要件イ(セントリク点滴静注)<br>医師要件ウ(セントリク点滴静注)<br>PD-L1陽性であることを確認した検査の実施年月日(セントリク点滴静注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>PD-L1発現率を確認した検査結果(発現率)(セントリク点滴静注):*****  | ※                  |
| 108      | テブトコ錠250mg  |                          | 本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「十分な経験を有する病歴医又は検査施設における検査により、MET遺伝子エクソ14スキッピング変異が確認された患者に投与すること」とされているので、MET遺伝子エクソ14スキッピング変異陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月の実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600144<br>850600145   | MET遺伝子エクソ14スキッピング変異陽性を確認した検査の実施年月日(テブトコ錠250mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'<br>MET遺伝子エクソ14スキッピング変異陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(テブトコ錠250mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |                    |
| 109      | テムセルHS注   |                          | 本品の警告において、「緊急時に十分対応できる医療施設において、造血細胞移植に関する十分な知識・経験を持つ医師のもとで、臨床検査による管理等の適切な対応がなされる体制下で本品を使用すること」、また、「効能・効果又は安全性に關する使用上の注意において、「ステロイド療法によっても十分な治療効果が得られない場合に使用すること」及び「本品の投与に関しては、急性GVHDの重症度等、「臨床成績」の項の内容を熟知し、本品の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと」とされていることから、このような場合に限り算定できるものであり、本品の使用が必要かつ有効と判断した理由を記載すること。  | 830600067  | 本品の使用が必要かつ有効と判断した理由(テムセルHS注):*****   |                    |
| 110      | デュピクセント皮下注300mgシリンジ<br>デュピクセント皮下注300mgペン<br>デュピクセント皮下注200mgシリンジ | アトピー性皮膚炎                 | 投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。なお、本製剤の継続投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。<br>1) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当する施設(「施設要件A」から「施設要件ウ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 成人アトピー性皮膚炎患者又は小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の皮膚科診療の臨床研修を行っていること。<br>イ 成人アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に6年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインで重症度に応じて推奨されるステロイド外用薬(ステロイド外用薬)又は小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の小児科診療の臨床研修及び3年以上のアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を含む6年以上の臨床経験を有していること。<br>2) 本剤投与前の抗炎症外用薬による治療の状況(「前治療要件A」から「前治療要件ウ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 成人アトピー性皮膚炎患者であって、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインで重症度に応じて推奨されるステロイド外用薬(ステロイド外用薬)又は小児アトピー性皮膚炎患者であって、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインで重症度に応じて推奨されるステロイド外用薬(ステロイド外用薬)又は小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、6か月以上を行っていること。<br>なお、ステロイド外用薬のステロイド外用薬で効果不十分の患者に対しては、本剤の投与を開始する前にステロイド外用薬のステロイド外用薬での治療も行うこと。<br>ウ 成人アトピー性皮膚炎患者又は小児アトピー性皮膚炎患者であって、ステロイド外用薬やカルシニューリン阻害剤外用薬に対する過敏症、顕著な局所副作用若しくは全身副作用により、これらの抗炎症外用薬のみによる治療の継続が困難。<br>3) 疾患活動性の状況として、次に掲げるすべての項目の数値<br>ア IGAスコア<br>イ 全身又は顔面のEASIスコア<br>ウ 体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) | 820600167<br>820600189<br>820600193<br>820600181<br>820600317<br>820600182<br>830600137<br>830600135<br>830600136<br>830600109 | 施設要件A(デュピクセント皮下注)<br>施設要件イ(デュピクセント皮下注)<br>施設要件ウ(デュピクセント皮下注)<br>前治療要件A(デュピクセント皮下注)<br>前治療要件イ(デュピクセント皮下注)<br>前治療要件ウ(デュピクセント皮下注)<br>IGAスコア(デュピクセント皮下注):*****<br>全身のEASIスコア(デュピクセント皮下注):*****<br>顔面のEASIスコア(デュピクセント皮下注):*****<br>体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) (デュピクセント皮下注):*****                                   | ※                  |
| 111      | デュピクセント皮下注300mgシリンジ<br>デュピクセント皮下注300mgペン                        | 喉等奇腫瘍                    | 投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。<br>1) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当する施設(「施設要件A」から「施設要件ウ」)までのうち該当するものを記載すること。<br>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の気管支喘息に関する呼吸器科診療の臨床研修を含む4年以上の臨床経験を有していること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の気管支喘息に関するアレルギー診療の臨床研修を含む4年以上の臨床経験を有していること。<br>ウ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の小児科診療の臨床研修かつ3年以上の気管支喘息に関するアレルギー診療の臨床研修を含む4年以上の臨床経験を有していること。   | 820600167<br>820600189<br>820600193  | 施設要件A(デュピクセント皮下注)<br>施設要件イ(デュピクセント皮下注)<br>施設要件ウ(デュピクセント皮下注)  |                    |



| RS<br>項番 | 医薬品名称  | 効能・効果  | 記載事項   | シレボト電算処理<br>システム用コード                       | 左記コードによるシレボト表示文言   | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|--|--|--|--|--|--------------------|
| 122      | ハーセプチン注射用150<br>ハーセプチン注射用60<br>トラスズマブBS点滴静注用150mg<br>CTHJ<br>トラスズマブBS点滴静注用150mg<br>[NK]<br>トラスズマブBS点滴静注用150mg<br>「ファイザー」<br>トラスズマブBS点滴静注用150mg<br>「第一三共」<br>トラスズマブBS点滴静注用60mg「C<br>THJ<br>トラスズマブBS点滴静注用60mg「N<br>KJ<br>トラスズマブBS点滴静注用60mg<br>「ファイザー」<br>トラスズマブBS点滴静注用60mg「第<br>一三共」 |  | なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600058                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ハーセプチン注射用60等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日'              |                    |
|          |  |  | トラスズマブ BS 点滴静注用 60mg「NKJ」、同 150mg「NKJ」、同 60mg「CTHJ」及び同 150mg「CTHJ」   | 850600059                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(トラスズマブBS点滴静注用60mg「NKJ」等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日'         |                    |
|          |  |  | 本製剤の使用上の注意において、「HER2 過剰発現の検査は、十分な経験を有する病理医又は検査施設において実施すること。」と記載されているため、HER2 過剰発現を確認した検査の実施年月日を記載すること。なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600060                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(初回投与)(トラスズマブBS点滴静注用60mg「NKJ」等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日'   |                    |
|          |  |  | トラスズマブ BS 点滴静注用 60mg「第一三共」及び同 150mg「第一三共」  | 850600062                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(トラスズマブBS点滴静注用60mg「CTHJ」等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日'        |                    |
|          |  |  | トラスズマブ BS 点滴静注用 60mg「第一三共」及び同 150mg「第一三共」  | 850600063                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(トラスズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日'        |                    |
|          |  |  | 本製剤の使用上の注意において、「HER2 過剰発現の検査は、十分な経験を有する病理医又は検査施設において実施すること。」と記載されているため、HER2 過剰発現を確認した検査の実施年月日を記載すること。なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600064                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(初回投与)(トラスズマブBS点滴静注用60mg「ファイザー」等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日' |                    |
|          |  |  | トラスズマブ BS 点滴静注用 60mg「ファイザー」及び同 150mg「ファイザー」  | 850600065                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(トラスズマブBS点滴静注用60mg「ファイザー」等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日'       |                    |
|          |  |  | 本製剤の使用上の注意において、「HER2 過剰発現の検査は、十分な経験を有する病理医又は検査施設において実施すること。」と記載されているため、HER2 過剰発現を確認した検査の実施年月日を記載すること。なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600066                                  | HER2過剰発現を確認した検査の実施年月日(初回投与)(トラスズマブBS点滴静注用60mg「ファイザー」等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日' |                    |
| 123      | バイアグラ錠25mg<br>バイアグラ錠50mg<br>バイアグラODフィルム錠25mg<br>バイアグラODフィルム錠50mg<br>シアリス錠5mg<br>シアリス錠10mg<br>シアリス錠20mg   | 勃起不全による男性<br>不妊の治療を目的<br>として一般不妊治療<br>におけるタイミング法<br>において用いる場合  | 以下の事項を記載すること。<br>① 投与を行う医師に係る要件として次に掲げるもののうち、該当するもの(「投与医薬品A」又は「投与医薬品B」と記載)ア 泌尿器科について5年以上の経験を有する医師<br>イ A以外で、特段の理由がある場合<br>② 上記①に該当する場合、当該理由  | 820600318                                  | 投与医薬品A(バイアグラ錠25mg等)  | ※                  |
|          |  |  |  | 820600319                                  | 投与医薬品B(バイアグラ錠25mg等)  | ※                  |
|          |  |  |  | 830600169                                  | 投与医薬品Bに該当する理由(バイアグラ錠25mg等)；*****   | ※                  |
|          |  |  |  | 820600320                                  | 一般不妊治療管理料又は生殖補助医療管理料の管理料に係る医学的管理を受けているのが、本製剤を投与する患者(バイアグラ錠25mg等)           | ※                  |
|          |  |  |  | 820600321                                  | 一般不妊治療管理料又は生殖補助医療管理料の管理料に係る医学的管理を受けているのが、本製剤を投与する患者のパートナー(バイアグラ錠25mg等)     | ※                  |
|          |  |  |  | 830600170                                  | 一般不妊治療管理料又は生殖補助医療管理料の管理料に係る医学的管理を行っている保険医療機関名(バイアグラ錠25mg等)；*****           | ※                  |
|          |  |  |  | 850600190                                  | 一般不妊治療管理料又は生殖補助医療管理料の管理料の算定が行われた年月(バイアグラ錠25mg等)；(元号)yy'年'mm'月'             | ※                  |
|          |  | (6か月を超えて投与を継続する場合)<br>継続の必要性を改めて検討し、必要と判断した理由及び初回投与の年月を記載すること。 | 830600171  | 6か月を超えて投与を継続する必要と判断した理由(バイアグラ錠25mg等)；***** | ※  |                    |
|          |  |  | 850600191  | 初回投与の年月(バイアグラ錠25mg等)；(元号)yy'年'mm'月'        | ※  |                    |
| 124      | バイロクト配合静注用   |  | 本製剤の使用に当たっては、血液凝固第四因子又は第五因子のインヒビターを保有することの確認が前提であり、インヒビター濃度の測定された年月日及び力価を記載すること。   | 830600129                                  | インヒビター力価(バイロクト配合静注用)；*****   |                    |
|          |  |  |  | 850600147                                  | インヒビター力価測定年月日(バイロクト配合静注用)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                              |                    |
| 125      | バクソミー点鼻粉末剤3mg  |  | 1回2瓶以上処方する場合は、複数必要と判断した理由を記載すること。  | 830600069                                  | 1回2瓶以上必要と判断した理由(バクソミー点鼻粉末剤3mg)；*****                                       |                    |
| 126      | バクトロバン鼻腔用軟膏2%  |  | 易感染患者から隔離することが困難な入院患者に対する使用に当たっては、やむを得ず、二名以下の患者が収容されている病室にMRSA感染症発症の危険性の高い免疫機能の低下状態にある患者(易感染患者)とともに入院している者に対して使用した場合に限り算定できるものであること。<br>その場合、易感染患者から隔離することが困難な入院患者の使用に係る薬剤料はMRSA感染症発症の危険性の高い免疫機能の低下状態にある患者(易感染患者)の分として算定し、MRSA感染症発症の危険性の高い免疫機能の低下状態にある患者(易感染患者)の診療報酬明細書に易感染患者から隔離することが困難な入院患者に投与した旨を記載すること。  | 820600078                                  | 易感染患者から隔離することが困難な入院患者に投与(バクトロバン鼻腔用軟膏2%)                                    |                    |
| 127      | パドセブ点滴静注用20mg<br>パドセブ点滴静注用30mg   |  | 本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「本剤の一次治療における有効性及び安全性は確立していない。」及び「PD1/PDL1阻害剤による治療のない患者における本剤の有効性及び安全性は確立していない。」と記載されているので、PD1/PDL1阻害剤を含む化学療法による治療を有する患者に投与すること、その旨を記載すること。   | 820600079                                  | PD1/PDL1阻害剤を含む化学療法による治療を有する患者に投与(パドセブ点滴静注用20mg等)                           |                    |
| 128      | パベンチオ点滴静注200mg   | メルケル細胞癌  | 820600244  | 施設要件A(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600245  | 施設要件B(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600246  | 施設要件C(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600247  | 施設要件D(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600248  | 施設要件E(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600249  | 施設要件F(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600250  | 施設要件G(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 次の事項を記載すること。<br>1) 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件A」から「施設要件G」までのうち該当するものを記載)ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院)イ 特定医療機関ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍学化学療法診療科1又は外来腫瘍学化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設オ 抗癌性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設<br>2) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件B」と記載)ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上の皮膚悪性腫瘍診療の臨床経験を有していること。                                    | 820600244                                  | 施設要件A(パベンチオ点滴静注200mg)  |                    |
|          |  |  | 820600245  | 施設要件B(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600246  | 施設要件C(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600247  | 施設要件D(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600248  | 施設要件E(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600249  | 施設要件F(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600250  | 施設要件G(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
| 129      | パベンチオ点滴静注200mg   | 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌の治療  | 820600244  | 施設要件A(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600245  | 施設要件B(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600246  | 施設要件C(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600247  | 施設要件D(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600248  | 施設要件E(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600249  | 施設要件F(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600250  | 施設要件G(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 次の事項を記載すること。<br>1) 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件A」から「施設要件G」までのうち該当するものを記載)ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院)イ 特定医療機関ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍学化学療法診療科1又は外来腫瘍学化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設オ 抗癌性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設<br>2) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」又は「医師要件B」と記載)ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の泌尿器科の臨床研修を行っており、うち、2年以上は、腎細胞癌のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。 | 820600244                                  | 施設要件A(パベンチオ点滴静注200mg)  |                    |
|          |  |  | 820600245  | 施設要件B(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600246  | 施設要件C(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600247  | 施設要件D(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600248  | 施設要件E(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600249  | 施設要件F(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |
|          |  |  | 820600250  | 施設要件G(パベンチオ点滴静注200mg)                      |  |                    |



| RO<br>項目  | 医薬品名称   | 効能・効果  | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|---|--|---|----------------------|---|--------------------|
| 130       | パベンチオ点滴静注200mg  | 根治切除不能な原発<br>上皮癌における化学<br>療法後の維持療法<br>の治療                | <p>記載事項</p> <p>次の事項を記載すること。</p> <p>1) 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件A」から「施設要件オ」までのうち該当するものを記載)</p> <p>ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院など)</p> <p>イ 特定機能病院</p> <p>ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)</p> <p>エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍化学療法診療科1又は外来腫瘍化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設</p> <p>オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設</p> <p>イ又は「施設要件イ」と記載</p> <p>ア 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床研修の研修を行っていること。</p> <p>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の泌尿器科の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、原路上皮癌のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。</p> | 820600244            | 施設要件A(パベンチオ点滴静注200mg)   |                    |
|           |   |  |   | 820600245            | 施設要件イ(パベンチオ点滴静注200mg)   |                    |
|           |   |  |   | 820600246            | 施設要件ウ(パベンチオ点滴静注200mg)   |                    |
|           |   |  |   | 820600247            | 施設要件エ(パベンチオ点滴静注200mg)   |                    |
|           |   |  |   | 820600248            | 施設要件オ(パベンチオ点滴静注200mg)   |                    |
|           |   |  |   | 820600249            | 施設要件ア(パベンチオ点滴静注200mg)   |                    |
| 820600250 | 施設要件イ(パベンチオ点滴静注200mg)   |  |   |                      |   |                    |
| 131       | ビラフピカセル50mg<br>ビラフピカセル75mg  | 共通   | <p>本製剤の効能・効果に関連する注意において、「十分な経歴を有する病理医又は検査施設における検査により、BRAF遺伝子変異が確認された患者に投与すること。」とされているので、BRAF遺伝子変異を確認した検査の実施年月日を記載すること。</p> <p>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。</p>   | 850600067            | BRAF遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(ビラフピカセル50mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日       |                    |
|           |   |  |   | 850600068            | BRAF遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ビラフピカセル50mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日 |                    |
|           |   |  |   | 830600070            | ピニチニブを併用する理由(ビラフピカセル50mg等);*****                              |                    |
| 132       | ビルテプノ点滴静注250mg  | がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒的切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌            | <p>本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「遺伝子検査により、エクソン53スキッピングにより治療可能なジストロフィン遺伝子の欠失(エクソン43-52、45-52、47-52、48-52、49-52、50-52、52欠失等)が確認されている患者に投与すること。」と記載されているので、遺伝子欠失を確認した検査の実施年月日を診療報酬明細書に記載すること。</p> <p>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。</p>  | 850600148            | 遺伝子欠失を確認した検査の実施年月日(ビルテプノ点滴静注250mg);(元号)yy'年'mm'月'dd'日         |                    |
|           |   |  |   | 850600149            | 遺伝子欠失を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ビルテプノ点滴静注250mg);(元号)yy'年'mm'月'dd'日   |                    |
| 133       | ビシメチン錠20mg  | トランスサイレチン型心アミロイドーシス(野生型及び変異型)                            | <p>本製剤を「トランスサイレチン型心アミロイドーシス(野生型及び変異型)」の効能・効果に使用する場合は、本製剤の薬剤料に「患者要件①」又は「患者要件②」と記載</p> <p>① 野生型の場合</p> <p>ア 心不全による入院歴又は利尿薬の投与を含む治療を必要とする心不全症状を有すること</p> <p>イ 心エコーによる拡張末期の心室中隔厚が12mmを超えること</p> <p>ウ 組織生検によるアミロイド沈着が認められること</p> <p>エ 免疫組織染色によりTTR 前駆タンパク質が同定されること</p> <p>② 変異型の場合</p> <p>ア 心不全症状及び心筋症と関連する TTR 遺伝子変異を有すること</p> <p>イ 心不全による入院歴又は利尿薬の投与を含む治療を必要とする心不全症状を有すること</p> <p>ウ 心エコーによる拡張末期の心室中隔厚が12mmを超えること</p> <p>エ 組織生検によるアミロイド沈着が認められること</p>   | 820600087            | 患者要件1(ビシメチン錠20mg)   |                    |
|           |   |  |   | 820600088            | 患者要件2(ビシメチン錠20mg)   |                    |
| 134       | ビシメチン錠61mg  |  | <p>次の①又は②のすべての要件を満たした場合に算定でき、いずれに該当するかを記載すること。(「患者要件①」又は「患者要件②」と記載)</p> <p>① 野生型の場合</p> <p>ア 心不全による入院歴又は利尿薬の投与を含む治療を必要とする心不全症状を有すること</p> <p>イ 心エコーによる拡張末期の心室中隔厚が12mmを超えること</p> <p>ウ 組織生検によるアミロイド沈着が認められること</p> <p>エ 免疫組織染色によりTTR 前駆タンパク質が同定されること</p> <p>② 変異型の場合</p> <p>ア 心不全症状及び心筋症と関連する TTR 遺伝子変異を有すること</p> <p>イ 心不全による入院歴又は利尿薬の投与を含む治療を必要とする心不全症状を有すること</p> <p>ウ 心エコーによる拡張末期の心室中隔厚が12mmを超えること</p> <p>エ 組織生検によるアミロイド沈着が認められること</p>  | 820600089            | 患者要件1(ビシメチン錠61mg)   |                    |
|           |   |  |   | 820600090            | 患者要件2(ビシメチン錠61mg)   |                    |
| 135       | ファイバ静注用1000   |  | <p>本製剤の使用に当たっては、インヒビター力価が測定されていることが前提であり、その測定された年月日及びその力価を記載すること。</p>   | 830600130            | インヒビター力価(ファイバ静注用1000);*****                                   |                    |
|           |   |  |   | 850600150            | インヒビター力価測定年月日(ファイバ静注用1000);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                 |                    |
| 136       | フェインジェクト静注500mg   |  | (本製剤投与前の血中Hb値及び血中Hb値が8.0g/dL以上の場合)<br>本製剤の投与が必要と判断した理由を記載すること。  | 830600071            | 投与が必要と判断した理由(フェインジェクト静注500mg);*****                           |                    |
| 137       | フェスゴ配合皮下注 MA<br>フェスゴ配合皮下注 IN  |  | <p>(HER2陽性の乳癌に用いる場合)</p> <p>効能又は効果に関連する注意において、「HER2陽性の検査は、十分な経歴を有する病理医又は検査施設において実施すること。」とされているので、HER2陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。</p> <p>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本製剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。</p> <p>(がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒的切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に用いる場合)</p> <p>効能又は効果に関連する注意において、「十分な経歴を有する病理医又は検査施設における検査により、HER2陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、HER2陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。</p> <p>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本製剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。</p>   | 850600192            | HER2陽性を確認した検査の実施年月日(フェスゴ配合皮下注MA等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日          | ※                  |
|           |   |  |   | 850600193            | HER2陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(フェスゴ配合皮下注MA等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日    | ※                  |
| 138       | フォシーガ錠5mg<br>フォシーガ錠10mg   | 慢性腎臓病  | <p>効能又は効果に関連する注意において、「eGFRが25mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満の患者では、本剤の腎保護作用が十分に得られない可能性があること、本剤投与前にCa<sup>2+</sup>が低下することがあり、腎機能障害が悪化するおそれがあること、投与の必要性を慎重に判断すること。」及び「臨床成績」の項の内容を熟知し、臨床試験に組み入れられた患者の背景(原疾患、併用薬、腎機能等)を十分に理解した上で、慢性腎臓病に対するガイドラインにおける診断基準等を参考に、適応患者を選択すること。」とされているので、本製剤の投与前に当たっては、本製剤の適応患者であると判断した理由及び判断に用いた指標の値等(eGFRの値を含む。)を記載すること。</p>  | 830600074            | 適応患者であると判断した理由(フォシーガ錠5mg等);*****                              |                    |
|           |   |  |   | 830600075            | 判断に用いた指標の値等(eGFRの値を含む。)(フォシーガ錠5mg等);*****                     |                    |
| 139       | プレラジ静注  |  | <p>本製品の投与開始に当たっては、次に掲げる施設のうち、該当するものを記載すること。「施設要件A」又は「施設要件B」と記載</p> <p>ア 日本造血・免疫細胞療法学会が定める移植施設認定基準の全ての項目を満たす診療科(認定カテゴリー)を有する施設</p> <p>イ 認定カテゴリー1に準ずる診療科(認定基準のうち、移植コーディネーターの配置に係る基準以外を満たす診療科)を有する施設</p>   | 820600105            | 施設要件A(プレラジ静注)   |                    |
|           |   |  |   | 820600106            | 施設要件イ(プレラジ静注)   |                    |
| 140       | ベイスン錠0.2<br>ベイスンOD錠0.2<br>ポグリホースODフィルム0.2「GQ」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「MED」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「クミファ」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「サワイ」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「カタタ」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「トーフ」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「日医工」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「武田テバ」<br>ポグリホースOD錠0.2mg「杏林」<br>ポグリホース錠0.2mg「IG」<br>ポグリホース錠0.2mg「NP」<br>ポグリホース錠0.2mg「NS」<br>ポグリホース錠0.2mg「TOK」<br>ポグリホース錠0.2mg「TD」<br>ポグリホース錠0.2mg「クミファ」<br>ポグリホース錠0.2mg「サワイ」<br>ポグリホース錠0.2mg「カタタ」<br>ポグリホース錠0.2mg「トーフ」<br>ポグリホース錠0.2mg「杏林」<br>ポグリホース錠0.2mg「日医工」<br>ポグリホース錠0.2mg「武田テバ」<br>ポグリホース錠0.2mg「VTRS」 | 耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制(ただし、食事療法及び運動療法を十分に実行しても改善されない場合に限る。) | <p>耐糖能異常と判断した根拠(判断した年月日とその結果)、食事療法及び運動療法を3~6ヶ月間行っても改善されなかった旨及び高血圧症又は脂質異常症の診断等を記載すること。</p>   | 830600081            | 耐糖能異常と判断した根拠(ベイスン錠0.2等);*****                                 |                    |
|           |   |  |   | 850600073            | 耐糖能異常と判断した年月日(ベイスン錠0.2等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                   |                    |
|           |   |  |   | 820600107            | 食事療法及び運動療法を3~6ヶ月間行っても改善されなかった(ベイスン錠0.2等)                      |                    |
|           |   |  |   | 830600082            | 高血圧症又は脂質異常症の診断名(ベイスン錠0.2等);*****                              |                    |
|           |   |  |   | 850600074            | ホルモン受容体陽性を確認した検査の実施年月日(ベジーネ錠50mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日         |                    |

| RO<br>項目  | 医薬品名称                                     | 効能・効果                            | 記載事項   | レポート番号処理<br>システム用コード | 左記コードによるレポート表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|---|----------------------------------|--|----------------------|---|--------------------|
| 141       | ベージニオ錠50mg<br>ベージニオ錠100mg<br>ベージニオ錠150mg  |                                  | 本製剤の効能・効果は「ホルモン受容体阻害剤かつHER2阻害剤の手術不能又は再発乳癌」及び「ホルモン受容体阻害剤かつHER2阻害剤で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法」であることから、ホルモン受容体阻害剤、HER2阻害剤であることを確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600075            | ホルモン受容体阻害剤を確認した検査の実施年月日(初回投与)<br>(ベージニオ錠50mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'            |                    |
|           |   |                                  |  | 850600076            | HER2阻害剤を確認した検査の実施年月日(ベージニオ錠50mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                         |                    |
|           |   |                                  |  | 850600077            | HER2阻害剤を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ベージニオ錠50mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                   |                    |
| 142       | ベスボンサ点滴静注用1mg                             |                                  | 本製剤の使用上の注意において「フローサイトメトリ法等の検査によって、CD22阻害剤が陽性であることが確認された患者に使用すること」とされているので、CD22阻害剤を確認した検査の実施年月日を記載すること。なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては必ず実施年月日を記載すること。   | 850600078            | CD22阻害剤を確認した検査の実施年月日(ベスボンサ点滴静注用1mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                       |                    |
|           |   |                                  |  | 850600079            | CD22阻害剤を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ベスボンサ点滴静注用1mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                 |                    |
| 143       | ペマジュール錠4.5mg                              | がん化学療法後に増悪したFGFR2融合遺伝子陽性の治療不能胆道癌 | 本製剤の効能・効果は効果に関する注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設により、FGFR2融合遺伝子が確認された患者に投与すること。」とされているので、投与開始に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600080            | FGFR2融合遺伝子を確認した検査の実施年月日(ペマジュール錠4.5mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                     |                    |
|           |   |                                  |  | 850600081            | FGFR2融合遺伝子を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ペマジュール錠4.5mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'               |                    |
|           |   |                                  |  | 850600194            | 8p11染色体領域の転座を確認した検査の実施年月日(ペマジュール錠4.5mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 850600195            | 8p11染色体領域の転座を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ペマジュール錠4.5mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'             | ※                  |
| 144       | ペリキユーホ錠2.5mg<br>ペリキユーホ錠5mg<br>ペリキユーホ錠10mg |                                  | 効能又は効果に関する注意において、「左室駆出率の保たれた慢性心不全における本剤の有効性及び安全性は確立していないため、左室駆出率の低下した慢性心不全患者に投与すること。」とされているので、投与開始に当たっては、左室駆出率の計測年月日及び左室駆出率の値を記載すること。<br>なお、他の医療機関で左室駆出率を測定した場合には、当該測定結果及び医療機関名を記載することで差し支えない。   | 850600082            | 左室駆出率の計測年月日(ペリキユーホ錠2.5mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                                |                    |
|           |   |                                  |  | 830600083            | 左室駆出率の値(ペリキユーホ錠2.5mg等):*****  |                    |
|           |   |                                  |  | 830600084            | 左室駆出率を測定した医療機関名(他の医療機関で測定した場合)(ペリキユーホ錠2.5mg等):*****                           |                    |
| 145       | ボテジジオ点滴静注20mg                             |                                  | 本製剤の効能・効果に関する使用上の注意において、「CCR4阻害剤の成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)、再発又は難治性のCCR4阻害剤の末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)の場合、CCR4阻害剤は、フローサイトメトリ(FCM)又は免疫組織化学染色(IHC)法により検査を行い、陽性であることが確認されている患者のみに投与すること。」とされているので、CCR4阻害剤を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600083            | CCR4阻害剤を確認した検査の実施年月日(ボテジジオ点滴静注20mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                       |                    |
|           |   |                                  |  | 850600084            | CCR4阻害剤を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ボテジジオ点滴静注20mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                 |                    |
| 146       | ミカトリオ配合錠                                  |                                  | 本製剤への切り替えに当たっては、次の事項を切り替えた月に記載すること。<br>(1) テルミサルタン80mg、アムロジピン5mg及びヒドロクロロチアジド12.5mgの併用療法として使用していた品名及び使用期間<br>(2) テルミサルタン80mg、アムロジピン5mg及びヒドロクロロチアジド12.5mgの併用療法において、安定した血圧コントロールが得られていると判断した際に参照した血圧測定値及び当該血圧測定の実施年月日   | 830600085            | テルミサルタン80mg、アムロジピン5mg及びヒドロクロロチアジド12.5mgの併用療法として使用していた品名(ミカトリオ配合錠):*****       |                    |
|           |   |                                  |  | 830600086            | テルミサルタン80mg、アムロジピン5mg及びヒドロクロロチアジド12.5mgの併用療法として使用していた使用期間(ミカトリオ配合錠):*****     |                    |
|           |   |                                  |  | 830600131            | 併用療法において安定した血圧コントロールが得られていると判断した際に参照した血圧測定値(ミカトリオ配合錠):*****                   |                    |
|           |   |                                  |  | 850600151            | 併用療法において安定した血圧コントロールが得られていると判断した際に参照した血圧測定実施年月日(ミカトリオ配合錠):(元号)yy'年'mm'月'dd'日' |                    |
| 147       | ミチーガ皮下注用60mgシリンジ                          | アトピー性皮膚炎に伴うそう痒                   | 本製剤の投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。なお、本製剤の継続投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。<br>1) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」から「医師要件U」までのうち該当するものを記載)<br>ア 成人アトピー性皮膚炎患者又は小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の皮膚科診療の臨床研修を行っていること。<br>イ 成人アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に6年以上の臨床経験を有し、そのうち3年以上はアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を行っていること。<br>ウ 小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の小児科診療の臨床研修及び3年以上のアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を含む6年以上の臨床経験を有すること。<br>2) 本剤投与前の治療の状況<br>ア 13歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、本剤投与前にステロイド外用薬(ストロングクラス以上)又はカルシニューリン阻害外用薬を行った治療期間(4週間未満又は行っていない場合はその理由)<br>イ 13歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、本剤投与前に抗ヒスタミン薬又は抗アレルギー薬による内服治療を行った治療期間(2週間未満又は行っていない場合はその理由)<br>3) 疾患活動性の状況として、次に掲げるすべての項目の値。ただし、ア及びイについては、本製剤投与前2日前から本剤投与前直前までの3日間全ての値を記載すること。<br>ア 痒みVAS 又はそう痒NRS<br>イ かゆみスコア<br>ウ EASIスコア | 820600322            | 医師要件A(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ)   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 820600323            | 医師要件イ(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ)   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 820600324            | 医師要件ウ(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ)   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 830600172            | ステロイド外用薬(ストロングクラス以上)又はカルシニューリン阻害外用薬を行った治療期間(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****           | ※                  |
|           |   |                                  |  | 830600173            | 4週間未満又は行っていない場合はその理由(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****                                  | ※                  |
|           |   |                                  |  | 830600174            | 抗ヒスタミン薬又は抗アレルギー薬による内服治療を行った治療期間(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****                       | ※                  |
|           |   |                                  |  | 830600175            | 2週間未満又は行っていない場合はその理由(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****                                  | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600030            | 痒みVASの値(投与前2日前)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****                                       | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600031            | 痒みVASの値(投与前1日前)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****                                       | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600032            | 痒みVASの値(投与前日)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600033            | 痒みNRSの値(投与前2日前)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****                                       | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600034            | 痒みNRSの値(投与前1日前)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****                                       | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600035            | 痒みNRSの値(投与前日)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****   | ※                  |
|           |   |                                  |  | 842600036            | かゆみスコア(投与前2日前)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****  | ※                  |
| 842600037 | かゆみスコア(投与前1日前)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****    | ※                                |  |                      |   |                    |
| 842600038 | かゆみスコア(投与前日)(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****      | ※                                |  |                      |   |                    |
| 842600039 | EASIスコア(ミチーガ皮下注用60mgシリンジ):*****           | ※                                |  |                      |   |                    |
| 148       | ムルプレタ錠3mg                                 |                                  | 本製剤の使用上の注意において、「開腹、開胸、開頭又は臓器切除を伴う観光的手術の場合は、本剤の投与を避けること。」とされていることから、このような症例には使用しないこと。また、観光的手術の名称及び実施予定年月日を記載すること。   | 830600087            | 観光的手術の名称(ムルプレタ錠3mg):*****   |                    |
|           |   |                                  |  | 850600085            | 観光的手術の実施予定年月日(ムルプレタ錠3mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                                  |                    |
| 149       | メキニスト錠0.5mg<br>メキニスト錠2mg                  |                                  | 本製剤の効能・効果に関する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、BRAF遺伝子変異が確認された患者に投与すること。」とされているので、BRAF 遺伝子変異を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600086            | BRAF 遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(メキニスト錠0.5mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                     |                    |
|           |   |                                  |  | 850600087            | BRAF 遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(初回投与)(メキニスト錠0.5mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'               |                    |
| 150       | メクトビ錠15mg                                 |                                  | 本製剤の効能・効果に関する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、BRAF遺伝子変異が確認された患者に投与すること。」とされているので、BRAF 遺伝子変異を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600088            | BRAF 遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(メクトビ錠15mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                        |                    |
|           |   |                                  |  | 850600089            | BRAF 遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(初回投与)(メクトビ錠15mg):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                  |                    |
|           |   |                                  |  | 850600090            | エクシズマブ(遺伝子組換え)投与を行った年月日(メナクトラ筋注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                          |                    |
|           |   |                                  |  | 850600091            | エクシズマブ(遺伝子組換え)投与を行う予定の年月日(メナクトラ筋注):(元号)yy'年'mm'月'dd'日'                        |                    |

| R0<br>項番  | 医薬品名称   | 効能・効果  | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|-----------|---|--|--|----------------------|--|--------------------|
| 151       | メナクトラ筋注   |  | 本製剤は、エクシズマブ(遺伝子組換え)、ラブリズマブ(遺伝子組換え)、ステムリマブ(遺伝子組換え)、ベグセタコプラン又はジルコプラナトリウム投与患者に使用した場合に限り算定できるものである。これらの製剤のうちいずれかの投与を行った又は行う予定の年月日を記載すること(同一の診療報酬明細書においてこれらの製剤のうちいずれかの投与が確認できる場合を除く。)   | 850600092            | ラブリズマブ(遺伝子組換え)投与を行った年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                |                    |
|           |   |  |  | 850600093            | ラブリズマブ(遺伝子組換え)投与を行う予定の年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日              |                    |
|           |   |  |  | 850600196            | ステムリマブ(遺伝子組換え)投与を行った年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                | ※                  |
|           |   |  |  | 850600197            | ステムリマブ(遺伝子組換え)投与を行う予定の年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日              | ※                  |
|           |   |  |  | 850600198            | ベグセタコプラン投与を行った年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                      | ※                  |
|           |   |  |  | 850600199            | ベグセタコプラン投与を行う予定の年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                    | ※                  |
|           |   |  |  | 850600200            | ジルコプラナトリウム投与を行った年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                    | ※                  |
| 850600201 | ジルコプラナトリウム投与を行う予定の年月日(メナクトラ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日 | ※  |  |                      |  |                    |
| 152       | メンクアッドフィ筋注  |  | 本製剤は、エクシズマブ(遺伝子組換え)、ラブリズマブ(遺伝子組換え)、ステムリマブ(遺伝子組換え)、ベグセタコプラン又はジルコプラナトリウム投与患者に使用した場合に限り算定できるものである。これらの製剤のうちいずれかの投与を行った又は行う予定の年月日を記載すること(同一の診療報酬明細書においてこれらの製剤のうちいずれかの投与が確認できる場合を除く。)   | 850600202            | エクシズマブ(遺伝子組換え)投与を行った年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日             | ※                  |
|           |   |  |  | 850600203            | エクシズマブ(遺伝子組換え)投与を行う予定の年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日           | ※                  |
|           |   |  |  | 850600204            | ラブリズマブ(遺伝子組換え)投与を行った年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日             | ※                  |
|           |   |  |  | 850600205            | ラブリズマブ(遺伝子組換え)投与を行う予定の年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日           | ※                  |
|           |   |  |  | 850600206            | ステムリマブ(遺伝子組換え)投与を行った年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日             | ※                  |
|           |   |  |  | 850600207            | ステムリマブ(遺伝子組換え)投与を行う予定の年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日           | ※                  |
|           |   |  |  | 850600208            | ベグセタコプラン投与を行った年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                   | ※                  |
|           |   |  |  | 850600209            | ベグセタコプラン投与を行う予定の年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                 | ※                  |
|           |   |  |  | 850600210            | ジルコプラナトリウム投与を行った年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日                 | ※                  |
|           |   |  |  | 850600211            | ジルコプラナトリウム投与を行う予定の年月日(メンクアッドフィ筋注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日               | ※                  |
| 153       | モノヴァー静注500mg<br>モノヴァー静注1000mg                     |  | (本製剤投与前の血中Hb値及び血中Hb値が8.0g/dL以上の場合)<br>本製剤の投与が必要と判断した理由を記載すること。   | 830600176            | 投与が必要と判断した理由(モノヴァー静注500mg等)：*****                                  | ※                  |
| 154       | ライアットMIBG-1131静注                                  |  | 本製剤の効能又は効果は「MIBG集積陽性の治療不能な褐色細胞腫・パラワングリオーマ」であり、MIBG集積陽性が確認された患者が対象であることから、MIBG集積陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本製剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600094            | MIBG集積陽性を確認した検査の実施年月日(ライアットMIBG-1131静注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日         |                    |
|           |   |  |  | 850600095            | MIBG集積陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ライアットMIBG-1131静注)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日   |                    |
| 155       | ラビフォートワイプ2.5%                                     |  | 本製剤の投与開始に当たっては、多汗症疾患重症度評価尺度(HDSS)を記載すること。  | 842600040            | 多汗症疾患重症度評価尺度(HDSS)(ラビフォートワイプ2.5%)：*****                            | ※                  |
| 156       | リツキシマブ点滴静注100mg<br>リツキシマブ点滴静注500mg                | CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫、CD20陽性の慢性リンパ性白血球病及び免疫抑制剤投与下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患 | CD20陽性を確認した検査の実施年月日について記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600096            | CD20陽性を確認した検査の実施年月日(リツキシマブ点滴静注100mg等)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日           |                    |
|           |   |  |  | 850600097            | CD20陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(リツキシマブ点滴静注100mg等)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日     |                    |
|           |   |  |  | 850600098            | CD20陽性を確認した検査の実施年月日(リツキシマブ点滴静注100mg「KHK」)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日       |                    |
|           |   |  |  | 850600152            | CD20陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(リツキシマブ点滴静注100mg「KHK」)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日 |                    |
| 157       | リットフォーカセル50mg                                     | CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫及び免疫抑制剤投与下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患                   | CD20陽性を確認した検査の実施年月日について記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 830600177            | 頭部全体に占める脱毛部位の割合(リットフォーカセル50mg)：*****                               | ※                  |
|           |   |  |  | 830600178            | 毛髪の自然再生が認められていない期間(リットフォーカセル50mg)：*****                            | ※                  |
| 158       | リトゴビ錠4mg  |  | 本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、FGFR2融合遺伝子が確認された患者に投与すること」とされているので、FGFR2融合遺伝子を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600212            | FGFR2融合遺伝子を確認した検査の実施年月日(リトゴビ錠4mg)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日               | ※                  |
|           |   |  |  | 850600213            | FGFR2融合遺伝子を確認した検査の実施年月日(初回投与)(リトゴビ錠4mg)：(元号)yy'年'mm'月'dd'日         | ※                  |
| 159       | リフマ錠45mg  |  | 本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「最新のガイドライン等を参考に、慢性咳嗽の原因となる病態、職業環境要因、臨床検査結果等を含めた包括的な診断に基づき十分な治療を行っても効果が持続する場合に使用を考慮すること」とされていることを踏まえ、投与開始に当たっては、難治性の慢性咳嗽であると判断した理由を記載すること。  | 830600179            | 難治性の慢性咳嗽であると判断した理由(リフマ錠45mg)：*****                                 | ※                  |
| 160       | リプタヨ点滴静注350mg                                     | がん化学療法後に悪化した進行又は再発の子宮頸癌の治療   | 次の事項を記載すること。<br>1) 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件A」から「施設要件オ」までのうち該当するものを記載)<br>ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院など)<br>イ 特定機能病院<br>ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院(がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など)<br>エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍化学療法診療科1又は外来腫瘍化学療法診療科2の施設基準に係る届出を行っている施設<br>オ 抗癌性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設<br>2) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「施設要件A」又は「施設要件イ」を記載)<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に5年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。<br>イ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に4年以上の臨床経験を有していること。うち、3年以上は、婦人科腫瘍のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。 | 820600325            | 施設要件A(リプタヨ点滴静注350mg)   | ※                  |
|           |   |  |  | 820600326            | 施設要件イ(リプタヨ点滴静注350mg)   | ※                  |
|           |   |  |  | 820600327            | 施設要件ウ(リプタヨ点滴静注350mg)   | ※                  |
|           |   |  |  | 820600328            | 施設要件エ(リプタヨ点滴静注350mg)   | ※                  |
|           |   |  |  | 820600329            | 施設要件オ(リプタヨ点滴静注350mg)   | ※                  |
|           |   |  |  | 820600330            | 施設要件イ(リプタヨ点滴静注350mg)   | ※                  |
|           |   |  |  | 820600331            | 施設要件イ(リプタヨ点滴静注350mg)   | ※                  |

| RO<br>項目  | 医薬品名称                                   | 効能・効果  | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|---|---|--|---|----------------------|--|--------------------|
| 161   | リベルサス錠3mg<br>リベルサス錠7mg<br>リベルサス錠14mg    |  | 他の経口血糖降下薬を投与していない患者に本剤を投与する場合は、本剤の投与が必要と判断した理由を記載すること。  | 830600088            | 他の経口血糖降下薬を投与していない患者に投与が必要と判断した理由(リベルサス錠3mg等);*****                     |                    |
| 162   | リムバーザ錠100mg<br>リムバーザ錠150mg              | ア「BRCA遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法」(「がん化学療法のあるBRCA遺伝子変異陽性かつHER2陽性の手術不能又は再発乳癌」)「BRCA遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌」(「BRCA遺伝子変異陽性の治療切除不能な腫瘍における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法」)又は「BRCA遺伝子変異陽性の治療切除不能な腫瘍における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法」 | 効能又は効果に関連する使用上の注意において、ア、ウ、エ及びオの場合「承認された体外診断用医薬品又は医療機器を用いた検査により、BRCA遺伝子変異を有することが確認された患者に投与すること。」、イの場合「承認された体外診断薬を用いた検査により、生体細胞系列のBRCA遺伝子変異(病的変異又は病的変異疑い)を有することが確認された患者に投与すること。」とされているので、BRCA遺伝子変異を確認した検査の実施年月日を記載すること。 | 850600101            | BRCA遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(リムバーザ錠100mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                |                    |
|   |   |  | 効能又は効果に関連する使用上の注意において、ア、ウ、エ及びオの場合「承認された体外診断用医薬品又は医療機器を用いた検査により、BRCA遺伝子変異を有することが確認された患者に投与すること。」、イの場合「承認された体外診断薬を用いた検査により、生体細胞系列のBRCA遺伝子変異(病的変異又は病的変異疑い)を有することが確認された患者に投与すること。」とされているので、BRCA遺伝子変異を確認した検査の実施年月日を記載すること。 | 850600102            | BRCA遺伝子変異を確認した検査の実施年月日(初回投与)(リムバーザ錠100mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日          |                    |
|   |   |  | 効能又は効果に関連する使用上の注意において、「承認された体外診断用医薬品又は医療機器を用いた検査により、相同組換え修復欠損を有することが確認された患者に投与すること。」とされているので、相同組換え修復欠損を有することを確定した検査の実施年月日を記載すること。   | 850600103            | 相同組換え修復欠損を有することを確定した検査の実施年月日(リムバーザ錠100mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日          |                    |
|   |   |  | 効能又は効果に関連する使用上の注意において、「承認された体外診断用医薬品又は医療機器を用いた検査により、相同組換え修復欠損を有することが確認された患者に投与すること。」とされているので、相同組換え修復欠損を有することを確定した検査の実施年月日を記載すること。   | 850600104            | 相同組換え修復欠損を有することを確定した検査の実施年月日(初回投与)(リムバーザ錠100mg等);(元号)yy'年'mm'月'dd'日    |                    |
| 163   | リンゴック錠7.5mg<br>リンゴック錠15mg<br>リンゴック錠30mg | アトピー性皮膚炎   | 本剤の投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。なお、本剤の継続投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。   | 820600108            | 医師要件ア(リンゴック錠7.5mg等)  |                    |
|   |   |  | 1) 次に掲げる医師の要件のうち、本剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ア」から「医師要件ウ」までのうち該当するものを記載)   | 820600109            | 医師要件イ(リンゴック錠7.5mg等)  |                    |
|   |   |  | ア 成人アトピー性皮膚炎患者又は小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、5年以上の皮膚科診療の臨床研修を行っていること。  | 820600110            | 医師要件ウ(リンゴック錠7.5mg等)  |                    |
|   |   |  | イ 成人アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に6年以上の臨床研修を有し、そのうち3年以上はアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を行っていること。   | 820600111            | 前治療要件ア(リンゴック錠7.5mg等)   |                    |
|   |   |  | ウ 小児アトピー性皮膚炎患者に投与する場合であって、医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、3年以上の小児科診療の臨床研修及び3年以上のアトピー性皮膚炎を含むアレルギー診療の臨床研修を含む6年以上の臨床研修を有していること。  | 820600112            | 前治療要件イ(リンゴック錠7.5mg等)   |                    |
|   |   |  | 2) 本剤投与前の抗炎症外用薬による治療の状況(「前治療要件イ」又は「前治療要件イ」に記載)  | 830600089            | IGAスコア(リンゴック錠7.5mg等);*****   |                    |
|   |   |  | ア 12歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、アトピー性皮膚炎診療ガイドラインで重症度に応じて推奨されるステロイド外用薬(ストロングクラス以上)やカルシニューリン阻害外用薬による適切な治療を連日の6か月以上行っている。   | 830600090            | 全身のEASISスコア(リンゴック錠7.5mg等);*****  |                    |
|   |   |  | イ 12歳以上のアトピー性皮膚炎患者であって、ステロイド外用薬やカルシニューリン阻害外用薬に対する過敏症、顕著な局所副作用若しくは全身副作用により、これらの抗炎症外用薬のみによる治療の継続が困難。  | 830600091            | 顔面部のEASISスコア(リンゴック錠7.5mg等);*****                                       |                    |
|   |   |  | 3) 疾患活動性の状況として、次に掲げるすべての項目の数値   | 842600020            | 体表面積に占めるアトピー性皮膚炎病変の割合(%) (リンゴック錠7.5mg等);*****                          |                    |
|   |   |  | ア IGAスコア  | 842600021            | 体重(小児アトピー性皮膚炎患者に投与の場合)(kg) (リンゴック錠7.5mg等);*****                        |                    |
| 164   | ルクスターナ注                                 |  | 本剤の効能、効果又は性能に関連する使用上の注意において、「遺伝学的検査によりRPE65遺伝子の両アレル性の変異が確認された患者に投与すること。」及び「適切な検査により十分な生存網膜細胞を有することが確認された患者に投与すること。」とされているので、以下を記載すること。  | 850600214            | RPE65遺伝子の両アレル性の変異を確認した遺伝学的検査の実施年月日(ルクスターナ注);(元号)yy'年'mm'月'dd'日         | ※                  |
|   |   |  | ・RPE65遺伝子の両アレル性の変異を確認した遺伝学的検査の実施年月日   | 830600180            | 生存網膜細胞を確認した検査の方法(ルクスターナ注);*****  | ※                  |
|   |   |  | ・生存網膜細胞を確認した検査方法及び検査の実施年月日  | 850600215            | 生存網膜細胞を確認した検査の実施年月日(ルクスターナ注);(元号)yy'年'mm'月'dd'日                        | ※                  |
| 165   | ルマケラス錠120mg                             |  | 本剤の効能又は効果に関連する使用上の注意において、「十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、KRAS G12C変異陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、KRAS G12C変異陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。   | 850600216            | KRAS G12C変異陽性を確認した検査の実施年月日(ルマケラス錠120mg);(元号)yy'年'mm'月'dd'日             | ※                  |
|   |   |  | なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600217            | KRAS G12C変異陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ルマケラス錠120mg);(元号)yy'年'mm'月'dd'日       | ※                  |
| 166   | レクピオ皮下注300mgシリンジ                        |  | 本剤の投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。本剤の継続投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。  | 820600332            | 施設要件A(レクピオ皮下注300mgシリンジ)  | ※                  |
|   |   |  | ① 次に掲げる施設のうち、該当するものを「施設要件A」又は「施設要件イ」に記載   | 820600333            | 施設要件イ(レクピオ皮下注300mgシリンジ)  | ※                  |
|   |   |  | ア 医師免許取得後、満6年以上の臨床研修を有し、このうち3年以上は循環器診療に関する臨床研修を有する医師が所属する施設   | 830600181            | 本剤の使用が必要と判断するに当たって参照したLDL-Cコレステロールの検査値(レクピオ皮下注300mgシリンジ);*****         | ※                  |
|   |   |  | イ 医師免許取得後、満6年以上の臨床研修を有し、このうち3年以上は動脈硬化化学に関する臨床研修を有する医師が所属する施設  | 850600218            | LDL-Cコレステロール検査の実施年月日(レクピオ皮下注300mgシリンジ);(元号)yy'年'mm'月'dd'日              | ※                  |
|   |   |  | ② 本剤の使用が必要と判断するに当たって参照したLDL-Cコレステロールの検査値及び当該検査の実施年月日  | 820600335            | 運動、喫煙等に関する指導又は糖尿病、高血圧症等の虚血性心疾患の危険因子に対する指導を行っている(レクピオ皮下注300mgシリンジ)      | ※                  |
|   |   |  | ③ 食事療法を行っている旨及び患者の状況に応じて、運動、喫煙等に関する指導又は糖尿病、高血圧症等の虚血性心疾患の危険因子に対する指導を行っている旨   | 820600336            | 運動、喫煙等に関する指導又は糖尿病、高血圧症等の虚血性心疾患の危険因子に対する指導を行っている(レクピオ皮下注300mgシリンジ)      | ※                  |
|   |   |  | ④ HMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が行われている旨   | 830600182            | 投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の成分名(レクピオ皮下注300mgシリンジ);*****                         | ※                  |
|   |   |  | ⑤ 本剤をHMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が適さない患者(副作用の既往等によりHMG-CoA還元酵素阻害剤の使用が困難な患者又はHMG-CoA還元酵素阻害剤の使用が禁忌とされる患者)に投与する場合には、使用可能なHMG-CoA還元酵素阻害剤がないと判断した理由   | 830600183            | 投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の成分名及び1日投与量。なお、1日投与量が最大用量でない場合は、最大用量である旨もあわせて記載すること。 | ※                  |
|   |   |  | ⑥ 家族性高コレステロール血症以外の患者では、以下の心血管イベントのリスク因子のいずれかに該当するか(「リスク因子A」から「リスク因子カ」までのうち該当するものを記載)  | 820600337            | 最大用量である(1日投与量が最大用量でない場合)(レクピオ皮下注300mgシリンジ)                             | ※                  |
|   |   |  | ア 冠動脈疾患(冠状動脈に対する冠動脈造影検査を含む)の既往歴   | 830600184            | 使用可能なHMG-CoA還元酵素阻害剤がないと判断した理由(レクピオ皮下注300mgシリンジ);*****                  | ※                  |
|   |   |  | イ アテローム血栓性脳梗塞(明らかなアテロームを伴う他の脳梗塞も含む)の既往歴   | 820600338            | リスク因子A(レクピオ皮下注300mgシリンジ)   | ※                  |
|   |   |  | ウ 糖尿病   | 820600339            | リスク因子イ(レクピオ皮下注300mgシリンジ)   | ※                  |
|   |   |  | エ 慢性腎臓病   | 820600340            | リスク因子ウ(レクピオ皮下注300mgシリンジ)   | ※                  |
|   |   |  | オ 末梢動脈疾患  | 820600341            | リスク因子エ(レクピオ皮下注300mgシリンジ)   | ※                  |
|   |   |  | カ 久山研究スコアにて高リスク分類   | 820600342            | リスク因子オ(レクピオ皮下注300mgシリンジ)   | ※                  |
|   |   |  | ⑦ 家族性高コレステロール血症以外の患者で、⑥の「リスク因子ウ」から「リスク因子カ」までのいずれかに該当し、HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分な患者に投与する場合、投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の投与期間  | 820600343            | リスク因子カ(レクピオ皮下注300mgシリンジ)   | ※                  |
| ⑧ 投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の投与期間(レクピオ皮下注300mgシリンジ);***** | 830600185                               | 投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の投与期間(レクピオ皮下注300mgシリンジ);*****  | ※   |                      |  |                    |
| ⑨ 最近のLDL-Cコレステロールの検査値(レクピオ皮下注300mgシリンジ);*****     | 830600186                               | 最近のLDL-Cコレステロールの検査値(レクピオ皮下注300mgシリンジ);*****  | ※   |                      |  |                    |
| (本剤の2回目の投与の場合)<br>次に掲げるすべての項目を記載すること。             | 850600218                               | LDL-Cコレステロール検査の実施年月日(レクピオ皮下注300mgシリンジ);(元号)yy'年'mm'月'dd'日  | ※   |                      |  |                    |
| ア 最近のLDL-Cコレステロールの検査値及び検査年月日                      |   |  |   |                      |  |                    |
| イ LDL-Cコレステロール及び患者の抗悪性腫瘍薬を踏まえ、投与継続が可能と判断した理由      |   |  |   |                      |  |                    |

| RO<br>項目 | 医薬品名称                          | 効能・効果 | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード  | 左記コードによるレセプト表示文言   | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|--------------------------------|-------|---|---|--|--------------------|
|          |                                |       |   | 830600187   | 投与継続が可能と判断した理由(レキボオ皮下注300mgシリンジ):*****                   | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600344   | 患者要件A(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600345   | 患者要件E(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600346   | 患者要件ウ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600347   | 患者要件エ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600348   | 患者要件オ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 842600041   | 認知機能評価MMSEスコア(レケンビ点滴静注200mg等):*****                      | ※                  |
|          |                                |       |   | 850600219   | 認知機能評価MMSEスコアの実施年月日(レケンビ点滴静注200mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日   | ※                  |
|          |                                |       |   | 842600042   | 臨床認知症尺度CDR全般スコア(レケンビ点滴静注200mg等):*****                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 850600220   | 臨床認知症尺度CDR全般スコアの実施年月日(レケンビ点滴静注200mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日 | ※                  |
|          |                                |       |   | 850600221   | アミロイドPETの実施年月日(レケンビ点滴静注200mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日        | ※                  |
|          |                                |       |   | 830600188   | アミロイドPET検査実施施設名(レケンビ点滴静注200mg等):*****                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 850600222   | 脳脊髄液(CSF)検査の実施年月日(レケンビ点滴静注200mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日     | ※                  |
|          |                                |       |   | 830600189   | 脳脊髄液(CSF)検査検査実施施設名(レケンビ点滴静注200mg等):*****                 | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600349   | 医師要件A(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600350   | 医師要件E(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600351   | 医師要件ウ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600352   | 医師要件エ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600353   | 医師要件オ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600354   | 医師要件カ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600355   | 医師要件キ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600356   | 医師要件ク(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600357   | 施設要件A(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600358   | 施設要件E(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600359   | 施設要件ウ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600360   | 施設要件エ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 830600190   | 連携施設名(施設要件Eに該当)(レケンビ点滴静注200mg等):*****                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 830600191   | 連携施設の所在地(施設要件Eに該当)(レケンビ点滴静注200mg等):*****                 | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600361   | 施設要件オ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600362   | 医師要件ケ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600363   | 医師要件コ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600364   | 医師要件サ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600365   | 医師要件シ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600366   | 医師要件ス(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600367   | 医師要件セ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600368   | 医師要件ソ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600369   | 医師要件タ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 842600043   | 初回投与から起算しての週数(レケンビ点滴静注200mg等):*****                      | ※                  |
|          |                                |       |   | 850600223   | 臨床症状の評価を実施した直近の年月日(レケンビ点滴静注200mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日    | ※                  |
|          |                                |       |   | 850600224   | MRI検査を受けた直近の年月日(レケンビ点滴静注200mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日       | ※                  |
|          |                                |       |   | 830600192   | 投与の継続が必要と判断した理由(レケンビ点滴静注200mg等):*****                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600344   | 患者要件A(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600345   | 患者要件E(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600346   | 患者要件ウ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 820600347   | 患者要件エ(レケンビ点滴静注200mg等)                                    | ※                  |
|          |                                |       |   | 842600041   | 認知機能評価MMSEスコア(レケンビ点滴静注200mg等):*****                      | ※                  |
|          |                                |       |   | 850600219   | 認知機能評価MMSEスコアの実施年月日(レケンビ点滴静注200mg等):(元号)yy'年'mm'月'dd'日   | ※                  |
|          |                                |       |   |   |  |                    |
| 163      | レケンビ点滴静注200mg<br>レケンビ点滴静注500mg |       | <p>(本製剤を最初に投与した場合)<br/>次の事項を記載すること。</p> <p>① 次に掲げる患者の要件のうち、該当するもの(「患者要件A」～「患者要件ウ」までのうち該当するものを記載)<br/>ア 患者本人及び家族・介護者の、安全性に関する内容も含まれ本剤による治療意思が確認されている患者<br/>イ 以下に該当する本剤の副作用に該当しないことが確認された患者<br/>・ 本剤の成分に対し重要な過敏症の既往歴がある患者<br/>・ 本剤投与開始前に血管造影性浮腫、5個以上の脳微小出血、脳表へモジテン沈着症又は1cmを超える脳出血が認められる患者<br/>ウ MRI検査(1.5 Tesla以上)が実施可能であることが確認された患者<br/>② 認知機能の低下及び臨床症状の重症度範囲について、次に掲げるすべての項目のスコア及び実施年月日<br/>ア 認知機能評価 MMSEスコア<br/>イ 臨床認知症尺度 CDR全般スコア<br/>③ 次に掲げる検査のうち、当該患者の診断に用いた検査に該当するもの(「患者要件エ」又は「患者要件オ」と記載)、実施年月日及び検査実施施設名<br/>エ アミロイドPET<br/>オ 脳脊髄液(CSF)検査<br/>④ 次に掲げる医師の要件のうち、当該患者の本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件A」から「医師要件エ」までのうち該当するものを記載)<br/>ア 日本神経学会の専門医<br/>イ 日本老年医学会の専門医<br/>ウ 日本精神神経学会の専門医<br/>エ 日本脳神経外科学会の専門医<br/>⑤ 次に掲げる医師の要件のうち、当該患者の本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件オ」から「医師要件ケ」までのうち該当するものを記載)<br/>オ 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、10年以上の経歴認知障害の診断、認知症疾患の鑑別診断等の専門医を主たる業務とした臨床研修を有していること<br/>カ 画像所見からARIAの有無を判断し、1年以上の経歴認知障害の有無と併せて本剤の投与継続、中断又は中止を判断し、かつ必要な対応ができる医師であること<br/>キ 製造販売業者が提供するARIAに関するMRI読影の研修を受講していること<br/>ク 日本認知症学会又は日本老年精神医学会の実施するアルツハイマー病の病態、診断、本剤の投与対象患者及び治療に関する研修を受講していること<br/>⑥ 次に掲げる項目のうち、該当するもの(「施設要件ア」又は「施設要件イ」と記載)<br/>ア 以下の1から順にすべて満たす施設である。<br/>イ 以下の1から順にすべて満たす施設でない。<br/>(項目)<br/>I MRI検査(1.5 Tesla以上)が実施可能な医療機関であり、かつ、ARIAが認められた場合に、画像所見や症状の有無から、本剤の投与継続、中断又は中止を判断し、かつ、施設内で必要な対応ができる体制が整っていること<br/>II 認知機能のスコア評価(MMSEスコア)及び臨床認知症尺度(CDR全般スコア)が実施可能な者が配置されていること<br/>III 同一施設内又は連携がとれる施設においてPET検査又はCSF検査が実施可能であること<br/>IV 上記の4及び5に該当する、常勤医師が複数名配置されていること<br/>V CDR全般スコア評価に精通し、一定以上の評価経験を有する医療従事者がいること<br/>VI ARIAのリスク管理に必要な知識を有し、かつ、MRI読影に関する医療従事者向け研修を受講した、ARIAの鑑別を含むMRI読影が適切に行える常勤医師が1人以上いること<br/>VII 認知症疾患医療センター又は認知症疾患医療センターと連携がとれる施設であること<br/>VIII 製造販売業者に課せられている全例調査を確実に実施できる施設であること</p> <p>(投与開始後6か月以降の投与の場合)<br/>次の事項を記載すること。<br/>① 本製剤の投与施設(「施設要件ウ」又は「施設要件エ」と記載)及び「施設要件イ」に該当する場合は、連携施設名及び所在地<br/>ウ 初回投与施設(初回投与施設と同一の施設)<br/>エ 連携施設(初回投与施設と連携している施設)<br/>② 次に掲げる施設要件のうち、本製剤の投与施設に該当するもの(「施設要件オ」)と記載)<br/>オ 製造販売業者が提供している全例調査を確実に実施できること<br/>③ 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ケ」から「医師要件シ」までのうち該当するものを記載)<br/>ケ 日本神経学会の専門医<br/>コ 日本老年医学会の専門医<br/>サ 日本精神神経学会の専門医<br/>シ 日本脳神経外科学会の専門医<br/>④ 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの(「医師要件ス」～「医師要件タ」までのうち該当するものを記載)<br/>ス 医師免許取得後2年の初期研修を修了した後に、10年以上の経歴認知障害の診断、認知症疾患の鑑別診断等の専門医を主たる業務とした臨床研修を有していること<br/>セ 画像所見からARIAの有無を判断し、1年以上の経歴認知障害の有無と併せて本剤の投与継続、中断又は中止を判断し、かつ必要な対応ができる医師であること<br/>ソ 製造販売業者が提供するARIAに関するMRI読影の研修を受講していること<br/>タ 日本認知症学会又は日本老年精神医学会の実施するアルツハイマー病の病態、診断、本剤の投与対象患者及び治療に関する研修を受講していること</p> <p>(継続投与の場合)<br/>次の事項を欄外に記載すること。<br/>なお、本製剤は、初回投与後6か月までは、初回投与施設で投与すること。<br/>① 本製剤の初回投与から起算して、何週目の投与であるか。<br/>② 本製剤投与中、CDR全般スコア推移、MMSEスコア推移、患者及び家族・介護者から自他覚症状の聴取等による臨床症状の評価を実施した直近の年月日<br/>③ 本製剤投与中、MRI検査を受けた直近の年月日</p> <p>(初回投与から起算して、18か月を超える投与の場合)<br/>次の事項を記載すること。<br/>① 本剤投与の継続が必要と判断した理由(CDR全般スコア推移、MMSEスコア推移、患者及び家族・介護者から自他覚症状の聴取等による臨床症状の評価も含まれた有効性の観点、並びにARIAの有無や副作用発現状況等も含まれた安全性の観点を含めて具体的に記載すること)<br/>② 本剤の最適使用推奨ガイドラインにおいて「中等度以降のアルツハイマー病による認知症と診断された場合、中等度以降に進行した患者に投与を継続したときの有効性が確立していないことから、本剤の投与を中止し、再評価を行うこと。」が示されていることから、中等度以降のアルツハイマー病による認知症と診断された患者に対して、本剤の投与継続を行う場合には、再評価を行った結果として(2)の①～②及び投与継続を判断した理由(上記①と同様に具体的に記載すること)</p> | 820600344<br>820600345<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>842600041<br>850600219<br>842600042<br>850600220<br>850600221<br>830600188<br>850600222<br>830600189<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>830600190<br>830600191<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>830600192<br>820600344<br>820600345<br>842600041<br>850600219<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br>820600354<br>820600355<br>820600356<br>820600357<br>820600358<br>820600359<br>820600360<br>820600361<br>820600362<br>820600363<br>820600364<br>820600365<br>820600366<br>820600367<br>820600368<br>820600369<br>842600043<br>850600223<br>850600224<br>820600346<br>820600347<br>820600348<br>820600349<br>820600350<br>820600351<br>820600352<br>820600353<br> |  |                    |



| R6<br>項目 | 医薬品名称  | 効能・効果                 | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード  | 左記コードによるレセプト表示文言  | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|--|-----------------------|---|---|---|--------------------|
| 171      | レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ                            |                       | <p>本製剤の投与開始に当たっては、次の事項を記載すること。本製剤の継続投与に当たっては、投与開始時の情報を記載すること。</p> <p>1) 次に掲げる施設のうち、該当するもの(「施設要件A」又は「施設要件イ」と記載)</p> <p>ア 医師免許取得後、満6年以上の臨床研修歴を有し、このうち3年以上は循環器診療に関する臨床研修歴を有する医師が所属する施設</p> <p>イ 医師免許取得後、満6年以上の臨床研修歴を有し、このうち3年以上は動脈硬化化学に関する臨床研修歴を有する医師が所属する施設</p> <p>2) 本製剤の使用が必要と判断するに当たって参照したLDL-Cコレステロールの検査値及び当該検査の実施年月日</p> <p>3) 投与療法を行っている旨、及び患者の状況に応じて、運動、喫煙等に関する指導又は糖尿病、高血圧症等の虚血性心疾患の危険因子に対する指導等を行う旨</p> <p>4) HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分な患者に投与する場合には、投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の成分名及び1日投与量。なお、1日投与量が最大用量でない場合は、最大用量である旨もあわせて記載すること。</p> <p>5) 本製剤をHMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が適さない患者(副作用の既往等)によりHMG-CoA還元酵素阻害剤の使用が困難な患者又はHMG-CoA還元酵素阻害剤の使用が禁忌とされる患者)に投与する場合には、使用可能なHMG-CoA還元酵素阻害剤がないと判断した理由</p> <p>6) 家族性高コレステロール血症以外の患者では、以下の心血管イベントのリスク因子のいずれに該当するか(「リスク因子A」から「リスク因子U」までのうち該当するものを記載)。</p> <p>ア 冠動脈疾患(安定狭心症に対する冠動脈形成術を含む)の既往歴</p> <p>イ アテローム血栓性脳梗塞(明らかなアテロームを伴うその他の脳梗塞も含む)の既往歴</p> <p>ウ 糖尿病</p> <p>エ 慢性腎臓病</p> <p>オ 末梢動脈疾患</p> <p>カ 次山研研究スコアにて高リスク分類</p> <p>7) 家族性高コレステロール血症以外の患者で、6)の「リスク因子ウ」から「リスク因子カ」までのいずれかに該当し、HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分な患者に投与する場合、投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の投与期間</p> | <p>820600130</p> <p>820600131</p> <p>820600132</p> <p>830600097</p> <p>830600098</p> <p>820600133</p> <p>830600099</p> <p>820600134</p> <p>820600135</p> <p>820600136</p> <p>820600137</p> <p>820600138</p> <p>820600371</p> <p>830600100</p> | <p>運動、喫煙等に関する指導を行っている(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>糖尿病、高血圧症等の虚血性心疾患の危険因子に対する治療を行っている(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>糖尿病、高血圧症等の虚血性心疾患の危険因子に対する指導を行っている(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の成分名(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ);*****</p> <p>投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の1日投与量(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ);*****</p> <p>投与中のHMG-CoA還元酵素阻害剤の最大用量である(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ);*****</p> <p>使用可能なHMG-CoA還元酵素阻害剤がないと判断した理由(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ);*****</p> <p>リスク因子A(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>リスク因子I(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>リスク因子ウ(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>リスク因子エ(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>リスク因子オ(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>リスク因子カ(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ)</p> <p>HMG-CoA還元酵素阻害剤の投与期間(レバサ皮下注420mgオートミドナーゼ);*****</p> | <p>※</p>           |
| 172      | レフィキシア静注用500<br>レフィキシア静注用1000<br>レフィキシア静注用2000 |                       | 手術時における血管造影用造影剤の使用に当たっては、術前に予想される投与回数と考慮した上で適切な製剤を選択することとし、本剤を手術時に使用した場合には、その理由を記載すること。   | 830600101   | 手術時に使用した理由(レフィキシア静注用500等);*****   |                    |
| 173      | ロプレナ錠25mg<br>ロプレナ錠100mg                        |                       | 本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「十分な経緯を有する病理医又は検査施設における検査により、ALK融合遺伝子陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本製剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。  | 850600108<br>850600109  | ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(ロプレナ錠25mg等);(元号)yy'年'mm'月'ds'日<br>ALK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ロプレナ錠25mg等);(元号)yy'年'mm'月'ds'日  |                    |
| 174      | ロズリートレクカプセル100mg                               | NTRK 融合遺伝子陽性の進行・再発の形態 | 本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「十分な経緯を有する病理医又は検査施設により、NTRK融合遺伝子陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、NTRK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600110<br>850600111  | NTRK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(ロズリートレクカプセル100mg等);(元号)yy'年'mm'月'ds'日<br>NTRK融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)(ロズリートレクカプセル100mg等);(元号)yy'年'mm'月'ds'日  |                    |

| RS<br>項目 | 医薬品名称                               | 効能・効果                        | 記載事項  | レセプト集算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言   | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----------|-------------------------------------|------------------------------|---|----------------------|--|--------------------|
|          | ロズリートレクカプセル200mg                    | ROS1融合遺伝子陽性の切除不能進行・再発の非小細胞肺癌 | 本製剤の効能又は効果に関連する注意において、「十分な経歴を有する病理医又は検査施設により、ROS1融合遺伝子陽性が確認された患者に投与すること。」とされているので、ROS1融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日を記載すること。<br>なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず実施年月日を記載すること。   | 850600112            | ROS1融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(ロズリートレクカプセル100mg等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日"        |                    |
|          |                                     |                              |   | 850600113            | ROS1融合遺伝子陽性を確認した検査の実施年月日(初回投与)；(ロズリートレクカプセル100mg等)；(元号)yy'年'mm'月'dd'日" |                    |
| 175      | 照射洗浄血小板-LR「日赤」<br>照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」 |                              | 本製剤の使用適正化については、「血液製剤の使用指針」の一部改正について(平成28年6月14日付け厚生労働省0614第1号厚生労働省医業・生活衛生局長通知)により通知されているところであるので、使用に当たっては十分に留意すること。なお、同通知において、「洗浄血小板製剤については、輸血による副作用を防止するという目的に鑑み当該製剤の使用が望ましい状態にある患者に対して適切に投与されるよう、その使用については改正内容を踏まえ、必要と考えられる場合に限ること」とされていることから、本製剤の投与が適切と判断される症例に使用した場合に限り算定できるものであり、本製剤の使用が必要と判断した理由を記載すること。 | 830600102            | 使用が必要と判断した理由(照射洗浄血小板-LR「日赤」等)；<br>*****                                |                    |

※「記載事項」欄における括弧書は、該当する場合に記載する事項であること。

※「記載事項」欄の記載事項は、特に記載している場合を除き、「摘要」欄へ記載するものであること。

※別表Ⅲに掲げる記載事項を記載する場合であって、別表Ⅱに掲げる記載事項と重複する事項については、別表Ⅱを用いた記載は省略して差し支えないこと。



別表Ⅲ 診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧（検査値）

| 項番 | 区分等     | 診療行為<br>名称等   | 記載事項  | レセプト電算処理<br>システム用コード                | 左記コードによるレセプト表示文言   | 別表<br>I・II | 重複する<br>レセプト電算処理<br>システム用コード | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----|---------|---|---|-------------------------------------|--|------------|------------------------------|--------------------|
| 1  | D009の9  | 前立腺特異抗原(PSA)  | (前立腺癌の確定診断がつかず2回以上算定する場合)<br>当該検査の実施年月日及び前回測定値を記載すること。  | 880100012                           | 検査実施年月日及び検査結果(前立腺特異抗原(PSA));(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   | I          | 850100164                    |                    |
| 2  | D007の25 | フェリチン   | (同一月に2回以上の算定の場合)<br>当該検査の実施年月日及び前回測定値をすべて記載すること。  | 880100013                           | 検査実施年月日及び検査結果(フェリチン);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  |            |                              |                    |
| 3  | D005の5  | 末梢血液一般  | (同一日に2回以上の算定の場合)<br>当該検査(Hb測定に限る)の実施年月日及び前回測定値をすべて記載すること。   | 880100014                           | 検査実施年月日及び検査結果(末梢血液一般(Hb測定));(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              |                    |
| 4  | D006の15 | Dダイマー   | (同一月に3回以上の算定の場合)<br>当該検査の実施年月日及び前回測定値をすべて記載すること。  | 880100015                           | 検査実施年月日及び検査結果(Dダイマー);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  |            |                              |                    |
| 5  | D015の10 | β2-マイクログロブリン  | (同一月に2回以上の算定の場合)<br>当該検査の実施年月日及び前回測定値をすべて記載すること。  | 880100016                           | 検査実施年月日及び検査結果(β2-マイクログロブリン);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              |                    |
| 6  | J039    | 血漿交換療法  | (血栓性血小板減少性紫斑病の算定可否の場合)<br>検査の実施年月日及び血小板値を記載すること。  | 880100017                           | 検査実施年月日及び血小板値(血漿交換療法);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   | I          | 842100059                    |                    |
| 7  | 医薬品     | 解凍赤血球液-LR「日赤」<br>赤血球液-LR「日赤」<br>洗浄赤血球液-LR「日赤」<br>照射赤血球液-LR「日赤」<br>照射解凍赤血球液-LR「日赤」<br>照射洗浄赤血球液-LR「日赤」  | 本製剤を投与するにあたってHb値を測定した場合は、投与の直前に測定したHb値を記載すること。また測定した年月日を記載すること。   | 880100018                           | 検査実施年月日及びHb値(人赤血球液等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  |            |                              |                    |
| 8  | 医薬品     | 照射洗浄血小板-LR「日赤」<br>照射濃厚血小板-LR「日赤」<br>濃厚血小板-LR「日赤」<br>照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」<br>照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」<br>濃厚血小板HLA-LR「日赤」   | 本製剤を投与するにあたって血小板値を測定した場合は、投与の直前に測定した血小板値を記載すること。また測定した年月日を記載すること。   | 880100025                           | 検査実施年月日及び血小板値(人血小板濃厚液等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              |                    |
| 9  | 医薬品     | 新鮮凍結血漿-LR「日赤」120<br>新鮮凍結血漿-LR「日赤」240<br>新鮮凍結血漿-LR「日赤」480  | 本製剤を投与するにあたってプロトロンビン時間(PT)及びフィブリノゲン値を測定した場合は、投与の直前に測定したPT(INR又は%)及びフィブリノゲン値を記載すること。また測定した年月日を記載すること。  | 880100092<br>880100093<br>880100091 | 検査実施年月日及びプロトロンビン時間(INR(新鮮凍結人血漿));(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****<br>検査実施年月日及びプロトロンビン時間(%) (新鮮凍結人血漿);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****<br>検査実施年月日及びフィブリノゲン値(新鮮凍結人血漿);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:***** |            |                              | ※<br>※             |
| 10 | 医薬品     | ファイバ静注用1000   | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に血液凝固第Ⅳ因子又は第Ⅴ因子に対するインヒビター力価を測定した場合は、測定結果を記載すること。また測定した年月日を記載すること。   | 880100041                           | 検査実施年月日及びインヒビター力価(ファイバ静注用1000);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 830600130<br>850600150       |                    |
| 11 | 医薬品     | バイクロット配合静注用   | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に血液凝固第Ⅳ因子又は第Ⅴ因子に対するインヒビター力価を測定した場合は、測定結果を記載すること。また測定した年月日を記載すること。   | 880100044                           | 検査実施年月日及びインヒビター力価(バイクロット配合静注用);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 830600129<br>850600147       |                    |
| 12 | 医薬品     | サイラムザ点滴静注液100mg<br>サイラムザ点滴静注液500mg  | (本製剤を投与するにあたって、投与以前に血清AFP値を測定した場合)<br>測定結果が陽性であった旨(+)を記載すること。また測定した年月日を記載すること。  | 880100082                           | 検査実施年月日及び血清AFP測定結果(+)(サイラムザ点滴静注液100mg等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   | II         | 830600033<br>850600032       |                    |
| 13 | 医薬品     | ノボセプンHI静注用1mg シリンジ<br>ノボセプンHI静注用2mg シリンジ<br>ノボセプンHI静注用5mg シリンジ  | (血液凝固第Ⅳ因子又は第Ⅴ因子に対するインヒビターを保有する先天性血友病患者の出血抑制の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前に血液凝固第Ⅳ因子又は第Ⅴ因子に対するインヒビター力価を測定した場合は測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。<br><br>(血小板に対する同種抗体を保有し、血小板減少状態が過去又は現在みられるグラントマン血小板無力症患者の出血傾向の抑制の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前に抗血小板抗体検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。 | 880100046<br>880100049              | 検査実施年月日及びインヒビター力価(ノボセプンHI静注用1mg シリンジ等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****<br>検査実施年月日及び抗血小板抗体検査値(ノボセプンHI静注用1mg シリンジ等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 830600128<br>850600146       |                    |
| 14 | 医薬品     | ソリリス点滴静注300mg   | (全身型重症筋無力症(免疫グロブリン大量静注療法又は血液浄化療法による症状の管理が困難な場合に限る。)の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前に抗アセチルコリン受容体抗体検査を実施した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。<br><br>(視神経脊髄炎スペクトラム障害(視神経脊髄炎を含む)の再発予防の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前に抗アクアポリン4(AQP4)抗体検査を実施した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。                   | 880100050<br>880100090              | 検査実施年月日及び抗アセチルコリン受容体抗体検査値(ソリリス点滴静注300mg);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****<br>検査実施年月日及び抗アクアポリン4(AQP4)抗体検査値(ソリリス点滴静注300mg);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****                                      |            |                              |                    |
| 15 | 医薬品     | キムリア点滴静注  | (再発又は難治性のCD19陽性のB細胞性急性リンパ芽球性白血病の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD19抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100054                           | 検査実施年月日及びCD19抗原検査値(キムリア点滴静注);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 850600025                    |                    |
| 16 | 医薬品     | ユプリズナ点滴静注100mg  | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に抗アクアポリン4(AQP4)抗体検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100083                           | 検査実施年月日及び抗アクアポリン4(AQP4)抗体検査値(ユプリズナ点滴静注100mg);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  |            |                              |                    |
| 17 | 医薬品     | ゼヴァリン イットリウム(90Y)静注用セット   | 本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD20抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100084                           | 検査実施年月日及びCD20抗原検査値(ゼヴァリン イットリウム(90Y)静注用セット);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              |                    |
| 18 | 医薬品     | エンスプリング皮下注120mgシリンジ   | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に抗アクアポリン4(AQP4)抗体検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100085                           | 検査実施年月日及び抗アクアポリン4(AQP4)抗体検査値(エンスプリング皮下注120mgシリンジ);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              |                    |
| 19 | 医薬品     | ベスポンサ点滴静注1mg  | 本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD22抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100086                           | 検査実施年月日及びCD22抗原検査値(ベスポンサ点滴静注1mg);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 850600078<br>850600079       |                    |
| 20 | 医薬品     | クリースビータ皮下注10mg<br>クリースビータ皮下注20mg<br>クリースビータ皮下注30mg  | 本製剤を投与するにあたって、投与以前にFGF23を測定した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100087                           | 検査実施年月日及びFGF23検査値(クリースビータ皮下注10mg等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 850600026<br>850600027       |                    |
| 21 | 医薬品     | アドセトリス点滴静注50mg  | 本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD30抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100088                           | 検査実施年月日及びCD30抗原検査値(アドセトリス点滴静注50mg);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 850600003<br>850600004       |                    |
| 22 | 医薬品     | ガザイバ点滴静注1000mg  | 本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD20抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100089                           | 検査実施年月日及びCD20抗原検査値(ガザイバ点滴静注1000mg);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  | II         | 850600023<br>850600024       |                    |
| 23 | 医薬品     | ボテリジオ点滴静注20mg   | (CCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫)又は「再発又は難治性のCCR4陽性の末梢性T細胞リンパ腫」の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前にCCR4抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100065                           | 検査実施年月日及びCCR4抗原検査値(ボテリジオ点滴静注20mg);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   | II         | 850600083<br>850600084       |                    |
| 24 | 医薬品     | リツキサン点滴静注100mg<br>リツキサン点滴静注500mg  | (CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫)、「CD20陽性の慢性リンパ性白血病」又は「免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患」の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD20抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。  | 880100067                           | 検査実施年月日及びCD20抗原検査値(リツキサン点滴静注100mg等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   | II         | 850600096<br>850600097       |                    |
| 25 | 医薬品     | リツキシマブBS点滴静注100mg「KHK」<br>リツキシマブBS点滴静注500mg「KHK」  | (CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫)又は「免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患」の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD20抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100070                           | 検査実施年月日及びCD20抗原検査値(リツキシマブBS点滴静注100mg「KHK」等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   | II         | 850600098<br>850600152       |                    |
| 26 | 医薬品     | リツキシマブBS点滴静注100mg「ファイザー」<br>リツキシマブBS点滴静注500mg「ファイザー」  | (CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫)又は「免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患」の場合)<br>本製剤を投与するにあたって、投与以前にCD20抗原検査を実施した場合は、検査結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100073                           | 検査実施年月日及びCD20抗原検査値(リツキシマブBS点滴静注100mg「ファイザー」等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   | II         | 850600099<br>850600100       |                    |
| 27 | 医薬品     | エルカルチンFF錠100mg<br>エルカルチンFF錠250mg<br>エルカルチンFF静注1000mgシリンジ<br>エルカルチンFF内用液10%<br>エルカルチンFF内用液10%分包10mL<br>エルカルチンFF内用液10%分包5mL                               | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に実施した遊離カルチンの測定を実施した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100076                           | 検査実施年月日及び遊離カルチンの測定結果(エルカルチンFF錠100mg等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              |                    |
| 28 | 医薬品     | レボカルチンFF錠100mg「トーワ」<br>レボカルチンFF錠250mg「トーワ」<br>レボカルチンFF静注1000mgシリンジ「トーワ」<br>レボカルチンFF内用液10%「トーワ」<br>レボカルチンFF内用液10%分包5mL「トーワ」<br>レボカルチンFF内用液10%分包10mL「トーワ」 | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に実施した遊離カルチンの測定を実施した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100094                           | 検査実施年月日及び遊離カルチンの測定結果(レボカルチンFF錠100mg「トーワ」等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****  |            |                              | ※                  |
| 29 | 医薬品     | レボカルチンFF静注1000mgシリンジ「フソー」   | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に実施した遊離カルチンの測定を実施した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100095                           | 検査実施年月日及び遊離カルチンの測定結果(レボカルチンFF静注1000mgシリンジ「フソー」);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              | ※                  |
| 30 | 医薬品     | レボカルチンFF静注1000mgシリンジ「ニプロ」   | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に実施した遊離カルチンの測定を実施した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100096                           | 検査実施年月日及び遊離カルチンの測定結果(レボカルチンFF静注1000mgシリンジ「ニプロ」);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              | ※                  |
| 31 | 医薬品     | レボカルチンFF錠100mg「アメル」<br>レボカルチンFF錠250mg「アメル」<br>レボカルチンFF内用液10%「アメル」<br>レボカルチンFF内用液10%分包5mL「アメル」<br>レボカルチンFF内用液10%分包10mL「アメル」                              | 本製剤を投与するにあたって、投与以前に実施した遊離カルチンの測定を実施した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。   | 880100097                           | 検査実施年月日及び遊離カルチンの測定結果(レボカルチン塩化物錠100mg「アメル」等);(元号)yy年mm月dd日<br>検査値:*****   |            |                              | ※                  |

| 項番 | 区分等 | 診療行為<br>名称等  | 記載事項   | レセプト電算処理<br>システム用コード | 左記コードによるレセプト表示文言  | 別表<br>I・II | 重複する<br>レセプト電算処理<br>システム用コード | 令和6年<br>6月1日<br>適用 |
|----|-----|--|--|----------------------|---|------------|------------------------------|--------------------|
| 32 | 医薬品 | エボジン注シリンジ1500<br>エボジン注シリンジ3000<br>エボジン皮下注シリンジ24000 | (貯血量が800mL以上で1週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血の場合)<br>本製剤を投与するに当たって、投与以前にHb濃度を測定した場合は、測定結果を記載すること。また、測定した年月日を記載すること。 | 880100081            | 検査実施年月日及びHb濃度値(エボジン注シリンジ1500等):(元号)yy"年"mm"月"<br>"dd"日" 検査値:***** | II         | 830600018                    |                    |

※「記載事項」欄における括弧書は、該当する場合に記載する事項であること。

※「記載事項」欄の記載事項は、特に記載している場合を除き、「摘要」欄へ記載するものであること。

※「区分等」欄に医薬品と記載しているものについて、一般名処方による場合は、一般的名称、剤形及び含量が同一のいずれかの医薬品のコードを用いて記載することで差し支えないこと。

※別表Ⅲに掲げる記載事項を記載する場合であって「別表 I・II」欄に I 又は II と記載しているものについては、別表 I 又は別表 II に掲げる記載事項と重複しているため、別表Ⅲを用いた記載がされていればよく、別表 I 又は別表 II に掲げるコードを用いた記載は省略して差し支えないこと。

別表Ⅳ 診療行為名称等の略号一覧(医科)

| 項番 | 区分   | 診療行為名称等   | 略号   | 対応する記載欄 |
|----|------|---|------|---------|
| 1  | A000 | 情報通信機器を用いた初診を行った場合  | 情初   | 「初診」欄   |
| 2  | A000 | 初診料の注2、注3に規定する紹介率等が低い保険医療機関において、他の保険医療機関等からの文書による紹介がない初診の場合         | 初減   | 「初診」欄   |
| 3  | A000 | 初診料の注4に規定する妥結率が低い保険医療機関の場合  | 初妥減  | 「初診」欄   |
| 4  | A000 | 初診料の注5のただし書に規定する2つ目の診療科において初診を行った場合                                 | 複初   | 「初診」欄   |
| 5  | A000 | 初診料の注5のただし書に規定する2つ目の診療科において初診を行った場合(初診料の注2、注3に規定する紹介率等が低い保険医療機関の場合) | 複初減  | 「初診」欄   |
| 6  | A000 | 初診料の注5のただし書に規定する2つ目の診療科において初診を行った場合(初診料の注4に規定する妥結率が低い保険医療機関の場合)     | 複初妥減 | 「初診」欄   |
| 7  | A000 | 時間外加算の特例を算定した場合   | 特    | 「初診」欄   |
| 8  | A000 | 小児科を標榜する保険医療機関における夜間加算の特例を算定した場合                                    | 小特夜  | 「初診」欄   |
| 9  | A000 | 小児科を標榜する保険医療機関における休日加算の特例を算定した場合                                    | 小特休  | 「初診」欄   |
| 10 | A000 | 小児科を標榜する保険医療機関における深夜加算の特例を算定した場合                                    | 小特深  | 「初診」欄   |
| 11 | A000 | 夜間・早朝等加算を算定した場合   | 夜早   | 「初診」欄   |
| 12 | A000 | 外来感染対策向上加算を算定した場合   | 初感   | 「初診」欄   |
| 13 | A000 | 発熱患者等対応加算を算定した場合  | 初熱対  | 「初診」欄   |
| 14 | A000 | 連携強化加算を算定した場合   | 初連   | 「初診」欄   |
| 15 | A000 | サーベイランス強化加算を算定した場合  | 初サ   | 「初診」欄   |
| 16 | A000 | 抗菌薬適正使用体制加算を算定した場合  | 初抗菌適 | 「初診」欄   |
| 17 | A000 | 医療情報取得加算1を算定した場合  | 医情1  | 「初診」欄   |
| 18 | A000 | 医療情報取得加算2を算定した場合  | 医情2  | 「初診」欄   |
| 19 | A000 | 医療DX推進体制整備加算を算定した場合   | 医DX  | 「初診」欄   |
| 20 | A001 | 情報通信機器を用いた再診を行った場合  | 情再   | 「再診」欄   |
| 21 | A001 | 再診料の注2に規定する妥結率が低い保険医療機関の場合  | 再妥減  | 「再診」欄   |
| 22 | A001 | 再診料の注3に規定する2つ目の診療科において再診を行った場合                                      | 複再   | 「再診」欄   |
| 23 | A001 | 再診料の注3に規定する2つ目の診療科において再診を行った場合(再診料の注2に規定する妥結率が低い保険医療機関の場合)          | 複再妥減 | 「再診」欄   |
| 24 | A001 | 夜間・早朝等加算を算定した場合   | 夜早   | 「再診」欄   |
| 25 | A001 | 時間外対応加算1を算定した場合   | 時外1  | 「再診」欄   |
| 26 | A001 | 時間外対応加算2を算定した場合   | 時外2  | 「再診」欄   |
| 27 | A001 | 時間外対応加算3を算定した場合   | 時外3  | 「再診」欄   |
| 28 | A001 | 時間外対応加算4を算定した場合   | 時外4  | 「再診」欄   |

| 項番 | 区分           | 診療行為名称等  | 略号    | 対応する記載欄 |
|----|--------------|--|-------|---------|
| 29 | A001         | 明細書発行体制等加算を算定した場合  | 明     | 「再診」欄   |
| 30 | A001         | 地域包括診療加算1を算定した場合   | 再包1   | 「再診」欄   |
| 31 | A001         | 地域包括診療加算2を算定した場合   | 再包2   | 「再診」欄   |
| 32 | A001         | 認知症地域包括診療加算1を算定した場合  | 再認包1  | 「再診」欄   |
| 33 | A001         | 認知症地域包括診療加算2を算定した場合  | 再認包2  | 「再診」欄   |
| 34 | A001         | 地域包括診療加算又は認知症地域包括診療加算の薬剤適正使用連携加算を算定した場合  | 薬適連   | 「再診」欄   |
| 35 | A001         | 外来感染対策向上加算を算定した場合  | 再感    | 「再診」欄   |
| 36 | A001         | 発熱患者等対応加算を算定した場合   | 再熱対   | 「再診」欄   |
| 37 | A001         | 連携強化加算を算定した場合  | 再連    | 「再診」欄   |
| 38 | A001         | サーベイランス強化加算を算定した場合   | 再サ    | 「再診」欄   |
| 39 | A001         | 抗菌薬適正使用体制加算を算定した場合   | 再抗菌適  | 「再診」欄   |
| 40 | A001<br>A002 | 時間外加算の特例を算定した場合  | 特     | 「再診」欄   |
| 41 | A001<br>A002 | 小児科を標榜する保険医療機関における夜間加算の特例を算定した場合   | 小特夜   | 「再診」欄   |
| 42 | A001<br>A002 | 小児科を標榜する保険医療機関における休日加算の特例を算定した場合   | 小特休   | 「再診」欄   |
| 43 | A001<br>A002 | 小児科を標榜する保険医療機関における深夜加算の特例を算定した場合   | 小特深   | 「再診」欄   |
| 44 | A001<br>A002 | 医療情報取得加算3を算定した場合   | 医情3   | 「再診」欄   |
| 45 | A001<br>A002 | 医療情報取得加算4を算定した場合   | 医情4   | 「再診」欄   |
| 46 | A001<br>A002 | 看護師等遠隔診療補助加算を算定した場合  | 看師補   | 「再診」欄   |
| 47 | A002         | 情報通信機器を用いた外来診療を行った場合   | 情外    | 「再診」欄   |
| 48 | A002         | 外来診療料の注2又は注3に規定する紹介率等が低い保険医療機関の場合  | 外診減   | 「再診」欄   |
| 49 | A002         | 外来診療料の注4に規定する妥結率が低い保険医療機関の場合   | 外診妥減  | 「再診」欄   |
| 50 | A002         | 外来診療料の注5に規定する2つ目の診療科において再診を行った場合   | 複外診   | 「再診」欄   |
| 51 | A002         | 外来診療料の注5に規定する2つ目の診療科において再診を行った場合(外来診療料の注2又は注3に規定する紹介率等が低い保険医療機関の場合)                        | 複外診減  | 「再診」欄   |
| 52 | A002         | 外来診療料の注5に規定する2つ目の診療科において再診を行った場合(外来診療料の注4に規定する妥結率が低い保険医療機関の場合)                             | 複外診妥減 | 「再診」欄   |
| 53 | 第2部通則5       | 特別の関係にある保険医療機関等に入院又は入所していたことのある患者であって、入院期間を当該保険医療機関等の初回入院日を起算日として計算する場合                    | 特別    | 「入院」欄   |
| 54 | 第2部通則6       | 「厚生労働大臣の定める入院患者数の基準及び医師等の員数の基準並びに入院基本料の算定方法(平成18年厚生労働省告示第104号)」に規定する入院患者数の基準に該当する保険医療機関の場合 | 超過    | 「入院」欄   |
| 55 | 第2部通則6       | 「厚生労働大臣の定める入院患者数の基準及び医師等の員数の基準並びに入院基本料の算定方法」に規定する医師等の員数の基準に該当する保険医療機関(離島等所在保険医療機関以外)の場合    | 標欠7   | 「入院」欄   |
| 56 | 第2部通則6       | 「厚生労働大臣の定める入院患者数の基準及び医師等の員数の基準並びに入院基本料の算定方法」に規定する医師等の員数の基準に該当する保険医療機関(離島等所在保険医療機関)の場合      | 標欠5   | 「入院」欄   |
| 57 | 第2部通則8       | 管理栄養士の配置について基準を満たせない場合の経過措置に該当する場合   | 経措    | 「入院」欄   |

| 項番 | 区分                     | 診療行為名称等  | 略号                           | 対応する記載欄 |
|----|------------------------|--|------------------------------|---------|
| 58 | 第2部通則8                 | 医科点数表第1章第2部通則第8号により、当該保険医療機関内に、非常勤の管理栄養士又は常勤の栄養士が1名以上配置されている場合                                   | 栄40減                         | 「入院」欄   |
| 59 | 第2部通則9                 | 医科点数表第1章第2部通則第9号により、身体的拘束最小化に関する基準を満たせない場合   | 拘40減                         | 「入院」欄   |
| 60 | A100                   | 一般病棟入院基本料(急性期一般入院基本料の急性期一般入院料1)を算定した場合   | 急一般1                         | 「入院」欄   |
| 61 | A100                   | 一般病棟入院基本料(急性期一般入院基本料の急性期一般入院料2)を算定した場合   | 急一般2                         | 「入院」欄   |
| 62 | A100                   | 一般病棟入院基本料(急性期一般入院基本料の急性期一般入院料3)を算定した場合   | 急一般3                         | 「入院」欄   |
| 63 | A100                   | 一般病棟入院基本料(急性期一般入院基本料の急性期一般入院料4)を算定した場合   | 急一般4                         | 「入院」欄   |
| 64 | A100                   | 一般病棟入院基本料(急性期一般入院基本料の急性期一般入院料5)を算定した場合   | 急一般5                         | 「入院」欄   |
| 65 | A100                   | 一般病棟入院基本料(急性期一般入院基本料の急性期一般入院料6)を算定した場合   | 急一般6                         | 「入院」欄   |
| 66 | A100                   | 一般病棟入院基本料(地域一般入院基本料の地域一般入院料1)を算定した場合   | 地一般1                         | 「入院」欄   |
| 67 | A100                   | 一般病棟入院基本料(地域一般入院基本料の地域一般入院料2)を算定した場合   | 地一般2                         | 「入院」欄   |
| 68 | A100                   | 一般病棟入院基本料(地域一般入院基本料の地域一般入院料3)を算定した場合   | 地一般3                         | 「入院」欄   |
| 69 | A100                   | 一般病棟入院基本料の特別入院基本料等を算定した場合  | 一般特別                         | 「入院」欄   |
| 70 | A100                   | 一般病棟入院基本料の夜勤時間特別入院基本料を算定した場合   | 一般夜特                         | 「入院」欄   |
| 71 | A100                   | 一般病棟入院基本料について、夜間看護体制特定日減算により減算した場合   | 一般夜看特定減                      | 「入院」欄   |
| 72 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料A)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例A                         | 「入院」欄   |
| 73 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料B)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例B                         | 「入院」欄   |
| 74 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料C)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例C                         | 「入院」欄   |
| 75 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料D)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例D                         | 「入院」欄   |
| 76 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料E)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例E                         | 「入院」欄   |
| 77 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料F)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例F                         | 「入院」欄   |
| 78 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料G)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例G                         | 「入院」欄   |
| 79 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料H)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例H                         | 「入院」欄   |
| 80 | A100<br>A104の1<br>A105 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又は専門病院入院基本料を算定する病棟に入院している患者について、療養病棟入院料1(入院料I)の例により算定する入院料を算定した場合 | 療1例I                         | 「入院」欄   |
| 81 | A101                   | 療養病棟入院基本料(療養病棟入院料1の入院料1～30)を算定した場合   | 療1入●<br>(※●は1から30の算定する数字を記載) | 「入院」欄   |
| 82 | A101                   | 療養病棟入院基本料(療養病棟入院料2の入院料1～30)を算定した場合   | 療2入●<br>(※●は1から30の算定する数字を記載) | 「入院」欄   |
| 83 | A101                   | 療養病棟入院基本料の特別入院基本料等を算定した場合  | 療特                           | 「入院」欄   |
| 84 | A102                   | 結核病棟入院基本料(7対1入院基本料)を算定した場合   | 結7                           | 「入院」欄   |
| 85 | A102                   | 結核病棟入院基本料(10対1入院基本料)を算定した場合  | 結10                          | 「入院」欄   |
| 86 | A102                   | 結核病棟入院基本料(13対1入院基本料)を算定した場合  | 結13                          | 「入院」欄   |

| 項番  | 区分   | 診療行為名称等                            | 略号     | 対応する記載欄 |
|-----|------|------------------------------------|--------|---------|
| 87  | A102 | 結核病棟入院基本料(15対1入院基本料)を算定した場合        | 結15    | 「入院」欄   |
| 88  | A102 | 結核病棟入院基本料(18対1入院基本料)を算定した場合        | 結18    | 「入院」欄   |
| 89  | A102 | 結核病棟入院基本料(20対1入院基本料)を算定した場合        | 結20    | 「入院」欄   |
| 90  | A102 | 結核病棟入院基本料の特別入院基本料等を算定した場合          | 結特     | 「入院」欄   |
| 91  | A102 | 結核病棟入院基本料の夜勤時間特別入院基本料を算定した場合       | 結夜特    | 「入院」欄   |
| 92  | A102 | 結核病棟入院基本料の重症患者割合特別入院基本料を算定した場合     | 重割特    | 「入院」欄   |
| 93  | A102 | 結核病棟入院基本料について、夜間看護体制特定日減算により減算した場合 | 結夜看特定減 | 「入院」欄   |
| 94  | A103 | 精神病棟入院基本料(10対1入院基本料)を算定した場合        | 精10    | 「入院」欄   |
| 95  | A103 | 精神病棟入院基本料(13対1入院基本料)を算定した場合        | 精13    | 「入院」欄   |
| 96  | A103 | 精神病棟入院基本料(15対1入院基本料)を算定した場合        | 精15    | 「入院」欄   |
| 97  | A103 | 精神病棟入院基本料(18対1入院基本料)を算定した場合        | 精18    | 「入院」欄   |
| 98  | A103 | 精神病棟入院基本料(20対1入院基本料)を算定した場合        | 精20    | 「入院」欄   |
| 99  | A103 | 精神病棟入院基本料の特別入院基本料等を算定した場合          | 精特     | 「入院」欄   |
| 100 | A103 | 精神病棟入院基本料の夜勤時間特別入院基本料を算定した場合       | 精夜特    | 「入院」欄   |
| 101 | A103 | 精神病棟入院基本料について、夜間看護体制特定日減算により減算した場合 | 精夜看特定減 | 「入院」欄   |
| 102 | A104 | 特定機能病院入院基本料の一般病棟(7対1入院基本料)を算定した場合  | 特一7    | 「入院」欄   |
| 103 | A104 | 特定機能病院入院基本料の一般病棟(10対1入院基本料)を算定した場合 | 特一10   | 「入院」欄   |
| 104 | A104 | 特定機能病院入院基本料の結核病棟(7対1入院基本料)を算定した場合  | 特結7    | 「入院」欄   |
| 105 | A104 | 特定機能病院入院基本料の結核病棟(10対1入院基本料)を算定した場合 | 特結10   | 「入院」欄   |
| 106 | A104 | 特定機能病院入院基本料の結核病棟(13対1入院基本料)を算定した場合 | 特結13   | 「入院」欄   |
| 107 | A104 | 特定機能病院入院基本料の結核病棟(15対1入院基本料)を算定した場合 | 特結15   | 「入院」欄   |
| 108 | A104 | 特定機能病院入院基本料の精神病棟(7対1入院基本料)を算定した場合  | 特精7    | 「入院」欄   |
| 109 | A104 | 特定機能病院入院基本料の精神病棟(10対1入院基本料)を算定した場合 | 特精10   | 「入院」欄   |
| 110 | A104 | 特定機能病院入院基本料の精神病棟(13対1入院基本料)を算定した場合 | 特精13   | 「入院」欄   |
| 111 | A104 | 特定機能病院入院基本料の精神病棟(15対1入院基本料)を算定した場合 | 特精15   | 「入院」欄   |
| 112 | A105 | 専門病院入院基本料(7対1入院基本料)を算定した場合         | 専7     | 「入院」欄   |
| 113 | A105 | 専門病院入院基本料(10対1入院基本料)を算定した場合        | 専10    | 「入院」欄   |
| 114 | A105 | 専門病院入院基本料(13対1入院基本料)を算定した場合        | 専13    | 「入院」欄   |
| 115 | A105 | 専門病院入院基本料について、夜間看護体制特定日減算により減算した場合 | 専夜看特定減 | 「入院」欄   |

| 項番  | 区分   | 診療行為名称等  | 略号     | 対応する記載欄 |
|-----|------|--|--------|---------|
| 116 | A106 | 障害者施設等入院基本料(7対1入院基本料)を算定した場合                               | 障7     | 「入院」欄   |
| 117 | A106 | 障害者施設等入院基本料(10対1入院基本料)を算定した場合                              | 障10    | 「入院」欄   |
| 118 | A106 | 障害者施設等入院基本料(13対1入院基本料)を算定した場合                              | 障13    | 「入院」欄   |
| 119 | A106 | 障害者施設等入院基本料(15対1入院基本料)を算定した場合                              | 障15    | 「入院」欄   |
| 120 | A106 | 障害者施設等入院基本料(7対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合      | 2障7意   | 「入院」欄   |
| 121 | A106 | 障害者施設等入院基本料(7対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合      | 1障7意   | 「入院」欄   |
| 122 | A106 | 障害者施設等入院基本料(10対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 2障10意  | 「入院」欄   |
| 123 | A106 | 障害者施設等入院基本料(10対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 1障10意  | 「入院」欄   |
| 124 | A106 | 障害者施設等入院基本料(13対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 2障13意  | 「入院」欄   |
| 125 | A106 | 障害者施設等入院基本料(13対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 1障13意  | 「入院」欄   |
| 126 | A106 | 障害者施設等入院基本料(15対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 2障15意  | 「入院」欄   |
| 127 | A106 | 障害者施設等入院基本料(15対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 1障15意  | 「入院」欄   |
| 128 | A106 | 障害者施設等入院基本料について、夜間看護体制特定日減算により減算した場合                       | 障夜看特定減 | 「入院」欄   |
| 129 | A106 | 障害者施設等入院基本料(7対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合  | 2障7脳   | 「入院」欄   |
| 130 | A106 | 障害者施設等入院基本料(7対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合  | 1障7脳   | 「入院」欄   |
| 131 | A106 | 障害者施設等入院基本料(10対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 2障10脳  | 「入院」欄   |
| 132 | A106 | 障害者施設等入院基本料(10対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 1障10脳  | 「入院」欄   |
| 133 | A106 | 障害者施設等入院基本料(13対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 2障13脳  | 「入院」欄   |
| 134 | A106 | 障害者施設等入院基本料(13対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 1障13脳  | 「入院」欄   |
| 135 | A106 | 障害者施設等入院基本料(15対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 2障15脳  | 「入院」欄   |
| 136 | A106 | 障害者施設等入院基本料(15対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 1障15脳  | 「入院」欄   |
| 137 | A108 | 有床診療所入院基本料1を算定した場合   | 診1     | 「入院」欄   |
| 138 | A108 | 有床診療所入院基本料2を算定した場合   | 診2     | 「入院」欄   |
| 139 | A108 | 有床診療所入院基本料3を算定した場合   | 診3     | 「入院」欄   |
| 140 | A108 | 有床診療所入院基本料4を算定した場合   | 診4     | 「入院」欄   |
| 141 | A108 | 有床診療所入院基本料5を算定した場合   | 診5     | 「入院」欄   |
| 142 | A108 | 有床診療所入院基本料6を算定した場合   | 診6     | 「入院」欄   |
| 143 | A109 | 有床診療所療養病床入院基本料Aを算定した場合                                     | 診療A    | 「入院」欄   |
| 144 | A109 | 有床診療所療養病床入院基本料Bを算定した場合                                     | 診療B    | 「入院」欄   |

| 項番  | 区分                                   | 診療行為名称等  | 略号      | 対応する記載欄               |
|-----|--------------------------------------|--|---------|-----------------------|
| 145 | A109                                 | 有床診療所療養病床入院基本料Cを算定した場合   | 診療C     | 「入院」欄                 |
| 146 | A109                                 | 有床診療所療養病床入院基本料Dを算定した場合   | 診療D     | 「入院」欄                 |
| 147 | A109                                 | 有床診療所療養病床入院基本料Eを算定した場合   | 診療E     | 「入院」欄                 |
| 148 | A109                                 | 有床診療所療養病床入院基本料の特別入院基本料を算定した場合  | 診療特     | 「入院」欄                 |
| 149 | A100<br>A104<br>A105                 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料の一般病棟又は専門病院入院基本料を算定している患者について、退院が特定の時間帯に集中していることにより、減算された入院基本料を算定した場合     | 午前減     | 「入院」欄                 |
| 150 | A100<br>A104<br>A105                 | 一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料の一般病棟又は専門病院入院基本料を算定している患者について、入院日及び退院日が特定の日に集中していることにより、減算された入院基本料を算定した場合 | 土日減     | 「入院」欄                 |
| 151 | A100<br>A102<br>A103<br>A106         | 一般病棟入院基本料、結核病棟入院基本料、精神病棟入院基本料又は障害者施設等入院基本料について、月平均夜勤時間72時間の要件を満たさない場合                          | 夜減      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 152 | A100<br>A101<br>A106<br>A108<br>A109 | 一般病棟入院基本料、療養病棟入院基本料、障害者施設等入院基本料、有床診療所入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している患者について、重症児(者)受入連携加算を算定した場合    | 重受連     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 153 | A100                                 | 一般病棟入院基本料の救急・在宅等支援病床初期加算を算定した場合  | 病初      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 154 | A104<br>A105                         | 特定機能病院入院基本料の一般病棟又は専門病院入院基本料を算定している患者について、看護必要度加算1を算定した場合                                       | 看必1     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 155 | A104<br>A105                         | 特定機能病院入院基本料の一般病棟又は専門病院入院基本料を算定している患者について、看護必要度加算2を算定した場合                                       | 看必2     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 156 | A100<br>A104<br>A105                 | 特定機能病院入院基本料の一般病棟又は専門病院入院基本料を算定している患者について、看護必要度加算3を算定した場合                                       | 看必3     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 157 | A101<br>A109                         | 療養病棟入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料の褥瘡対策加算1又は2を算定した場合  | 褥対1、褥対2 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 158 | A101                                 | 療養病棟入院基本料の急性期患者支援療養病床初期加算を算定した場合   | 療急初     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 159 | A101                                 | 療養病棟入院基本料の在宅患者支援療養病床初期加算を算定した場合  | 療支初     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 160 | A101                                 | 療養病棟入院基本料の経腸栄養管理加算を算定した場合  | 療経栄     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 161 | A101                                 | 療養病棟入院基本料の夜間看護加算を算定した場合  | 療夜看     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 162 | A101                                 | 療養病棟入院基本料の看護補助体制充実加算1を算定した場合   | 療看充1    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 163 | A101                                 | 療養病棟入院基本料の看護補助体制充実加算2を算定した場合   | 療看充2    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 164 | A101                                 | 療養病棟入院基本料の看護補助体制充実加算3を算定した場合   | 療看充3    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 165 | A103<br>A104                         | 精神病棟入院基本料又は特定機能病院入院基本料の重度認知症加算を算定した場合  | 重認      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 166 | A103                                 | 精神病棟入院基本料を算定している患者について、救急支援精神病棟初期加算を算定した場合   | 精初      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 167 | A103<br>A312                         | 精神療養病棟入院料及び精神病棟入院基本料を算定している患者について、精神保健福祉士配置加算を算定した場合   | 精福      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 168 | A104                                 | 特定機能病院入院基本料の入院栄養管理体制加算を算定した場合  | 特栄      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 169 | A105                                 | 専門病院入院基本料の13対1入院基本料を算定する病棟で、一般病棟看護必要度評価加算を算定した場合   | 専看評     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 170 | A106                                 | 障害者施設等入院基本料の看護補助加算を算定した場合  | 障看補     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 171 | A106                                 | 障害者施設等入院基本料の看護補助体制充実加算1を算定した場合   | 障看充1    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |



| 項番  | 区分           | 診療行為名称等  | 略号      | 対応する記載欄               |
|-----|--------------|--|---------|-----------------------|
| 172 | A106         | 障害者施設等入院基本料の看護補助体制充実加算2を算定した場合                                       | 障看充2    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 173 | A106         | 障害者施設等入院基本料の看護補助体制充実加算3を算定した場合                                       | 障看充3    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 174 | A108         | 有床診療所入院基本料の有床診療所急性期患者支援病床初期加算を算定した場合                                 | 有急支     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 175 | A108         | 有床診療所入院基本料の有床診療所在宅患者支援療養病床初期加算を算定した場合                                | 有在支     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 176 | A108         | 有床診療所入院基本料の夜間緊急体制確保加算を算定した場合   | 有緊      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 177 | A108         | 有床診療所入院基本料の医師配置加算1を算定した場合  | 有医1     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 178 | A108         | 有床診療所入院基本料の医師配置加算2を算定した場合  | 有医2     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 179 | A108         | 有床診療所入院基本料の看護配置加算1を算定した場合  | 有看1     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 180 | A108         | 有床診療所入院基本料の看護配置加算2を算定した場合  | 有看2     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 181 | A108         | 有床診療所入院基本料の夜間看護配置加算1を算定した場合  | 有夜看1    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 182 | A108         | 有床診療所入院基本料の夜間看護配置加算2を算定した場合  | 有夜看2    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 183 | A108         | 有床診療所入院基本料の看護補助配置加算1を算定した場合  | 有補1     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 184 | A108         | 有床診療所入院基本料の看護補助配置加算2を算定した場合  | 有補2     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 185 | A108<br>A109 | 有床診療所入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している患者について、看取り加算を算定した場合（在宅療養支援診療所以外の場合） | 看取      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 186 | A108<br>A109 | 有床診療所入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している患者について、看取り加算を算定した場合（在宅療養支援診療所の場合）   | 看取在支    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 187 | A108         | 有床診療所入院基本料の介護連携加算1又は2を算定した場合   | 介連1、介連2 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 188 | A109         | 有床診療所療養病床入院基本料の急性期患者支援療養病床初期加算を算定した場合                                | 有療急支    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 189 | A109         | 有床診療所療養病床入院基本料の有床診療所在宅患者支援療養病床初期加算を算定した場合                            | 有療在支    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 190 | A109         | 栄養管理実施加算を算定した場合  | 栄養      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 191 | A109         | 有床診療所療養病床入院基本料の慢性維持透析管理加算を算定した場合                                     | 有慢      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 192 | A200         | 総合入院体制加算1を算定した場合   | 総入体1    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 193 | A200         | 総合入院体制加算2を算定した場合   | 総入体2    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 194 | A200         | 総合入院体制加算3を算定した場合   | 総入体3    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 195 | A200-2       | 急性期充実体制加算1を算定した場合  | 急充1     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 196 | A200-2       | 急性期充実体制加算2を算定した場合  | 急充2     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 197 | A200-2       | 急性期充実体制加算の精神科充実体制加算  | 精充      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 198 | A204         | 地域医療支援病院入院診療加算を算定した場合  | 地入診     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 199 | A204-2       | 臨床研修病院入院診療加算を算定した場合  | 臨修      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 200 | A204-3       | 紹介受診重点医療機関入院診療加算を算定した場合  | 紹介診     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等                           | 略号     | 対応する記載欄               |
|-----|--------|-----------------------------------|--------|-----------------------|
| 201 | A205   | 救急医療管理加算1を算定した場合                  | 救医1    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 202 | A205   | 救急医療管理加算2を算定した場合                  | 救医2    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 203 | A205   | 救急医療管理加算の乳幼児加算を算定した場合             | 乳救医    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 204 | A205   | 救急医療管理加算の小児加算を算定した場合              | 小救医    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 205 | A205-2 | 超急性期脳卒中加算を算定した場合                  | 超急     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 206 | A205-3 | 妊産婦緊急搬送入院加算を算定した場合                | 妊搬     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 207 | A206   | 在宅患者緊急入院診療加算を算定した場合               | 在緊     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 208 | A207   | 診療録管理体制加算1を算定した場合                 | 録管1    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 209 | A207   | 診療録管理体制加算2を算定した場合                 | 録管2    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 210 | A207   | 診療録管理体制加算3を算定した場合                 | 録管3    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 211 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(15対1)を算定した場合        | 医1の15  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 212 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(20対1)を算定した場合        | 医1の20  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 213 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(25対1)を算定した場合        | 医1の25  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 214 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(30対1)を算定した場合        | 医1の30  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 215 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(40対1)を算定した場合        | 医1の40  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 216 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(50対1)を算定した場合        | 医1の50  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 217 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(75対1)を算定した場合        | 医1の75  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 218 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算1(100対1)を算定した場合       | 医1の100 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 219 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(15対1)を算定した場合        | 医2の15  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 220 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(20対1)を算定した場合        | 医2の20  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 221 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(25対1)を算定した場合        | 医2の25  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 222 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(30対1)を算定した場合        | 医2の30  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 223 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(40対1)を算定した場合        | 医2の40  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 224 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(50対1)を算定した場合        | 医2の50  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 225 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(75対1)を算定した場合        | 医2の75  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 226 | A207-2 | 医師事務作業補助体制加算2(100対1)を算定した場合       | 医2の100 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 227 | A207-3 | 25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割以上)を算定した場合 | 急25上   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 228 | A207-3 | 25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満)を算定した場合 | 急25    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 229 | A207-3 | 50対1急性期看護補助体制加算を算定した場合            | 急50    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等                        | 略号     | 対応する記載欄               |
|-----|--------|--------------------------------|--------|-----------------------|
| 230 | A207-3 | 75対1急性期看護補助体制加算を算定した場合         | 急75    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 231 | A207-3 | 夜間30対1急性期看護補助体制加算を算定した場合       | 夜30    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 232 | A207-3 | 夜間50対1急性期看護補助体制加算を算定した場合       | 夜50    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 233 | A207-3 | 夜間100対1急性期看護補助体制加算を算定した場合      | 夜100   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 234 | A207-3 | 急性期看護補助体制加算の夜間看護体制加算を算定した場合    | 急夜看    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 235 | A207-3 | 急性期看護補助体制加算の看護補助体制充実加算1を算定した場合 | 急看充1   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 236 | A207-3 | 急性期看護補助体制加算の看護補助体制充実加算2を算定した場合 | 急看充2   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 237 | A207-4 | 看護職員夜間12対1配置加算1を算定した場合         | 看職12夜1 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 238 | A207-4 | 看護職員夜間12対1配置加算2を算定した場合         | 看職12夜2 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 239 | A207-4 | 看護職員夜間16対1配置加算1を算定した場合         | 看職16夜1 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 240 | A207-4 | 看護職員夜間16対1配置加算2を算定した場合         | 看職16夜2 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 241 | A208   | 乳幼児加算を算定した場合                   | 乳      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 242 | A208   | 幼児加算を算定した場合                    | 幼      | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 243 | A209   | 特定感染症入院医療管理加算を算定した場合           | 特感管    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 244 | A210   | 難病患者等入院診療加算を算定した場合             | 難入     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 245 | A210   | 二類感染症患者入院診療加算を算定した場合           | 二感入    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 246 | A211   | 特殊疾患入院施設管理加算を算定した場合            | 特疾     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 247 | A212   | 超重症児(者)入院診療加算を算定した場合           | 超重症    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 248 | A212   | 準超重症児(者)入院診療加算を算定した場合          | 準超重症   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 249 | A212   | 救急・在宅重症児(者)受入加算を算定した場合         | 救在重受   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 250 | A213   | 看護配置加算を算定した場合                  | 看配     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 251 | A214   | 看護補助加算1を算定した場合                 | 補1     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 252 | A214   | 看護補助加算2を算定した場合                 | 補2     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 253 | A214   | 看護補助加算3を算定した場合                 | 補3     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 254 | A214   | 夜間75対1看護補助加算を算定した場合            | 夜75補   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 255 | A214   | 看護補助加算の夜間看護体制加算を算定した場合         | 夜看補    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 256 | A214   | 看護補助加算の看護補助体制充実加算1を算定した場合      | 補看充1   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 257 | A214   | 看護補助加算の看護補助体制充実加算2を算定した場合      | 補看充2   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 258 | A219   | 療養環境加算を算定した場合                  | 環境     | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等  | 略号   | 対応する記載欄               |
|-----|--------|--|------|-----------------------|
| 259 | A220   | HIV感染者療養環境特別加算を算定した場合                                  | 感染特  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 260 | A220-2 | 二類感染症患者療養環境特別加算の「1」個室加算を算定した場合                         | 個室   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 261 | A220-2 | 二類感染症患者療養環境特別加算の「2」陰圧室加算を算定した場合                        | 陰圧   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 262 | A221   | 重症者等療養環境特別加算を算定した場合                                    | 重境   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 263 | A221-2 | 小児療養環境特別加算を算定した場合                                      | 小環特  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 264 | A222   | 療養病棟療養環境加算1を算定した場合                                     | 療環1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 265 | A222   | 療養病棟療養環境加算2を算定した場合                                     | 療環2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 266 | A222-2 | 療養病棟療養環境改善加算1を算定した場合                                   | 療改1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 267 | A222-2 | 療養病棟療養環境改善加算2を算定した場合                                   | 療改2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 268 | A223   | 診療所療養病床療養環境加算を算定した場合                                   | 診環   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 269 | A223-2 | 診療所療養病床療養環境改善加算を算定した場合                                 | 診環改  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 270 | A224   | 無菌治療室管理加算1を算定した場合                                      | 無菌1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 271 | A224   | 無菌治療室管理加算2を算定した場合                                      | 無菌2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 272 | A225   | 放射線治療病室管理加算1を算定した場合                                    | 放室1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 273 | A225   | 放射線治療病室管理加算2を算定した場合                                    | 放室2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 274 | A226   | 重症皮膚潰瘍管理加算を算定した場合                                      | 重皮潰  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 275 | A226-2 | 緩和ケア診療加算を算定した場合  | 緩和   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 276 | A226-2 | 緩和ケア診療加算の小児加算を算定した場合                                   | 小緩和  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 277 | A226-2 | 緩和ケア診療加算の個別栄養食事管理加算を算定した場合                             | 栄養緩和 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 278 | A226-2 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された緩和ケア診療加算を算定した場合 | 緩和地域 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 279 | A226-3 | 有床診療所緩和ケア診療加算を算定した場合                                   | 診緩和  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 280 | A226-4 | 小児緩和ケア診療加算を算定した場合                                      | 小児緩和 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 281 | A226-4 | 小児個別栄養食事管理加算を算定した場合                                    | 小栄養  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 282 | A227   | 精神科措置入院診療加算を算定した場合                                     | 精措   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 283 | A228   | 精神科応急入院施設管理加算を算定した場合                                   | 精応   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 284 | A229   | 精神科隔離室管理加算を算定した場合                                      | 精隔   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 285 | A230   | 精神病棟入院時医学管理加算を算定した場合                                   | 精医管  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 286 | A230-2 | 精神科地域移行実施加算を算定した場合                                     | 精移   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 287 | A230-3 | 精神科身体合併症管理加算を算定した場合                                    | 精身   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等   | 略号    | 対応する記載欄               |
|-----|--------|---|-------|-----------------------|
| 288 | A230-4 | 精神科リエゾンチーム加算を算定した場合   | 精リエ   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 289 | A231-2 | 強度行動障害入院医療管理加算を算定した場合                                       | 強行    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 290 | A231-3 | 依存症入院医療管理加算を算定した場合  | 依存    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 291 | A231-4 | 摂食障害入院医療管理加算を算定した場合   | 摂障    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 292 | A232の1 | がん診療連携拠点病院加算を算定した場合   | がん診   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 293 | A232の2 | 小児がん拠点病院加算を算定した場合   | 小児がん  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 294 | A233   | リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算を算定した場合                                | リ栄口   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 295 | A233-2 | 栄養サポートチーム加算を算定した場合  | 栄サ    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 296 | A233-2 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された栄養サポートチーム加算を算定した場合   | 栄サ地域  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 297 | A233-2 | 歯科医師連携加算を算定した場合   | 歯連    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 298 | A234   | 医療安全対策加算1を算定した場合  | 安全1   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 299 | A234   | 医療安全対策加算2を算定した場合  | 安全2   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 300 | A234   | 医療安全対策地域連携加算1を算定した場合  | 安全地連1 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 301 | A234   | 医療安全対策地域連携加算2を算定した場合  | 安全地連2 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 302 | A234-2 | 感染対策向上加算1を算定した場合  | 感向1   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 303 | A234-2 | 感染対策向上加算2を算定した場合  | 感向2   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 304 | A234-2 | 感染対策向上加算3を算定した場合  | 感向3   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 305 | A234-2 | 指導強化加算を算定した場合   | 感指    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 306 | A234-2 | 連携強化加算を算定した場合   | 感連    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 307 | A234-2 | サーベイランス強化加算を算定した場合  | 感サ    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 308 | A234-2 | 抗菌薬適正使用体制加算を算定した場合  | 抗菌適   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 309 | A234-3 | 患者サポート体制充実加算を算定した場合   | 患サポ   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 310 | A234-4 | 重症患者初期支援充実加算を算定した場合   | 重支    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 311 | A234-5 | 報告書管理体制加算を算定した場合  | 報管    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 312 | A236   | 褥瘡ハイリスク患者ケア加算を算定した場合  | 褥ハイ   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 313 | A236   | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された褥瘡ハイリスク患者ケア加算を算定した場合 | 褥ハ地域  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 314 | A236-2 | ハイリスク妊娠管理加算を算定した場合  | ハイ妊娠  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 315 | A237   | ハイリスク分娩管理加算を算定した場合  | ハイ分娩  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 316 | A237   | 地域連携分娩管理加算を算定した場合   | 地分娩   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等  | 略号    | 対応する記載欄               |
|-----|--------|--|-------|-----------------------|
| 317 | A238-6 | 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算を算定した場合                               | 精救紹   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 318 | A238-7 | 精神科救急搬送患者地域連携受入加算を算定した場合                               | 精救受   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 319 | A242   | 呼吸ケアチーム加算を算定した場合                                       | 呼ケア   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 320 | A242-2 | 術後疼痛管理チーム加算を算定した場合                                     | 術疼管   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 321 | A243   | 後発医薬品使用体制加算1を算定した場合                                    | 後使1   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 322 | A243   | 後発医薬品使用体制加算2を算定した場合                                    | 後使2   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 323 | A243   | 後発医薬品使用体制加算3を算定した場合                                    | 後使3   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 324 | A243-2 | バイオ後続品使用体制加算を算定した場合                                    | バイオ体制 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 325 | A244   | 病棟薬剤業務実施加算1を算定した場合                                     | 病薬実1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 326 | A244   | 病棟薬剤業務実施加算2を算定した場合                                     | 病薬実2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 327 | A244   | 薬剤業務向上加算を算定した場合  | 薬業向   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 328 | A245   | データ提出加算1を算定した場合  | デ提1   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 329 | A245   | データ提出加算2を算定した場合  | デ提2   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 330 | A245   | データ提出加算3を算定した場合  | デ提3   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 331 | A245   | データ提出加算4を算定した場合  | デ提4   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 332 | A245   | 提出データ評価加算を算定した場合                                       | デ評    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 333 | A246   | 入退院支援加算1を算定した場合  | 入退支1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 334 | A246   | 入退院支援加算2を算定した場合  | 入退支2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 335 | A246   | 入退院支援加算3を算定した場合  | 入退支3  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 336 | A246   | 地域連携診療計画加算を算定した場合                                      | 地連診計  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 337 | A246   | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された入退院支援加算2を算定した場合 | 入退支地域 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 338 | A246   | 小児加算を算定した場合  | 入退支小  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 339 | A246   | 入院時支援加算1を算定した場合  | 入退入1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 340 | A246   | 入院時支援加算2を算定した場合  | 入退入2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 341 | A246   | 入院事前調整加算を算定した場合  | 入前    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 342 | A246-2 | 精神科入退院支援加算を算定した場合                                      | 精入退   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 343 | A246-2 | 精神科措置入院退院支援加算を算定した場合                                   | 精退    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 344 | A246-3 | 医療的ケア児(者)入院前支援加算を算定した場合                                | 医ケア支  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |
| 345 | A246-3 | 情報通信機器を用いて医療的ケア児(者)入院前支援加算を算定した場合                      | 情医ケア支 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等                                     | 略号    | 対応する記載欄                |
|-----|--------|---|-------|------------------------|
| 346 | A247   | 認知症ケア加算1を算定した場合                             | 認ケア1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 347 | A247   | 認知症ケア加算2を算定した場合                             | 認ケア2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 348 | A247   | 認知症ケア加算3を算定した場合                             | 認ケア3  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 349 | A247   | 認知症ケア加算1の100分の60に相当する点数を算定した場合              | 認ケア1減 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 350 | A247   | 認知症ケア加算2の100分の60に相当する点数を算定した場合              | 認ケア2減 | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 351 | A247-2 | せん妄ハイリスク患者ケア加算を算定した場合                       | せハイ   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 352 | A248   | 精神疾患診療体制加算1を算定した場合                          | 精疾診1  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 353 | A248   | 精神疾患診療体制加算2を算定した場合                          | 精疾診2  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 354 | A249   | 精神科急性期医師配置加算を算定した場合                         | 精急医配  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 355 | A250   | 薬剤総合評価調整加算を算定した場合                           | 薬総評加  | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 356 | A251   | 排尿自立支援加算を算定した場合                             | 排自    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 357 | A252   | 地域医療体制確保加算を算定した場合                           | 地医体   | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 358 | A253   | 協力対象施設入所者入院加算を算定した場合                        | 協施    | 「入院」欄<br>「入院基本料・加算」の項  |
| 359 | A300   | 救命救急入院料1を算定した場合                             | 救命1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 360 | A300   | 救命救急入院料2を算定した場合                             | 救命2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 361 | A300   | 救命救急入院料3を算定した場合                             | 救命3   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 362 | A300   | 救命救急入院料3の広範囲熱傷特定集中治療管理料を算定した場合              | 救命3熱  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 363 | A300   | 救命救急入院料4を算定した場合                             | 救命4   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 364 | A300   | 救命救急入院料4の広範囲熱傷特定集中治療管理料を算定した場合              | 救命4熱  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 365 | A300   | 精神疾患診断治療初回加算イを算定した場合                        | 精初イ   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 366 | A300   | 精神疾患診断治療初回加算ロを算定した場合                        | 精初ロ   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 367 | A300   | 救命救急入院料の救命救急センターの評価基準に基づく評価が充実段階A若しくはBである場合 | A救    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 368 | A300   | 救命救急入院料の救命救急センターの評価基準に基づく評価が充実段階A若しくはBである場合 | B救    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 369 | A300   | 救命救急入院料の救急体制充実加算1を算定した場合                    | 救充1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 370 | A300   | 救命救急入院料の救急体制充実加算2を算定した場合                    | 救充2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 371 | A300   | 救命救急入院料の救急体制充実加算3を算定した場合                    | 救充3   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 372 | A300   | 救命救急入院料の高度救命救急センターである場合                     | 高救    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 373 | A300   | 救命救急入院料の急性薬物中毒1に係る加算を算定した場合                 | 薬救1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 374 | A300   | 救命救急入院料の急性薬物中毒2に係る加算を算定した場合                 | 薬救2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等  | 略号   | 対応する記載欄                |
|-----|--------|--|------|------------------------|
| 375 | A300   | 救命救急入院料の小児加算を算定した場合  | 小児   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 376 | A300   | 救命救急入院料の早期離床・リハビリテーション加算を算定した場合                              | 救早リ  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 377 | A300   | 救命救急入院料の早期栄養介入管理加算を算定した場合                                    | 救早栄  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 378 | A300   | 救命救急入院料の早期栄養介入管理加算(早期から経腸栄養を開始した場合)を算定した場合                   | 救早経  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 379 | A300   | 救命救急入院料の生活上の課題又は精神疾患の治療継続上の課題を確認し、助言又は指導を行った場合に算定する加算を算定した場合 | 救精助  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 380 | A300   | 救命救急入院料の重症患者対応体制強化加算イを算定した場合                                 | 救重イ  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 381 | A300   | 救命救急入院料の重症患者対応体制強化加算ロを算定した場合                                 | 救重ロ  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 382 | A300   | 救命救急入院料の重症患者対応体制強化加算ハを算定した場合                                 | 救重ハ  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 383 | A301   | 特定集中治療室管理料1を算定した場合   | 特集1  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 384 | A301   | 特定集中治療室管理料2を算定した場合   | 特集2  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 385 | A301   | 特定集中治療室管理料2の広範囲熱傷特定集中治療管理料を算定した場合                            | 特集2熱 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 386 | A301   | 特定集中治療室管理料3を算定した場合   | 特集3  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 387 | A301   | 特定集中治療室管理料4を算定した場合   | 特集4  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 388 | A301   | 特定集中治療室管理料4の広範囲熱傷特定集中治療管理料を算定した場合                            | 特集4熱 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 389 | A301   | 特定集中治療室管理料5を算定した場合   | 特集5  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 390 | A301   | 特定集中治療室管理料6を算定した場合   | 特集6  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 391 | A301   | 特定集中治療室管理料6の広範囲熱傷特定集中治療管理料を算定した場合                            | 特集6熱 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 392 | A301   | 特定集中治療室管理料の小児加算を算定した場合                                       | 小児   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 393 | A301   | 特定集中治療室管理料の早期離床・リハビリテーション加算を算定した場合                           | 特集早リ | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 394 | A301   | 特定集中治療室管理料の早期栄養介入管理加算を算定した場合                                 | 特集早栄 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 395 | A301   | 特定集中治療室管理料の早期栄養介入管理加算(早期から経腸栄養を開始した場合)を算定した場合                | 特集早経 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 396 | A301   | 特定集中治療室管理料の重症患者対応体制強化加算イを算定した場合                              | 特集重イ | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 397 | A301   | 特定集中治療室管理料の重症患者対応体制強化加算ロを算定した場合                              | 特集重ロ | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 398 | A301   | 特定集中治療室管理料の重症患者対応体制強化加算ハを算定した場合                              | 特集重ハ | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 399 | A301   | 特定集中治療室遠隔支援加算を算定した場合   | 特集遠隔 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 400 | A301-2 | ハイケアユニット入院医療管理料1を算定した場合                                      | ハイ1  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 401 | A301-2 | ハイケアユニット入院医療管理料2を算定した場合                                      | ハイ2  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 402 | A301-2 | ハイケアユニット入院医療管理料の早期離床・リハビリテーション加算を算定した場合                      | ハイ早リ | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 403 | A301-2 | ハイケアユニット入院医療管理料の早期栄養介入管理加算を算定した場合                            | ハイ早栄 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |



| 項番  | 区分     | 診療行為名称等   | 略号       | 対応する記載欄                |
|-----|--------|---|----------|------------------------|
| 404 | A301-2 | ハイケアユニット入院医療管理料の早期栄養介入管理加算(早期から経腸栄養を開始した場合)を算定した場合  | ハイ早経     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 405 | A301-3 | 脳卒中ケアユニット入院医療管理料を算定した場合                             | 脳ケア      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 406 | A301-3 | 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の早期離床・リハビリテーション加算を算定した場合            | 脳ケア早リ    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 407 | A301-3 | 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の早期栄養介入管理加算を算定した場合                  | 脳ケア早栄    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 408 | A301-3 | 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の早期栄養介入管理加算(早期から経腸栄養を開始した場合)を算定した場合 | 脳ケア早経    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 409 | A301-4 | 小児特定集中治療室管理料を算定した場合                                 | 小特集      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 410 | A301-4 | 小児特定集中治療室管理料の早期離床・リハビリテーション加算を算定した場合                | 小特集早リ    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 411 | A301-4 | 小児特定集中治療室管理料の早期栄養介入管理加算を算定した場合                      | 小特集早栄    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 412 | A301-4 | 小児特定集中治療室管理料の早期栄養介入管理加算(早期から経腸栄養を開始した場合)を算定した場合     | 小特集早経    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 413 | A302   | 新生児特定集中治療室管理料1を算定した場合                               | 新集1      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 414 | A302   | 新生児特定集中治療室管理料2を算定した場合                               | 新集2      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 415 | A302-2 | 新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料を算定した場合                       | 新集重      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 416 | A303   | 総合周産期特定集中治療室管理料「1」母体・胎児集中治療室管理料を算定した場合              | 産集母      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 417 | A303   | 総合周産期特定集中治療室管理料「2」新生児集中治療室管理料を算定した場合                | 産集新      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 418 | A303   | 総合周産期特定集中治療室管理料の育成連携支援加算を算定した場合                     | 産集成      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 419 | A303-2 | 新生児治療回復室入院医療管理料を算定した場合                              | 新治回      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 420 | A304   | 地域包括医療病棟入院料を算定した場合                                  | 地包医      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 421 | A304   | 地域包括医療病棟入院料について、夜間看護体制特定日減算により減算した場合                | 地包医夜看特定減 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 422 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の25対1看護補助体制加算(看護補助者5割以上)を算定した場合          | 地包括医25上  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 423 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の25対1看護補助体制加算(看護補助者5割未満)を算定した場合          | 地包括医25   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 424 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の50対1看護補助体制加算を算定した場合                     | 地包括医50   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 425 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の75対1看護補助体制加算を算定した場合                     | 地包括医75   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 426 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の夜間30対1看護補助体制加算を算定した場合                   | 地包括医夜30  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 427 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の夜間50対1看護補助体制加算を算定した場合                   | 地包括医夜50  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 428 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の夜間100対1看護補助体制加算を算定した場合                  | 地包括医夜100 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 429 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の看護補助体制充実加算1を算定した場合                      | 地包医看充1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 430 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の看護補助体制充実加算2を算定した場合                      | 地包医看充2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 431 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の看護補助体制充実加算3を算定した場合                      | 地包医看充3   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 432 | A304   | 地域包括医療病棟入院料の看護職員夜間配置加算を算定した場合                       | 地包医看職夜配  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |

| 項番  | 区分                   | 診療行為名称等   | 略号     | 対応する記載欄                |
|-----|----------------------|---|--------|------------------------|
| 433 | A304                 | 地域包括医療病棟入院料のリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算を算定した場合                  | 地包医り栄口 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 434 | A305                 | 一類感染症患者入院医療管理料を算定した場合                                     | 感入管    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 435 | A306                 | 特殊疾患入院医療管理料を算定した場合  | 特入管    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 436 | A306                 | 特殊疾患入院医療管理料(重度の意識障害で医療区分2に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合          | 2特入管意  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 437 | A306                 | 特殊疾患入院医療管理料(重度の意識障害で医療区分1に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合          | 1特入管意  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 438 | A306<br>A309<br>A317 | 特殊疾患入院医療管理料、特殊疾患病棟入院料又は特定一般病棟入院料の重症児(者)受入連携加算を算定した場合      | 重受連    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 439 | A306                 | 障害者施設等入院基本料(7対1入院基本料届出病棟で医療区分2に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 2特入管脳  | 「入院」欄                  |
| 440 | A306                 | 障害者施設等入院基本料(7対1入院基本料届出病棟で医療区分1に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 1特入管脳  | 「入院」欄                  |
| 441 | A307                 | 小児入院医療管理料1を算定した場合   | 小入管1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 442 | A307                 | 小児入院医療管理料2を算定した場合   | 小入管2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 443 | A307                 | 小児入院医療管理料3を算定した場合   | 小入管3   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 444 | A307                 | 小児入院医療管理料4を算定した場合   | 小入管4   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 445 | A307                 | 小児入院医療管理料5を算定した場合   | 小入管5   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 446 | A307                 | 小児入院医療管理料3、小児入院医療管理料4又は小児入院医療管理料5の重症児受入体制加算1を算定した場合       | 重受体1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 447 | A307                 | 小児入院医療管理料3、小児入院医療管理料4又は小児入院医療管理料5の重症児受入体制加算2を算定した場合       | 重受体2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 448 | A307                 | 小児入院医療管理料の無菌治療管理加算1を算定した場合                                | 小無1    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 449 | A307                 | 小児入院医療管理料の無菌治療管理加算2を算定した場合                                | 小無2    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 450 | A307                 | 小児入院医療管理料の退院時薬剤情報管理指導連携加算を算定した場合                          | 小退連    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 451 | A307                 | 小児入院医療管理料の養育支援体制加算を算定した場合                                 | 小養     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 452 | A307                 | 小児入院医療管理料の時間外受入体制強化加算1を算定した場合                             | 小時受体1  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 453 | A307                 | 小児入院医療管理料の時間外受入体制強化加算2を算定した場合                             | 小時受体2  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 454 | A307                 | 小児入院医療管理料の看護補助加算を算定した場合                                   | 小看     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 455 | A307                 | 小児入院医療管理料の看護補助体制充実加算を算定した場合                               | 小看充    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 456 | A308                 | 回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定した場合                                 | 復り入1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 457 | A308                 | 回復期リハビリテーション病棟入院料2を算定した場合                                 | 復り入2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 458 | A308                 | 回復期リハビリテーション病棟入院料3を算定した場合                                 | 復り入3   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 459 | A308                 | 回復期リハビリテーション病棟入院料4を算定した場合                                 | 復り入4   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 460 | A308                 | 回復期リハビリテーション病棟入院料5を算定した場合                                 | 復り入5   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 461 | A308                 | 回復期リハビリテーション入院医療管理料を算定した場合                                | 復り入管   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等  | 略号    | 対応する記載欄                |
|-----|--------|--|-------|------------------------|
| 462 | A308   | 回復期リハビリテーション病棟入院基本料の休日リハビリテーション提供体制加算を算定した場合                 | 休リハ   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 463 | A308   | 回復期リハビリテーション病棟入院基本料のリハビリテーション充実加算を算定した場合                     | 充リハ   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 464 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料1を算定した場合  | 地包1   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 465 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料2を算定した場合  | 地包2   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 466 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料3を算定した場合  | 地包3   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 467 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料4を算定した場合  | 地包4   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 468 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料1を算定した場合  | 地保管1  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 469 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料2を算定した場合  | 地保管2  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 470 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料3を算定した場合  | 地保管3  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 471 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料4を算定した場合  | 地保管4  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 472 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料1(当該病棟が療養病棟である場合)を算定した場合                          | 地包療1  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 473 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料2(当該病棟が療養病棟である場合)を算定した場合                          | 地包療2  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 474 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料3(当該病棟が療養病棟である場合)を算定した場合                          | 地包療3  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 475 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料4(当該病棟が療養病棟である場合)を算定した場合                          | 地包療4  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 476 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料1(当該病床が療養病床である場合)を算定した場合                        | 地保管療1 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 477 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料2(当該病床が療養病床である場合)を算定した場合                        | 地保管療2 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 478 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料3(当該病床が療養病床である場合)を算定した場合                        | 地保管療3 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 479 | A308-3 | 地域包括ケア入院医療管理料4(当該病床が療養病床である場合)を算定した場合                        | 地保管療4 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 480 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア病棟入院料1を算定した場合   | 包病1地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 481 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア病棟入院料2を算定した場合   | 包病2地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 482 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア病棟入院料3を算定した場合   | 包病3地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 483 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア病棟入院料4を算定した場合   | 包病4地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 484 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア入院医療管理料1を算定した場合 | 包入1地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 485 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア入院医療管理料2を算定した場合 | 包入2地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 486 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア入院医療管理料3を算定した場合 | 包入3地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 487 | A308-3 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された地域包括ケア入院医療管理料4を算定した場合 | 包入4地域 | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 488 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の看護補助者配置加算を算定した場合                                 | 包看補   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 489 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の看護補助体制充実加算1を算定した場合                               | 包看充1  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 490 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の看護補助体制充実加算2を算定した場合                               | 包看充2  | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等   | 略号        | 対応する記載欄                |
|-----|--------|---|-----------|------------------------|
| 491 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の看護補助体制充実加算3を算定した場合                      | 包看充3      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 492 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の急性期患者支援病床初期加算(1)の①を算定した場合               | 包急支転400以① | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 493 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の急性期患者支援病床初期加算(1)の②を算定した場合               | 包急支転400以② | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 494 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の急性期患者支援病床初期加算(2)の①を算定した場合               | 包急支転400未① | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 495 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の急性期患者支援病床初期加算(2)の②を算定した場合               | 包急支転400未② | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 496 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の在宅患者支援病床初期加算(1)を算定した場合                  | 包在支転介老    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 497 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の在宅患者支援病床初期加算(2)を算定した場合                  | 包在支転自     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 498 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料の看護職員夜間配置加算を算定した場合                       | 包看職夜配     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 499 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料について、夜間看護体制特定日減算により減算した場合                | 包夜看特定減    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 500 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料について、注9に定める基準に適合せず100分の85相当の点数を算定した場合    | 包注9適      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 501 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料について、注10に定める基準に適合せず100分の90相当の点数を算定した場合   | 包注10適     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 502 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料について、注11に定める基準に適合せず100分の90相当の点数を算定した場合   | 包注11適     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 503 | A308-3 | 地域包括ケア病棟入院料について、注12に定める基準に適合せず100分の90相当の点数を算定した場合   | 包注12適     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 504 | A309   | 特殊疾患病棟入院料1を算定した場合                                   | 特疾1       | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 505 | A309   | 特殊疾患病棟入院料2を算定した場合                                   | 特疾2       | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 506 | A309   | 特殊疾患病棟入院料1(重度の意識障害で医療区分2に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 2特疾1意     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 507 | A309   | 特殊疾患病棟入院料1(重度の意識障害で医療区分1に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 1特疾1意     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 508 | A309   | 特殊疾患病棟入院料2(重度の意識障害で医療区分2に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 2特疾2意     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 509 | A309   | 特殊疾患病棟入院料2(重度の意識障害で医療区分1に相当する重度の意識障害の患者)を算定した場合     | 1特疾2意     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 510 | A309   | 特殊疾患病棟入院料1(重度の意識障害で医療区分2に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 2特疾1脳     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 511 | A309   | 特殊疾患病棟入院料1(重度の意識障害で医療区分1に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 1特疾1脳     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 512 | A309   | 特殊疾患病棟入院料2(重度の意識障害で医療区分2に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 2特疾2脳     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 513 | A309   | 特殊疾患病棟入院料2(重度の意識障害で医療区分1に相当する脳卒中又は脳卒中後遺症の患者)を算定した場合 | 1特疾2脳     | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 514 | A310   | 緩和ケア病棟入院料1を算定した場合                                   | 緩和1       | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 515 | A310   | 緩和ケア病棟入院料2を算定した場合                                   | 緩和2       | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 516 | A310   | 緩和ケア病棟入院料の緩和ケア病棟緊急入院初期加算を算定した場合                     | 緩和緊入      | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 517 | A310   | 緩和ケア病棟入院料の緩和ケア疼痛評価加算を算定した場合                         | 緩和疼       | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 518 | A311   | 精神科救急急性期医療入院料1を算定した場合                               | 精救1       | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 519 | A311   | 精神科救急急性期医療入院料2を算定した場合                               | 精救2       | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |

| 項番  | 区分                               | 診療行為名称等   | 略号                           | 対応する記載欄                |
|-----|----------------------------------|---|------------------------------|------------------------|
| 520 | A311                             | 精神科救急急性期医療入院料3を算定した場合   | 精救3                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 521 | A311<br>A311-2<br>A311-3<br>A312 | 精神科救急急性期医療入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料、精神療養病棟入院料又は地域移行機能強化病棟入院料の統合失調症の患者に対する非定型抗精神病薬加算を算定した場合 | 非精                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 522 | A311<br>A311-3                   | 精神科救急急性期医療入院料、精神科救急・合併症入院料の看護職員夜間配置加算を算定した場合  | 精看護夜配                        | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 523 | A311                             | 精神科救急急性期医療入院料の精神科救急医療体制加算1を算定した場合   | 精救体1                         | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 524 | A311                             | 精神科救急急性期医療入院料の精神科救急医療体制加算2を算定した場合   | 精救体2                         | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 525 | A311                             | 精神科救急急性期医療入院料の精神科救急医療体制加算3を算定した場合   | 精救体3                         | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 526 | A311-2                           | 精神科急性期治療病棟入院料1を算定した場合   | 精急1                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 527 | A311-2                           | 精神科急性期治療病棟入院料2を算定した場合   | 精急2                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 528 | A311-3                           | 精神科救急・合併症入院料を算定した場合   | 精合                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 529 | A311-4                           | 児童・思春期精神科入院医療管理料を算定した場合   | 児春                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 530 | A311-4                           | 精神科療養支援体制加算を算定した場合  | 精養支                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 531 | A312                             | 精神療養病棟入院料を算定した場合  | 精療                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 532 | A312                             | 精神科療養病棟入院料の退院支援加算2を算定した場合   | 精療退支                         | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 533 | A312<br>A318                     | 精神療養病棟入院料又は地域移行機能強化病棟入院料の重症者加算1を算定した場合  | 重症1                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 534 | A312<br>A318                     | 精神療養病棟入院料又は地域移行機能強化病棟入院料の重症者加算2を算定した場合  | 重症2                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 535 | A314                             | 認知症治療病棟入院料1を算定した場合  | 認知1                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 536 | A314                             | 認知症治療病棟入院料2を算定した場合  | 認知2                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 537 | A314                             | 認知症治療病棟入院料の認知症夜間対応加算を算定した場合   | 認知夜                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 538 | A315                             | 精神科地域包括ケア病棟入院料を算定した場合   | 精地包                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 539 | A315                             | 精神科地域包括ケア病棟入院料の自宅等移行初期加算を算定した場合   | 精地包自                         | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 540 | A315                             | 精神科地域包括ケア病棟入院料の非定型抗精神病薬加算を算定した場合  | 精地包精                         | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 541 | A317                             | 特定一般病棟入院料1を算定した場合   | 特般1                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 542 | A317                             | 特定一般病棟入院料2を算定した場合   | 特般2                          | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 543 | A317                             | 特定一般病棟入院料を算定している患者について、地域包括ケア入院医療管理1が行われた場合   | 包1                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 544 | A317                             | 特定一般病棟入院料を算定している患者について、地域包括ケア入院医療管理2が行われた場合   | 包2                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 545 | A317                             | 特定一般病棟入院料を算定している患者について、地域包括ケア入院医療管理3が行われた場合   | 包3                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 546 | A317                             | 特定一般病棟入院料を算定している患者について、地域包括ケア入院医療管理4が行われた場合   | 包4                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 547 | A317                             | 特定一般病棟入院料を算定している患者について、療養病棟入院料1(入院料1～30)の例により算定する入院料を算定した場合                                     | 療1例●<br>(※●は1から30の算定する数字を記載) | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 548 | A317                             | 特定一般病棟入院料の救急・在宅等支援病床初期加算を算定した場合   | 病初                           | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等  | 略号    | 対応する記載欄                |
|-----|--------|--|-------|------------------------|
| 549 | A317   | 特定一般病棟入院料の一般病棟看護必要度評価加算を算定した場合   | 一看評   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 550 | A318   | 地域移行機能強化病棟入院料を算定した場合   | 地移    | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 551 | A319   | 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料   | 特リハ   | 「入院」欄<br>「特定入院料・その他」の項 |
| 552 | -      | 90日を超える期間一般病棟に入院している患者であって特定患者に係る厚生労働大臣が定める状態等にあるもの(平成20年厚生労働省告示第62号別表第四に該当する患者)のうち、同別表第四の第三号(重度の肢体不自由者、脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者及び難病患者等)に該当する場合 | 重     | 「入院」欄                  |
| 553 | -      | 90日を超える期間一般病棟に入院している患者であって特定患者に係る厚生労働大臣が定める状態等にあるもの(平成20年厚生労働省告示第62号別表第四に該当する患者)のうち、同別表第四の第十二号に該当するものとして退院支援状況報告書の届出を行っている場合                           | 退支    | 「入院」欄                  |
| 554 | A400の1 | 短期滞在手術等基本料1を算定した場合   | 短手1   | 「その他」欄                 |
| 555 | A400の3 | 短期滞在手術等基本料3を算定した場合   | 短手3   | 「入院」欄                  |
| 556 | 第1部通則3 | 外来感染対策向上加算を算定した場合  | 医感    | 「医学管理」欄                |
| 557 | 第1部通則3 | 発熱患者等対応加算を算定した場合   | 医熱対   | 「医学管理」欄                |
| 558 | 第1部通則4 | 連携強化加算を算定した場合  | 医連    | 「医学管理」欄                |
| 559 | 第1部通則5 | サーベイランス強化加算を算定した場合   | 医サ    | 「医学管理」欄                |
| 560 | 第1部通則5 | 抗菌薬適正使用体制加算を算定した場合   | 医抗菌適  | 「医学管理」欄                |
| 561 | B000   | 特定疾患療養管理料を算定した場合   | 特     | 「医学管理」欄                |
| 562 | B000   | 特定疾患療養管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情特    | 「医学管理」欄                |
| 563 | B001の1 | ウイルス疾患指導料1を算定した場合  | ウ1    | 「医学管理」欄                |
| 564 | B001の1 | ウイルス疾患指導料2を算定した場合  | ウ2    | 「医学管理」欄                |
| 565 | B001の1 | ウイルス疾患指導料1(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合   | 情ウ1   | 「医学管理」欄                |
| 566 | B001の1 | ウイルス疾患指導料2(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合   | 情ウ2   | 「医学管理」欄                |
| 567 | B001の2 | 特定薬剤治療管理料1を算定した場合  | 薬1    | 「医学管理」欄                |
| 568 | B001の2 | 特定薬剤治療管理料2を算定した場合  | 薬2    | 「医学管理」欄                |
| 569 | B001の3 | 悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定した場合   | 悪     | 「医学管理」欄                |
| 570 | B001の4 | 小児特定疾患カウンセリング料を算定した場合  | 小児特定  | 「医学管理」欄                |
| 571 | B001の4 | 小児特定疾患カウンセリング料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合   | 情小児特定 | 「医学管理」欄                |
| 572 | B001の5 | 小児科療養指導料を算定した場合  | 小児療養  | 「医学管理」欄                |
| 573 | B001の5 | 小児科療養指導料の人工呼吸器導入時相談支援加算を算定した場合   | 人呼支援  | 「医学管理」欄                |
| 574 | B001の5 | 小児科療養指導料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合   | 情小児療  | 「医学管理」欄                |
| 575 | B001の6 | てんかん指導料を算定した場合   | てんかん  | 「医学管理」欄                |
| 576 | B001の6 | てんかん指導料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情てんかん | 「医学管理」欄                |

| 項番  | 区分      | 診療行為名称等                                      | 略号      | 対応する記載欄 |
|-----|---------|--|---------|---------|
| 577 | B001の7  | 難病外来指導管理料を算定した場合                             | 難病      | 「医学管理」欄 |
| 578 | B001の7  | 難病外来指導管理料の人工呼吸器導入時相談支援加算を算定した場合              | 人呼支援    | 「医学管理」欄 |
| 579 | B001の7  | 難病外来指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合            | 情難病     | 「医学管理」欄 |
| 580 | B001の8  | 皮膚科特定疾患指導管理料(I)を算定した場合                       | 皮膚(I)   | 「医学管理」欄 |
| 581 | B001の8  | 皮膚科特定疾患指導管理料(II)を算定した場合                      | 皮膚(II)  | 「医学管理」欄 |
| 582 | B001の8  | 皮膚科特定疾患指導管理料(I)(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合      | 情皮膚(I)  | 「医学管理」欄 |
| 583 | B001の8  | 皮膚科特定疾患指導管理料(II)(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合     | 情皮膚(II) | 「医学管理」欄 |
| 584 | B001の9  | 外来栄養食事指導料1(初回の指導を対面で行った場合)を算定した場合            | 外栄初対1   | 「医学管理」欄 |
| 585 | B001の9  | 外来栄養食事指導料1(初回の指導を情報通信機器等を用いて行った場合)を算定した場合    | 外栄初情1   | 「医学管理」欄 |
| 586 | B001の9  | 外来栄養食事指導料1(2回目以降の指導を対面で行った場合)を算定した場合         | 外栄2対1   | 「医学管理」欄 |
| 587 | B001の9  | 外来栄養食事指導料1(2回目以降の指導を情報通信機器等を用いて行った場合)を算定した場合 | 外栄2情1   | 「医学管理」欄 |
| 588 | B001の9  | 外来栄養食事指導料2(初回の指導を対面で行った場合)を算定した場合            | 外栄初対2   | 「医学管理」欄 |
| 589 | B001の9  | 外来栄養食事指導料2(初回の指導を情報通信機器等を用いて行った場合)を算定した場合    | 外栄初情2   | 「医学管理」欄 |
| 590 | B001の9  | 外来栄養食事指導料2(2回目以降の指導を対面で行った場合)を算定した場合         | 外栄2対2   | 「医学管理」欄 |
| 591 | B001の9  | 外来栄養食事指導料2(2回目以降の指導を情報通信機器等を用いて行った場合)を算定した場合 | 外栄2情2   | 「医学管理」欄 |
| 592 | B001の9  | 外来栄養食事指導料(注3に規定する専門の管理栄養士が指導した場合)を算定した場合     | 外栄専     | 「医学管理」欄 |
| 593 | B001の10 | 入院栄養食事指導料1を算定した場合                            | 入栄1     | 「医学管理」欄 |
| 594 | B001の10 | 入院栄養食事指導料2を算定した場合                            | 入栄2     | 「医学管理」欄 |
| 595 | B001の11 | 集団栄養食事指導料を算定した場合                             | 集栄      | 「医学管理」欄 |
| 596 | B001の12 | 心臓ペースメーカー指導管理料を算定した場合                        | ペ       | 「医学管理」欄 |
| 597 | B001の12 | 心臓ペースメーカー指導管理料の導入期加算を算定した場合                  | 導入期     | 「医学管理」欄 |
| 598 | B001の13 | 在宅療養指導料を算定した場合                               | 在宅指導    | 「医学管理」欄 |
| 599 | B001の14 | 高度難聴指導管理料を算定した場合                             | 高難      | 「医学管理」欄 |
| 600 | B001の15 | 慢性維持透析患者外来医学管理料を算定した場合                       | 慢透      | 「医学管理」欄 |
| 601 | B001の15 | 慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算を算定した場合             | 腎代替     | 「医学管理」欄 |
| 602 | B001の16 | 喘息治療管理料1を算定した場合                              | 喘息1     | 「医学管理」欄 |
| 603 | B001の16 | 喘息治療管理料2を算定した場合                              | 喘息2     | 「医学管理」欄 |
| 604 | B001の17 | 慢性疼痛疾患管理料を算定した場合                             | 疼痛      | 「医学管理」欄 |
| 605 | B001の18 | 小児悪性腫瘍患者指導管理料を算定した場合                         | 小児悪腫    | 「医学管理」欄 |

| 項番  | 区分      | 診療行為名称等   | 略号    | 対応する記載欄 |
|-----|---------|---|-------|---------|
| 606 | B001の18 | 小児悪性腫瘍患者指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合                                       | 情小児悪腫 | 「医学管理」欄 |
| 607 | B001の20 | 糖尿病合併症管理料を算定した場合  | 糖     | 「医学管理」欄 |
| 608 | B001の21 | 耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料を算定した場合   | 耳鼻    | 「医学管理」欄 |
| 609 | B001の22 | がん性疼痛緩和指導管理料を算定した場合   | がん    | 「医学管理」欄 |
| 610 | B001の22 | がん性疼痛緩和指導管理料を算定している患者に対して小児加算を算定した場合  | 小児    | 「医学管理」欄 |
| 611 | B001の22 | がん性疼痛緩和指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情がん   | 「医学管理」欄 |
| 612 | B001の23 | がん患者指導管理料イを算定した場合   | が指イ   | 「医学管理」欄 |
| 613 | B001の23 | がん患者指導管理料ロを算定した場合   | が指ロ   | 「医学管理」欄 |
| 614 | B001の23 | がん患者指導管理料ハを算定した場合   | が指ハ   | 「医学管理」欄 |
| 615 | B001の23 | がん患者指導管理料ニを算定した場合   | が指ニ   | 「医学管理」欄 |
| 616 | B001の23 | がん患者指導管理料イ(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情が指イ  | 「医学管理」欄 |
| 617 | B001の23 | がん患者指導管理料ロ(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情が指ロ  | 「医学管理」欄 |
| 618 | B001の23 | がん患者指導管理料ハ(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情が指ハ  | 「医学管理」欄 |
| 619 | B001の23 | がん患者指導管理料ニ(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情が指ニ  | 「医学管理」欄 |
| 620 | B001の24 | 外来緩和ケア管理料を算定した場合  | 外緩    | 「医学管理」欄 |
| 621 | B001の24 | 外来緩和ケア管理料を算定している患者に対して小児加算を算定した場合   | 小児    | 「医学管理」欄 |
| 622 | B001の24 | 外来緩和ケア管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合   | 情外緩   | 「医学管理」欄 |
| 623 | B001の24 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された外来緩和ケア管理料を算定した場合                     | 緩ケ地域  | 「医学管理」欄 |
| 624 | B001の25 | 移植後患者指導管理料の臓器移植後の場合を算定した場合  | 臓移    | 「医学管理」欄 |
| 625 | B001の25 | 移植後患者指導管理料の造血幹細胞移植後の場合を算定した場合   | 造移    | 「医学管理」欄 |
| 626 | B001の25 | 移植後患者指導管理料の臓器移植後の場合(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合                                 | 臓移    | 「医学管理」欄 |
| 627 | B001の25 | 移植後患者指導管理料の造血幹細胞移植後の場合(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合                              | 造移    | 「医学管理」欄 |
| 628 | B001の26 | 植込型輸液ポンプ持続注入療法指導管理料を算定した場合  | 植ホ    | 「医学管理」欄 |
| 629 | B001の26 | 植込型輸液ポンプ持続注入療法指導管理料の導入期加算を算定した場合  | 導入期   | 「医学管理」欄 |
| 630 | B001の27 | 糖尿病透析予防指導管理料を算定した場合   | 透予    | 「医学管理」欄 |
| 631 | B001の27 | 糖尿病透析予防指導管理料の高度腎機能障害患者指導加算を算定した場合   | 腎機能   | 「医学管理」欄 |
| 632 | B001の27 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された糖尿病透析予防指導管理料を算定した場合                  | 透予地域  | 「医学管理」欄 |
| 633 | B001の27 | 糖尿病透析予防指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合  | 情透予   | 「医学管理」欄 |
| 634 | B001の27 | 医療を提供しているが、医療資源の少ない地域であって、施設基準の要件が緩和された糖尿病透析予防指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合 | 情透予地域 | 「医学管理」欄 |



| 項番  | 区分       | 診療行為名称等   | 略号   | 対応する記載欄 |
|-----|----------|---|------|---------|
| 635 | B001の28  | 小児運動器疾患指導管理料を算定した場合   | 小運動  | 「医学管理」欄 |
| 636 | B001の29  | 乳腺炎重症化予防ケア・指導料を算定した場合                                       | 乳腺ケア | 「医学管理」欄 |
| 637 | B001の30  | 婦人科特定疾患治療管理料を算定した場合   | 婦特   | 「医学管理」欄 |
| 638 | B001の31  | 腎代替療法指導管理料を算定した場合   | 腎代指  | 「医学管理」欄 |
| 639 | B001の31  | 腎代替療法指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合                          | 情腎代指 | 「医学管理」欄 |
| 640 | B001の32  | 一般不妊治療管理料を算定した場合  | 一妊   | 「医学管理」欄 |
| 641 | B001の33  | 生殖補助医療管理料を算定した場合  | 生補   | 「医学管理」欄 |
| 642 | B001の34  | 二次性骨折予防継続管理料を算定した場合   | 骨継   | 「医学管理」欄 |
| 643 | B001の35  | アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料を算定した場合                                    | アレ免  | 「医学管理」欄 |
| 644 | B001の36  | 下肢創傷処置管理料を算定した場合  | 下創   | 「医学管理」欄 |
| 645 | B001の37  | 慢性腎臓病透析予防指導管理料を算定した場合                                       | 慢腎透  | 「医学管理」欄 |
| 646 | B001の37  | 情報通信機器を用いて慢性腎臓病透析予防指導管理料を算定した場合                             | 情慢腎透 | 「医学管理」欄 |
| 647 | B001-2   | 小児科外来診療料の「1」院外処方「イ」初診を算定した場合                                | 児外初  | 「医学管理」欄 |
| 648 | B001-2   | 小児科外来診療料の「1」院外処方「ロ」再診を算定した場合                                | 児外再  | 「医学管理」欄 |
| 649 | B001-2   | 小児科外来診療料の「2」院内処方「イ」初診を算定した場合                                | 児内初  | 「医学管理」欄 |
| 650 | B001-2   | 小児科外来診療料の「2」院内処方「ロ」再診を算定した場合                                | 児内再  | 「医学管理」欄 |
| 651 | B001-2   | 小児科外来診療料において初診料、再診料又は外来診療料の時間外加算を算定した場合                     | 外    | 「医学管理」欄 |
| 652 | B001-2   | 小児科外来診療料において初診料、再診料又は外来診療料の休日加算を算定した場合                      | 休    | 「医学管理」欄 |
| 653 | B001-2   | 小児科外来診療料において初診料、再診料又は外来診療料の深夜加算を算定した場合                      | 深    | 「医学管理」欄 |
| 654 | B001-2   | 小児科外来診療料において初診料、再診料又は外来診療料の時間外加算の特例を算定した場合                  | 特    | 「医学管理」欄 |
| 655 | B001-2   | 小児科外来診療料において初診料、再診料又は外来診療料の小児科を標榜する保険医療機関における夜間加算の特例を算定した場合 | 特夜   | 「医学管理」欄 |
| 656 | B001-2   | 小児科外来診療料において初診料、再診料又は外来診療料の小児科を標榜する保険医療機関における休日加算の特例を算定した場合 | 特休   | 「医学管理」欄 |
| 657 | B001-2   | 小児科外来診療料において初診料、再診料又は外来診療料の小児科を標榜する保険医療機関における深夜加算の特例を算定した場合 | 特深   | 「医学管理」欄 |
| 658 | B001-2   | 小児科外来診療料の小児抗菌薬適正使用支援加算を算定した場合                               | 小抗菌  | 「医学管理」欄 |
| 659 | B001-2-2 | 地域連携小児夜間・休日診療料を算定した場合                                       | 地域小児 | 「医学管理」欄 |
| 660 | B001-2-3 | 乳幼児育児栄養指導料を算定した場合   | 乳栄   | 「医学管理」欄 |
| 661 | B001-2-3 | 乳幼児育児栄養指導料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合                          | 情乳栄  | 「医学管理」欄 |
| 662 | B001-2-4 | 地域連携夜間・休日診療料を算定した場合   | 地域夜休 | 「医学管理」欄 |
| 663 | B001-2-5 | 院内トリアージ実施料を算定した場合   | トリ   | 「医学管理」欄 |

| 項番  | 区分        | 診療行為名称等  | 略号    | 対応する記載欄 |
|-----|-----------|--|-------|---------|
| 664 | B001-2-6  | 夜間休日救急搬送医学管理料を算定した場合                           | 救搬    | 「医学管理」欄 |
| 665 | B001-2-6  | 夜間休日救急搬送医学管理料の精神科疾患患者等受入加算を算定した場合              | 精受    | 「医学管理」欄 |
| 666 | B001-2-6  | 夜間休日救急搬送医学管理料の救急搬送看護体制加算1を算定した場合               | 救搬看1  | 「医学管理」欄 |
| 667 | B001-2-6  | 夜間休日救急搬送医学管理料の救急搬送看護体制加算2を算定した場合               | 救搬看2  | 「医学管理」欄 |
| 668 | B001-2-7  | 外来リハビリテーション診療料1を算定した場合                         | 外リ1   | 「医学管理」欄 |
| 669 | B001-2-7  | 外来リハビリテーション診療料2を算定した場合                         | 外リ2   | 「医学管理」欄 |
| 670 | B001-2-8  | 外来放射線照射診療料を算定した場合                              | 外放    | 「医学管理」欄 |
| 671 | B001-2-8  | 外来放射線照射診療料の100分の50に相当する点数を算定した場合               | 外放減   | 「医学管理」欄 |
| 672 | B001-2-9  | 地域包括診療料1を算定した場合                                | 地包1   | 「医学管理」欄 |
| 673 | B001-2-9  | 地域包括診療料2を算定した場合                                | 地包2   | 「医学管理」欄 |
| 674 | B001-2-9  | 地域包括診療料の薬剤適正使用連携加算を算定した場合                      | 薬適連   | 「医学管理」欄 |
| 675 | B001-2-10 | 認知症地域包括診療料1を算定した場合                             | 認地包1  | 「医学管理」欄 |
| 676 | B001-2-10 | 認知症地域包括診療料2を算定した場合                             | 認地包2  | 「医学管理」欄 |
| 677 | B001-2-10 | 認知症地域包括診療料の薬剤適正使用連携加算を算定した場合                   | 薬適連   | 「医学管理」欄 |
| 678 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「1」の院外処方の初診を算定した場合                  | 児か外初1 | 「医学管理」欄 |
| 679 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「1」の院外処方の再診を算定した場合                  | 児か外再1 | 「医学管理」欄 |
| 680 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「1」の院内処方の初診を算定した場合                  | 児か内初1 | 「医学管理」欄 |
| 681 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「1」の院内処方の再診を算定した場合                  | 児か内再1 | 「医学管理」欄 |
| 682 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「2」の院外処方の初診を算定した場合                  | 児か外初2 | 「医学管理」欄 |
| 683 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「2」の院外処方の再診を算定した場合                  | 児か外再2 | 「医学管理」欄 |
| 684 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「2」の院内処方の初診を算定した場合                  | 児か内初2 | 「医学管理」欄 |
| 685 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の「2」の院内処方の再診を算定した場合                  | 児か内再2 | 「医学管理」欄 |
| 686 | B001-2-11 | 小児かかりつけ診療料の小児抗菌薬適正使用支援加算を算定した場合                | 小抗菌   | 「医学管理」欄 |
| 687 | B001-2-12 | 外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)を算定した場合             | 外化投1  | 「医学管理」欄 |
| 688 | B001-2-12 | 外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤の投与その他必要な治療管理を行った場合)を算定した場合 | 外化管1  | 「医学管理」欄 |
| 689 | B001-2-12 | 外来腫瘍化学療法診療料2(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)を算定した場合             | 外化投2  | 「医学管理」欄 |
| 690 | B001-2-12 | 外来腫瘍化学療法診療料2(抗悪性腫瘍剤の投与その他必要な治療管理を行った場合)を算定した場合 | 外化管2  | 「医学管理」欄 |
| 691 | B001-2-12 | 外来腫瘍化学療法診療料3(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)を算定した場合             | 外化投3  | 「医学管理」欄 |
| 692 | B001-2-12 | 外来腫瘍化学療法診療料3(抗悪性腫瘍剤の投与その他必要な治療管理を行った場合)を算定した場合 | 外化管3  | 「医学管理」欄 |

| 項番  | 区分                 | 診療行為名称等                                      | 略号   | 対応する記載欄 |
|-----|--------------------|--|------|---------|
| 693 | B001-2-12          | 外来腫瘍化学療法診療料の連携充実加算を算定した場合                    | 連充   | 「医学管理」欄 |
| 694 | B001-3             | 生活習慣病管理料(Ⅰ)の1を算定した場合                         | 生1脂  | 「医学管理」欄 |
| 695 | B001-3             | 生活習慣病管理料(Ⅰ)の2を算定した場合                         | 生1高  | 「医学管理」欄 |
| 696 | B001-3             | 生活習慣病管理料(Ⅰ)の3を算定した場合                         | 生1糖  | 「医学管理」欄 |
| 697 | B001-3<br>B001-3-3 | 生活習慣病管理料の外来データ提出加算を算定した場合                    | 外デ   | 「医学管理」欄 |
| 698 | B001-3-2           | ニコチン依存症管理料1を算定した場合                           | ニコ1  | 「医学管理」欄 |
| 699 | B001-3-2           | ニコチン依存症管理料2を算定した場合                           | ニコ2  | 「医学管理」欄 |
| 700 | B001-3-2           | ニコチン依存症管理料の100分の70に相当する点数を算定した場合             | ニコ減  | 「医学管理」欄 |
| 701 | B001-3-3           | 生活習慣病管理料(Ⅱ)を算定した場合                           | 生2   | 「医学管理」欄 |
| 702 | B001-3-3           | 血糖自己測定指導加算を算定した場合                            | 自指加  | 「医学管理」欄 |
| 703 | B001-3-3           | 情報通信機器を用いて生活習慣病管理料(Ⅱ)を算定した場合                 | 情生2  | 「医学管理」欄 |
| 704 | B001-4             | 手術前医学管理料を算定した場合                              | 手前   | 「医学管理」欄 |
| 705 | B001-5             | 手術後医学管理料を算定した場合                              | 手後   | 「医学管理」欄 |
| 706 | B001-6             | 肺血栓塞栓症予防管理料を算定した場合                           | 肺予   | 「医学管理」欄 |
| 707 | B001-7             | リンパ浮腫指導管理料を算定した場合                            | リ    | 「医学管理」欄 |
| 708 | B001-8             | 臍ヘルニア圧迫指導管理料を算定した場合                          | 臍へ   | 「医学管理」欄 |
| 709 | B001-9             | 療養・就労両立支援指導料を算定した場合                          | 就労   | 「医学管理」欄 |
| 710 | B001-9             | 療養・就労両立支援指導料の相談支援加算を算定した場合                   | 就労相談 | 「医学管理」欄 |
| 711 | B001-9             | 療養・就労両立支援指導料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合         | 情就労  | 「医学管理」欄 |
| 712 | B002               | 開放型病院共同指導料(Ⅰ)を算定した場合                         | 開Ⅰ   | 「医学管理」欄 |
| 713 | B003               | 開放型病院共同指導料(Ⅱ)を算定した場合                         | 開Ⅱ   | 「医学管理」欄 |
| 714 | B004               | 退院時共同指導料1を算定した場合                             | 退共1  | 「医学管理」欄 |
| 715 | B004               | 退院時共同指導料1を算定している患者に対して特別管理指導加算を算定した場合        | 特管   | 「医学管理」欄 |
| 716 | B005               | 退院時共同指導料2を算定した場合                             | 退共2  | 「医学管理」欄 |
| 717 | B005               | 退院時共同指導料2の退院後の在宅療養を担う保険医療機関の保険医と共同して指導を行った場合 | 2者共  | 「医学管理」欄 |
| 718 | B005               | 退院時共同指導料2の多機関共同指導加算を算定した場合                   | 多共   | 「医学管理」欄 |
| 719 | B005-1-2           | 介護支援等連携指導料を算定した場合                            | 介連   | 「医学管理」欄 |
| 720 | B005-1-3           | 介護保険リハビリテーション移行支援料を算定した場合                    | 介リ支  | 「医学管理」欄 |
| 721 | B005-4             | ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)を算定した場合                      | ハイⅠ  | 「医学管理」欄 |

| 項番  | 区分        | 診療行為名称等                                 | 略号    | 対応する記載欄 |
|-----|-----------|---|-------|---------|
| 722 | B005-5    | ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)を算定した場合                 | ハイⅡ   | 「医学管理」欄 |
| 723 | B005-6    | がん治療連携計画策定料の「1」を算定した場合                  | がん策1  | 「医学管理」欄 |
| 724 | B005-6    | がん治療連携計画策定料の「2」を算定した場合                  | がん策2  | 「医学管理」欄 |
| 725 | B005-6    | がん治療連携計画策定料の「2」(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合 | 情がん策2 | 「医学管理」欄 |
| 726 | B005-6-2  | がん治療連携指導料を算定した場合                        | がん指   | 「医学管理」欄 |
| 727 | B005-6-3  | がん治療連携管理料の「1」を算定した場合                    | がん管1  | 「医学管理」欄 |
| 728 | B005-6-3  | がん治療連携管理料の「2」を算定した場合                    | がん管2  | 「医学管理」欄 |
| 729 | B005-6-3  | がん治療連携管理料の「3」を算定した場合                    | がん管3  | 「医学管理」欄 |
| 730 | B005-6-4  | 外来がん患者在宅連携指導料を算定した場合                    | 外がん連  | 「医学管理」欄 |
| 731 | B005-6-4  | 外来がん患者在宅連携指導料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合   | 情外がん連 | 「医学管理」欄 |
| 732 | B005-7    | 認知症専門診断管理料の「1」を算定した場合                   | 認管1   | 「医学管理」欄 |
| 733 | B005-7    | 認知症専門診断管理料の「2」を算定した場合                   | 認管2   | 「医学管理」欄 |
| 734 | B005-7-2  | 認知症療養指導料1を算定した場合                        | 認指1   | 「医学管理」欄 |
| 735 | B005-7-2  | 認知症療養指導料2を算定した場合                        | 認指2   | 「医学管理」欄 |
| 736 | B005-7-2  | 認知症療養指導料3を算定した場合                        | 認指3   | 「医学管理」欄 |
| 737 | B005-7-3  | 認知症サポート指導料を算定した場合                       | 認サ    | 「医学管理」欄 |
| 738 | B005-8    | 肝炎インターフェロン治療計画料を算定した場合                  | 肝計    | 「医学管理」欄 |
| 739 | B005-8    | 肝炎インターフェロン治療計画料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合 | 情肝計   | 「医学管理」欄 |
| 740 | B005-9    | 外来排尿自立指導料を算定した場合                        | 外排自   | 「医学管理」欄 |
| 741 | B005-10   | ハイリスク妊産婦連携指導料1を算定した場合                   | ハイ妊連1 | 「医学管理」欄 |
| 742 | B005-10-2 | ハイリスク妊産婦連携指導料2を算定した場合                   | ハイ妊連2 | 「医学管理」欄 |
| 743 | B005-11   | 遠隔連携診療料(診断を目的とする場合)を算定した場合              | 遠連診   | 「医学管理」欄 |
| 744 | B005-11   | 遠隔連携診療料(その他の場合)を算定した場合                  | 遠連他   | 「医学管理」欄 |
| 745 | B005-12   | こころの連携指導料(Ⅰ)を算定した場合                     | こ連Ⅰ   | 「医学管理」欄 |
| 746 | B005-13   | こころの連携指導料(Ⅱ)を算定した場合                     | こ連Ⅱ   | 「医学管理」欄 |
| 747 | B005-14   | プログラム医療機器指導管理料を算定した場合                   | プ管    | 「医学管理」欄 |
| 748 | B006      | 救急救命管理料を算定した場合                          | 救     | 「医学管理」欄 |
| 749 | B006-3    | 退院時リハビリテーション指導料を算定した場合                  | 退リハ   | 「医学管理」欄 |
| 750 | B007      | 退院前訪問指導料を算定した場合                         | 退前    | 「医学管理」欄 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等                             | 略号    | 対応する記載欄 |
|-----|--------|-------------------------------------|-------|---------|
| 751 | B007-2 | 退院後訪問指導料を算定した場合                     | 退後    | 「医学管理」欄 |
| 752 | B007-2 | 退院後訪問指導料の訪問看護同行加算を算定した場合            | 退訪同   | 「医学管理」欄 |
| 753 | B008   | 薬剤管理指導料の「1」を算定した場合                  | 薬管1   | 「医学管理」欄 |
| 754 | B008   | 薬剤管理指導料の「2」を算定した場合                  | 薬管2   | 「医学管理」欄 |
| 755 | B008   | 薬剤管理指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合             | 麻加    | 「医学管理」欄 |
| 756 | B008-2 | 薬剤総合評価調整管理料を算定した場合                  | 薬総評管  | 「医学管理」欄 |
| 757 | B008-2 | 薬剤総合評価調整管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合 | 情薬総評管 | 「医学管理」欄 |
| 758 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)を算定した場合                   | 情Ⅰ    | 「医学管理」欄 |
| 759 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の「注8」に規定する加算を算定した場合       | 情Ⅰ退   | 「医学管理」欄 |
| 760 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)のハイリスク妊婦紹介加算を算定した場合       | 情Ⅰ妊   | 「医学管理」欄 |
| 761 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の認知症専門医療機関紹介加算を算定した場合     | 情Ⅰ認紹  | 「医学管理」欄 |
| 762 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の認知症専門医療機関連携加算を算定した場合     | 情Ⅰ認連  | 「医学管理」欄 |
| 763 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の精神科医連携加算を算定した場合          | 情Ⅰ精   | 「医学管理」欄 |
| 764 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の肝炎インターフェロン治療連携加算を算定した場合  | 情Ⅰ肝   | 「医学管理」欄 |
| 765 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の歯科医療機関連携加算1を算定した場合       | 情Ⅰ歯1  | 「医学管理」欄 |
| 766 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の歯科医療機関連携加算2を算定した場合       | 情Ⅰ歯2  | 「医学管理」欄 |
| 767 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の地域連携診療計画加算を算定した場合        | 情地連診  | 「医学管理」欄 |
| 768 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の療養情報提供加算を算定した場合          | 情療養   | 「医学管理」欄 |
| 769 | B009   | 診療情報提供料(Ⅰ)の検査・画像情報提供加算を算定した場合       | 情検画   | 「医学管理」欄 |
| 770 | B009-2 | 電子的診療情報評価料を算定した場合                   | 電診情評  | 「医学管理」欄 |
| 771 | B010   | 診療情報提供料(Ⅱ)を算定した場合                   | 情Ⅱ    | 「医学管理」欄 |
| 772 | B010-2 | 診療情報連携共有料を算定した場合                    | 情共    | 「医学管理」欄 |
| 773 | B011   | 診療情報等連携共有料1を算定した場合                  | 情連共1  | 「医学管理」欄 |
| 774 | B011   | 診療情報等連携共有料2を算定した場合                  | 情連共2  | 「医学管理」欄 |
| 775 | B011-3 | 薬剤情報提供料を算定した場合                      | 薬情    | 「医学管理」欄 |
| 776 | B011-3 | 薬剤情報提供料の手帳記載加算を算定した場合               | 手帳    | 「医学管理」欄 |
| 777 | B011-4 | 医療機器安全管理料を算定した場合                    | 医機安   | 「医学管理」欄 |
| 778 | B011-5 | がんゲノムプロファイリング評価提供料を算定した場合           | がんゲ評  | 「医学管理」欄 |
| 779 | B011-6 | 栄養情報連携料を算定した場合                      | 栄情    | 「医学管理」欄 |

| 項番  | 区分                       | 診療行為名称等   | 略号                  | 対応する記載欄 |
|-----|--------------------------|---|---------------------|---------|
| 780 | B012                     | 傷病手当金意見書交付料を算定した場合  | 傷                   | 「医学管理」欄 |
| 781 | B012                     | 傷病手当金意見書交付料を遺族等に対して意見書を交付した場合   | 相続                  | 「医学管理」欄 |
| 782 | B013                     | 療養費同意書交付料を算定した場合  | 療                   | 「医学管理」欄 |
| 783 | B014                     | 退院時薬剤情報管理指導料を算定した場合   | 退薬                  | 「医学管理」欄 |
| 784 | B014                     | 退院時薬剤情報管理指導料の退院時薬剤情報連携加算を算定した場合   | 退薬連                 | 「医学管理」欄 |
| 785 | B015                     | 精神科退院時共同指導料1を算定した場合   | 精退共1                | 「医学管理」欄 |
| 786 | B015                     | 精神科退院時共同指導料2を算定した場合   | 精退共2                | 「医学管理」欄 |
| 788 | 第2部通則5                   | 外来感染対策向上加算を算定した場合   | 在感                  | 「在宅」欄   |
| 789 | 第2部通則5                   | 発熱患者等対応加算を算定した場合  | 在熱対                 | 「在宅」欄   |
| 790 | 第2部通則6                   | 連携強化加算を算定した場合   | 在連                  | 「在宅」欄   |
| 791 | 第2部通則7                   | サーベイランス強化加算を算定した場合  | 在サ                  | 「在宅」欄   |
| 792 | 第2部通則8                   | 抗菌薬適正使用体制加算を算定した場合  | 在抗菌適                | 「在宅」欄   |
| 793 | C000                     | 在宅療養支援診療所の保険医が往診を行った場合  | 在支援                 | 「在宅」欄   |
| 794 | C000                     | 在宅療養支援病院の保険医が往診を行った場合   | 在支病                 | 「在宅」欄   |
| 795 | C000<br>C001             | 特別往診料を算定した場合<br>患者との直線距離が16kmを超えた場合又は海路の場合であって、特殊の事情があったときの在宅患者<br>訪問診療料を算定した場合                                   | 特                   | 「在宅」欄   |
| 796 | C000<br>C005<br>C005-1-2 | 在宅療養支援診療所と連携する保険医療機関が、在宅療養支援診療所の保険医の指示により往診を<br>行った場合<br>在宅療養支援診療所と連携する保険医療機関等が、在宅療養支援診療所の保険医の指示により訪問看<br>護を行った場合 | 支援                  | 「在宅」欄   |
| 797 | C001                     | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)「1」の同一建物居住者以外の場合を算定した場合   | (Ⅰ)1在宅              | 「在宅」欄   |
| 798 | C001                     | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)「1」の同一建物居住者の場合を算定した場合   | (Ⅰ)1同一              | 「在宅」欄   |
| 799 | C001                     | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)「2」の同一建物居住者以外の場合を算定した場合   | (Ⅰ)2在宅              | 「在宅」欄   |
| 800 | C001                     | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)「2」の同一建物居住者の場合を算定した場合   | (Ⅰ)2同一              | 「在宅」欄   |
| 801 | C001-2                   | 在宅患者訪問診療料(Ⅱ)を算定した場合   | (Ⅱ)                 | 「在宅」欄   |
| 802 | C001<br>C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)、(Ⅱ)の厚生労働大臣が定める疾病等に罹患している患者に対して行った場<br>合  | 難病                  | 「在宅」欄   |
| 803 | C001<br>C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)、(Ⅱ)の乳幼児加算を算定した場合   | 乳                   | 「在宅」欄   |
| 804 | C001<br>C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)の在宅ターミナルケア加算イ又はロを算定した場合<br>在宅患者訪問診療料(Ⅱ)の在宅ターミナルケア加算を算定した場合  | (Ⅰ)夕在、(Ⅰ)夕施<br>(Ⅱ)夕 | 「在宅」欄   |
| 805 | C001<br>C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)、(Ⅱ)の酸素療法加算を算定した場合  | 夕酸                  | 「在宅」欄   |
| 806 | C001<br>C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)、(Ⅱ)の看取り加算を算定した場合   | 看取                  | 「在宅」欄   |
| 807 | C001<br>C001-2           | 在宅患者訪問診療料(Ⅰ)、(Ⅱ)の患者の急性増悪等により一時的に週4回以上の頻回な在宅患者訪問<br>診療を行った場合   | 急性                  | 「在宅」欄   |

| 項番  | 区分                     | 診療行為名称等   | 略号                   | 対応する記載欄 |
|-----|------------------------|---|----------------------|---------|
| 808 | C001<br>C003           | 在宅医療DX情報活用加算を算定した場合   | 在DX                  | 「在宅」欄   |
| 809 | C002                   | 在宅時医学総合管理料の処方箋を交付した場合   | 在医総管外                | 「在宅」欄   |
| 810 | C002                   | 在宅時医学総合管理料の処方箋を交付していない場合                                      | 在医総管内                | 「在宅」欄   |
| 811 | C002                   | 在宅時医学総合管理料(月1回以上情報通信機器を用いた診療を行っている場合)を算定する患者であって処方箋を交付した場合    | 情在医総管外               | 「在宅」欄   |
| 812 | C002                   | 在宅時医学総合管理料(月1回以上情報通信機器を用いた診療を行っている場合)を算定する患者であって処方箋を交付していない場合 | 情在医総管内               | 「在宅」欄   |
| 813 | C002                   | 在宅時医学総合管理料の処方箋を交付した場合であって、100分の80に相当する点数を算定した場合               | 在医総管外減               | 「在宅」欄   |
| 814 | C002                   | 在宅時医学総合管理料の処方箋を交付していない場合であって、100分の80に相当する点数を算定した場合            | 在医総管内減               | 「在宅」欄   |
| 815 | C002-2                 | 施設入居時等医学総合管理料の処方箋を交付した場合                                      | 施医総管外                | 「在宅」欄   |
| 816 | C002-2                 | 施設入居時等医学総合管理料の処方箋を交付していない場合                                   | 施医総管内                | 「在宅」欄   |
| 817 | C002-2                 | 施設入居時等医学総合管理料の処方箋を交付した場合であって、100分の80に相当する点数を算定した場合            | 施医総管外減               | 「在宅」欄   |
| 818 | C002-2                 | 施設入居時等医学総合管理料の処方箋を交付していない場合であって、100分の80に相当する点数を算定した場合         | 施医総管内減               | 「在宅」欄   |
| 819 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の頻回訪問加算を算定した場合                       | 頻訪加算                 | 「在宅」欄   |
| 820 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の在宅移行早期加算を算定した場合                     | 在宅移行                 | 「在宅」欄   |
| 821 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の在宅療養移行加算1を算定した場合                    | 在療移1                 | 「在宅」欄   |
| 822 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の在宅療養移行加算2を算定した場合                    | 在療移2                 | 「在宅」欄   |
| 823 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の在宅療養移行加算3を算定した場合                    | 在療移3                 | 「在宅」欄   |
| 824 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の在宅療養移行加算4を算定した場合                    | 在療移4                 | 「在宅」欄   |
| 825 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の包括的支援加算を算定した場合                      | 包括支援                 | 「在宅」欄   |
| 826 | C002<br>C002-2<br>C003 | 在宅時医学総合管理料、施設入居時等医学総合管理料又は在宅がん医療総合診療料の在宅データ提出加算を算定した場合        | 在デ                   | 「在宅」欄   |
| 827 | C002<br>C002-2         | 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料の在宅医療情報連携加算を算定した場合                   | 在療連                  | 「在宅」欄   |
| 828 | C003                   | 在宅がん医療総合診療料を算定した場合  | 在医総                  | 「在宅」欄   |
| 829 | C003                   | 在宅がん医療総合診療料の小児加算を算定した場合                                       | 在総小                  | 「在宅」欄   |
| 830 | C003                   | 在宅がん医療総合診療料の在宅医療情報連携加算を算定した場合                                 | 在総連                  | 「在宅」欄   |
| 831 | C004                   | 救急搬送診療料を算定した場合  | 搬送診療                 | 「在宅」欄   |
| 832 | C004                   | 救急搬送診療料の長時間加算を算定した場合  | 搬送診療長                | 「在宅」欄   |
| 833 | C004                   | 救急搬送診療料の重症患者搬送加算を算定した場合                                       | 搬送重                  | 「在宅」欄   |
| 834 | C004-2                 | 救急患者連携搬送料を算定した場合  | 搬送連                  | 「在宅」欄   |
| 835 | C005<br>C005-1-2       | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料を算定した場合                          | 訪問看護<br>訪問看護(同一)     | 「在宅」欄   |
| 836 | C005<br>C005-1-2       | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の厚生労働大臣の定める疾病等に罹患している患者に対して行った場合 | 訪問看護難病<br>訪問看護難病(同一) | 「在宅」欄   |

| 項番  | 区分               | 診療行為名称等  | 略号                       | 対応する記載欄 |
|-----|------------------|--|--------------------------|---------|
| 837 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の急性増悪等により頻回な訪問看護を必要とする患者に対して行った場合                         | 訪問看護急性<br>訪問看護急性(同一)     | 「在宅」欄   |
| 838 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の悪性腫瘍の患者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師による場合 | 訪問看護専門<br>訪問看護専門(同一)     | 「在宅」欄   |
| 839 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の難病等複数回訪問加算を算定した場合  | 複                        | 「在宅」欄   |
| 840 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の緊急訪問看護加算を算定した場合  | 訪問看護緊急<br>訪問看護緊急(同一)     | 「在宅」欄   |
| 841 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の長時間訪問看護・指導加算を別に厚生労働大臣が定める者に算定した場合                        | 訪問看護別定長時<br>訪問看護別定長時(同一) | 「在宅」欄   |
| 842 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の長時間訪問看護・指導加算を別に厚生労働大臣が定める者以外の者に算定した場合                    | 訪問看護長時<br>訪問看護長時(同一)     | 「在宅」欄   |
| 843 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の乳幼児加算を算定した場合   | 訪問看護乳<br>訪問看護乳(同一)       | 「在宅」欄   |
| 844 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の複数名訪問看護加算(保健師、助産師又は看護師)を算定した場合                           | 複訪看看                     | 「在宅」欄   |
| 845 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の複数名訪問看護加算(准看護師)を算定した場合                                   | 複訪看護                     | 「在宅」欄   |
| 846 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の複数名訪問看護加算(看護補助者)を算定した場合(別に厚生労働大臣が定める場合を除く。)              | 複訪看護ハ                    | 「在宅」欄   |
| 847 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の複数名訪問看護加算(看護補助者)を算定した場合(別に厚生労働大臣が定める場合)                  | 複訪看護ニ                    | 「在宅」欄   |
| 848 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料の在宅患者連携指導加算又は同一建物居住者訪問看護・指導料の同一建物居住者連携指導加算                                 | 訪問看護連携<br>訪問看護連携(同一)     | 「在宅」欄   |
| 849 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料の在宅患者緊急時等カンファレンス加算又は同一建物居住者訪問看護・指導料の同一建物居住者緊急時等カンファレンス加算を算定した場合            | 訪問看護カン<br>訪問看護カン(同一)     | 「在宅」欄   |
| 850 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料の在宅ターミナルケア加算又は同一建物居住者訪問看護・指導料の同一建物居住者ターミナルケア加算を算定した場合(在宅で死亡した患者)           | 夕在<br>同夕在                | 「在宅」欄   |
| 851 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料の在宅ターミナルケア加算又は同一建物居住者訪問看護・指導料の同一建物居住者ターミナルケア加算を算定した場合(特別養護老人ホーム等で死亡した患者)   | 夕施<br>同夕施                | 「在宅」欄   |
| 852 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の在宅移行管理加算を算定した場合  | 移                        | 「在宅」欄   |
| 853 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の在宅移行管理重症者加算を算定した場合                                       | 移重症                      | 「在宅」欄   |
| 854 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の夜間・早朝訪問看護加算を算定した場合                                       | 夜早                       | 「在宅」欄   |
| 855 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の深夜訪問看護加算を算定した場合  | 深                        | 「在宅」欄   |
| 856 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の看護・介護職員連携強化加算を算定した場合                                     | 訪問看護看介<br>訪問看護看介(同一)     | 「在宅」欄   |
| 857 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の特別地域訪問看護加算を算定した場合  | 訪問看護特地<br>訪問看護特地(同一)     | 「在宅」欄   |
| 858 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の遠隔死亡診断補助加算を算定した場合  | 遠診                       | 「在宅」欄   |
| 859 | C005<br>C005-1-2 | 在宅患者訪問看護・指導料又は同一建物居住者訪問看護・指導料の訪問看護医療DX情報活用加算を算定した場合                                    | 在訪DX                     | 「在宅」欄   |
| 860 | C005             | 在宅患者訪問看護・指導料注16のイを算定した場合   | 訪問特研イ                    | 「在宅」欄   |
| 861 | C005             | 在宅患者訪問看護・指導料注16のロを算定した場合   | 訪問特研ロ                    | 「在宅」欄   |
| 862 | C005-2           | 在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定した場合   | 訪問点滴                     | 「在宅」欄   |
| 863 | C005-2           | 在宅患者訪問点滴注射管理指導料に用いる注射薬を支給した場合  | 訪点                       | 「在宅」欄   |
| 864 | C006             | 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料の「1」の同一建物居住者以外である患者に対して訪問リハビリテーションを行った場合                           | 訪問リ在宅                    | 「在宅」欄   |
| 865 | C006             | 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料の「2」の同一建物居住者である患者に対して訪問リハビリテーションを行った場合                             | 訪問リ同一                    | 「在宅」欄   |



| 項番  | 区分     | 診療行為名称等   | 略号    | 対応する記載欄 |
|-----|--------|---|-------|---------|
| 866 | C006   | 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料の急性増悪等により一時的に頻回の訪問リハビリテーション指導管理を必要とする患者に対して行った場合              | 急性    | 「在宅」欄   |
| 867 | C007   | 訪問看護指示料を算定した場合  | 訪問指示  | 「在宅」欄   |
| 868 | C007   | 訪問看護指示料の特別訪問看護指示加算を算定した場合   | 特別指示  | 「在宅」欄   |
| 869 | C007   | 訪問看護指示料の衛生材料等提供加算を算定した場合  | 衛材提供  | 「在宅」欄   |
| 870 | C007   | 訪問看護指示料の手順書加算を算定した場合  | 訪看手   | 「在宅」欄   |
| 871 | C007-2 | 介護職員等喀痰吸引等指示料を算定した場合  | 喀痰指示  | 「在宅」欄   |
| 872 | C008   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定した場合  | 訪問薬剤  | 「在宅」欄   |
| 873 | C008   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合   | 麻加    | 「在宅」欄   |
| 874 | C008   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料の乳幼児加算を算定した場合  | 乳幼    | 「在宅」欄   |
| 875 | C009   | 在宅患者訪問栄養食事指導料1を算定した場合   | 訪問栄養1 | 「在宅」欄   |
| 876 | C009   | 在宅患者訪問栄養食事指導料2を算定した場合   | 訪問栄養2 | 「在宅」欄   |
| 877 | C010   | 在宅患者連携指導料を算定した場合  | 在宅連携  | 「在宅」欄   |
| 878 | C011   | 在宅患者緊急時等カンファレンス料を算定した場合   | 在宅緊急  | 「在宅」欄   |
| 879 | C012   | 在宅患者共同診療料の15歳未満の人工呼吸器装着患者、15歳未満から引き続き人工呼吸を実施しており体重が20キログラム未満の患者又は神経難病等の患者を対象とした場合 | 在共    | 「在宅」欄   |
| 880 | C013   | 在宅患者訪問褥瘡管理指導料を算定した場合  | 在褥    | 「在宅」欄   |
| 881 | C014   | 外来在宅共同指導料1を算定した場合   | 外在共1  | 「在宅」欄   |
| 882 | C014   | 外来在宅共同指導料2を算定した場合   | 外在共2  | 「在宅」欄   |
| 883 | C015   | 在宅がん患者緊急時医療情報連携指導料を算定した場合   | 在緊連   | 「在宅」欄   |
| 884 | C100   | 退院前在宅療養指導管理料を算定した場合   | 前     | 「在宅」欄   |
| 885 | C100   | 退院前在宅療養指導管理料の乳幼児加算を算定した場合   | 乳幼    | 「在宅」欄   |
| 886 | C101   | 在宅自己注射指導管理料を算定した場合  | 注     | 「在宅」欄   |
| 887 | C101   | 在宅自己注射指導管理料のバイオ後続品導入初期加算を算定した場合   | 在バイオ  | 「在宅」欄   |
| 888 | C101   | 在宅自己注射指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合   | 情注    | 「在宅」欄   |
| 889 | C101-2 | 在宅小児低血糖症患者指導管理料を算定した場合  | 在小血糖  | 「在宅」欄   |
| 890 | C101-3 | 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料1を算定した場合  | 在妊糖1  | 「在宅」欄   |
| 891 | C101-3 | 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料2を算定した場合  | 在妊糖2  | 「在宅」欄   |
| 892 | C102   | 在宅自己腹膜灌流指導管理料を算定した場合  | 灌     | 「在宅」欄   |
| 893 | C102   | 在宅自己腹膜灌流指導管理料の遠隔モニタリング加算を算定した場合   | 遠モニ   | 「在宅」欄   |
| 894 | C102-2 | 在宅血液透析指導管理料を算定した場合  | 在透    | 「在宅」欄   |

| 項番  | 区分               | 診療行為名称等  | 略号   | 対応する記載欄 |
|-----|------------------|--|------|---------|
| 895 | C103             | 在宅酸素療法指導管理料を算定した場合                               | 酸    | 「在宅」欄   |
| 896 | C103             | 在宅酸素療法指導管理料の遠隔モニタリング加算を算定した場合                    | 遠モニ  | 「在宅」欄   |
| 897 | C104             | 在宅中心静脈栄養法指導管理料を算定した場合                            | 中    | 「在宅」欄   |
| 898 | C105             | 在宅成分栄養経管栄養法指導管理料を算定した場合                          | 経    | 「在宅」欄   |
| 899 | C105-2           | 在宅小児経管栄養法指導管理料を算定した場合                            | 小経   | 「在宅」欄   |
| 900 | C105-3           | 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料を算定した場合                         | 半固形  | 「在宅」欄   |
| 901 | C106             | 在宅自己導尿指導管理料を算定した場合                               | 尿    | 「在宅」欄   |
| 902 | C107             | 在宅人工呼吸指導管理料を算定した場合                               | 人    | 「在宅」欄   |
| 903 | C107-2           | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料1を算定した場合                          | 持呼1  | 「在宅」欄   |
| 904 | C107-2           | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2を算定した場合                          | 持呼2  | 「在宅」欄   |
| 905 | C107-2           | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の遠隔モニタリング加算を算定した場合                | 遠モニ  | 「在宅」欄   |
| 906 | C107-2           | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合          | 持呼情  | 「在宅」欄   |
| 907 | C107-3           | 在宅ハイフローセラピー指導管理料を算定した場合                          | ハイセ  | 「在宅」欄   |
| 908 | C108             | 在宅悪性腫瘍等患者指導管理料を算定した場合                            | 在悪   | 「在宅」欄   |
| 909 | C108-2           | 在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料を算定した場合                           | 在悪共  | 「在宅」欄   |
| 910 | C109             | 在宅寝たきり患者処置指導管理料を算定した場合                           | 寝    | 「在宅」欄   |
| 911 | C110             | 在宅自己疼痛管理指導管理料を算定した場合                             | 疼    | 「在宅」欄   |
| 912 | C110-2           | 在宅振戦等刺激装置治療指導管理料を算定した場合                          | 振    | 「在宅」欄   |
| 913 | C110-2<br>C110-3 | 在宅振戦等刺激装置治療指導管理料又は在宅迷走神経電気刺激治療指導管理料の導入期加算を算定した場合 | 導入期  | 「在宅」欄   |
| 914 | C110-3           | 在宅迷走神経電気刺激治療指導管理料を算定した場合                         | 迷    | 「在宅」欄   |
| 915 | C110-4           | 在宅仙骨神経刺激療法指導管理料を算定した場合                           | 仙    | 「在宅」欄   |
| 916 | C110-5           | 在宅舌下神経電気刺激療法指導管理料を算定した場合                         | 舌電   | 「在宅」欄   |
| 917 | C111             | 在宅肺高血圧症患者指導管理料を算定した場合                            | 肺    | 「在宅」欄   |
| 918 | C112             | 在宅気管切開患者指導管理料を算定した場合                             | 気    | 「在宅」欄   |
| 919 | C112-2           | 在宅喉頭摘出患者指導管理料を算定した場合                             | 喉摘   | 「在宅」欄   |
| 920 | C114             | 在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料を算定した場合                          | 難皮   | 「在宅」欄   |
| 921 | C116             | 在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料を算定した場合                   | 植心非拍 | 「在宅」欄   |
| 922 | C117             | 在宅経腸投薬指導管理料を算定した場合                               | 経腸投  | 「在宅」欄   |
| 923 | C118             | 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料を算定した場合                           | 電場   | 「在宅」欄   |

| 項番  | 区分           | 診療行為名称等   | 略号   | 対応する記載欄 |
|-----|--------------|---|------|---------|
| 924 | C119         | 在宅経肛門的自己洗腸指導管理料を算定した場合                          | 洗腸   | 「在宅」欄   |
| 925 | C120         | 在宅中耳加圧療法指導管理料を算定した場合                            | 中加   | 「在宅」欄   |
| 926 | C121         | 在宅抗菌薬吸入療法指導管理料を算定した場合                           | 抗吸   | 「在宅」欄   |
| 927 | C150         | 血糖自己測定器加算を算定した場合                                | 注糖   | 「在宅」欄   |
| 928 | C150         | 血糖自己測定器加算の血中ケトン体自己測定器加算を算定した場合                  | ケト   | 「在宅」欄   |
| 929 | C151         | 注入器加算を算定した場合                                    | 入    | 「在宅」欄   |
| 930 | C152         | 間歇注入シリンジポンプ加算を算定した場合                            | 間    | 「在宅」欄   |
| 931 | C152-2       | 持続血糖測定器加算を算定した場合                                | 持血   | 「在宅」欄   |
| 932 | C152-3       | 経腸投薬用ポンプ加算を算定した場合                               | 経腸ポ  | 「在宅」欄   |
| 933 | C153         | 注入器用注射針加算を算定した場合                                | 針    | 「在宅」欄   |
| 934 | C154         | 紫外線殺菌器加算を算定した場合                                 | 紫    | 「在宅」欄   |
| 935 | C155         | 自動腹膜灌流装置加算を算定した場合                               | 自腹   | 「在宅」欄   |
| 936 | C156         | 透析液供給装置加算を算定した場合                                | 透液   | 「在宅」欄   |
| 937 | C157         | 酸素ポンベ加算を算定した場合                                  | ポ    | 「在宅」欄   |
| 938 | C157<br>C159 | 酸素ポンベ加算及び液化酸素装置加算について携帯用又は携帯型を用いた場合             | 携    | 「在宅」欄   |
| 939 | C158         | 酸素濃縮装置加算を算定した場合                                 | 濃    | 「在宅」欄   |
| 940 | C159         | 液化酸素装置加算を算定した場合                                 | 液    | 「在宅」欄   |
| 941 | C159-2       | 呼吸同調式デマンドバルブ加算を算定した場合                           | 呼    | 「在宅」欄   |
| 942 | C160         | 在宅中心静脈栄養法用輸液セット加算を算定した場合                        | 輸    | 「在宅」欄   |
| 943 | C161         | 注入ポンプ加算を算定した場合                                  | 注ポ   | 「在宅」欄   |
| 944 | C161         | 注入ポンプ加算(在宅悪性腫瘍等患者指導管理料又は在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料)を算定した場合 | 悪ポ   | 「在宅」欄   |
| 945 | C162         | 在宅経管栄養法用栄養管セット加算を算定した場合                         | 管    | 「在宅」欄   |
| 946 | C163         | 特殊カテーテル加算の「1」を算定した場合                            | サ    | 「在宅」欄   |
| 947 | C163         | 特殊カテーテル加算の「2」を算定した場合                            | カ    | 「在宅」欄   |
| 948 | C163         | 特殊カテーテル加算の「3」を算定した場合                            | バ    | 「在宅」欄   |
| 949 | C164         | 人工呼吸器加算のうち、陽圧式人工呼吸器を使用した場合                      | 陽呼   | 「在宅」欄   |
| 950 | C164         | 人工呼吸器加算のうち、鼻マスク・顔マスクを介した人工呼吸器を使用した場合            | 鼻呼   | 「在宅」欄   |
| 951 | C164         | 人工呼吸器加算のうち、陰圧式人工呼吸器を使用した場合                      | 陰呼   | 「在宅」欄   |
| 952 | C165         | 在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算の「1」を算定した場合                     | 持呼加1 | 「在宅」欄   |

| 項番  | 区分      | 診療行為名称等                                       | 略号     | 対応する記載欄  |
|-----|---------|---|--------|----------|
| 953 | C165    | 在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算の「2」を算定した場合                   | 持呼加2   | 「在宅」欄    |
| 954 | C166    | 携帯型ディスプレイ注入ポンプ加算を算定した場合                       | 携ポ     | 「在宅」欄    |
| 955 | C167    | 疼痛等管理用送信器加算を算定した場合                            | 疼信     | 「在宅」欄    |
| 956 | C168    | 携帯型精密輸液ポンプ加算を算定した場合                           | 肺ポ     | 「在宅」欄    |
| 957 | C168-2  | 携帯型精密ネブライザ加算を算定した場合                           | 精ネ     | 「在宅」欄    |
| 958 | C169    | 気管切開患者用人工鼻加算を算定した場合                           | 気鼻     | 「在宅」欄    |
| 959 | C170    | 排痰補助装置加算を算定した場合                               | 排痰     | 「在宅」欄    |
| 960 | C171    | 在宅酸素療法材料加算を算定した場合                             | 酸材     | 「在宅」欄    |
| 961 | C171-2  | 在宅持続陽圧呼吸療法材料加算を算定した場合                         | 持材     | 「在宅」欄    |
| 962 | C171-3  | 在宅ハイフローセラピー材料加算を算定した場合                        | ハイ材    | 「在宅」欄    |
| 963 | C173    | 横隔神経電気刺激装置加算を算定した場合                           | 横電     | 「在宅」欄    |
| 964 | C174    | 在宅ハイフローセラピー装置加算を算定した場合                        | ハイ装    | 「在宅」欄    |
| 965 | C175    | 在宅抗菌薬吸入療法用ネブライザ加算を算定した場合                      | 吸ネブ    | 「在宅」欄    |
| 966 | D005    | 特殊染色加算を算定した場合                                 | 特染     | 「検査・病理」欄 |
| 967 | D009の8  | 前立腺癌の確定診断がつかず前立腺特異抗原(PSA)を2回以上算定した場合          | 未確     | 「検査・病理」欄 |
| 968 | D014の23 | 関節リウマチの確定診断がつかず抗シトルリン化ペプチド抗体定性又は定量を2回以上算定した場合 | 未確     | 「検査・病理」欄 |
| 969 | D018    | 嫌気性培養加算を算定した場合                                | 嫌培     | 「検査・病理」欄 |
| 970 | D025    | 基本的検体検査実施料を算定した場合                             | 基検     | 「検査・病理」欄 |
| 971 | D026    | 尿・糞便等検査判断料を算定した場合                             | 判尿     | 「検査・病理」欄 |
| 972 | D026    | 遺伝子関連・染色体検査判断料                                | 判遺     | 「検査・病理」欄 |
| 973 | D026    | 血液学的検査判断料を算定した場合                              | 判血     | 「検査・病理」欄 |
| 974 | D026    | 生化学的検査(I)判断料を算定した場合                           | 判生 I   | 「検査・病理」欄 |
| 975 | D026    | 生化学的検査(II)判断料を算定した場合                          | 判生 II  | 「検査・病理」欄 |
| 976 | D026    | 免疫学的検査判断料を算定した場合                              | 判免     | 「検査・病理」欄 |
| 977 | D026    | 微生物学的検査判断料を算定した場合                             | 判微     | 「検査・病理」欄 |
| 978 | D026    | 検体検査管理加算(I)を算定した場合                            | 検管 I   | 「検査・病理」欄 |
| 979 | D026    | 検体検査管理加算(II)を算定した場合                           | 検管 II  | 「検査・病理」欄 |
| 980 | D026    | 検体検査管理加算(III)を算定した場合                          | 検管 III | 「検査・病理」欄 |
| 981 | D026    | 検体検査管理加算(IV)を算定した場合                           | 検管 IV  | 「検査・病理」欄 |

| 項番   | 区分                                   | 診療行為名称等   | 略号   | 対応する記載欄  |
|------|--------------------------------------|---|------|----------|
| 982  | D026                                 | 国際標準検査管理加算を算定した場合   | 国標   | 「検査・病理」欄 |
| 983  | D026                                 | 遺伝カウンセリング加算を算定した場合  | 遺伝   | 「検査・病理」欄 |
| 984  | D026                                 | 遺伝性腫瘍カウンセリング加算を算定した場合   | 遺伝腫  | 「検査・病理」欄 |
| 985  | D026                                 | 骨髄像診断加算を算定した場合  | 骨診   | 「検査・病理」欄 |
| 986  | D027                                 | 基本的検体検査判断料を算定した場合   | 判基   | 「検査・病理」欄 |
| 987  | D205                                 | 呼吸機能検査等判断料を算定した場合   | 判呼   | 「検査・病理」欄 |
| 988  | D206                                 | 血管内超音波検査加算を算定した場合   | 血超   | 「検査・病理」欄 |
| 989  | D206                                 | 血管内光断層撮影加算を算定した場合   | 血光断  | 「検査・病理」欄 |
| 990  | D206                                 | 冠動脈血流予備能測定検査加算を算定した場合   | 冠血予  | 「検査・病理」欄 |
| 991  | D206                                 | 血管内視鏡検査加算を算定した場合  | 血内   | 「検査・病理」欄 |
| 992  | D206                                 | 心腔内超音波検査加算を算定した場合   | 心超   | 「検査・病理」欄 |
| 993  | D215-2                               | 肝硬度測定を3月に2回以上算定した場合   | 複肝   | 「検査・病理」欄 |
| 994  | D215-3                               | 超音波エラストグラフィを3月に2回以上算定した場合                                     | 複エ   | 「検査・病理」欄 |
| 995  | D217                                 | 大腿骨同時撮影加算を算定した場合  | 腿撮   | 「検査・病理」欄 |
| 996  | D238                                 | 脳波検査判断料1を算定した場合   | 判脳1  | 「検査・病理」欄 |
| 997  | D238                                 | 脳波検査判断料2を算定した場合   | 判脳2  | 「検査・病理」欄 |
| 998  | D241                                 | 神経・筋検査判断料を算定した場合  | 判神   | 「検査・病理」欄 |
| 999  | D256                                 | 広角眼底撮影加算を算定した場合   | 広眼   | 「検査・病理」欄 |
| 1000 | D294                                 | ラジオアイソトープ検査判断料を算定した場合   | 判ラ   | 「検査・病理」欄 |
| 1001 | D306<br>D308<br>D310<br>D312<br>D313 | 粘膜点墨法加算を算定した場合  | 墨    | 「検査・病理」欄 |
| 1002 | D308<br>D313<br>D317                 | 狭帯域光強調加算を算定した場合   | 狭光   | 「検査・病理」欄 |
| 1003 | D415                                 | 経気管肺生検法のガイドシース加算を算定した場合                                       | ガ    | 「検査・病理」欄 |
| 1004 | D415                                 | 経気管肺生検法のCT透視下気管支鏡検査加算を算定した場合                                  | CT気  | 「検査・病理」欄 |
| 1005 | 第1節<br>第1款通則1                        | 時間外緊急院内検査加算を算定した場合  | 緊検   | 「検査・病理」欄 |
| 1006 | 第1節<br>第1款通則3                        | 外来迅速検体検査加算を算定した場合   | 外迅検  | 「検査・病理」欄 |
| 1007 | 第3節内視鏡検査通則1                          | 超音波内視鏡検査加算を算定した場合   | 超内   | 「検査・病理」欄 |
| 1008 | 第4部                                  | 電子画像管理加算(エックス線診断料、核医学診断料又はコンピューター断層撮影診断料)を算定した場合              | 電画   | 「画像診断」欄  |
| 1009 | 第4部                                  | 別の保険医療機関と共同でCT又はMRIを利用している保険医療機関が、当該機器を利用してコンピューター断層撮影を算定した場合 | 画診共同 | 「画像診断」欄  |

| 項番   | 区分     | 診療行為名称等  | 略号   | 対応する記載欄 |
|------|--------|--|------|---------|
| 1010 | 第4部通則3 | 時間外緊急院内画像診断加算を算定した場合   | 緊画   | 「画像診断」欄 |
| 1011 | 第4部通則4 | 写真診断について、画像診断管理加算1を算定した場合  | 写画1  | 「画像診断」欄 |
| 1012 | 第4部通則4 | 基本的エックス線診断について、画像診断管理加算1を算定した場合  | 基画1  | 「画像診断」欄 |
| 1013 | 第4部通則4 | 核医学診断について、画像診断管理加算1を算定した場合   | 核画1  | 「画像診断」欄 |
| 1014 | 第4部通則4 | コンピューター断層診断について、画像診断管理加算1を算定した場合   | コ画1  | 「画像診断」欄 |
| 1015 | 第4部通則5 | 核医学診断について、画像診断管理加算2を算定した場合   | 核画2  | 「画像診断」欄 |
| 1016 | 第4部通則5 | コンピューター断層診断について、画像診断管理加算2を算定した場合   | コ画2  | 「画像診断」欄 |
| 1017 | 第4部通則5 | 核医学診断について、画像診断管理加算3を算定した場合   | 核画3  | 「画像診断」欄 |
| 1018 | 第4部通則5 | コンピューター断層診断について、画像診断管理加算3を算定した場合   | コ画3  | 「画像診断」欄 |
| 1019 | E004   | 基本的エックス線診断料を算定した場合   | 基工   | 「画像診断」欄 |
| 1020 | F100   | 特定疾患処方管理加算を算定した場合  | 特処   | 「投薬」欄   |
| 1021 | F100   | 抗悪性腫瘍剤処方管理加算を算定した場合  | 抗癌   | 「投薬」欄   |
| 1022 | F100   | 外来後発医薬品使用体制加算1を算定した場合  | 外後使1 | 「投薬」欄   |
| 1023 | F100   | 外来後発医薬品使用体制加算2を算定した場合  | 外後使2 | 「投薬」欄   |
| 1024 | F100   | 外来後発医薬品使用体制加算3を算定した場合  | 外後使3 | 「投薬」欄   |
| 1025 | F100   | 向精神薬調整連携加算を算定した場合  | 向調連  | 「投薬」欄   |
| 1026 | F200   | 初診料の注2、注3又は外来診療料の注2、注3を算定する保険医療機関において投与期間が30日以上の処方をし、薬剤料を所定点数の合計の100分の40に相当する点数で算定した場合<br>常態として、内服薬7種類以上を処方し、薬剤料を所定点数の合計の100分の90に相当する点数で算定した場合 | 減    | 「投薬」欄   |
| 1027 | F200   | 1回の処方において、抗不安薬を3種類以上、睡眠薬を3種類以上、抗うつ薬を3種類以上、抗精神病薬を3種類以上又は抗不安薬及び睡眠薬を4種類以上投与した場合であって、薬剤料(抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬及び抗精神病薬に係るものに限る。)を所定点数の100分の80に相当する点数で算定した場合 | 精減   | 「投薬」欄   |
| 1028 | F500   | 院内製剤加算を算定した場合  | 院    | 「投薬」欄   |
| 1029 | -      | 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第4号又は第1条第6号に係る医薬品を投与した場合   | 薬評   | 「投薬」欄   |
| 1030 | F400   | 特定疾患処方管理加算を算定した場合  | 特処   | 「その他」欄  |
| 1031 | F400   | 抗悪性腫瘍剤処方管理加算を算定した場合  | 抗癌   | 「その他」欄  |
| 1032 | F400   | 一般名処方加算1を算定した場合  | 一般1  | 「その他」欄  |
| 1033 | F400   | 一般名処方加算2を算定した場合  | 一般2  | 「その他」欄  |
| 1034 | F400   | 向精神薬調整連携加算を算定した場合  | 向調連  | 「その他」欄  |
| 1035 | 第6部通則6 | 外来化学療法加算1を算定した場合   | 化1   | 「注射」欄   |
| 1036 | 第6部通則6 | 外来化学療法加算2を算定した場合   | 化2   | 「注射」欄   |
| 1037 | 第6部通則7 | バイオ後続品導入初期加算を算定した場合  | バイオ  | 「注射」欄   |

| 項番   | 区分                                       | 診療行為名称等  | 略号    | 対応する記載欄 |
|------|--|--|-------|---------|
| 1038 | G004<br>G005                             | 点滴注射及び中心静脈注射に係る血漿成分製剤加算を算定した場合   | 血漿    | 「注射」欄   |
| 1039 | G020                                     | 無菌製剤処理料の「1」を算定した場合   | 菌1    | 「注射」欄   |
| 1040 | G020                                     | 無菌製剤処理料の「2」を算定した場合   | 菌2    | 「注射」欄   |
| 1041 | G020                                     | 無菌製剤処理料の「1」を算定した場合であって、閉鎖式接続器具を使用した場合  | 菌1器具  | 「注射」欄   |
| 1042 | G100                                     | 特別入院基本料を算定している病棟を有する病院に入院している患者であって入院期間が1年を超えるものに対する同一月の投薬に係る薬剤料と注射に係る薬剤料とを合算して得た点数が上限点数を超える場合 | その他薬剤 | 「注射」欄   |
| 1043 | -  | 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第4号又は第1条第6号に係る医薬品を投与した場合   | 薬評    | 「注射」欄   |
| 1044 | H000<br>H001<br>H001-2<br>H002<br>H003   | 早期リハビリテーション加算を算定した場合   | 早り加   | 「その他」欄  |
| 1045 | H000<br>H001<br>H001-2<br>H002<br>H003   | 初期加算を算定した場合  | 初期    | 「その他」欄  |
| 1046 | H000<br>H001<br>H001-2<br>H002<br>H003   | 急性期リハビリテーション加算を算定した場合  | 急り加   | 「その他」欄  |
| 1047 | H001<br>H001-2<br>H002                   | 脳血管疾患等リハビリテーション料、廃用症候群リハビリテーション料又は運動器リハビリテーション料の100分の90に相当する点数により算定した場合                        | り減    | 「その他」欄  |
| 1048 | H003-2                                   | リハビリテーション総合計画評価料の「1」を算定した場合  | リハ総評1 | 「その他」欄  |
| 1049 | H003-2                                   | リハビリテーション総合計画評価料の「2」を算定した場合  | リハ総評2 | 「その他」欄  |
| 1050 | H003-4                                   | 目標設定等支援・管理料の「1」を算定した場合   | 目標支管1 | 「その他」欄  |
| 1051 | H003-4                                   | 目標設定等支援・管理料の「2」を算定した場合   | 目標支管2 | 「その他」欄  |
| 1052 | H006                                     | 短期集中リハビリテーション実施加算を算定した場合   | 短り加   | 「その他」欄  |
| 1053 | H007-4                                   | リンパ浮腫複合的治療料の「1」を算定した場合   | り複治1  | 「その他」欄  |
| 1054 | H007-4                                   | リンパ浮腫複合的治療料の「2」を算定した場合   | り複治2  | 「その他」欄  |
| 1055 | I001<br>I002<br>I011                     | 家族等に対する入院精神療法、通院・在宅精神療法又は精神科退院指導料を算定した場合   | 家族    | 「その他」欄  |
| 1056 | I002<br>I002-2                           | 通院・在宅精神療法又は精神科継続外来支援・指導料の特定薬剤副作用評価加算を算定した場合  | 副評    | 「その他」欄  |
| 1057 | I002-2                                   | 精神科継続外来支援・指導料の療養生活環境を整備するための加算を算定した場合  | 精外療加  | 「その他」欄  |
| 1058 | I008-2                                   | 入院中の患者に精神科ショート・ケアを算定した場合   | 他精シ   | 「その他」欄  |
| 1059 | I008-2<br>I009<br>I010<br>I010-2<br>I015 | 精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア、精神科デイ・ナイト・ケア又は重度認知症患者デイ・ケア料の早期加算を算定した場合                          | 早     | 「その他」欄  |
| 1060 | I009                                     | 入院中の患者に精神科デイ・ケアを算定した場合   | 他精デ   | 「その他」欄  |
| 1061 | I009<br>I010<br>I010-2                   | 精神科デイ・ケア、精神科ナイト・ケア又は精神科デイ・ナイト・ケアの100分の90に相当する点数を算定した場合   | 精長減   | 「その他」欄  |
| 1062 | I010-2                                   | 精神科デイ・ナイト・ケアの疾患別等診療計画加算を算定した場合   | 疾計    | 「その他」欄  |

| 項番   | 区分     | 診療行為名称等  | 略号       | 対応する記載欄 |
|------|--------|--|----------|---------|
| 1063 | I011-2 | 精神科退院前訪問指導料の必要があつて複数の職種が共同して指導を行った場合                     | 複職       | 「その他」欄  |
| 1064 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)を算定した場合                                    | 精訪看Ⅰ     | 「その他」欄  |
| 1065 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)を算定した場合                                    | 精訪看Ⅲ     | 「その他」欄  |
| 1066 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の急性増悪により頻回な精神科訪問看護を必要とする患者に対して行った場合        | 精訪看Ⅰ急性   | 「その他」欄  |
| 1067 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の急性増悪により頻回な精神科訪問看護を必要とする患者に対して行った場合        | 精訪看Ⅲ急性   | 「その他」欄  |
| 1068 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の保健師、看護師、作業療法士又は精神保健福祉士と同時に精神科訪問看護・指導を行う場合 | 精訪看Ⅰ複訪看看 | 「その他」欄  |
| 1069 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の保健師、看護師、作業療法士又は精神保健福祉士と同時に精神科訪問看護・指導を行う場合 | 精訪看Ⅲ複訪看看 | 「その他」欄  |
| 1070 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の准看護師と同時に精神科訪問看護・指導を行う場合                   | 精訪看Ⅰ複訪看准 | 「その他」欄  |
| 1071 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の准看護師と同時に精神科訪問看護・指導を行う場合                   | 精訪看Ⅲ複訪看准 | 「その他」欄  |
| 1072 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の看護補助者と同時に精神科訪問看護・指導を行う場合                  | 精訪看Ⅰ複訪看補 | 「その他」欄  |
| 1073 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の看護補助者と同時に精神科訪問看護・指導を行う場合                  | 精訪看Ⅲ複訪看補 | 「その他」欄  |
| 1074 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の長時間精神科訪問看護・指導加算を算定した場合                    | 精訪看Ⅰ長時   | 「その他」欄  |
| 1075 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の長時間精神科訪問看護・指導加算を算定した場合                    | 精訪看Ⅲ長時   | 「その他」欄  |
| 1076 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の夜間・早期訪問看護加算を算定した場合                        | 精訪看Ⅰ夜早   | 「その他」欄  |
| 1077 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の夜間・早期訪問看護加算を算定した場合                        | 精訪看Ⅲ夜早   | 「その他」欄  |
| 1078 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の深夜訪問看護加算を算定した場合                           | 精訪看Ⅰ深    | 「その他」欄  |
| 1079 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の深夜訪問看護加算を算定した場合                           | 精訪看Ⅲ深    | 「その他」欄  |
| 1080 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の精神科緊急訪問看護加算を算定した場合                        | 精訪看Ⅰ緊急   | 「その他」欄  |
| 1081 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の精神科緊急訪問看護加算を算定した場合                        | 精訪看Ⅲ緊急   | 「その他」欄  |
| 1082 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の精神科複数回訪問加算を算定した場合                         | 精訪看Ⅰ複    | 「その他」欄  |
| 1083 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の精神科複数回訪問加算を算定した場合                         | 精訪看Ⅲ複    | 「その他」欄  |
| 1084 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の看護・介護職員連携強化加算を算定した場合                      | 精訪看Ⅰ看介   | 「その他」欄  |
| 1085 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の看護・介護職員連携強化加算を算定した場合                      | 精訪看Ⅲ看介   | 「その他」欄  |
| 1086 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅰ)の特別地域訪問看護加算を算定した場合                         | 精訪看Ⅰ特地   | 「その他」欄  |
| 1087 | I012   | 精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)の特別地域訪問看護加算を算定した場合                         | 精訪看Ⅲ特地   | 「その他」欄  |
| 1088 | I012   | 精神科訪問看護・指導料の外来感染対策向上加算を算定した場合                            | 精外感      | 「その他」欄  |
| 1089 | I012   | 精神科訪問看護・指導料の発熱患者等対応加算を算定した場合                             | 精熱対      | 「その他」欄  |
| 1090 | I012   | 精神科訪問看護・指導料のサーベイランス強化加算を算定した場合                           | 精サ       | 「その他」欄  |
| 1091 | I012   | 精神科訪問看護・指導料の抗菌薬適正使用体制加算を算定した場合                           | 精抗菌適     | 「その他」欄  |



| 項番   | 区分                            | 診療行為名称等  | 略号   | 対応する記載欄         |
|------|-------------------------------|--|------|-----------------|
| 1092 | I012                          | 精神科訪問看護・指導料の訪問看護医療DX情報活用加算を算定した場合  | 精訪DX | 「その他」欄          |
| 1093 | I012-2                        | 精神科訪問看護指示料を算定した場合  | 精訪指示 | 「その他」欄          |
| 1094 | I012-2                        | 精神科訪問看護指示料の衛生材料等提供加算を算定した場合  | 衛材提供 | 「その他」欄          |
| 1095 | I012-2                        | 精神科訪問看護指示料の精神科特別訪問看護指示加算を算定した場合  | 精特指示 | 「その他」欄          |
| 1096 | I012-2                        | 精神科訪問看護指示料の手順書加算を算定した場合  | 精訪看手 | 「その他」欄          |
| 1097 | I013                          | 抗精神病特定薬剤治療指導管理料の「1」持続性抗精神病注射薬剤治療指導管理料を算定した場合   | 持精   | 「その他」欄          |
| 1098 | I013                          | 抗精神病特定薬剤治療指導管理料の「2」治療抵抗性統合失調症治療指導管理料を算定した場合  | 治統   | 「その他」欄          |
| 1099 | I015                          | 重度認知症患者デイ・ケア料を算定した場合   | 認デイ  | 「その他」欄          |
| 1100 | I015                          | 重度認知症患者デイ・ケア料の夜間ケア加算を算定した場合  | 夜ケ   | 「その他」欄          |
| 1101 | I016                          | 精神科在宅患者支援管理料を算定した場合  | 精在支  | 「その他」欄          |
| 1102 | 第9部通則5<br>第10部通則12<br>第11部通則3 | 処置、手術又は麻酔の時間外加算を算定した場合   | 外    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1103 | 第9部通則5<br>第10部通則12<br>第11部通則3 | 処置、手術又は麻酔の休日加算を算定した場合  | 休    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1104 | 第9部通則5<br>第10部通則12<br>第11部通則3 | 処置、手術又は麻酔の深夜加算を算定した場合  | 深    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1105 | 第9部通則5<br>第10部通則12<br>第11部通則3 | 処置、手術又は麻酔の時間外加算の特例を算定した場合  | 特外   | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1106 | 第10部通則14                      | 「複数手術に係る費用の特例を定める件」(平成30年厚生労働省告示第72号)に規定する複数手術を同時に行った場合  | (併施) | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1107 | 第10部通則7                       | 手術の1,500グラム未満の児加算を算定した場合   | 未満   | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1108 | 第10部通則8<br>第11部通則2            | 手術の幼児(3歳以上6歳未満)加算を算定した場合<br>麻酔の幼児(1歳以上3歳未満)加算を算定した場合   | 幼    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1109 | 第11部通則2                       | 麻酔の未熟児加算を算定した場合  | 未    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1110 | 第9部第1節<br>第10部通則7<br>第11部通則2  | 処置の新生児加算を算定した場合<br>手術の新生児(1,500グラム未満の児を除く)加算を算定した場合<br>麻酔の新生児加算を算定した場合   | 新    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1111 | 第9部第1節<br>第10部通則8             | 処置の乳幼児(6歳未満)加算を算定した場合<br>手術の乳幼児(3歳未満)加算を算定した場合   | 乳幼   | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1112 | J038                          | 人工腎臓の透析液水質確保加算を算定した場合  | 水    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1113 | J038<br>J038-2                | 人工腎臓又は持続緩徐式血液濾過の障害者等加算を算定した場合  | 障    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1114 | -                             | 180日を超える期間通算対象入院料を算定している患者であって厚生労働大臣が定める状態にあるもの(「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」(平成18年厚生労働省告示第498号)第九のトに該当する患者)について胸腔穿刺又は腹腔穿刺を算定した場合<br>90日を超える期間一般病棟に入院している患者であって特定患者に係る厚生労働大臣が定める状態等にあるもの(平成20年厚生労働省告示第62号別表第四に該当する患者)のうち、同別表第四の第七号に該当する患者について胸腔穿刺又は腹腔穿刺を算定した場合 | 洗浄   | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1115 | -                             | 90日を超える期間一般病棟に入院している患者であって特定患者に係る厚生労働大臣が定める状態等にあるもの(平成20年厚生労働省告示第62号別表第四に該当する患者)のうち、同別表第四の第八号に該当する患者について喀痰吸引又は干涉低周波去痰器による喀痰排出を算定した場合   | 頻回   | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1116 | K014                          | 皮膚移植術(生体・培養)を行った場合   | 膚    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1117 | K514-6                        | 生体部分肺移植術を行った場合   | 肺    | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |

| 項番   | 区分      | 診療行為名称等  | 略号                           | 対応する記載欄         |
|------|---------|--|------------------------------|-----------------|
| 1118 | K697-5  | 生体部分肝移植を行った場合  | 肝                            | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1119 | K780-2  | 生体腎移植術を行った場合   | 腎                            | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1120 | K920-2  | 輸血管理料Ⅰを算定した場合  | 輸管Ⅰ                          | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1121 | K920-2  | 輸血管理料Ⅱを算定した場合  | 輸管Ⅱ                          | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1122 | K922    | 造血幹細胞移植のうち同種移植を行った場合   | 造                            | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1123 | 第11部通則2 | 麻酔の乳児加算を算定した場合   | 乳                            | 「手術・麻酔」欄        |
| 1124 | L009    | 麻酔管理料(Ⅰ)を算定した場合  | 麻管Ⅰ                          | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1125 | L010    | 麻酔管理料(Ⅱ)を算定した場合  | 麻管Ⅱ                          | 「処置」欄又は「手術・麻酔」欄 |
| 1126 | 第12部    | 放射線治療料を算定した場合  | 放                            | 「その他」欄          |
| 1127 | 第12部通則3 | 小児放射線治療加算(新生児)を算定した場合  | 新                            | 「その他」欄          |
| 1128 | 第12部通則3 | 小児放射線治療加算(3歳未満の乳幼児(新生児を除く))を算定した場合                                     | 乳幼                           | 「その他」欄          |
| 1129 | 第12部通則3 | 小児放射線治療加算(3歳以上6歳未満の幼児)を算定した場合  | 幼児                           | 「その他」欄          |
| 1130 | 第12部通則3 | 小児放射線治療加算(6歳以上15歳未満の小児)を算定した場合   | 小児                           | 「その他」欄          |
| 1131 | M000    | 放射線治療管理料を算定した場合  | 放管                           | 「その他」欄          |
| 1132 | M000-2  | 放射性同位元素内用療法管理料を算定した場合  | 放内                           | 「その他」欄          |
| 1133 | M001    | 体外照射の画像誘導放射線治療加算を算定した場合  | 画誘                           | 「その他」欄          |
| 1134 | M001    | 体外照射の体外照射呼吸性移動対策加算を算定した場合  | 体呼                           | 「その他」欄          |
| 1135 | M001-3  | 定位放射線治療呼吸性移動対策加算を算定した場合  | 定呼                           | 「その他」欄          |
| 1136 | M004    | 密封小線源治療に当たって、気管・気管支用アプリケータを使用した場合                                      | 気アプ                          | 「その他」欄          |
| 1137 | M004    | 密封小線源治療に当たって、食道アプリケータを使用した場合   | 食アプ                          | 「その他」欄          |
| 1138 | N002    | 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製について、確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、標本作製を実施した場合 | 4免                           | 「検査・病理」欄        |
| 1139 | N006    | 病理診断料の組織診断料を算定した場合   | 判組診                          | 「検査・病理」欄        |
| 1140 | N006    | 病理診断料の細胞診断料を算定した場合   | 判細診                          | 「検査・病理」欄        |
| 1141 | N006    | 病理診断管理加算1を算定した場合   | 病管1                          | 「検査・病理」欄        |
| 1142 | N006    | 病理診断管理加算2を算定した場合   | 病管2                          | 「検査・病理」欄        |
| 1143 | N007    | 病理判断料を算定した場合   | 判病判                          | 「検査・病理」欄        |
| 1144 | O000    | 看護職員処遇改善評価料1～165を算定した場合  | 看処遇<br>(※●は1から165の算定する数字を記載) | 「その他」欄          |
| 1145 | O100    | 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)初診時を算定した場合  | 外ベアⅠ初                        | 「その他」欄          |
| 1146 | O100    | 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)再診時を算定した場合  | 外ベアⅠ再                        | 「その他」欄          |

| 項番   | 区分   | 診療行為名称等                               | 略号                            | 対応する記載欄 |
|------|------|---------------------------------------|-------------------------------|---------|
| 1147 | O100 | 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)訪問診療時のイを算定した場合       | 外ベアⅠ訪同                        | 「その他」欄  |
| 1148 | O100 | 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)訪問診療時のロを算定した場合       | 外ベアⅠ訪他                        | 「その他」欄  |
| 1149 | O101 | 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅱ)1～8の初診時又は訪問診療を算定した場合 | 外ベアⅡ●<br>(※●は1から8の算定する数字を記載)  | 「その他」欄  |
| 1150 | O101 | 外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅱ)1～8の再診時等を算定した場合      | 外ベアⅡ再●<br>(※●は1から8の算定する数字を記載) | 「その他」欄  |
| 1151 | O102 | 入院ベースアップ評価料1～165を算定した場合               | 入ベア●<br>(※●は1から165の算定する数字を記載) | 「その他」欄  |
| 1152 | 第3章  | 施設入所者自己腹膜灌流薬剤料を算定した場合                 | 灌薬                            | 「在宅」欄   |
| 1153 | 第3章  | 施設入所者共同指導料を算定した場合                     | 施設指導                          | 「その他」欄  |

※ 略号については、複初 等と四角囲みをし記載することとするが、電子計算機の場合は、□に代えて( )等を使用して記載することも差し支えないこと。

※ 複数の略号を組み合わせる所定点数を算出する場合は、それぞれの略号を連記すること。

別表Ⅳ 診療行為名称等の略号一覧(歯科)

| 項番 | 区分       | 診療行為名称等   | 略号    | 記載欄               |
|----|----------|---|-------|-------------------|
| 1  | A000     | 初診料に係る時間外加算の特例を算定した場合<br>※電子計算機の場合は全体の「その他」欄に表示 | 特     | 初診<br>「時間外」の文字の上※ |
| 2  | A000     | 医療情報取得加算1を算定した場合                                | 医情1   | 全体「その他」欄          |
| 3  | A000     | 医療情報取得加算2を算定した場合                                | 医情2   | 全体「その他」欄          |
| 4  | A000     | 医療DX推進体制整備加算を算定した場合                             | 医DX   | 全体「その他」欄          |
| 5  | A000     | 情報通信機器を用いた初診を算定した場合                             | 情初診   | 全体<br>「その他」欄      |
| 6  | A002     | 再診料に係る時間外加算の特例を算定した場合<br>※電子計算機の場合は全体の「その他」欄に表示 | 特     | 再診<br>「時間外」の文字の上※ |
| 7  | A002     | 医療情報取得加算3を算定した場合                                | 医情3   | 全体「その他」欄          |
| 8  | A002     | 医療情報取得加算4を算定した場合                                | 医情4   | 全体「その他」欄          |
| 9  | A002     | 情報通信機器を用いた再診を算定した場合                             | 情再診   | 全体<br>「その他」欄      |
| 10 | B000-4-2 | 小児口腔機能管理料を算定した場合                                | 小機能   | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 11 | B000-4-2 | 小児口腔機能管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合               | 情小機能  | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 12 | B000-4-3 | 口腔機能管理料を算定した場合                                  | 口機能   | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 13 | B000-4-3 | 口腔機能管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合                 | 情口機能  | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 14 | B000-5   | 周術期等口腔機能管理計画策定料を算定した場合                          | 周計    | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 15 | B000-6   | 周術期等口腔機能管理料(Ⅰ)の手術前                              | 周前(Ⅰ) | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 16 | B000-6   | 周術期等口腔機能管理料(Ⅰ)の手術後                              | 周後(Ⅰ) | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 17 | B000-7   | 周術期等口腔機能管理料(Ⅱ)の手術前                              | 周前(Ⅱ) | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 18 | B000-7   | 周術期等口腔機能管理料(Ⅱ)の手術後                              | 周後(Ⅱ) | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 19 | B000-8   | 周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)                                  | 周(Ⅲ)  | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 20 | B000-9   | 周術期等口腔機能管理料(Ⅳ)                                  | 周(Ⅳ)  | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 21 | B000-10  | 回復期等口腔機能管理計画策定料を算定した場合                          | 回計    | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 22 | B000-11  | 回復期等口腔機能管理料                                     | 回機能   | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 23 | B002     | 歯科特定疾患療養管理料を算定した場合                              | 特疾管   | 全体<br>「その他」欄      |
| 24 | B002     | 歯科特定疾患療養管理料に係る共同療養指導計画加算を算定した場合                 | 共計    | 全体<br>「その他」欄      |
| 25 | B002     | 歯科特定疾患療養管理料(情報通信機器を用いて行った場合)を算定した場合             | 情特疾管  | 管理・リハ<br>「その他」欄   |
| 26 | B003     | 特定薬剤治療管理料を算定した場合                                | 薬     | 全体<br>「その他」欄      |
| 27 | B004     | 悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定した場合                            | 悪     | 全体<br>「その他」欄      |
| 28 | B004-1-8 | 外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)を算定した場合              | 外化投1  | 全体<br>「その他」欄      |
| 29 | B004-1-8 | 外来腫瘍化学療法診療料1(イ以外の必要な治療管理を行った場合)を算定した場合          | 外化管1  | 全体<br>「その他」欄      |
| 30 | B004-1-8 | 外来腫瘍化学療法診療料2(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)を算定した場合              | 外化投2  | 全体<br>「その他」欄      |
| 31 | B004-1-8 | 外来腫瘍化学療法診療料2(イ以外の必要な治療管理を行った場合)を算定した場合          | 外化管2  | 全体<br>「その他」欄      |
| 32 | B004-1-8 | 外来腫瘍化学療法診療料3(抗悪性腫瘍剤を投与した場合)を算定した場合              | 外化投3  | 全体<br>「その他」欄      |
| 33 | B004-1-8 | 外来腫瘍化学療法診療料3(イ以外の必要な治療管理を行った場合)を算定した場合          | 外化管3  | 全体<br>「その他」欄      |
| 34 | B004-1-8 | 外来腫瘍化学療法診療料の連携充実加算を算定した場合                       | 連充    | 全体<br>「その他」欄      |
| 35 | B004-2   | 手術前医学管理料を算定した場合                                 | 手前    | 全体<br>「その他」欄      |

| 項番 | 区分       | 診療行為名称等   | 略号    | 記載欄                  |
|----|----------|---|-------|----------------------|
| 36 | B004-3   | 手術後医学管理料を算定した場合   | 手後    | 全体<br>「その他」欄         |
| 37 | B004-6-2 | 歯科治療時医療管理料を算定した場合   | 医管    | 管理・リハ<br>「その他」欄      |
| 38 | B005     | 開放型病院共同指導料(Ⅰ)を算定した場合  | 開Ⅰ    | 全体<br>「その他」欄         |
| 39 | B006     | 開放型病院共同指導料(Ⅱ)を算定した場合  | 開Ⅱ    | 全体<br>「その他」欄         |
| 40 | B006-3-4 | 療養・就労両立支援指導料を算定した場合   | 就労    | 全体<br>「その他」欄         |
| 41 | B006-3-5 | こころの連携指導料(Ⅰ)を算定した場合   | こ連Ⅰ   | 全体<br>「その他」欄         |
| 42 | B006-4   | 歯科遠隔連携診療料を算定した場合  | 歯遠隔   | 全体<br>「その他」欄         |
| 43 | B007     | 退院前訪問指導料を算定した場合   | 退前    | 全体<br>「その他」欄         |
| 44 | B008     | 薬剤管理指導料「1 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合」を算定した場合                             | 薬管1   | 全体<br>「その他」欄         |
| 45 | B008     | 薬剤管理指導料「2 1の患者以外の患者に対して行う場合」を算定した場合   | 薬管2   | 全体<br>「その他」欄         |
| 46 | B008     | 薬剤管理指導料に係る麻薬管理指導加算を算定した場合   | 麻加    | 全体<br>「その他」欄         |
| 47 | B008-2   | 薬剤総合評価調整管理料を算定した場合  | 薬総評管  | 全体<br>「その他」欄         |
| 48 | B009     | 診療情報提供料(Ⅰ)を算定した場合   | 情Ⅰ    | 全体<br>「その他」欄         |
| 49 | B009     | 診療情報提供料(Ⅰ)に係る退院患者の紹介の加算を算定した場合  | 情Ⅰ加1  | 全体<br>「その他」欄         |
| 50 | B009     | 診療情報提供料(Ⅰ)の基本診療料に係る歯科診療特別対応加算1、2又は3若しくは歯科訪問診療料を算定している患者の紹介に係る加算(区分B009 注6)を算定した場合 | 情Ⅰ加2  | 全体<br>「その他」欄         |
| 51 | B009     | 診療情報提供料(Ⅰ)の基本診療料に係る歯科診療特別対応加算1、2又は3若しくは歯科訪問診療料を算定している患者の紹介に係る加算(区分B009 注7)を算定した場合 | 情Ⅰ加3  | 全体<br>「その他」欄         |
| 52 | B009     | 診療情報提供料(Ⅰ)に係る検査・画像情報提供加算の「イ 退院する患者について、当該患者の退院日の属する月又はその翌月に、必要な情報を提供した場合」を算定した場合  | 情Ⅰ加4イ | 全体<br>「その他」欄         |
| 53 | B009     | 診療情報提供料(Ⅰ)に係る検査・画像情報提供加算の「ロ 入院中の患者以外の患者について、必要な情報を提供した場合」を算定した場合                  | 情Ⅰ加4ロ | 全体<br>「その他」欄         |
| 54 | B009-2   | 電子的診療情報評価料を算定した場合   | 電診情評  | 全体<br>「その他」欄         |
| 55 | B010     | 診療情報提供料(Ⅱ)を算定した場合   | 情Ⅱ    | 全体<br>「その他」欄         |
| 56 | B011     | 診療情報等連携共有料1   | 情共1   | 全体<br>「その他」欄         |
| 57 | B011     | 診療情報等連携共有料2   | 情共2   | 全体<br>「その他」欄         |
| 58 | B011-2   | 連携強化診療情報提供料   | 連情    | 全体<br>「その他」欄         |
| 59 | B011-5   | がんゲノムプロファイリング評価提供料を算定した場合   | がんゲ評  | 全体<br>「その他」欄         |
| 60 | B012     | 傷病手当金意見書交付料を算定した場合  | 傷     | 全体<br>「その他」欄         |
| 61 | B013-3   | 広範囲顎骨支持型補綴物管理料1を算定した場合  | 特イ管1  | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 62 | B013-3   | 広範囲顎骨支持型補綴物管理料2を算定した場合  | 特イ管2  | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 63 | C000     | 歯科訪問診療料の歯科訪問診療1を算定した場合  | 歯訪1   | 全体<br>「その他」欄         |
| 64 | C000     | 歯科訪問診療料の歯科訪問診療2を算定した場合  | 歯訪2   | 全体<br>「その他」欄         |
| 65 | C000     | 歯科訪問診療料の歯科訪問診療3を算定した場合  | 歯訪3   | 全体<br>「その他」欄         |
| 66 | C000     | 歯科訪問診療料の歯科訪問診療4を算定した場合  | 歯訪4   | 全体<br>「その他」欄         |
| 67 | C000     | 歯科訪問診療料の歯科訪問診療5を算定した場合  | 歯訪5   | 全体<br>「その他」欄         |
| 68 | C000     | 歯科訪問診療料の緊急歯科訪問診療加算を算定した場合   | 緊訪    | 全体<br>「その他」欄         |
| 69 | C000     | 歯科訪問診療料の夜間歯科訪問診療加算を算定した場合   | 夜訪    | 全体<br>「その他」欄         |
| 70 | C000     | 歯科訪問診療料の深夜歯科訪問診療加算を算定した場合   | 深訪    | 全体<br>「その他」欄         |

| 項番  | 区分               | 診療行為名称等  | 略号      | 記載欄          |
|-----|------------------|--|---------|--------------|
| 71  | C000             | 歯科訪問診療時の歯科訪問診療補助加算(イの(1)同一建物居住者以外の場合)を算定した場合                                 | 訪補助イ(1) | 全体<br>「その他」欄 |
| 72  | C000             | 歯科訪問診療時の歯科訪問診療補助加算(イの(2)同一建物居住者の場合)を算定した場合                                   | 訪補助イ(2) | 全体<br>「その他」欄 |
| 73  | C000             | 歯科訪問診療時の歯科訪問診療補助加算(ロの(1)同一建物居住者以外の場合)を算定した場合                                 | 訪補助ロ(1) | 全体<br>「その他」欄 |
| 74  | C000             | 歯科訪問診療時の歯科訪問診療補助加算(ロの(2)同一建物居住者の場合)を算定した場合                                   | 訪補助ロ(2) | 全体<br>「その他」欄 |
| 75  | C000             | 区分番号C000の注15に規定する歯科訪問診療料「イ 初診時」を算定した場合                                       | 歯訪診(初)  | 全体<br>「その他」欄 |
| 76  | C000             | 区分番号C000の注15に規定する歯科訪問診療料「ロ 再診時」を算定した場合                                       | 歯訪診(再)  | 全体<br>「その他」欄 |
| 77  | C000             | 歯科訪問診療に係る在宅歯科医療推進加算を算定した場合   | 在推進     | 全体<br>「その他」欄 |
| 78  | C000             | 歯科訪問診療に係る歯科訪問診療移行加算を算定した場合   | 訪移行     | 全体<br>「その他」欄 |
| 79  | C000             | 区分番号C000の注19に規定する歯科訪問診療料「イ 初診時」を算定した場合                                       | 特歯訪診(初) | 全体<br>「その他」欄 |
| 80  | C000             | 区分番号C000の注19に規定する歯科訪問診療料「ロ 再診時」を算定した場合                                       | 特歯訪診(再) | 全体<br>「その他」欄 |
| 81  | C000             | 歯科診療所の歯科医師が医科歯科併設の病院に入院中の患者に対して歯科訪問診療を行い、周術期等口腔機能管理及び周術期等口腔機能管理に伴う治療行為を行った場合 | 周術期等連携  | 「摘要」欄        |
| 82  | C000             | 歯科診療所の歯科医師が医科歯科併設の病院に入院中の患者に対して歯科訪問診療を行い、回復期等口腔機能管理及び回復期等口腔機能管理に伴う治療行為を行った場合 | 回復期等連携  | 「摘要」欄        |
| 83  | C000             | 同一の患者において2人以上の患者を診察(診療時間が20分以上の場合に限る。)し、患者の1人に対して歯科訪問診療1を算定する場合              | 同一世帯(1) | 「摘要」欄        |
| 84  | C000             | 歯科訪問診療に係る通信画像情報活用加算を算定した場合   | ICT加算   | 全体<br>「その他」欄 |
| 85  | C000             | 在宅医療DX情報活用加算を算定した場合  | 在DX     | 全体<br>「その他」欄 |
| 86  | C001             | 訪問歯科衛生指導料(1 単一建物診療患者が1人の場合)を算定した場合   | 訪衛指1    | 全体<br>「その他」欄 |
| 87  | C001             | 訪問歯科衛生指導料(2 単一建物診療患者が2人以上9人以下の場合)を算定した場合                                     | 訪衛指2    | 全体<br>「その他」欄 |
| 88  | C001             | 訪問歯科衛生指導料(3 1及び2以外の場合)を算定した場合  | 訪衛指3    | 全体<br>「その他」欄 |
| 89  | C001             | 訪問歯科衛生指導料に係る複数名訪問歯科衛生指導加算を算定した場合   | 複訪      | 全体<br>「その他」欄 |
| 90  | C001-3           | 歯科疾患在宅療養管理料を算定した場合   | 歯在管     | 全体<br>「その他」欄 |
| 91  | C001-3           | 歯科疾患在宅療養管理料に係る文書提供加算を算定した場合  | 文       | 全体<br>「その他」欄 |
| 92  | C001-3           | 歯科疾患在宅療養管理料に係る在宅総合医療管理加算を算定した場合  | 歯総管     | 全体<br>「その他」欄 |
| 93  | C001-3           | 歯科疾患在宅療養管理料に係る在宅歯科医療連携加算1を算定した場合   | 医連1     | 全体<br>「その他」欄 |
| 94  | C001-3           | 歯科疾患在宅療養管理料に係る在宅歯科医療連携加算2を算定した場合   | 医連2     | 全体<br>「その他」欄 |
| 95  | C001-3           | 歯科疾患在宅療養管理料に係る在宅歯科医療情報連携加算を算定した場合  | 医情連     | 全体<br>「その他」欄 |
| 96  | C001-4-2         | 在宅患者歯科治療時医療管理料を算定した場合  | 在歯管     | 全体<br>「その他」欄 |
| 97  | C001-5           | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定した場合  | 訪問口腔リハ  | 全体<br>「その他」欄 |
| 98  | C001-5<br>C001-6 | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料又は小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る口腔管理体制強化加算を算定した場合         | 口管強     | 全体<br>「その他」欄 |
| 99  | C001-5<br>C001-6 | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料又は小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る在宅療養支援歯科診療所加算1を算定した場合     | 歯援診1    | 全体<br>「その他」欄 |
| 100 | C001-5<br>C001-6 | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料又は小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る在宅療養支援歯科診療所加算2を算定した場合     | 歯援診2    | 全体<br>「その他」欄 |
| 101 | C001-5<br>C001-6 | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料又は小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る在宅療養支援歯科病院加算を算定した場合       | 歯援病     | 全体<br>「その他」欄 |
| 102 | C001-3           | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る在宅歯科医療連携加算1を算定した場合                                  | 医連1     | 全体<br>「その他」欄 |
| 103 | C001-3           | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る在宅歯科医療連携加算2を算定した場合                                  | 医連2     | 全体<br>「その他」欄 |

| 項番  | 区分     | 診療行為名称等  | 略号        | 記載欄             |
|-----|--------|--|-----------|-----------------|
| 104 | C001-3 | 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る在宅歯科医療情報連携加算を算定した場合             | 医情連       | 全体<br>「その他」欄    |
| 105 | C001-6 | 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定した場合                          | 小訪問口腔リハ   | 全体<br>「その他」欄    |
| 106 | C001-6 | 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る小児在宅歯科医療連携加算1を算定した場合          | 小医連1      | 全体<br>「その他」欄    |
| 107 | C001-6 | 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る小児在宅歯科医療連携加算2を算定した場合          | 小医連2      | 全体<br>「その他」欄    |
| 108 | C001-6 | 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料に係る在宅歯科医療情報連携加算を算定した場合           | 医情連       | 全体<br>「その他」欄    |
| 109 | C001-7 | 在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料1を算定した場合                              | NST1      | 全体<br>「その他」欄    |
| 110 | C001-7 | 在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料2を算定した場合                              | NST2      | 全体<br>「その他」欄    |
| 111 | C001-7 | 在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料3を算定した場合                              | NST3      | 全体<br>「その他」欄    |
| 112 | C002   | 救急搬送診療料の重症患者搬送加算を算定した場合                                  | 搬送重       | 全体<br>「その他」欄    |
| 113 | C003   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定した場合                                     | 訪問薬剤      | 全体<br>「その他」欄    |
| 114 | C003   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料に係る麻薬加算を算定した場合                              | 麻         | 全体<br>「その他」欄    |
| 115 | C004   | 退院前在宅療養指導管理料を算定した場合                                      | 前         | 全体<br>「その他」欄    |
| 116 | C005   | 在宅麻薬等注射指導管理料を算定した場合                                      | 在麻        | 全体<br>「その他」欄    |
| 117 | D002-6 | 口腔細菌定量検査2を算定した場合   | 口菌検2      | X線・検査「菌検」欄      |
| 118 | D010   | 歯冠補綴時色調採得検査を算定した場合                                       | 色調        | X線・検査「色調」欄      |
| 119 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査1「イ 下顎運動測定と咀嚼能力測定を併せて行う場合」を新製有床義歯装着日より前に算定した場合 | 咀嚼機能1イ(前) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 120 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査1「ロ 咀嚼能力測定のみを行う場合」を新製有床義歯装着日より前に算定した場合         | 咀嚼機能1ロ(前) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 121 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査1「イ 下顎運動測定と咀嚼能力測定を併せて行う場合」を新製有床義歯装着日より後に算定した場合 | 咀嚼機能1イ(後) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 122 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査1「ロ 咀嚼能力測定のみを行う場合」を新製有床義歯装着日より後に算定した場合         | 咀嚼機能1ロ(後) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 123 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査2「イ 下顎運動測定と咬合圧測定を併せて行う場合」を新製有床義歯装着日より前に算定した場合  | 咀嚼機能2イ(前) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 124 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査2「ロ 咬合圧測定のみを行う場合」を新製有床義歯装着日より前に算定した場合          | 咀嚼機能2ロ(前) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 125 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査2「イ 下顎運動測定と咬合圧測定を併せて行う場合」を新製有床義歯装着日より後に算定した場合  | 咀嚼機能2イ(後) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 126 | D011   | 有床義歯咀嚼機能検査2「ロ 咬合圧測定のみを行う場合」を新製有床義歯装着日より後に算定した場合          | 咀嚼機能2ロ(後) | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 127 | D011-2 | 咀嚼能力検査1を算定した場合   | 咀嚼1       | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 128 | D011-2 | 咀嚼能力検査2を算定した場合   | 咀嚼2       | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 129 | D011-3 | 咬合圧検査1を算定した場合  | 咬合圧1      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 130 | D011-3 | 咬合圧検査2を算定した場合  | 咬合圧2      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 131 | D011-4 | 小児口唇閉鎖力検査を算定した場合   | 小口唇       | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 132 | D012   | 舌圧検査を算定した場合  | 舌圧        | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 133 | D013   | 精密触覚機能検査を算定した場合  | 精密触覚      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 133 | 第4部通則4 | 画像診断において時間外緊急院内画像診断加算を算定した場合                             | 緊画        | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 134 | 第4部通則5 | 画像診断において電子画像管理加算「イ 歯科エックス線撮影」を算定した場合                     | 電         | X線・検査<br>「その他」欄 |

| 項番  | 区分               | 診療行為名称等  | 略号       | 記載欄             |
|-----|------------------|--|----------|-----------------|
| 135 | 第4部通則5           | 画像診断において電子画像管理加算「ロ 歯科パノラマ断層撮影」を算定した場合                      | パ電       | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 136 | 第4部通則5           | 画像診断において電子画像管理加算「ハ 歯科用3次元エックス線断層撮影」を算定した場合                 | CT電      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 137 | 第4部通則5           | 画像診断において電子画像管理加算「ニ 歯科部分パノラマ断層撮影」を算定した場合                    | 部パ電      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 138 | 第4部通則5           | 画像診断において電子画像管理加算「ホ その他」を算定した場合                             | 他電       | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 139 | 第4部通則6           | 区分番号E000(1のイ及び3に係るものを除く。)及びE200について歯科画像診断管理加算1を算定した場合      | 画診加1     | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 140 | 第4部通則7           | 区分番号E000(3に係るものに限る。)又は医科点数表の区分番号E203について歯科画像診断管理加算2を算定した場合 | 画診加2     | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 141 | 第4部通則8<br>第4部通則9 | 遠隔画像診断を行った場合   | 遠画診      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 142 | E100             | 歯科エックス線撮影の全額撮影(デジタル撮影)を算定した場合                              | 全デジ      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 143 | E100             | 歯科エックス線撮影の全額撮影以外(デジタル撮影)を算定した場合                            | 単デジ      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 144 | E100             | 歯科パノラマ断層撮影(デジタル撮影)を算定した場合                                  | パデジ      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 145 | E100             | 歯科部分パノラマ断層撮影(デジタル撮影)を算定した場合                                | 部パデジ     | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 146 | E100             | 歯科用3次元エックス線断層撮影を算定した場合                                     | 歯CT      | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 147 | E200             | 基本的エックス線診断料を算定した場合   | 基エ       | X線・検査<br>「その他」欄 |
| 148 | F100             | 処方料に係る外来後発医薬品使用体制加算1を算定した場合                                | 外後使1     | 全体<br>「その他」欄    |
| 149 | F100             | 処方料に係る外来後発医薬品使用体制加算2を算定した場合                                | 外後使2     | 全体<br>「その他」欄    |
| 150 | F100             | 処方料に係る外来後発医薬品使用体制加算3を算定した場合                                | 外後使3     | 全体<br>「その他」欄    |
| 151 | F100<br>F400     | 処方料及び処方せん料に係る特定疾患処方管理加算を算定した場合であって、処方期間が28日以上の場合           | 特処長      | 全体<br>「その他」欄    |
| 152 | F100<br>F400     | 処方料及び処方せん料に係る特定疾患処方管理加算を算定した場合であって、処方期間が28日未満の場合           | 特処       | 全体<br>「その他」欄    |
| 153 | F200             | 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養第1条第4号又は第1条第6号に係る医薬品を投与した場合     | 薬評       | 「摘要」欄           |
| 154 | F200             | 常態として内服薬7種類以上を処方し、薬剤料を点数の合計の100分の90に相当する点数で算定した場合          | 減        | 「摘要」欄<br>薬剤名の前  |
| 155 | F400             | 7種類以上の内服薬の投薬に係る処方せんを発行した場合                                 | 処方せん     | 投薬・注射<br>余白     |
| 156 | F400             | 処方せん料に係る一般名処方加算1を算定した場合                                    | 一般名処方加算1 | 全体<br>「その他」欄    |
| 157 | F400             | 処方せん料に係る一般名処方加算2を算定した場合                                    | 一般名処方加算2 | 全体<br>「その他」欄    |
| 158 | F500             | 調剤技術基本料を算定した場合   | 調基       | 全体<br>「その他」欄    |
| 159 | F500             | 調剤技術基本料に係る院内製剤加算を算定した場合                                    | 院        | 全体<br>「その他」欄    |
| 160 | 第6部通則6           | 区分番号G001からG005及びG006について外来化学療法加算1を算定した場合                   | 化1       | 「摘要」欄           |
| 161 | 第6部通則6           | 区分番号G001からG005及びG006について外来化学療法加算2を算定した場合                   | 化2       | 「摘要」欄           |
| 162 | 第6部通則7           | バイオ後続品導入初期加算を算定した場合  | バイオ      | 「摘要」欄           |
| 163 | G004<br>G005     | 点滴注射及び中心静脈注射に係る血漿成分製剤加算を算定した場合                             | 血漿       | 「摘要」欄           |
| 164 | G020             | 無菌製剤処理料1を算定した場合  | 菌1       | 「摘要」欄           |
| 165 | G020             | 無菌製剤処理料2を算定した場合  | 菌2       | 「摘要」欄           |
| 166 | G020             | 無菌製剤処理料1の「イ 閉鎖式接続器具を使用した場合」を算定した場合                         | 菌1器具     | 「摘要」欄           |
| 167 | H -              | 「制限回数を超えて行う診療」に係るリハビリテーションを実施した場合                          | リハ選      | 「摘要」欄           |
| 168 | H001-2           | 歯科口腔リハビリテーション料1「2 舌接触補助床の場合」を算定した場合                        | 歯リハ1(2)  | 全体<br>「その他」欄    |
| 169 | H001-2           | 歯科口腔リハビリテーション料1「3 その他の場合」を算定した場合                           | 歯リハ1(3)  | 全体<br>「その他」欄    |
| 170 | H001-4           | 歯科口腔リハビリテーション料3「1 口腔機能の発達不全を有する18歳未満の患者の場合」を算定した場合         | 歯リハ3(1)  | 全体<br>「その他」欄    |



| 項番  | 区分                     | 診療行為名称等  | 略号        | 記載欄             |
|-----|------------------------|--|-----------|-----------------|
| 171 | H001-4                 | 歯科口腔リハビリテーション料3「2 口腔機能の低下を来している患者の場合」を算定した場合                       | 歯リハ3(2)   | 全体<br>「その他」欄    |
| 172 | I004                   | 失活歯髄切断を算定した場合  | 失切        | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 173 | I005                   | 歯髄温存療法を行った日から起算して3月以内に抜髄を行った場合                                     | 抜温        | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 174 | I005                   | 直接歯髄保護処置を行った日から起算して1月以内に抜髄を行った場合                                   | 抜直        | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 175 | I005<br>I008           | 抜髄及び根管充填を同時に行った場合  | 抜髄即充      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 176 | I006<br>I008           | 感染根管処置及び根管充填を同時に行った場合  | 感根即充      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 177 | I006                   | 抜歯を前提として急性症状の消退を図ることを目的として根管拡大を行った場合                               | 消炎拡大      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 178 | I007                   | 抜歯を前提とした消炎のための根管貼薬処置を行った場合   | 根貼        | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 179 | I010                   | 糖尿病を有する患者に対して、スケーリング・ルートプレーニングと並行して歯周病処置を行う場合                      | P処(糖)     | 「摘要」欄           |
| 180 | I017                   | 口腔内装置1を算定した場合  | OAp1      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 181 | I017                   | 口腔内装置2を算定した場合  | OAp2      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 182 | I017                   | 口腔内装置3を算定した場合  | OAp3      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 183 | I017-1-2               | 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置1を算定した場合   | SAS-OAp1  | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 184 | I017-1-2               | 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置2を算定した場合   | SAS-OAp2  | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 185 | I017-1-3               | 舌接触補助床を製作又は旧義歯を用いた場合   | PAP       | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 186 | I017-1-4               | 術後即時顎補綴装置を製作した場合   | 術後即時顎補綴装置 | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 187 | I017-2                 | 口腔内装置調整・修理の「1 口腔内装置調整」の「イ 口腔内装置調整1」を算定した場合                         | OAp調1     | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 188 | I017-2                 | 口腔内装置調整・修理の「1 口腔内装置調整」の「ロ 口腔内装置調整2」を算定した場合                         | OAp調2     | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 189 | I017-2                 | 口腔内装置調整・修理の「1 口腔内装置調整」の「ハ 口腔内装置調整3」を算定した場合                         | OAp調3     | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 190 | I017-2                 | 口腔内装置調整・修理の「2 口腔内装置修理」を算定した場合                                      | OAp修      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 191 | I029                   | 周術期等口腔機能管理料(I)又は(II)を算定した患者に対して術前に周術期等専門的口腔衛生処置1を行った場合             | 術口衛(前)    | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 192 | I029                   | 周術期等口腔機能管理料(I)又は(II)を算定した患者に対して術後に周術期等専門的口腔衛生処置1を行った場合             | 術口衛(後)    | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 193 | I029                   | 周術期等口腔機能管理料(III)を算定した患者に対して周術期等専門的口腔衛生処置1を行った場合                    | 術口衛1(III) | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 194 | I029                   | 周術期等口腔機能管理料(III)を算定した患者に対して周術期等専門的口腔衛生処置2を行った場合                    | 術口衛2(III) | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 195 | I029                   | 周術期等口腔機能管理料(IV)を算定した患者に対して周術期等専門的口腔衛生処置1を行った場合                     | 術口衛1(IV)  | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 196 | I029                   | 周術期等口腔機能管理料(IV)を算定した患者に対して周術期等専門的口腔衛生処置2を行った場合                     | 術口衛2(IV)  | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 197 | I029-1-2               | 回復期等口腔機能管理料を算定した患者に対して回復期等専門的口腔衛生処置を行った場合                          | 回口衛       | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 198 | I029-2                 | 在宅等療養患者専門的口腔衛生処置を算定した場合  | 在口衛       | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 199 | I029-3                 | 口腔粘膜処置を算定した場合  | 口処        | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 200 | I030-2                 | 非経口摂取患者口腔粘膜処置を算定した場合   | 非経口処      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 201 | I030-3                 | 口腔バイオフィルム除去処置を算定した場合   | バイオ除      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 202 | 第9部通則10                | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症患者に対し、医科点数表の区分番号L008、L002又はL004を伴う手術を算定した場合 | 感         | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 203 | J004                   | 歯根端切除手術「2 歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合」を算定した場合                  | 根切顕微      | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 204 | J053<br>J087<br>J087-2 | 区分番号J053(2及び3)、J087及びJ087-2において内視鏡下加算を算定した場合                       | 内         | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 205 | J109                   | 広範囲顎骨支持型装置埋入手術を算定した場合  | 特イ術       | 処置・手術<br>「その他」欄 |
| 206 | J110                   | 広範囲顎骨支持型装置搔爬術を算定した場合   | 特イ搔       | 処置・手術<br>「その他」欄 |

| 項番  | 区分           | 診療行為名称等  | 略号                               | 記載欄                  |
|-----|--------------|--|----------------------------------|----------------------|
| 207 | J200-4-2     | レーザー機器加算   | レーザー機器加算                         | 処置・手術<br>「その他」欄      |
| 208 | K002         | 吸入鎮静法を算定した場合                                     | IS                               | 麻酔<br>「その他」欄         |
| 209 | K003         | 静脈内鎮静法を算定した場合                                    | 静鎮                               | 麻酔<br>「その他」欄         |
| 210 | M000-3       | 広範囲顎骨支持型補綴診断料を算定した場合                             | 特イ診                              | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 211 | M002         | 支台築造「1 間接法」「ロ ファイバーポストを用いた場合」を算定した場合             | ファイバー(間)                         | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 212 | M002         | 支台築造「2 直接法」「イ ファイバーポストを用いた場合」を算定した場合             | ファイバー(直)                         | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 213 | M003-4       | 光学印象を算定した場合                                      | 光imp                             | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 214 | M005         | 脱離した歯冠修復物の再装着を算定した場合                             | 再装                               | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 215 | M005         | 脱離又は修理したブリッジを再装着した場合                             | Br再装                             | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 216 | M010<br>M017 | 歯科鑄造用14カラット金合金を用いた金属歯冠修復を算定した場合                  | 14K                              | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 217 | M015         | レジンインレーを算定した場合                                   | RIn                              | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 218 | M015-2       | CAD/CAM冠の「1 2以外の場合」について、CAD/CAM冠用材料(V)を用いた場合     | 歯CAD(V)                          | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 219 | M015-2       | CAD/CAM冠の「2 エンドクラウンの場合」について、CAD/CAM冠用材料(Ⅲ)を用いた場合 | エンクラ                             | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 220 | M016-2       | 小児保険装置を算定した場合                                    | 保隙                               | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 221 | M017-2       | 高強度硬質レジブリッジを算定した場合                               | HRBr                             | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 222 | M021-2       | 金銀パラジウム合金を用いたコンビネーション鉤を算定した場合                    | コンビCI(金パラ)                       | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 223 | M025-2       | 広範囲顎骨支持型補綴を算定した場合                                | 特イ補                              | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 224 | M029<br>M030 | 有床義歯修理又は有床義歯内面適合法において歯科技工加算2を算定した場合              | 歯技工2                             | 「摘要」欄                |
| 225 | M030         | 軟質材料を用いた有床義歯内面適合法を算定した場合                         | 床適合(軟)                           | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 226 | M041         | 広範囲顎骨支持型補綴物修理を算定した場合                             | 特イ修                              | 歯冠修復及び欠損補綴<br>「その他」欄 |
| 227 | -            | 都道府県知事が厚生労働大臣の承認を得て別に療養担当手当を定めた場合の療養担当手当を算定した場合  | 療担手当                             | 全体<br>「その他」欄         |
| 228 | -            | 患者が要介護者又は要支援者の場合に、介護保険に相当するサービスのある診療を行った場合       | 介                                | 「摘要」欄                |
| 229 | P100         | 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)初診時を算定した場合                    | 歯外ベアⅠ初                           | 全体<br>「その他」欄         |
| 230 | P100         | 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)再診時等を算定した場合                   | 歯外ベアⅠ再                           | 全体<br>「その他」欄         |
| 231 | P100         | 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)歯科訪問診療時のイを算定した場合              | 歯外ベアⅠ訪イ                          | 全体<br>「その他」欄         |
| 232 | P100         | 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)歯科訪問診療時のロを算定した場合              | 歯外ベアⅠ訪ロ                          | 全体<br>「その他」欄         |
| 233 | P101         | 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅱ)1~8の初診又は歯科訪問診療を算定した場合         | 歯外ベアⅡ●<br>(※●は1から8までの算定する数字を記載)  | 全体<br>「その他」欄         |
| 234 | P101         | 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅱ)1~8の再診時等を算定した場合               | 歯外ベアⅡ再●<br>(※●は1から8までの算定する数字を記載) | 全体<br>「その他」欄         |
| 235 | P102         | 入院ベースアップ評価料1~165を算定した場合                          | 入ベア●<br>(※●は1から165までの算定する数字を記載)  | 全体<br>「その他」欄         |

別表Ⅳ 調剤行為名称等の略号一覧

| 項番 | 区分     | 項目                                      | 略称  | 記載欄      |
|----|--------|---|-----|----------|
| 1  | 区分番号01 | 麻薬加算を算定した場合                             | 麻   | 「加算料」欄   |
| 2  | 区分番号01 | 向精神薬加算を算定した場合                           | 向   | 「加算料」欄   |
| 3  | 区分番号01 | 覚醒剤原料加算を算定した場合                          | 覚原  | 「加算料」欄   |
| 4  | 区分番号01 | 毒薬加算を算定した場合                             | 毒   | 「加算料」欄   |
| 5  | 区分番号01 | 薬剤調製料に係る時間外加算を算定した場合                    | 薬時  | 「加算料」欄   |
| 6  | 区分番号01 | 薬剤調製料に係る休日加算を算定した場合                     | 薬休  | 「加算料」欄   |
| 7  | 区分番号01 | 薬剤調製料に係る深夜加算を算定した場合                     | 薬深  | 「加算料」欄   |
| 8  | 区分番号01 | 薬剤調製料に係る時間外加算の特例を算定した場合                 | 薬特  | 「加算料」欄   |
| 9  | 区分番号01 | 調剤管理料に係る時間外加算を算定した場合                    | 調時  | 「加算料」欄   |
| 10 | 区分番号01 | 調剤管理料に係る休日加算を算定した場合                     | 調休  | 「加算料」欄   |
| 11 | 区分番号01 | 調剤管理料に係る深夜加算を算定した場合                     | 調深  | 「加算料」欄   |
| 12 | 区分番号01 | 調剤管理料に係る時間外加算の特例を算定した場合                 | 調特  | 「加算料」欄   |
| 13 | 区分番号01 | 自家製剤加算を算定した場合                           | 自   | 「加算料」欄   |
| 14 | 区分番号01 | 自家製剤加算を算定した場合：錠剤を分割する場合（100分の20に該当する場合） | 分自  | 「加算料」欄   |
| 15 | 区分番号01 | 計量混合調剤加算を算定した場合                         | 計   | 「加算料」欄   |
| 16 | 区分番号01 | 予製剤加算を算定した場合                            | 予   | 「加算料」欄   |
| 17 | 区分番号01 | 無菌製剤処理加算を算定した場合                         | 菌   | 「加算料」欄   |
| 18 | 区分番号00 | 調剤基本料1の場合                               | 基A  | 「調剤基本料」欄 |
| 19 | 区分番号00 | 調剤基本料2の場合                               | 基B  | 「調剤基本料」欄 |
| 20 | 区分番号00 | 調剤基本料3のイの場合                             | 基C  | 「調剤基本料」欄 |
| 21 | 区分番号00 | 調剤基本料3のロの場合                             | 基D  | 「調剤基本料」欄 |
| 22 | 区分番号00 | 調剤基本料3のハの場合                             | 基E  | 「調剤基本料」欄 |
| 23 | 区分番号00 | 特別調剤基本料Aの場合                             | 特基A | 「調剤基本料」欄 |
| 24 | 区分番号00 | 特別調剤基本料Bの場合                             | 特基B | 「調剤基本料」欄 |
| 25 | 区分番号00 | 調剤基本料注3（受付2回目以降）に該当する場合                 | 同   | 「調剤基本料」欄 |
| 26 | 区分番号00 | 調剤基本料注4（未妥結減算等）に該当する場合                  | 妥減  | 「調剤基本料」欄 |
| 27 | 区分番号00 | 地域支援体制加算1を算定した場合                        | 地支A | 「調剤基本料」欄 |
| 28 | 区分番号00 | 地域支援体制加算2を算定した場合                        | 地支B | 「調剤基本料」欄 |
| 29 | 区分番号00 | 地域支援体制加算3を算定した場合                        | 地支C | 「調剤基本料」欄 |
| 30 | 区分番号00 | 地域支援体制加算4を算定した場合                        | 地支D | 「調剤基本料」欄 |
| 31 | 区分番号00 | 連携強化加算を算定した場合                           | 連強  | 「調剤基本料」欄 |
| 32 | 区分番号00 | 地域支援体制加算3を算定した場合：100分の10に該当する場合         | 地敷C | 「調剤基本料」欄 |
| 33 | 区分番号00 | 地域支援体制加算4を算定した場合：100分の10に該当する場合         | 地敷D | 「調剤基本料」欄 |
| 34 | 区分番号00 | 後発医薬品調剤体制加算1を算定した場合                     | 後A  | 「調剤基本料」欄 |

| 項番 | 区分       | 項目  | 略称   | 記載欄       |
|----|----------|---|------|-----------|
| 35 | 区分番号00   | 後発医薬品調剤体制加算2を算定した場合   | 後B   | 「調剤基本料」欄  |
| 36 | 区分番号00   | 後発医薬品調剤体制加算3を算定した場合   | 後C   | 「調剤基本料」欄  |
| 37 | 区分番号00   | 後発医薬品調剤体制加算1を算定した場合：100分の10に該当する場合  | 後敷A  | 「調剤基本料」欄  |
| 38 | 区分番号00   | 後発医薬品調剤体制加算2を算定した場合：100分の10に該当する場合  | 後敷B  | 「調剤基本料」欄  |
| 39 | 区分番号00   | 後発医薬品調剤体制加算3を算定した場合：100分の10に該当する場合  | 後敷C  | 「調剤基本料」欄  |
| 40 | 区分番号00   | 調剤基本料注8(後発医薬品減算)に該当する場合   | 後減   | 「調剤基本料」欄  |
| 41 | 区分番号00   | 在宅薬学総合体制加算1を算定した場合  | 在総A  | 「調剤基本料」欄  |
| 42 | 区分番号00   | 在宅薬学総合体制加算2を算定した場合  | 在総B  | 「調剤基本料」欄  |
| 43 | 区分番号00   | 在宅薬学総合体制加算1を算定した場合：100分の10に該当する場合   | 在敷A  | 「調剤基本料」欄  |
| 44 | 区分番号00   | 在宅薬学総合体制加算2を算定した場合：100分の10に該当する場合   | 在敷B  | 「調剤基本料」欄  |
| 45 | 区分番号00   | 医療DX推進体制整備加算を算定した場合   | 薬DX  | 「調剤基本料」欄  |
| 46 | 区分番号00   | 調剤基本料の加減算を行うと3点以下になり3点を算定した場合   | 基一定  | 「調剤基本料」欄  |
| 47 | 区分番号00   | リフィル処方箋による調剤を行う場合：総使用回数2回のうち、1回目の調剤を行う場合  | リ1/2 | 「時間外等加算」欄 |
| 48 | 区分番号00   | リフィル処方箋による調剤を行う場合：総使用回数2回のうち、2回目の調剤を行う場合  | リ2/2 | 「時間外等加算」欄 |
| 49 | 区分番号00   | リフィル処方箋による調剤を行う場合：総使用回数3回のうち、1回目の調剤を行う場合  | リ1/3 | 「時間外等加算」欄 |
| 50 | 区分番号00   | リフィル処方箋による調剤を行う場合：総使用回数3回のうち、2回目の調剤を行う場合  | リ2/3 | 「時間外等加算」欄 |
| 51 | 区分番号00   | リフィル処方箋による調剤を行う場合：総使用回数3回のうち、3回目の調剤を行う場合  | リ3/3 | 「時間外等加算」欄 |
| 52 | 区分番号00   | 調剤基本料に係る時間外加算を算定した場合  | 時    | 「時間外等加算」欄 |
| 53 | 区分番号00   | 調剤基本料に係る休日加算を算定した場合   | 休    | 「時間外等加算」欄 |
| 54 | 区分番号00   | 調剤基本料に係る深夜加算を算定した場合   | 深    | 「時間外等加算」欄 |
| 55 | 区分番号00   | 調剤基本料に係る時間外加算の特例を算定した場合   | 特    | 「時間外等加算」欄 |
| 56 | 区分番号01   | 薬剤調製料に係る夜間・休日等加算を算定した場合   | 夜    | 「時間外等加算」欄 |
| 57 | 区分番号01   | 調剤管理料に係る時間外加算を算定した場合：在宅協力薬局が当該分析等を行い、在宅基幹薬局が当該店数を算定する場合                               | 調時   | 「時間外等加算」欄 |
| 58 | 区分番号01   | 調剤管理料に係る休日加算を算定した場合：在宅協力薬局が当該分析等を行い、在宅基幹薬局が当該店数を算定する場合                                | 調休   | 「時間外等加算」欄 |
| 59 | 区分番号01   | 調剤管理料に係る深夜加算を算定した場合：在宅協力薬局が当該分析等を行い、在宅基幹薬局が当該店数を算定する場合                                | 調深   | 「時間外等加算」欄 |
| 60 | 区分番号01   | 調剤管理料に係る時間外加算の特例を算定した場合：在宅協力薬局が当該分析等を行い、在宅基幹薬局が当該店数を算定する場合                            | 調特   | 「時間外等加算」欄 |
| 61 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の重複投薬・相互作用等防止加算のイを算定した場合   | 防A   | 「薬学管理料」欄  |
| 62 | 区分番号10の2 | 調剤管理料を算定した場合：在宅協力薬局が当該分析等を行い、在宅基幹薬局が当該点数を算定する場合                                       | 調管   | 「薬学管理料」欄  |
| 63 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の重複投薬・相互作用等防止加算のロを算定した場合   | 防B   | 「薬学管理料」欄  |
| 64 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の調剤管理加算のイを算定した場合   | 調管A  | 「薬学管理料」欄  |
| 65 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の調剤管理加算のロを算定した場合   | 調管B  | 「薬学管理料」欄  |
| 66 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の医療情報取得加算1を算定した場合  | 医情A  | 「薬学管理料」欄  |
| 67 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の医療情報取得加算2を算定した場合：電子資格確認により患者に係る薬剤情報を取得等した場合                                     | 医情B  | 「薬学管理料」欄  |
| 68 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の医療情報取得加算1を算定した場合：在宅協力薬局が当該分析、評価等を行い、在宅基幹薬局が当該点数を算定する場合                          | 医情A  | 「薬学管理料」欄  |
| 69 | 区分番号10の2 | 調剤管理料の医療情報取得加算2を算定した場合：電子資格確認により患者に係る薬剤情報を取得等した場合(在宅協力薬局が当該分析等を行い、在宅基幹薬局が当該点数を算定する場合) | 医情B  | 「薬学管理料」欄  |
| 70 | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料1を算定した場合：3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳あり)   | 薬A   | 「薬学管理料」欄  |

| 項番  | 区分       | 項目   | 略称   | 記載欄      |
|-----|----------|--|------|----------|
| 71  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料2を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳なし)                        | 薬B   | 「薬学管理料」欄 |
| 72  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料2を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者以外                            | 薬C   | 「薬学管理料」欄 |
| 73  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料3を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳あり)                        | 薬3A  | 「薬学管理料」欄 |
| 74  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料3を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳なし)                        | 薬3B  | 「薬学管理料」欄 |
| 75  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料3を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者以外                            | 薬3C  | 「薬学管理料」欄 |
| 76  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料4を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳あり)                        | 薬才A  | 「薬学管理料」欄 |
| 77  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料4を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳なし)                        | 薬才B  | 「薬学管理料」欄 |
| 78  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料4を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者以外                            | 薬才C  | 「薬学管理料」欄 |
| 79  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(13点)を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳あり)                 | 特1A  | 「薬学管理料」欄 |
| 80  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(13点)を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳なし)                 | 特1B  | 「薬学管理料」欄 |
| 81  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(13点)を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者以外                     | 特1C  | 「薬学管理料」欄 |
| 82  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(13点)を算定した場合:情報通信機器を用いた服薬指導(3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳あり)) | 特1才A | 「薬学管理料」欄 |
| 83  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(13点)を算定した場合:情報通信機器を用いた服薬指導(3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳なし)) | 特1才B | 「薬学管理料」欄 |
| 84  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(13点)を算定した場合:情報通信機器を用いた服薬指導(3月以内に再度処方箋を持参した患者以外)     | 特1才C | 「薬学管理料」欄 |
| 85  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(59点)を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳あり)                 | 特2A  | 「薬学管理料」欄 |
| 86  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(59点)を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳なし)                 | 特2B  | 「薬学管理料」欄 |
| 87  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(59点)を算定した場合:3月以内に再度処方箋を持参した患者以外                     | 特2C  | 「薬学管理料」欄 |
| 88  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(59点)を算定した場合:情報通信機器を用いた服薬指導(3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳あり)) | 特2才A | 「薬学管理料」欄 |
| 89  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(59点)を算定した場合:情報通信機器を用いた服薬指導(3月以内に再度処方箋を持参した患者(手帳なし)) | 特2才B | 「薬学管理料」欄 |
| 90  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特例(59点)を算定した場合:情報通信機器を用いた服薬指導(3月以内に再度処方箋を持参した患者以外)     | 特2才C | 「薬学管理料」欄 |
| 91  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合  | 麻    | 「薬学管理料」欄 |
| 92  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特定薬剤管理指導加算1のイを算定した場合                                   | 特管AI | 「薬学管理料」欄 |
| 93  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特定薬剤管理指導加算1のロを算定した場合                                   | 特管AO | 「薬学管理料」欄 |
| 94  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特定薬剤管理指導加算2を算定した場合                                     | 特管B  | 「薬学管理料」欄 |
| 95  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特定薬剤管理指導加算3のイを算定した場合                                   | 特管CI | 「薬学管理料」欄 |
| 96  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の特定薬剤管理指導加算3のロを算定した場合                                   | 特管CO | 「薬学管理料」欄 |
| 97  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の乳幼児服薬指導加算を算定した場合                                       | 乳    | 「薬学管理料」欄 |
| 98  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の小児特定加算を算定した場合  | 小特   | 「薬学管理料」欄 |
| 99  | 区分番号10の3 | 服薬管理指導料の吸入薬指導加算を算定した場合   | 吸    | 「薬学管理料」欄 |
| 100 | 区分番号13の2 | かかりつけ薬剤師指導料を算定した場合   | 薬指   | 「薬学管理料」欄 |
| 101 | 区分番号13の2 | かかりつけ薬剤師指導料を算定した場合:情報通信機器を用いた場合                                | 薬指才  | 「薬学管理料」欄 |
| 102 | 区分番号13の2 | かかりつけ薬剤師指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合                                    | 麻    | 「薬学管理料」欄 |
| 103 | 区分番号10の3 | かかりつけ薬剤師指導料の特定薬剤管理指導加算1のイを算定した場合                               | 特管AI | 「薬学管理料」欄 |
| 104 | 区分番号10の3 | かかりつけ薬剤師指導料の特定薬剤管理指導加算1のロを算定した場合                               | 特管AO | 「薬学管理料」欄 |
| 105 | 区分番号13の2 | かかりつけ薬剤師指導料の特定薬剤管理指導加算2を算定した場合                                 | 特管B  | 「薬学管理料」欄 |

| 項番  | 区分       | 項目   | 略称   | 記載欄      |
|-----|----------|--|------|----------|
| 106 | 区分番号10の3 | かかりつけ薬剤師指導料の特定薬剤管理指導加算3のイを算定した場合                   | 特管Cイ | 「薬学管理料」欄 |
| 107 | 区分番号10の3 | かかりつけ薬剤師指導料の特定薬剤管理指導加算3のロを算定した場合                   | 特管Cロ | 「薬学管理料」欄 |
| 108 | 区分番号13の2 | かかりつけ薬剤師指導料の乳幼児服薬指導加算を算定した場合                       | 乳    | 「薬学管理料」欄 |
| 109 | 区分番号13の2 | かかりつけ薬剤師指導料の小児特定加算を算定した場合                          | 小特   | 「薬学管理料」欄 |
| 110 | 区分番号13の2 | かかりつけ薬剤師指導料の吸入薬指導加算を算定した場合                         | 吸    | 「薬学管理料」欄 |
| 111 | 区分番号13の3 | かかりつけ薬剤師包括管理料を算定した場合                               | 薬包   | 「薬学管理料」欄 |
| 112 | 区分番号13の3 | かかりつけ薬剤師包括管理料を算定した場合:情報通信機器を用いた場合                  | 薬包オ  | 「薬学管理料」欄 |
| 113 | 区分番号14の2 | 外来服薬支援料1を算定した場合                                    | 支A   | 「薬学管理料」欄 |
| 114 | 区分番号14の2 | 外来服薬支援料2を算定した場合                                    | 支B   | 「加算料」欄   |
| 115 | 区分番号14の2 | 外来服薬支援料2を算定した場合:在宅協力薬局が当該指導等を行い、在宅基幹薬局が当該点数を算定する場合 | 支B   | 「薬学管理料」欄 |
| 116 | 区分番号14の2 | 施設連携加算を算定した場合                                      | 施連   | 「薬学管理料」欄 |
| 117 | 区分番号14の3 | 服用薬剤調整支援料1を算定した場合                                  | 剤調A  | 「薬学管理料」欄 |
| 118 | 区分番号14の3 | 服用薬剤調整支援料2のイを算定した場合                                | 剤調B  | 「薬学管理料」欄 |
| 119 | 区分番号14の3 | 服用薬剤調整支援料2のロを算定した場合                                | 剤調C  | 「薬学管理料」欄 |
| 120 | 区分番号14の4 | 調剤後薬剤管理指導料1を算定した場合                                 | 調後A  | 「薬学管理料」欄 |
| 121 | 区分番号14の4 | 調剤後薬剤管理指導料2を算定した場合                                 | 調後B  | 「薬学管理料」欄 |
| 122 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料1を算定した場合                              | 訪A   | 「薬学管理料」欄 |
| 123 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料2を算定した場合                              | 訪B   | 「薬学管理料」欄 |
| 124 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料3を算定した場合                              | 訪C   | 「薬学管理料」欄 |
| 125 | 区分番号15   | 在宅患者オンライン薬剤管理指導料を算定した場合                            | 在オ   | 「薬学管理料」欄 |
| 126 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合                      | 麻    | 「薬学管理料」欄 |
| 127 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料の医療用麻薬持続注射療法加算を算定した場合                 | 医麻   | 「薬学管理料」欄 |
| 128 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料の乳幼児加算を算定した場合                         | 乳    | 「薬学管理料」欄 |
| 129 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料の小児特定加算を算定した場合                        | 小特   | 「薬学管理料」欄 |
| 130 | 区分番号15   | 在宅患者訪問薬剤管理指導料の在宅中心静脈栄養法加算を算定した場合                   | 中静   | 「薬学管理料」欄 |
| 131 | 区分番号15   | 在宅患者オンライン薬剤管理指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合                   | 麻オ   | 「薬学管理料」欄 |
| 132 | 区分番号15   | 在宅患者オンライン薬剤管理指導料の乳幼児加算を算定した場合                      | 乳オ   | 「薬学管理料」欄 |
| 133 | 区分番号15   | 在宅患者オンライン薬剤管理指導料の小児特定加算を算定した場合                     | 小特オ  | 「薬学管理料」欄 |
| 134 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料1を算定した場合                            | 緊訪A  | 「薬学管理料」欄 |
| 135 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2を算定した場合                            | 緊訪B  | 「薬学管理料」欄 |
| 136 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料を算定した場合                          | 緊在オ  | 「薬学管理料」欄 |
| 137 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合                    | 麻    | 「薬学管理料」欄 |
| 138 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の医療用麻薬持続注射療法加算を算定した場合               | 医麻   | 「薬学管理料」欄 |
| 139 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の乳幼児加算を算定した場合                       | 乳    | 「薬学管理料」欄 |
| 140 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の小児特定加算を算定した場合                      | 小特   | 「薬学管理料」欄 |

| 項番  | 区分       | 項目                                 | 略称   | 記載欄      |
|-----|----------|------------------------------------|------|----------|
| 141 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の在宅中心静脈栄養法加算を算定した場合 | 中静   | 「薬学管理料」欄 |
| 142 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の夜間訪問加算を算定した場合      | 夜訪   | 「薬学管理料」欄 |
| 143 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の休日訪問加算を算定した場合      | 休訪   | 「薬学管理料」欄 |
| 144 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料の深夜訪問加算を算定した場合      | 深訪   | 「薬学管理料」欄 |
| 145 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料を「注10」に基づき算定した場合    | 感訪   | 「薬学管理料」欄 |
| 146 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合 | 麻オ   | 「薬学管理料」欄 |
| 147 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料の乳幼児加算を算定した場合    | 乳オ   | 「薬学管理料」欄 |
| 148 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料の小児特定加算を算定した場合   | 小特オ  | 「薬学管理料」欄 |
| 149 | 区分番号15の2 | 在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料を「注10」に基づき算定した場合 | 感オ   | 「薬学管理料」欄 |
| 150 | 区分番号15の3 | 在宅患者緊急時等共同指導料を算定した場合               | 緊共   | 「薬学管理料」欄 |
| 151 | 区分番号15の3 | 在宅患者緊急時等共同指導料の麻薬管理指導加算を算定した場合      | 麻    | 「薬学管理料」欄 |
| 152 | 区分番号15の3 | 在宅患者緊急時等共同指導料の医療用麻薬持続注射療法加算を算定した場合 | 医麻   | 「薬学管理料」欄 |
| 153 | 区分番号15の3 | 在宅患者緊急時等共同指導料の乳幼児加算を算定した場合         | 乳    | 「薬学管理料」欄 |
| 154 | 区分番号15の3 | 在宅患者緊急時等共同指導料の小児特定加算を算定した場合        | 小特   | 「薬学管理料」欄 |
| 155 | 区分番号15の3 | 在宅患者緊急時等共同指導料の在宅中心静脈栄養法加算を算定した場合   | 中静   | 「薬学管理料」欄 |
| 156 | 区分番号15の4 | 退院時共同指導料を算定した場合                    | 退共   | 「薬学管理料」欄 |
| 157 | 区分番号15の5 | 服薬情報等提供料1を算定した場合                   | 服A   | 「薬学管理料」欄 |
| 158 | 区分番号15の5 | 服薬情報等提供料2のイを算定した場合                 | 服Bイ  | 「薬学管理料」欄 |
| 159 | 区分番号15の5 | 服薬情報等提供料2のロを算定した場合                 | 服Bロ  | 「薬学管理料」欄 |
| 160 | 区分番号15の5 | 服薬情報等提供料2のハを算定した場合                 | 服Bハ  | 「薬学管理料」欄 |
| 161 | 区分番号15の5 | 服薬情報等提供料3を算定した場合                   | 服C   | 「薬学管理料」欄 |
| 162 | 区分番号15の6 | 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料1のイを算定した場合      | 在防Aイ | 「薬学管理料」欄 |
| 163 | 区分番号15の6 | 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料1のロを算定した場合      | 在防Aロ | 「薬学管理料」欄 |
| 164 | 区分番号15の6 | 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料2のイを算定した場合      | 在防Bイ | 「薬学管理料」欄 |
| 165 | 区分番号15の6 | 在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料2のロを算定した場合      | 在防Bロ | 「薬学管理料」欄 |
| 166 | 区分番号15の7 | 経管投薬支援料を算定した場合                     | 経    | 「薬学管理料」欄 |
| 167 | 区分番号15の8 | 在宅移行初期管理料を算定した場合                   | 在初   | 「薬学管理料」欄 |

※略称については「麻」等と四角囲みをし記載することとするが、電子計算機の場合は、口を省略しても差し支えないこと。

診療録等の記載上の注意事項

第 1 一般的事項

- 1 診療録、歯科診療録及び処方箋（以下「診療録等」という。）の様式については、「保険医療機関及び保険医療費担当規則」（昭和 32 年厚生省令第 15 号）によるものであること。保険薬局に分割調剤を指示する場合は、様式第二号の二を用いること。
- 2 処方箋の用紙は、A 列 5 番を標準とすること。なお、診療録及び歯科診療録の用紙については、用紙の大きさに特段の定めはないが、A 列 4 番とすることが望ましいものであること。
- 3 医療保険単独の者に係る診療録等については公費負担医療に係る欄は空欄のままとし、公費負担医療単独の者に係る診療録等については療養の給付に係る欄は空欄のままとして差し支えないこと。
- 4 公費負担医療に係る診療録等については、「保険医療機関」とあるのは公費負担医療の担当医療機関と、「保険医氏名」とあるのは公費負担医療の担当医氏名と読み替えるものであること。

第 2 診療録等の記載上の注意事項（共通）

1 「公費負担者番号」欄について

- (1) 医療券等に記入されている公費負担者番号 8 桁を記載すること（別添 2 「保険者番号、公費負担者番号・公費負担医療の受給者番号並びに医療機関コード及び薬局コード設定要領（以下「設定要領」という。）の第 2 を参照）。
- (2) 1 種の公費負担医療が医療保険と併用される場合は、当該公費負担医療に係る分は左上部の該当欄に記載すること（以下左上部の該当欄に記載される公費負担医療を「第 1 公費」という。）。
- (3) 2 種の公費負担医療が医療保険と併用される場合は、別添 2 の別表 1 「法別番号及び制度の略称表」に示す順番により、先順位の公費負担医療を「第 1 公費」とし、後順位の公費負担医療に係る分は右下部の該当欄（歯科診療録にあっては「備考」欄。以下同じ。）に記載すること（以下右下部の該当欄に記載される公費負担医療を「第 2 公費」という。）。
- (4) 公費負担医療単独の場合は、左上部の該当欄に記載すること。
- (5) 公費負担医療のみが 2 種併用される場合は、第 1 公費に係るものは左上部の該当欄に、第 2 公費に係るものは右下部の該当欄に記載すること。

なお、特例的に、生活保護法による医療扶助、感染症法による結核患者の適正医療及び障害者総合支援法による精神通院医療等の 3 種の公費負担医療の併用の場合があるが、この場合にあつては、生活保護法による医療扶助に係る公費負担者番号は「保険者番号」欄に、公費負担医療の受給者番号は「被保険者証・被保険者手帳の記号・番号」欄に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は左上部の該当欄に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は右下部の該当欄に記載すること。

- (6) 同種の公費負担医療で住所変更により月の途中において公費負担者番号が変更となった場合は、変更前の公費負担医療に係る分は第 1 公費とし、変更後の公費負担医療に係る分は第 2 公費として取り扱うものとする。

なお、該当欄に書ききれない場合は、「備考」欄に記載すること。

2 「公費負担医療の受給者番号」欄について



(1) 医療券等に記入されている受給者番号7桁を記載すること（別添2「設定要領」の第3を参照）。

(2) その他は、1の(2)から(6)までと同様であること。

### 3 「保険者番号」欄について

(1) 設定された保険者番号8桁（国民健康保険については6桁）を記載すること（別添2「設定要領」の第1を参照）。なお、国民健康保険の場合は右詰めで記載すること。

(2) 公費負担医療単独の場合及び公費負担医療と公費負担医療の併用の場合（以下「公費負担医療のみの場合」という。）は、別段の定めのある場合を除き、記載しないこと。

(3) 月の途中において保険者番号の変更があった場合は「備考」欄に変更後の保険者番号を記載すること。

### 4 「被保険者証・被保険者手帳」欄の「記号・番号」欄（処方箋にあつては、「被保険者証・被保険者手帳の記号・番号」欄）について

健康保険被保険者証、国民健康被保険者証、船員保険被保険者証、受給資格者票及び特別療養費受給票等（以下「被保険者証等」という。）の「記号及び番号」欄の記号及び番号を記載すること。

なお、被保険者証等の「記号及び番号」欄に枝番の記載がある場合は、枝番も併せて記載すること。

また、後期高齢者医療被保険者証の「被保険者番号」欄の被保険者番号を記載すること。

## 第3 診療録の記載上の注意事項

### 1 「受診者」欄について

(1) 「氏名」欄には、受診者の姓名を記載すること。

(2) 「生年月日」及び「性別」欄には、受診者の生年月日を記載するとともに、性別の該当するものを○で囲むこと。

(3) 「住所」欄には、受診者の住所及び電話番号を記載すること。

なお、電話番号については記載を省略しても差し支えないこと。

(4) 「職業」欄には、受診者の職種名を記載すること。

なお、業務上の疑いがない場合等、特に必要がない場合には、記載を省略しても差し支えないこと。

(5) 「被保険者との続柄」欄には、被保険者と受診者との続柄を記載すること。

なお、被扶養者であることが明らかである場合等、特に必要がない場合には、記載を省略しても差し支えないこと。

### 2 「被保険者証・被保険者手帳」欄の「有効期限」欄について

被保険者証等の有効期限を記載すること。

### 3 「被保険者氏名」欄について

被保険者の姓名を記載すること。

### 4 「資格取得年月日」欄について

被保険者の資格取得年月日等を記載することを原則とするが、必要のない場合は記載を省略しても差し支えないこと。

### 5 「事業所（船舶所有者）」欄について

(1) 「所在地」欄には、被保険者の勤務する事業所の所在地及び電話番号を記載することを原則とするが、当該事業所の本社等の所在地及び電話番号を記載することでも差し支えないこと。

と。なお、必要のない場合は記載を省略しても差し支えないこと。

- (2) 「名称」欄には、被保険者の勤務する事業所の名称を記載することを原則とするが、当該事業所の本社等の名称を記載することでも差し支えないこと。なお、必要のない場合は記載を省略しても差し支えないこと。

6 「保険者」欄について

- (1) 「所在地」欄には、被保険者が管掌されている保険者の所在地及び電話番号を記載することを原則とするが、必要のない場合は記載を省略しても差し支えないこと。
- (2) 「名称」欄には、被保険者が管掌されている保険者名を記載することを原則とするが、必要のない場合は記載を省略しても差し支えないこと。

7 「傷病名」欄について

傷病名については、原則として、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」（令和4年4月22日付保発0422第1号）（本通知が改正された場合は、改正後の通知によること。）別添3に規定する傷病名を用いること。

8 「職務」欄について

- (1) 「上」には、船員保険の被保険者又は共済組合の船員組合員について、その療養の給付の原因となった傷病が、職務上の事由による取扱いに該当する場合に○で囲むこと。
- (2) 「外」には、当該者の傷病の原因が職務外の事由による場合に○で囲むこと。

9 「開始」欄について

受診者が当該医療機関において、医療保険、後期高齢者医療又は公費負担医療で診療を開始した年月日を記載すること。

10 「終了」欄について

受診者の傷病が転帰した年月日又は医療保険、後期高齢者医療若しくは公費負担医療が終了した年月日を記載すること。

11 「転帰」欄について

受診者の傷病に関する診療行為の終了原因について該当するものを○で囲むこと。

12 「労務不能に関する意見」欄について

- (1) 「意見書に記入した労務不能期間」欄には被保険者が保険給付を受けるため、保険医の意見を求めた場合において療養のため労務不能であったと認められた期間を記載すること。
- (2) 「意見書交付」欄には、被保険者に保険給付を受けるために必要な意見書を交付した年月日を記載すること。

13 「入院期間」欄について

保険給付を受けるために必要な意見書に記載した入院期間を記載すること。

14 「業務災害又は通勤災害の疑いがある場合は、その旨」欄について

業務災害又は通勤災害の疑いが認められる場合には、当該傷病名及び当該傷病原因を記載すること。

15 「備考」欄について

保険診療又は後期高齢者医療に関し必要な事項を記載すること。

16 「既往症・原因・主要症状・経過等」欄について

受診者の病歴、受診に係る傷病の原因、傷病に関する主要症状及び受診中の経過等について必要な事項を記載すること。

17 「処方・手術・処置等」欄について

受診者に対し行った診療行為について内容を記載すること。

18 「診療の点数等」欄について

(1) 「月日」欄について

受診者に対し療養の給付等を行った月日を記載すること。

(2) 「種別」欄について

受診者に対し療養の給付等を行った診療行為名を記載し、算定した点数を記載すること。  
なお、「月日」欄と「種別」欄の配置を縦横逆にしても差し支えないこと。

(3) 「点数」欄について

受診者に対し療養の給付等を行った月日ごとに算定した点数の合計を記載すること。

(4) 「負担金徴収額」欄について

医療機関において徴収した負担金の額を記載すること。

(5) 「食事療養・生活療養算定額」欄について

受診者に対し、食事療養又は生活療養を行った月日ごとに算定した金額の合計を記載すること。

(6) 「標準負担額」欄について

食事療養に係る食事療養標準負担額又は生活療養に係る生活療養標準負担額を記載すること。

(7) 「備考」欄について

療養の給付等につき算定した点数の計等を記載すること。

19 その他

様式第1号(1)の2及び(1)の3を一葉にまとめること、(1)の3の記載事項を上下2欄に分けること等は差し支えないこと。

第4 歯科診療録の記載上の注意事項

1 「受診者」欄について

(1) 「氏名」欄は、受診者の姓名を記載する。

(2) 「生年月日」及び「性別」欄は、受診者の生年月日を記載し、該当する性別を○で囲む。

(3) 「住所」欄は、受診者の住所及び電話番号を記載する。

なお、電話番号は、記載を省略して差し支えない。

(4) 「職業」欄は、受診者の職種名を記載する。

なお、業務上の疑いがない場合等、特に必要がない場合は、記載を省略して差し支えない。

(5) 「被保険者との続柄」欄は、被保険者と受診者との続柄を記載する。

なお、被扶養者であることが明らかである場合等、特に必要がない場合は、記載を省略して差し支えない。

2 「被保険者証・被保険者手帳」欄の「有効期限」欄について

被保険者証等の有効期限を記載する。

3 「被保険者氏名」欄について

被保険者の姓名を記載する。

4 「資格取得年月日」欄について

被保険者の資格取得年月日等の記載を原則とするが、必要のない場合は記載を省略して差し支

えない。

5 「事業所（船舶所有者）」欄について

- (1) 「所在地」欄は、被保険者の勤務する事業所の所在地及び電話番号の記載を原則とするが、当該事業所の本社等の所在地及び電話番号の記載でも差し支えない。なお、必要のない場合は記載を省略して差し支えない。
- (2) 「名称」欄は、被保険者の勤務する事業所の名称の記載を原則とするが、当該事業所の本社等の名称の記載でも差し支えない。なお、必要のない場合は記載を省略して差し支えない。

6 「保険者」欄について

- (1) 「所在地」欄は、被保険者が管掌されている保険者の所在地及び電話番号の記載を原則とするが、必要のない場合は記載を省略して差し支えない。
- (2) 「名称」欄は、被保険者が管掌されている保険者名の記載を原則とするが、必要のない場合は記載を省略して差し支えない。

7 「部位」欄について

傷病のある部位をそれぞれ記載する。

ただし、同一傷病名は、同一欄に一括して記載して差し支えない。

8 「傷病名」欄について

傷病名は、わが国で通常用いられている傷病名を記載する。

9 「職務」欄について

- (1) 「上」は、船員保険の被保険者又は共済組合の船員組合員について、その療養の給付の原因となった傷病が、職務上の事由による取扱いに該当する場合に○で囲む。
- (2) 「外」は、当該者の傷病の原因が職務外の事由による場合に○で囲む。

10 「開始」欄について

被保険者が当該医療機関において、医療保険、後期高齢者医療又は公費負担医療で診療を開始した年月日を記載する。

11 「終了」欄について

受診者の傷病が転帰した年月日又は医療保険、後期高齢者医療若しくは公費負担医療が終了した年月日を記載する。

12 「転帰」欄について

受診者の傷病に関する診療行為の終了原因について、「治ゆ」「死亡」「中止」のうち該当するものを記載する。なお、予め「治ゆ」「死亡」「中止」を印刷し、該当するものを○で囲むことにより記載しても差し支えない。

13 「

|          |
|----------|
| 上        |
| 右 ———— 左 |
|          |
| 下        |

」欄について

- (1) 予め歯の配列図等を印刷して差し支えない。
- (2) 必要がある場合、口腔診察の所見等を記載する。

14 「〔主訴〕その他摘要」欄について

主訴及び参考となる事項を記載する。

15 「労務不能に関する意見」欄について

- (1) 「意見書に記入した労務不能期間」欄は、被保険者が保険給付を受けるため、保険医の意見を求めた場合において療養のため労務不能であったと認められた期間を記載する。

- (2) 「意見書交付」欄は、被保険者に保険給付を受けるために必要な意見書を交付した年月日を記載する。
- 16 「入院期間」欄について  
保険給付を受けるために必要な意見書に記載した入院期間を記載する。
- 17 「業務災害又は通勤災害の疑いがある場合は、その旨」欄について  
業務災害又は通勤災害の疑いが認められる場合は、当該傷病名及び当該傷病原因を記載する。
- 18 「備考」欄について  
保険診療又は後期高齢者医療に関し必要な事項を記載する。
- 19 「月日」欄について  
受診者に対し療養の給付等を行った月日を記載する。
- 20 「療法・処置」欄について  
受診者に対し療養の給付等を行った月日ごとに療法及び処置について必要な事項を記載する。
- 21 「点数」欄について  
受診者に対し療養の給付等を行った月日ごとに算定した点数を記載する。
- 22 「負担金徴収額」欄について  
医療機関において徴収した負担金の額を記載する。
- 23 「食事療養・生活療養算定額」欄について  
診者に対し、食事療養又は生活療養を行った月日ごとに算定した金額の合計を記載する。
- 24 「標準負担額」欄について  
食事療養に係る食事療養標準負担額又は生活療養に係る生活療養標準負担額を記載する。
- 25 その他  
「受診者」欄を右欄に配置換えをする等は差し支えない。

## 第5 処方箋の記載上の注意事項

- 1 「患者」欄について
- (1) 氏名  
投薬を受ける者の姓名を記載すること。
- (2) 生年月日  
投薬を受ける者の生年月日を記載すること。
- (3) 男・女  
投薬を受ける者の性別について該当するものを○で囲むこと。
- (4) 区分  
該当するものを○で囲むこと。
- 2 「保険医療機関の所在地及び名称」欄について  
保険医療機関指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地及び名称を記載すること。
- 3 「電話番号」欄について  
保険医療機関の電話番号を記載することを原則とするが、必要のない場合は記載を省略しても差し支えないこと。
- 4 「保険医氏名<sup>㊟</sup>」欄について  
処方箋を発行した保険医（以下「処方医」という。）が署名するか、又は処方医の姓名を記載し、押印すること。

#### 4の2 「都道府県番号」、「点数表番号」及び「医療機関コード」欄について

「都道府県番号」欄には、保険医療機関の所在する都道府県番号2桁（診療報酬明細書に記載する都道府県番号と同様の番号）を記載すること。「点数表番号」欄には、医科は1を、歯科は3を記載すること。「医療機関コード」欄には、それぞれの医療機関について定められた医療機関コード7桁（診療報酬明細書に記載する医療機関コードと同様の番号）を記載すること。また、健康保険法第63条第3項第2号及び第3号に規定する医療機関については、「医療機関コード」欄に「999999」の7桁を記載すること。

#### 5 「交付年月日」欄について

患者に処方箋を交付した年月日を記載すること。

#### 6 「処方箋の使用期間」欄について

- (1) 交付の日を含めて4日以内の場合は、記載する必要がないこと。
- (2) 患者の長期の旅行等特殊の事情があると認められる場合に、交付の日を含めて3日以内又は交付の日を含めて4日を超えた日より調剤を受ける必要がある場合には、年月日を記載すること。この場合において、当該処方箋は当該年月日の当日まで有効であること。
- (3) 様式第二号の二に基づく処方箋（以下「分割指示に係る処方箋」という。）の場合は、分割の1回目に係る使用期限を記載することとし、当該使用期限が交付の日を含めて4日以内の場合は、記載する必要がないこと。

#### 7 「処方」欄について

投薬すべき医薬品名、分量、用法及び用量を記載し、余白がある場合には、斜線等により余白である旨を表示すること。

- (1) 医薬品名は、一般的名称に剤形及び含量を付加した記載（以下「一般名処方」という。）又は薬価基準に記載されている名称による記載とすること。なお、可能な限り一般名処方を考慮することとし、一般名処方の場合には、会社名（屋号）を付加しないこと。  
なお、薬価基準に記載されている名称を用いる場合、当該医薬品が、薬価基準上、2以上の規格単位がある場合には、当該規格単位を併せて記載すること。  
また、保険医療機関と保険薬局との間で約束されたいわゆる約束処方による医薬品名の省略、記号等による記載は認められないものであること。
- (2) 分量は、内服薬については1日分量、内服用滴剤、注射薬及び外用薬については投与総量、屯服薬については1回分量を記載すること。
- (3) 用法及び用量は、1回当たりの服用（使用）量、1日当たり服用（使用）回数及び服用（使用）時点（毎食後、毎食前、就寝前、疼痛時、〇〇時間毎等）、投与日数（回数）並びに服用（使用）に際しての留意事項等を記載すること。特に鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤（麻薬若しくは向精神薬であるもの又は専ら皮膚疾患に用いるものを除く。）については、1回当たりの使用量及び1日当たりの使用回数又は投与日数を必ず記載すること。

なお、分割指示に係る処方箋を交付する場合は、分割した回数ごとにそれぞれ調剤すべき投与日数（回数）を記載し、当該分割指示に係る処方箋における総投与日数（回数）を付記すること。

- (4) 特定保険医療材料（自己注射に用いる自己注射用ディスプレイザブル注射器（針を含む。）、万年筆型注入器用注射針又は「特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）」（平成20年厚生労働省告示第61号）の別表のIに規定されている特定保険医療材料）を保険薬

局より支給させる場合は名称及びセット数等を記載すること。

- (5) 処方医が処方箋に記載した医薬品の一部又はすべてについて、医療上の必要性があるため、後発医薬品への変更に差し支えがあると判断したときには、「備考」欄中の「保険医署名」欄に署名等を行うとともに、差し支えがあると判断した医薬品ごとに「変更不可（医療上必要）」欄に「✓」又は「×」を記載し、患者及び処方箋に基づき調剤を行う保険薬局の保険薬剤師のいずれに対しても変更不可であることが明確に分かるように記載すること。この場合において、「患者希望」欄には「✓」又は「×」は記載しないこと。なお、一般名処方の趣旨からして、一般名処方に対して「変更不可（医療上必要）」欄に「✓」又は「×」が記載されることはあり得ないものであること。
- (6) 処方医が処方箋に記載した医薬品のうち(5)に基づいて「変更不可（医療上必要）」欄に「✓」又は「×」を記載していないもののうち、当該医薬品と含量規格が異なる後発医薬品又は類似する別剤形（※）の後発医薬品への変更に差し支えがあると判断したときには、「備考」欄中の「保険医署名」欄に署名等を行うとともに、当該医薬品の銘柄名の近傍に「含量規格変更不可」又は「剤形変更不可」と記載するなど、患者及び処方箋に基づき調剤を行う保険薬局の保険薬剤師のいずれに対しても含量規格変更不可又は剤形変更不可であることが明確に分かるように記載すること。

※ 類似する別剤形の医薬品とは、内服薬であって、次の各号に掲げる分類の範囲内の他の医薬品をいう。

  - ア 錠剤（普通錠）、錠剤（口腔内崩壊錠）、カプセル剤、丸剤
  - イ 散剤、顆粒剤、細粒剤、末剤、ドライシロップ剤（内服用固形剤として調剤する場合に限る。）
  - ウ 液剤、シロップ剤、ドライシロップ剤（内服用液剤として調剤する場合に限る。）
- (7) 患者の希望を踏まえ、長期収載品を銘柄名処方する場合には、「患者希望」欄に「✓」又は「×」を記載すること。
- (8) リフィル処方を行う場合には、「処方」欄の「リフィル可」欄に「✓」を記載するとともに、総使用回数（上限3回）を記載すること。なお、「処方」欄には、リフィル処方箋1回の使用による投与日数（回数）等を記載すること。
- (9) 外用薬をリフィル処方する場合について、1回当たりの使用量及び1日当たりの使用回数を記載した場合であっても、必ず投与日数を記入すること。
- (10) なお、内服薬の処方箋への記載に当たっては、「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書の公表について」（平成22年1月29日付医政発0129第3号・薬食発0129第5号）も参考にされたい。

## 8 「備考」欄について

- (1) 保険薬局が調剤を行うに当たって留意すべき事項等を記載すること。
- (2) 麻薬を処方する場合には、麻薬及び向精神薬取締法（昭和28年法律第14号）第27条に規定する事項のうち、患者の住所及び麻薬施用者の免許証の番号を記載すること。
- (3) 長期の旅行等特殊の事情がある場合において、必要があると認め、必要最小限の範囲において、投薬量が1回14日分を限度とされる内服薬及び外用薬であって14日を超えて投与した場合は、その理由を記載すること。
- (4) 未就学者である患者の場合は「6歳」と、高齢受給者又は後期高齢者医療受給対象者であ

って一般・低所得者の患者の場合は「高一」と、高齢受給者又は後期高齢者医療受給対象者であって7割給付の患者の場合は「高7」と記載すること。なお、後期高齢者医療受給対象者であって一般・低所得者の患者については、令和4年10月1日以降、8割給付の患者の場合は「高8」、9割給付の患者の場合は「高9」と記載すること。

- (5) 処方医が、処方箋に記載した医薬品について、医療上の必要性があるため、後発医薬品に変更することに差し支えがあると判断した場合は、差し支えがあると判断した医薬品ごとに、「処方」欄中の「変更不可」欄に「✓」又は「×」を記載するとともに、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。

なお、後発医薬品を処方する際に、「変更不可」欄に「✓」又は「×」を記載する場合においては、その理由を記載すること。また、電子処方箋を発行する際は、「薬品補足レコード」内の「薬品補足情報」欄に、後発品変更不可の理由を記載した場合は、「備考」欄の記載は省略しても差し支えない。

- (6) 入院中の患者以外の患者に対する処方について、患者の服薬管理が困難である等の理由により、保険薬局に分割調剤を指示する場合には、分割の回数及び当該分割ごとの調剤日数を記載すること。

なお、この場合において、保険薬局に指示しておくべき事項等があれば具体的に記載すること。

- (7) 1処方につき63枚を超えて鎮痛・消炎に係る効能・効果を有する貼付剤（麻薬若しくは向精神薬であるもの又は専ら皮膚疾患に用いるものを除く。）を投与する場合は、当該貼付剤の投与が必要であると判断した趣旨を記載すること。

- (8) 保険薬局が調剤時に患者の残薬を確認した際に、当該保険薬局に対して、「保険医療機関へ疑義照会をした上で調剤」すること又は「保険医療機関へ情報提供」することを指示する場合には、該当するチェック欄に「✓」又は「×」を記載すること。

- (9) 地域包括診療加算若しくは認知症地域包括診療加算又は地域包括診療料若しくは認知症地域包括診療料を算定している患者について、保険薬局に対してその旨を情報提供するに当たって、処方箋への書面の添付によらない場合には、当該加算を算定している旨を本欄に記載すること。

- (10) 情報通信機器を用いた診療の実施に伴い処方箋を発行する場合には、「情報通信」と記載すること。

## 9 「分割指示に係る処方箋」について

- (1) 分割指示に係る処方箋を発行する場合は、分割の回数及び何回目に対応するかを右上の所要欄に記載すること。

- (2) 別紙の発行保険医療機関情報には、保険医療機関の保険薬局からの連絡先を記載すること。その他の連絡先として、必要に応じ、担当部署の電子メールのアドレスなどを記載すること。

## 10 その他

薬剤師は、調剤したときは、その処方箋に以下の事項を記載すること。

- (1) 「調剤済年月日」欄について

処方箋が調剤済となった場合の年月日を記載すること。その調剤によって、当該処方箋が調剤済とならなかった場合は、調剤年月日及び調剤量を処方箋に記載すること。

- (2) 「保険薬局の所在地及び名称」欄について

保険薬局指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地及び名称を記載すること。



- (3) 「保険薬剤師氏名 ㊤」欄について  
調剤を行った保険薬剤師が署名するか又は保険薬剤師の姓名を記載し、押印すること。
- (4) その他次の事項を「備考」欄又は「処方」欄に記入すること。
- ア 処方箋を交付した医師又は歯科医師の同意を得て処方箋に記載された医薬品を変更して調剤した場合には、その変更内容
- イ 医師又は歯科医師に照会を行った場合は、その回答の内容
- (5) 分割指示に係る処方箋に基づき調剤した場合は、別紙の「受付保険薬局情報」欄に保険薬局の所在地、名称、保険薬剤師氏名及び調剤年月日を記入すること。別紙の余白を用いて調剤量等の必要な情報を記載するのは差し支えないこと。
- (6) 「処方」欄の「リフィル可」欄に「✓」が記載されている処方箋（以下「リフィル処方箋」という。）に基づき調剤した場合は、「調剤実施回数」欄に調剤回数に応じて、該当するチェック欄に「✓」又は「×」を記載するとともに、調剤日及び次回調剤予定日を記載すること。
- (7) 保険薬局においてリフィル処方箋による調剤を行い、当該薬局において調剤済みとならない場合は、リフィル処方箋に薬剤師法（昭和 35 年法律第 146 号）第 26 条に規定する事項及び次回調剤予定日等の必要な事項を記入し、当該リフィル処方箋の写しを調剤録と共に保管すること。

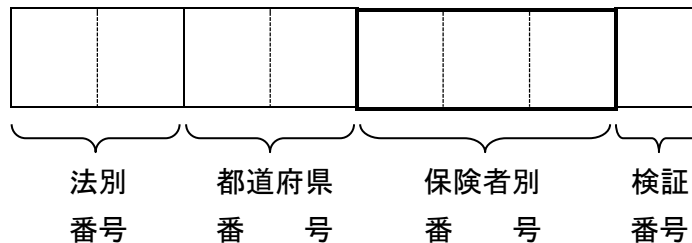
## 診療報酬請求書等一覧表

| 区 分         |   | 様式番号                              |
|-------------|---|-----------------------------------|
| 診療報酬<br>請求書 | 医科・歯科、入院・入院外併用（国保の被保険者及び後期高齢者を除く）                           | 様式第 1（1）                          |
|             | 医科、入院外（ " ）   | "（2）                              |
|             | 歯科、入院外（ " ）   | "（3）                              |
|             | 医科・歯科（国保の被保険者に限る）   | 様式第 6                             |
|             | 医科、歯科（後期高齢者に限る）   | 様式第 8                             |
| 診療報酬<br>明細書 | 算定告示別表第 1（医科）、入院時食事療養費及び入院時生活療養費の告示又は保険外併用療養費の告示（医科の例による場合） | 入院<br>入院外<br>様式第 2（1）<br>様式第 2（2） |
|             | 算定告示別表第 2（歯科）、入院時食事療養費及び入院時生活療養費の告示又は保険外併用療養費の告示（歯科の例による場合） | —<br>様式第 3                        |
| 調剤報酬<br>請求書 | （国保の被保険者及び後期高齢者を除く）<br>（国保の被保険者に限る）<br>（後期高齢者に限る）           | 様式第 4<br>様式第 7<br>様式第 9           |
| 調剤報酬<br>明細書 | 算定告示別表第 3（調剤）   | —<br>様式第 5                        |

## 保険者番号、公費負担者番号、公費負担医療の受給者番号並びに医療機関コード及び薬局コード設定要領

### 第 1 保険者番号

- 1 保険者番号は、次のように法別番号 2 桁、都道府県番号 2 桁、保険者(市町村)別番号 3 桁、検証番号 1 桁、計 8 桁の算用数字を組み合わせたものとする。ただし、国民健康保険の保険者番号については、都道府県番号 2 桁、保険者(市町村)別番号 3 桁、検証番号 1 桁、計 6 桁の算用数字を組み合わせたものとする。



- 2 法別番号は、医療保険制度の各区分ごとに別表 1 の(1)に定める番号とする。
- 3 都道府県番号は、4 の保険者等の所在地の都道府県ごとに別表 2 に定める番号とする。  
なお、コードについては、都道府県ごと左に掲げるコード(例：北海道の場合「01」)から設定することとし、当該コードにおいて設定可能な保険者別番号がなくなり次第、右に掲げるコード(例：北海道の場合「51」)を設定することとする。
- 4 保険者(市町村)別番号は、協会管掌健康保険にあつては協会の都道府県支部ごとに厚生労働省保険局が、船員保険にあつては厚生労働省保険局が、国民健康保険にあつては国民健康保険事業を行う市町村又は国民健康保険組合ごとに都道府県が、また、組合管掌健康保険にあつては健康保険組合(社会保険診療報酬支払基金に対して支払を行う従たる事務所を含む。)ごとに地方厚生(支)局が、後期高齢者医療にあつては後期高齢者医療広域連合が、共済組合及び自衛官等の療養の給付にあつては各主管官庁が定める番号とする。
- 5 検証番号は、次により算出した番号とする。
- (1) 法別番号、都道府県番号及び保険者別番号の各数に末尾の桁を起点として順次 2 と 1 を乗じる。
- (2) (1) で算出した積の和を求める。ただし、積が 2 桁となる場合は、1 桁目と 2 桁目の数字の和とする。
- (3) 10 と(2) で算出した数字の下 1 桁の数との差を求める。これを検証番号とする。ただし、1 の位の数が 0 のときは検証番号を 0 とする。

例

| 法別番号 | 都道府県番号 | 保険者(市町村)別番号 |      |
|------|--------|-------------|------|
| 0 6  | 1 3    | 0 4 ⑧       | ← 起点 |
| x x  | x x    | x x x       |      |
| 2 1  | 2 1    | 2 1 2       |      |

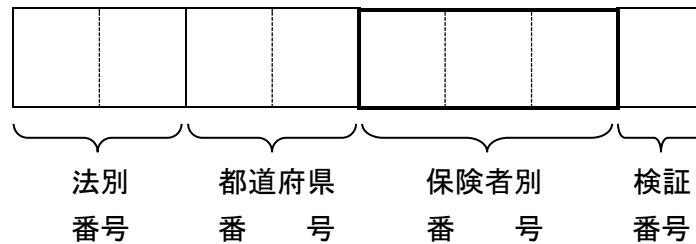
$$0 + 6 + 2 + 3 + 0 + 4 + (1 + 6) = 22$$

$$010 - 2 = \boxed{8} \text{ ……検証番号}$$

- 6 保険者番号の管理は、厚生労働省保険局、都道府県知事、地方厚生（支）局、後期高齢者医療広域連合又は主管官庁において行うものとし、保険者番号の設定変更の際には、社会保険診療報酬支払基金及び当該保険者に対して速やかに連絡するものとする。ただし、国民健康保険にあっては、都道府県知事から所在地の国民健康保険団体連合会及び当該保険者に対して速やかに連絡するものとし、後期高齢者医療にあっては、後期高齢者広域連合から社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会に対して速やかに連絡するものとする。

## 第2 公費負担者番号

- 1 公費負担者番号は、次のように法別番号2桁、都道府県番号2桁、実施機関番号3桁、検証番号1桁、計8桁の算用数字を組み合わせたものとする。

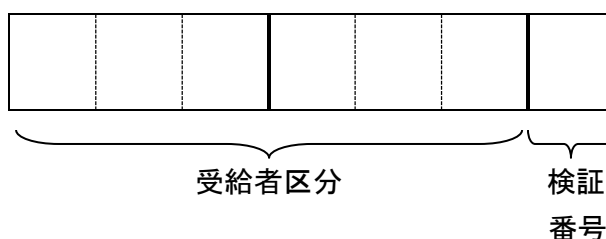


- 2 法別番号は、公費負担医療制度の種類ごとに別表1の(3)に定める番号とする。
- 3 都道府県番号は、4の公費負担医療実施機関の所在地の都道府県ごとに、別表2に定める番号とする。
- なお、コードについては、都道府県ごと左に掲げるコード（例：北海道の場合「01」）から設定することとし、当該コードにおいて設定可能な実施機関番号がなくなり次第、右に掲げるコード（例：北海道の場合「51」）を設定することとする。
- 4 実施機関番号は、公費負担医療制度の種類ごとに公費負担医療主管行政庁又は公費負担医療実施機関が定める。
- 5 検証番号は、第1の5の例により定める。

- 6 公費負担者番号の管理は、各公費負担医療に係る第2の4の実施機関番号設定者において行うこととし、公費負担者番号の設定変更に際しては、社会保険診療報酬支払基金等に対して速やかに連絡するものとする。

### 第3 公費負担医療の受給者番号

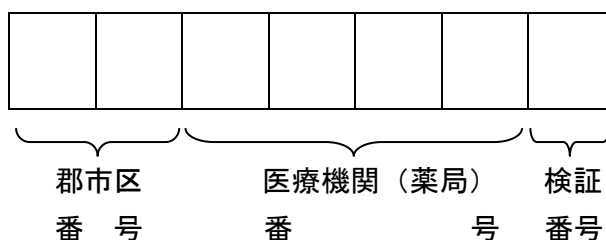
- 1 公費負担医療の受給者番号は、次のように受給者区分6桁、検証番号1桁、計7桁の算用数字を組み合わせたものとする。



- 2 受給者区分は、各公費負担医療の受給者ごとに公費負担医療主管行政庁若しくは公費負担医療実施機関が定める。
- 3 検証番号は、第1の5の例により定める。

### 第4 医療機関コード及び薬局コード

- 1 医療機関コード及び薬局コード（以下「医療機関等コード」という。）は、次のように郡市区番号2桁、医療機関（薬局）番号4桁、検証番号1桁、計7桁の算用数字を組み合わせたものとする。



- 2 郡市区番号は、都道府県ごとに、郡、市及び区を単位として、地方厚生（支）局長が定めるものとする。ただし、独立行政法人国立病院機構等の各施設を一般の医療機関等と区別する必要があるときは、地方厚生（支）局長において郡市区番号にかえて、これらを1単位とした2桁の番号を定めても差し支えないものとする。
- 3 医療機関（薬局）番号は、医療機関について、医科にあつては1,000から2,999、歯科にあつては3,000から3,999、薬局にあつては4,000から4,999の一連番号を前記2の郡市区ごとに、地方厚生（支）局長がこれを定めるものとする。ただし、4桁の医療機関（薬局）番号のうち、中2桁又は下2桁が90となる番号は欠番とするものとする。

なお、医科と歯科が併設される医療機関にあつては、医科、歯科それぞれの医療機関番号を定

めるものとする。

4 同一の医療機関及び薬局において、保険医療機関、保険薬局並びに公費負担医療を担当する医療機関及び薬局のうち、2以上の指定を受けているものについては、同一の医療機関等コードを付すものとする。

5 検証番号は、次により算出した番号とする。

- (1) 都道府県番号、点数表番号、郡市区番号及び医療機関番号の各数に末尾の桁を起点として順次2と1を乗じる。この場合の都道府県番号は別表2に定める番号とし、また、点数表番号は医科1、歯科3、薬局4とするものとする。
- (2) (1)で算出した積の和を求める。ただし、積が2桁となる場合は1桁目と2桁目の数字の和とするものとする。
- (3) 10と(2)で算出した数字の下1桁の数との差を求める。これを検証番号とする。ただし、1の位の数が0のときは検証番号を0とする。

例

| 都道府県<br>番 号  | 点数表<br>番 号 | 郡市区<br>番 号 | 医療機関 (薬局)<br>番 号 |      |
|--|------------|------------|------------------|------|
| 3 4  | 1          | 0 7        | 1 2 3 ⑥          | ← 起点 |
| × ×  | ×          | × ×        | × × × ×          |      |
| 2 1  | 2          | 1 2        | 1 2 1 2          |      |
| $6 + 4 + 2 + 0 + (1 + 4) + 1 + 4 + 3 + (1 + 2) = 28$ |            |            |                  |      |
| ○ $10 - 8 = \boxed{2}$ ……検証番号                        |            |            |                  |      |
| ○医療機関等コード                      07, 1236, 2           |            |            |                  |      |

6 医療機関等コードの管理は、地方厚生（支）局長において行うものとし、医療機関等コードの変更の際は、社会保険診療報酬支払基金等に対して速やかに連絡するものとする。

## 別表 1

## 法別番号及び制度の略称表

(1)

|                              | 区 分                             | 法別番号                         | 制度の略称 |                |
|------------------------------|---------------------------------|------------------------------|-------|----------------|
| 社<br>会<br>保<br>險<br>制<br>度   | 全国健康保険協会管掌健康保険（日雇特例被保険者の保険を除く。） | 01                           | （協会）  |                |
|                              | 船員保険                            | 02                           | （船）   |                |
|                              | 日雇特例被保険者の保険                     | ○一般療養（法第129条、第131条及び第140条関係） | 03    | （日）            |
|                              |                                 | ○特別療養費（法第145条関係）             | 04    | （日 特）<br>又は（特） |
|                              | 組管掌健康保険                         | 06                           | （組）   |                |
|                              | 防衛省職員給与法による自衛官等の療養の給付（法第22条関係）  | 07                           | （自）   |                |
|                              | 高齢者の医療の確保に関する法律による療養の給付         | 39                           | （高）   |                |
|                              | 国家公務員共済組合                       | 31                           | }（共）  |                |
|                              | 地方公務員等共済組合                      | 32                           |       |                |
|                              | 警察共済組合                          | 33                           |       |                |
| 公立学校共済組合<br>日本私立学校振興・共済事業団   | 34                              |                              |       |                |
| 特定健康保険組合                     | 63                              | }（退）                         |       |                |
| 国家公務員特定共済組合                  | 72                              |                              |       |                |
| 地方公務員等特定共済組合                 | 73                              |                              |       |                |
| 警察特定共済組合                     | 74                              |                              |       |                |
| 公立学校特定共済組合<br>日本私立学校振興・共済事業団 | 75                              |                              |       |                |

（注） 63・72～75 は、特例退職被保険者、特例退職組合員及び特例退職加入者に係る法別番号である。

(2)

|   | 区 分                           | 法別番号   | 制度の略称 |            |
|---|-------------------------------|--|-------|------------|
| 公 | 戦傷病者特別援護法による                  | ○療養の給付（法第 10 条関係）  | 1 3   | —          |
|   |                               | ○更生医療（法第 20 条関係）   | 1 4   | —          |
| 公 | 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による        | ○認定疾病医療（法第 10 条関係）   | 1 8   | —          |
|   |                               | ○新感染症の患者の入院（法第 37 条関係）   | 2 9   | —          |
| 公 | 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による | ○新感染症外出自粛対象者の医療（法第 50 条の 3 関係）                                 |       |            |
|   |                               | 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律による医療の実施に係る医療の給付（法第 81 条関係） | 3 0   | —          |
| 費 | 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による | ○結核患者の適正医療（法第 37 条の 2 関係）                                      | 1 0   | （感 37 の 2） |
|   |                               | ○結核患者の入院（法第 37 条関係）  | 1 1   | （結核入院）     |
| 費 | 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による        | ○措置入院（法第 29 条関係）   | 2 0   | （精 29）     |
|   |                               | ○精神通院医療（法第 5 条関係）  | 2 1   | （精神通院）     |
| 負 | 障害者総合支援法による                   | ○更生医療（法第 5 条関係）  | 1 5   | —          |
|   |                               | ○育成医療（法第 5 条関係）  | 1 6   | —          |
|   |                               | ○療養介護医療（法第 70 条関係）及び基準該当療養介護医療（法第 71 条関係）                      | 2 4   | —          |
|   |                               | 麻薬及び向精神薬取締法による入院措置（法第 58 条の 8 関係）                              | 2 2   | —          |
| 担 | 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による | ○一類感染症等の患者の入院（法第 37 条関係）                                       | 2 8   | （感染症入院）    |
|   |                               | ○新型インフルエンザ等感染症外出自粛対象者の医療（法第 44 条の 3 の 2 関係）                    |       | —          |
| 医 | 児童福祉法による                      | ○療育の給付（法第 20 条関係）  | 1 7   | —          |
|   |                               | ○肢体不自由児通所医療（法第 21 条の 5 の 29 関係）及び障害児入所医療（法第 24 条の 20 関係）       | 7 9   | —          |



|   |  |                     |    |      |
|---|--|---------------------|----|------|
| 療 | 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による   | ○一般疾病医療費（法第 18 条関係） | 19 | —    |
|   | 母子保健法による養育医療（法第 20 条関係）  |                     | 23 | —    |
|   | 児童福祉法による小児慢性特定疾病医療支援（法第 19 条の 2 関係）  |                     | 52 | —    |
| 制 | 難病の患者に対する医療等に関する法律による  | ○特定医療（法第 5 条関係）     | 54 | —    |
|   | 特定疾患治療費、先天性血液凝固因子障害等治療費、水俣病総合対策費の国庫補助による療養費及び研究治療費、茨城県神栖町における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業要綱による医療費及びメチル水銀の健康影響による治療研究費                             |                     | 51 | —    |
|   | 肝炎治療特別促進事業に係る医療の給付及び肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業による高療該当肝がん・重度肝硬変入院関係医療に係る医療費の支給   |                     | 38 | —    |
|   | 児童福祉法の措置等に係る医療の給付  |                     | 53 | —    |
|   | 石綿による健康被害の救済に関する法律による医療費の支給（法第 4 条関係）  |                     | 66 | —    |
|   | 特定 B 型肝炎ウイルス感染症給付費等の支給に関する特別措置法による定期検査費及び母子感染症防止医療費の支給（法第 12 条第 1 項及び第 13 条第 1 項関係）  |                     | 62 | —    |
|   | 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律第 14 条第 4 項に規定する医療支援給付（中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律附則第 4 条第 2 項において準用する場合を含む。） |                     | 25 | —    |
| 度 | 生活保護法による医療扶助（法第 15 条関係）  |                     | 12 | （生保） |

別表 2

## 都道府県番号表

| 都道府県名 | コード      | 都道府県名 | コード      | 都道府県名 | コード      |
|-------|----------|-------|----------|-------|----------|
| 北海道   | 01 又は 51 | 石川    | 17 又は 67 | 岡山    | 33 又は 83 |
| 青森    | 02 又は 52 | 福井    | 18 又は 68 | 広島    | 34 又は 84 |
| 岩手    | 03 又は 53 | 山梨    | 19 又は 69 | 山口    | 35 又は 85 |
| 宮城    | 04 又は 54 | 長野    | 20 又は 70 | 徳島    | 36 又は 86 |
| 秋田    | 05 又は 55 | 岐阜    | 21 又は 71 | 香川    | 37 又は 87 |
| 山形    | 06 又は 56 | 静岡    | 22 又は 72 | 愛媛    | 38 又は 88 |
| 福島    | 07 又は 57 | 愛知    | 23 又は 73 | 高知    | 39 又は 89 |
| 茨城    | 08 又は 58 | 三重    | 24 又は 74 | 福岡    | 40 又は 90 |
| 栃木    | 09 又は 59 | 滋賀    | 25 又は 75 | 佐賀    | 41 又は 91 |
| 群馬    | 10 又は 60 | 京都    | 26 又は 76 | 長崎    | 42 又は 92 |
| 埼玉    | 11 又は 61 | 大阪    | 27 又は 77 | 熊本    | 43 又は 93 |
| 千葉    | 12 又は 62 | 兵庫    | 28 又は 78 | 大分    | 44 又は 94 |
| 東京都   | 13 又は 63 | 奈良    | 29 又は 79 | 宮崎    | 45 又は 95 |
| 神奈川県  | 14 又は 64 | 和歌山   | 30 又は 80 | 鹿児島   | 46 又は 96 |
| 新潟    | 15 又は 65 | 鳥取    | 31 又は 81 | 沖縄    | 47 又は 97 |
| 富山    | 16 又は 66 | 島根    | 32 又は 82 |       |          |

「厚生労働大臣が定める病院の診療報酬請求書等の記載要領について」（平成 18 年 3 月 30 日保  
医発第 0330007 号）

## 別紙

### 診療報酬請求書等の記載要領

#### I 一般的事項

「診療報酬請求書等の記載要領等について」（昭和 51 年 8 月 7 日保険発第 82 号。以下「一般記載要領」という。）別紙 1 の I と同様であること。

#### II 診療報酬明細書（様式第 10）の記載要領

##### 1 診療報酬明細書の記載要領に関する一般的事項

次に掲げるもののほかは、一般記載要領別紙 1 の II 第 3 の 1 の（1）、（2）、（4）及び（9）と同様であること。

（1） 同一の被保険者等が 2 以上の傷病について診療を受けた場合においても、1 件の診療報酬明細書（以下「明細書」という。）に併せて記載すること。

（2） 月の途中において保険者番号の変更があった場合は、保険者番号ごとに、それぞれ別の明細書を作成すること。高齢受給者証若しくは後期高齢者の被保険者証が月の途中に発行されること等により給付額を調整する必要がある場合又は公費負担医療単独の場合において公費負担者番号若しくは公費負担医療の受給者番号の変更があった場合も、同様とすること。

なお、月の途中にかかわらず上記変更が生じ、別の明細書を作成する場合、変更前の明細書の「出来高部分」欄及び変更後の明細書の「包括評価部分」欄にその旨（例 社本より国保 ○年○月○日）を記載すること。また、変更後の明細書に変更前の明細書の「患者基礎情報」欄及び「包括評価部分」欄の内容を記載すること。

##### 2 明細書の記載要領に関する事項

次に掲げるもののほかは、一般記載要領別紙 1 の II 第 3 の 2 の（1）から（9）まで、（11）から（13）まで、（21）から（23）まで及び（25）から（27）までと同様であること。この場合、入院分と入院外分に係る記載がなされている事項の場合にあっては、入院分の記載に係る例によること。

（1） 「保険医療機関の所在地及び名称」欄について

保険医療機関指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た所在地及び名称を記載すること。この場合、所在地とともに、連絡先電話番号を記載すること。

（2） 「分類番号」欄及び「診断群分類区分」欄について

「分類番号」欄及び「診断群分類区分」欄には厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法（平成 20 年厚生労働省告示第 93 号）別表 19 に掲げる「診断群分類番号」並びに「傷病名」、「手術名」、「手術・処置等 1」、「手術・処置等 2」、「定義副傷病」及び「重症度等」の内容のうち該当するもの全て記載すること。

（3） 「傷病名」欄及び「副傷病名」欄について

「傷病名」欄には診断群分類区分を決定する根拠となった「医療資源を最も投入した傷病名（医療

資源を投入した傷病名が確定していない場合には入院の契機となった傷病名)」及びその対応する ICDコード（5桁まで（5桁目が存在しない場合は4桁まで、4桁目が存在しない場合は3桁まで）。以下同じ。）を記載すること。「副傷病名」欄には、「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」（令和6年3月21日保医発0321第6号）（以下「留意事項通知」という。）の別添2定義テーブルに掲げる「定義副傷病」名及びその対応するICDコードを記載すること。

なお、傷病名については、原則として、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」（令和2年4月28日保発0428第3号）（本通知が改正された場合は、改正後の通知によること。以下同じ。）の別添3に規定する傷病名を用いること。また、別添3に規定する傷病名と同一の傷病でありながら名称が異なる傷病名については、「傷病名コードの統一の推進について」（令和6年3月27日医療課事務連絡）（以下「傷病名コードの統一の推進について」という。）に取りまとめたので、これを参照し、原則として、傷病名コードに記載されたものを用いること。

(4) 「今回入院年月日」欄について

入院年月日（DPC算定対象となる病棟等以外の病棟（以下「対象外病棟」という。）からDPC算定対象となる病棟等に転棟した場合は転棟年月日）を和暦により記載すること。また、退院時には診断群分類点数表により療養に要する費用の額を算定することとなった場合は当該入院の年月日を記載すること。

なお、留意事項通知の第3の1の(7)同一傷病等での再入院に係る取扱いに基づく7日以内の再入院があった場合（以下「7日以内の再入院」という。）には前回入院と一連の入院とみなした入院年月日を記載すること。また、特別の関係にある保険医療機関に診断群分類の上2桁が同一の傷病で転院した場合又は7日以内に再入院した場合も一連の入院とみなした入院年月日を記載し、併せて「出来高部分」欄に「特別」と記載すること。

(5) 「今回退院年月日」欄について

退院年月日を和暦により記載すること。ただし、診断群分類点数表等による診療報酬額の算定を終了する場合には、当該終了日を記載すること。

なお、7日以内の再入院があった場合には、前回入院と一連の入院とみなした退院年月日を記載すること。また、特別の関係にある保険医療機関に診断群分類の上2桁が同一の傷病で転院した場合又は7日以内に再入院した場合も一連の入院とみなした退院年月日を記載し、併せて「出来高部分」欄に「特別」と記載すること。

(6) 「診療実日数」欄について

① 「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、それぞれ医療保険（健康保険、国民健康保険及び後期高齢者医療をいう。以下同じ。）、第1公費及び第2公費に係る診療実日数を記載すること。なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の診療実日数は、「公費①」の項に記載すること。

ただし、第1公費に係る診療実日数が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る診療実日数を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る診療実日数が第1公費に係る診療実日数と同じ場合は、第2公費に係る診療実日数の記載を省略しても差し支えないこと。

② 診療実日数は、入院日数を記載することとし、入退院日は、それぞれ1日として数えること。なお、7日以内の再入院があった場合には、当該退院日の翌日から再入院の前日までの日数は含めないこと。

(7) 「転帰」欄について

当該患者の退院時における転帰については、以下の左に掲げる状態に応じ、右の番号及び状態を記載すること。

|   |       |
|---|-------|
| 医療資源を最も投入した傷病が治癒したと判断される場合                    | 1 治癒  |
| 医療資源を最も投入した傷病が軽快したと判断される場合                    | 2 軽快  |
| 医療資源を最も投入した傷病が寛解したと判断される場合                    | 3 寛解  |
| 医療資源を最も投入した傷病が不変と判断される場合                      | 4 不変  |
| 医療資源を最も投入した傷病が増悪したと判断される場合                    | 5 増悪  |
| 医療資源を最も投入した傷病による死亡の場合                         | 6 死亡  |
| 医療資源を最も投入した傷病以外による死亡の場合                       | 7 外死亡 |
| DPC算定対象となる病棟等以外又は入院日Ⅲを<br>超えている等に該当し対象外となった場合 | 9 その他 |

(8) 「傷病情報」欄について

① 「傷病情報」欄については、次のア及びイに掲げる事項については必ず記載し、ウからオまでに掲げる事項については該当がある場合は順次記載すること。

ア 「主傷病名」

医療資源の投入量の多寡にかかわらず、医師が医学的判断に基づき決定した主傷病名を原則として1つ記載すること。

イ 「入院の契機となった傷病名」

今回入院し治療する必要があると判断する根拠となった傷病名を1つ記載すること。

ウ 「医療資源を2番目に投入した傷病名」

医療資源を2番目に投入した傷病名を記載すること。

エ 「入院時併存傷病名」

入院時に併存している傷病名（重要なものから最大4つまで記載すること。ただし、3つ以下の場合は記載傷病名のみとみなす。）を記載すること。

オ 「入院後発症傷病名」

入院後に発症した傷病名（重要なものから最大4つまで記載すること。ただし、3つ以下の場合は記載傷病名のみとみなす。）を記載すること。

② 心身医学療法を算定する場合にあつては、例えば「胃潰瘍（心身症）」のように、心身症による当該身体的傷病の次に「（心身症）」と記載すること。なお、この際のICDコードは、身体的傷病に対応するコードによること。

③ 「転帰」欄に「7 外死亡」と記載した場合には、死亡診断書に記入した死因を記載すること。その際、傷病名の前に「死因」と明記すること。

(注) 「入院時併存傷病名」及び「入院後発症傷病名」については、診断群分類区分の決定に影響を与えない場合であっても、診療上、重要な傷病名は、記載する必要があること。この場合「入院時併存傷病名」及び「入院後発症傷病名」については、当月分の出来高算定部分の記載内容にも配慮しつつ、重要なものからそれぞれ最大4つまで記載すること。

なお、退院時処方投与の原因となった傷病については、当該傷病名欄に記載可能な傷病名数の範囲において、処方内容に配慮しつつ、重要なものから記載すること。

傷病名については、原則として、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」に規定する傷病名を用いるとともに、併せてICDコード

を用いること。さらに、別添3に規定する傷病名と同一の傷病でありながら名称が異なる傷病名については、「傷病名コードの統一の推進について」を参照し、原則として傷病名コードに記載されたものを用いること。

(9) 「入退院情報」欄について

「入退院情報」欄については、次の②に掲げる事項については必ず記載し、①、③及び④に掲げる事項については該当がある場合は順次記載すること。

① 「DPC算定対象となる病棟等以外の病棟移動の有無」について

対象外病棟へ転棟又は対象外病棟からDPC算定対象となる病棟等へ転棟した場合は、「有」と記載すること。

② 「予定・緊急入院区分」について

予め当該医療機関に入院すること（入院日）が決まってい、その日に入院した場合は「1 予定入院」、「1 予定入院」以外の場合は「2 緊急入院」と記載すること。ただし、緊急入院等の場合のうち、救急自動車又はドクターヘリにより搬入された場合は「3 緊急入院（2以外の場合）」と記載すること。

③ 「前回退院年月日」について

当該医療機関において入院歴がある場合は、前回の退院年月日を和暦で記載すること。

なお、7日以内の再入院があった場合には前回入院を一連の入院とみなし、それ以前の退院年月日を記載すること。

④ 「前回同一傷病での入院の有無」について

当該医療機関において、今回入院時の入院契機病名と前回入院時に最も医療資源を投入した傷病名が同一（診断群分類の上2桁が同一）である場合に「有」を記載すること。

(10) 「診療関連情報」欄について

診断群分類区分を決定するために必要な以下の事項を定義テーブルの定めに従い記載すること。

① 入院時年齢、出生時体重、120170 早産、切迫早産においては「入院時の妊娠週数」、120260 分娩の異常においては「分娩時出血量」、JCS（Japan Coma Scale）及びBurn Index（記載例）

※120170 早産、切迫早産の場合

例)

妊娠週数 32

② 手術、手術・処置等1、手術・処置等2について、名称（医科点数表において区分・名称が定められている場合にあつては、その区分及び名称）及び実施日（実施予定として診断群分類区分を決定した場合には実施予定日）

なお、手術・処置等1及び手術・処置等2において、同一の処置等が複数回実施された場合には、実施日に代え、当該入院における処置等の開始日を記載すること。

③ 診断群分類点数表における重症度等に該当する場合にあつては、重症度等

なお、010060 脳梗塞においては「発症時期」、040080 肺炎等においては「市中肺炎への該当の有無」及び「A-DROP スコア」、050030 急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞、050050 狭心症、慢性虚血性心疾患、050130 心不全及び160800 股関節・大腿近位の骨折においては「他の病院・診療所の病棟からの転院・転院以外」、060300 肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）においては「Child-Pugh 分類」を記載すること。

（記載例）

※040080 肺炎等の場合

例 1)

市中肺炎かつ 15 歳以上 65 歳未満

A-DROPスコア 0

例 2)

入院時年齢：20 歳

市中肺炎

A-DROPスコア 0

(11) 「包括評価部分」欄について

- ① 「包括評価部分」欄については、診断群分類点数表等に基づき、各月の算定式を記載すること。  
(記載例参照)
- ② 入院月が複数月ある場合は、退院するまでの各月診療分を全て記載すること。
- ③ 退院月に適用する診断群分類区分が入院中の診断群分類区分と異なる場合は、退院月の「診療分」の下段に「調整分」と記載し、当該調整に係る調整点数を月毎に記載すること。その上で、退院月の診療分と調整分の合計点数を「〇月請求分」として記載すること。
- ④ 診療報酬改定日以降の診療報酬明細書については、診療報酬改定日以前の請求月分までの算定式の記載を省略して差し支えないこと。
- ⑤ 外泊した場合は、「外泊」と記載し、外泊した日を記載すること。また、連続した2日を超える場合は、外泊の開始日と終了日を「～」等で結ぶことにより記載して差し支えないこと。なお、算定に当たっては、「出来高部分」欄に記載すること。
- ⑥ 7日以内の再入院については、「7日以内の再入院までの日 〇日、〇日」、転棟した日から起算して7日以内の再転棟については、「7日以内の再転棟までの日 〇日、〇日」と記載すること。なお、当該診療年月の月末日に退院（転棟）した後、翌月7日以内に当該傷病名による再入院（転棟）を行う予定がある場合には、「翌月再入院（転棟）予定あり」と記載すること。

(記載例)

※ 入院日Ⅰ以下：入Ⅰ

入院日Ⅰを超えて入院日Ⅱ以下：入Ⅱ

入院日Ⅱを超えて入院日Ⅲ以下：入Ⅲ

1点未満については四捨五入

例 1：脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等 2 1あり 定義副傷病 あり

(6月3日入院、8月4日退院の場合)の例(8月診療分)

|   |    |  |                                       |
|---|----|--|---------------------------------------|
| 1 | 93 | 6月診療分  |                                       |
|   |    | 入Ⅰ   | $3,436 \times 24 = \text{小計} \dots a$ |
|   |    | 入Ⅱ   | $2,154 \times 4 = \text{小計} \dots b$  |
|   |    | $(a+b) \times 6 \text{月医療機関別係数} = \text{合計}$ |                                       |
|   |    | 7月診療分  |                                       |
|   |    | 入Ⅱ   | $2,154 \times 19 = \text{小計} \dots c$ |
|   |    | 入Ⅲ   | $1,831 \times 12 = \text{小計} \dots d$ |
|   |    | $(c+d) \times 7 \text{月医療機関別係数} = \text{合計}$ |                                       |
|   |    | 8月診療分  |                                       |
|   |    | 入Ⅲ   | $1,831 \times 4 = \text{小計} \dots e$  |

|   |
|---|
| $e \times 8 \text{ 月医療機関別係数} = \text{合計}$ |
|---|

例 2 : 急性心筋梗塞 (続発性合併症を含む。) 、再発性心筋梗塞 経皮的冠動脈形成術等  
手術・処置等 1 なし、1 あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし

→ 急性心筋梗塞 (続発性合併症を含む。) 、再発性心筋梗塞 経皮的冠動脈形成術等  
手術・処置等 1 5 あり 手術・処置等 2 なし に変更の場合  
(6 月 17 日入院、7 月 3 日診断群分類区分変更、7 月 12 日退院の場合) の例  
(7 月診療分)

|   |    |   |
|---|----|---|
|   |    | <p>6 月診療分</p> <p style="padding-left: 20px;">入 I <math>3,103 \times 5 = \text{小計} \cdots a</math></p> <p style="padding-left: 20px;">入 II <math>2,201 \times 6 = \text{小計} \cdots b</math></p> <p style="padding-left: 20px;">入 III <math>1,871 \times 3 = \text{小計} \cdots c</math></p> <p style="padding-left: 40px;"><math>(a+b+c) \times 6 \text{ 月医療機関別係数} = \text{合計} \cdots A</math></p> <p>7 月診療分</p> <p style="padding-left: 20px;">入 III <math>1,890 \times 12 = \text{小計} \cdots d</math></p> <p style="padding-left: 40px;"><math>d \times 7 \text{ 月医療機関別係数} = \text{合計} \cdots B</math></p> <p>調整分</p> <p style="padding-left: 20px;">入 I <math>3,134 \times 7 = \text{小計} \cdots e</math></p> <p style="padding-left: 20px;">入 II <math>2,223 \times 7 = \text{小計} \cdots f</math></p> <p style="padding-left: 40px;"><math>(e+f) \times 6 \text{ 月医療機関別係数} - A = \text{合計} \cdots C</math></p> <p>7 月請求分 <math>B + C = \text{合計}</math></p> |
| 1 | 93 |   |

(12) 「出来高部分」欄について

① 算定した医科点数表における所定点数の名称及び点数を記載すること。なお、その記載は一般記載要領別紙 1 の II 第 3 の 2 の (20) の例によるものとする。

② 特定入院料を算定する治療室に係る加算の記載については以下による。

ア 特定入院料を算定する治療室に係る加算を算定した場合は、当該項目名及び点数を記載すること。

なお、救命救急入院料を算定している患者、特定集中治療室管理料を算定している患者及び小児入院医療管理料を算定している患者について加算がある場合にあっては、それぞれの加算後の点数を記載すること。

イ 特定入院料に係る名称、回数及び点数以外の記載すべき事項等について、「一般記載要領」別紙 1 の次のものを参照し、「出来高部分」欄に記載すること。

(ア) 別表 I 「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧 (医科)」

(イ) 別表 II 「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧 (薬価基準)」

(ウ) 別表 III 「診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等一覧 (検査値)」

なお、電子レセプトによる請求の場合、別表 I から別表 III までの「レセプト電算処理システム用コード」欄にコードが記載された項目については、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格」に基づき、該当するコードを選択すること。ただし、別表 I から別表 III において、令和 6 年 6 月 1 日適用の旨が表示されたコードについては、令和 6 年 10 月診療分以降に選択するものとして差し支えないこと。

③ 電子情報処理組織の使用による請求又は光ディスク等を用いた請求により療養の給付等の請求



を行う場合については、請求する各点数の算定日ごとに回数を記録して請求するものとし、各規定により「出来高部分」欄に算定日（初回算定日及び前回算定日等の当該請求月以外の算定日を除く。）を記載することとされている点数については、その記録を省略することができる。

(13) 明細書提出時における診療行為内容の添付について

- ① 明細書については、その診療行為の内容がわかる情報（以下「コーディングデータ」という。）を別添様式により添付すること。その場合の具体的な取扱いについては以下のとおりとする。

ア 明細書及びコーディングデータについては、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」により提出すること。ただし、当該提出方法が困難な場合であって明細書を紙媒体により提出する場合についても、コーディングデータは別添様式によりオンライン送信又は電子媒体にて提出すること。

イ コーディングデータについては、明細書の該当月における包括評価による算定を行った期間の診療行為、医薬品（退院時処方薬剤を除く。）及び特定器材の情報（以下「診療行為等」という。）を医科点数表の項目に従い入力すること。なお、特定入院料等を算定している期間については、当該特定入院料等に包括される診療行為等のうち、コーディングに係る診療行為等も併せて入力すること。

- ② 診断群分類 120290 産科播種性血管内凝固症候群及び 130100 播種性血管内凝固症候群（以下「DIC」という。）によって請求する場合、以下の内容を「出来高部分」欄に記載すること。

ア DICの原因と考えられる基礎疾患

イ 厚生労働省DIC基準によるDICスコア又は急性期DIC診断基準（日本救急医学会DIC特別委員会）によるDICスコア

ウ 入院期間中に実施された治療内容（DIC及びDICの原因と考えられる基礎疾患に対する治療を含む。）及び検査値等の推移

(14) その他について

- ① 「包括評価部分」欄及び「出来高部分」欄について、医療保険と公費負担医療の併用又は公費負担医療と公費負担医療の併用の場合は、左側から負担区分、診療行為の診療識別の順に、該当する「負担区分コード番号」及び「診療識別コード番号」を順次記載すること。

- ② 「出来高部分」欄の記載については、それぞれの診療行為を診療識別コード番号の昇順に順次記載すること。

- ③ 明細書の「傷病情報」欄、「入退院情報」欄、「診療関連情報」欄及び「包括評価部分」欄並びに「出来高部分」欄に書ききれない場合は、明細書又は明細書と同じ大きさの用紙に、診療年月、医療機関コード、患者氏名、保険種別（例：1社・国 1単独 1本入）、保険者番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担者番号）、被保険者証・保険者手帳等の記号・番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担医療の受給者番号）を記載した上、「傷病情報」欄、「入退院情報」欄、「診療関連情報」欄、「包括評価部分」欄、「出来高部分」欄の順に該当する所定の内容を記載し、続紙として、これを当該明細書の次に重ね、左上端を貼り付けること。

- ④ 当該病院における入院医療について、同一月において診断群分類点数表等に基づき費用を算定する日と医科点数表に基づき費用を算定する日がある場合は、明細書を総括表とし、「医科入院（様式第2（一））」明細書若しくは明細書又はこれらの明細書と同じ大きさの用紙（以下「出来高明細書」という。）を続紙として添付し、1件の明細書を作成すること。この場合、総括表の記載方法は、一般記載要領別紙1のⅡ第3の2の（1）から（9）まで、（11）から（13）まで及び（18）並びに本通知Ⅱの2の（1）と同様に記載し、「療養の給付」欄及び「食事療養」欄に当該明細書1件の請求額等の合計額がわかるよう記載すること。

⑤ 留意事項通知の第2の1の(1)に規定する、診断群分類区分に該当しないと判断された患者等、診断群分類点数表により診療報酬を算定しない患者については、医科点数表に基づき算定することとなった理由を出来高明細書の「摘要」欄の最上部に記載し、当該患者のうち以下に該当するもの  
に限り、併せてDPCコードを記載すること。

ア 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が定める者（平成20年厚生労働省告示第140号）第2号に該当した患者

イ 診断群分類点数表に定める入院日Ⅲを超えた患者

ウ 医科点数表算定コードに該当した患者

エ 地域包括ケア病棟入院料を届け出る病棟に転棟した患者

なお、当該記載に当たっては、原則、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」の別添1-1又は別添1-2により記載を行うものであること。

（参考：令和6年4月公表予定の記録条件仕様）

- ・ 別添1-1「オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様（医科用）」第1章の3の(4)の「ウ レセプト情報」
- ・ 別添1-2「オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様（DPC用）」第1章の3の(4)の「ウ レセプト総括情報」

（エ）包括評価対象外理由レコード

| 項目        | モード | 最大<br>バイト | 項目<br>形式 | 記 録 内 容   | 備 考                    |
|-----------|-----|-----------|----------|---|------------------------|
| レコード識別情報  | 英数  | 2         | 固定       | “GR”を記録する。  | 平成28年9月診療以前分は、記録を省略する。 |
| 医科点数表算定理由 | 数字  | 2         | 固定       | 医科点数表算定理由コード（別表）を記録する。  |                        |
| DPCコード    | 英数  | 14        | 可変       | 1 医科点数表算定理由コード（別表）の「08：厚生労働大臣が別に定める者（告示別表に掲げる薬剤）の患者であるため」、「09：医科点数表算定コードに該当するため」、「10：入院期間3を超えて入院しているため」及び「11：地域包括ケア病棟入院料を届け出る病棟に転棟したため」に該当する場合は、別に定めるDPCコードを記録する。<br>2 DPCコードの“X”、“A”、“B”、“C”、“D”及び、“E”は半角大文字を記録する。 |                        |

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  | 3 医科点数表算定理由コード（別表）の「01：入院後24時間以内に死亡したため」から「06：厚生労働大臣が別に定める者（特定の手術等）の患者であるため」までに該当する場合は、記録を任意とする。 |  |
|--|--|--|--|--|--|

別表 医科点数表算定理由コード

| コード名         | コード | 内容                                |
|--------------|-----|-----------------------------------|
| 医科点数表算定理由コード | 01  | 入院後24時間以内に死亡したため                  |
|              | 02  | 生後1週間以内に死亡したため                    |
|              | 03  | 評価療養又は患者申出療養を受ける患者であるため           |
|              | 04  | 臓器移植を受ける患者であるため                   |
|              | 05  | 包括評価の対象とならない入院料を算定する患者であるため       |
|              | 06  | 厚生労働大臣が別に定める者（特定の手術等）の患者であるため     |
|              | 08  | 厚生労働大臣が別に定める者（告示別表に掲げる薬剤）の患者であるため |
|              | 09  | 医科点数表算定コードに該当するため                 |
|              | 10  | 入院期間3を超えて入院しているため                 |
|              | 11  | 地域包括ケア病棟入院料を届け出る病棟に転棟したため         |

⑥ 当該病院における入院医療について、同一月に診断群分類点数表等に基づき費用を算定する入院医療が複数回ある場合は、④及び⑤の例により記載すること。

なお、総括表の「出来高部分」欄に入院医療が複数回となった理由を記載すること。

⑦ ④及び⑥の場合において、各種（減・免・猶・Ⅰ・Ⅱ・3月超）のいずれかに○をする場合には、総括表及び明細書のいずれにも○をすること。

⑧ 入院中にやむを得ず他の保険医療機関の外来を受診した場合は、入院医療機関の明細書の「出来高部分」欄に「他医療機関を受診した理由」、「診療科」、他医療機関の名称、所在都道府県名（都道府県番号でも可）及び医療機関コードを記載すること。また、他の保険医療機関で行われた診療行為等の近傍に「他」と記載すること。

⑨ 留意事項通知の第3の1の(7)同一傷病等での再入院に係る取扱い①のまた書きに規定する、直近の入院における「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院時の「入院の契機となった傷病名」の診断群分類の上2桁が異なる場合であって、直近の入院時の「医療資源を最も投入した傷病名」

と再入院時の「医療資源を最も投入した傷病名」の診断群分類の上2桁が同一である場合については、再入院時の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容と経過について「出来高部分」欄に記載すること。

⑩ 留意事項通知の第3の1の(7)同一傷病等での再入院に係る取扱い②に規定する、化学療法の実施日（予定日）及び化学療法の概要を「出来高部分」欄に記載すること。

⑪ 留意事項通知の第3の1の(9)地域包括ケア入院医療管理料1から4までを算定する病室に転室する場合等の取扱いに規定する、入院していた患者が退院の翌日から起算して7日以内に地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室に再入院（転室）する場合については、「入院の契機となった傷病名」の診断群分類を決定し、「出来高部分」欄に記載すること。

なお、当該再入院（転室）が一連の入院に該当しない場合は、地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室への再入院（転室）となった際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容及び経過について「摘要」欄に記載すること。

⑫ 留意事項通知の第3の1の(10)地域包括ケア病棟入院料1から4までを算定する病棟に転棟する場合等の取扱いに規定する、入院していた患者が退院の翌日から起算して7日以内に地域包括ケア病棟入院料を算定する病室に再入院（転棟）する場合については、「入院の契機となった傷病名」の診断群分類を決定し、「出来高部分」欄に記載すること。

なお、当該再入院（転棟）が一連の入院に該当しない場合は、地域包括ケア病棟入院料を算定する病棟への再入院（転棟）となった際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容及び経過について「摘要」欄に記載すること。

⑬ 五号告示第3号の規定により、医療資源を最も投入した傷病名がU07.1又はU07.2に該当し医科点数表に基づき算定する場合、出来高明細書の「摘要」欄に「U07.1」又は「U07.2」と記載すること。

別添様式

コーディングデータに係る記録条件仕様

令和6年6月版

# 目 次

頁

|     |                                  |    |
|-----|----------------------------------|----|
| 第1章 | 電子情報処理組織の使用によるコーディングデータの提出に関する事項 | 1  |
| 1   | 電気通信回線                           | 1  |
| 2   | 厚生労働大臣が定める事項                     | 1  |
| 3   | 厚生労働大臣が定める方式                     | 1  |
| (1) | 記録形式                             | 1  |
| (2) | ファイル構成                           | 1  |
| (3) | 情報表記仕様                           | 1  |
| ア   | 提出ファイルの構成                        | 1  |
| イ   | 提出ファイル構成イメージ                     | 2  |
| ウ   | レコード形式                           | 3  |
| エ   | 内容を表現する文字の符号                     | 3  |
| (4) | 各種レコードの記録要領に関する事項                | 4  |
| ア   | 医療機関情報                           | 4  |
|     | 医療機関情報レコード                       | 4  |
| イ   | レセプト共通情報                         | 5  |
|     | レセプト共通レコード                       | 5  |
| ウ   | レセプト情報                           | 6  |
| (ア) | 保険者レコード                          | 6  |
| (イ) | 公費レコード                           | 7  |
| エ   | コーディングデータ情報                      | 8  |
|     | コーディングデータレコード                    | 8  |
| オ   | 診療報酬請求書情報                        | 8  |
|     | 診療報酬請求書レコード                      | 8  |
| 第2章 | 光ディスク等を用いたコーディングデータの提出に関する事項     | 9  |
| 1   | 光ディスクに関する事項                      | 9  |
| (1) | マグネットオプティカルディスク (MO)             | 9  |
| ア   | 媒体関連仕様                           | 9  |
| (ア) | 媒体及び物理フォーマット                     | 9  |
| (イ) | 論理フォーマット                         | 9  |
| (ウ) | ファイル構成                           | 9  |
| イ   | 情報表記仕様                           | 9  |
| (ア) | 提出ファイルの構成                        | 9  |
| (イ) | 提出ファイル構成イメージ                     | 9  |
| (ウ) | レコード形式                           | 9  |
| (エ) | 内容を表現する文字の符号                     | 9  |
| ウ   | 各種レコードの記録要領に関する事項                | 10 |
| (ア) | 医療機関情報                           | 10 |
| (イ) | レセプト共通情報                         | 10 |
| (ウ) | レセプト情報                           | 10 |
| (エ) | コーディングデータ情報                      | 10 |
| (オ) | 診療報酬請求書情報                        | 10 |
| (2) | コンパクトディスク (CD-R)                 | 10 |
| ア   | 媒体関連仕様                           | 10 |
| (ア) | 媒体及び物理フォーマット                     | 10 |
| (イ) | 論理フォーマット                         | 10 |
| (ウ) | ファイル構成                           | 10 |
| イ   | 情報表記仕様                           | 10 |
| (ア) | 提出ファイルの構成                        | 10 |
| (イ) | 提出ファイル構成イメージ                     | 10 |
| (ウ) | レコード形式                           | 10 |
| (エ) | 内容を表現する文字の符号                     | 10 |

|      |                      |    |
|------|----------------------|----|
| ウ    | 各種レコードの記録要領に関する事項    | 10 |
| (ア)  | 医療機関情報               | 10 |
| (イ)  | レセプト共通情報             | 10 |
| (ウ)  | レセプト情報               | 10 |
| (エ)  | コーディングデータ情報          | 10 |
| (オ)  | 診療報酬請求書情報            | 10 |
| 2    | フレキシブルディスク（FD）に関する事項 | 11 |
| (1)  | 媒体関連仕様               | 11 |
| ア    | 媒体及び物理フォーマット         | 11 |
| (ア)  | 媒体                   | 11 |
| (イ)  | 物理フォーマット             | 11 |
| イ    | 論理フォーマット             | 11 |
| ウ    | ファイル構成               | 11 |
| (2)  | 情報表記仕様               | 11 |
| ア    | 提出ファイルの構成            | 11 |
| イ    | 提出ファイル構成イメージ         | 11 |
| ウ    | レコード形式               | 11 |
| エ    | 内容を表現する文字の符号         | 11 |
| (3)  | 各種レコードの記録要領に関する事項    | 11 |
| ア    | 医療機関情報               | 11 |
| イ    | レセプト共通情報             | 11 |
| ウ    | レセプト情報               | 11 |
| エ    | コーディングデータ情報          | 11 |
| オ    | 診療報酬請求書情報            | 11 |
| 別表   | 各種コードに関する事項          | 12 |
| 別表 1 | 審査支払機関コード            | 12 |
| 別表 2 | 都道府県コード              | 13 |
| 別表 3 | 点数表コード               | 13 |
| 別表 4 | 診療科名コード              | 14 |
| 別表 5 | 削除                   | 14 |
| 別表 6 | レセプト種別コード（DPC）       | 15 |
| 別表 7 | 男女区分コード              | 16 |
| 別表 8 | 診療識別コード              | 16 |
| 別表 9 | 特定器材単位コード            | 17 |
| 別添   | 電子媒体への表記             | 19 |

第1章 電子情報処理組織の使用によるコーディングデータの提出に関する事項

審査支払機関の使用に係る電子計算機と、保険医療機関の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織を使用したコーディングデータの提出を行う場合の電気通信回線及び厚生労働大臣の定める事項並びに方式については本章の定めるところによる。

1 電気通信回線

電気通信回線は、ISDN回線を利用したダイヤルアップ接続、閉域IP網を利用したIP-VPN接続またはオープンなネットワークにおいてはIPsec(IETF(Internet Engineering Task Force)において標準とされた、IP(Internet Protocol)レベルの暗号化機能。認証や暗号のプロトコル、鍵交換のプロトコル、ヘッダー構造など複数のプロトコルの総称)とIKE(Internet Key Exchange;IPsecで用いるインターネット標準の鍵交換プロトコル)を組み合わせた接続とする。

2 厚生労働大臣が定める事項

診療報酬明細書情報及び診療報酬請求書情報とする。

3 厚生労働大臣が定める方式

(1) 記録形式

CSV形式とする。

(2) ファイル構成

ファイル名を“CODING”とし、拡張名を“DPC”とする。

(3) 情報表記仕様

ア 提出ファイルの構成

ファイルの構成は、次のとおりとする。

(ア) ファイルは1ボリューム1ファイルとする。

(イ) 1ボリュームに収まらないような保険医療機関単位のレセプトは、レセプト単位に分割して別ボリュームに記録する。

(ウ) ファイルは改行コードにより複数レコードに分割し、レコードの組み合わせにて構成する。

(エ) 1ファイル内のレコードの種類及び記録順は、次の表のとおりとする。

| レコードの種類   |             | 識別情報 | 備考             | 記録 |
|-----------|-------------|------|----------------|----|
| 医療機関情報    | 医療機関情報レコード  | IR   | 1ファイル単位の先頭に記録  | 必須 |
| レセプト      | (別記)        | (別記) | 1ファイル単位内に1以上記録 | 必須 |
| 診療報酬請求書情報 | 診療報酬請求書レコード | GO   | 1ファイル単位の最後に記録  | 必須 |

(オ) レセプトファイルを構成するレセプトは、DPCレセプト及び総括対象DPCレセプトとする。

| 区 分         | 内 容                         |
|-------------|-----------------------------|
| DPCレセプト     | 診断群分類適用入院レセプト               |
| 総括対象DPCレセプト | 総括レセプトの明細情報である診断群分類適用入院レセプト |

注 DPCレセプト及び総括対象DPCレセプトは同一ファイルに記録する。

(カ) 1レセプト内のレコードの種類及び記録順は、次の表のとおりとする。

| レコードの種類       |         | 識別情報 | 備考  | 記録   | 複数   |
|---------------|---------|------|---|------|------|
| レセプト共通レコード    |         | RE   | レセプト単位データの先頭に記録                             | 必須   | 不可   |
| レセプト<br>情報    | 保険者レコード | HO   | 医療保険レセプトの場合に記録                              | (別記) | 不可   |
|               | 公費レコード  | KO   | 公費負担医療レセプトの場合に記録                            | (別記) | (別記) |
| コーディングデータレコード |         | CD   | 包括評価部分に係る診療行為の内容が分かる情報を出来高部分に係る診療行為の情報も含め記録 | 必須   | 可    |



(キ) レセプト情報は、レセプト種別ごとに必要なレコードを記録する。  
 明細情報単位に記録が必要なレセプト情報は、次のとおりとする。

| レセプト種別              | 保険者レコード <sup>1</sup> | 公費レコード <sup>2</sup>        |
|---------------------|----------------------|----------------------------|
| 医療保険単独              | ○                    | ×                          |
| 医療保険と1～4種の公費負担医療の併用 | ○                    | ○（1～4レコード <sup>3</sup> 記録） |
| 公費負担医療単独            | ×                    | ○（1レコード <sup>3</sup> 記録）   |
| 2～4種の公費負担医療の併用      | ×                    | ○（2～4レコード <sup>3</sup> 記録） |

注1 国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療については、医療保険を国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療と読み替える。

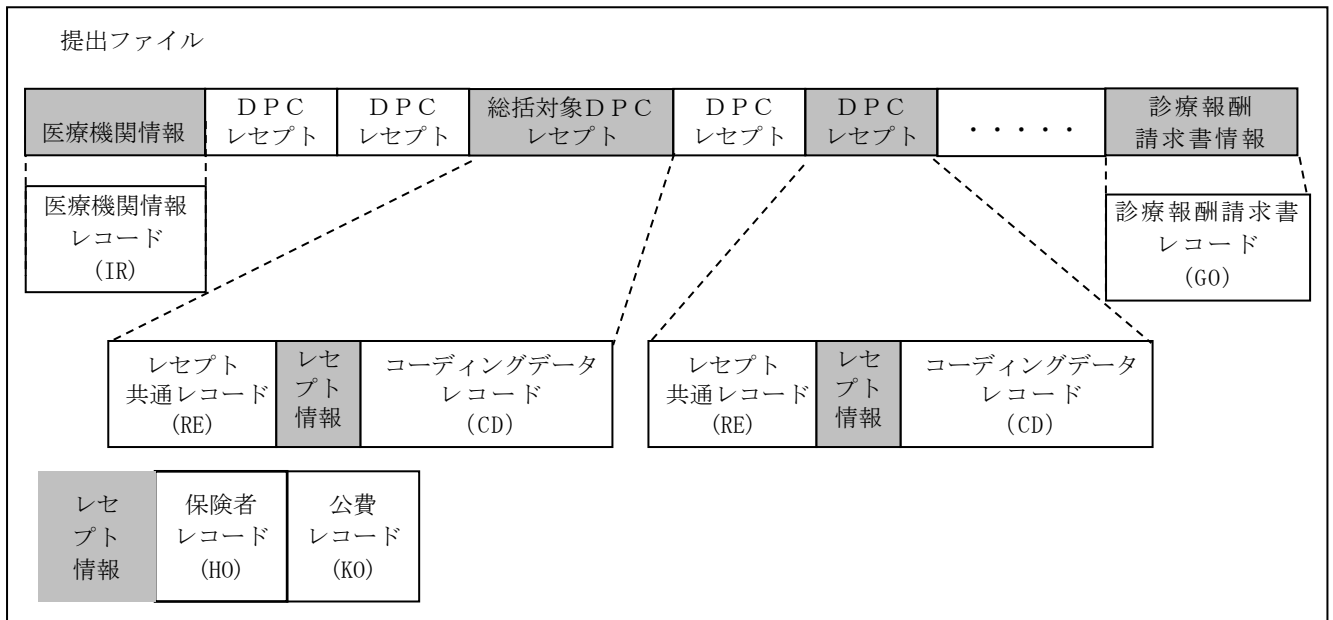
なお、令和6年4月診療以降分の退職者医療については、記録しない。

2 ○は記録必須を、×は記録不可を示す。

3 公費レコードを複数記録する場合は、「法別番号及び制度の略称表」（診療報酬請求書等の記載要領）に示す順番により、先順位の公費負担医療を第一公費として最初に記録し、後順位の公費負担医療を第二公費、第三公費、第四公費として順次記録する。

(ク) ファイル最終レコードの最終部分は、改行コードの後にファイルの終わりを示す1バイトの文字列（以下「EOFコード」という。）を記録する。

イ 提出ファイル構成イメージ



ウ レコード形式

(ア) レコード形式は可変長レコードとし、各レコードの末尾には改行コードを入れる。

(イ) レコード内の各項目間は、コンマで区切る。(数値項目の編集に、位取り用のコンマを使用しない。)

(ウ) 各項目は最大バイト数を規定し、項目形式が固定の項目については最大バイト数で記録し、可変の項目については有効桁(文字)までの記録とする。

なお、有効桁(文字)以降に継続する“スペース”は記録しない。

モード(項目形式)ごとの文字種別及び詳細内容は次のとおりとする。

| モード | 項目形式 | 文字種別 | 詳細内容  |
|-----|------|------|---|
| 数字  | 可変   | 半角数字 | 上位桁のゼロ及び小数点以下の下位桁のゼロを除いた数字(小数点以下が全てゼロの場合は小数点も除く)を記録する。ただし、別表等に規定されているコードの1文字目等の“0”及び特に定める場合の“0”については記録する。<br>【記録例】<br>(誤)「01」→(正)「1」<br>※別表等に規定されているコードが“01”である場合(正)「01」<br>(誤)「1.0」→(正)「1」<br>(誤)「1.10」→(正)「1.1」<br>(誤)「0.00」→(正)「0」 |
|     | 固定   | 半角数字 | 最大バイト数で記録する。  |
| 英数  | 可変   | 半角英数 | 有効文字までの記録とする。<br>ただし、別表等に規定されているコードの1文字目等の“0”及び特に定める場合の“0”については記録する。<br>【記録例】<br>(誤)「01」→(正)「1」<br>※別表等に規定されているコードが“01”である場合(正)「01」   |
|     | 固定   | 半角英数 | 最大バイト数で記録する。  |
| 漢字  | 可変   | 全角文字 | 有効文字までの記録とする。   |
|     | 固定   | 全角文字 | 最大バイト数で記録する。  |

(エ) 対象の年の記録に当たっては西暦を使用し、時刻の記録に当たっては24時間表記を使用する。

年月日等及び時刻等に関する項目の記録方法は次のとおりとする。

| 項目の内容   | バイト数 | 記録方法         | 記録桁   | 備考   |
|---------|------|--------------|-------|--|
| 年月      | 6    | 数字“YYYYMM”   | 全桁    | YYYY…年(西暦)<br>MM…月<br>DD…日<br>hh…時(24時間表記)<br>mm…分<br>を表す。 |
| 年月日     | 8    | 数字“YYYYMMDD” | 全桁    |  |
| 時刻      | 4    | 数字“hhmm”     | 全桁    |  |
| 時間(n時間) | 2    | 数字“hh”       | 有効桁まで |  |
| 時間(n分)  | 5    | 数字“mmmm”     | 有効桁まで |  |

エ 内容を表現する文字の符号

内容を記録する文字の符号は、JISX0201-1976の8単位符号及びJISX0208-1983の附属書1にて規定されているシフト符号化表現(シフトJIS)によるものとする。

なお、内容を記録する文字以外の制御符号は、次のとおりとする。

| 符号名称    | 図形記号 | 16進数     | バイト数 | 用途                                      |
|---------|------|----------|------|---|
| コンマ     | ,    | (2C)     | 1    | 項目の区切りを表現する。                            |
| 引用符     | ”    | (22)     | 1    | 使用しない。                                  |
| 改行コード   |      | (0D)(0A) | 2    | レコードの区切りを表現する。                          |
| EOFコード  |      | (1A)     | 1    | ファイルの終わりを表現する。                          |
| 疑問符(全角) | ?    | (81)(48) | 2    | 使用しない。(JIS規定外コードが記録された場合、疑問符(全角)に置換する。) |

注 16進数は、0から9及びAからFを括弧でくくって表現する。

(4) 各種レコードの記録要領に関する事項

モードは入力する文字の種別、最大バイトは項目の最大バイト数、項目形式は項目長が固定長か可変長かを示す。

ア 医療機関情報

医療機関情報レコード

| 項目       | モード | 最大バイト | 項目形式 | 記録内容                              | 備考 |
|----------|-----|-------|------|-----------------------------------|----|
| レコード識別情報 | 英数  | 2     | 固定   | “IR”を記録する。                        |    |
| 審査支払機関   | 数字  | 1     | 固定   | 別表 1 審査支払機関コードを記録する。              |    |
| 都道府県     | 数字  | 2     | 固定   | 保険医療機関の所在する<br>別表 2 都道府県コードを記録する。 |    |
| 点数表      | 数字  | 1     | 固定   | 別表 3 点数表コードを記録する。                 |    |
| 医療機関コード  | 数字  | 7     | 固定   | 保険医療機関について定められた医療機関コードを記録する。      |    |
| 予備       | 数字  | 2     | 可変   | 記録を省略する。                          |    |
| 医療機関名称   | 漢字  | 40    | 可変   | 地方厚生(支)局長に届け出た保険医療機関の名称を記録する。     |    |
| 請求年月     | 数字  | 6     | 固定   | 請求年月を西暦で記録する。                     |    |
| 予備       | 数字  | 2     | 可変   | 記録を省略する。                          |    |
| 予備       | 英数  | 15    | 可変   | 記録を省略する。                          |    |

イ レセプト共通情報  
レセプト共通レコード

| 項目       | モード            | 最大<br>バイト | 項目<br>形式 | 記 録 内 容   | 備 考  |
|----------|----------------|-----------|----------|---|--|
| レコード識別情報 | 英数             | 2         | 固定       | “RE” を記録する。   |  |
| レセプト番号   | 数字             | 6         | 可変       | 1 レコードが属するレセプト番号を記録する。<br>2 レセプト番号は、レセプト記録順に1から昇順に連続番号を記録する。          |  |
| レセプト種別   | 数字             | 4         | 固定       | 別表 6 レセプト種別コード (DPC) を記録する。   |  |
| 診療年月     | 数字             | 6         | 固定       | 診療年月を西暦で記録する。   |  |
| 氏 名      | 英数<br>又は<br>漢字 | 40        | 可変       | 1 姓を記録する。<br>2 姓と名の間に1文字分の“スペース”を記録する。<br>3 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。 | モードごとの文字数の上限は次のとおりとする。<br>英数: 40<br>漢字: 20 |
| 男女区分     | 数字             | 1         | 固定       | 別表 7 男女区分コードを記録する。  |  |
| 生年月日     | 数字             | 8         | 固定       | 生年月日を西暦で記録する。   |  |
| 予 備      | 数字             | 3         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 入院年月日    | 数字             | 8         | 固定       | 今回入院年月日を西暦で記録する。  |  |
| 予 備      | 英数             | 8         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 1         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 英数             | 10        | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 4         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| カルテ番号等   | 英数             | 20        | 可変       | カルテ番号又は患者ID番号等を記録する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 2         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 1         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 1         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 診療科コード   | 数字             | 2         | 可変       | 1 診療科を記録する場合は、別表 4 診療科名コードを記録する。<br>2 診療科の記録は任意とする。                   |  |
| 予 備      | 数字             | 1         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 2         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 30        | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 5         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 英数<br>又は<br>漢字 | 40        | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 2         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 3         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 3         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 3         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 3         | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 漢字             | 80        | 可変       | 記録を省略する。  |  |
| 予 備      | 数字             | 60        | 可変       | 記録を省略する。  |  |

ウ レセプト情報  
 (ア) 保険者レコード

| 項目            | モード            | 最大バイト | 項目形式 | 記録内容  | 備考  |
|---------------|----------------|-------|------|---|---|
| レコード識別情報      | 英数             | 2     | 固定   | “HO”を記録する。  |   |
| 保険者番号         | 英数             | 8     | 固定   | 1 保険者番号を記録する。<br>2 保険者番号が8桁に満たない場合は、先頭から“スペース”を記録し、8桁で記録する。   |   |
| 被保険者証（手帳）等の記号 | 英数<br>又は<br>漢字 | 3 8   | 可変   | 1 健康保険被保険者証、船員保険被保険者証、受給資格者票及び国民健康保険被保険者証等の「記号及び番号」欄の記号を記録する。<br>2 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。<br>3 番号のみ設定されている場合は、記録を省略する。 | 記号と番号を合わせた文字数の上限は、モードごとに次のとおりとする。<br>英数：19<br>漢字：19 |
| 被保険者証（手帳）等の番号 | 英数<br>又は<br>漢字 | 3 8   | 可変   | 1 健康保険被保険者証、船員保険被保険者証、受給資格者票及び国民健康保険被保険者証等の「記号及び番号」欄の番号を記録する。<br>2 後期高齢者被保険者証の被保険者番号を記録する。<br>3 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。 |   |
| 予備            | 数字             | 2     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 英数             | 8     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 5     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 2     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 8     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 1     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 3     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 英数             | 9     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 1     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 3     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 6     | 可変   | 記録を省略する。  |   |
| 予備            | 数字             | 8     | 可変   | 記録を省略する。  |   |

## (イ) 公費レコード

| 項目       | モード   | 最大<br>バイト | 項目<br>形式 | 記 録 内 容     | 備 考  |  |
|----------|-------|-----------|----------|-------------|--|--|
| レコード識別情報 | 英数    | 2         | 固定       | “K0” を記録する。 |  |  |
| 公費負担医療   | 負担者番号 | 英数        | 8        | 固定          | 医療券等に記入されている公費負担者番号<br>8桁を記録する。  |  |
|          | 受給者番号 | 数字        | 7        | 可変          | 1 医療券等に記入されている受給者番号7<br>桁を記録する。<br>2 受給者番号が7桁に満たない場合は、先<br>頭から“0”を記録し、7桁で記録する。<br>3 医療観察法（法別30）の場合は、記録<br>を省略する。 |  |
|          | 予 備   | 数字        | 1        | 可変          | 記録を省略する。   |  |
| 予 備      | 数字    | 2         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 英数    | 8         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 英数    | 8         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 数字    | 6         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 英数    | 6         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 数字    | 5         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 数字    | 2         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 数字    | 8         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |
| 予 備      | 数字    | 8         | 可変       | 記録を省略する。    |  |  |

エ コーディングデータ情報

コーディングデータ情報は、「診療識別の昇順」に記録する。

コーディングデータレコード

| 項目                   | モード | 最大<br>バイト | 項目<br>形式 | 記 録 内 容  | 備 考 |
|----------------------|-----|-----------|----------|--|-----|
| レコード識別情報             | 英数  | 2         | 固定       | “CD”を記録する。   |     |
| 実施年月日                | 数字  | 8         | 固定       | 実施年月日を西暦で記録する。   |     |
| 診療識別                 | 数字  | 2         | 固定       | 別表 8 診療識別コードを記録する。   |     |
| 順序番号                 | 数字  | 4         | 可変       | 診療識別及び一連の行為ごとに昇順に番号を記録する。  |     |
| 行為明細番号               | 数字  | 3         | 可変       | 順序番号ごとの行為明細単位に昇順に番号を記録する。  |     |
| レセプト電算処理システム用<br>コード | 数字  | 9         | 固定       | 診療行為コード（入院料、食事療養費、生活療養費及び標準負担額は除く）、医薬品コード又は特定器材コードを記録する。   |     |
| 使用量                  | 数字  | 11        | 可変       | 1 医薬品又は特定器材（酸素の補正率又はフィルム料（乳幼児）加算を除く）の場合は、使用量を記録する。<br>2 整数部5桁、小数部5桁として、整数部と小数部は小数点で区切り記録する。<br>3 その他の場合は、記録を省略する。                                |     |
| 数量データ                | 数字  | 8         | 可変       | 1 数量データの記録が必要な診療行為の場合は、数量データを記録する。<br>2 その他の場合は、記録を省略する。   |     |
| 単位コード                | 数字  | 3         | 可変       | 1 特定器材の場合は、<br>別表 9 特定器材単位コードを記録する。<br>2 単位が規定されている特定器材コードの場合は、記録を省略しても差し支えない。<br>3 酸素の補正率又はフィルム（乳幼児）加算の場合は、記録を省略する。<br>4 診療行為又は医薬品の場合は、記録を省略する。 |     |
| 回 数                  | 数字  | 3         | 可変       | 診療行為、医薬品及び特定器材の回数を記録する。  |     |
| 予 備                  | 漢字  | 254       | 可変       | 記録を省略する。   |     |

オ 診療報酬請求書情報

診療報酬請求書レコード

| 項目       | モード | 最大<br>バイト | 項目<br>形式 | 記 録 内 容                        | 備 考 |
|----------|-----|-----------|----------|--------------------------------|-----|
| レコード識別情報 | 英数  | 2         | 固定       | “G0”を記録する。                     |     |
| 総件数      | 数字  | 6         | 可変       | レセプト共通レコードの最終レコードのレセプト番号を記録する。 |     |
| 予 備      | 英数  | 10        | 可変       | 記録を省略する。                       |     |
| 予 備      | 数字  | 2         | 可変       | 記録を省略する。                       |     |

## 第2章 光ディスク等を用いたコーディングデータの提出に関する事項

保険医療機関から審査支払機関へのコーディングデータの提出を行う場合の厚生労働大臣の定める光ディスク等に係る規格及び厚生労働大臣の定める方式については、記録形式をMS-DOSフォーマットのCSV形式とする。  
なお、提出については光ディスク等に所要の事項を記載したラベル（別添）を貼付する。

### 1 光ディスクに関する事項

#### (1) マグネットオプティカルディスク（MO）

##### ア 媒体関連仕様

##### (ア) 媒体及び物理フォーマット

J I S X 6 2 7 5 - 1 9 9 7 に適合する 9 0 m m 2 3 0 M B 又は J I S X 6 2 7 7 - 1 9 9 8 に適合する 9 0 m m 6 4 0 M B の光ディスクを使用する。

##### (イ) 論理フォーマット

光ディスクの論理フォーマットは J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に規定する情報記録方式に準拠する。

##### (ウ) ファイル構成

光ディスクのファイル構成は以下に規定するものを除き J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に準拠する。

##### a ルートディレクトリのディレクトリ項目は以下のとおりとする。

(a) ボリュームラベル項目の有無は任意とする。

(b) サブディレクトリ指示項目はあってはならない。

(c) ディレクトリ項目のうち使用中のファイル項目を以下に示す。

| 文字位置    | 名 前      | 内 容                           |
|---------|----------|-------------------------------|
| 1～ 8    | 名前       | “CODING”                      |
| 9～1 1   | 拡張名      | “DPC”                         |
| 1 2     | 属性       | (00) 又は (20)                  |
| 1 3～2 2 | 予約       | J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に準拠 |
| 2 3～2 4 | 記録時刻     | J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に準拠 |
| 2 5～2 6 | 記録日付     | J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に準拠 |
| 2 7～2 8 | 先頭クラスタ番号 | J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に準拠 |
| 2 9～3 2 | ファイル長    | J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に準拠 |

注1 文字列は、記述する文字を引用符でくくって表現する。

2 16進数は、0から9及びAからFを括弧でくくって表現する。

b その他のディレクトリ項目はすべて空きディレクトリ項目でなければならない。

##### イ 情報表記仕様

##### (ア) 提出ファイルの構成

第1章-3-(3)-アの「提出ファイルの構成」と同じ。

##### (イ) 提出ファイル構成イメージ

第1章-3-(3)-イの「提出ファイル構成イメージ」と同じ。

##### (ウ) レコード形式

第1章-3-(3)-ウの「レコード形式」と同じ。

##### (エ) 内容を表現する文字の符号

第1章-3-(3)-エの「内容を表現する文字の符号」と同じ。



ウ 各種レコードの記録要領に関する事項

- (ア) 医療機関情報  
第1章-3-(4)-アの「医療機関情報」と同じ。
- (イ) レセプト共通情報  
第1章-3-(4)-イの「レセプト共通情報」と同じ。
- (ウ) レセプト情報  
第1章-3-(4)-ウの「レセプト情報」と同じ。
- (エ) コーディングデータ情報  
第1章-3-(4)-エの「コーディングデータ情報」と同じ。
- (オ) 診療報酬請求書情報  
第1章-3-(4)-オの「診療報酬請求書情報」と同じ。

(2) コンパクトディスク (CD-R)

ア 媒体関連仕様

- (ア) 媒体及び物理フォーマット  
J I S T S X 0 0 2 5 - 2 0 0 5 の規格に適合する 1 2 0 mm コンパクトディスクを使用する。
- (イ) 論理フォーマット  
論理フォーマットは I S O 9 6 6 0 形式 (レベル 1) に準拠する。  
書き込みは、ディスクアットワンス (シングルセッション方式) 方式とする。
- (ウ) ファイル構成  
第2章-1-(1)-ア- (ウ) の「ファイル構成」と同じ。

イ 情報表記仕様

- (ア) 提出ファイルの構成  
第1章-3-(3)-アの「提出ファイルの構成」と同じ。
- (イ) 提出ファイル構成イメージ  
第1章-3-(3)-イの「提出ファイル構成イメージ」と同じ。
- (ウ) レコード形式  
第1章-3-(3)-ウの「レコード形式」と同じ。
- (エ) 内容を表現する文字の符号  
第1章-3-(3)-エの「内容を表現する文字の符号」と同じ。

ウ 各種レコードの記録要領に関する事項

- (ア) 医療機関情報  
第1章-3-(4)-アの「医療機関情報」と同じ。
- (イ) レセプト共通情報  
第1章-3-(4)-イの「レセプト共通情報」と同じ。
- (ウ) レセプト情報  
第1章-3-(4)-ウの「レセプト情報」と同じ。
- (エ) コーディングデータ情報  
第1章-3-(4)-エの「コーディングデータ情報」と同じ。
- (オ) 診療報酬請求書情報  
第1章-3-(4)-オの「診療報酬請求書情報」と同じ。

## 2 フレキシブルディスク（FD）に関する事項

### (1) 媒体関連仕様

#### ア 媒体及び物理フォーマット

##### (ア) 媒体

J I S X 6 2 2 3 - 1 9 8 7 の規格に適合するフレキシブルディスクを使用する。

##### (イ) 物理フォーマット

物理フォーマットは J I S X 6 2 2 5 - 1 9 9 5 に規定する情報記録方式に準拠する。

#### イ 論理フォーマット

論理フォーマットは J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7 に規定する情報記録方式に準拠する。

#### ウ ファイル構成

第 2 章 - 3 - ( 1 ) - ア - ( ウ ) の「ファイル構成」と同じ。

### (2) 情報表記仕様

#### ア 提出ファイルの構成

第 1 章 - 3 - ( 3 ) - ア の「提出ファイルの構成」と同じ。

#### イ 提出ファイル構成イメージ

第 1 章 - 3 - ( 3 ) - イ の「提出ファイル構成イメージ」と同じ。

#### ウ レコード形式

第 1 章 - 3 - ( 3 ) - ウ の「レコード形式」と同じ。

#### エ 内容を表現する文字の符号

第 1 章 - 3 - ( 3 ) - エ の「内容を表現する文字の符号」と同じ。

### (3) 各種レコードの記録要領に関する事項

#### ア 医療機関情報

第 1 章 - 3 - ( 4 ) - ア の「医療機関情報」と同じ。

#### イ レセプト共通情報

第 1 章 - 3 - ( 4 ) - イ の「レセプト共通情報」と同じ。

#### ウ レセプト情報

第 1 章 - 3 - ( 4 ) - ウ の「レセプト情報」と同じ。

#### エ コーディングデータ情報

第 1 章 - 3 - ( 4 ) - エ の「コーディングデータ情報」と同じ。

#### オ 診療報酬請求書情報

第 1 章 - 3 - ( 4 ) - オ の「診療報酬請求書情報」と同じ。

## 各種コードに関する事項

別表 1 審査支払機関コード

| コード名      | コード | 内容           |
|-----------|-----|--------------|
| 審査支払機関コード | 1   | 社会保険診療報酬支払基金 |
|           | 2   | 国民健康保険団体連合会  |

別表 2 都道府県コード

| コード名 | コード | 内 容  |
|------|-----|------|
|      | 01  | 北海道  |
|      | 02  | 青森   |
|      | 03  | 岩手   |
|      | 04  | 宮城   |
|      | 05  | 秋田   |
|      | 06  | 山形   |
|      | 07  | 福島   |
|      | 08  | 茨城   |
|      | 09  | 栃木   |
|      | 10  | 群馬   |
|      | 11  | 埼玉   |
|      | 12  | 千葉   |
|      | 13  | 東京   |
|      | 14  | 神奈川県 |
|      | 15  | 新潟   |
|      | 16  | 富山   |
|      | 17  | 石川   |
|      | 18  | 福井   |
|      | 19  | 山梨   |
|      | 20  | 長野   |
|      | 21  | 岐阜   |
|      | 22  | 静岡   |
|      | 23  | 愛知   |
|      | 24  | 三重   |
|      | 25  | 滋賀   |
|      | 26  | 京都   |
|      | 27  | 大阪   |
|      | 28  | 兵庫   |
|      | 29  | 奈良   |
|      | 30  | 和歌山  |
|      | 31  | 鳥取   |
|      | 32  | 島根   |
|      | 33  | 岡山   |
|      | 34  | 広島   |
|      | 35  | 山口   |
|      | 36  | 徳島   |
|      | 37  | 香川   |
|      | 38  | 愛媛   |
|      | 39  | 高知   |
|      | 40  | 福岡   |
|      | 41  | 佐賀   |
|      | 42  | 長崎   |
|      | 43  | 熊本   |
|      | 44  | 大分   |
|      | 45  | 宮崎   |
|      | 46  | 鹿児島  |
|      | 47  | 沖縄   |

別表 3 点数表コード

| コード名   | コード | 内 容 |
|--------|-----|-----|
| 点数表コード | 1   | 医 科 |

別表 4 診療科名コード

| コード名        | コード        | 内 容 |                      |
|-------------|------------|-----|----------------------|
| 診療科名<br>コード | 診療科コード     | 01  | 内科                   |
|             |            | 02  | 精神科                  |
|             |            | 09  | 小児科                  |
|             |            | 10  | 外科                   |
|             |            | 19  | 皮膚科                  |
|             |            | 20  | 泌尿器科                 |
|             |            | 23  | 産婦人科（産科又は婦人科）        |
|             |            | 26  | 眼科                   |
|             |            | 27  | 耳鼻いんこう科              |
|             |            | 30  | 放射線科（放射線診断科又は放射線治療科） |
|             |            | 31  | 麻酔科                  |
|             |            | 34  | アレルギー科               |
|             |            | 35  | リウマチ科                |
|             |            | 36  | リハビリテーション科           |
|             |            | 37  | 病理診断科                |
|             |            | 38  | 臨床検査科                |
|             |            | 39  | 救急科                  |
|             | 経過措置診療科コード | 03  | 神経科                  |
|             |            | 04  | 神経内科                 |
|             |            | 05  | 呼吸器科                 |
|             |            | 06  | 消化器科                 |
|             |            | 07  | 胃腸科                  |
|             |            | 08  | 循環器科                 |
|             |            | 11  | 整形外科                 |
|             |            | 12  | 形成外科                 |
|             |            | 13  | 美容外科                 |
|             |            | 14  | 脳神経外科                |
|             |            | 15  | 呼吸器外科                |
|             |            | 16  | 心臓血管外科               |
|             |            | 17  | 小児外科                 |
|             |            | 18  | 皮膚泌尿器科               |
|             |            | 21  | 性病科                  |
|             |            | 22  | こう門科                 |
| 24          | 産科         |     |                      |
| 25          | 婦人科        |     |                      |
| 28          | 気管食道科      |     |                      |
| 33          | 心療内科       |     |                      |

注 経過措置診療科コードとは、医療法施行令附則（平成20年2月27日政令第36号）の第二条に掲げる診療科である。

別表 5 削除

別表 6 レセプト種別コード (DPC)

| コード名                 | コード                           | 内 容                                  |
|----------------------|-------------------------------|--------------------------------------|
| レセプト<br>種 別<br>(DPC) | 1111                          | 医科・医保単独/国保単独<br>・本人/世帯主<br>・入院       |
|                      | 1113                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1115                          | 〃 ・ 〃<br>・家族/その他<br>・ 〃              |
|                      | 1117                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者一般・低所得者<br>・ 〃        |
|                      | 1119                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者7割<br>・ 〃             |
|                      | 1121                          | 〃 ・ 医保/国保と1種の公費併用<br>・本人/世帯主<br>・ 〃  |
|                      | 1123                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1125                          | 〃 ・ 〃<br>・家族/その他<br>・ 〃              |
|                      | 1127                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者一般・低所得者<br>・ 〃        |
|                      | 1129                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者7割<br>・ 〃             |
|                      | 1131                          | 〃 ・ 医保/国保と2種の公費併用<br>・本人/世帯主<br>・ 〃  |
|                      | 1133                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1135                          | 〃 ・ 〃<br>・家族/その他<br>・ 〃              |
|                      | 1137                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者一般・低所得者<br>・ 〃        |
|                      | 1139                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者7割<br>・ 〃             |
|                      | 1141                          | 〃 ・ 医保/国保と3種の公費併用<br>・本人/世帯主<br>・ 〃  |
|                      | 1143                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1145                          | 〃 ・ 〃<br>・家族/その他<br>・ 〃              |
|                      | 1147                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者一般・低所得者<br>・ 〃        |
|                      | 1149                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者7割<br>・ 〃             |
|                      | 1151                          | 〃 ・ 医保/国保と4種の公費併用<br>・本人/世帯主<br>・ 〃  |
|                      | 1153                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1155                          | 〃 ・ 〃<br>・家族/その他<br>・ 〃              |
|                      | 1157                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者一般・低所得者<br>・ 〃        |
|                      | 1159                          | 〃 ・ 〃<br>・高齢受給者7割<br>・ 〃             |
|                      | 1211                          | 〃 ・ 公費単独<br>・ 〃                      |
|                      | 1221                          | 〃 ・ 2種の公費併用<br>・ 〃                   |
|                      | 1231                          | 〃 ・ 3種の公費併用<br>・ 〃                   |
|                      | 1241                          | 〃 ・ 4種の公費併用<br>・ 〃                   |
|                      | 1317                          | 〃 ・ 後期高齢者単独<br>・一般・低所得者<br>・ 〃       |
|                      | 1319                          | 〃 ・ 〃<br>・7割<br>・ 〃                  |
|                      | 1327                          | 〃 ・ 後期高齢者と1種の公費併用<br>・一般・低所得者<br>・ 〃 |
|                      | 1329                          | 〃 ・ 〃<br>・7割<br>・ 〃                  |
|                      | 1337                          | 〃 ・ 後期高齢者と2種の公費併用<br>・一般・低所得者<br>・ 〃 |
|                      | 1339                          | 〃 ・ 〃<br>・7割<br>・ 〃                  |
|                      | 1347                          | 〃 ・ 後期高齢者と3種の公費併用<br>・一般・低所得者<br>・ 〃 |
|                      | 1349                          | 〃 ・ 〃<br>・7割<br>・ 〃                  |
|                      | 1357                          | 〃 ・ 後期高齢者と4種の公費併用<br>・一般・低所得者<br>・ 〃 |
|                      | 1359                          | 〃 ・ 〃<br>・7割<br>・ 〃                  |
|                      | 1411                          | 医科・退職者単独<br>・本人<br>・入院               |
|                      | 1413                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1415                          | 〃 ・ 〃<br>・家族<br>・ 〃                  |
|                      | 1421                          | 〃 ・ 退職者と1種の公費併用<br>・本人<br>・ 〃        |
|                      | 1423                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1425                          | 〃 ・ 〃<br>・家族<br>・ 〃                  |
|                      | 1431                          | 〃 ・ 退職者と2種の公費併用<br>・本人<br>・ 〃        |
|                      | 1433                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
|                      | 1435                          | 〃 ・ 〃<br>・家族<br>・ 〃                  |
|                      | 1441                          | 〃 ・ 退職者と3種の公費併用<br>・本人<br>・ 〃        |
|                      | 1443                          | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃                |
| 1445                 | 〃 ・ 〃<br>・家族<br>・ 〃           |                                      |
| 1451                 | 〃 ・ 退職者と4種の公費併用<br>・本人<br>・ 〃 |                                      |
| 1453                 | 〃 ・ 〃<br>・未就学者<br>・ 〃         |                                      |
| 1455                 | 〃 ・ 〃<br>・家族<br>・ 〃           |                                      |

注 「コード」欄の「1411」～「1455」は、「「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」の公布について（通知）」（令和5.5.19 保医発0519第1号）に基づき、令和6年4月診療以降は記録しない。

別表 7 男女区分コード

| コード名    | コード | 内容 |
|---------|-----|----|
| 男女区分コード | 1   | 男  |
|         | 2   | 女  |

別表 8 診療識別コード

| コード名    | コード | 内容    |       |
|---------|-----|-------|-------|
| 診療識別コード | 11  | 初診    |       |
|         | 13  | 医学管理  |       |
|         | 14  | 在宅    |       |
|         | 21  | 投薬    | 内服    |
|         | 22  |       | 屯服    |
|         | 23  |       | 外用    |
|         | 24  |       | 調剤    |
|         | 26  |       | 麻毒    |
|         | 27  |       | 調基    |
|         | 28  |       | 投薬その他 |
|         | 31  |       | 注射    |
|         | 32  | 静脈内   |       |
|         | 33  | 注射その他 |       |
|         | 39  | 薬剤料減点 |       |
|         | 40  | 処置    |       |
|         | 50  | 手術    |       |
|         | 54  | 麻酔    |       |
|         | 60  | 検査・病理 |       |
|         | 70  | 画像診断  |       |
|         | 80  | その他   |       |

別表 9 特定器材単位コード

| コード名      | コード | 内容              |
|-----------|-----|-----------------|
|           | 001 | 分               |
|           | 002 | 回               |
|           | 003 | 種               |
|           | 004 | 箱               |
|           | 005 | 巻               |
|           | 006 | 枚               |
|           | 007 | 本               |
|           | 008 | 組               |
|           | 009 | セット             |
|           | 010 | 個               |
|           | 011 | 裂               |
|           | 012 | 方向              |
|           | 013 | トローチ            |
|           | 014 | アンプル            |
|           | 015 | カプセル            |
|           | 016 | 錠               |
|           | 017 | 丸               |
|           | 018 | 包               |
|           | 019 | 瓶               |
|           | 020 | 袋               |
|           | 021 | 瓶(袋)            |
|           | 022 | 管               |
| 特定器材単位コード | 023 | シリンジ            |
|           | 024 | 回分              |
|           | 025 | テスト分            |
|           | 026 | ガラス筒            |
|           | 027 | 桿錠              |
|           | 028 | 単位              |
|           | 029 | 万単位             |
|           | 030 | フィート            |
|           | 031 | 滴               |
|           | 032 | mg              |
|           | 033 | g               |
|           | 034 | kg              |
|           | 035 | cc              |
|           | 036 | mL              |
|           | 037 | L               |
|           | 038 | mLV             |
|           | 039 | バイアル            |
|           | 040 | cm              |
|           | 041 | cm <sup>2</sup> |
|           | 042 | m               |
|           | 043 | μCi             |
|           | 044 | mCi             |
|           | 045 | μg              |



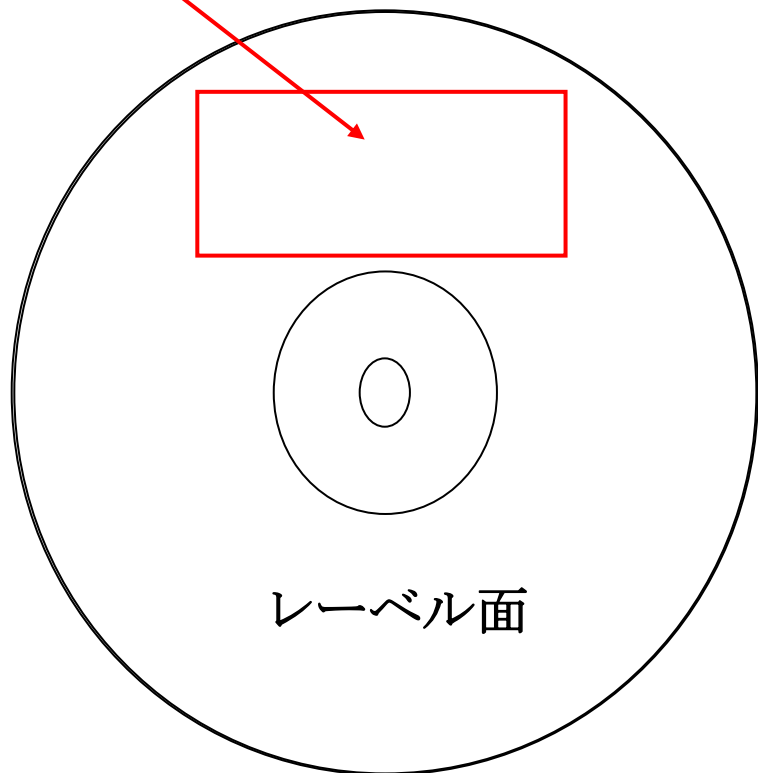
| コード名      | コード | 内容     |
|-----------|-----|--------|
| 特定器材単位コード | 046 | 管(瓶)   |
|           | 047 | 筒      |
|           | 048 | GBq    |
|           | 049 | MBq    |
|           | 050 | KBq    |
|           | 051 | キット    |
|           | 052 | 国際単位   |
|           | 053 | 患者当り   |
|           | 054 | 気圧     |
|           | 055 | 缶      |
|           | 056 | 手術当り   |
|           | 057 | 容器     |
|           | 058 | mL (g) |
|           | 059 | ブリスター  |
|           | 060 | シート    |
|           | 061 | カセット   |



## 2 CD-Rへの表記

レーベル面にシール等を貼付せずに、フェルトペン等により記入すること。

|           |   |    |     |
|-----------|---|----|-----|
| コーディングデータ |   |    |     |
| 医療機関コード   |   |    |     |
| 保険医療機関名称  |   |    |     |
| 診療月分      | 年 | 月分 |     |
| 提出年月日     | 年 | 月  | 日   |
| 支払基金      |   | ・  | 国保連 |



「訪問看護療養費請求書等の記載要領について」（平成18年3月30日保医発第0330008号）

別紙

訪問看護療養費請求書等の記載要領

I 一般的事項

- 1 訪問看護療養費請求書及び訪問看護療養費明細書（以下「請求書等」という。）については、「訪問看護療養費及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令第二条の規定に基づき厚生労働大臣が定める様式の一部を改正する件」（令和4年厚生労働省告示第87号）による改正後の「訪問看護療養費及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令第二条の二の規定に基づきこども家庭庁長官及び厚生労働大臣が定める様式」（平成20年厚生労働省告示第127号）に定める様式により扱うものであること。
- 2 請求書等の用紙の大きさはA列4番とし、白色紙黒色刷りとすること。  
ただし、電子計算機により作成する場合にあっては、A列4番と±6mm（縦方向）、+6mmから-4mm（横方向）程度の差は差し支えないものであること。
- 3 請求書等は、次の表の区分によるものであること。

|            |  |              |
|------------|--|--------------|
| 訪問看護療養費請求書 | 国民健康保険又は後期高齢者医療の被保険者に係るものを除く場合   | 様式第一         |
|            | 国民健康保険の被保険者に係るものの場合<br>後期高齢者医療の被保険者に係るものの場合  | 様式第二<br>様式第三 |
| 訪問看護療養費明細書 | 訪問看護療養費及び公費負担医療に関する費用の請求に関する命令（平成4年厚生省令第5号）第1条に規定する電子情報処理組織の使用による請求を行う体制を有している場合であつて、同条に規定する指定訪問看護事業者の使用に係る電子計算機から出力した書面による請求を行う場合 | 様式第四         |
|            | 様式第四により請求を行う場合以外の場合  | 様式第四の二       |

- 4 訪問看護療養費を請求しようとするときは、指定訪問看護事業者（以下「事業者」という。）の当該指定に係る事業所（以下「訪問看護ステーション」という。）ごとに様式第一、様式第二又は様式第三の訪問看護療養費請求書（以下「請求書」という。）に様式第四又は様式第四の二のいずれかの訪問看護療養費明細書（以下「明細書」という。）を添えて審査支払機関に提出すること。
- 5 同一の指定訪問看護の利用者が指定訪問看護の終了した月と同一の月に再度指定訪問看護の利

用を開始した場合においては、1枚の明細書に併せて記載すること。

- 6 月の途中において保険者番号の変更があった場合は、保険者番号ごとに、それぞれ別の明細書を作成すること。高齢受給者証又は後期高齢者の被保険者証が月の途中で発行されること等により給付額を調整する必要がある場合又は公費負担医療単独の場合において公費負担者番号若しくは公費負担医療の受給者番号の変更があった場合も、同様とすること。
- 7 同一月に職務上の取扱いとなる傷病及び職務外の取扱いとなる傷病が生じた場合は、それぞれに係る指定訪問看護が区分できない場合に限り職務上として1枚の明細書の取扱いとすること。
- 8 電子計算機の場合は、以下によること。
  - (1) 欄の名称を簡略化して記載しても差し支えないこと。また、複数の選択肢から○を用いて選択する欄については、特段の定めのある場合を除き、選択した項目のみ記載し、それ以外の項目は省略することとして差し支えないこと。
  - (2) 枠をその都度印刷することとしても差し支えないこと。
  - (3) 記載する文字は、JIS X 0 2 0 8において文字コードが設定された範囲とすることが望ましいこと。
- 9 請求書等に記載した数字等の訂正を行うときは、修正液を使用することなく、誤って記載した数字等を＝線で抹消の上、正しい数字等を記載すること。

なお、請求書等の記載に当たっては、黒若しくは青色のインク又はボールペン等を使用すること。
- 10 「※」が付されている欄には、記載する必要がないこと。
- 11 1枚の明細書に書ききれない場合は、明細書又は明細書と同じ大きさの用紙に、指定訪問看護の行われた年月、訪問看護ステーションコード、氏名、保険種別（例：1社・国 2本外）、保険者番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担番号）、被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担医療の受給者番号）を記載した上、所定の内容を記載し、続紙として、当該明細書の次に重ね、左上端を貼り付けること。

## II 請求書等の記載要領

### 第1 請求書に関する事項（様式第一関係）

#### 1 「令和 年 月分」欄について

指定訪問看護の行われた年月を記載すること。したがって、年月の異なる指定訪問看護に係る明細書がある場合には、それぞれの指定訪問看護が行われた年月分について請求書を作成すること。

なお、指定訪問看護が行われた年月の異なる明細書でも、返戻分の再請求等やむを得ない事由による請求遅れ分については、この限りではないこと。

#### 2 「ステーションコード」欄について

別添1「訪問看護ステーションコード設定要領」により、それぞれの訪問看護ステーションについて定められた訪問看護ステーションコード7桁を記載すること。

#### 3 「別記 殿」欄について

保険者名、市町村（特別区を含む。）名及び公費負担者名を下記例のとおり「備考」欄に記載することを原則とするが、省略しても差し支えないこと。

〔例〕 別記 全国健康保険協会理事長  
千代田区長  
東京都知事

4 「令和 年 月 日」欄について

当該請求書を提出する年月日を記載すること。

5 「訪問看護ステーションの所在地及び名称、指定訪問看護事業者氏名」欄について

訪問看護ステーションの所在地及び名称並びに指定訪問看護事業者氏名については、事業者の指定申請の際に地方厚生（支）局長に届け出た当該訪問看護ステーションの所在地、名称及び事業者名を記載すること。

6 「医療保険」欄について

- (1) 指定訪問看護と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち指定訪問看護に係る分及び指定訪問看護単独の者に係る明細書について記載することとし、指定訪問看護単独の者に係る分については医療保険制度ごとに記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

- (2) 「件数」欄には明細書の指定訪問看護に係る件数の合計を、「日数」欄には明細書の訪問看護の「実日数」欄の「保険」の項の日数の合計を、「金額」欄には明細書の「合計」欄の「保険」の項に係る「請求」の項の合計を、「負担金額」欄には明細書の「合計」欄の「保険」の項に係る「負担金額」の項の合計を記載すること。

なお、「医保単独（七〇以上一般・低所得）」欄、「医保単独（七〇以上七割）」欄、「医保単独（本人）」欄、「医保単独（家族）」欄及び「医保単独（六歳）」欄の「小計」欄にはそれぞれの合計を記載すること。

- (3) 「①合計」欄には、「医保（七〇以上一般・低所得）と公費の併用」欄と「医保単独七〇以上一般・低所得」欄の「小計」欄と、「医保（七〇以上七割）と公費の併用」欄と「医保単独（七〇以上七割）」欄の「小計」欄と、「医保本人と公費の併用」欄と「医保単独（本人）」欄の「小計」欄と、「医保家族と公費の併用」欄と「医保単独（家族）」欄の「小計」欄と、「医保（六歳）と公費の併用」欄と「医保単独（六歳）」の「小計」欄の「件数」欄の請求件数を合計して記載すること。

7 「公費負担」欄の「公費と医保の併用」欄について

- (1) 指定訪問看護と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち、公費負担医療に係る分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、「区分」欄の法別番号及び制度の略称は、別添2「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、指定訪問看護と2種の公費負担医療（例えば、感染症の

予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号。以下「感染症法」という。）による結核患者の適正医療と障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（平成 17 年法律第 123 号。以下「障害者総合支援法」という。）による精神通院医療、更生医療、育成医療、療養介護医療及び基準該当療養介護医療（以下「精神通院医療等」という。）の併用の場合は、1 枚の明細書であっても公費負担医療に係る件数は 2 件となること。

- (3) 「金額」欄には、明細書の「合計」欄の「公費」の項に係る「請求」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費」の項に係る「請求」の項の記載を省略した明細書については、「医保」又は「公費①」の項に係る「請求」の項に記載した金額が当該公費負担医療の金額と同じであるので、これを加えて合計すること。
- (4) 「控除額」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の「合計」欄の「公費」の項に係る「負担金額」の項に記載されている金額を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。

#### 8 「公費負担」欄の「公費と公費の併用」欄について

- (1) 公費負担医療のみで 2 種以上の公費負担医療の併用が行われた場合には、当該併用の者に係る明細書分を記載すること。公費負担医療が 2 種の場合、例えば生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）による医療扶助に係る分とその他の公費負担医療に係る分とを併せて請求する場合には「

|        |
|--------|
| 12(生保) |
|        |

」欄に記載することとし、これ以外の公費負担医療の組合せについて請求する場合には、空欄にそれぞれの公費負担医療の法別番号を記載し、当該公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、特例的に、生活保護法による医療扶助、感染症法による結核患者の適正医療及び障害者総合支援法による精神通院医療等の 3 種の公費負担医療の併用の場合があるが、この場合は、空欄を取り繕ってそれぞれの公費負担医療の法別番号を記載し、当該公費負担医療に係る分を記載すること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。したがって、1 枚の明細書であっても、公費負担医療に係る件数は、2 件ないし 3 件となること。
- (3) 「金額」欄には、明細書の「合計」欄の「公費」の項に係る「請求」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。ただし、「公費②」の項に係る「請求」の項の記載を省略した明細書については、「公費①」の項に係る「請求」の項に記載した金額が当該公費負担医療の点数と同じであるので、これを加えて合計すること。また、特例的に 3 種の公費負担医療の併用を行った場合は、生活保護法による医療扶助に係る点数は「医保」の「請求」の項の金額を合計して記載すること。
- (4) 「控除額」欄の記載方法は、7 の(4)と同様であること。

#### 9 「公費負担」欄の「公費単独」欄について

- (1) 公費負担医療単独の者に係る明細書分を公費負担医療制度ごとに記載することとし、「区分」欄に不動文字が記載されていない公費負担医療がある場合には区分の空欄に法別番号を

記載し、当該制度の公費負担医療に係る分を記載すること。

なお、公費負担医療に係る法別番号は、別添2「法別番号及び制度の略称表」に示すとおりであること。

- (2) 「件数」欄には、公費負担医療制度ごとに明細書の件数を合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
- (3) 「金額」欄には、明細書の「合計」欄の「公費」の項に係る「請求」の項に記載した金額を公費負担医療制度ごとに合計して、それぞれの制度の該当欄に記載すること。
- (4) 「控除額」欄の記載方法は、7の(4)と同様であること。

10 「②合計」欄について

「公費と医保の併用」欄、「公費と公費の併用」欄及び「公費単独」欄の「件数」欄の請求件数を合計して記載すること。

11 「総件数①+②」欄について

「① 合計」欄及び「② 合計」欄の請求件数の合計を記載すること。

第1の2 請求書に関する事項（様式第三関係）

後期高齢者医療の被保険者に係るものの場合の記載要領については、次に掲げる事項を除き、第1の例によること。

1 「別記 殿」欄について

各広域連合殿と読み替えるものとする。

2 「後期高齢者医療」欄について

- (1) 指定訪問看護と公費負担医療の併用の者に係る明細書のうち指定訪問看護に係る分及び指定訪問看護単独の者に係る明細書について記載すること。
- (2) 「件数」欄、「日数」欄及び「金額」欄については、Ⅱの第1の6の(2)と同様であること。

第2の1 明細書に関する事項（様式第四関係）

1 「令和 年 月分」欄について

指定訪問看護の行われた年月を記載すること。

2 「都道府県番号」欄（様式第四の「県番」欄）について

別添1「訪問看護ステーションコード設定要領」の別表に掲げる都道府県番号表に従い、訪問看護ステーションの所在する都道府県の番号を記載すること。

3 「訪問看護ステーションコード」欄（様式第四の「訪コ」欄）について

Ⅱの第1の2と同様であること。

4 「保険種別1」、「保険種別2」及び「本人・家族」欄について

- (1) 「保険種別1」欄については、以下の左に掲げる保険の種別に応じ、右の番号及び保険種別1のうち1つを記載すること。

健康保険（船員保険を含む。以下同じ。）又は国民健康保険

..... 1 社・国

公費負担医療（健康保険、国民健康保険又は後期高齢者医療との併用の場合を除く。）



|         |   |    |
|---------|---|----|
| 後期高齢者医療 | 2 | 公費 |
|         | 3 | 後期 |

(2) 「保険種別 2」欄については、「保険種別 1」欄のそれぞれについて、以下の左に掲げる種別に応じ、右の番号及び保険種別 2 のうち 1 つを記載すること。

|                  |   |     |
|------------------|---|-----|
| 単独               | 1 | 単独  |
| 1 種の公費負担医療との併用   | 2 | 2 併 |
| 2 種以上の公費負担医療との併用 | 3 | 3 併 |

(注) 公費負担医療には、地方公共団体が独自に行う医療費助成事業（審査支払機関へ訪問看護医療費を請求するものに限る。）を含むものであること。

(3) 「本人・家族」欄については、以下の左に掲げる種別に応じて、右の番号及び利用者種別のうち 1 つを記載すること。なお、未就学者である利用者（6 歳に達する日以後最初の 3 月 31 日以前の利用者をいう。以下同じ。）は「4 六歳」、高齢受給者及び後期高齢者医療受給対象者は「8 高齢一」又は「0 高齢 7」を記載することとし、公費負担医療については本人に該当するものとする。

ただし、国民健康保険の場合は、市町村国民健康保険であって被保険者（世帯主）と被保険者（その他）の給付割合が異なるもの及び国民健康保険組合については被保険者（世帯主（高齢受給者を除く。））は「2 本人」、被保険者（その他（未就学者である利用者及び高齢受給者を除く。））は「6 家族」を記載することとし、それ以外（未就学者である利用者及び高齢受給者を除く。）はいずれか一方を記載すること。

|                        |   |      |
|------------------------|---|------|
| 2 本人                   | 2 | 本人   |
| 4 未就学者                 | 4 | 六歳   |
| 6 家族                   | 6 | 家族   |
| 8 高齢受給者・後期高齢者医療一般・低所得者 | 8 | 高齢一  |
| 0 高齢受給者・後期高齢者医療 7 割給付  | 0 | 高齢 7 |

(注) 後期高齢者医療一般のうち、1 割負担の者と、2 割負担の者の判別については、「特記」欄に記載される所得区分により行うため、特段の記載は必要ない。

## 5 「保険者番号又は公費負担者番号」の「保険」欄について

(1) 設定された保険者番号 8 桁（国民健康保険については 6 桁）を記載すること（「診療報酬請求書等の記載要領等について」（昭和 51 年 8 月 7 日保険発第 82 号）の別添 2（以下「設定要領」という。）の第 1 を参照）。

(2) 公費負担医療単独の場合及び公費負担医療と公費負担医療の併用の場合（以下「公費負担医療のみの場合」という。）は、記載しないこと。

## 6 「記号・番号または公費受給者番号」の「保険」欄について

(1) 健康保険被保険者証、国民健康保険被保険者証、船員保険被保険者証、受給資格者票及び特別療養費受給票等（以下「被保険者証等」という。）の「記号及び番号」欄の記号及び番号を記載すること。また、後期高齢者医療被保険者証の「被保険者番号」欄の「被保険者番号」を記載すること。被保険者証等の「記号及び番号」欄に枝番の記載がある場合は、併せて「枝番」欄に「枝番」を記載すること。

なお、電子資格確認の場合は、オンラインにより提供された資格情報から、これらの記載

を行うこと。

- (2) 記号と番号の間にスペース、「・」若しくは「-」を挿入するか、又は上段に記号、下段に番号を記載すること。
- (3) 被保険者が、月の途中において、記号若しくは番号を変更した場合又は任意継続に変更した場合（給付割合に変更がない場合に限る。）は、変更後の記号又は番号を記載すること。

#### 7 「実日数」欄について

- (1) 「保険」、「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」の項に、「保険」については医療保険、「公①」については第1公費、「公②」については第2公費、「公③」については第3公費、「公④」については第4公費に係る指定訪問看護を行った実日数を記載すること。  
なお、公費負担医療のみの場合の第1公費に係る分については、「公①」の項に記載すること。ただし、第1公費に係る分が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る分を省略しても差し支えないこと。また、第2公費以降がある場合において、当該第2公費以降に係る分が第1公費に係る分と同じ場合は、第2公費以降に係る分の記載を省略しても差し支えないこと。
- (2) 同一日に2回又は3回以上指定訪問看護を行った場合であっても、1日として記載すること。

#### 8 「請求」及び「一部負担金額」の「保険」、「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」欄について

- (1) 「請求」の項には、「保険」、「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」の項に、それぞれ医療保険、第1公費、第2公費、第3公費及び第4公費に係る金額（「摘要」欄の金額の合計をいう。）を記載すること。  
なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の金額は、「公①」の項に記載すること。ただし、第1公費に係る金額が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る金額の記載を省略しても差し支えないこと。また、第2公費以降がある場合において、当該第2公費以降に係る金額が第1公費に係る金額と同じ場合は、第2公費以降に係る金額の記載を省略しても差し支えないこと。
- (2) 「一部負担金額」の「保険」、「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」欄の項については、以下によること。

ア 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。）については、以下によること。

医療保険の場合は、利用者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して、「円」単位で減額される場合には、減額される金額を記載すること。

利用者の負担額が免除される場合は「免除」、支払が猶予される場合は「支払猶予」と記載すること。

イ 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）及び後期高齢者医療については、以下によること。

(ア) 高額療養費が現物給付された者に限り記載することとし、支払いを受けた一部負担

金の額を記載すること。なお、この場合において、一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を「一部負担金額」の項の「保険」の項の上段に（ ）で再掲するものとし、「一部負担金額」の項には、支払いを受けた一部負担金と公費負担医療が給付する額とを合算した金額を記載すること。

(イ) 健康保険法施行令第 43 条第 1 項並びに同条第 5 項、国民健康保険法施行令（昭和 33 年政令第 362 号）第 29 条の 4 第 1 項並びに同条第 3 項又は高齢者の医療の確保に関する法律施行令（平成 19 年政令第 318 号。以下「高齢者医療確保法施行令」という。）第 16 条第 1 項並びに同条第 3 項の規定が適用される者の場合は、これらの規定により算定した額（この額に 1 円未満の端数がある場合において、その端数金額が 50 銭未満であるときは、これを切り捨て、その端数金額が 50 銭以上であるときは、これを切り上げた額）を記載すること。

(ウ) 医療保険の場合は、利用者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、「一部負担金額」の項の減額割合を記載して、「円」単位で減額される場合には、減額後の一部負担金の金額を記載すること。

利用者の負担額が免除される場合は「一部負担金額」の項に「免除」、支払が猶予される場合は「支払猶予」と記載すること。

(エ) 後期高齢者医療の場合で、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号。以下「高齢者医療確保法」という。）第 69 条第 1 項の規定に基づき広域連合長から一部負担金の減額を受けた者の場合は、「割」の単位で減額される場合には、「一部負担金額」の項の減額割合を記載して、「円」単位で減額される場合は、減額後の一部負担金の金額を記載すること。また、負担額が免除される場合は「免除」、支払いが猶予される場合は「支払猶予」と記載すること。

ウ 「一部負担金額」の項中「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」の項については、それぞれ第 1 公費、第 2 公費、第 3 公費及び第 4 公費に係る医療券等に記入されている公費負担医療に係る利用者の負担額（一部負担金の額が医療券等に記載されている公費負担医療に係る利用者の負担額を下回る場合で、「一部負担金額」の項に金額を記載するものはイの(ア)により記載した額を、金額の記載を要しないもの場合は、10 円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額）を記載すること。なお、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合に限る。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）と感染症法との併用の場合には、一部負担金から同負担金のうち当該公費負担医療が給付する額を控除した額（すなわち、窓口で徴収した額）を記載すること。

また、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る利用者の負担額については、10 円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額を記載し、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）による小児慢性特定疾病医療支援、肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療並びに難病の患者に対する医療等に関する法律（平成 26 年法律第 50

号。以下「難病法」という。)による特定医療との併用の場合(高額療養費が現物給付された場合に限る。)に、10円未満の端数を四捨五入した後の一部負担金の額を記載すること。

ただし、後期高齢者医療又は医療保険(高齢受給者に係るものに限る。)と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合(高額療養費が現物給付された場合を除く。)及び医療保険(高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。)と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合には、当該公費に係る利用者の負担額は「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」の項には記載することを要しないこと。

エ 高齢受給者の一般所得者及び低所得者であって難病法による特定医療及び肝炎治療特別促進事業に係る公費負担医療受給者については、医療券に記載されている公費負担医療に係る負担額を記載すること。ただし、当該公費負担医療の給付対象額の2割相当の額が、当該医療券に記載されている公費負担医療に係る利用者の負担額を下回る場合は、当該2割相当の額(「一部負担金額」の項に金額を記載するもの場合は、10円未満の端数を四捨五入した後の額を、金額の記載を要しないもの場合は、10円未満の端数を四捨五入する前の額。)を記載すること。

- 9 「保険者番号又は公費負担者番号」の「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」欄について
- (1) 医療券等に記入されている公費負担者番号8桁を記載すること(設定要領の第2を参照)。
  - (2) 別添2「法別番号及び制度の略称表」に示す順番により、先順位の公費負担者番号を「公①」欄に(以下「公①」欄に記載される公費負担者番号を「第1公費」という。)、後順位の公費負担者番号を「公②」欄(以下「公②」欄に記載される公費負担者番号を「第2公費」という。、「公③」欄(以下「公③」欄に記載される公費負担者番号を「第3公費」という。、「公④」欄に(以下「公④」欄に記載される公費負担者番号を「第4公費」という。)記載すること。
  - (3) 保険者番号及び受給者番号の変更はないが、同種の公費負担医療で住所変更により月の途中において公費負担者番号の変更があった場合は、変更前の公費負担医療に係る分を第1公費とし、変更後の公費負担医療に係る分を第2公費、第3公費及び第4公費として取り扱うものとする。

- 10 「記号・番号又は公費受給者番号」の「公①」、「公②」、「公③」及び「公④」欄について
- 医療券等に記入されている受給者番号7桁を、第1公費については「公①」欄に、第2公費については「公②」欄に、第3公費については「公③」欄に、第4公費については「公④」欄に記載すること(設定要領の第3を参照)。

11 「特記」欄について

次の表の内容に該当する特記事項を記載する場合は、コードと略称を記載すること。

| コード | 略称 | 内 容   |
|-----|----|---|
| 01  | 公  | 医療保険単独の者及び後期高齢者医療単独の者に係る明細書で、「公費負担医療が行われる療養に係る高額療養費の支給について」(昭和48年10月30日付保発第42号、庁保発第26号)による公費負担医療が行われる療養に要 |

|    |    |   |
|----|----|---|
|    |    | する費用の額が、健康保険法施行令（大正 15 年勅令第 243 号）第 42 条及び高齢者医療確保法施行令第 15 条に規定する額を超える場合   |
| 02 | 長  | 以下のいずれかに該当する場合<br>① 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出した利用者の負担額が、健康保険法施行令第 42 条第 9 項第 1 号に規定する金額を超えた場合（ただし、利用者が特定疾病療養受療証の提出を行った際に、既に同号に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。）<br>② 後期高齢者医療特定疾病療養受療証を提示した利用者の負担額が、高齢者医療確保法施行令第 15 条第 6 項に規定する金額を超えた場合（ただし、利用者が後期高齢者医療特定疾病療養受療証の提示を行った際に、既に同項に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。） |
| 04 | 後保 | 公費負担医療単独及び公費負担医療併用の場合、請求金額を訪問看護療養費に係る指定訪問看護の費用の額の算定方法によった場合   |
| 10 | 第三 | 利用者の疾病又は負傷が、第三者の不法行為（交通事故等）によって生じたと認められる場合  |
| 16 | 長2 | 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出した利用者の負担額が、健康保険法施行令第 42 条第 9 項第 2 号に規定する金額を超えた場合（ただし、利用者が特定疾病療養受療証の提出を行った際に、既に同号に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。）   |
| 21 | 高半 | 月の初日以外の日により 75 歳に到達し後期高齢者医療の被保険者となったことにより被用者保険の被保険者でなくなった者の被扶養者であった者又は月の初日以外の日により 75 歳に到達し後期高齢者医療の被保険者となったことにより国民健康保険組合の組合員でなくなった者の世帯に属する組合員以外の被保険者であった者（いずれも市町村国保に加入することになる。）であって、当該後期高齢者医療の被保険者が 75 歳に到達した月に訪問看護を受けた者の場合  |
| 26 | 区ア | 70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合<br>① 「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 901 万円超）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（ア））が提示された場合<br>② 「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 901 万円超）の世帯」の適用区分（ア）の記載のある難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく医療受給者証（以下「特定医療費受給者証」という。）、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合  |

|    |    |  |
|----|----|--|
|    |    | <p>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 690 万円以上）の世帯」の高齢受給者証又は後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（3割））の提示のみの場合</p> <p>② 「標準報酬月額 83 万円以上（国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 690 万円以上）の世帯」の適用区分（VI）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p>   |
| 27 | 区イ | <p>70歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（イ））が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下）の世帯」の適用区分（イ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅡ又は現役Ⅱ））が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 53 万～79 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 380 万円以上）の世帯」の適用区分（V）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p>  |
| 28 | 区ウ | <p>70歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（ウ））が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下）の世帯」の適用区分（ウ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 145 万円以上）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（現役並みⅠ又は現役Ⅰ））が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 28 万～50 万円（国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 145 万円以上）の世帯」の適用区分（IV）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p> |
| 29 | 区エ | <p>70歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p>  |

|     |    |  |
|-----|----|--|
|     |    | <p>① 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円以下）の世帯」の限度額適用認定証（適用区分が（エ））が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円以下）の世帯」の適用区分（エ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70 歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、課税所得 145 万円未満）の世帯」の高齢受給者証（一部負担金の割合（2 割））の提示のみの場合</p> <p>② 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、課税所得 145 万円未満）の世帯」の適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p> |
| 3 0 | 区オ | <p>70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「低所得者の世帯」の限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（オ））が提示された場合</p> <p>② 「低所得者の世帯」の適用区分（オ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70 歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「低所得者の世帯」の限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（Ⅰ又はⅡ））が提示された場合</p> <p>② 「低所得者の世帯」の適用区分（Ⅰ又はⅡ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p>   |
| 4 1 | 区カ | <p>後期高齢者医療で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））の提示のみの場合</p> <p>② 課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2 割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p>  |
| 4 2 | 区キ | <p>後期高齢者医療で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）又は課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 2</p>  |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | <p>00 万円未満（後期高齢者が2人以上の世帯の場合は 320 万円未満）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1割））の提示のみの場合</p> <p>② 課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）又は課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が2人以上の世帯の場合は 320 万円未満）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p> |
|--|--|---|

※ 「区力」及び「区キ」については、令和4年10月1日から適用する。令和4年9月30日までの間は、後期高齢者医療にあっては従前どおり「区エ」を使用されたい。

## 12 「職務上の事由」欄について

船員保険の被保険者については、「1 職務上」、「2 下船後3月以内」又は「3 通勤災害」のうち該当するものを記載すること。ただし、「1 職務上」及び「3 通勤災害」については、災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。共済組合の船員組合員については、下船後3月以内の傷病で職務上の取扱いとなる場合に「2 下船後3月以内」の番号を記載すること。

なお、次のとおり略称により記載することとしても差し支えないこと。

1 職上（職務上）、2 下3（下船後3月以内）、3 通災（通勤災害）

## 13 「給付割合」欄について

国民健康保険の場合、該当する給付割合を「給付割合」欄に記載すること。ただし、国民健康保険については、自県分の場合は、記載を省略しても差し支えないこと。

## 14 「一部負担金区分」欄について

医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）及び後期高齢者医療については、以下によること。

(1) 健康保険法施行令第43条第1項第2号へ、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号へに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号へに掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「一部負担金区分」に「低Ⅰ（低所得Ⅰ）」と記載すること。

(2) 健康保険法施行令第43条第1項第2号ホに掲げる者、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号ホに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号ホに掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「一部負担金区分」に「低Ⅱ（低所得Ⅱ）」と記載すること。

## 15 「訪問看護ステーションの所在地及び名称」欄について

事業者の指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た当該訪問看護ステーションの所在地及び名称を記載すること。この場合、所在地とともに、連絡先電話番号を記載することが望ましいものであること。

## 16 「主治医」欄について



- (1) 「医療機関」の項に、「名称」として当該指定訪問看護に係る訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書を交付した医師の所属する保険医療機関等の名称を記載すること。

「コード」として、「県番」欄に別添1「訪問看護ステーションコード設定要領」の別表に掲げる都道府県番号表に従い、当該保険医療機関が所在する都道府県の番号を記載すること。また、「点数表」欄に当該保険医療機関等が使用する点数表（例えば、医科であれば「1」を記載すること）を、「医療機関コード」欄に当該保険医療機関等のコードをそれぞれ記載すること。

なお、主治医の医療機関等コードについては記載することが望ましいが、確認できなかった場合は空欄でも差し支えないこと。

- (2) 「氏名」の項に、当該指定訪問看護に係る訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書を交付した医師の氏名を記載すること。
- (3) 「直近報告年月日」の項に、訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書を交付した主治医に対して、訪問看護計画書若しくは訪問看護報告書又は精神訪問看護計画書若しくは精神訪問看護報告書により報告をした場合には、その最終報告年月日を記載すること。
- (4) 月の途中で主治医が変更になった等の事情により、主治医を複数記録する必要がある場合は、一人目の主治医にかかる「名称」、「コード」、「氏名」及び「直近報告年月日」を「主治医」欄へ記載し、二人目以降についての記載は「摘要」欄へ見出しとして〈主治医〉を記載し、「名称」、「コード」、「氏名」及び「直近報告年月日」を記載すること。

#### 17 「氏名」欄について

- (1) 指定訪問看護を受けた者の姓名を記載すること。ただし、健康保険、船員保険、国家公務員共済組合、地方公務員等共済組合又は日本私立学校振興・共済事業団の被保険者については、姓のみの記載で差し支えないこと。

なお、例外的に漢字を読み替えたカタカナを使用すること又はひらがなをカタカナに読み替えて記載することも差し支えないこととするが、この場合には被保険者であっても姓名を記載することとし、姓と名の間にスペースをとること。

(1)による姓名とは別にカタカナによる姓名を記録することが望ましい。

- (2) 性別は、「1 男」又は「2 女」のうち該当するものを記載すること。
- (3) 生年月日は生まれた年月日を記載すること。なお、元号については「1 明」、「2 大」、「3 昭」、「4 平」又は「5 令」と記載すること。

#### 18 「訪問した場所」欄について

訪問した場所が自宅の場合は「1 自宅」を、次の表に掲げる施設等の場合は「2 施設」を、上記に該当しない場合は「5 その他」をそれぞれ記載すること。

なお、月の途中で訪問した場所に変更があった場合等、訪問した場所が複数ある場合は、訪問した場所及び変更した年月日を19(8)「その他」に全て記載すること。

また、訪問した場所については、「2 施設」に該当する場合にあっては、次の表に掲げるコード及び施設等を、「5 その他」に該当する場合にあっては、その場所を記載すること。

| コード | 施設等                     |
|-----|-------------------------|
| 01  | 社会福祉施設及び身体障害者施設         |
| 02  | 小規模多機能型居宅介護             |
| 03  | 複合型サービス                 |
| 04  | 認知症対応型グループホーム           |
| 05  | 特定施設                    |
| 06  | 地域密着型介護老人福祉施設及び介護老人福祉施設 |

## 19 「情報」欄について

「情報」欄に記載する事項等は次の(1)から(8)まで及び別表Ⅰのとおりであること。

なお、電子レセプトによる請求の場合、別表Ⅰの「レセプト電算処理システム用コード」欄にコードが記載された項目については、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」（令和4年4月22日付保発0422第1号）（本通知が改正された場合は改正後の通知によること。）に基づき、該当するコードを選択すること。

また、「情報」欄の記載順は、「主たる傷病名」、「心身の状態」、「指示期間」、「訪問開始年月日及び終了年月日」、「訪問終了等の状況」、「情報提供」、「特記事項」、「専門の研修」及び「その他」の順で記載すること。

### (1) 「主たる傷病名」について

指定訪問看護の利用者の主たる傷病名については、見出しとして<主たる傷病名>を記載し、当該指定訪問看護に係る主治医の交付した訪問看護指示書に基づいて、主傷病、副傷病の順に項番及び傷病名をそれぞれ記載すること。

なお、傷病名については、原則として、「電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について」（令和4年4月22日付保発0422第1号）（本通知が改正された場合は改正後の通知によること。）別添3に規定する傷病名を用いること。別添3に規定する傷病名と同一の傷病でありながら名称が異なる傷病名については、「傷病名コードの統一の推進について」（令和6年3月27日医療課事務連絡）に取りまとめたので、これを参照し、原則として、傷病名コードに記載されたものを用いること。

### (2) 「心身の状態」について

指定訪問看護の利用者の心身の状態については、見出しとして<心身の状態>を記載し、訪問看護療養費の算定要件において必要な利用者の状態や日常生活動作（ADL）の状態等を具体的に記載すること。

「訪問看護療養費に係る訪問看護ステーションの基準等」（平成18年厚生労働省告示第103号）第2の1に規定する疾病等の有無について、「1 別表7」、「2 別表8」又は「3 無」の該当するものを記載すること。また、利用者の状態等が別表7、別表8又は同告示第2の3の(2)に規定する超重症児若しくは準超重症児に該当する者は、その利

用者が該当する全ての疾病等について、次の表に掲げる該当するコード及び疾病、状態等を「該当する疾病等」として記載すること。

| コード |         | 疾病、状態等   |
|-----|---------|--|
| 01  | 別表<br>7 | 末期の悪性腫瘍  |
| 02  |         | 多発性硬化症   |
| 03  |         | 重症筋無力症   |
| 04  |         | スモン  |
| 05  |         | 筋萎縮性側索硬化症  |
| 06  |         | 脊髄小脳変性症  |
| 07  |         | ハンチントン病  |
| 08  |         | 進行性筋ジストロフィー症   |
| 09  |         | パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度のものに限る。）） |
| 10  |         | 多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）   |
| 11  |         | プリオン病  |
| 12  |         | 亜急性硬化性全脳炎  |
| 13  |         | ライソゾーム病  |
| 14  |         | 副腎白質ジストロフィー  |
| 15  |         | 脊髄性筋萎縮症  |
| 16  |         | 球脊髄性筋萎縮症   |
| 17  |         | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎  |
| 18  |         | 後天性免疫不全症候群   |
| 19  |         | 頸髄損傷   |
| 20  |         | 人工呼吸器を使用している状態の者   |
| 41  | 別表<br>8 | 在宅麻薬等注射指導管理を受けている状態にある者  |
| 42  |         | 在宅腫瘍化学療法注射指導管理を受けている状態にある者   |
| 43  |         | 在宅強心剤持続投与指導管理を受けている状態にある者  |
| 44  |         | 在宅気管切開患者指導管理を受けている状態にある者   |
| 45  |         | 気管カニューレを使用している状態にある者   |
| 46  |         | 留置カテーテルを使用している状態にある者   |
| 47  |         | 在宅自己腹膜灌流指導管理を受けている状態にある者   |
| 48  |         | 在宅血液透析指導管理を受けている状態にある者   |
| 49  |         | 在宅酸素療法指導管理を受けている状態にある者   |
| 50  |         | 在宅中心静脈栄養法指導管理を受けている状態にある者  |
| 51  |         | 在宅成分栄養経管栄養法指導管理を受けている状態にある者  |

|     |   |                            |
|-----|---|----------------------------|
| 5 2 |   | 在宅自己導尿指導管理を受けている状態にある者     |
| 5 3 |   | 在宅人工呼吸指導管理を受けている状態にある者     |
| 5 4 |   | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理を受けている状態にある者 |
| 5 5 |   | 在宅自己疼痛管理指導管理を受けている状態にある者   |
| 5 6 |   | 在宅肺高血圧症患者指導管理を受けている状態にある者  |
| 5 7 |   | 人工肛門又は人工膀胱を設置している状態にある者    |
| 5 8 |   | 真皮を越える褥瘡の状態にある者            |
| 5 9 |   | 在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定している者    |
| 9 1 | 他 | 超重症児                       |
| 9 2 |   | 準超重症児                      |

精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）又は（Ⅲ）を算定した場合は、当該月の初日の指定訪問看護時におけるGAF尺度により判定した値に対応する次の表に掲げるコードと判定した年月日を記載すること。

| コード | GAF尺度により判定した値  |
|-----|--|
| 0 1 | GAF尺度100－91  |
| 0 2 | GAF尺度90－81   |
| 0 3 | GAF尺度80－71   |
| 0 4 | GAF尺度70－61   |
| 0 5 | GAF尺度60－51   |
| 0 6 | GAF尺度50－41   |
| 0 7 | GAF尺度40－31   |
| 0 8 | GAF尺度30－21   |
| 0 9 | GAF尺度20－11   |
| 1 0 | GAF尺度10－1  |
| 1 1 | GAF尺度0   |
| 2 0 | 家族への訪問看護でありGAF尺度による判定が行えなかった（当該月に利用者本人への訪問看護を行わなかった） |

### （3）「指示期間」について

ア 訪問看護指示又は精神科訪問看護指示の指示期間については、見出しとして＜指示期間＞又は＜精神指示期間＞を記載し、当該指定訪問看護に係る主治医の交付した最新の訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書の指示有効期間（訪問看護療養費又は精神科訪問看護療養費）を示す年月日を記載すること。

なお、指示年月日の記載がない場合は、指示書の有効期間を交付後1か月とみなすこと。

イ 主治医から、利用者の急性増悪等により一時的に頻回の訪問看護が必要である旨の特別訪問看護指示書又は精神科特別訪問看護指示書の交付を受けた場合は、見出しとして

＜特別指示期間＞又は＜精神特別指示期間＞を記載し、に特別指示の有効期間を示す年月日を記載すること。

なお、請求を行う月の前月に特別訪問看護指示書又は精神科特別訪問看護指示書の交付を受け、当該請求月においても引き続き当該特別指示による訪問看護を実施した場合には、特別指示があった前月の年月日についても「特別指示期間」又は「精神特別指示期間」欄に記載すること。

(4) 「訪問開始年月日及び終了年月日」について

ア 「訪問開始年月日」について

(ア) 見出しとして＜訪問開始年月日＞と記載し、当該指定訪問看護を開始した年月日を記載すること。

(イ) 同一の利用者に対する指定訪問看護の継続中に、当該訪問看護ステーションにおいて、開設者、名称、所在地等の変更があった場合については、当該訪問看護ステーションの指定訪問看護の内容の継続性が認められて継続して訪問看護ステーションの指定を受けた場合を除き、新たに訪問看護ステーションの指定を受けた日を訪問開始年月日として記載し、「その他」として、その旨を記載すること。

(ウ) 同月中に保険種別等の変更があった場合には、その変更があった日を訪問開始年月日として記載し、「その他」として、その旨を記載すること。

イ 「終了年月日」について

当該指定訪問看護を終了した場合は「訪問終了年月日」、「訪問終了時刻」及び「訪問終了の状況」を記載すること。

(ア) 訪問終了年月日については、見出しとして＜訪問終了年月日＞を記載し、訪問終了年月日を記載すること。

(イ) 訪問終了時刻については、見出しとして＜訪問終了時刻＞を記載し、最後に訪問した時刻を記載すること。

ウ 「訪問終了等の状況」について

(ア) 訪問終了の状況については、見出しとして＜訪問終了の状況＞を記載し、症状の軽快により指定訪問看護を必要としなくなった場合は「1 軽快」、介護老人保健施設等に入所した場合は「2 施設」、保険医療機関等に入院した場合は「3 医療機関」又は死亡した場合は「4 死亡」をそれぞれ記載すること。また、上記に該当しない場合は「5 その他」と記載し、その内容を記載すること。

(イ) 訪問看護ターミナルケア療養費を算定した場合は、「死亡年月日」、「死亡時刻」及び「死亡した場所」を記載すること。

a 死亡年月日については、見出しとして＜死亡年月日＞を記載し、死亡年月日を記載すること。

b 死亡時刻については、見出しとして＜死亡時刻＞を記載し、死亡時刻を記載すること。

c 死亡した場所については、見出しとして＜死亡した場所＞を記載し、死亡した場所が自宅の場合は「1 自宅」、介護保険施設等の場合は「2 施設」、病院の場合は「3 病院」、診療所の場合は「4 診療所」をそれぞれ記載すること。上記

に該当しない場合には、「5 その他」と記載し、その場所を記載すること。

また、死亡した場所が「2 施設」に該当する場合には、18「訪問した場所」に係る表に掲げる施設等のうち該当するコード及び施設等を記載すること。

(5) 「情報提供」について

ア 訪問看護情報提供療養費1を算定する場合は、見出しとして<情報提供先 1市(区)町村等>を記載し、市町村等への情報提供に係る算定の場合は「1 市(区)町村等」、指定特定相談支援事業者への情報提供に係る算定の場合は「2 指定特定相談支援事業者」を記載すること。

イ 訪問看護情報提供療養費2を算定する場合は、見出しとして<情報提供先 2学校等>を記載し、「前回算定年月」として、当該療養費を算定した前回の年月を記載すること(ただし、初めて算定する場合を除く。)

また、各年度1回までの算定とは別に、入園又は入学に係る算定の場合は「1 入園・入学」、転園又は転学に係る算定の場合は「2 転園・転学」又は医療的ケアの実施方法の変更に係る算定の場合は「3 医療的ケアの変更」を記載すること。

ウ 訪問看護情報提供療養費3を算定する場合は、見出しとして<情報提供先 3保険医療機関等>を記載し、利用者の診療を行っている保険医療機関の紹介先が、保険医療機関の場合は「1 保険医療機関」、介護老人保健施設の場合は「2 介護老人保健施設」又は介護医療院の場合は「3 介護医療院」を記載すること。

(6) 「特記事項」について

特記事項を記載する場合は、見出しとして<特記事項>を記載すること。

ア 指定訪問看護の利用者が、訪問看護療養費に係る訪問看護ステーションの基準等第2の1に規定する疾病等の利用者等であって他の一つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合については、「1 他①」、他の二つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合については、「1 他①」及び「2 他②」のそれぞれを記載すること。また、当該他の指定訪問看護ステーションの所在地及び名称を、(8)「その他」に記載すること。

イ 従たる訪問看護ステーションに勤務する看護師等が指定訪問看護を行った場合は、「3 従」を記載すること。

ウ 特別地域訪問看護加算を算定した場合は、「4 特地」を記載し、利用者の住所及び通常の場合訪問に要する時間(片道)を併せて記載すること。

エ 要介護被保険者等で、訪問看護を医療保険(健康保険、国民健康保険及び後期高齢者医療をいう。以下同じ。)で算定している場合は、「5 介」を記載すること。

オ 在宅療養支援診療所又は在宅療養支援病院が24時間往診及び訪問看護により対応できる体制を確保し、往診担当医や訪問看護担当者氏名、担当日等を文書により提供している利用者の場合は、「6 支援」を記載すること。

カ 複数の訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている利用者に対し、当該複数の訪問看護ステーションのいずれかが計画に基づく指定訪問看護を行った日に、当該複数の訪問看護ステーションのうちその他の訪問看護ステーションが緊急の指定訪問看護を行い、緊急訪問看護加算又は精神科緊急訪問看護加算のみを算定した場合は、

「7 同一緊急」を記載するとともに、当該加算のみを算定した日の直前に訪問看護基本療養費または精神科訪問看護基本療養費を算定した年月日を記載すること。また、当該他の訪問看護ステーションの所在地及び名所を、(8)「その他」に記載すること。

キ 退院支援指導加算を算定した場合であって、利用者が退院日の翌日以降の初回の指定訪問看護が行われる前に死亡又は再入院した場合は、「8 退支」を記載し、死亡日又は再入院日を併せて記載すること。

ク 看護・介護職員連携強化加算を算定した場合は、「9 連」を記載し、介護職員等と同行訪問した日を併せて記載すること。

ケ 緊急訪問看護加算又は精神科緊急訪問看護加算を算定した場合は、「10 緊急訪問看護の理由」を記載し、緊急の訪問看護を実施した日と緊急訪問看護の理由を、当該加算を算定した日ごとに併せて記載すること。

(7) 「専門の研修」について

専門の研修を記載する場合は、見出しとして<専門の研修>を記載すること。

ア 悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が指定訪問看護を行い、訪問看護基本療養費(Ⅰ)又は(Ⅱ)を算定した場合は、基本療養費Ⅰ・Ⅱ(1 緩和ケア)、基本療養費Ⅰ・Ⅱ(2 褥瘡ケア)、基本療養費Ⅰ・Ⅱ(3 人工肛門・人工膀胱ケア)又は基本療養費Ⅰ・Ⅱ(4 特定行為(01 創傷管理関連))のいずれかを記載すること。

イ 専門管理加算を算定した場合は、以下の項目を記載すること。

(ア) 専門管理加算のイに該当する場合

専門管理加算(1 緩和ケア)、専門管理加算(2 褥瘡ケア)又は専門管理加算(3 人工肛門・人工膀胱ケア)のいずれかを記載すること。

(イ) 専門管理加算のロに該当する場合

a 専門管理加算(4 特定行為)を記載の上、次の表に掲げる特定行為のうち該当するコードを記載すること。

b 「手順書交付年月日」として、手順書が交付された年月日を記載すること。

c 「直近見直し年月日」として、利用者の主治医とともに、手順書の妥当性を検討した年月日を記載すること。

| コード | 特定行為                            |
|-----|---------------------------------|
| 01  | 気管カニューレの交換                      |
| 02  | 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 |
| 03  | 膀胱ろうカテーテルの交換                    |
| 04  | 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去     |
| 05  | 創傷に対する陰圧閉鎖療法                    |
| 06  | 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整            |
| 07  | 脱水症状に対する輸液による補正                 |

(8) 「その他」について

ア (6)のア及びカにおいて、その他に記載することとした他の訪問看護ステーションの所在地及び名称については、以下のとおり記載すること。

(ア) 他の一つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合については、見出しとして<他の訪問看護ステーション1>を記載し、当該他の訪問看護ステーションの所在地及び名称を記載すること。

(イ) 他の二つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合については、前(ア)と併せて<他の訪問看護ステーション2>を記載し、当該2つ目の他の訪問看護ステーションの所在地及び名称を記載すること。

イ 月の途中で訪問した場所に変更があった場合等、複数訪問した場所がある場合は、見出しとして<訪問した場所>を記載し、訪問した場所を全て記載すること。

また、訪問した場所の変更年月日を記載すること。

20 「訪問日」欄について

(1) 訪問看護基本療養費及び精神科訪問看護基本療養費を算定する場合は、指定訪問看護を行った日について、日付の欄に「○」を記載すること。ただし、1日に2回訪問を行った場合は「◎」、1日に3回以上訪問を行った場合は「◇」を記載すること。

(2) 以下の場合にあっては日付の欄に「☆」を記載すること。

ア 訪問看護基本療養費(I)又は訪問看護基本療養費(II)における悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が指定訪問看護を行った場合

イ 専門管理加算を算定した場合

緩和ケア、褥瘡ケア若しくは人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師が指定訪問看護を行った日については、全ての日付を記載すること。

(3) 特別訪問看護指示書又は精神科特別訪問看護指示書に基づき指定訪問看護を行った場合は、日付の欄に「△」を記載すること。

(4) 長時間訪問看護加算又は長時間精神科訪問看護加算を算定した場合は、日付の欄に「□」を記載すること。

(5) 複数名訪問看護加算又は複数名精神科訪問看護加算を算定した場合は、日付の欄に「▽」を記載すること。

(6) 訪問看護基本療養費(II)又は精神科訪問看護基本療養費(III)を算定した場合は、日付の欄に「▲」を記載すること。

(7) 複数の訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている利用者に対し、当該複数の訪問看護ステーションのいずれかが計画に基づく指定訪問看護を行った日に、当該複数の訪問看護ステーションのうちその他の訪問看護ステーションが緊急の指定訪問看護を行い、緊急訪問看護加算又は精神科緊急訪問看護加算のみを算定した場合は、日付の欄に「▼」を記載すること。

21 「摘要欄」について



(1) 「負担」欄について

摘要欄に、算定した訪問看護療養費の名称を記載した場合は、当該訪問看護療養費の左側の「負担」欄内に、次の表に掲げる負担区分のうち、当該訪問看護療養費に係る負担区分に該当する負担区分コードを記載すること。

|                    |    | 負担区分<br>コード | 医保・国保 | 公費① | 公費② | 公費③ | 公費④ |
|--------------------|----|-------------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 医保・国保と公費又は公費と公費の併用 | 1者 | 1           | ○     |     |     |     |     |
|                    |    | 5           |       | ○   |     |     |     |
|                    |    | 6           |       |     | ○   |     |     |
|                    |    | B           |       |     |     | ○   |     |
|                    |    | C           |       |     |     |     | ○   |
|                    | 2者 | 2           | ○     | ○   |     |     |     |
|                    |    | 3           | ○     |     | ○   |     |     |
|                    |    | E           | ○     |     |     | ○   |     |
|                    |    | G           | ○     |     |     |     | ○   |
|                    |    | 7           |       | ○   | ○   |     |     |
|                    |    | H           |       | ○   |     | ○   |     |
|                    |    | I           |       | ○   |     |     | ○   |
|                    |    | J           |       |     | ○   | ○   |     |
|                    |    | K           |       |     | ○   |     | ○   |
|                    |    | L           |       |     |     | ○   | ○   |
|                    | 3者 | 4           | ○     | ○   | ○   |     |     |
|                    |    | M           | ○     | ○   |     | ○   |     |
|                    |    | N           | ○     | ○   |     |     | ○   |
|                    |    | O           | ○     |     | ○   | ○   |     |
|                    |    | P           | ○     |     | ○   |     | ○   |
|                    |    | Q           | ○     |     |     | ○   | ○   |
|                    |    | R           |       | ○   | ○   | ○   |     |
|                    |    | S           |       | ○   | ○   |     | ○   |
|                    |    | T           |       | ○   |     | ○   | ○   |
|                    |    | U           |       |     | ○   | ○   | ○   |
|                    | 4者 | V           | ○     | ○   | ○   | ○   |     |
|                    |    | W           | ○     | ○   | ○   |     | ○   |
|                    |    | X           | ○     | ○   |     | ○   | ○   |

|    |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|---|
|    | Y | ○ |   | ○ | ○ | ○ |
|    | Z |   | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5者 | 9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

(2) 訪問看護基本療養費(I)を算定する場合

ア 保健師、助産師又は看護師が週3日までの指定訪問看護を行った場合は「区分」に10及び11、「名称」に訪問看護基本療養費1(看護師等)(週3日目まで)、准看護師が行った場合は「区分」に10及び12、「名称」に訪問看護基本療養費1(准看護師)(週3日目まで)、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が行った場合は「区分」に10及び14、「名称」に訪問看護基本療養費1(理学療法士等)(週3日目まで)を記載すること。

また、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に指定訪問看護を行った日数を記載し、週4日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。

さらに、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(I)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

イ 悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が指定訪問看護を行った場合は「区分」に10及び13、「名称」に訪問看護基本療養費1(専門の研修を受けた看護師)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に指定訪問看護を行った日数を記載すること。

また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(I)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

ウ 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(3) 訪問看護基本療養費(II)を算定する場合

ア 同一建物居住者(「訪問看護療養費に係る指定訪問看護の費用の額の算定方法」(平成20年厚生労働省告示第67号)に規定するものをいう。以下「同一建物居住者」という。)に対し、週3日までの指定訪問看護を保健師、助産師又は看護師が行った場合は「区分」に10及び15、「名称」に訪問看護基本療養費2(看護師等)(週3日目まで)、准看護師が行った場合は「区分」に10及び16、「名称」に訪問看護基本療養費2(准看護師)(週3日目まで)、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が行った「区分」に10及び18、「名称」に訪問看護基本療養費2(理学療法士等)(週3日目まで)を記載すること。

また、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に指定訪問看護を行った日数を記載し、週4日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。なお、同一日に2人に対して訪問した場合は「2人」、同一日に3人以上に対して訪問した場合は「3人以上」を記載し同様に記載すること。

さらに、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(II)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

イ 同一建物居住者に対し、悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が指定訪問看護を行った場合は

「区分」に 10 及び 17、「名称」に訪問看護基本療養費 2 (専門の研修を受けた看護師)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に指定訪問看護を行った日数を記載すること。

また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(Ⅱ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

ウ 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(4) 精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)を算定する場合

ア 保健師又は看護師が週 3 回までの指定訪問看護を行った場合には、1 回の指定訪問看護の実施時間に基づき、「区分」に 30 及び 31、「名称」に精神科訪問看護基本療養費 1 (看護師等)(週 3 日目まで)、「30 分以上」又は「30 分未満」のいずれか、作業療法士が行った場合は「区分」に 30 及び 32、「名称」に精神科訪問看護基本療養費 1 (作業療法士)(週 3 日目まで)、「30 分以上」又は「30 分未満」のいずれか、准看護師が行った場合は「区分」に 30 及び 33、「名称」に精神科訪問看護基本療養費 1 (准看護師等)(週 3 日目まで)、「30 分以上」又は「30 分未満」のいずれかを記載すること。

また、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に指定訪問看護を行った日数を記載し、週 4 日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。

さらに、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

イ 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(5) 精神科訪問看護基本療養費(Ⅲ)を算定する場合

ア 同一建物居住者に対して、週 3 回までの指定訪問看護を保健師又は看護師が行った場合には、1 回の指定訪問看護の実施時間に基づき、「区分」に 30 及び 34、「名称」に精神科訪問看護基本療養費 3 (看護師等)(週 3 日目まで)、「30 分以上」又は「30 分未満」のいずれか、作業療法士が行った場合は「区分」に 30 及び 35、「名称」に精神科訪問看護基本療養費 3 (作業療法士)(週 3 日目まで)、「30 分以上」又は「30 分未満」のいずれか、准看護師が行った場合は「区分」に 30 及び 36、「名称」に精神科訪問看護基本療養費 3 (准看護師)(週 3 日目まで)、「30 分以上」又は「30 分未満」のいずれかを記載すること。

また、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に指定訪問看護を行った日数を記載し、週 4 日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。同一日に 2 人に対して訪問した場合は「2 人」、同一日に 3 人以上に対して訪問した場合は「3 人以上」を記載し同様に記載すること。

さらに、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、精神科訪問看護基本療養費(Ⅲ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

イ 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(6) 訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅱ)の加算並びに精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅲ)

の加算について

ア 末期の悪性腫瘍等の利用者又は特別訪問看護指示書が交付された者に対して、必要に応じて1日に2回指定訪問看護を行った場合は、「区分」に10及び19、「名称」に難病等複数回訪問加算(1日に2回の場合)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月において複数回訪問した日数を記載し、1日に3回以上指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

また、精神科在宅患者支援管理料を算定する利用者に対して、必要に応じて1日に2回指定訪問看護を行った場合は、「区分」に30及び42、「名称」に精神科複数回訪問加算(1日に2回の場合)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月において複数回訪問した日数を記載し、1日に3回以上指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した者に該当する職種の職種等コードを訪問回数に応じて選択すること。

イ 訪問看護計画に基づき定期的に行う指定訪問看護以外であって、利用者又はその家族等の緊急の求めに応じて、診療所又は在宅療養支援病院の保険医の指示により、連携する訪問看護ステーションの看護師等が訪問看護を行った場合は以下によること。

(ア) 緊急訪問看護加算の場合、「区分」に10及び20、「名称」に緊急訪問看護加算(14日目まで)又は緊急訪問看護加算(15日目以降)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。なお、当該月に算定する日数に応じて、「14日目まで」又は「15日目以降」の行に分けて記載すること。

(イ) 精神科緊急訪問看護加算の場合、「区分」に30及び37、「名称」に精神科緊急訪問看護加算(14日目まで)又は精神科緊急訪問看護加算(15日目以降)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。なお、当該月に算定する日数に応じて、「14日目まで」又は「15日目以降」の行に分けて記載すること。

ウ 別に厚生労働大臣の定める長時間の訪問を要する者に対し、訪問看護ステーションの看護師等が90分を超える訪問看護を実施した場合は以下によること。

(ア) 長時間訪問看護加算の場合、「区分」に10及び21、「名称」に長時間訪問看護加算、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。

(イ) 長時間精神科訪問看護加算の場合、「区分」に30及び38、「名称」に長時間精神科訪問看護加算、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。

エ 訪問看護基本療養費(I)及び(II)において、6歳未満の利用者に対して指定訪問看護を実施した場合は以下によること。

(ア) 乳幼児加算(別に厚生労働大臣が定める者を除く。)の場合、「区分」に10及び22、「名称」に乳幼児加算、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問

した日数を記載すること。

- (イ) 乳幼児加算(別に厚生労働大臣が定める者に限る。)の場合、「区分」に 10 及び 22、「名称」に乳幼児加算(厚生労働大臣が定める者)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。

オ 訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅱ)において、別に厚生労働大臣が定める同時に複数の看護師等による指定訪問看護が必要な者に対して、訪問看護ステーションの保健師、助産師、看護師又は准看護師に保健師、助産師若しくは看護師又は理学療法士、作業療法士若しくは言語聴覚士が同行し同時に訪問看護を行った場合は以下によること。

- (ア) 「区分」に 10 及び 23、「名称」に複数名訪問看護加算(他の看護師等(准看護師を除く。))と同時、准看護師が同時に行った場合は「区分」に 10 及び 23、「名称」に複数名訪問看護加算(他の准看護師と同時)、その他職員が同行しハを算定する場合は「区分」に 10 及び 23、「名称」に複数名訪問看護加算(その他職員と同時(別に厚生労働大臣が定める場合を除く。))、その他職員が同行しニを算定する場合は「区分」に 10 及び 23、「名称」に複数名訪問看護加算(その他職員と同時(別に厚生労働大臣が定める場合に限る。))を記載すること。

- (イ) 「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。その他職員が同行しニを算定する場合は、1日に指定訪問看護を行った回数に応じ「1日に1回」、「1日に2回」又は「1日に3回以上」の行に分けて記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

- (ウ) 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した複数の者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

カ 精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅲ)において、訪問看護ステーションの保健師又は看護師に保健師、看護師又は作業療法士が同行し同時に訪問看護を行った場合は以下によること。

- (ア) 「区分」に 30 及び 39、「名称」に複数名精神科訪問看護加算(他の保健師、看護師又は作業療法士と同時)、准看護師が同時に行った場合は「区分」に 30 及び 39、「名称」に複数名精神科訪問看護加算(准看護師と同時)、看護補助者又は精神保健福祉士が同時に行った場合は「区分」に 30 及び 39、「名称」に複数名精神科訪問看護加算(看護補助者又は精神保健福祉士と同時)を記載すること。

- (イ) 「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。複数名精神科訪問看護加算(他の保健師、看護師又は作業療法士と同時)及び複数名精神科訪問看護加算(准看護師と同時)を算定する場合には、1日に指定訪問看護を行った回数に応じ「1日に1回」、「1日に2回」又は「1日に3回以上」の行に分けて記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

- (ウ) 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した複数の者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

キ 夜間(午後6時から午後10時まで)又は早朝(午前6時から午前8時まで)に指定訪問看護

護を行った場合は以下によること。

(ア) 夜間・早朝訪問看護加算(訪問看護基本療養費)の場合、「区分」に 10 及び 24、「名称」に夜間・早朝訪問看護加算(訪問看護基本療養費)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。

(イ) 夜間・早朝訪問看護加算(精神科訪問看護基本療養費)の場合、「区分」に 30 及び 40、「名称」に夜間・早朝訪問看護加算(精神科訪問看護基本療養費)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。

ク 深夜(午後 10 時から午前 6 時まで)に指定訪問看護を行った場合は以下によること。

(ア) 深夜訪問看護加算(訪問看護基本療養費)の場合、「区分」に 10 及び 25、「名称」に深夜訪問看護加算(訪問看護基本療養費)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。

(イ) 深夜訪問看護加算(精神科訪問看護基本療養費)の場合、「区分」に 30 及び 41、「名称」に深夜訪問看護加算(精神科訪問看護基本療養費)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問した日数を記載すること。

(7) 訪問看護基本療養費(Ⅲ)及び精神科訪問看護基本療養費(Ⅳ)を算定する場合

ア 訪問看護基本療養費(Ⅲ)においては、指定訪問看護を受けようとする入院中の者で、在宅療養に備えて一時的に外泊をしている利用者に対して、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が指定訪問看護を行った場合には「区分」10 及び 26、「名称」に訪問看護基本療養費 3、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に訪問看護基本療養費(Ⅲ)を算定した回数を記載すること。

イ 精神科訪問看護基本療養費(Ⅳ)においては、指定訪問看護を受けようとする入院中の者で、在宅療養に備えて一時的に外泊をしている利用者に対して、保健師、看護師、准看護師又は作業療法士が指定訪問看護を行った場合には「区分」30 及び 43、「名称」に精神科訪問看護基本療養費 4、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に精神科訪問看護基本療養費(Ⅳ)を算定した回数を記載すること。

ウ 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(8) 月の途中で、利用者の住所変更等の理由により加算の算定の有無に異動があった場合には、行を改めて、それぞれの場合について、算定額、当該月に行った指定訪問看護を行った日数を記載すること。

(9) 同一の指定訪問看護において複数の者が行った場合は、主として指定訪問看護を提供した 1 人の者についてのみ 1 日として記載すること(難病等複数回訪問加算及び精神科複数回訪問加算並びに複数名訪問看護加算及び複数名精神科訪問看護加算の算定日を除く。)

(10) 「管理療養費」について

ア 次により記載すること。

(ア) 月の初日の訪問の場合は、「区分」に 50 及び 51、「名称」に訪問看護管理療養費(月の初日の訪問の場合)(機能強化型訪問看護管理療養費 1)、(機能強化型訪問看護管理療養費 2)、(機能強化型訪問看護管理療養費 3)又は(イからハまで以外)、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

(イ) 月の2日目以降の訪問の場合は、「区分」に50及び51、「名称」に訪問看護管理療養費(月の2日目以降の訪問の場合)(訪問看護管理療養費1)又は(訪問看護管理療養費2)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に訪問した日数から1を引いた数を記載すること。

イ 管理療養費の各加算については、当該月に算定した加算の内容を次のとおり記載すること。

(ア) 24時間対応体制加算を算定した場合には、「区分」に50及び52、「名称」に24時間対応体制加算(看護業務の負担軽減の取組を行っている場合)又は24時間対応体制加算(イ以外の場合)、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

(イ) 特別管理加算を算定した場合には、「区分」に50及び53、「名称」に特別管理加算又は特別管理加算(特別な管理を必要とする利用者のうち重症度等の高いものとして別に厚生労働大臣が定める状態等にある利用者)、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

(ウ) 退院時共同指導加算を算定した場合は、「区分」に50及び54、「名称」に退院時共同指導加算、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に退院時共同指導加算を算定した回数を記載すること。なお、当該加算は、同一日に複数回行った場合であっても1回に限り算定すること。

さらに、当該利用者が厚生労働大臣の定める特別な管理を必要とする者で特別管理指導加算を算定した場合は、「区分」に50及び54、「名称」に特別管理指導加算、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に特別管理指導加算を算定した回数を記載すること。特別管理指導加算は、厚生労働大臣が定める疾病等の利用者については当該入院中に2回に限り算定できる。

電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指導を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(エ) 退院支援指導加算を算定した場合は、次により記載すること。

a 退院支援指導加算(長時間行った場合を除く。)を算定した場合は、「区分」に50及び55、「名称」に退院支援指導加算、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に該当月に算定した回数を記載すること。

b 退院支援指導加算(長時間行った場合に限る。)を算定した場合は、「区分」に50及び55、「名称」に退院支援指導加算(別に厚生労働大臣が定める長時間の訪問を要する者)、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に該当月に算定した回数を記載すること。

c 電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指導を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(オ) 在宅患者連携指導加算を算定した場合は、「区分」に50及び56、「名称」に在宅患者連携指導加算、「金額(円)」に該当する金額と記載すること。

電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指導を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(カ) 在宅患者緊急時等カンファレンス加算を算定した場合は、「区分」に50及び57、

「名称」に在宅患者緊急時等カンファレンス加算、「金額(円)」に該当する金額、「日数(日)」に当該月に在宅患者緊急時等カンファレンス加算を算定した回数を記載すること。なお、当該加算は、同一日に複数回行った場合であっても1回に限り算定すること。

電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、カンファレンスに参加し、療養上必要な指導を行った者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

- (キ) 精神科重症患者支援管理連携加算を算定した場合は、「区分」に50及び58、「名称」に精神科重症患者支援管理連携加算、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、当該指定訪問看護を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

- (ク) 看護・介護職員連携強化加算を算定した場合は、「区分」に50及び59、「名称」に看護・介護職員連携強化加算、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、支援を実施した者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

- (ケ) 専門管理加算を算定した場合は、「区分」に50及び60、「名称」に専門管理加算(緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が計画的な管理を行った場合)又は専門管理加算(特定行為研修を修了した看護師が計画的な管理を行った場合)、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

- (コ) 訪問看護医療DX情報活用加算を算定した場合は、「区分」に50及び61、「名称」に訪問看護医療DX情報活用加算、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

- (11) 「訪問看護情報提供療養費」について

当該月において、当該指定訪問看護の利用者の指定訪問看護の状況等の情報を提供した場合は、「区分」に70及び70、「名称」に訪問看護情報提供療養費1、訪問看護情報提供療養費2又は訪問看護情報提供療養費3、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

- (12) 「訪問看護ターミナルケア療養費」について

ア 訪問看護ステーションが、在宅で死亡した利用者について、死亡日及び死亡日前14日以内の計15日間に2回以上訪問看護基本療養費又は精神科訪問看護基本療養費を算定(退院支援指導加算を含む)し、かつ、訪問看護におけるターミナルケアの支援体制について利用者及びその家族に対して説明を行った上でターミナルケアを行った場合は、「区分」に80及び81、「名称」にターミナルケア療養費1又はターミナルケア療養費2、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

イ 遠隔死亡診断補助加算を算定した場合は、「区分」に80及び82、「名称」に遠隔死亡診断補助加算、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

- (13) 「訪問看護ターミナルケア療養費」について

ア 訪問看護ステーションが、在宅で死亡した利用者について、死亡日及び死亡日前14日以内の計15日間に2回以上訪問看護基本療養費又は精神科訪問看護基本療養費を算定(退院支援指導加算を含む)し、かつ、訪問看護におけるターミナルケアの支援体制につ



いて利用者及びその家族に対して説明を行った上でターミナルケアを行った場合は、「区分」に 80 及び 81、「名称」にターミナルケア療養費 1 又はターミナルケア療養費 2、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

イ 遠隔死亡診断補助加算を算定した場合は、「区分」に 80 及び 82、「名称」に遠隔死亡診断補助加算、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

電子レセプトによる請求の場合、(15)に記載する表に掲げる職種等のうち、医師の死亡診断の補助を行った者に該当する職種の職種等コードを選択すること。

(14) 「訪問看護ベースアップ評価料」について

ア 訪問看護ベースアップ評価料(I)を算定した場合には、「区分」に 90 及び 91、「名称」に訪問看護ベースアップ評価料(1)、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

イ 訪問看護ベースアップ評価料(II)を算定した場合には、「区分」に 90 及び 92、「名称」に訪問看護ベースアップ評価料(2) 1 から 18 までのいずれか、「金額(円)」に該当する金額を記載すること。

(15) (1)から(14)までのうち、該当する職種の職種等コードを選択することとしているものについては、次の表に掲げる職種等コードを記載すること。

| コード |    |     |    |       |    | 内容  |
|-----|----|-----|----|-------|----|---|
| 1回目 |    | 2回目 |    | 3回目以降 |    |   |
| 01  | 51 | 11  | 61 | 21    | 71 |   |
| 02  | 52 | 12  | 62 | 22    | 72 | 助産師   |
| 03  | 53 | 13  | 63 | 23    | 73 | 看護師（悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法（昭和 23 年法律第 203 号）第 37 条の 2 第 2 項第 5 号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師を除く） |
| 04  | 54 | 14  | 64 | 24    | 74 | 理学療法士   |
| 05  | 55 | 15  | 65 | 25    | 75 | 作業療法士   |
| 06  | 56 | 16  | 66 | 26    | 76 | 言語聴覚士   |
| 07  | 57 | 17  | 67 | 27    | 77 | 准看護師  |
| 08  | 58 | 18  | 68 | 28    | 78 | 悪性腫瘍の利用者に対す   |

・同日複数回の指定訪問看護を実施し、訪問回ごとの職種等コードを記録する場合は、それぞれ「1回目」から「3回目以降」の該当する列のコードを使用して記録する。

・同日に 4 回以上の指定訪問看護を実施した場合は、3回目以降の任意の訪問回の職種を「3回目以降」のコードを使用して記録する。

|    |    |    |    |    |    |  |  |
|----|----|----|----|----|----|--|--|
|    |    |    |    |    |    | る緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師 | ・上記以外の場合<br>は、「1回目」の<br>列のコードを使用<br>して記録する。<br><br>・従たる訪問看護<br>ステーションに勤<br>務する者が指定訪<br>問看護を行った場<br>合は、「51」～<br>「80」のいずれ<br>かを記録する。 |
| 09 | 59 | 19 | 69 | 29 | 79 | 看護補助者  |  |
| 10 | 60 | 20 | 70 | 30 | 80 | 精神保健福祉士  |  |

## 22 後期高齢者医療におけるその他

高齢者医療確保法第50条第2号に該当する者(65歳から75歳未満の者であって、後期高齢者医療広域連合の障害認定を受けた者)が75歳に到達した月に療養を受けた場合(自己負担限度額が2分の1とならない場合)には、19(6)「特記事項」として「11 障害」と記載すること。

### 第2の2 明細書に関する事項(様式第四の二関係)

#### 1 「令和 年 月分」欄について

指定訪問看護の行われた年月を記載すること。

#### 2 「都道府県番号」欄について

別添1「訪問看護ステーションコード設定要領」の別表に掲げる都道府県番号表に従い、訪問看護ステーションの所在する都道府県の番号を記載すること。

#### 3 「訪問看護ステーションコード」欄について

Ⅱの第1の2と同様であること。

#### 4 「6訪問」における「1 社・国 2 公費 3 後期」(以下「保険種別1」という。)

「1 単独 2 2併 3 3併」(以下「保険種別2」という。)及び「2 本人 4 六歳 6 家族」欄について

(1) 「保険種別1」欄については、以下の左に掲げる保険の種別に応じ、該当する番号を○で囲むこと。

健康保険(船員保険を含む。以下同じ。)又は国民健康保険

..... 1 社・国

公費負担医療(健康保険、国民健康保険又は後期高齢者医療との併用の場合を除く。)

..... 2 公費

後期高齢者医療

..... 3 後期

(2) 「保険種別2」欄については、「保険種別1」欄のそれぞれについて、以下の左に掲げる

種別に応じ、該当する番号を○で囲むこと。

|                 |       |   |    |
|-----------------|-------|---|----|
| 単独              | ..... | 1 | 単独 |
| 1種の公費負担医療との併用   | ..... | 2 | 2併 |
| 2種以上の公費負担医療との併用 | ..... | 3 | 3併 |

(注) 公費負担医療には、地方公共団体が独自に行う医療費助成事業を含むものであること。

- (3) 「本人・家族」欄については、以下の左に掲げる種別に応じて、右の番号のうち1つを○で囲むこと。なお、未就学者である利用者（6歳に達する日以後最初の3月31日以前の利用者をいう。以下同じ。）は「4」、高齢受給者及び後期高齢者医療受給対象者は「8」又は「0」を○で囲むこととし、また、公費負担医療については本人に該当するものとする。

ただし、国民健康保険の場合は、市町村国民健康保険であって被保険者（世帯主）と被保険者（その他）の給付割合が異なるもの及び国民健康保険組合については被保険者（世帯主（高齢受給者を除く。））は「2」、被保険者（その他（未就学者である利用者及び高齢受給者を除く。））は「6」を○で囲むこととし、それ以外（未就学者である利用者及び高齢受給者を除く。）はいずれか一方を○で囲むこと。

なお、「2 本人」（若しくは「2 本」）、「4 六歳」（若しくは「4 六」）、「6 家族」（若しくは「6 家」）、「8 高齢一」（若しくは「8 高一」）又は「0 高齢7」（若しくは「0 高7」）の項のみを印刷したものを使用することとしても差し支えないこと。

|                        |       |   |     |
|------------------------|-------|---|-----|
| 2 本人                   | ..... | 2 | 本人  |
| 4 未就学者                 | ..... | 4 | 六歳  |
| 6 家族                   | ..... | 6 | 家族  |
| 8 高齢受給者・後期高齢者医療一般・低所得者 | ..... | 8 | 高齢一 |
| 0 高齢受給者・後期高齢者医療7割給付    | ..... | 0 | 高齢7 |

(注) 後期高齢者医療一般のうち、1割負担の者と、2割負担の者の判別については、「特記」欄に記載される所得区分により行うため、特段の記載は必要ない。

- (4) 電子計算機の場合は、以下のいずれかの方法によること。

ア 当該欄の上に選択する番号及び保険種別等のみを記載する。

イ 選択肢をすべて記載した上で、選択しないものをすべて＝線で抹消する。

## 5 「保険者番号」欄について

- (1) 設定された保険者番号8桁（国民健康保険については6桁）を記載すること（設定要領の第1を参照）。
- (2) 公費負担医療単独の場合及び公費負担医療と公費負担医療の併用の場合（以下「公費負担医療のみの場合」という。）は、別段の定めのある場合を除き、記載しないこと。

## 6 「給付」欄について

国民健康保険の場合、該当する給付割合を○で囲むか、（ ）の中に給付割合を記載すること。ただし、国民健康保険については、自県分の場合は、記載を省略しても差し支えないこと。

## 7 「被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号」欄について

- (1) 健康保険被保険者証、国民健康保険被保険者証、船員保険被保険者証、受給資格者票及び

特別療養費受給票等（以下「被保険者証等」という。）の「記号及び番号」欄の記号及び番号を記載すること。また、後期高齢者医療被保険者証の「被保険者番号」欄の「被保険者番号」を記載すること。被保険者証等の「記号及び番号」欄に枝番の記載がある場合は、併せて枝番を記載すること。

- (2) 記号と番号の間にスペース、「・」若しくは「-」を挿入するか、又は上段に記号、下段に番号を記載すること。また、枝番は「（枝番）」の後ろに記載すること。
- (3) 当該記号及び番号のうち○で囲んだ文字に代えて当該文字を（ ）で囲んだものを使用して記載することも差し支えなく、記載枠に入りきらない等の場合は、（ ）を省略しても差し支えないこと。

なお、被保険者が、月の途中において、記号若しくは番号を変更した場合又は任意継続に変更した場合（給付割合に変更がない場合に限る。）は、変更後の記号又は番号を記載すること。

#### 8 「公費負担者番号①」欄及び「公費負担者番号②」欄について

- (1) 医療券等に記入されている公費負担者番号8桁を記載すること（設定要領の第2を参照）。
- (2) 別添2「法別番号及び制度の略称表」に示す順番により、先順位の公費負担者番号を「公費負担者番号①」欄に（以下「公費負担者番号①」欄に記載される公費負担者番号を「第1公費」という。）、後順位の公費負担者番号を「公費負担者番号②」欄に（以下「公費負担者番号②」欄に記載される公費負担者番号を「第2公費」という。）記載すること。
- (3) 保険者番号及び受給者番号の変更はないが、同種の公費負担医療で住所変更により月の途中において公費負担者番号の変更があった場合は、変更前の公費負担医療に係る分を第1公費とし、変更後の公費負担医療に係る分を第2公費として取り扱うものとする。

#### 9 「公費負担医療の受給者番号①」欄及び「公費負担医療の受給者番号②」欄について

医療券等に記入されている受給者番号7桁を、第1公費については「公費負担医療の受給者番号①」欄に、第2公費については「公費負担医療の受給者番号②」欄に記載すること（設定要領の第3を参照）。

#### 10 「氏名」欄について

- (1) 指定訪問看護を受けた者の姓名を記載すること。ただし、健康保険、船員保険、国家公務員共済組合、地方公務員等共済組合又は日本私立学校振興・共済事業団の被保険者については、姓のみの記載で差し支えないこと。

なお、電子計算機の場合は、例外的に漢字を読み替えたカタカナを使用すること又はひらがなをカタカナに読み替えて記載することも差し支えないこととするが、この場合には被保険者であっても姓名を記載することとし、姓と名の間にスペースをとること。

また、上記により記載した姓名とは別にカタカナによる姓名を記載することが望ましい。

- (2) 性別は該当するものを○で囲むこと。

なお、電子計算機の場合は、「1 男」又は「2 女」と記載しても差し支えないこと。

- (3) 生年月日は以下によること。

ア 該当する元号を○で囲み、生まれた年月日を記載すること。

イ 電子計算機の場合は、元号については「1 明」、「2 大」、「3 昭」、「4 平」又は「5 令」と記載すること。

11 「訪問した場所」欄について

訪問した場所が自宅の場合は「1 自宅」を、次の表に掲げる施設等の場合は「2 施設」を、上記に該当しない場合は「3 その他」をそれぞれ○で囲むこと。

なお、月の途中で訪問した場所に変更があった場合等、複数に該当する場合については、該当するものを全て○で囲むこと。

また、訪問した場所が「2 施設」に該当する場合にあっては、次の表に掲げる施設等のうち該当するコードを、「3 その他」に該当する場合にあってはその場所をそれぞれの（ ）に記載すること。

| コード | 施設等                     |
|-----|-------------------------|
| 01  | 社会福祉施設及び身体障害者施設         |
| 02  | 小規模多機能型居宅介護             |
| 03  | 複合型サービス                 |
| 04  | 認知症対応型グループホーム           |
| 05  | 特定施設                    |
| 06  | 地域密着型介護老人福祉施設及び介護老人福祉施設 |

12 「職務上の事由」欄について

船員保険の被保険者については、「1 職務上」、「2 下船後3月以内」又は「3 通勤災害」のうち該当するものを○で囲むこと。ただし、「1 職務上」及び「3 通勤災害」については、災害発生時が平成21年12月31日以前のものに限る。共済組合の船員組合員については、下船後3月以内の傷病で職務上の取扱いとなる場合に「2 下船後3月以内」の番号を○で囲むこと。

電子計算機の場合は、番号と名称又は次の略称を記載することとしても差し支えないこと。

1 職上（職務上）、 2 下3（下船後3月以内）、 3 通災（通勤災害）

13 「特記」欄について

次の表の内容に該当する特記事項を記載する場合は、略称を記載すること。

なお、電子計算機の場合はコードと略称を記載すること。

| コード | 略称 | 内 容  |
|-----|----|--|
| 01  | 公  | 医療保険単独の者及び後期高齢者医療単独の者に係る明細書で、「公費負担医療が行われる療養に係る高額療養費の支給について」（昭和48年10月30日付保発第42号、庁保発第26号）による公費負担医療が行われる療養に要する費用の額が、健康保険法施行令（大正15年勅令第243号）第42条及び高齢者医療確保法施行令第15条に規定する額を超える場合 |
| 02  | 長  | 以下のいずれかに該当する場合<br>① 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出した利用者の負担額が、健康保険法施行令第42条第9項第1号に規定する金額を超えた場合  |

|    |    |  |
|----|----|--|
|    |    | <p>(ただし、利用者が特定疾病療養受療証の提出を行った際に、既に同号に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。)</p> <p>② 後期高齢者医療特定疾病療養受療証を提示した利用者の負担額が、高齢者医療確保法施行令第 15 条第 6 項に規定する金額を超えた場合(ただし、利用者が後期高齢者医療特定疾病療養受療証の提示を行った際に、既に同項に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。)</p>  |
| 04 | 後保 | 公費負担医療単独及び公費負担医療併用の場合、請求金額を訪問看護療養費に係る指定訪問看護の費用の額の算定方法によった場合  |
| 10 | 第三 | 利用者の疾病又は負傷が、第三者の不法行為(交通事故等)によって生じたと認められる場合   |
| 16 | 長2 | 高額長期疾病に係る特定疾病療養受療証を提出した利用者の負担額が、健康保険法施行令第 42 条第 9 項第 2 号に規定する金額を超えた場合(ただし、利用者が特定疾病療養受療証の提出を行った際に、既に同号に規定する金額を超えて受領している場合であって、現物給付化することが困難な場合を除く。)  |
| 21 | 高半 | 月の初日以外の日により 75 歳に到達し後期高齢者医療の被保険者となったことにより被用者保険の被保険者でなくなった者の被扶養者であった者又は月の初日以外の日により 75 歳に到達し後期高齢者医療の被保険者となったことにより国民健康保険組合の組合員でなくなった者の世帯に属する組合員以外の被保険者であった者(いずれも市町村国保に加入することになる。)であって、当該後期高齢者医療の被保険者が 75 歳に到達した月に訪問看護を受けた者の場合   |
| 26 | 区ア | <p>70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 83 万円以上(国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 901 万円超)の世帯」の限度額適用認定証(適用区分が(ア))が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 83 万円以上(国民健康保険にあつては、旧ただし書き所得 901 万円超)の世帯」の適用区分(ア)の記載のある難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく医療受給者証(以下「特定医療費受給者証」という。)、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70 歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 83 万円以上(国民健康保険及び後期高齢者医療にあつては、課税所得 690 万円以上)の世帯」の高齢受給者証又は後期高齢者医療被保険者証(一部負担金の割合(3割))の提示のみの場合</p> <p>② 「標準報酬月額 83 万円以上(国民健康保険及び後期高齢者医療にあつ</p> |

|    |    |   |
|----|----|---|
|    |    | ては、課税所得 690 万円以上) の世帯」の適用区分 (VI) の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合  |
| 27 | 区イ | <p>70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 53 万～79 万円 (国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下) の世帯」の限度額適用認定証 (適用区分が (イ) ) が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 53 万～79 万円 (国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 600 万円超～901 万円以下) の世帯」の適用区分 (イ) の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70 歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 53 万～79 万円 (国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 380 万円以上) の世帯」の限度額適用認定証 (適用区分が (現役並みⅡ又は現役Ⅱ) ) が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 53 万～79 万円 (国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 380 万円以上) の世帯」の適用区分 (V) の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p> |
| 28 | 区ウ | <p>70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 28 万～50 万円 (国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下) の世帯」の限度額適用認定証 (適用区分が (ウ) ) が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 28 万～50 万円 (国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円超～600 万円以下) の世帯」の適用区分 (ウ) の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70 歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 28 万～50 万円 (国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 145 万円以上) の世帯」の限度額適用認定証 (適用区分が (現役並みⅠ又は現役Ⅰ) ) が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 28 万～50 万円 (国民健康保険及び後期高齢者医療にあっては、課税所得 145 万円以上) の世帯」の適用区分 (Ⅳ) の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p> |
| 29 | 区エ | <p>70 歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 26 万円以下 (国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円以下) の世帯」の限度額適用認定証 (適用区分が (エ) ) が提示された場合</p> <p>② 「標準報酬月額 26 万円以下 (国民健康保険にあっては、旧ただし書き所得 210 万円以下) の世帯」の適用区分 (エ) の記載のある特定医療費受</p>   |

|    |    |  |
|----|----|--|
|    |    | <p>給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、課税所得 145 万円未満）の世帯」の高齢受給者証（一部負担金の割合（2割））の提示のみの場合</p> <p>② 「標準報酬月額 26 万円以下（国民健康保険にあっては、課税所得 145 万円未満）の世帯」の適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p>  |
| 30 | 区オ | <p>70歳未満で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「低所得者の世帯」の限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（オ））が提示された場合</p> <p>② 「低所得者の世帯」の適用区分（オ）の記載のある特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証又は小児慢性特定疾病医療受給者証が提示された場合</p> <p>70歳以上で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 「低所得者の世帯」の限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証（適用区分が（Ⅰ又はⅡ））が提示された場合</p> <p>② 「低所得者の世帯」の適用区分（Ⅰ又はⅡ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p> |
| 41 | 区カ | <p>後期高齢者医療で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2割））の提示のみの場合</p> <p>② 課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円以上（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円以上）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（2割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合</p>          |
| 42 | 区キ | <p>後期高齢者医療で以下のいずれかに該当する場合</p> <p>① 課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）又は課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）の後期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1割））の提示のみの場合</p> <p>② 課税所得 28 万円未満（「低所得者の世帯」を除く。）又は課税所得 28 万円以上 145 万円未満で年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で 200 万円未満（後期高齢者が 2 人以上の世帯の場合は 320 万円未満）の後</p>                     |



|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | 期高齢者医療被保険者証（一部負担金の割合（1割））かつ適用区分（Ⅲ）の記載のある特定医療費受給者証又は特定疾患医療受給者証が提示された場合 |
|--|--|---|

※ 「区カ」及び「区キ」については、令和4年10月1日から適用する。令和4年9月30日までの間は、後期高齢者医療にあつては従前どおり「区エ」を使用されたい。

14 「訪問看護ステーションの住所地及び名称」欄について

事業者の指定申請の際等に地方厚生（支）局長に届け出た当該訪問看護ステーションの所在地及び名称を記載すること。この場合、所在地とともに、連絡先電話番号を記載することが望ましいものであること。

15 「主治医」欄について

- (1) 「医療機関の名称」の項に、当該指定訪問看護に係る訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書を交付した医師の所属する保険医療機関等の名称を記載すること。
- (2) 「氏名」の項に、当該指定訪問看護に係る訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書を交付した医師の氏名を記載すること。
- (3) 「直近報告年月日」の項に、訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書を交付した主治医に対して、訪問看護計画書若しくは訪問看護報告書又は精神科訪問看護計画書若しくは精神科訪問看護報告書により報告をした場合には、その最終報告年月日を記載すること。

16 「主たる傷病名」欄について

指定訪問看護の利用者の主たる傷病名については、当該指定訪問看護に係る主治医の交付した訪問看護指示書に基づいて、主傷病、副傷病の順に1から3の項目欄にそれぞれ記載するが、必要に応じて1から3の項目順以降に別途記載してもよい。

17 「心身の状態」欄について

指定訪問看護の利用者の心身の状態を記載するものとし、訪問看護療養費の算定要件において必要な利用者の状態や日常生活動作（ADL）の状態等を具体的に記載すること。

「訪問看護療養費に係る訪問看護ステーションの基準等」（平成18年厚生労働省告示第103号）第2の1に規定する疾病等の有無について、「1 別表7」、「2 別表8」又は「3 無」の該当する数字を○で囲むこと。なお、電子計算機の場合は、○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。また、利用者の状態等が別表7、別表8又は同告示第2の3の（2）に規定する超重症児若しくは準超重症児に該当する者は、その利用者が該当する全ての疾病等について、次の表に掲げる該当するコードを「該当する疾病等」の欄に記載すること。

| コード |         | 疾病、状態等    |
|-----|---------|-----------|
| 01  | 別表<br>7 | 末期の悪性腫瘍   |
| 02  |         | 多発性硬化症    |
| 03  |         | 重症筋無力症    |
| 04  |         | スモン       |
| 05  |         | 筋萎縮性側索硬化症 |

|    |  |
|----|--|
| 06 | 脊髄小脳変性症  |
| 07 | ハンチントン病  |
| 08 | 進行性筋ジストロフィー症   |
| 09 | パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度のものに限る。）） |
| 10 | 多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）   |
| 11 | プリオン病  |
| 12 | 亜急性硬化性全脳炎  |
| 13 | ライソゾーム病  |
| 14 | 副腎白質ジストロフィー  |
| 15 | 脊髄性筋萎縮症  |
| 16 | 球脊髄性筋萎縮症   |
| 17 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎  |
| 18 | 後天性免疫不全症候群   |
| 19 | 頸髄損傷   |
| 20 | 人工呼吸器を使用している状態の者   |
| 41 | 在宅麻薬等注射指導管理を受けている状態にある者  |
| 42 | 在宅腫瘍化学療法注射指導管理を受けている状態にある者   |
| 43 | 在宅強心剤持続投与指導管理を受けている状態にある者  |
| 44 | 在宅気管切開患者指導管理を受けている状態にある者   |
| 45 | 気管カニューレを使用している状態にある者   |
| 46 | 留置カテーテルを使用している状態にある者   |
| 47 | 在宅自己腹膜灌流指導管理を受けている状態にある者   |
| 48 | 在宅血液透析指導管理を受けている状態にある者   |
| 49 | 在宅酸素療法指導管理を受けている状態にある者   |
| 50 | 在宅中心静脈栄養法指導管理を受けている状態にある者  |
| 51 | 在宅成分栄養経管栄養法指導管理を受けている状態にある者  |
| 52 | 在宅自己導尿指導管理を受けている状態にある者   |
| 53 | 在宅人工呼吸指導管理を受けている状態にある者   |
| 54 | 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理を受けている状態にある者   |
| 55 | 在宅自己疼痛管理指導管理を受けている状態にある者   |
| 56 | 在宅肺高血圧症患者指導管理を受けている状態にある者  |
| 57 | 人工肛門又は人工膀胱を設置している状態にある者  |
| 58 | 真皮を越える褥瘡の状態にある者  |
| 59 | 在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定している者  |
| 91 | 他 超重症児   |

別表  
8

また、精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）又は（Ⅲ）を算定した場合は、当該月の初日の指定訪問看護時におけるGAF尺度により判定した値に対応する次の表に掲げるコードと判定した年月日を「GAF」の欄に記載すること。

| コード | GAF尺度により判定した値  |
|-----|--|
| 01  | GAF尺度100-91  |
| 02  | GAF尺度90-81   |
| 03  | GAF尺度80-71   |
| 04  | GAF尺度70-61   |
| 05  | GAF尺度60-51   |
| 06  | GAF尺度50-41   |
| 07  | GAF尺度40-31   |
| 08  | GAF尺度30-21   |
| 09  | GAF尺度20-11   |
| 10  | GAF尺度10-1  |
| 11  | GAF尺度0   |
| 20  | 家族への訪問看護でありGAF尺度による判定が行えなかった（当該月に利用者本人への訪問看護を行わなかった） |

#### 18 「訪問開始年月日」欄について

- (1) 当該指定訪問看護を開始した年月日を記載すること。
- (2) 同一の利用者に対する指定訪問看護の継続中に、当該訪問看護ステーションにおいて、開設者、名称、所在地等の変更があった場合については、当該訪問看護ステーションの指定訪問看護の内容の継続性が認められて継続して訪問看護ステーションの指定を受けた場合を除き、新たに訪問看護ステーションの指定を受けた日を訪問開始年月日として記載し、「特記事項」欄にその旨を記載すること。
- (3) 同月中に保険種別等の変更があった場合には、その変更があった日を訪問開始年月日として記載し、「特記事項」欄にその旨を記載すること。

#### 19 「訪問終了年月日時刻」欄について

当該指定訪問看護を終了した年月日及び最後に訪問した時刻を記載すること。

#### 20 「訪問終了の状況」欄について

症状の軽快により指定訪問看護を必要としなくなった場合は「1 軽快」、介護老人保健施設等に入所した場合は「2 施設」、保険医療機関等に入院した場合は「3 医療機関」又は死亡した場合は「4 死亡」の該当する番号をそれぞれ○で囲むこと。また上記に該当しない場合は「5 その他」の番号を○で囲み、その内容を（ ）に記載すること。

#### 21 「死亡の状況」欄について

訪問看護ターミナルケア療養費を算定した場合、「時刻」欄には死亡年月日及び時刻を記載し、「場所」欄には、死亡した場所が自宅の場合は「1 自宅」、介護保険施設等の場合は「2 施設」、病院の場合は「3 病院」、診療所の場合は「4 診療所」の該当する番号をそれぞれ○で囲むこと。上記に該当しない場合には、「5 その他」の番号を○で囲み、その場所を（ ）に記載すること。

また、死亡した場所が「2 施設」に該当する場合にあっては、11 の表に掲げる施設等のうち該当するコードを記載すること。

## 22 「指示期間」欄について

(1) 当該指定訪問看護に係る主治医の交付した最新の訪問看護指示書又は精神科訪問看護指示書の指示有効期間（訪問看護療養費又は精神科訪問看護療養費）を示す年月日を記載すること。

なお、指示年月日の記載がない場合は、指示書の有効期間を交付後1か月とみなすこと。

(2) 主治医から、利用者の急性増悪等により一時的に頻回の訪問看護が必要である旨の特別訪問看護指示書又は精神科特別訪問看護指示書の交付を受けた場合は、「（特別指示期間）」又は「（精神特別指示期間）」欄に特別指示の有効期間を示す年月日を記載すること。

なお、請求を行う月の前月に特別訪問看護指示書又は精神科特別訪問看護指示書の交付を受け、当該請求月においても引き続き当該特別指示による訪問看護を実施した場合にあっては、特別指示があった前月の年月日についても「（特別指示期間）」又は「（精神特別指示期間）」欄に記載すること。

## 23 「基本療養費Ⅰ」、「基本療養費Ⅱ」、「基本療養費Ⅰ及びⅡの加算」、「基Ⅲ」、「精神科基本療養費Ⅰ」、「精神科基本療養費Ⅲ」、「精神科基本療養費Ⅰ及びⅢの加算」及び「精Ⅳ」欄について

(1) 訪問看護基本療養費(Ⅰ)を算定する場合

ア 保健師、助産師又は看護師が週3日までの指定訪問看護を行った場合は⑪の「看護師等」の項に「×, ×××」円、准看護師が行った場合は⑫の「准看護師」の項に「×, ×××」円、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が行った場合は⑭の「理学療法士等」の項に「×, ×××」円、当該月に指定訪問看護を行った日数及びこれらに乗じて得た額を記載し、週4日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(Ⅰ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

イ 悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が指定訪問看護を行った場合は以下により記載すること。

(ア) ⑬の「専門の研修を受けた看護師」の項に「××, ×××」円、当該月に指定訪問看護を行った日数及びこれらに乗じて得た額を記載すること。また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(Ⅰ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

(イ) 「専門の研修」欄における「基本療養費Ⅰ・Ⅱ」の項について、「1 緩和ケア」、「2 褥瘡ケア」又は「3 人工肛門・人工膀胱ケア」のいずれかを○で囲むこと。なお、電子計算機の場合は、上記○に代えて（ ）等を使用して記載することも差

し支えないこと。

(2) 訪問看護基本療養費(Ⅱ)を算定する場合

ア 「訪問看護療養費に係る指定訪問看護の費用の額の算定方法」(平成20年厚生労働省告示第67号)に規定する同一建物居住者に対し、週3日までの指定訪問看護を保健師、助産師又は看護師が行った場合は⑮の「看護師等」の項に「×, ×××」円、准看護師が行った場合は⑯の「准看護師」の項に「×, ×××」円、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が行った場合は⑰の「理学療法士等」の項に「×, ×××」円、当該月に指定訪問看護を行った日数及びこれらに乗じて得た額を記載し、週4日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。なお、同一日に3人以上に対して訪問した場合は、「3人以上」の項に同様に記載すること。また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(Ⅱ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

イ 「訪問看護療養費に係る指定訪問看護の費用の額の算定方法」に規定する同一建物居住者に対し、悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が指定訪問看護を行った場合は以下によること。

(ア) ⑰の「専門の研修を受けた看護師」の項に「××, ×××」円、当該月に指定訪問看護を行った日数及びこれらに乗じて得た額を記載すること。なお、同一日に3人以上に対して訪問した場合は、「3人以上」の項に同様に記載すること。また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、訪問看護基本療養費(Ⅱ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

(イ) 「専門の研修」欄における「基本療養費Ⅰ・Ⅱ」の項について、「1 緩和ケア」、「2 褥瘡ケア」又は「3 人工肛門・人工膀胱ケア」のいずれかを○で囲むこと。  
なお、電子計算機の場合は、上記○に代えて( )等を使用して記載することも差し支えないこと。

(3) 精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)を算定する場合

保健師又は看護師が週3回までの指定訪問看護を行った場合には、1回の指定訪問看護の実施時間に基づき、⑳の「看護師等」の項の「30分以上」又は「30分未満」のいずれかに「×, ×××」円、作業療法士が行った場合は㉑の「作業療法士」の項の「30分以上」又は「30分未満」のいずれかに「×, ×××」円、准看護師が行った場合は㉒の「准看護師」の項の「30分以上」又は「30分未満」のいずれかに「×, ×××」円、当該月に指定訪問看護を行った日数及びこれらに乗じて得た額を記載し、週4日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

(4) 精神科訪問看護基本療養費(Ⅲ)を算定する場合

「訪問看護療養費に係る指定訪問看護の費用の額の算定方法」に規定する同一建物居住者に対して、週3回までの指定訪問看護を保健師又は看護師が行った場合には、1回の指定訪問看護の実施時間に基づき、㉓の「看護師等」の項の「30分以上」又は「30分未満」のい

いずれかに「×, ×××」円、作業療法士が行った場合は⑳の「作業療法士」の項の「30分以上」又は「30分未満」のいずれかに「×, ×××」円、准看護師が行った場合は㉑の「准看護師」の項の「30分以上」又は「30分未満」のいずれかに「×, ×××」円、当該月に指定訪問看護を行った日数及びこれらに乗じて得た額を記載し、週4日以降の指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。なお、同一日に3人以上に対して訪問した場合は、「3人以上」の項に同様に記載すること。また、特別地域訪問看護加算を算定した場合は、精神科訪問看護基本療養費(Ⅲ)の所定額及び当該加算額を合算して、同様に記載すること。

(5) 訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅱ)の加算並びに精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅲ)の加算について

ア 末期の悪性腫瘍等の利用者又は特別訪問看護指示書が交付された者に対して、必要に応じて1日に2回指定訪問看護を行った場合は、㉒の「難病等複数回訪問加算」欄に、「×, ×××」円、当該月において複数回訪問した日数及びこれらに乗じて得た額を記載し、1日に3回以上指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

また、精神科在宅患者支援管理料を算定する利用者に対して、必要に応じて1日に2回指定訪問看護を行った場合は、㉓の「精神科複数回訪問加算」欄に、「×, ×××」円、当該月において複数回訪問した日数及びこれらに乗じて得た額を記載し、1日に3回以上指定訪問看護を行った場合は、行を改めて同様に記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

イ 訪問看護計画に基づき定期的に行う指定訪問看護以外であって、利用者又はその家族等の緊急の求めに応じて、診療所又は在宅療養支援病院の保険医の指示により、連携する訪問看護ステーションの看護師等が訪問看護を行った場合は、次により㉔の「緊急訪問看護加算」欄又は㉕の「精神科緊急訪問看護加算」欄に記載すること。

(ア) 月14日目までの場合は、左側の「円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に算定した回数を記載すること。

(イ) 月15日目以降の場合は、中央の「円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に算定した回数を記載すること。

(ウ) 右側の「円」の項には、(ア)及び(イ)により計算した合計金額を記載すること。

ウ 別に厚生労働大臣の定める長時間の訪問を要する者に対し、訪問看護ステーションの看護師等が90分を超える訪問看護を実施した場合は、㉖の「長時間訪問看護加算」欄又は㉗の「長時間精神科訪問看護加算」欄に「×, ×××」円、当該月において訪問した日数及びこれらに乗じて得た額を記載すること。

エ 訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅱ)において、6歳未満の利用者に対して指定訪問看護を実施した場合は、次により㉘の「乳幼児加算」欄に記載すること。

(ア) 乳幼児加算(厚生労働大臣が定める者を除く。)の場合は、左側の「円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に算定した回数を記載すること。

(イ) 乳幼児加算(厚生労働大臣が定める者に限る。)の場合は、中央の「円」の項

に「×, ×××」円と記載し、当該月に算定した回数を記載すること。

(ウ) 右側の「円」の項には、(ア)及び(イ)により計算した合計金額を記載すること。

オ 訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅱ)において、別に厚生労働大臣が定める同時に複数の看護師等による指定訪問看護が必要な者に対して、訪問看護ステーションの保健師、助産師、看護師又は准看護師に保健師、助産師又は看護師が同行し同時に訪問看護を行った場合は⑳の「複数名訪問看護加算」欄の「看護師等」の項に「×, ×××」円、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が同時に行った場合は「理学療法士等」の項に「×, ×××」円、准看護師が同時に行った場合は「准看護師」の項に「×, ×××」円、その他職員が同行しハを算定する場合は「その他職員ハ」の項に「×, ×××」円、その他職員が同行しニを算定する同時に行った場合は「その他職員ニ」の項に1日に指定訪問看護を行った回数に応じ「×, ×××」円と記載し、当該月において訪問した日数及びこれらに乗じて得た額を記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

また、精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)及び(Ⅲ)において、訪問看護ステーションの保健師又は看護師に保健師又は看護師が同行し同時に訪問看護を行った場合は㉑の「複数名精神科訪問看護加算」欄の「看護師等」の項に1日に指定訪問看護を行った回数に応じ「×, ×××」円、作業療法士が同時に行った場合は「作業療法士」の項に1日に指定訪問看護を行った回数に応じ「×, ×××」円、准看護師が同時に行った場合は「准看護師」の項に1日に指定訪問看護を行った回数に応じ「×, ×××」円、看護補助者が同時に行った場合は「看護補助者」の項に「×, ×××」円、精神保健福祉士が同時に行った場合は「精神保健福祉士」の項に「×, ×××円」と記載し、当該月において訪問した日数及びこれらに乗じて得た額を記載すること。なお、同一建物居住者の人数に応じて、「1人又は2人」又は「3人以上」の行に分けて記載すること。

カ 夜間(午後6時から午後10時まで)又は早朝(午前6時から午前8時まで)に指定訪問看護を行った場合は㉒又は㉓の「夜間・早朝訪問看護加算」欄に「×, ×××」円、深夜(午後10時から午前6時まで)に指定訪問看護を行った場合は㉔又は㉕の「深夜訪問看護加算」欄に「×, ×××」円、それぞれ当該月において訪問した日数及びこれらに乗じて得た額を記載すること。

(6) 訪問看護基本療養費(Ⅲ)及び精神科訪問看護基本療養費(Ⅳ)を算定する場合

ア 訪問看護基本療養費(Ⅲ)においては、指定訪問看護を受けようとする入院中の者で、在宅療養に備えて一時的に外泊をしている利用者に対して、保健師、助産師、看護師又は准看護師が指定訪問看護を行った場合には㉖の「看護師等」の項に、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が行った場合には㉗の「理学療法士等」の項に「×, ×××」円、当該月に訪問看護基本療養費(Ⅲ)を算定した回数の合計及びこれらに乗じて得た額を記載すること。

イ 精神科訪問看護基本療養費(Ⅳ)においては、指定訪問看護を受けようとする入院中の者で、在宅療養に備えて一時的に外泊をしている利用者に対して、保健師、看護師又は准看護師が指定訪問看護を行った場合には㉘の「看護師等」の項に、作業療法士が行った場合には㉙の「作業療法士」の項に「×, ×××」円、当該月に精神科訪問看護基本療養費

(Ⅳ)を算定した回数合計及びこれらに乗じて得た額を記載すること。

- (7) 月の途中で、利用者の住所変更等の理由により加算の算定の有無に異動があった場合には、項目を縦に二分し、それぞれの場合について、算定額、当該月に行った指定訪問看護を行った日数及びこれらに乗じて得た額を記載すること。
- (8) 同一の指定訪問看護において複数の者が行った場合は、いずれか1人の者についてのみ1日として記載すること（複数名訪問看護加算及び複数名精神科訪問看護加算の算定日を除く。）。
- (9) 指定訪問看護の利用者が、訪問看護療養費に係る訪問看護ステーションの基準等第2の1に規定する疾病等の利用者等であって他の一つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合については、「特記事項」欄の「1 他①」の数字を○で囲み、他の二つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合については、「特記事項」欄の「1 他①」及び「2 他②」のそれぞれの数字を○で囲むとともに、当該他の指定訪問看護ステーションの所在地及び名称をそれぞれ記載すること。なお、電子計算機の場合は、「1 他①」又は「2 他②」の○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。
- (10) 従たる訪問看護ステーションに勤務する看護師等が指定訪問看護を行った場合は、訪問看護療養費明細書の「特記事項」欄の「3 従」の数字を○で囲むこと。  
なお、電子計算機の場合は、「3 従」の○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。
- (11) 特別地域訪問看護加算を算定した場合は、「特記事項」欄の「4 特地」の数字を○で囲み、利用者の住所及び通常の場合訪問に要する時間（片道）を併せて記載すること。  
なお、電子計算機の場合は、「4 特地」の○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。
- (12) 要介護被保険者等で、訪問看護を医療保険（健康保険、国民健康保険及び後期高齢者医療をいう。以下同じ。）で算定している場合は、「特記事項」欄の「5 介」の数字を○で囲むこと。  
なお、電子計算機の場合は、「5 介」の○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。
- (13) 在宅療養支援診療所又は在宅療養支援病院が24時間往診及び訪問看護により対応できる体制を確保し、往診担当医や訪問看護担当者氏名、担当日等を文書により提供している利用者の場合は、「特記事項」欄の「6 支援」の数字を○で囲むこと。  
なお、電子計算機の場合は、「6 支援」の○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。
- (14) 緊急訪問看護加算又は精神科緊急訪問看護加算を算定した場合は、「特記事項」欄の「10 緊急訪問看護の理由」の数字を○で囲み、緊急の訪問看護を実施した日と緊急訪問看護の理由を、当該加算を算定した日ごとに併せて記載すること。  
なお、電子計算機の場合は、「10 緊急訪問看護の理由」の○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。また、緊急訪問看護の理由を「特記事項」欄に書ききれない場合は、明細書又は明細書と同じ大きさの用紙に、指定訪問看護の行われた年



月、訪問看護ステーションコード、氏名、保険種別（例：1社・国 2本外）、保険者番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担番号）、被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号（公費負担医療のみの場合は第1公費の公費負担医療の受給者番号）を記載した上、所定の内容を記載し、続紙として、当該明細書の次に重ね、左上端を貼り付けること。

#### 24 「管理療養費」欄について

##### (1) 次により記載すること。

- ア 月の初日の訪問の場合は、㉖の「管理療養費」欄の左側の「 円」の項に「×, ××」円と記載すること。
- イ 月の2日目以降の訪問の場合は、中央の「 円」の項に「×, ×××」円と記載し、「 日」の項には訪問した日数から1を引いた数を記載すること。
- ウ 右側の「 円」の項には、ア及びイにより計算した合計金額を記載すること。

##### (2) 管理療養費の各加算については、当該月に算定した加算の内容を次のとおり記載すること。

- ア 24時間対応体制加算を算定した場合は、㉗の「24時間対応体制加算」欄の「 円」の項に「×, ×××」円と記載すること。
- イ 特別管理加算を算定した場合は、㉘の「特別管理加算」欄の「 円」の項に「×, ×××」と記載すること。
- ウ 退院時共同指導加算を算定した場合は、㉙の「退院時共同指導加算」欄の「 円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に退院時共同指導加算を算定した回数合計及びこれらに乗じて得た額を記載すること。なお、当該加算は、同一日に複数回行った場合であっても1回に限り算定すること。さらに、当該利用者が厚生労働大臣の定める特別な管理を必要とする者で特別管理指導加算を算定した場合は、㉚の「特別管理指導加算」欄の「 円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に特別管理指導加算を算定した回数合計及びこれらに乗じて得た額を記載すること。特別管理指導加算は、厚生労働大臣が定める疾病等の利用者については当該入院中に2回に限り算定できる。
- エ 退院支援指導加算を算定した場合は、次により㉛の「退院支援指導加算」欄に記載すること。

(ア) 退院支援指導（長時間行った場合を除く。）を行った場合は、左側の「 円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に算定した回数を記載すること。

(イ) 退院支援指導（長時間行った場合に限る。）を行った場合は、中央の「 円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に算定した回数を記載すること。

(ウ) 右側の「 円」の項には、(ア)及び(イ)により計算した合計金額を記載すること。

また、利用者が退院日の翌日以降の初回の指定訪問看護が行われる前に死亡又は再入院した場合は、「特記事項」欄の「8 退支」の数字を○で囲み、死亡日又は再入院日を併せて記載すること。なお、電子計算機の場合は、「8 退支」の○に代えて（ ）等を使

用して記載することも差し支えないこと。

オ 在宅患者連携指導加算を算定した場合は、**56**の「在宅患者連携指導加算」欄の「円」の項に「×, ×××」円と記載すること。

カ 在宅患者緊急時等カンファレンス加算を算定した場合は、**57**の「在宅患者緊急時等カンファレンス加算」欄の「円」の項に「×, ×××」円と記載し、当該月に在宅患者緊急時等カンファレンス加算を算定した回数の合計及びこれらを乗じて得た額を記載すること。なお、当該加算は、同一日に複数回行った場合であっても1回に限り算定すること。

キ 精神科重症患者支援管理連携加算を算定した場合は、**58**の「精神科重症患者支援管理連携加算」欄の「円」の項に、「×, ×××」円と記載すること。

ク 看護・介護職員連携強化加算を算定した場合は、**59**の「看護・介護職員連携強化加算」欄の「円」の項に、「×, ×××」円と記載すること。

また、看護・介護職員連携強化加算を算定した場合は、「特記事項」欄の「9 連」の数字を○で囲み、介護職員等と同行訪問した日を併せて記載すること。なお、電子計算機の場合は、「9 連」の○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。

ケ 専門管理加算を算定した場合は次のとおり記載すること。

(ア) **60**の「専門管理加算」欄の「円」の項に、「×, ×××」円と記載すること。

(イ) 「専門の研修」欄における「専門管理加算」の項については、以下の項目を記載すること。

① 「1 緩和ケア」、「2 褥瘡ケア」又は「3 人工肛門・人工膀胱ケア」のいずれかを○で囲むこと（専門管理加算のイに該当する場合に限る。）。

② 「4 特定行為」を○で囲み、次の表に掲げる特定行為のうち該当するコードを（ ）に記載すること（専門管理加算のロに該当する場合に限る。）。

なお、電子計算機の場合は、上記○に代えて（ ）等を使用して記載することも差し支えないこと。

| コード | 特定行為                            |
|-----|---------------------------------|
| 01  | 気管カニューレの交換                      |
| 02  | 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 |
| 03  | 膀胱ろうカテーテルの交換                    |
| 04  | 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去     |
| 05  | 創傷に対する陰圧閉鎖療法                    |
| 06  | 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整            |
| 07  | 脱水症状に対する輸液による補正                 |

(ウ) 「専門の研修」欄の「手順書交付年月日」の項については、手順書が交付された年

月日を記載すること（専門管理加算の口に該当する場合に限る。）。

(エ) 「専門の研修」欄の「直近見直し年月日」の項については、利用者の主治医とともに、手順書の妥当性を検討した年月日を記載すること（専門管理加算の口に該当する場合に限る。）。

コ 訪問看護医療DX情報活用加算を算定した場合は、㉖の「訪問看護医療DX情報活用加算」欄の「円」の項に、「×, ×××」円と記載すること。

## 25 「訪問看護情報提供療養費」欄について

(1) 当該月において、当該指定訪問看護の利用者の指定訪問看護の状況等の情報を提供した場合に、㉗の「訪問看護情報提供療養費」欄に、訪問看護情報提供療養費1の場合は「1 市(区)町村等」の項に「×, ×××」円、訪問看護情報提供療養費2の場合は「2 学校等」の項に「×, ×××」円、訪問看護情報提供療養費3の場合は「3 保険医療機関等」の項に「×, ×××」円と記載する。

(2) 「情報提供先」欄については、以下により記載すること。

ア 訪問看護情報提供療養費1を算定する場合は、市区町村等への情報提供に係る算定の場合は「1 市(区)町村等」、指定特定相談支援事業者への情報提供に係る算定の場合は「2 指定特定相談支援事業者」の数字を○で囲むこと。

イ 訪問看護情報提供療養費2を算定する場合は、「前回算定」の項に、当該療養費を算定した前回の年月を記載すること（ただし、初めて算定する場合を除く。）。

また、各年度1回までの算定とは別に、入園又は入学に係る算定の場合は「1 入園・入学」、転園又は転学に係る算定の場合は「2 転園・転学」又は医療的ケアの実施方法の変更に係る算定の場合は「3 医療的ケアの変更」の数字を○で囲むこと。

ウ 訪問看護情報提供療養費3を算定する場合は、利用者の診療を行っている保険医療機関の紹介先が、保険医療機関の場合は「1 保険医療機関」、介護老人保健施設の場合は「2 介護老人保健施設」又は介護医療院の場合は「3 介護医療院」の数字を○で囲むこと。

なお、電子計算機の場合は、上記○に代えて( )等を使用して記載することも差し支えないこと。

## 26 「訪問看護ターミナルケア療養費」欄について

(1) 訪問看護ステーションが、在宅で死亡した利用者について、死亡日及び死亡日前14日以内の計15日間に2回以上訪問看護基本療養費又は精神科訪問看護基本療養費を算定（退院支援指導加算を含む）し、かつ、訪問看護におけるターミナルケアの支援体制について利用者及びその家族に対して説明を行った上でターミナルケアを行った場合に、㉘ターミナルケア療養費欄の「円」の項に「××, ×××」円と記載し、「死亡の状況」欄の「時刻」と「場所」も併せて記載すること。

(2) 遠隔死亡診断補助加算を算定した場合は、㉙遠隔死亡診断補助加算欄の「円」の項に「×, ×××」円と記載すること。

## 27 「訪問看護ベースアップ評価料」欄について

次により記載すること。

- (1) 訪問看護ベースアップ評価料(Ⅰ)を算定した場合は、①の(Ⅰ)欄の「 円」の項に「×, ×××」円と記載すること。(2) 訪問看護ベースアップ評価料(Ⅱ)を算定した場合は、②の(Ⅱ)欄の「 円」の項に「×, ×××」円と記載すること。

## 28 「(公費分金額)」欄について

- (1) 指定訪問看護と公費負担医療との併用の場合にあつては、「(公費分金額)」欄には公費負担医療に係る請求金額を記載するが、公費負担医療に係る請求金額が指定訪問看護に係る請求金額と同じ場合は省略しても差し支えないこと。

なお、月の途中で公費負担医療の受給資格に変更があつた場合又は公費負担医療に係る給付の内容が指定訪問看護と異なる場合は、公費負担医療に係る請求金額が指定訪問看護に係る請求金額と異なることとなるので、この場合には「(公費分金額)」欄に当該公費負担医療に係る請求金額を記載すること。この場合において、指定訪問看護に係る請求金額と異なる公費負担医療が2種以上あるときは、「(公費分金額)」欄を縦に区分し、左から順次第1公費、第2公費の順で当該公費に係る請求金額を記載すること。

- (2) 公費負担医療単独の場合にあつては、「基本療養費Ⅰ」欄から「訪問看護ベースアップ評価料」欄に、当月療養に係るすべての金額等を記載し、「(公費分金額)」欄には記載しないこと。

- (3) 公費負担医療と公費負担医療との併用の場合にあつては、「(公費分金額)」欄を縦に区分し、左から順に第1公費、第2公費の順で当該公費に係る請求金額を記載するが、金額のすべての請求金額と同じ請求金額の公費負担医療がある場合は、縦に2区分すること及び当該請求金額を記載することを省略しても差し支えないこと。

なお、「基本療養費Ⅰ」欄から「訪問看護ベースアップ評価料」欄には、当該療養に係るすべての回数及び金額を記載すること。

- (4) 同一明細書において、指定訪問看護と公費負担医療の医療給付の内容が異なる場合又は指定訪問看護と公費負担医療の実日数が異なる場合は、「基本療養費Ⅰ」欄から「訪問看護ベースアップ評価料」欄に記載された内訳のうち、公費負担医療に係る分に下線を付すこと。

なお、指定訪問看護と公費負担医療の実日数が異なる場合において、「(公費分金額)」欄との対応が明らかである場合は下線を省略しても差し支えないこと。公費負担医療と公費負担医療の併用の場合も同様であること。

## 29 「実日数」欄について

- (1) 「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、「保険」については医療保険、「公費①」については第1公費、「公費②」については第2公費に係る指定訪問看護を行った実日数を記載すること。

なお、公費負担医療のみの場合の第1公費に係る分については、「公費①」の項に記載すること。ただし、第1公費に係る分が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る分を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る分が第1公費に係る分と同じ場合は、第2公費に係る分の記載を省略しても差し支えないこと。

- (2) 同一日に2回又は3回以上指定訪問看護を行った場合であっても、1日として記載すること。

### 30 「訪問日」欄について

- (1) 訪問看護基本療養費及び精神科訪問看護基本療養費を算定する場合は、指定訪問看護を行った日について、「○◎◇」の列の該当する日付の欄に○を記載すること。ただし、1日に2回訪問を行った場合は◎、1日に3回以上訪問を行った場合は◇を記載すること。
- (2) 以下の場合にあっては「☆」の列の該当する日付の欄に☆を記載すること。
- ア 訪問看護基本療養費（Ⅰ）又は訪問看護基本療養費（Ⅱ）における悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が指定訪問看護を行った場合
- イ 専門管理加算を算定した場合
- 緩和ケア、褥瘡ケア若しくは人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師が指定訪問看護を行った日については、全ての日付を記載すること。
- (3) 特別訪問看護指示書又は精神科特別訪問看護指示書に基づき指定訪問看護を行った場合は、「△」の列の該当する日付の欄に△を記載すること。
- (4) 長時間訪問看護加算又は長時間精神科訪問看護加算を算定した場合は、「□」の列の該当する日付の欄に□を記載すること。
- (5) 複数名訪問看護加算又は複数名精神科訪問看護加算を算定した場合は、「▽」の列の該当する日付の欄に▽を記載すること。
- (6) 訪問看護基本療養費（Ⅱ）又は精神科訪問看護基本療養費（Ⅲ）を算定した場合は、「同一建物」の列の該当する日付の欄に○を記載すること。
- (7) 複数の訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている利用者に対し、当該複数の訪問看護ステーションのいずれかが計画に基づく指定訪問看護を行った日に、当該複数の訪問看護ステーションのうちその他の訪問看護ステーションが緊急の指定訪問看護を行い、緊急訪問看護加算又は精神科緊急訪問看護加算のみを算定した場合は、「同一緊急」の列の該当する日付の欄に○を記載すること。

また、「特記事項」欄の「7 同一緊急」の数字を○で囲むとともに、当該加算のみを算定した日の直前に訪問看護基本療養費又は精神科訪問看護基本療養費を算定した年月日及び当該加算のみを算定した日に計画に基づく指定訪問看護を行った当該他の訪問看護ステーションの所在地及び名称を記載すること。なお、当該他の訪問看護ステーションの名称等は、「他①」又は「他②」（「特記事項」欄の「1 他①」又は「2 他②」に記載した訪問看護ステーションと対応するものであること。）と記載しても差し支えないものであること。

### 31 「合計」欄について

- (1) 「請求」の項には、「保険」、「公費①」及び「公費②」の項に、「保険」については医療保険、「公費①」については第1公費、「公費②」については第2公費に係る金額（「基本療養費Ⅰ」欄から「訪問看護ベースアップ評価料」欄までの金額の合計をいう。）を記載

すること。

なお、公費負担医療のみの場合の第1公費の金額は、「公費①」の項に記載すること。ただし、第1公費に係る金額が医療保険に係るものと同じ場合は、第1公費に係る金額の記載を省略しても差し支えないこと。また、第2公費がある場合において、当該第2公費に係る金額が第1公費に係る金額と同じ場合は、第2公費に係る金額の記載を省略しても差し支えないこと。

(2) 「負担金額」の項については、以下によること。

ア 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。）については、以下によること。

医療保険の場合は、利用者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して、「円」単位で減額される場合には、減額される金額を記載すること。

利用者の負担額が免除される場合は「免除」、支払が猶予される場合は「支払い猶予」と記載すること。

イ 医療保険（高齢受給者及び高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）及び後期高齢者医療については、以下によること。

(ア) 高額療養費が現物給付された者に限り記載することとし、支払いを受けた一部負担金の額を記載すること。なお、この場合において、一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を「負担金額」の項の「保険」の項の上段に（ ）で再掲するものとし、「負担金額」の項には、支払いを受けた一部負担金と公費負担医療が給付する額とを合算した金額を記載すること。

(イ) 健康保険法施行令第43条第1項並びに同条第5項、国民健康保険法施行令（昭和33年政令第362号）第29条の4第1項並びに同条第3項又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項並びに同条第3項の規定が適用される者の場合は、これらの規定により算定した額（この額に1円未満の端数がある場合において、その端数金額が50銭未満であるときは、これを切り捨て、その端数金額が50銭以上であるときは、これを切り上げた額）を記載すること。

(ウ) 健康保険法施行令第43条第1項第2号へ、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号へに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号へに掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「備考」欄に、「低所得Ⅰ」と記載すること。

(エ) 健康保険法施行令第43条第1項第2号ホに掲げる者、国民健康保険法施行令第29条の4第1項第3号ホに掲げる者又は高齢者医療確保法施行令第16条第1項第1号ホに掲げる者の場合は、高額療養費が現物給付された者に限り、「備考」欄に、「低所得Ⅱ」と記載すること。

(オ) 医療保険の場合は、利用者の負担金額が「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して、「円」単位で減額される場合には、減額後の一部負担金の金額を記載すること。

利用者の負担額が免除される場合は「免除」、支払が猶予される場合は「支払い猶予」と記載すること。

(カ) 後期高齢者医療の場合で、高齢者医療確保法第 69 条第 1 項の規定に基づき広域連合長から一部負担金の減額を受けた者の場合は、「割」の単位で減額される場合には、減額割合を記載して、「円」単位で減額される場合は、減額後の一部負担金の金額を記載すること。また、負担額が免除される場合は「免除」、支払いが猶予される場合は「支払い猶予」と記載すること。

ウ 「負担金額」の項中「公費①」又は「公費②」の項には、「公費①」については第 1 公費、「公費②」については第 2 公費に係る医療券等に記入されている公費負担医療に係る利用者の負担額（一部負担金の額が医療券等に記載されている公費負担医療に係る利用者の負担額を下回る場合で、「負担金額」の項に金額を記載するもの場合はイの(ア)により記載した額を、金額の記載を要しないもの場合は、10 円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額）を記載すること。なお、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合に限る。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものに限る。）と感染症法との併用の場合には、一部負担金から同負担金のうち当該公費負担医療が給付する額を控除した額（すなわち、窓口で徴収した額）を記載すること。

また、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る利用者の負担額については、10 円未満の端数を四捨五入する前の一部負担金の額を記載し、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と障害者総合支援法による精神通院医療等、児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）による小児慢性特定疾病医療支援、肢体不自由児通所医療及び障害児入所医療並びに難病法による特定医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合に限る。）に、10 円未満の端数を四捨五入した後の一部負担金の額を記載すること。

ただし、後期高齢者医療又は医療保険（高齢受給者に係るものに限る。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合（高額療養費が現物給付された場合を除く。）及び医療保険（高齢受給者以外であって限度額適用認定証又は限度額適用・標準負担額減額認定証の提示があった者で高額療養費が現物給付された者に係るものを除く。）と感染症法による結核患者の適正医療との併用の場合には、当該公費に係る利用者の負担額は「公費①」及び「公費②」の項には記載することを要しないこと。

エ 高齢受給者の一般所得者及び低所得者であって難病法による特定医療及び肝炎治療特別促進事業に係る公費負担医療受給者については、医療券に記載されている公費負担医療に係る負担額を記載すること。ただし、当該公費負担医療の給付対象額の 2 割相当の額が、当該医療券に記載されている公費負担医療に係る利用者の負担額を下回る場合は、当該 2 割相当の額（「負担金額」の項に金額を記載するもの場合は、10 円未満の端数を四捨五入した後の額を、金額の記載を要しないもの場合は、10 円未満の端数を四捨五入する前の額。）を記載すること。

## 32 その他

特例的に、生活保護法による医療扶助、感染症法による結核患者の適正医療及び障害者総合支援法による精神通院医療等の3種の公費負担医療の併用の場合があるが、この場合にあっては、法別番号順等によらず、次の記載要領によること。

- (1) 生活保護法による医療扶助に係る公費負担者番号は「保険者番号」欄に、公費負担医療の受給者番号は「被保険者証・被保険者手帳等の記号・番号」欄に記載し、感染症法による結核患者の適正医療に係る分は「公費負担者番号①」欄に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る分は「公費負担者番号②」欄に記載すること。
- (2) 「職務上の事由」欄は記載しないこと。
- (3) 生活保護法による医療扶助に係る実日数は「実日数」欄の「保険」の項に、感染症法による結核患者の適正医療に係る実日数は「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る実日数は「公費②」の項にそれぞれ記載すること。

なお、感染症法による結核患者の適正医療に係る実日数又は障害者総合支援法による精神通院医療等に係る実日数が、生活保護法による医療扶助に係る実日数と同じ場合は、当該実日数の記載を省略しても差し支えないこと。

- (4) 「基本療養費Ⅰ」欄から「訪問看護ベースアップ評価料」欄までには、生活保護法による医療扶助に係る日数及び金額を記載すること。
- (5) 「(公費分金額)」欄は縦に2区分し、左から順次感染症法による結核患者の適正医療、障害者総合支援法による精神通院医療等の順で当該公費に係る請求金額を記載するが、生活保護法による医療扶助に係る請求金額と同じ請求金額の公費負担医療がある場合は、縦に2区分すること及び当該請求金額を記載することを省略しても差し支えないこと。
- (6) 生活保護法による医療扶助に係る請求金額は「合計」欄の「請求」の項の「保険」の項に、感染症法による結核患者の適正医療に係る請求金額は「請求」の項の「公費①」の項に、障害者総合支援法による精神通院医療等に係る請求金額は「請求」の項の「公費②」の項にそれぞれ記載すること。

## 33 後期高齢者医療におけるその他

高齢者医療確保法第50条第2号に該当する者(65歳から75歳未満の者であって、後期高齢者医療広域連合の障害認定を受けた者)が75歳に到達した月に療養を受けた場合(自己負担限度額が2分の1とならない場合)には、「特記事項」欄に「障害」と記載すること。



(別添 1)

### 訪問看護ステーションコード設定要領

- 1 訪問看護ステーションコードは、次のように郡市区番号 2 桁、訪問看護ステーション番号（以下「ステーション番号」という。） 4 桁、検証番号 1 桁、計 7 桁の算用数字を組み合わせたものとする。

|  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|

2 桁                      4 桁                      1 桁  
郡市区番号              ステーション番号              検証番号

- 2 郡市区番号は、都道府県ごとに、郡、市及び区を単位として、地方厚生（支）局長が定めるものとする。
- 3 ステーション番号は、「9, 000」から「9, 499」までの一連の番号を2の郡、市及び区ごとに、地方厚生（支）局長がこれを定めるものとする。ただし、4桁のステーション番号のうち、中2桁又は下2桁が「90」となる番号は、欠番とするものとする。
- 4 検証番号は、次により算出した番号とする。
- (1) 都道府県番号、算定表番号、郡市区番号及びステーション番号の各数に末尾の桁を起点として順次「2」と「1」を乗じる。この場合の都道府県番号は、別表「都道府県番号表」に定める番号とする。また、算定表番号は、「6」とする。
- (2) (1)で算出した積の和を求める。ただし、積が2桁となる場合は、1桁目と2桁目の数の和とする。
- (3) 「10」と(2)で算出した数の下1桁の数との差を求める。これを検証番号とする。ただし、(2)で算出した数の下1桁の数が「0」のときは、検証番号を「0」とする。

[例]

| 都道府県<br>番 号 | 算定表<br>番 号 | 郡市区<br>番 号 | ステーション<br>番 号 |             |
|-------------|------------|------------|---------------|-------------|
| 4           | 4          | 6          | 0 7           | 9 1 2 3 ←起点 |
| ×           | ×          | ×          | ×             | ×           |
| 2           | 1          | 2          | 1 2           | 1 2 1 2     |

$$8+4+(1+2)+0+(1+4)+9+2+2+6=39$$

$$\textcircled{1} 10 - 9 = 1 \quad \text{検証番号「1」}$$

$$\textcircled{2} \text{訪問看護ステーションコード} : \text{「07, 9123, 1」}$$

5 訪問看護ステーションコードの管理は、地方厚生（支）局長において行うものとし、当該ステーションコードの設定又は変更に際しては、審査支払機関に対して速やかに連絡するものとする。

（別表）

都 道 府 県 番 号

| 都道府県 | 番号 | 都道府県 | 番号 | 都道府県 | 番号 |
|------|----|------|----|------|----|
| 北海道  | 01 | 石川   | 17 | 岡山   | 33 |
| 青森   | 02 | 福井   | 18 | 広島   | 34 |
| 岩手   | 03 | 山梨   | 19 | 山口   | 35 |
| 宮城   | 04 | 長野   | 20 | 徳島   | 36 |
| 秋田   | 05 | 岐阜   | 21 | 香川   | 37 |
| 山形   | 06 | 静岡   | 22 | 愛媛   | 38 |
| 福島   | 07 | 愛知   | 23 | 高知   | 39 |
| 茨城   | 08 | 三重   | 24 | 福岡   | 40 |
| 栃木   | 09 | 滋賀   | 25 | 佐賀   | 41 |
| 群馬   | 10 | 京都   | 26 | 長崎   | 42 |
| 埼玉   | 11 | 大阪   | 27 | 熊本   | 43 |
| 千葉   | 12 | 兵庫   | 28 | 大分   | 44 |
| 東京   | 13 | 奈良   | 29 | 宮崎   | 45 |
| 神奈川  | 14 | 和歌山  | 30 | 鹿児島  | 46 |
| 新潟   | 15 | 鳥取   | 31 | 沖縄   | 47 |
| 富山   | 16 | 島根   | 32 |      |    |

(別添 2)

法別番号及び制度の略称表

(1)

|                            | 区 分                              | 法別番号                       | 制度の略称 |                 |
|----------------------------|----------------------------------|----------------------------|-------|-----------------|
| 医<br>療<br>保<br>険<br>制<br>度 | 全国健康保険協会管掌健康保険（日雇特例被保険者の保険を除く。）  | 0 1                        | (協会)  |                 |
|                            | 船員保険                             | 0 2                        | (船)   |                 |
|                            | 日雇特例被保険者の保険                      | ○一般医療（法第 133 条及び第 141 条関係） | 0 3   | (日)             |
|                            |                                  | ○特別療養費（法第 145 条関係）         | 0 4   | (日 特)<br>又は (特) |
|                            | 組管掌健康保険                          | 0 6                        | (組)   |                 |
|                            | 防衛省職員給与法による自衛官等の療養の給付（法第 22 条関係） | 0 7                        | (自)   |                 |
|                            | 高齢者の医療の確保に関する法律による療養の給付          | 3 9                        | (高)   |                 |
|                            | 国家公務員共済組合                        | 3 1                        | (共)   |                 |
|                            | 地方公務員等共済組合                       | 3 2                        |       |                 |
|                            | 警察共済組合                           | 3 3                        |       |                 |
|                            | 公立学校共済組合<br>日本私立学校振興・共済事業団       | 3 4                        |       |                 |
|                            | 特定健康保険組合                         | 6 3                        | (退)   |                 |
|                            | 国家公務員特定共済組合                      | 7 2                        |       |                 |
|                            | 地方公務員等特定共済組合                     | 7 3                        |       |                 |
|                            | 警察特定共済組合                         | 7 4                        |       |                 |
|                            | 公立学校特定共済組合<br>日本私立学校振興・共済事業団     | 7 5                        |       |                 |

(注) 63・72～75 は、特例退職被保険者及び特例退職組合員に係る法別番号である。

(2)

|                                      | 区  | 分   | 法別番号 | 制度の略称  |
|--------------------------------------|--|---|------|--------|
| 公<br>費<br>負<br>担<br>医<br>療<br>制<br>度 | 戦傷病者特別<br>援護法による   | ○療養の給付（法第10条関係）                               | 13   | —      |
|                                      |  | ○更生医療（法第20条関係）                                | 14   | —      |
|                                      | 原子爆弾被爆者に対<br>する援護に関する法<br>律による   | ○認定疾病医療（法第10条関係）                              | 18   | —      |
|                                      | 感染症の予防及び感<br>染症の患者に対する<br>医療に関する法律に<br>よる  | ○新感染症外出自粛対象者の医療（法<br>第50条の3関係）                | 29   | —      |
|                                      | 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観<br>察等に関する法律による医療の実施に係る医療の給付（法第<br>81条関係）   |   | 30   | —      |
|                                      | 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に<br>よる結核患者の入院（法第37条関係）  |   | 11   | （結核入院） |
|                                      | 障害総合支援法によ<br>る   | ○精神通院医療（法第5条関係）                               | 21   | （精神通院） |
|                                      |  | ○更生医療（法第5条関係）                                 | 15   | —      |
|                                      |  | ○育成医療（法第5条関係）                                 | 16   | —      |
|                                      |  | ○療養介護医療（法第70条関係）及<br>び基準該当療養介護医療（法第71<br>条関係） | 24   | —      |
|                                      | 感染症の予防及び感<br>染症の患者に対する<br>医療に関する法律   | ○新型インフルエンザ等感染症外出自<br>粛対象者の医療（法第44条の3の<br>2関係） | 28   | —      |
|                                      | 原子爆弾被爆者に対<br>する援護に関する法<br>律による   | ○一般疾病医療費（法第18条関係）                             | 19   | —      |
|                                      | 児童福祉法による小児慢性特定疾病医療支援（法第19条の<br>2関係）  |   | 52   | —      |
|                                      | 難病の患者に対する<br>医療等に関する法律<br>による  | ○特定医療（法第5条関係）                                 | 54   | —      |
|                                      | 特定疾患治療費、先天性血液凝固因子障害等治療費、水<br>俣病総合対策費の国庫補助による療養費及び研究治療<br>費、茨城県神栖町における有機ヒ素化合物による環境汚<br>染及び健康被害に係る緊急措置事業要綱による医療費及<br>びメチル水銀の健康影響による治療研究費 |   | 51   | —      |

|  |     |      |
|--|-----|------|
| 肝炎治療特別促進事業に係る医療の給付   | 3 8 | —    |
| 児童福祉法の措置等に係る医療の給付  | 5 3 | —    |
| 石綿による健康被害の救済に関する法律による医療費の支給<br>(法第 4 条関係)  | 6 6 | —    |
| 特定B型肝炎ウイルス感染症給付費等の支給に関する特別措置法による定期検査費及び母子感染症防止医療費の支給(法第 12 条第 1 項及び第 13 条第 1 項関係)  | 6 2 | —    |
| 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律第 14 条第 4 項に規定する医療支援給付(中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律附則第 4 条第 2 項において準用する場合を含む。) | 2 5 | —    |
| 生活保護法による医療扶助(法第 15 条関係)  | 1 2 | (生保) |

別表 I 訪問看護療養費明細書の「情報」欄への記載事項等一覧（訪問看護）

| 項番 | 区分             | 訪問看護療養費名称等              | 記載事項  | レセプト電算処理システム用コード  | 左記コードによるレセプト表示文言  |
|----|----------------|-------------------------|---|---|---|
| 1  | -              | 訪問した場所                  | 月の途中で訪問した場所に変更があった場合等、訪問した場所が複数ある場合は、訪問した場所及び変更した年月日を記載すること(3か所まで)。   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・訪問場所変更年月日」<br>「訪問した場所3・訪問場所変更年月日」   | 訪問場所変更年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日"   |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・コード」<br>「訪問した場所3・コード」               | 1 自宅  |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・コード」<br>「訪問した場所3・コード」               | 2 施設(O1 社会福祉施設及び身体障害者施設)  |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・コード」<br>「訪問した場所3・コード」               | 2 施設(O2 小規模多機能型居宅介護)  |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・コード」<br>「訪問した場所3・コード」               | 2 施設(O3 複合型サービス)  |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・コード」<br>「訪問した場所3・コード」               | 2 施設(O4 認知症対応型グループホーム)  |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・コード」<br>「訪問した場所3・コード」               | 2 施設(O5 特定施設)   |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・コード」<br>「訪問した場所3・コード」               | 2 施設(O6 地域密着型介護老人福祉施設及び介護老人福祉施設)  |
| 2  | -              | 4か所目以降の訪問した場所           | 訪問した場所が4箇所以上あった場合は、4箇所目以降の訪問した場所及び当該訪問場所への変更年月日を記載すること。   | 利用者情報レコード<br>「訪問した場所2・文字データ」<br>「訪問した場所3・文字データ」           | 5 その他:*****   |
|    |                |                         |   | 850500001   | 訪問場所変更年月日(1 自宅(訪問場所4箇所目以降):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                              |
|    |                |                         |   | 850500002   | 訪問場所変更年月日(2 施設(O1 社会福祉施設及び身体障害者施設))(訪問場所4箇所目以降):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"         |
|    |                |                         |   | 850500003   | 訪問場所変更年月日(2 施設(O2 小規模多機能型居宅介護))(訪問場所4箇所目以降):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"             |
|    |                |                         |   | 850500004   | 訪問場所変更年月日(2 施設(O3 複合型サービス))(訪問場所4箇所目以降):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                 |
|    |                |                         |   | 850500005   | 訪問場所変更年月日(2 施設(O4 認知症対応型グループホーム))(訪問場所4箇所目以降):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"           |
|    |                |                         |   | 850500006   | 訪問場所変更年月日(2 施設(O5 特定施設))(訪問場所4箇所目以降):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                    |
|    |                |                         |   | 850500007   | 訪問場所変更年月日(2 施設(O6 地域密着型介護老人福祉施設及び介護老人福祉施設))(訪問場所4箇所目以降):(元号)yy"年"mm"月"dd"日" |
| 3  | -              | 他①、他②が指し示す記録            | 指定訪問看護の利用者が、訪問看護療養費に係る訪問看護ステーションの基準等第2の1に規定する疾病等の利用者等であって他の一つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合については、当該他の指定訪問看護ステーションの所在地及び名称を「他の訪問看護ステーション1」としてそれぞれ記載し、「特記事項」に「1 他(1)」を記載すること。<br>また、他の二つの指定訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている場合についても、当該他の指定訪問看護ステーションの所在地及び名称を「他の訪問看護ステーション1」及び「他の訪問看護ステーション2」としてそれぞれ記載し、「特記事項」に「2 他(2)」を記載すること。   | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(01)」                                 | 1 他(1)  |
|    |                |                         |   | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(02)」                                 | 2 他(2)  |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「他の訪問看護ステーション・1・所在地」<br>「他の訪問看護ステーション・2・所在地」 | 所在地:*****   |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「他の訪問看護ステーション・1・名称」<br>「他の訪問看護ステーション・2・名称」   | 名称:*****  |
| 4  | 01注6<br>01-2注5 | 特別地域訪問看護加算              | 特別地域訪問看護加算を算定した場合は、「特記事項」欄に「4 特地」と記載し、利用者の住所及び通常の場合訪問に要する時間(片道)を併せて記載すること。  | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(04)」                                 | 4 特地  |
|    |                |                         |   | 830500002   | 利用者の住所(特別地域訪問看護加算):*****  |
| 5  | 01注9<br>01-2注6 | 緊急訪問看護加算<br>精神科緊急訪問看護加算 | 複数の訪問看護ステーションから現に指定訪問看護を受けている利用者に対し、当該複数の訪問看護ステーションのいずれかが計画に基づく指定訪問看護を行った日に、当該複数の訪問看護ステーションのうちその他の訪問看護ステーションが緊急の指定訪問看護を行い、緊急訪問看護加算又は精神科緊急訪問看護加算のみを算定した場合は、「特記事項」に「7 同一緊急」と記載するとともに「当該加算のみを算定した日の直前に訪問看護基本療養費又は精神科訪問看護基本療養費を算定した年月日」を記載すること。<br><br>当該加算のみを算定した日に計画に基づく指定訪問看護を行った当該他の訪問看護ステーションの所在地及び名称を「他の訪問看護ステーション1」又は「他の訪問看護ステーション2」として記載すること。(当該所在地及び名称が「特記事項」の「1 他(1)」又は「2 他(2)」に該当する訪問看護ステーションの場合を除く) | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(07)」                                 | 7 同一緊急  |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「他の訪問看護ステーション・1・所在地」<br>「他の訪問看護ステーション・2・所在地」 | 所在地:*****   |
|    |                |                         |   | 利用者情報レコード<br>「他の訪問看護ステーション・1・名称」<br>「他の訪問看護ステーション・2・名称」   | 名称:*****  |
|    |                |                         |   | 850500014   | 直前に基本療養費を算定した年月日(所在地及び名称は他の訪問看護ステーション1に記載):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"              |
| 6  | 02注7           | 退院支援指導加算                | 退院支援指導加算を算定した場合において、利用者が退院日の翌日以降の初回の指定訪問看護が行われる前に再入院した場合は、「情報」欄に「特記事項」として「8 退支」を記載し、再入院年月日を併せて記載すること。   | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(08)」                                 | 8 退支  |
|    |                |                         |   | 850500011   | 再入院年月日(退院支援指導加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"  |
| 7  | 02注7           | 退院支援指導加算                | 退院支援指導加算を算定した場合において、利用者が退院日の翌日以降の初回の指定訪問看護が行われる前に死亡した場合は、「情報」欄に「特記事項」として「8 退支」を記載し、死亡年月日を併せて記載すること。   | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(08)」                                 | 8 退支  |
|    |                |                         |   | 850500012   | 死亡年月日(退院支援指導加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"   |
| 8  | 02注11          | 看護・介護職員連携強化加算           | 看護・介護職員連携強化加算を算定した場合は、「特記事項」欄に「9 連」と記載し、介護職員等と同行訪問した日を併せて記載すること。  | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(09)」                                 | 9 連   |
|    |                |                         |   | 850500013   | 介護職員等と同行訪問した年月日(看護・介護職員連携強化加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                          |
| 9  | 01注9<br>01-2注6 | 緊急訪問看護加算<br>精神科緊急訪問看護加算 | 「特記事項」に「10 緊急訪問看護の理由」を記載すること。<br><br>緊急の訪問看護を行った年月日を記載すること。<br><br>加算を算定する理由を詳細に記載すること。   | 特記事項レコード<br>「特記事項コード(10)」                                 | 10 緊急訪問看護の理由  |
|    |                |                         |   | 850500016   | 緊急訪問年月日((精神科)緊急訪問看護加算):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                                  |
|    |                |                         |   | 830500003   | 緊急訪問看護の理由((精神科)緊急訪問看護加算):*****  |
| 10 | 01             | 訪問看護基本療養費               | 特別訪問看護指示書が連続して交付されている利用者については、その旨を訪問看護療養費明細書に記載すること。  | 820500001   | 特別訪問看護指示書の連続した交付  |
| 11 | 01-2           | 精神科訪問看護基本療養費            | 頻りに精神科特別訪問看護指示書が交付されている利用者については、その旨を訪問看護療養費明細書に記載すること。  | 820500002   | 精神科特別訪問看護指示書の頻回の交付  |
| 12 | 03             | 訪問看護情報提供療養費3            | 入院又は入所前に指定訪問看護が行われた日の属する月と保険医療機関に指定訪問看護に係る情報を提供した月が異なる場合、入院又は入所前の最後に指定訪問看護を行った日付を記載すること。  | 850500017   | 入院又は入所前の最後に指定訪問看護を行った年月日:(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                                |
| 13 | 05             | 訪問看護ターミナルケア療養費          | 指定訪問看護が最後に行われた日の属する月と死亡日が異なる場合、死亡日及び死亡前14日以内に指定訪問看護を行った日付を2日分記載すること   | 850500018   | 前回指定訪問看護実施年月日(死亡前14日以内):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                                 |
|    |                |                         |   | 850500019   | 前々回指定訪問看護実施年月日(死亡前14日以内):(元号)yy"年"mm"月"dd"日"                                |

※「記載事項」欄における括弧書は、該当する場合に記載する事項であること。

※「記載事項」欄の記載事項は、特に記載している場合を除き、「情報」欄へ記載するものであること。